工事仕様書

工事名称	三原市芸術文化センター長寿命化改修工事（建築主体工事）
工事場所	三原市宮浦二丁目

工事内容　本工事は，三原市芸術文化センターの建築改修工事を行う。

防水改修工事
外壁改修工事
内装改修工事
建具改修工事
ホール椅子改修工事
外構改修工事

準　則　公共建築工事標準仕様書（建築工事編・電気設備工事偏・機械設備工事偏　最新版），
公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編・電気設備工事偏・機械設備工事偏　最新版），
建築物解体工事共通仕様書（国土交通省官房官庁営繕部監修・最新版）　に基づき施工する。

関係法令等　本工事については，次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。

・建築基準法，同施行令，同施行規則
・消防法，同施行令
・建設業法，同施行令，同施行規則
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律，同法施行令，同法施行規則
・労働安全衛生法，同法施行令，同法施行規則
・建設工事公衆災害防止対策要綱
・大気汚染防止法，石綿障害予防規則
・振動規制法
・土壌汚染対策法
・その他関係法令

疑義変更　本設計図書は，設計の大要を示すものであり，詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。

施工に際して疑義を生じた場合，または軽微な変更を必要とする場合には，速やかに協議し，監督員の指示により施工すること。ただし，これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。

提出書類　施工に先立ち，工事工程表，仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し，監督員の承認を受けること。商品名及び製造者名が記載された材料については，当該商品又は同等品を使用するものとし，同等品を使用する場合は，監督員の承諾を受けるものとする。また，設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けるものとする。

工　期　本工事は請負契約締結の後，令和5年12月28日をもって工期とする。このうち検査期間として13日間を見込んでいる。

別途工事　三原市芸術文化センター長寿命化改修工事（電気設備工事）
三原市芸術文化センター長寿命化改修工事（機械設備工事）
三原市芸術文化センター長寿命化改修工事（舞台機構設備工事）
三原市芸術文化センター長寿命化改修工事（舞台音響設備工事）
三原市芸術文化センター長寿命化改修工事（舞台照明設備工事）
三原市芸術文化センター長寿命化計画修繕工事（監視カメラ外）

留意点

- 入札に先立ち現地調査を十分に行い，質疑がある場合は入札前に確認すること。
- 三原市芸術文化センター全施設の利用休止期間は令和5年7月1日から12月28日を予定しており，その期間内に集中的に工事を行うものとする。居ながら工事を行う場合は，事前に施設管理者等へ説明を行い，承諾を得るものとする。
- 三原市芸術文化センターの営業及び運営等への支障を最小限にとどめるため，工事工程及び作業手順等は最大限配慮をすること。
- 別途工事間では互いに協力しあい，相互の工程を考慮したうえで，各自の工程を計画すること。
- 施設の所有物に養生や移動を行う場合は，事前に施設管理者に連絡すること。
- 解体工事及びアンカー工事等の騒音，振動及び粉じん等の発生が予想される工種については，施工時間及び施工方法等，最大限配慮した計画のもと行うこと。
- 施工箇所周囲の備品，機器等については，粉じん対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。
- 工事期間中は付近の交通の安全を図ると共に，必要に応じて誘導員を常時配置し，危険防止に努めること。
- 工事中に粉じんの発生が予想される工種については，粉じん抑制等，周辺の環境対策のため散水を確実に行うこと。
- 第三者災害防止及び飛散防止対策のため，必要に応じて監督員の指示する範囲に，バリケード等を設置すること。
- 石綿含有建材の調査について，工事着手前までに書面及び目視調査を，一般建築物石綿含有建材調査者，特定建築物石綿含有建材調査者，建築物石綿含有建材調査者，日本アスベスト調査診断協会の登録者が行うこと。
- 石綿含有建材の事前調査結果を工事着手前までに発注者に対し説明を行い，労働基準監督署及び所轄官庁へ報告すること。
- その他石綿の飛散防止等については，改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- 本敷地内の別途工事及び近隣で行われる工事について，取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- 官公庁その他への手続きは，受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- 工事に伴い各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- 周辺道路については常時，監視を行い，工事車両等により汚損させた場合は，速やかに清掃及び補修を行なうこと。
- 台風や豪雨など自然災害の発生が予測される場合は，必要な対策を施すこと。また，現場巡視と災害防止対策を必要に応じて行うこと。
- 受注者事務所，休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- 工事に係る電気，水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- 本工事の外注資材，労務等の調達については，極力，市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は，あらかじめ，理由を添えて発注者の承認を受けること。
- 行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし，あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は，この限りではない。
- 広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお，本工事にシステム利用料金を見込む。
- 工事完了後，完成図として製本図面（二つ折り・A2版）を1部，及び縮小図面（二つ折り・A4版）を3部提出すること。
- 建設工事請負契約約款第38条（部分払）については，令和5年4月以降の適用とする。
- 請負契約の締結後，現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置，資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については，主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお，現場施工に着手する日については，請負契約の締結後，監督職員との打合せにおいて定める。

三原市芸術文化センター長寿命化計画修繕工事

建築修繕工事

２０２２年３月

株式会社　槇総合計画事務所

図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺
C5-00	表紙	-
C5-01	図面リスト	-
C5-02	施工概要・詳細1	-
C5-03	施工概要・詳細2	-
A-00	中表紙【建築】	-
A-02	敷地案内/設計概要/外部仕上表	-
A-03	特記仕様書1	-
A-04	特記仕様書2	-
A-05	特記仕様書3	-
A-06	特記仕様書4	-
A-07a	工事区分表1	-
A-07b	工事区分表2	-
A-08n	内部仕上表1	-
A-09n	内部仕上表2	-
A-10	仕上仕様図1	1/5
A-11	仕上仕様図2	1/5
A-12	全体配置図	1/300
A-13	地階平面図	1/200
A-14	1階平面図	1/200
A-15	2階/舞台上部平面図	1/200
A-16	屋根伏図	1/200
A-17	立面図1(東西面)	1/200
A-18	立面図2(南北面)	1/200
A-19	断面図	1/200
A-20	1階天井伏図	1/200
A-21	2階天井伏図	1/200
A-22	短計・断面詳細図1(リハーサル・楽屋)	1/100
A-23	短計・断面詳細図2(ホール通路・搬入口)	1/100
A-24	短計・断面詳細図3(ホール・ホワイエ)	1/100
A-25	短計・断面詳細図4(ホール・ロビー階段)	1/100
A-26	短計・断面詳細図5(ラウンジ・リハーサル)	1/100
A-27n	外部廻り詳細図1	1/5
A-28n	外部廻り詳細図2	1/5
A-29n	外部廻り詳細図3	1/5
A-30n	外部廻り詳細図4	1/10,1/5
A-41	ホール客席詳細図1(1,2階平面図)	1/100
A-42	ホール客席詳細図2(1,2階天井伏図)	1/100
A-43	ホール客席詳細図3(展開図)	1/100
A-56	2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図1	1/100
A-57	2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図2	1/60,他
A-58	2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図3	1/60,他
A-59n	2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図4	1/50,他
A-60	2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図5	1/50,他
A-61	2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図6	1/50,他
A-62	1階楽屋・事務ゾーン詳細図1	1/100
A-63	1階楽屋・事務ゾーン詳細図2	1/100
A-64	1階楽屋・事務ゾーン各部詳細図	1/50,他

図面番号	図面名称	縮尺
A-65	ホワイエ・ラウンジ廻り詳細図1	1/100
A-66	ホワイエ・ラウンジ廻り詳細図2	1/100
A-67	ホワイエ・ラウンジ廻り詳細図3	1/100
A-74n	階段詳細図1（ホール階段1・2）	1/50,1/5
A-75	階段詳細図2（ロビー階段）	1/50,1/5
A-78	階段詳細図5（ホール階段3・4）	1/50,1/5
A-79	階段各部詳細（手摺・段鼻）	1/10,1/5
A-86	建具位置図1（1階・2階）	1/200
A-87	建具位置図2（地階・塔屋）	1/200
A-88n	建具表1（FSD）	-
A-89n	建具表2（FSD・SD）	-
A-90n	建具表3（SD・PSD）	-
A-91	建具表4（LD・WD）	-
A-92	建具表5（SH・SW・AD・SWD）	-
A-93	建具表6（AW・AG）	-
A-94	建具姿図1	1/100
A-95	建具姿図2	1/100
A-99	雨水排水・防水範囲図2（2階・屋根）	1/200
L-00	中表紙【外構】	-
L-10	舗装計画平面図	1/300
L-25	駐車場平面詳細図	1/100
L-32	舗装詳細図2	1/10,1/5
SN-00	中表紙【サイン】	-
SN-12	P-L1サインプロット図	1/800
SN-13	CL-9_1南駐輪場西出入口（東側）	1/10
SN-14	CL-9_2公園南西出入口	1/10
SN-15	CL-21_1西駐輪場西出入口（西側）	1/10
SN-16	CL-21_2公園南西出入口（北側）	1/10
SN-17	CM-22_1（南側）,22_2（北側）公園東出入口	1/10
SN-18	CM-22_3北駐輪場出入口	1/10
SN-19	CM-22_4グラウンド出入口	1/10
SN-20	CM-22_5公園北西出入口	1/10
SN-21	CM-22_6アプローチプラザ（北側）	1/10
SN-22	CM-22_7アプローチプラザ（東側）	1/10
SN-23	CS-23_1(南側),23__2（北側）駐車場出入口	1/10
SN-24	CS-24_1南駐輪場東出入口	1/10
SN-30	F-25_1 街角広場	1/10
SN-41	外構平面図グラフィック	-
CH-00	中表紙【ホール椅子】	-
CH-01	製品姿図1	1/10
CH-02	製品姿図2	1/10
CH-03	椅子配置図1F	1/60
CH-04	椅子配置図2F	1/60
CH-05	張地指示図1	1/60,1/120
CH-06	張地指示図2	1/60,1/120

施工概要

1　本工事は本施設の長寿命化を目的とする一環の工事の一部であることから、各仕様は新築工事時の仕様図書（外部仕上表、特記仕様書、内部仕上表、仕上仕様図）に倣うことを原則とする。　A-02～11

2　上述仕様図書の基である国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書は、最新版（平成31年版）とする。（新築工事時：平成16年版）

3　上述仕様図書と施工詳細とで仕様が異なる場合は、施工詳細を上位とする。　C5-02・03

4　上述仕様図書と現状とで仕様が異なる場合や、下地など目視できない部分に安全上・利用上の問題がある損傷を確認した場合は、設計・監理者に報告し、改修方針を定めることとする。

5　リハーサル室・練習室1・2は、必要箇所に遮音・吸音仕様が施されていることから、工事範囲・手順などを記した図書を作成し、設計・監理者に確認の上、施工することとする。　A-56～58

施工詳細

A　外部床

A1　R階陸屋根

A1-1　硬質砕石、ｱｽﾌｧﾙﾄ防水　A-99
図面に水色・黄色でハッチングされた部分を対象とする。
砕石を補充（対象床面積×厚5mm）の上、アクリル系散布材にて再硬化。　A-11
断熱材と保護クロスの一部（4㎡）を更新。　A-11
一部（4㎡、図面に黄色でハッチングされた部分）にRDカバーと同仕様の砕石飛散防止用の間仕切を格子状（@500mm）に新設。（SUS t=1.0、h=100mm、L=2,000mm×8ピース）　A-16
周囲のパラペット（防水受けアゴ）天端・立下り（朱色線）にウレタン塗膜防水を施す。　A-27n～30n
壁（B1-1、水色線）はシリコーン珪酸高分子系（MCﾌｧｲﾝ）と同等の含浸撥水剤を施す。

A2　塔屋陸屋根、2階休憩ロビー直上部屋根、北テラス

A2-1　改質ｱｽﾌｧﾙﾄ防水　A-99
図面に朱色でハッチングされた部分を対象とする。
床面を高圧洗浄の上、ウレタン塗膜防水（X-2工法、ライトグレー程度）を施す。
周囲のパラペット（防水受けアゴ）天端・立下り（朱色線）にウレタン塗膜防水を施す。　A-27n～30n
壁（B1-1、水色線）はシリコーン珪酸高分子系（MCﾌｧｲﾝ）と同等の含浸撥水剤を施す。

A2-2　ｱｽﾌｧﾙﾄ防水、押えコン仕上　A-99
図面に朱色でハッチングされた部分を対象とする。
床面を高圧洗浄の上、ウレタン塗膜防水（X-1工法、ライトグレー程度）を施す。
周囲のパラペット（防水受けアゴ）天端・立下り（朱色線）にウレタン塗膜防水を施す。　A-27n～30n
壁（B1-1、水色線）はシリコーン珪酸高分子系（MCﾌｧｲﾝ）と同等の含浸撥水剤を施す。

A3　屋上ﾃﾗｽ、屋根

A3-1　伸縮目地　A-99
建物の外部床の全てを対象とする。

B　外壁

B1　1F南･北外壁、2階北外壁、ﾌﾗｲﾀﾜｰ東･西外壁、塔屋階立上り壁　A-17、18

B1-1　ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し
図面に水色・黄色でハッチングされた部分を対象とする。
高圧洗浄の上、シリコーン珪酸高分子系（MCﾌｧｲﾝ）と同等の含浸撥水剤（シラン・シロキサン系コンクリート含浸防水材等）を施す。
伸縮目地のｼｰﾘﾝｸﾞ打替え。
含浸撥水剤を施す壁（水色線）とウレタン塗膜防水を施すパラペット（朱色線）の施工範囲は、外部廻り詳細図を参照のこと。　A-27n～30n

B2　ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ･ｱﾙﾐ建具

B2-1　ｻｯｼ廻り、笠木廻等
ｼｰﾘﾝｸﾞ打替え。

B2-2　各種取合い
ｼｰﾘﾝｸﾞ打替え。

C　外構

C1　駐車場、敷地内道路　A-12

配置図に朱色か水色でハッチングされた部分を対象とする。

C1-1　擬石ﾌﾞﾛｯｸ舗装
敷地内道路（水色でハッチングされた部分）を対象とする。　L-10、32

C1-2　ﾗｲﾝ
駐車場1・2（朱色でハッチングされた部分）を対象とする。　L-25

D　内部　A-08～11、14、15

D1　壁　A-14、15

1・2階平面図に朱色か水色でハッチングされた部分に面する壁を対象とする。

D1-1　有孔ｹｲｶﾙ板EP　A-59、60
練習室1・2を対象とし、EP-Uを全面に再塗装。
練習室1のW9（クロス緞子張り）はW5a（有孔珪酸カルシウム板EP-U）に変更済み。　A-10、11
練習室1は、破損した箇所（5㎡）の取替え。

D1-2　木練付有孔合板UC　A-57、58
ﾘﾊｰｻﾙ室を対象とし、UCを全面に再塗装。
ﾘﾊｰｻﾙ室のW5c（長穴）はW5a（丸穴）に変更済み。

D1-3　木練付繊維石膏ﾎﾞｰﾄﾞUC　A-57、58
ﾘﾊｰｻﾙ室を対象とし、UCを全面に再塗装。

D1-3'　木練付珪酸カルシウム板UC　A-57、58、62、65～67
UCを全面に再塗装。

D1-4　S柱(耐火塗料)FE　A-61、65、66
既存の耐火塗料を下地として、FEを全面に再塗装。

D1-5　ｺﾝｸﾘｰﾄ杉板打放SC(八角柱含む)　A-65、66
本改修の対象外とする。

D1-6　ｽﾀｯｺ　A-26、67、75
破損部分（2cm×1cm/1箇所、1箇所/壁長1m）はアクリル系塗料でタッチアップ補修とする。
汚損部分（5cm×4m、水掛けによる白濁化）は研磨補修とする。

D1-7　石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP-U
表面調整の上、全面に再塗装。
楽屋通路とﾛﾋﾞｰ通路のｸﾗｯｸ（計4箇所、長さ：天井高）にﾊｯﾄ目地を施す。　A62、63

D1-8　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ多彩塗装
全面を表面調整の上、再塗装。

D1-9　鉄部SOP
全面を表面調整の上、再塗装。

D1-10　木部SOP
全面を表面調整の上、再塗装。

D1-10'　木部UC　A-11、57
ﾘﾊｰｻﾙ室の木ﾘﾌﾞ（W8）は損傷が激しいため、全面を張替え。
同上壁のガラスクロスは汚損が激しいため、全面を張替え。

D1-11　ｻﾗﾝﾈｯﾄﾊﾟﾈﾙ　A-43
既存骨組を再利用の上、サランネットの（2m×3m、2箇所）全面張替え。

D1-12　鏡　A-60
端部欠損した鏡（2m×2m）の張替え。

D2　天井　A-20、21
原則、本改修の対象外とする。（図面に朱色でハッチングされた部分を対象とする。）

D2-1　岩綿吸音板平型
対象箇所に本仕様の部分ナシ。

D2-2　石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP
ﾎﾜｲｴ2の回転式防煙垂壁（計2箇所、60cm×5・9m）を再塗装。
ﾎﾜｲｴ2のｸﾗｯｸ（計3箇所、長さ：3m）を補修の上、部分再塗装。
ﾗｳﾝｼﾞのｸﾗｯｸ（計2箇所、長さ：0.5m）を補修の上、部分再塗装。
ﾘﾊｰｻﾙ室のｸﾗｯｸ（計1箇所、長さ：1m）を補修の上、部分再塗装。　A-57

D2-3　アルミシームレスルーバー
風除室3の本仕様部分の全面を取換え。（下地鉄骨材と受金物の塗装（SOP）を含む）

D3　床　A-14、15
1・2階平面図に朱色でハッチングされた部分を対象とする。
水色でハッチングされた2階ラウンジの一部は対象とする。

D3-1　P系ｼｰﾄ
対象箇所の本仕様部分の全面を張替え。
守衛室（現仕様：ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB）を加える。

D3-2　ｴﾝﾄﾗﾝｽﾏｯﾄ
対象箇所に本仕様の部分ナシ。

D3-3.　織じゅうたん
対象箇所に本仕様の部分ナシ。

D3-4　ｺﾙｸﾀｲﾙ
対象箇所に本仕様の部分ナシ。

D3-5　ｺﾝｸﾘｰﾄ防塵塗装
対象箇所に本仕様の部分ナシ。

D3-6　ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA
対象箇所の本仕様部分の全面を張替え。（2階ラウンジの一部（5㎡）を加える）

D3-7　ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB
対象箇所の本仕様部分の全面を張替え。（守衛室はP系ｼｰﾄに仕様変更）

D3-8　ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ
対象箇所の本仕様部分の全面を研磨の上、UC再塗装。
1階ホワイエ1サッシ際のバーチ無垢材（1,350×130×15mm、計6箇所）を張替え。

D4　楽屋　A-62、64
大･中楽屋ｸﾛｰｾﾞｯﾄの扉を外された開口（展開図に朱色でハッチングされた部分）の小口に
ﾊﾞｰﾁ無垢材（50×30mm、計46.2m、UC塗装）を張付け。
大楽屋化粧カウンター照明ボックス-Aの上部にブラケット（3箇所）を新設。

E　建具　A-14、15、86～93
1・2階平面図に朱色か水色でハッチングされた部分に面する建具を対象とする。
建具位置図と建具表で灰色にハッチングされていない建具を対象とする。

E1-1　鋼製建具SOP
対象建具の本仕様部分の全面を表面調整の上、再塗装。

E1-1'　鋼製建具木練付珪酸カルシウム板UC張付け、鋼製建具有孔珪酸カルシウム板SOP張付け
対象建具の本仕様部分の全面を表面調整の上、再塗装。
SD-113は損傷が激しいため、木練付珪酸カルシウム板の全面を張替え。

E1-1"　鋼製窓SOP
SW-202Bは一時取外し、AW202Aとの間の腰壁甲板の一部（図面に水色でハッチングされた部分）A-57
を補修の上、部分再塗装。

E1-2　木製建具SOP
対象建具の本仕様部分の全面を表面調整の上、再塗装。

E1-3　ｼｬｯﾀｰ
駆動部は本改修の対象外とする。

E1-4　ｼｬｯﾀｰSOP
対象建具の本仕様部分の全面を表面調整の上、再塗装。

E1-5　自動ﾄﾞｱ
開閉装置は本改修の対象外とする。

F　その他

F1　ﾎｰﾙ椅子　CH01～04
張地と座自動緩起立機構の調整。（25席：全1,209の約2%）

F2　ｻｲﾝ（外構）　SN12～41
文字・記号の20%をシルク印刷と同等以上の耐候性を有する印刷方法で再印刷するか、
カッティングシートで代替えとし、周辺案内図（計8箇所）はラッピングシート仕様とする。

建築

図面番号	図面名称	縮尺
A-00	中表紙【建築】	-
A-02	敷地案内/設計概要/外部仕上表	-
A-03	特記仕様書 1	-
A-04	特記仕様書 2	-
A-05	特記仕様書 3	-
A-06	特記仕様書 4	-
A-07a	工事区分表 1	-
A-07b	工事区分表 2	-
A-08n	内部仕上表 1	-
A-09n	内部仕上表 2	-
A-10	仕上仕様図 1	1/5
A-11	仕上仕様図 2	1/5
A-12	全体配置図	1/300
A-13	地階平面図	1/200
A-14	1 階平面図	1/200
A-15	2 階/舞台上部平面図	1/200
A-16	屋根伏図	1/200
A-17	立面図 1(東西面)	1/200
A-18	立面図 2(南北面)	1/200
A-19	断面図	1/200
A-20	1 階天井伏図	1/200
A-21	2 階天井伏図	1/200
A-22	短計・断面詳細図 1(リハーサル・楽屋)	1/100
A-23	短計・断面詳細図 2(ホール通路・搬入口)	1/100
A-24	短計・断面詳細図 3(ホール・ホワイエ)	1/100
A-25	短計・断面詳細図 4(ホール・ロビー階段)	1/100
A-26	短計・断面詳細図 5(ラウンジ・リハーサル)	1/100
A-27n	外部廻り詳細図 1	1/5
A-28n	外部廻り詳細図 2	1/5
A-29n	外部廻り詳細図 3	1/5
A-30n	外部廻り詳細図 4	1/10,1/5

図面番号	図面名称	縮尺
A-41	ホール客席詳細図 1(1,2 階平面図)	1/100
A-42	ホール客席詳細図 2(1,2 階天井伏図)	1/100
A-43	ホール客席詳細図 3(展開図)	1/100
A-56	2 階リハーサル・練習室ゾーン詳細図 1	1/100
A-57	2 階リハーサル・練習室ゾーン詳細図 2	1/60,他
A-58	2 階リハーサル・練習室ゾーン詳細図 3	1/60,他
A-59	2 階リハーサル・練習室ゾーン詳細図 4	1/50,他
A-60	2 階リハーサル・練習室ゾーン詳細図 5	1/50,他
A-61	2 階リハーサル・練習室ゾーン詳細図 6	1/50,他
A-62	1 階楽屋・事務ゾーン詳細図 1	1/100
A-63	1 階楽屋・事務ゾーン詳細図 2	1/100
A-64	1 階楽屋・事務ゾーン各部詳細図	1/50,他
A-65	ホワイエ・ラウンジ廻り詳細図 1	1/100
A-66	ホワイエ・ラウンジ廻り詳細図 2	1/100
A-67	ホワイエ・ラウンジ廻り詳細図 3	1/100
A-74n	階段詳細図 1（ホール階段 1・2）	1/50,1/5
A-75	階段詳細図 2（ロビー階段）	1/50,1/5
A-78	階段詳細図 5（ホール階段 3・4）	1/50,1/5
A-79	階段各部詳細（手摺・段鼻）	1/10,1/5
A-86	建具位置図 1（1 階・2 階）	1/200
A-87	建具位置図 2（地階・塔屋）	1/200
A-88n	建具表 1（FSD）	-
A-89n	建具表 2（FSD・SD）	-
A-90n	建具表 3（SD・PSD）	-
A-91	建具表 4（LD・WD）	-
A-92	建具表 5（SH・SW・AD・SWD）	-
A-93	建具表 6（AW・AG）	-
A-94	建具姿図 1	1/100
A-95	建具姿図 2	1/100
A-99	雨水排水・防水範囲図 2（2 階・屋根）	1/200

建築概要

計画概要

建物名称	三原市新文化施設（仮称）
建築地	三原市宮浦2丁目1番地1号　宮浦公園内
主要用途	劇場
工事種別	別棟　増築
工期	平成17年9月　－　平成19年7月

敷地概要

敷地面積	39,553.68　m²
用途地域	商業地域
防火地域	防火地域指定なし
地域・地区	都市公園内　　高度地区指定なし
容積率	400%
建蔽率	80%（都市公園内の限度面積＝都市公園敷地面積*12%=4746.44　m²）
日影規制	5mライン：5時間　10mライン：3時間　平均地盤より4m（但し敷地外に日影が出る場合は「第一種住居地域」として扱う）
前面道路幅員	東側　5m　　西側　18m　　南側　10.5m　　北側　22.4m
斜線制限	道路斜線　1.5W　水平距離20m
	隣地斜線　2.5W　立上り31m
	北側斜線　指定なし

構造・規模

構造	鉄筋コンクリート造　　鉄骨鉄筋コンクリート造　　鉄骨造
基礎・杭	PHC杭、中堀り拡大根固め工法
階数	地上2階　地下1階　塔屋有り
最高の高さ	最高高さ　平均地盤面+31.252m　（1FL+30.950m）
最高の軒の高さ	最高軒高　平均地盤面+30.799m　（1FL+30.497m）
	設計GL=+1.34（測量図レベル）=1FL−60mm　　平均地盤面=1FL−302=設計GL−242
駐車場	屋外駐車場96台+12台（サービスヤード）=108台　屋内駐車場なし

面積

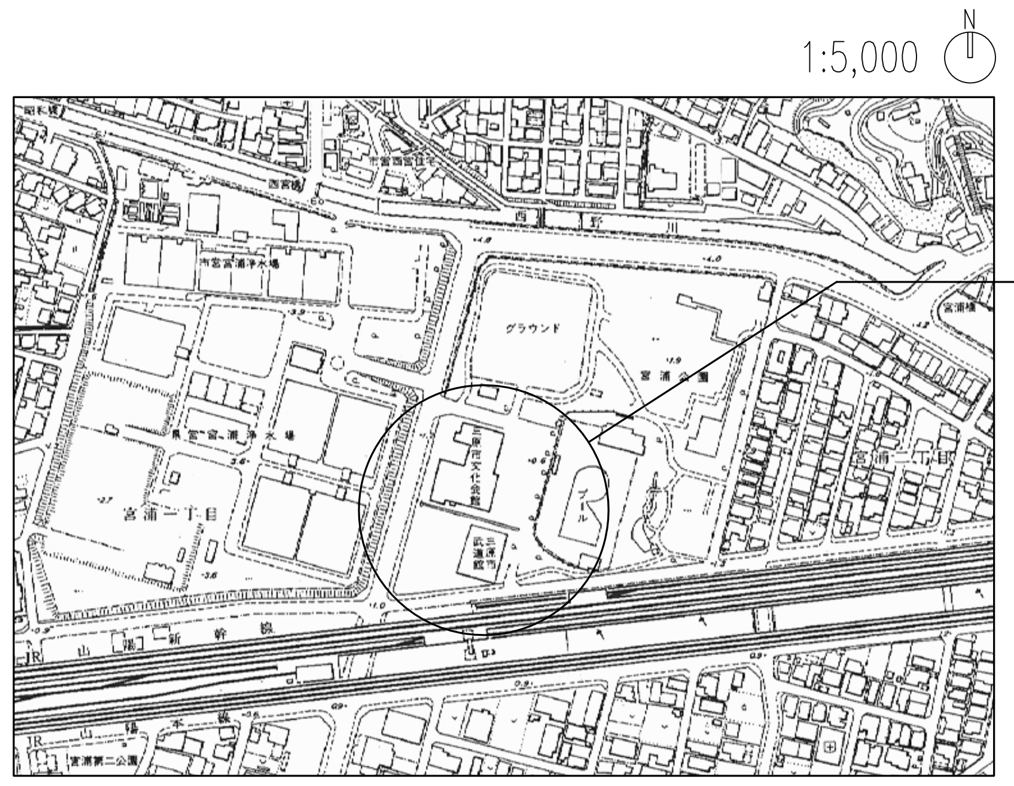
建築面積	新築部分　4,054.03 m²（新文化施設）　　公園内既存部分　115.98 m²（東屋・便所・管理棟）
	計　4,170.01 m²
建蔽率	10.54%　<　都市公園敷地面積*12%=4746.44 m²
床面積	新築部分　7440.24　m²（新文化施設）　　公園内既存部分　167.48　m²（東屋・便所・管理棟）
	計　7,607.72 m²
容積率	19.23%　<　400%

床面積

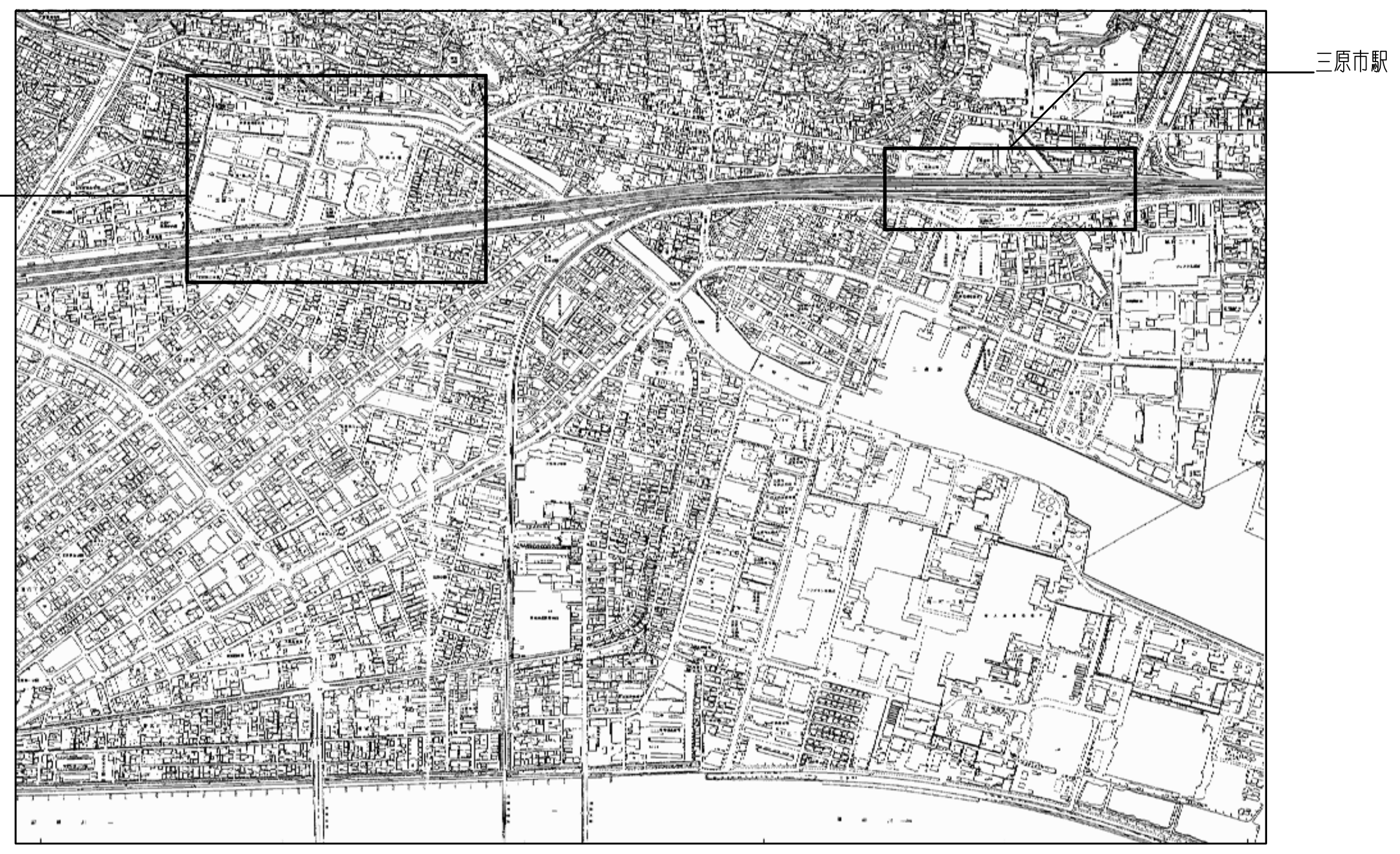
階	容積対象部分（m²）			階高（mm）	用途
地階	1,425.52			6250	空調機械室、電気室、発電機室、熱源機械室、消火ポンプ室、中央監視室
1階	4,078.57			5460	ホール客席、舞台、ホワイエ、楽屋、事務室、会議室
2階	1,689.70			3700	ラウンジ、休憩ロビー、ホール客席、リハーサル室、練習室
塔屋	246.45			5955	排煙機室、換気機械室

案内図

1:5,000



広域図



外部仕上表

部　位	場　所	仕　上	備　考　（別途工事）
□　屋　根	ホール客席部	ステンレスt0.4　竪ハゼ溶接工法　ダル仕上げ　（ER1）	
	リハーサル・練習室エリア	ステンレスt0.4　竪ハゼ溶接工法　ダル仕上げ　（ER1）	
	舞台・休憩ロビー・塔屋階屋根	軽量コンクリート金ゴテ仕上げ（アスファルト防水・外断熱）（ER2a）	避雷針
	2階ラウンジ屋根（一部休憩ロビー上）	硬化砕石仕上げ（アスファルト防水・外断熱）（ER2c）	
	事務・楽屋エリア屋根	磁器質タイル（アスファルト防水・外断熱）（ER2b）	
□　床			
	1階中庭、1階デッキテラス	ボードデッキt20（EF1）	
	2階屋上テラス	磁器質タイル（アスファルト防水・外断熱）（ER2b）	
	地階ドライエリア、北テラス	軽量コンクリート金ゴテ仕上げ（アスファルト防水・外断熱→北テラスのみ）（ER2a）	
	置外機置場		
□　軒　天	北エントランス	アルミ複合板t4.0　FP焼付（EC1）	
	東エントランス	アルミ複合板t4.0　FP焼付（EC1）	
	サブエントランス庇	アルミ複合板t4.0　FP焼付（EC1）	
	搬入口庇	アルミ複合板t4.0　FP焼付（EC1）	
□　外　壁	舞台（フライタワー）	南北面：大型セラミックタイル（EW5）	
		東西面：コンクリート打放し（杉板型枠）フッ素クリヤー（EW1）　　西面一部 花こう岩（EW7）	
		塔屋階内側壁面：コンクリート打放し（A種）フッ素クリヤー（EW2）	
	低層部南北面	コンクリート打放し（杉板型枠）フッ素クリヤー（EW1）+アルミサッシュ、　アルミサッシュ	
	搬入口脇西面	コンクリート打放し（杉板型枠）フッ素クリヤー（EW1）　一部花こう岩（EW7）	
	2階リハーサルエリア	アルミ複合板t4.0（EW3a）FP焼付、　アルミスパンドレル（EW4a）FP焼付塗装、　アルミサッシュ	
		押出成型セメント板t60（EW6）FP焼付	
	EVシャフト	アルミ複合板t4.0（EW3b）FP焼付	
	屋外機置場（別棟）	外側：コンクリート打放し（杉板型枠）フッ素クリヤー（EW1）	
		内側：コンクリート打放し（A種）フッ素クリヤー（EW2）	
□　開口部	1階一般部	アルミサッシュ（一部片開き窓）B−1	
		東面：フロートガラス　または　調光ガラス	
		南北面：フロートガラス　または　調光ガラス	
	1階楽屋部	アルミサッシュB−1、突出し窓	
		南北面：調光ガラス	
	1階中庭周り	アルミサッシュ（一部片開き窓）B−1	
		フロートガラス	
	2階リハーサル・練習室	アルミサッシュ（FIX）B−1	
		フロートガラス　または　調光ガラス	
	2階休憩ロビー	アルミサッシュ（一部片開き窓）B−1	
		フロートガラス	
	2階ラウンジ	アルミサッシュ（一部片開き窓）B−1	
		フロートガラス	
□　雑	外部手摺一般	ステンレスHL仕上げ	
	ルーバー屋根	アルミルーバー B−1	
	ロビー階段直上部	アルミ製トップライトB−1	
	ハト小屋	コンクリート打放し（A種）フッ素クリアー（EW2）、　アルミガラリB−1	
	煙道陣笠	ステンレス板t2.0、ステンレスFB　HL仕上げ	
	低層部パラペット・軒屋根	アルミパネルt2.0曲げ加工　共にB−1	

工事名称				年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	敷地案内図/設計概要/外部仕上表	−	A02Gaiyo	A−02

建築工事特記仕様書

工　事　概　要

1	工事名称	三原市新文化施設(仮称)新築工事		
2	工事場所	広島県三原市宮浦２丁目１番１号 宮浦公園内		
3	地域地区	都市計画区域内、商業地域　都市公園内		
4	敷地面積	39,553.68 ㎡		
5	建物用途	劇場	建築基準法・別表第１	(1)項
			消防法施工令・令別表第１	(1)-イ項
6	建物概要	構造	ＳＲＣ造、ＲＣ造、Ｓ造	
		階数	地上２階、地下１階	
		最高高さ	１ＦＬ＋30.95m　平均地盤面+31.252m	
		建築面積	4,249.95 ㎡（新文化施設 4,054.03 ㎡、屋外機置場 79.94 ㎡、公園内既存 115.98 ㎡）	
		延床面積	7,607.72 ㎡（新文化施設 7,440.24 ㎡、公園内既存 167.48 ㎡）	

工　事　仕　様

1　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（平成 16 年版）(以下｢標準仕様書｣という）による。

2　特　記　事　項

（１）項目および特記事項は◎印を適用する。

（２）特記事項に記載の（．．）内の番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（３）製造所・製品については、記載のメーカー・製品と同等以上とし、あらかじめリストを作成し、監督員の承諾を受けるものとする。又施工業者についてもあらかじめ下請業者リストをを作成し、監督員の承諾を受けるものとする。

０１　一般共通事項

（１）一般事項

◎ 適用範囲
◎本特記仕様書は、設計図及び標準仕様書に記載のない事項を記載するものである。各工事種目において、他の工事との関連ある事項は、各々該当記載事項を参照する。

◎ 疑義
◎本工事の設計図書に関する疑義は、工事契約前に質疑応答書をもって確かめておくものとする。
◎設計図書に記載なくとも、外観上、構造上、設備上、当然必要と認められるものは、監督員の指示に従い、請負金額の範囲内において施工するものとする。

◎ 優先順位
◎本工事の設計図書等の優先順位は下記による。
１．質疑応答書
２．特記仕様書
３．設計図
４．公共建築工事標準仕様書 平成 16 年版
５．公共規格及びこれに準ずる規格

◎ 適用基準等
◎建築工事標準詳細図（平成 13 年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
◎溶接工作基準・同解説（Ⅱ～Ⅸ）日本建築学会
◎鉄筋コンクリート構造配筋要領（平成 11 年版）建設大臣官房官庁営繕部監修
◎建築鉄骨設計基準及び同解説（平成 10 年版）建設大臣官房官庁営繕部監修

（２）工事関係図書

◎ 提出図書
◎必要関係書類（届出）等は、遅滞なく関係機関に提出のこと
◎本工事の施工に伴う提出図書は、下記に定める他、必要に応じて監督員と協議し提出する。また提出部数は監督員と協議のこと。

提　出　図　書	提　出　時　期	備　　考
工事請負契約書 工事着手書 工事総合工程表 現場代理人及び監理技術者届	契約後速やかに 〃 〃 〃	控えとなるもの ネットワーク工程表 経歴書・資格証明書
下請負者届（施工業者） 製造所・製品リスト 仮設計画書・計画図 安全管理計画書 施工計画書・計画図 総合図（各工事調整図） 施工図・製作図	その都度 〃 契約締結後１ヶ月以内 〃 監督員と協議のこと 施工図提出前 監督員と協議のこと	 各工事毎 各工事毎
工事出来高金支払願書 工事実施・予定工程表 工事進捗状況報告書 工事日誌 打合せ会議議事録	その都度 １週間毎 １カ月毎 〃 その都度	 工事進捗表・写真 日報添付
官公署届出書類控 官公署許認可書	その都度 〃	
工事用材料使用承認願 材料検収簿 工事用材料等試験成績報告書	その都度 〃 試験後 10 日以内	
鍵リスト 完成図等	監督員と協議のこと 完成後速やかに	鍵箱に添付 （7）完成図等参照

◎ 総合図の作成
１．工事の着手に先立ち、各施工図の基準となる総合図（CAD）を作成する。
２．施工図に先立ち、建築・設備・別途発注工事の内容をすべて総合図に盛り込んで、これらの接点の細部調整を行い、監督員の承諾を受ける。
３．ランドスケープについても同様に施工図に先立ち、現況、外構、建築・外構設備・別途発注工事の内容をすべて盛り込んで総合図を作成し、これらの接点の細部調整を行い、監督員の承諾を受ける。

（３）工事現場管理

◎現場員
◎請負者は契約後速やかに下記の現場員候補者を選出し、各員の経歴・資格等を示した人員表を監督員に提出し承諾を受ける。
・現場代理人　・監理技術者　・工事主任技術者　・工事技術者　・図面担当技術者

◎ 電気保安技術者
◎適用する　(1.3.3)

◎ 交通安全管理
◎関係機関と充分打合せの上、交通整理員を配置して安全管理を行う。　(1.3.8)

（４）材　　料

◎ 材　料　等
◎本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの及び建築材料の製造所・製品は、材料及び製造所一覧表による。
ただし、同等以上とする場合は、監督員の承諾を受ける。
◎ホルムアルデヒド等を含む材料については、含有量の少ない材料の使用に努めること。また、塗料・接着剤においては、塗布量に留意し、適切な乾燥時間の確保と十分な換気に努めること。

◎ 特別な材料の工法
◎標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の指定仕様・工法によることができる。

◎ ホルムアルデヒド等の室内濃度の測定
◎ホルムアルデヒド等の室内濃度を測定し、その結果を報告すること。
測定化学物質名
・　ホルムアルデヒド　・アセトアルデヒド　・トルエン
・　キシレン　・エチルベンゼン　・スチレン
◎測定方法：・『営繕工事におけるホルムアルデヒド等測定要領』による。
◎測定箇所：主要居室、その他監督員の指示による。

◎ 材料試験
◎本工事に使用する材料のうち、標準仕様書に記載されているものの外、監督員から指示のあるものに関しては、その成績表を提出し、又は監督員の認める試験所で試験を行い、確認を受けなければならない。

◎ 発生材の処理等
◎発生材および産業廃棄物の処理は現場説明書による。

（５）施　　工

◎ 技能士
◎適用する。　(1.5.2)

◎ 見本施工
◎実施する。詳細は「２４ 追加特記事項」のモックアップサンプルによる。

◎ 責任施工
◎特記事項中、責任施工または保証書の指示あるものは請負者及び専門工事業者（防水工事においては所属する組合又は材料メーカーを加える）が連帯して保証書を提出すること。

（６）工事検査及び技術検査

◎ 工事検査・技術検査
◎標準仕様書及び監督員が別に指示するものについて行う。　(1.6.1)（1.6.2)

（７）完成図等

◎ 工事写真
◎工事施工状況写真を工事完了後整理の上、監督員に２部提出する。
デジタルカメラ使用の場合は、監督員と協議のこと。

◎ 完成写真
◎下記のものを監督員に提出する。　(1.7.1)

	撮影カ所数	部数	原版の大きさ
カラー８×10（アルバム）	外部内部合計： 40 カ所	３部	100×125 以上
ポジフィルム	上記撮影箇所	１部	原版のコピー
カラースライド	上記撮影箇所	１部	24×36

◎アルバムの体裁：黒表紙金文字入のアルバムに貼付
◎撮影業者および撮影箇所は監督員と協議のこと。

◎ 完成図等
◎完成後 15 日以内に下記の完成図を提出すること。

・原図 ・ＣＡＤデータ（ＣＤ-Ｒ）	・１部 ・２部
・原図サイズ陽画焼製本（表紙文字入り）	・２部
・縮小版Ａ３白焼製本（表紙文字入り）	・４部

◎主要な施工図、製作図　・縮小第二原図　（Ａ３版）　：一式２部
・縮小背　貼り製本（Ａ３版）（表紙文字入り）　：一式２部

◎ 保全に関する資料
◎下記のもの、およびその他監督員が指示するものを提出する。

・建築物等の保全に関する説明書 ・機器取扱い説明書・保守点検方法説明書 ・機器性能試験成績書 ・主要な材料や機器の一覧表、仕上材品番リスト ・予備品目録一式 ・非常時連絡先、主要な下請業者、材料納入業者一覧表 ・メンテナンスおよび清掃マニュアル	一式１部

（８）その他

◎ 関連他工事
◎敷地内において本工事と同時期に行われる関連する他工事は下記の通り。
また本工事に先立ち、既存建物の解体工事が施工される。
・機械設備工事　・電気設備工事
・舞台特殊設備工事　・公園外構工事　・南側歩道拡張工事

◎ 別途工事との関係
◎関連他工事に記載された別途工事の工事工程及び納まり等に関して、別途工事施工業者と密接に連絡し、調整にあたらなければならない。
◎別途工事との工事区分は工事区分表による。

◎ 基準レベル
◎設計１ＦＬ±0＝1.40＊　ＧＬ±0＝1ＦＬ－60＝1.34＊（＊は測量図レベル）

◎ 耐荷重及び耐外力
◎建築基準法に基づき定められた区分等
・基準風速：Ｖ=32(m/s)　・地表面粗度区分：Ⅲ
・綜合耐震計画　Ⅱ類　重要度係数(Ｉ)　1.25　地震時地域係数　Ｚ＝0.9
・積雪区分　告示 1455 号　広島県建築基準法施行細則による。

０２　仮設工事

◎ ベンチマーク
◎ベンチマーク（ＢＭ）の設置は、監督員の立合いのもとに行う。

◎ 監督員事務所
◎規　模：120 ㎡程度　(2.3.1)
事務所は工事打合せに便利なように、請負事務所に近い位置とする。
各請負者協議の上、監督員事務所に係わる諸経費は、請負者が負担する。
◎仕　上：床はニードルパンチ、その他は(表 2.3.2)による。
◎設　備：冷暖房設備、湯沸、便所、通信（電話、ファックス)、コピー、消火器
サーバークライアント型ネットワークによるコンピューターシステム
(サーバー１台、端末４台、出力機器２台(１台は A1 用)、ルーター、ＣＡＤ・ワープロ・表計算等のアプリケーション、その他)　データ通信用回線
◎備　品：机、椅子、書棚、見本棚、ホワイトボード、ロッカー、製図板、靴箱、Ｚライト、懐中電灯、保安帽、防寒着、作業着、長靴、冷蔵庫、その他

◎ 工事用水
◎有償にて利用できる。

◎ 工事排水
◎工事排水に有害物が含まれないことを確認すること。

◎ 工事用電力
◎請負者の引き込みとする。

◎ 仮　囲　い
◎仕　様：鋼製、高さ３m程度、塗装仕上
◎範　囲：建築外構施工範囲
◎その他：仮囲いに完成予想パースまたは模型写真を掲示する。

◎ 看　　板
◎本工事現場に掲示する看板は、種類・大きさ・書体・仕上・取付位置など、あらかじめ監督員の承諾を受けて設置する。

◎ 障害物の処理
◎工事上撤去・移設を要する軽微なものは、本工事の範囲とする。

◎ 仮設建物等
◎現場事務所、倉庫、下小屋、洗車場等の位置は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。

◎ 保護設備
◎本工事の施工に当たり、付近住民・近隣建物・工作物・通行人に対して損害を与えないように、必要な保護設備及び誘導標識を計画し、監督員及び各関係者の承諾を得て実施する。 万一損害を与えた場合は、速やかに応急手当・復旧工事をし、これに要した費用は請負者の負担とする。

◎ 掃除・復旧
◎工事完了後、建物引渡し前に全体の掃除を行い、工事による公道の損傷部は完全に復旧する。

０３　土工事

◎ 一般事項
◎工事着手の前に根切り方法、山留め工法、排水方法、使用機器および重機等を記した施工計画書を提出し、監督員の承諾を得る。

◎ 埋戻し及び盛土の種別
◎Ｂ種：根切土および杭残土は建築外構工事で利用するほか、公園部造成（公園外構工事）で利用する。　(3.2.3)(表 3.2.1)

◎ 建設発生土の処理
◎自由処分　(3.2.5)

◎ 山留め
◎対象箇所：構造図による。　(3.3.1-3)
◎工　法：A 部分　：ソイルセメント柱列壁（SMW)　H=約 12m
B 部分　：シートパイル　H=約
C 部分　：親杭横矢板　H=約
◎その他　：図示（地階平面図）の山留め面に地中防振ゴム、地中防振材（発泡ポリオレフィンブロック）を設置する。
その仕様については音響関連工事を参照のこと。

０４　地業工事

◎ 試　験　杭
◎構造図による。　(4.2.2)

◎ 載荷試験
◎杭：行わない　地盤：行わない　(4.2.3)（4.2.4)

◎ 既製コンクリート杭
◎詳細は構造標準図による。　(4.3.1～5)

施工箇所	構造図による	構造図による
杭の種別	高強度プレストレストコンクリート杭(PHC)	外殻鋼管付コンクリート杭(SC)
規　　格	評定品	評定品
区　　分	ストレート杭：A種、B種 節付杭　：A種	SKK490
寸法(D×L)mm×m	構造図による	
長期設計支持力(Kn×本)	構造図による	
先端部形状	開放形	
継手の工法	無溶接継手	
杭頭の処理	構造図による	

◎工法：ＥＸ ＭＥＧＡＴＯＰ工法　国土交通大臣認定　支持地盤は図示による。

◎ 砂利地業
◎材　料：再生クラッシャーラン　厚 50 ㎜　(4.6.2)
◎施工箇所：図示による。

◎ 均しコンクリート地業
◎図示なき場合は厚さ 50 ㎜　(4.6.5)

◎ 床下防湿層
◎土間スラブおよび土間コンクリートの直下に設置する。　(4.6.2)（4.6.6)
◎防湿層はポリエチレンフィルム等で 0.15ｔ以上とする。

０５　鉄筋工事

◎ 鉄筋の種類　(5.2.1)

規格名称	種類の記号	径(mm)＝呼び名
鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295A	D10　D13　D16
鉄筋コンクリート用棒鋼	SD345	D19 以上

◎ 溶接金網　(5.2.2)

寸　　法	施工箇所
6.0φ×150×150	防水押さえ保護コンクリート部
6.0φ×100×100	浮き床のコンクリート部

◎ 継　　手
◎呼び名 19mm 以上の 柱および梁の主筋：ガス圧接（SD345)　(5.3.4)

◎ 鉄筋のかぶり厚さ
◎かぶり厚さは構造標準図による

◎ 圧接完了後の試験
◎試験方法：超音波探傷試験　検査機関と契約した契約書の写しを提出する。(5.4.9)

◎ 梁貫通口の補強
◎詳細は構造標準図及び構造仕様書による。

０６　コンクリート工事

◎ コンクリートの種類
◎レディーミクストコンクリート　類別：Ｉ類　(6.1.3)（表 6.1.1)

◎ コンクリートの強度
◎設計基準強度：24 N/mm²　軽量コンクリート：18 N/mm²　(6.1.4)

◎ スランプ
◎柱、梁、スラブ、壁：１８　基礎、基礎梁、土間スラブ：１５　(6.2.3)

◎ コンクリートの仕上がり
◎仕上がり種別　Ａ種：打ち放し仕上げ面　(表 6.2.3)（6.2.5)
Ｂ種：塗り下面　Ｃ種：打ち放しＣ種面
◎コーン等による穴の仕上：打放し仕上の場合は、防水剤入りモルタルを面内に仕上げる。
◎仕上りの平たんさは（表 6.2.4）及び（15.3.2）による。
◎打放し仕上の打ち増しは図示による。表記なき場合は 20mm とする。

◎ 塩化物量及びアルカリ総量
◎塩化物イオン量：0.3kg/　以下　(6.5.4(a))
◎アルカリ総量：総量 3kg/　以下　(6.5.4(b))

◎ 打込み及び養生
◎コンクリートの打込みに先だって、設計・施工条件を十分考慮し、適切なる施工計画書を作成し、監督員の承諾を受けるものとする。　(6.8.3-4)

◎ 型枠(せき板)の種別　(6.9.3)

種別	せき板の材料	施工箇所（詳細は図示による）
杉板	杉小幅板バラ板(厚 15、幅 75～150) 杉小幅板本実　(厚 15、幅 100 程度)	外壁 内壁
(1)	コンクリート型枠合板の日本農林規格による表面加工品：A 種	上記以外の打放し仕上の部分
(2)	コンクリート型枠合板の日本農林規格による B-C：B および C 種	モルタル仕上げ部分及び機械室、地下ピット、DS、EPS 等

◎塗　装：合板の表面加工はウレタン樹脂塗装２回塗り
杉小幅板の箇所は水性剥離材２回塗り
◎合板型枠の転用回数は監督員と協議のこと
◎杉板型枠についての節・色合わせ等は監督員と協議のこと

◎ 試　　験
◎コンクリートの強度試験は標準仕様書（6.10.4～6.10.6）による。
◎採取した試験体は、工事現場等の請負者の管理下にある場所に保管する。

◎ 特殊工法
◎トラス鉄筋メッシュ型枠工法：専門業者の責任施工とする。
◎施工箇所：ホール客席部のドーム状屋根躯体

◎ その他
◎打放し仕上部のコーン割付及び誘発目地の割付は、施工図により監督員の承諾を受ける。
◎構造図に示されてなくても、建築図に含まれている手摺壁・下り壁等は雑ＲＣとして扱う。

◎ 軽量コンクリート
◎種別：１種　(6.11.1)
◎比重：1.9t/　設計基準強度：18 N/mm²

◎ 無筋コンクリート
◎設計基準強度：18N/mm²　(6.14.1～3)
◎スランプ：15cm
◎適用箇所：6.14.1(C)による。

０７　鉄骨工事

◎ 鉄骨製作工場
◎全国鐵構工業連合会（全構連）Ｈグレード以上の工場にて製作すること。　(7.1.3)

◎ 施工管理技術者
◎適用する。(１級鉄骨製作管理技術者)　(7.1.4)

◎ 鋼材の種別
◎材質：JIS G 3101（一般用構造圧延鋼材）　SS400　(7.2.1)
JIS G 3106（溶接構造用圧延鋼材）　SM490A
JIS G 3444（一般構造用炭素鋼管）　STK400
JIS G 3466（一般構造用角形鋼管）　STKR400

◎ 高力ボルト
◎種別：トルシア形高力ボルト

◎ アンカーボルト
◎材質：構造用　SNR400　建方用 SS400　(7.2.4)
◎建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法：Ｂ種　(表 7.10.1)

◎ 溶接部の確認
◎１級溶接施工管理技術者が確認し、報告書を提出する。　(7.6.10)

◎ 溶接部の試験
◎種　別：超音波探傷試験　(7.6.11)
◎箇所数：構造標準図による。
◎超音波探傷の検査機関と請負者が契約した契約書の写しを提出する。

◎ 耐火被覆
◎種　別：ロックウール＋セメント、湿式吹き付け工法　(7.9.2)
◎施工箇所：原則として耐火被覆が必要な隠蔽部の鉄骨
◎所要性能：１時間耐火

◎ 耐火塗料
◎仕　様：発泡性耐火被覆：大臣番号：柱：国住指 第 930 号 FP060CN-9400
梁：国住指 第 931 号 FP060BM-9345
◎耐火性能：１時間耐火
◎表面仕上：見えがかり部は平滑に仕上げる。仕上げ塗装（フタル酸樹脂塗装・ＦＥ）
◎施工箇所：鉄骨丸柱

◎ 柱底均しモルタルの工法
◎Ａ種　(表 7.10.3)
無収縮モルタルの製造所：評価名簿による。

◎ 溶融亜鉛めっき工法
◎亜鉛めっきの種別：Ａ種　(7.12.3)(表 14.2.2)
溶融亜鉛めっきの付着量は、表 14.2.2 の最小板厚による適合量とする。
素地ごしらえは、JISH9124 溶融亜鉛めっき作業標準による。
◎施工箇所：図示による。

◎ 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合
◎摩擦面の処理：りん酸塩処理（すべり係数値 0.4 以上)　(7.12.4)

◎ サッシ力骨・その他
◎鋼材の種別および詳細形状は建具詳細図、構造図による。
◎構造図に示されていなくても、建築図に含まれている下地鉄骨・胴縁等は雑鉄骨として扱う。

工事名称		年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	特記仕様書1	-	A03Tokki01	A-03

０８　コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

◎コンクリートブロック　（表 8.3.1)

適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分
間仕切壁、地下二重壁、塀	空洞ブロック16
衛生配管用裏積みブロック	空洞ブロック08

◎施工箇所および厚さは図示による。

◎ 押出成形セメント板　◎形状種類：フラットパネル、タイプ II（ノンアスベストタイプ）　(8.5.2)
◎厚 60㎜（壁一般部）、15㎜（防水立ち上がり保護部）

０９　防水工事

◎ アスファルト防水　(9.2.2～5)(9.3.2～4)(表 9.2.1～11)(表 9.3.1)

種　　別		施 工 箇 所
屋根保護防水 密着断熱工法	ＡＩ－１	雨水配管系統図および防水範囲図による
改質アスファルト露出防水	ＡＳ－１	
屋内防水密着工法	Ｅ－２	便所、シャワー室

◎アスファルトの種類：３種　(9.2.2)
◎防水保護層は　(1) 溶接金網＋軽量コンクリート
　(2) 硬化砕石押さえとする。硬化砕石は６号砕石＋アクリル系散布材とする
◎外断熱工法の断熱材はポリスチレンフォーム（JIS A9511）Ｂ類３種、厚 25 ㎜
◎目地材料：成形伸縮目地材＋発泡ポリスチレン系芯材　(表 9.2.1)

◎ 地下防水シート　◎種別工程：ベントナイト+特殊改質アスファルト複合シート　2.5ｔ　先付け工法
◎施工箇所：一部地下外壁

◎ 塗布防水　◎種　　別：エポキシ樹脂系耐食性塗布防水　　◎施工箇所：汚水槽・雑排水槽

◎ 漏水試験　◎屋根防水、防水については水張り試験を行う。
◎試験箇所：監督員が指示する部分で行う。

◎ シーリング　◎種　　別：被着体によるシーリングの種別は(表 9.6.1)による。
◎施工箇所：図示による。

◎ 止水版　◎種　　別：水膨張ゴム系止水板(ステンレスメッシュ入)
◎施工箇所：地下部コンクリート打継ぎ箇所

◎ 施工保証書　◎次の期間の施工保証書を提出する。　アスファルト防水：10 年　シート防水：10 年

１０　石工事

◎ 天然石張り　◎品　　質：壁、床とも１等品
◎表面仕上：(表 10.2.1)(表 10.2.2)による。
◎石の種類

名称	仕上	石種程度（産地）	標準割付・石厚
ライムストン壁	粗面仕上げ	モカクリーム程度（ヨーロッパ産）	277×1200　40t 171×1200　40t
花崗岩　壁 ~~花崗岩　床~~	水磨き ~~ＪＰ~~	花崗岩（中国産）グレー ~~花崗岩（中国産）~~	675×1350　25t ~~675×　675　25t~~

◎施工箇所：図示による。

◎ 保護（防汚）塗装　◎シリカ系浸透性撥水剤　記号：ＳＣ
◎施工箇所：ライムストンの箇所

１１　タイル工事

◎ 伸縮調整目地及び誘発目地　◎屋内タイルの入り隅部、建具枠廻り、設備器具取り合い　(11.1.3(b))

◎ タイルの材料　◎種　　別　(11.2.1)

施工箇所	名称	形状寸法	生地	仕様
外壁	大型セラミック	140x1350x40t	炻器質	特注品特注色
テラス床	磁器質タイル	300x300x9~13	磁器質	既製品標準色
厨房･シャワー室床壁	半磁器質タイル	200x200	壁:陶器質 床:炻器質	既製品標準色
客用便所床	テラゾータイルＡ	400x400x13	---	既製品標準色
客用便所壁	テラゾータイルＢ	400x400x12	---	既製品標準色
一般便所	大判タイル	397x397x12	磁器質	既製品標準色

◎大型セラミックタイル：押出し成形焼成特注品、ハンギング金物留め工法
◎テラゾータイルの種類：テラゾータイルＡ　石英石入り　400 角　厚 13mm
　テラゾータイルＢ　大理石入り　400 角　厚 12mm

◎ 壁タイル張り工法　◎接着剤張り　便所：タイプ II　シャワー室：タイプ I　(表 11.2.2)
◎タイルの試験張り：行わない

１２　木工事

◎ 木材の表面仕上げ　◎(表 12.1.1)のＡ種

◎ 木材の含水率　◎(表 12.2.1)のＡ種

◎ 造作材の等級　◎(表 12.2.2)のＡ種

◎ 樹種および仕様　◎無垢材、集成材、練付等の仕様および形状寸法の詳細は図示による。

主な施工箇所	仕　様	樹　種
ホール、ホール階段ﾗｳﾝｼﾞ、練習室１壁	・ＳＣＢ板木練付ＵＣ	バーチ(北欧産)
リハーサル室壁	・木リブ着色ＵＣ ・合板木練付着色ＵＣ	スプルス無垢リブ材 バーチ(北欧産)

※代用樹種については監督員と協議のこと

◎ フローリング　◎施工箇所：ホール客席、ホワイエ、ホール階段、リハーサル室、練習室など
◎仕 上 材：メープル単層本実　厚 15 ㎜　幅 75 ㎜、長さ 600 ㎜以上の乱尺、釘留め工法
◎表面仕上：着色ポリウレタン塗装（光重合ポリウレタン塗装 UV 処理３H 程度）

◎ 縁甲板　◎施工箇所：舞台、袖舞台
◎仕 上 材：ひのき無節集成材 本実　厚 30 ㎜ 幅 100 ㎜程度、釘留め工法
◎表面仕上：ワックス塗り

◎ ボードデッキ　◎施工箇所：デッキテラス、中庭 1,2
◎仕 上 材：ジャラ　厚 20 ㎜、幅 90 ㎜程度、素地

◎ 木製巾木　◎

種　別	仕　　　様
木ＳＯＰ	スプルスの上に合成樹脂調合ペイント
木練付ＵＣ	バーチ練り付けウレタンクリヤーラッカー塗装

※代用樹種については監督員と協議のこと

１３　屋根及びとい工事

◎ ステンレス堅馳溶接工法　◎材質仕上：ステンレス 22Ｃｒ系　0.4t　　ＢＡダル
◎緊結方式：シーム溶接後、馳折りを行う　標準ハゼピッチは 450ｍｍ以内
◎吊 り 子：通し吊り子 0.3×30×25(SUS304)
◎裏 打 材：ガラス繊維積層体(不織布被覆) 4t
◎下　地　：高密度グラスウールボード 25ｔ (96kg/　)　ゴムアスシート １ｔ
◎施工箇所：メインホール曲面屋根、リハーサル練習室エリア勾配屋根

◎ アルミパネル曲げ加工　◎材質仕上：アルミ 2.0t　　Ｂ－１種／無着色陽極酸化塗装複合皮膜 14＋7μ
◎形　　状：曲げ加工：外部詳細図による
◎裏 打 材：裏貼り断熱材（ウレタンフォーム）t=4.0　防湿材（ゴムアスシート）
◎施工箇所：風除室庇屋根、パラペット部軒屋根

◎ とい　◎材種：　堅樋隠蔽部　　配管用鋼管白管　(13.6.2)(表 13.6.1)
　堅樋外部露出部　　配管用ステンレス管
　軒とい　　非加硫ゴム系ルーフィングシート　(9.4.3-4)
◎といの屋内部分は(表 13.6.5)による防露を行う。

◎ ルーフドレイン　◎鋳鉄製打込型

排水形式	防水工法	施工箇所
縦引き排水 横引き排水	アスファルト防水	施工箇所及び数は雨水配管系統図・防水範囲図による
縦引き排水	改質アスファルト露出防水	

◎ステンレス製落とし口

排水形式	防水工法	施工箇所
縦引き排水 横引き排水	ステンレス薄板	施工箇所及び数は雨水配管系統図・防水範囲図による

◎ 床排水金物　◎形　　式：ネジ込取付タイプ
◎施工箇所および箇所は図示による。

◎ 施工保証書　◎屋根および樋工事に係る下記期間の施工保証書を提出する。
　金属屋根および壁の防水：10 年、雨どい：5 年

１４　金属工事

◎ 一般事項　◎工事にあたっては製作図を作成し、監督員の承諾を受けるものとする。

◎工　法　◎あと施工アンカーの引抜き耐力の確認試験：JASS の試験方法による。　(14.1.3)

◎ 内部ステンレスの仕上　◎図示なき場合は HL とし、HL の番手は見本により監督員に確認する。　(14.2.1)

◎ アルミニウム製品　◎表面処理　(14.2.2)(表 14.2.1)

種別		略号	施工箇所
Ｂ－１種	無着色陽極酸化塗装複合皮膜 14＋7	Ｂ－１	無着色アルミ全般
Ｄ－１種	フッ素樹脂焼付塗装	FP 焼付	外部着色アルミ全般
	アクリル樹脂焼付塗装	AP 焼付	内部着色アルミ全般

◎表面処理の塗装皮膜および仕上の保護クリヤー剤は全て艶消しとする。

◎ 鉄の亜鉛めっき　◎付着量は、(表 14.2.2)の最小板厚による適合量とする。　(14.2.3)

◎ 軽量鉄骨天井下地　◎野縁などの種類：屋内　19 形　　屋内　25 形　(14.4.2)（表 14.4.1)
◎照明器具、吹出し口、その他開口部には必要に応じ増し吊りを行う。

◎ 軽量鉄骨壁下地　◎スタッド、ランナーなどの種類は、(表 14.5.1)による。　(14.5.3)

◎ 金属成形板張り　(表 14.2.1)

＜アルミニウム＞天井
◎アルミ複合板天井（外部）
- 施工個所：外部軒天
- 板厚形状：アルミ+樹脂積層板 4.0t　表面処理：焼付塗装

＜アルミニウム＞壁
◎アルミ複合板（外部・内部）
- 施工個所：立面図、展開図による　詳細は外部詳細図による
- 板厚形状：アルミ+樹脂積層板 4.0t　表面処理：焼付塗装
-

◎アルミスパンドレル（外部）
- 施工個所：立面図による　詳細は外部詳細図による
- 板厚形状：規格品　加工厚 20ｔ　表面処理：Ｂ－１および焼付塗装

◎外部金属成形板の取付け下地はスチールＺＰ（溶融亜鉛めっき）とする。

◎ アルミニウム製笠木　◎施工箇所：外部詳細図、立面図による
◎形状寸法：アルミ板 2.0ｔ曲げ加工　表面処理：Ｂ－１
　詳細は外部詳細図による。パラペット部軒屋根と連続する笠木あり

◎ 製作手摺　◎施工箇所及び詳細は階段詳細図、雑詳細図による

◎ タラップ　◎材料種別：SUS304　　詳細は雑詳細図による。

◎ 桝蓋・点検ハッチ　◎密閉型マンホール蓋 600Φ　詳細は雑詳細図による。
　施工箇所：機械室ほか平面図参照
◎床下点検口 600 角　詳細は雑詳細図による。
　施工箇所：居室ほか平面図参照

◎ 排水側溝蓋　◎ステンレス製グレーチング（枠共）騒音防止型（固定式）　詳細は雑詳細図による
◎施工箇所は図示による

◎ 配管ピット蓋　◎詳細は雑詳細図による。
◎施工箇所：機械室　電気室床

１５　左官工事

◎ ひび割れ防止　◎15.1.5 により、適切な処置を行う　(15.1.5)

◎ モルタル塗り　◎施工箇所及び塗り厚は図示による　(15.2.2～6)
◎防水剤（防水剤入モルタル塗り）の種類は監督員の承諾をうける。

◎ 床の直均し仕上げ　◎(表 6.2.4)による平坦さを確保する

１６　建具工事

◎ アルミニウム製建具　(16.2.2)
◎耐風圧性能：Ｓ－３（正圧）+１６００Pa
- 建築基準法施行例第 87 条および建設省告示第 1454 号、第 1458 号による。
- 耐風圧性能に対し、主要部材のたわみがＬ=4000mm 以下の場合はＬ/150 以下、かつ絶対量20 ㎜以下であり、またＬ=4000mm を超えた場合のたわみはＬ/200 以下とする。

◎気密性能　：Ａ－４（２等級線）
◎水密性能　：W－５（５００Pa）
◎遮音性能　：Ｔ－２（３０等級線）
◎耐震性能　：層間変位角Ｈ・1/300：補修の必要なしに継続使用できること。
　：層間変位角Ｈ・1/200：部材に破損、脱落を生じないこと。
　：水平震度Ｋ=1.0、垂直震度Ｋ=0.5 に対して、安全であること。
◎表面処理の種別：Ｂ－１　(表 14.2.1)
◎サッシュ型材：新型・既製型の分類、及び枠見込み寸法は建具表　建具詳細図による。

◎ アルミニウム製ガラリ　◎表面処理：Ｂ－１種／無着色陽極酸化塗装複合皮膜 14＋7μ
◎施工箇所：建具位置図にＡＧ 表記の箇所

◎ 防火戸 ＦＳＤ　◎煙感知器連動とする防火戸の解錠機構は別途とする。　(16.1.3)
◎各部仕様はＳＤに準ずる。　(16.3.2～16.3.4)

◎ 鋼製建具 ＳＤ・ＰＳＤ　◎規格・施工箇所は建具表による。
◎仕様はＳＤ・ＰＳＤともに標準仕様書による。　(16.3.2～16.3.4)
◎防音ドアの遮音性能および詳細は、建具表による。
◎詳細は建具共通詳細図、建具詳細図による。

◎ 鋼製軽量建具 ＬＤ　◎規格・施工箇所は建具表による。
◎仕様は標準仕様書による。　(16.4.2～16.4.5)
◎防音ドアの遮音性能および詳細は、建具表による。
◎詳細は建具共通詳細図、建具詳細図による。

◎ ステンレス製建具　◎表面仕上の種別は建具表による。　(16.5.4)
◎曲げ加工は原則として角出し曲げ加工とする。　(16.5.5)
◎詳細は外部廻り詳細、建具詳細図による。

◎ 木製建具 WD　◎材料、形状および仕上げは標準仕様書による　(16.6.2～16.6.3)
◎フラッシュ戸見込み：標準 40　フラッシュ戸表面板厚み：シナ合板 5t

◎ 自動ドア開閉装置　◎動力方式：電気圧式　(16.8.2)
◎開閉方法：スライディングドア　(16.8.2)
◎制御方式：静止検知型マイコン制御赤外線反射スイッチ
　安全光線付、非常信号による非常口開閉システム

◎ 重量シャッター　◎種　　類：電動重量シャッター　遮音タイプ　(16.10.2)
◎施工箇所：建具位置図による
◎ｽﾗｯﾄ形式：インターロッキング型
◎開閉機構：上部電動巻上げ式（手動併用）障害物感知装置を設ける。　(16.10.2(d))
◎シャッターケース：設ける。
◎レール・まぐさ：ステンレス製曲げ加工
◎スラット：鋼板製 1.6t、表面仕上は建具表による。
◎電動シャッター、自動扉の施工範囲：一次側電源供給は別途工事とし、二次側配線配管及びスイッチ取付は本工事とする。三相電動機、0.4kw 以上の場合は、機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断器及び進相用コンデンサーを設置する。

◎ 建具用金物　◎マスターキーは製作する。（３個）　(16.7.4)
◎種別は建具表により、製造所リストの製品同等以上とする。

◎ ガラスの材料　◎標準仕様書の規定による材料又は評価名簿による材料　(16.13.2)
　外国製品使用の場合は JIS 同等以上のものとする。
◎ガラスの種類、厚さ、形状、施工箇所は建具表による。

◎ ガラスの種別　◎一般ガラス：フロートガラス　建具表参照
◎調光ガラス：フロートガラスにセラミック焼付（倍強度ガラス）建具表・立面図参照
　調光ガラス１：指定パターン焼付　　調光ガラス２：ガラス全面焼付
◎強化ガラス　　建具表参照
◎耐熱強化ガラス　施工箇所：特定防火設備、防火区画に接する部分、ピンスポット室

◎ ガラス留め材　◎ガラス溝の寸法、形状等は、(表 16.13.1)による。
◎防火戸は建築基準法に基づく防火性能認定品とする

１８　塗装工事

◎ 防火材料　◎屋内の壁及び天井の塗装仕上材料は、防火材料又は建築基準法に基づく基材
　同等の認定品とする。

◎ 見本　◎見本塗り板を監督員に提出し、承諾を得る。

◎ 素地ごしらえ　◎種　別　(表 18.2.1)～(表 18.2.7)

	種別	施 工 箇 所
木部	Ａ種	ＳＯＰ塗装の箇所
	Ｂ種	ＵＣ塗装の箇所
鉄面	Ａ種	焼付け塗装の箇所
	Ｃ種	ＳＯＰ、ＦＥ、ＦＰ塗装の箇所
亜鉛めっき面	Ａ種	鋼製建具
	Ｂ種	ＳＯＰ、ＦＥ、ＦＰ塗装の箇所
モルタル面	Ｂ種	ＥＰ、ＥＰ-Ｕ、ＶＥ塗装の箇所
各種ボード面	Ａ種	ＥＰ、ＥＰ-Ｕ塗装の箇所、(寒) の指定のあるボード面は全面寒冷紗貼りのうえパテしごきとする

◎ 錆止め塗料塗り　◎種　別　(18.3.3)(表 18.3.3)(表 18.3.4)

	種別	施 工 箇 所
鉄面	Ａ種	見掛かり部分、JIS K5625 ２回塗り
	Ｂ種	隠蔽部分
亜鉛めっき面	Ａ種	鋼製建具でめっき仕様のもの
	Ｂ種	上記以外の箇所

◎ 合成樹脂調合ペイント　◎図中の鉄部及び木部でＳＯＰと記載のある箇所
(18.4.3)(表 18.4.1)(18.4.4)(表 18.4.2)

◎ フタル酸樹脂エナメル　◎屋内の鉄部でＦＥと記載のある箇所　(18.6.3)(表 18.6.2)

◎ 常温乾燥型フッ素樹脂　◎屋外の鉄部、ＲＣでＦＰと記載のある箇所　(18.11.2,4)(表 18.11.1,3)

◎ 合成樹脂エマルションペイント　◎図面にＥＰと記載の箇所（主に天井、小壁）
◎工程種別：居室及び共用スペースはＡ種とする。　(18.13.2)(表 18.13.1)

◎ 防汚型エマルションペイント　◎防汚型アクリルエマルション塗料（一般壁）
◎施工箇所：図面にＥＰ-Ｕと記載の箇所

◎多彩塗装　◎水溶性アクリル樹脂多彩模様塗装
◎施工箇所：各部詳細図、仕上表による

◎ 特殊漆喰　◎水溶性石粉入り漆喰特殊金ベラ仕上：略称 S-AN、施工箇所は図示による
◎メーカーの仕様、工法による

◎ 防塵塗装　◎一般防塵塗装：ポリウレタン樹脂系　　施工箇所：搬入口その他、仕上表による
◎耐油防塵塗装：エポキシ樹脂系　　施工箇所：発電機室

◎ コンクリート保護塗装　◎下表のコンクリート打放仕上面には部位に応じた種別の保護塗装を行う。
◎種　　別

部位	種別・仕様	施 工 箇 所
外部	常温乾燥型フッ素樹脂クリヤー塗装(低汚染タイプ)　ＦＰ	外部の打放し仕上の箇所
内部	シリカ系浸透性撥水材　ＳＣ	内部の打放し仕上の箇所

１９　内装工事

◎ ビニル床シート　◎種　別　(19.2.2)

種　　類		色柄	厚(㎜)	品　　質
発泡層のないもの		無地	2.5	JISA5705 の規格品

◎施　工：標準仕様書による。　(19.2.3)

◎ コルクタイル　◎仕　　様：天然コルク　表面セラミック保護膜付き
◎形状寸法：500×500、厚 4.0 ㎜

◎ カーペット　◎種　　別：Ｃ種　(19.3.2～19.3.4)(表 19.3.2)
◎工　　法：フェルトグリッパー工法(フェルト厚８㎜)　(19.3.4)

◎ タイルカーペット　◎種別及び仕様

種別	形状寸法(㎜)	仕　　様
タイルカーペットＡ	500×500×7.5	既製品：オプティマムナイロン 100%　防汚・抗菌加工
タイルカーペットＢ	500×500×6.5	既製品：BCF ナイロン 100%

◎ 石膏ボード゛・その他　◎　(19.7.2)

種　　類	記号	厚(㎜)	備　　考
石膏ボード	ＰＢ	9.5（準不・不） 12.5（不）	一般部
強化石膏ボード	ＦＰＢ	12.5（不）15（不） 21（不）	耐火壁、遮音部分
硬質石膏ボード	ＨＰＢ	9.5（不）	遮音部分
繊維石膏ボード	ＦＲＧ	8（不）10（不）	
シージング石膏ボード	ＳＰＢ	9.5（不）	内装の多湿部
けい酸カルシウム板	ＳＣＢ	6（不） 8（不）	木練付下地　内装の多湿部
有孔けい酸カルシウム板	SCB-P	6（不）8（不）	吸音仕様部
平型岩綿吸音板（JIS A6301 吸音材料)		12（不）	標準色 不燃材料 NM-8599
溝型岩綿吸音板		15（不）	標準色 不燃材料 NM-8599
メラミン樹脂化粧板		1.2	JISK6903 の規格品

※（準）は準不燃認定品　（不）は不燃認定品を示す。
◎目地処理および張り方はは仕上仕様図による。　(19.7.3)

◎ 吸音材　◎グラスウール及びロックウール吸音材

施工箇所	密度	厚(㎜)	表面仕様
機械室等の吸音壁、有孔板裏	ＧＷ 32K	50	ガラスクロス巻
リブ壁の吸音材			クロス張り
ＬＧＳ壁内、天井裏、浮き床内	ＧＷ 32K	50	なし
浮き床の立上り部分	ＧＷ 96K	25	なし
遮音間仕切内、扉の充填材	ＲＷ 80K	表記による	なし

◎吸音壁の取付工法：ガラスクロス（104g/㎡）張りの上アンカーピン止め（@450）

◎ 壁紙　◎下地基材を法定不燃材とし、不燃認定を受けたもの　(19.8.2)
◎種別及び仕様

種　　別	仕　　　様
布クロス	繊維製壁紙　(防火認定番号)不燃 NM-9847 準不燃 QM-9349
ガラスクロス（ペンキ下地)	防火認定品塗装壁紙(裏紙有) (防火認定番号)不燃 NM-0510 準不燃 QM-9572

◎施工箇所：各部詳細図、仕上表による

◎ 断熱材　◎屋根保護防水断熱工法：ポリスチレンフォーム（JIS A9511）Ｂ類３種　厚 25
　施工箇所は防水範囲図による
◎金属屋根の断熱材：高密度グラスウールボード 25ｔ (96kg/　) 屋根詳細図参照
◎型枠兼用断熱材打込み工法

主な施工箇所　　厚(㎜)	
不燃木質セメント板	30

仕　　様：セラミック粉混入木繊セメント板
　国土交通大臣認定　不燃認定番号 NM-0236(不燃)

◎断熱材打込み工法：ポリスチレンフォーム（JIS A9511）Ｂ類３種　(19.9.2)

主な施工箇所　　厚(㎜)	
改質アスファルト露出防水スラブ下部、打ち放し外壁部内側	25

◎断熱材現場発泡工法：発泡ウレタンフォーム吹付　(19.9.3)
　施工範囲の詳細は図示による

主な施工箇所　　厚(㎜)	
屋根保護防水のルーフドレイン廻りおよび外壁とサッシの取り合い部などで断熱材が切れる部分	20
パラペット部軒屋根、アルミパネル外壁	20

◎セラミック系人造木材　◎施工箇所：天井繰型、ボード納り端部等　略号 ＣＡＷ

◎人造大理石　◎メタクリル樹脂強化無機材　厚 6,10,13㎜

工事名称		年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	特記仕様書2	－	A04Tokki02	A－04

２０　ユニット及びその他の工事

◎ フリーアクセス床　◎床荷条件：中央集中荷重 3000N でたわみ 2.0 ㎜以内　(20.2.2)
◎高　　さ：床高さ 85 ㎜、
◎地震時水平力：1.0G
◎仕　　様：パネルサイズ：500×500　構法：パネル構法支柱分離型独立支柱
材質：新軽量型コンクリート　ボーダー部はメーカー仕様とする。
◎施工箇所は仕上表、施工範囲は平面図による。

◎ 移動間仕切　◎構造形式：上吊りパネル式　　パネル圧接装置付遮音タイプ　(20.2.4)
◎表 面 材：クロス貼り　石膏ボード下地　形状は雑詳細図による
◎施工箇所：大小会議室間

◎ トイレブース　◎　(20.2.5)

表面仕上	足形状	施工箇所
メラミン樹脂化粧板	巾木型	水廻り詳細図による
木練付け板ＵＣ	巾木型	

◎頭つなぎ（間接照明兼用）、巾木：ステンレス HL
◎ラバトリー金物：グラビティヒンジ、スライドラッチ、戸あたり

◎ 階段滑止め　◎種別及び仕様　(20.2.6)

種　　別	適用箇所	仕　　様
ノンスリップA	ビニルシート用	ビニルタイヤ+アルミ一体樹脂押出成形型、W=37
ノンスリップB	ＲＣ直均用	タイヤレス型、W=35、SUS

◎施工箇所および納まり詳細は階段詳細図による。

◎ 製作手摺　◎手摺仕様：雑詳細図、階段詳細図による

◎ 床目地棒　◎材種：ステンレスＦＢ　5t　(20.2.7)

◎ コーナービート　◎材種：ステンレス製　規格品

◎ ホワイトボード　◎仕　　様：アルミホーロー白板 JIS S 6052　鋼製建具に表面貼り　(20.2.8)
◎施工箇所：会議室

サイン表示　別途工事　(20.2.10)

◎ 煙突　◎ライニング材：芯材付繊維積層ライニング材　　陣笠：SUS　(20.2.11)
◎詳細は雑詳細図による

◎ 収納家具　◎使用する合板、接着剤等は全て F☆☆☆☆とする。
◎詳細については図示による。

◎ 天井点検口　◎既製品点検口（ボード天井部）　雑詳細図による。
仕　　様：目地タイプの内外枠共耐食アルミニウム合金製アルマイト仕上
寸　　法：450×450（標準）

◎ 屋内消火栓化粧扉　◎Ｓｔ-1.6t 曲加工の上ＡＰ焼付塗装　消火器収納型
◎詳細は雑詳細図による。

◎ 丸環　◎材　　質：ステンレス製規格品　雑詳細図による。
◎施工箇所：平面図による。

◎ ウォールガード　◎仕　　様：本体／合成ゴム製　取付金具／スチール　雑詳細図による。
◎施工箇所：楽器庫、搬入口

◎ 鍵箱　◎市販品　鋼製塗装仕上げ、200 本用　壁掛けタイプ

◎ 郵便受　◎既製郵便箱+アルミ複合板表面プレート　鍵付き　雑詳細図による。
◎設置個所：サブエントランス

◎ 流し台・吊戸棚　◎施工箇所：湯沸室　詳細は水廻り詳細図による。
◎寸　　法：流し台 1650×600×850 程度　シングルシンク
吊戸棚 1650×350×880 程度

◎ 洗面カウンター　◎人造大理石（メタクリル樹脂強化無機材）加工
◎詳細は水廻り詳細図による。

◎ 誘導用及び注意喚起用床材　◎ステンレス製ノンスリップ型　　雑詳細図による。
◎施工箇所：平面図に示す範囲

◎ 再生木ルーバー　◎材質寸法：木粉+ポリプロピレン　押出し成形　15ｘ55 低度　パイプ吊り
外部廻り詳細図参照
◎施工箇所：ホワイエ　AW102A

◎ ロールスクリーンボックス　◎材質寸法：雑詳細図による。
◎施工箇所：天井伏図による。

◎ 照明ボックス　◎材質寸法：雑詳細図による。
◎施工箇所：天井伏図による。

◎ 地中防振ゴム　◎材質寸法：防振ゴム(JIS K 6305) 25t を 2 枚重ね貼り。
隙間には防水テープでマスキングを行う。
◎施工箇所：地階平面図による。

２１　外構 雨水排水工事

◎ 排水管　(21.2.1)(表 21.2.1)(21.3.3)
◎排水管は、ヒューム管（遠心力鉄筋コンクリート管Ｂ型）とする。
◎連通管は、硬質塩化ビニル管（略号ＶＰ管）とする。
◎透水管は砂で使用することの出来る高強度ポリプロピレン不織布を用いた、指定会社の製品同等以上のものとする。

◎ 排水桝　◎排水桝：詳細図による
◎排水桝等に泥溜めを設ける場合は、流出高より 150 ㎜以上の泥溜りを設ける。
◎排水管は、流入高と流出高で 20㎜ の段差を設けることとする。

◎ 側溝　◎側塊は現場打ちコンクリート製（ＲＣ）とする。
◎泥溜部分は指定場所に設け 150㎜ 以上の深さとし、下部は浸透する構造とする。
◎側溝蓋は指定会社の製品同等以上のものとし、泥溜り部分には蓋に表示を行う。

◎ 埋戻し土　◎Ｂ種　(21.2.3)(表 3.2.1)

２２　外構 舗装工事

◎　施工図　◎ 原則として、次の事項に関する割付図を作成し、監督員に提出する。
1. 平板、舗石等の割付け
2. 建物、道路、園地施設等の構造物との取合い
3. 種類の異なる舗装相互間における取合い
4. 仕上げ高さ及び表面排水勾配の検討
5. 裸地や芝生地との端部の納まり

◎ 路　　床　◎盛土材料の種別：Ｂ種　(22.2.2～5)
◎支持力比（CBR 試験）を行う。測定場所については、監督員と協議

◎ 路　　盤　◎材　　料：再生クラッシャラン RC-40　(22.3.2～5)
◎転　　圧：設計密度は 1840kg/m3 以上とし充分に転圧すること

◎ アスファルト舗装　◎材　　料：開粒度アスファルト改質二型　(22.4.2～6)
◎仕　　様：車道対応

◎ 脱色アスファルト舗装　◎材　　料：透水性脱色カラーアスファルト　(22.6.2～6)
◎仕　　様：茶系指定骨材

◎ 透水コンクリート舗装　◎材　　料：透水コンクリート　骨材粒径 2.5～5mm（７号砕石）

◎ 洗出しｺﾝｸﾘｰﾄ舗装　◎材料　厚：稲田擬石用骨材、白モルタル、t=30

◎ ブロック系舗装
擬石ブロック舗装-1　◎材料　厚：ノミ切り平板、歩道部 600×600×60
◎仕　　様：黒色特注色研磨仕上げ
擬石ブロック舗装-2　◎材料　厚：ノミ切り平板、車道部 300×300×80
◎仕　　様：特注色磨き仕上げ
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装　◎材料　厚：コルゲートインターロッキングブロック 100×100×60
◎仕　　様：色は見本品を提出し監督員の確認を受ける
小舗石舗装　◎材料　厚：中国産花崗岩小舗石 90×90×90
◎仕　　様：表面ジェットバーナー、他割肌

◎ 縁石
歩車道境界縁石-1　◎材　　料：コンクリートＰＣ縁石 100/110×155×600
◎仕　　様：JIS 特 K-104
歩車道境界縁石-2　◎材　　料：コンクリートＰＣ縁石 100×100×600
◎仕　　様：端部 R を JIS 特 K-104 に揃える
歩車道境界縁石-3　◎材　　料：コンクリートＰＣ縁石 100×100×600
◎仕　　様：端部角出し
ｱﾌﾟﾛｰﾁﾌﾟﾗｻﾞ縁石　◎材料　厚：ノミ切りステップ 600×300×190
◎仕　　様：黒色特注色研磨仕上げ

２３　植栽工事

◎　既存樹木及び植栽地の養生　◎ 工事に先立ち工事に影響する既存樹木についてはすべて養生を行う。養生する樹木の選定、養生方法については監督員に計画書を提出し確認を得る。
◎ 工事に先立ち保存する植栽地についてはすべて仮囲いなどの養生を行う。養生する植栽地の選定、養生方法については監督員に計画書を提出し確認を得る。

◎　保存樹木　◎ 保存樹木周辺の工事（開削）に伴い、既存の保存樹木に影響がある部分には保存を前提に工法の工夫を行い、さらに倒木、枯損がないように所定の措置を施す。工法については監督員の確認を得る。

◎　移植木の先行根回し　◎ 工事に先立ち図中にて指定された移植木についてはすべて着工後すぐに根回しを行い、工事に影響のないよう養生を行う。本体の施工計画にあたっては指定樹木を保護することを前提とし、根回しを行った樹木は枯損させないよう、適宜灌水などの養生管理を行う。

◎　既存樹木の移植　◎ 工事に影響する既存樹木については本工事の範囲内ですべて敷地内の所定の場所に移植、または仮植を行う。
◎ 高木の移植先が工事に支障のある場合、あるいは未造成の場合は仮植を行う。

◎　伐採樹木　◎ 伐採樹木はすべての幹、枝、根をチップ加工し、植栽土壌に混合することとする。

◎　伐採・移植工事　◎ 詳細は図示による

◎　植栽配置図　◎ 植栽配置図を作成し、監督員に提出する。配植図作成に当たっては、樹木の表裏、真木添木の区別、高木低木の組合せや、架線、照明灯等のほかの工作物との位置関係に留意する。

◎　管理　◎ 引き渡しまでに生じた雑草については、請負者の負担において除草を行う。
◎ 引き渡しまでの植栽管理については、請負者の負担において行う。

◎　瑕疵（枯補償）　◎ 樹木類は、引渡し後 1 年以内に枯死、枝条枯損、樹形不良等となった場合は、施主と請負者とが協議して定めた時期に、植栽した材料と同等又はそれ以上のものを納入し、請負者の負担において植替える。ただし、天災やその他のやむを得ない理由による場合は、両者協議のうえ処理方法を決定する。

◎　植栽地の確認　◎ 植栽地の pH、透水性、硬度、土質等についての試験を行う。　(23.1.3)
◎ 高木植穴透水試験については、全数において 48 時間試験を行う。
◎ 植栽地が工事の作業用地としてセメント改良などを施した場所においては、植栽を行う範囲全面において、土壌置換及び攪拌、植え穴下部の排水確保を請負者の負担において行う。

◎　高木植栽　◎ 新規植栽樹木については現地材料検査を行う。

◎　低木植栽　◎ サンプルまたは写真による検査を行う。

◎　植栽基盤　◎ 整備工法：Ａ種　(23.2.2～4)
◎ 植込み用土：現場発生の良質土
◎ 土壌改良材：県の緑化マニュアルに準じた改良材とする

◎　支柱材　◎ 丸太：防腐剤を加圧注入したもの　(23.3.2)
◎ 土壌改良材：県の緑化マニュアルに準じた改良材とする
◎ 竹　：真竹のまっすぐなもの

２４　追加特記事項

◎ 再生資源利用促進計画書の提出　◎あり。内容については監督員の指示による。

◎ モックアップサンプル　◎新型サッシュと調光ガラスの確認
・新型サッシュの木製サンプル(塗装仕上)を作製し、形状の確認を行う。
・調光ガラス３種類程度を、木製サッシュに入れて調光の状況と色を確認する。
◎杉板型枠による打放し仕上

◎ 予備材料の保管　◎タイルカーペット、フローリング、その他特殊な材料については、監督員の指示によりメンテナンス上の予備品として物置に保管する。

２５　昇降機

◎ 仕様　◎形式　速度：人荷用、ロープ式機械室レスタイプ　　速度 45m/min
◎定員　寸法：26 人、積載量 1750kg、カゴ内法 1700W x 2200D
◎着床　階数：2 箇所　1F～2F
◎そ　の　他：車椅子対応、音声アナウンス、停電時自動着床装置、地震時管制運転
詳細は昇降機詳細図による

２６　音響関連工事

本特記仕様は、施工にあたって所期の音響性能を実現するために必要な遮音、吸音構造、設備の材料、機器の選定、施工方法等の音響に関連する工事について規定するものである。工事請負者が本施設の性格、機能、音響性能の重要性を十分認識し施工にあたることを目的とする。

２６-１．共通事項

（１）音響技術指導

遮音構造、吸音構造、防振構造等、音響に関連した建築工事および各設備工事については、監督員と充分協議をし、技術指導をうけること。

（２）音響性能目標

設計において設定した下記の音響性能の目標値を実現することに対して施工上の十分な配慮を行うこと。

①遮音性能

・練習室 1,2、～ホール間	80dB 以上(500Hz)
・リハーサル室～ホール間	90dB 以上(500Hz)
・練習室 1,2～リハーサル室間	90dB 以上(500Hz)
・練習室 1～2 間	80dB 以上(500Hz)
・練習室 1,2、リハーサル室～直下部分諸室	70dB 以上(500Hz)
・会議室移動間仕切り間	35dB 以上(500Hz)

②設備騒音

・空調設備騒音

ホール舞台、客席	NC-20	リハーサル室	NC-25
ホールホワイエ	NC-35	練習室	NC-25

・その他の設備騒音

施設使用時に停止できない設備機器(トランスやポンプなど)より発生する騒音(固体音)については、上記の空調設備騒音の下で感知できないレベルを低減目標とする。

④舞台電気音響設備動作特性

・対象室：ホール

a）伝送周波数特性	：	160～5KHz　バラツキ 10dB 以内
b）最大再生音圧レベル	：	95dB 以上（ピンクノイズ信号にて）
c）音圧レベル分布	：	バラツキ 6dB 以内（4KHz バンドノイズにて）
d）安全拡声利得	：	-10dB 以上
e）残留雑音レベル	：	NC-20 以下

（３）施工打合せ等

音響関連の工事に先立ち、施工計画書・要領書、施工図、製作図、試験計画書、サンプル等を作成・製作の上、監督員に提出し、材料・施工方法、納まり、試験方法等および工事工程に関する打合せを行うこと。

（４）施工確認等

主要な工事には監督員の立会い・検査を受けること。また、必要に応じて各工事終了後に報告および記録写真を提出し確認を受けること。

（５）設計変更連絡と承諾

施工段階において種々の理由から、設計図書に指示されていることと異なった施工を行わなければならなくなった場合、その理由を文書で報告し、監督員の指示および承諾を受けること。

（６）音響検査測定

完工時および必要な場合には施工途中において、設計で意図した性能が得られているかどうか、監督員の指定する音響専門機関による音響検査測定を行なう。すべての工事請負者は、検査測定に必要な協力を行うこと。なお、検査測定に掛かる費用は請負者（建築工事にて一括）が負担する。

①検査測定計画書の提出

音響検査測定にあたっては、事前に検査測定の実施計画書を作成し、監督員の承諾を受けること。

②対象室と項目

項目	ホール	練習室２室	リハーサル室
遮音性能	○	○	○
残響時間周波数特性	○	−	○
エコータイムパターン	○	−	−
鉄道走行時騒音	○	○	○
空調設備騒音	○	○	○
舞台音響設備動作特性	○	−	−

③検査測定結果の報告

完工時の検査測定結果は、測定終了後４週間以内に、監督員に報告書を３部提出すること。

２６-２．音響関連 建築工事

（１）遮音、防振構造

①材料
・材料及びその厚さ、密度等は指定のものとすること。また、監督員に見本を提出すること。

②遮音層の欠損処理
・コンクリート躯体、乾式遮音層等の遮音層の厚さが確保できない場合には、遮音性能を維持するために、背面に遮音層を追加すること。

③隙間の処理
・コンクリート躯体以外の PC 版、押出成形板、ＡＬＣ板、コンクリートブロック、各種ボード等による遮音層については、それら構成材料のもつ遮音性能が欠損しないように気密性を確保すること。
・隙間による遮音性能の低下を防ぐために、コンクリート躯体等の遮音層には原則として隙間を設けない。隙間がどうしても生じる場合には、遮音層の性能を維持できる方法で隙間の処理を行うこと。
・コンクリート躯体以外の乾式遮音層（押出成形板、コンクリートブロック、各種ボード等による遮音層）については、それらとコンクリート躯体との取り合い部、デッキスラブとの取り合い部、構造鉄骨との取り合い部などの隙間の処理を、乾式遮音層の遮音性能が維持できる方法（モルタル充填、ロックウール充填、石膏ボード増し貼り、鉛シート貼り、シーリング等）で入念に行うこと。
・ボード積層による遮音層については、ボードは目違い貼りとし、隙間が生じないようにすること。

④地中防振構造
・地中防振構造については、鉄道振動に伴う固体音がホール運用に関して支障とならないように、鉄道振動の建物への伝搬防止を目的としたものである。鉄道振動帯域において 5dB 以上の低減を目標とする。
・材料およびその厚さ、ゴム硬度等は設計図及び特記の指示に従うこと。施工にあたっては、施工要領書、施工詳細図および防振支持系選定のための計算書を提出すること。
・防振ゴム取付けにあたっては、ソイルセメント柱表面をモルタル等により、平滑に修正すること。防振ゴムは 25mm 厚 2 層を目違い貼りとし、各層においてゴムの目地はシール等によって隙間の処理を行うこと。
・建物躯体打設においては、防振層であるゴム層へセパレータ等が貫通をしない施工方法を選択すること。
・地中防振層には原則として設備配管等の貫通をしないこと。ライフライン等でやむを得ず貫通する場合には、必要な対策を行うこと。
・建物躯体周辺部の外構工事においては、地中防振層に音響ブリッジが生じない構造とすること。
・地中防振材（発泡ポリオレフィンブロック）の取付けにおいても同様の方針とする。

⑤防振遮音構造（リハーサル室、練習室）
・防振遮音構造の施工においては、経験豊富な音響工事専門業者の施工とする。
・施工にあたって、施工要領書、施工詳細図及び防振支持系の選定のための計算書を提出すること。
・防振支持系の固有振動数は 10Hz 以下とすること。
・防振ゴムには均等に正規の荷重がかかるように調整すること。
・防振遮音層と躯体との間には、音響ブリッジがないようにすること。
・防振遮音構造をダクト、配管等が貫通する場合にはブリッジが生じない構造にすること。

⑥防音建具
・防音建具の取付けにあたっては、躯体との間に隙間が生じないように、原則として建具枠内および枠と躯体遮音層間にモルタル充填を行うこと。乾式遮音層に取り付く建具については、建具枠内ロックウール充填、枠裏は鉄板で完全に塞ぐ形状とし、乾式遮音層との取り合い部はシール等によって確実に隙間を防ぐ納まりとすること。
・防音扉については、周辺の戸当り、召合せ部のエアタイトゴムの調整を念入りに行い、気密性を保つようにすること。また、エアタイトゴムの調整方法について、製作図作成にあたって検討を行うこと。
・防音建具の選定にともない、防音建具グレードごとの遮音性能データの提出をすること。
・防振遮音構造のエクスパンションジョイント部分の扉枠やヒンジ等が固定部と防振部に渡って接触しないように、所定のクリアランスを確保すること。

（２）吸音構造

①材料

材料およびその厚さ、密度等は指定のものとすること。また、監督員に見本を提出し、承諾を受けること。特に、次のような材料の選定、施工にあたっては、十分注意し施工すること。
・グラスウール、ロックウール等の吸音材は、JIS A 6301 の吸音材料に規定された製品を使用すること。
・有孔板、リブ等の吸音材の表面仕上げをする場合には、有孔板の孔径、孔中心間隔、リブ寸法、間隔等、指定されたとおりとすること。
・吸音材の被覆や塗装、有孔板等の表面仕上げ材の処理（塗装等）については、あらかじめ監督員の承諾を得ること。
・音響特性の明らかでない材料については、監督員の指示により吸音率データの提出をすること。

②反射、吸音構造の構成
・反射、吸音構造の詳細図を作成し、あらかじめ監督員(係員)の承諾を得ること。特に有孔板、リブ等の表面仕上げ材と吸音材、空気層による吸音構造については、互いの位置関係に注意すること。

（３）内装仕上げ

①ビリツキの防止
・内装および内装下地は、音によってビリツキが生じないよう、下地の溶接等による補強、ビスの増し打ち、接着剤併用等の配慮をすること。特に金物同士の取り合い部分については、ゴムを挟む、全溶接とするなど注意を行うこと。

②反射面の仕上げ
・内装仕上げボード貼りについては、原則として多層貼り間には空隙が生じない施工方法とし、多層貼り仕上げが一体となるようにすること。また、各層の間は接着剤併用貼りとすること。
・モルタル充填の上にボード貼りを行う場合においても、モルタル層とボード間に空隙が生じないように、接着剤を併用の上、モルタルと仕上げボード貼りが一体となるようにすること。

③スピーカ周辺の仕上げ等
・スピーカ前面等の仕上げについては下地配置等のわかる詳細図を作成し、舞台電気音響設備施工者と十分な打合せを行うこと。また、監督員の承諾を得ること。
・スピーカ用開口面、開口部の表面仕上げ、吊り込み下地、キャットウォーク等については、スピーカからの放射音の邪魔をしないように、関係工事部門と十分協議しながら施工図を作成し、監督員の承諾を受けた上で施工すること。
・スピーカ設置後の向きの微調整とメンテナンスを容易にするためのアクセスルートを確保すること。スピーカ本体や吊り金具等が建築躯体や内装、軽鉄下地、設備などに接触しないこと。
・スピーカ設置スペースに発生する音のこもり、共鳴などの障害を防止するため、原則としてスピーカ背後周辺を、中高音域スピーカに対してはグラスウールボード 32k-50mm 直貼り相当、低音域スピーカに対してはグラスウールボード 32k-50mm×2 重貼り相当の吸音力を有する吸音処理を内装仕上げとして建築工事で行う。さらに吸音対策が必要な場合については、音響設備工事にて吸音対策を行う。

④内装仕上げ面積の調整
・ホール客席椅子の吸音力特性試験を行ったデータを内装施工前の内装変更が可能な時期までに椅子工事請負者は監督員に提出する。その試験結果によって内装の吸音面積を調整することがある。これについては監督員の指示に従うこと。

（４）屋根
・金属屋根工事については、詳細図を作成し、事前に監督員の承諾を受けること。

工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	年月日 2005年5月	図面名称 特記仕様書3	縮尺 -	ファイル名称 A05Tokki03	図面番号 A-05

２６－３．音響関連 設備工事（別途工事）

（１）機器の選定と騒音及び振動データの提出
- 電気、空調、給排水衛生、昇降設備等の機器類は騒音、振動の少ない機器を選定すること。
- 空調機、送風機、ポンプ、冷凍機、昇降機等の主要な設備機器等ついては、騒音、振動についてのデータを監督員に提出をすること。
- 消音器等の消音性能については監督員にデータを提出すること。
- 制気口の発生騒音については、必要に応じて監督員にデータを提出すること。

（２）工場検査と据付後の調整
- 空調機、送風機等の主要な機器については、工場出荷時に発生騒音、振動の検査・測定を行なうこと。必要に応じて監督員が工場出荷検査に立ち会う。据付後は調整を行い、その結果を監督員に報告すること。

（３）防振工事
- 騒音、振動源となり得るホール周辺の機器、ダクト、配管、煙突、変圧器、昇降設備等は、原則として防振を行うこと。その範囲は監督員の指示による。
- 各防振材は、所定の荷重が均等にかかるように調整設置すること。
- 機器の防振支持構造については、詳細図とともに防振計算書を提出すること。

（４）躯体及び遮音構造の貫通処理
- 遮音構造にやむをえず貫通する場合は、貫通するダクト･配管との間に生じる隙間に対して、ロックウールまたはモルタル充填､ボード､鉛シート、シーリング等の併用により遮音構造の遮音性能を損なわない方法で隙間の処理をすること。
- 躯体へのダクト、配管等の貫通部は振動伝達の防止をはかるため、防振貫通処理を行うこと。その範囲は監督員の指示による。
- 防振遮音構造をダクト、配管等が貫通する場合には音響ブリッジが生じない方法とすること。
- ダクト、配管、ラック等の貫通によるクロストークが原因による遮音欠損が生じないように、遮音外装及び吸音ダクト等の設置し遮音性能を確保すること。

（５）空調設備（排煙設備を含む）
- 室内設備騒音低減目標値を満足するために必要な吸音ダクトの設置、ダクトの遮音等の対策を行うこと。
- 各系統の消音計算書の提出を行うこと。
- ダクト、配管からの透過音が支障となる場合、鉛シートや鉛シートとグラスウールの複合構造などによる遮音外装を必要に応じてダクトおよび配管に施すこと。

（６）地中防振工事に係わる必要な処理

鉄道振動伝搬防止のために行われる地中防振工事箇所については、原則として設備配管等の貫通をしないこと。ライフライン等がやむを得ず貫通する場合には、防振貫通処理など必要な対策を行うこと。

（７）音響機器・回線へのノイズ混入防止対策
- 音響機器およびマイクロホン回線に建築設備機器･配線に起因するノイズが混入しないように、状況に応じて対策を施すこと。この対策は、基本的にノイズ源側で行うこと。ノイズは、建築・設備の複雑な経路より混入するため、発生後の対策は困難を極める。そのため、全工事部門・関係者が一致協力して対策にあたること。
- 電力供給設備から音響機器・回線に混入する電磁誘導他ノイズを防止するため、トランス、配電盤等の強電機器および配線の離隔距離の確保、必要に応じて、接地された金属配管の使用などの対策を施すこと。
- 空調ファン・ポンプ、エレベータ他のモータ類、照明機器等に電力を供給するインバータについては、音響機器・回線に可聴ノイズ障害を与えないように、キャリア周波数可変機構、10mA 以下の漏洩電流の設備機器を選定すること、および必要に応じてインバータの接地された金属筐体への収納、インバータ入出力ケーブルは 3 芯撚り線としシールドまたは金属管に収納、モータの単独接地、入力側にノイズカットトランスを挿入するなどの対策を行うこと。
- 電磁誘導ノイズ、インバータノイズ対策に要する一切の費用は請負者の負担とする。

２６－４．音響関連 舞台設備工事（別途工事）

（１）共通
- 遮音構造をやむを得ず貫通するケーブルダクト、配管、ラック、配線等は、遮音構造の性能を損なわないように、ロックウール充填、石膏ボード、鉛シート、シーリング（ウレタン系等)、耐火パテ等により遮音構造との隙間およびダクト、配管内部等の処理を行うこと。
- 防振遮音構造をケーブルダクト、配管、配線、ラック等が貫通する場合には音響ブリッジが生じない構造とすること。
- 舞台および客席､主要付属室における建築･設備レイアウトについては､運営機能や使い勝手に支障をきたさないように､全工事部門・関係者で一致協力して総合図（平面、展開）を作成し、十分な調整を行ない、監督員の承諾を得た後に施工すること。

（２）舞台機構及び舞台照明設備
- 舞台機構、舞台照明設備に関連する機器については騒音、振動の少ない機器を選定すること。
- 舞台機構、舞台照明設備等の機器については監督員の指示により、騒音、振動データの提出を求めることがある。
- 吊り物、昇降装置の動作時に異常騒音の発生がないようにすること。
- 照明、調光器の動作時にも異常騒音の発生がないようにすること。
- 音響機器・回線に対してノイズ障害を与える設備機器・配線については、3.(7)に示す対策を施すこと。
- 照明の配線については、うなり音等が生じないようにケーブルの配線の並び等に十分注意を行うこと。

（３）舞台音響設備

①スピーカの設置
- スピーカ用開口面、開口部の表面仕上げ、吊り込み下地、キャットウォーク等については、スピーカからの放射音の邪魔をしないように、他の工事部門と十分協議しながら施工図を作成し、監督員の承諾を受けた上で施工すること。
- 設置後の向きの微調整とメンテナンスを容易にするためのアクセスルートを確保すること。スピーカ本体や吊り金具等が建築躯体や内装、軽鉄下地、設備などに接触しないようにし、さらに必要ならば防振対策を施すこと。
- スピーカは基本的に防振吊りとし、スピーカからの放射音によって、周辺の建築内装及び空調ダクト等のビリツキが発生しないように、吊りボルトの位置等を関係部門にて調整の上、施工すること。
- スピーカ設置スペースに発生する音のこもり、共鳴などの障害を防止するため、原則としてスピーカ背後周辺を、中高音域スピーカに対してはグラスウールボード 32k-50mm 直貼り相当、低音域スピーカに対してはグラスウールボード 32k-50mm×2 重貼り相当の吸音力を有する吸音処理を内装仕上げとして建築工事で行う。さらに吸音対策が必要な場合については、音響設備工事にて吸音対策を行う。
- 落下防止対策、耐震対策は厳重に行うこと。

②ノイズ混入防止
- 音響機器・回線に対してノイズ障害を与える設備機器・配線については、3.(7)に示す対策を施すこと。
- 電気各系統の配線ルート複合図を作成して整理し、音響回線のシールド、各線間の離隔、ボンディングアース等の必要な対策を確実に行うこと。音響用回線と他の回線を平行して配線する場合には特に注意し、十分な離隔距離を取ること。

③機器の設置と調整
- 各機器については承認願い図を提出し、確認を受けてから施工すること。各音響機器はモデルチェンジのサイクルが短いので、竣工時にできる限り良いものが納入できるように、柔軟に対応すること。
- 工場において製作した機器は、形状、寸法、塗色、機能及び性能について出荷前に関係者立会いの下で検査を実施し、現場に搬入すること。
- 調整室内のレイアウト図を作成し、確認を受けてから施工すること。特に、調整室から舞台への見えかかりについては十分に注意すること。
- 機器類の設置にあたっては、完工時までの間にほこり、過度の湿気、熱気等にさらされないように対策を行うこと。
- 機器間を接続し、正常動作を確認した後に、各機器の入出力レベルを設定、また音量や音質を調整し、設計で意図した性能を満足するかどうか自主検査を行い、監督員に報告して確認を受けること。場合によってはスピーカの向きや位置を変更することもあり得るので、工程上余裕を持って行うこと。
- 調整作業にあたっては、目標としている物理特性を目安としながらも、聴感による特性を必ず確認すること。

④取扱い説明

各機器及びシステムについては、関係者に取扱い説明を行うとともに、取扱い説明書を提出すること。

２６－５．音響関連 客席椅子工事（別途工事）
- ホール客席椅子については、監督員に製作図を提出の上、承諾後サンプルを製作すること。
- ホール客席椅子については、種類別に未着席時および着席時の JIS A 1409 による吸音力特性試験を行ったデータを建築内装施工前の内装変更が可能な時期までに監督員に提出すること。なお、試験結果によっては変更が生じることがある。これについては監督員の指示に従うこと。

略　号 一覧表

一般	ＢＭ	ベンチマーク	２Ｆ	２階
	ＦＬ	基準床面	Ｂ１Ｆ	地下１階
	ＳＬ	コンクリートスラブレベル	ＧＬ	基準地盤面
	ＤＨ	扉高さ	ＣＨ	天井高さ
	Ｌ	長さ	Ｗ	幅
	ｔ	厚さ	Ｈ	高さ
	Ｄ・φ	直径	ｒ・Ｒ	半径
	＠	間隔	ＥＶ	エレベーター
	ＨＣ	車椅子用便所	ＳＫ	掃除用流し
	ＥＰＳ	電気配線スペース	ＤＳ	ダクトスペース
	ＰＳ	パイプスペース	ＤＰＳ	ダクトパイプスペース
	ＯＡ	外気	ＳＡ	給気
	ＲＡ	環気		
躯体	ＳＲＣ	鉄骨鉄筋コンクリート	Ｓ	鉄骨
	ＲＣ	鉄筋コンクリート	ＬＧＳ	軽量鉄骨
	ＣＢ	コンクリートブロック	ＡＬＣ	軽量気泡コンクリートパネル
	ＰＣ	プレキャストコンクリート		
	Ｈ－	Ｈ形鋼	Ｓｔ	鋼（スチール）
	ＰＬ－	平板・スチールプレート	ＦＢ－	平鋼・フラットバー
	Ｃ－	溝形鋼	Ｌ－	山形鋼
	ＺＰ	溶融亜鉛めっき		
仕上	ＡＬ	アルミニウム	ＳＵＳ	ステンレス
	ＨＬ	ヘアーライン	ＰＨＬ	ランダムヘアーライン
	ＪＰ	ジェットバーナポリッシュ仕上	ＷＪ	ウォータージェット仕上
	ＲＬ	竪樋	ＲＤ	ルーフドレイン
	ＡＷ	アルミサッシ	ＡＧ	アルミガラリ
	SD･PSD	鋼製建具	ＦＳＤ	防火戸
	ＬＤ	鋼製軽量建具	ＷＤ	木製建具
	ＲＴ	防煙たれ壁		
	ＧＷ	グラスウール	ＲＷ	ロックウール
	ＰＢ	石膏ボード	ＦＰＢ	強化石膏ボード
	ＦＲＧ	繊維石膏ボード	ＨＰＢ	硬質石膏ボード
	ＳＰＢ	シージング石膏ボード	ＣＡＷ	セラミック系人造木材
	ＳＣＢ	珪酸カルシウム板	ＳＣＢ－Ｐ	有孔珪酸カルシウム板
	Ｂ－１	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	Ｃ－１	無着色陽極酸化皮膜
	ＯＡ	フリーアクセス床	Ｍ－	雑詳細番号
塗装	ＥＰ	合成樹脂エマルションペイント塗装		
	ＥＰ－Ｕ	防汚型アクリルエマルションペイント塗装		
	ＶＥ	塩化ビニル樹脂エナメル塗装		
	ＦＥ	フタル酸樹脂エナメル塗装		
	ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント塗装		
	ＦＰ	常温乾燥型ふっ素樹脂エナメル塗装		
	ＦＰ焼付	ふっ素樹脂焼付塗装		
	ＡＰ焼付	アクリル樹脂焼付塗装		
	ＵＣ	ウレタン樹脂ワニス塗装　黄色防止ウレタン塗装込み		
	ＣＬ	クリヤーラッカー塗装		
	ＯＳ	オイルステイン塗装		
	Ｓ－ＡＮ	特殊漆喰（水溶性漆喰特殊金ベラ仕上）		
	ＳＣ	シリカ系浸透性撥水剤		

外構・音響	ＴＷ	擁壁天端	ＢＷ	擁壁下端
	ＴＣ	縁石天端	ＢＣ	縁石下端
	ＴＰ	桝仕上げ高	ＩＮＶ	管低高
	ＮＣ－	騒音基準値		
設備（別途）	ＬＤ	ライティングダクト	ＰＤＬ	ペンダント照明
	ＳＰＬ	スポット照明	ＢＲ	ブラケット照明
	ＦＬ	蛍光灯	－ｉ	間接照明
	ＥＬ	非常用照明		
	ＢＨ	避難口誘導灯	ＣＰ	通路誘導灯
	ＳＰ	スピーカー	ＢＬ	ブリーズライン

製造所・製品・施工業者等一覧表

◎ 下記の製造所・製品・施工業者　同等以上とする。

土工事	山留め工事	野間産業、ヒロセ
地業工事	既製杭工事	大同コンクリート、ジオトップ、日本コンクリート
鉄筋 コンクリート	トラス鉄筋メッシュ型枠工法	栗本鉄工所
鉄骨	製作所 耐火塗料	全構連Ｈグレード以上広島県製作所 化工機商事：ナリファイア程度
押出成形セメント板	押出成形セメント板	ノザワ：アスロック程度、三菱マテリアル：メース程度
防水	防水工事 防水硬化砕石押え	東西アスファルト事業共同組合又は 日本アスファルト防水工業組合の会員 日新工業：カチトール程度
石　タイル	自然石 テラゾータイル 大型セラミック 大判タイル 磁器質タイル 陶器質タイル 半磁器質タイル	安藤大理石、コアド Ａ:ストーンイタリアーナ：クォーツバーゴ程度 Ｂ:ＡＢＣ商会：アポグラニット程度 アルテック、イナックストステム アドヴァン：ギヤマンテ程度 ダントー：コンチネンタル程度 ＴＯＴＯ：ビオティカ程度 ＴＯＴＯ：デラッドフロアー程度
木	造作木工事 フローリング等	高島屋スペースクリエイツ、大丸装工、匠ＳＡＳＡＫＩ
屋根	ステンレス屋根	三晃金属、元旦ビューティ工業
金属	アルミ複合板 アルミスパンドレル 製作金物 アルミ 製作金物 スチール	トステム建鐵：リニアパネル程度、日新建材、山中産業 日新建材、菊川工業、下野金属、理研軽金属工業 日新建材、菊川工業、下野金属、理研軽金属工業 日新建材、菊川工業、下野金属、理研軽金属工業
建具	アルミ建具 鋼製建具 シャッター 建具金物 取手 レバーハンドル、錠 ドアクローザ、丁番 ガラス	ＹＫＫａｐ、三協アルミ、トステム建鐵 三和シャッター、トステム、文化シャッター 三和シャッター、トステム鈴木シャッター、文化シャッター ユニオン：G630 程度 美和ロック、ゴール リョービ、東京萬 旭硝子、日本板硝子、フィグラ
塗装	一般塗料 特殊漆喰 多彩塗装 シリカ系浸透性撥水材 耐油防塵塗装	大日本塗料、日本ペイント、エスケー化研 ドゥカーレ：スタッコアンティコ程度、フッコー ドゥカーレ：ベルール程度、フッコー：モア程度 アムテック：ハイドロサーム程度、ケミックス ＡＢＣ商会：ケミクリート程度

内装	ビニル床シート コルクタイル タイルカーペット 岩綿吸音板 繊維石膏ボード セラミック系人造木材 人造大理石 不燃木質セメント板 バスリブ	東リ、タジマ 東亜コルク：コルクタイル 55 程度、神戸コルク A:インターフェースヒューガ：Kuji 程度 B：スミノエ：スミトロン 80 程度 日東紡：ソーラトン程度、大建工業 エーアンドエーマテリアル：エフジーボード程度 小野田:エースライト程度、宇部興産：ウッディライト程度 デュポン：コーリアン程度 興亜不燃板工業：不燃コーライトボード程度 創建：バスパネル U 程度
ユニット・雑	フリーアクセス床 移動間仕切 収納家具 トイレブース ラバトリーラッチ 煙突ライニング 天井点検口 流し台・吊り戸棚 ユニットシャワー 地中防振ゴム 地中防振材 防振遮音構造ゴム	ニチアス：オメガフロア程度、ナカ工業 小松ウォール：RS-100D（遮音タイプ）程度 造作木工事業者 造作木工事業者 シブタニ ニチアス：カポスタックスーパー程度 ナカ工業：ハイタッチ DX 程度 松下電工：Z ｼﾘｰｽﾞ ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾀｲﾌﾟ 程度 ＴＯＴＯ：USV0812T 程度 ブリジストン：パネラ弾性マット程度 JSP：ミラーブロック 15S LL25 程度（発泡ﾎﾟﾘｵﾚﾌｨﾝﾌﾞﾛｯｸ） 特殊内装（音響）工事業者
外構雨水排水	透水管 鋳鉄製側溝蓋、桝蓋	カナフレックスコーポレーション：カナドレン程度 第一機材：DGOS シリーズ程度
外構舗装	ノミ切り平板、ｽﾃｯﾌﾟ インターロッキング 脱色アスファルト 小舗石	日本興業：NT アイ程度 太陽セメント工業：コルゲートシリーズ程度 前田道路：ペブルコートＤ（茶色系自然色）程度 ストーンオフィスモリシタ：中国産花崗岩錆（甫田）程度
外構植栽	地下支持支柱 ﾏｻﾄﾞ用鉱物繊維改良材 黒曜石パーライト 酸素管	東邦レオ：スーパーグラサポ程度 東邦レオ：オールインワン程度 東邦レオ：ホワイトローム程度： 東邦レオ：DO パイプ程度
昇降機	昇降機	三菱電機、東芝エレベータ-
音響測定	検査測定機関	永田音響設計

工事名称

三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）

株式会社　槇総合計画事務所

一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号

一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦

年月日　2005年 5月

図面名称　特記仕様書4

縮尺　－

ファイル名称　A06Tokki04

図面番号　A－06

工事区分表	建築	電気	空調	衛生	ガス	昇降機	舞台機構	舞台照明	舞台音響	外構設備	別途	備考
Ａ　一般事項												
１　工事用電力・上下水・ガス・電話等												
１　工事用仮設電力・上下水・ガス・電話等の確保、および基本料金、従量料金	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
２　電力・上下水・ガス・電話・ ＣＡＴＶ・ネットワークインフラ等　引込負担金											○	本設引込分
３　本設引込後　工事期間中の電力・上下水・ガス・電話等の基本料金											○	
４　本設引込後　工事期間中の電力・上下水・ガス・電話等の従量料金	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
５　工事期間中の本設電力設備の管理および維持		○										詳細は電気主任技術者と協議
２　共通仮設												
１　据付工事等に対する仮設足場（共通部分）	○											
２　通り芯等現場基本墨出し	○											
３　現場内工事用仮設電源	○											
４　各種据付工事に関する現場内搬入経路の確保	○											
Ｂ　躯体												
１　躯体・基礎												
１　設備シャフト・スペース等の躯体および仕上げ	○											床面の防塵塗装仕上げ含む
２　大型設備（重荷重）機器コンクリート基礎		○	○	○								建築図図示による大型機器等
３　同上　架台		○	○	○			○					
４　一般設備（軽荷重）機器のコンクリート基礎		○	○	○		○	○	○	○			盤、ポンプ、ファン等
５　屋上・屋外における設備機器コンクリート基礎	○											
６　同上　架台		○	○	○								
７　同上　防水仕上げおよびその他防水部分との取合い	○											
８　設備機器設置に対する構造体補強	○											
９　設備機器設置用アンカーボルトの構造体緊結（箱入れ、モルタル埋戻等）		○	○	○		○	○	○	○			
１０　コンクリートダクト	○											
２　水槽												
１　各躯体水槽の区画形成、勾配確保、防水、内部仕上、断熱等	○											汚水、雑排水、雨水、消火、蓄熱槽　等
２　マンホール、タラップ取付	○											
３　人通口、連通管取付およびポンプ釜場	○											
３　その他												
１　床配管ピット、床配線ピット	○											内部仕上げ、ピット蓋含む
２　排水側溝	○											グレーチング蓋含む
３　煙突および煙導取付用フランジ、灰出口、煙突内雨水排水	○											
Ｃ　開口・穴明け												
１　構造体												
１　鉄筋コンクリート構造体（ ＲＣ)スリーブ取付、箱入れ		○	○	○	○	○	○	○	○			
２　同上　構造体補強	○											
３　同上　開口部補修、穴埋め		○	○	○	○	○	○	○	○			
４　鉄骨構造体（Ｓ）スリーブおよび補強	○											
５　鉄骨鉄筋コンクリート構造体（ ＳＲＣ） 単管スリーブおよび構造体補強	○											
６　鉄骨鉄筋コンクリート構造体（ ＳＲＣ） スリーブ用開口および構造体補強	○											小径スリーブ
７　同上　スリーブ取付		○	○	○	○	○	○	○	○			
８　未使用鉄骨スリーブに対する開口閉塞		○	○	○	○	○	○	○	○			
９　外壁等の構造体貫通スリーブ取付		○	○	○	○	○	○	○	○			
１０　同上　構造体補強	○											
１１　同上　防水処置および貫通配管等の防水処理		○	○	○	○	○	○	○	○			
１２　壁・床等の構造体貫通スリーブ取付		○	○	○	○	○	○	○	○			
１３　同上　構造体補強	○											
１４　設備機器搬入用フックの構造体取付（打込）および構造体補強												
２　躯体												
１　壁・床面埋込設備に対する躯体開口（仮枠および補修）		○	○	○	○	○	○	○	○			
２　同上　開口部補強	○											
３　客席吹出用躯体開口および吹出口	○											
４　外部へ貫通する配管・ダクト用開口および貫通部の防水処置		○	○	○	○	○	○	○	○			
５　同上　開口における配管・ダクトとの隙間充填、シール処理		○	○	○	○	○	○	○	○			
６　地下外周部二重壁より湧水槽への排水	○											
３　その他												
１　天井取付設備器具（照明、吹出・吸込口等）にともなう天井穴明けおよび開口補強、小口仕上	○											
２　同上　位置出し（墨出し）、開口寸法等の指示		○	○	○	○	○	○	○	○			
３　同上　リブ天井天井材の穴明けとリブ加工	○											
４　壁面取付設備器具（照明、吹出口・吸込口等）にともなう壁面穴明けおよび開口補強、小口仕上	○											石・金属パネル仕上げ、ＡＬＣ等
５　同上　位置、開口指示（墨出し）		○	○	○	○	○	○	○	○			
６　フリーアクセスフロアに対する配線器具取付用開口、配線通過用開口およびカバー	○											
７　同上　配線器具取付、結線		○										
８　フリーアクセスフロア内の設備配線・配管用開口に対する防火区画貫通処理		○	○	○	○	○	○	○	○			
９　防火区画および遮音区画貫通にともなう貫通処理	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
Ｄ　建築関連												
１　建具・仕上げ												
１　点検口（天井・壁・床）取付および開口補強	○											設備保守点検用
２　電動シャッター	○											
３　同上　一次側電源供給		○										接地線含む
４　同上　操作スイッチ、リミットスイッチ取付および二次側配管配線	○											
５　自動ドア	○											
６　同上　一次側電源供給		○										接地線含む
７　同上　保守用スイッチ取付および二次側配管配線	○											
２　防煙・防火												
１　防火戸、防火シャッター	○											
２　同上　自動閉鎖装置		○										
３　同上　自動閉鎖装置にともなう防火戸側受け金物取付および補強	○											
４　固定防煙たれ壁	○											
５　可動防煙たれ壁	○											
６　同上　オペレータ	○											
７　同上　配管配線		○										
８　同上　自火報・防排煙受信盤への配管配線		○										制御、表示
３　防音遮音												
１　機械室における防音、遮音処置	○											建具、吸音材など
２　設備機器の騒音対策および騒音振動伝播抑制		○	○	○	○	○	○	○	○			

工事区分表	建築	電気	空調	衛生	ガス	昇降機	舞台機構	舞台照明	舞台音響	外構設備	別途	備考
４　外部仕上げ												
１　外壁、軒天井部ベントキャップ				○								
２　同上　通気管取付				○								
３　化粧マンホール蓋、ハンドホール蓋		○	○	○	○							
４　同上　仕上げ	○											
５　その他												
１　保守用キャットウォーク、タラップ、手摺、フェンス	○											
Ｅ　電気設備関連												
１　一般事項												
１　ライティングダクトおよび取付用吊ボルト		○										
２　同上　天井開口および開口補強、下地補強	○											
３　電話交換機、電話機　取付および試験調整											○	
４　同上　配線布設		○										
５　同上　配管対応		○										
６　情報通信設備　引込配線、サーバー、メインスイッチ											○	
７　同上　ネットワーク盤（分岐盤）		○										
８　同上　配線布設		○										情報コンセント含む、引込配線は別途
９　同上　配管対応		○										
１０　防犯設備											○	
１１　同上　電気錠取付、建具内配線、通電兆番取付	○											
１２　同上　電気錠制御盤の設置											○	
１３　同上　マグネットセンサー取付用建具枠開口等	○											
１４　同上　配管		○										
１５　同上　配線、試験調整											○	
２　自家発電設備												
１　発電機および機側盤、補機類		○										
２　床仕上、基礎、床シンダーコンクリートおよび建具よりの雨水侵入抑制	○											床面耐油塗装含む
３　配管ピット、配線ピット、防油提	○											蓋および耐油塗装含む
４　煙突および煙導取付用フランジ、煙突内雨水排水	○											
５　煙導		○										
６　発電機室　給気・排気ファン			○									発電機室用
７　発電機　燃焼用給気ファン			○									燃焼用、発電機運転に連動
８　発電機　燃焼用排気ファン			○									パッケージ換気ファン
３　空調・衛生設備関連取合（動力設備・中央監視設備）												
１　動力制御盤		○										
２　補機盤、機側盤、ユニット盤			○	○								給水ポンプ、システムエアハン等
３　同上　一次側電源供給		○										接地線含む
４　同上　二次側配管配線			○	○								
５　インバータ装置		○										
６　同上　設定および試験調整			○	○								
７　電動機端子部プルボックス		○										配線接続用、モータ付属規格品以外
８　各水槽のフロートスイッチ・電極棒設置および調整			○	○								
９　同上　マンホール型電極保持器			○	○								
１０　同上　動力制御盤までの配管配線		○										
１１　手元開閉器までの水中ポンプ付属ケーブル				○								
１２　自動制御設備			○									
１３　中央監視設備			○									
１４　電気設備にて設置する盤類から中央監視設備に接続する配管配線			○									受変電、自家発、分電盤、動力制御盤等
１５　空調設備にて設置する盤類から中央監視設備に接続する配管配線			○									
１６　衛生設備にて設置する盤類から中央監視設備に接続する配管配線			○									
１７　動力制御盤から空調設備自動制御盤に接続する配管配線			○									空調自動制御に関連する機器
４　その他												
１　避雷針引下げ導線接続用プレートの構造鉄骨溶接取付	○											
Ｆ　空調設備関連												
１　一般事項												
１　パッケージエアコン			○									
２　同上　操作スイッチ取付および二次側配管配線			○									
３　同上　屋内機－屋外機間電源および制御線渡り配線			○									
４　空調換気扇			○									
５　同上　一次側電源供給		○										
６　同上　操作スイッチ取付および二次側配管配線			○									
７　空調機内保守用照明			○									
８　同上　スイッチ取付および二次側配管配線			○									
９　同上　スイッチ一次側への電源供給		○										
２　ガラリ・チャンバー												
１　外壁、軒天井部ガラリ	○											チャンバー接続フランジまで
２　同上　チャンバーおよび雨水排水			○									
３　同上　防火ダンパー	○											
４　サッシュ一体型ガラリ、スリット	○											
５　同上　チャンバーおよび断熱対策、雨水排水	○											ダクト接続フランジまで
６　ドアガラリ	○											
７　同上　防火ダンパー	○											
８　意匠吹出口（建築工事）に対するチャンバーボックス取付			○									
３　防火・防煙												
１　防火ダンパー（ＦＤ）			○									
２　防煙防火ダンパー（ＳＦＤ）			○									
３　同上　自火報・防排煙受信盤への配管配線		○										制御、表示、復帰
４　機械排煙設備　排煙口			○									
５　同上　排煙オペレータ			○									
６　同上　排煙口より排煙オペレータまでの配管配線		○										
７　同上　自火報・防排煙受信盤への配管配線		○										制御、表示、復帰

工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）

株式会社　槇総合計画事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦

年月日 2005年 5月
図面名称 工事区分表1
縮尺 －
ファイル名称 A07Kubun
図面番号 A－07a

工事区分表	建築	電気	空調	衛生	ガス	昇降機	舞台機構	舞台照明	舞台音響	外構設備	別途	備考
G　衛生設備関連												
1　排水設備												
1　床排水金物				○								
2　ルーフドレン	○											
3　雨水縦樋・雨水立管	○											屋内・屋外
4　同上　屋外第一桝・雨水貯留槽等への接続配管	○											
5　屋外雨水桝および配管										○		
6　雨水側溝および会所桝										○		
7　屋外汚水・雑排水排水桝および配管				○								
8　空調設備熱源および空調機等の機器周りドレン配管展開			○									
2　衛生器具設備												
1　洗面カウンターおよびカウンター開口・補強	○											
2　同上　洗面器および取付・シール				○								
3　化粧鏡	○											
4　紙巻器				○								
5　小便器　感知フラッシュバルブ				○								
6　同上　電源供給		○										
7　多目的便所　手摺				○								
8　多目的便所および便所ブース内ベビーシート				○								
9　同上　手摺、ベビーシート取付にともなう下地補強	○											
3　厨房設備												
1　厨房機器・器具　シンク、棚、テーブル				○								設計図示による
2　厨房機器・器具　上記以外											○	
3　同上　に対する電源用分電盤および分電盤より厨房機器までの配管配線		○										接続用配線器具、手元開閉器等含む
4　同上　に対する給水、給湯、ガス等　建屋側管との接続				○								
5　グリストラップ				○								区画貫通部分の耐火処置とも
6　同上　以降排水配管				○								
7　排気フードおよびグリスフィルター			○									
4　消火・防災設備												
1　各消火システム・ポンプ等制御盤				○								
2　同上　一次側電源供給		○										接地線含む
3　同上　二次側配管配線				○								
4　屋内消火栓ボックス				○								
5　同上　パブリックスペース設置のドアパネル	○											位置は図示による
6　同上　発信機・電鈴・表示灯取付用開口				○								
7　フード消火設備および制御盤より二次側配管配線				○								
8　同上　一次側電源供給および制御盤より自火報設備への移報に関する配管配線		○										
9　ガス漏れ警報設備（感知器および警報装置）		○										
10　ガス緊急遮断弁					○							
11　遮断弁制御盤		○										
12　感震器			○									
13　消火器											○	
14　同上　収容ボックス	○											
5　その他												
1　ガス設備					○							
2　流し台、コンロ台	○											
3　同上　ガスコンロ、電気コンロ、電磁調理器											○	
4　ミニキッチン				○								
5　同上　電気湯沸器				○								
6　同上　給排水配管接続				○								
7　ガス給湯器											○	厨房用
8　電気給湯器				○								
H　昇降機設備　本工事区分は　□建築工事に含み積算区分を示す。　□昇降機設備工事に関する工事区分を示す。												
1　三方枠　製作取付						○						
2　同上　開口および開口補強	○											
3　その他　昇降機設備にともなう躯体開口（乗場ボタン・インジケータ）および開口補強	○											
4　乗場敷居持出し用躯体	○											
5　昇降路、機械室内への吊下フック取付および構造体補強	○											
6　レールブラケット、中間ビーム、ファスナー等取付	○											
7　機械室穴明およびエレベータシャフト外油圧・電気配管用スリーブ	○											
8　エレベータ機械室　機械基礎、シンダーコンクリートおよび床仕上げ	○											防塵塗装仕上げ
9　マシンビーム受梁、スペーサ	○											
10　エレベータ機械室　照明設備および点検用コンセント設置		○										
11　エレベータ機械室および昇降路に対する煙感知器の設置		○										
12　エレベータ機械室　給排気設備			○									
13　エレベータピット内防水	○											
14　エレベータピット内点検用タラップ取付						○						
15　エレベータピット内保守用コンセント取付		○										
16　エレベータ制御盤						○						
17　同上　一次側電源供給		○										
18　同上　二次側配管配線						○						
19　同上　火災信号および商用／発電機信号供給		○										
20　かご内放送スピーカ設置およびエレベータシャフト内配線						○						
21　同上　非常放送信号供給にともなうエレベータ機械室までの配管配線		○										
22　かご内監視カメラ設置およびエレベータシャフト内配線						○						
23　同上　監視カメラ系統接続にともなうエレベータ機械室までの配管配線		○										
24　エレベータ監視盤						○						
25　同上　エレベータ機械室より監視盤設置室までの配管配線		○										
26　エレベータインターホン						○						
27　同上　エレベータシャフトより監視場所までの配管配線		○										
28　遠隔監視用電話回線の供給		○										
29　かご内空調設備						○						
30　同上　エレベータピットから排水槽までのドレン配管				○								
31　昇降機設備に関する諸手続および官公庁検査の受検						○						
I　舞台機構設備												
1　スノコ（主鉄骨、各受材、補強部材、手摺、階段、タラップ、キャットウォーク、搬入用取外蓋）	○											
2　スノコ上部搬入用天井フック設置	○											
3　上部滑車取付用梁	○											
4　吊物設備機器取付および開口等にともなうスノコ鋼材の加工							○					
5　スノコ鋼材の加工にともなう補強および錆止め塗装							○					
6　スノコ、フライギャラリー、キャットウォークに対する作業用照明、コンセント取付		○										
7　諸幕の製作及び吊込							○					
8　緞帳の製作および吊込											○	
9　スクリーンフレームの製作及び据付							○					
10　スクリーンの製作および吊込							○					
11　音響反射板　本体鉄骨バックフレーム・扉機構の製作及び据付							○					
12　音響反射板　壁、天井、扉の下地および仕上（扉の場合、扉への仕上材取付）	○											
13　音響反射板への照明器具取付および電源配管配線								○				
14　同上　開口および開口補強、下地補強	○											
15　吊物機構制御盤、同操作卓						○						
16　同上　一次側電源供給		○										
17　同上　二次側配管配線							○					
18　二次側配管配線にともなう躯体貫通穴および補修							○					
19　舞台大道具備品の製作および設置											○	
20　リハーサル室　美術バトンおよび照明バトン							○					
21　同上　滑車、巻上機、ワイヤー等							○					
22　同上　天井内設置用架台および滑車取付用下地鋼材	○											
23　同上　制御盤及び二次側配管配線							○					
24　同上　一次側電源供給		○										
J　舞台照明設備												
1　舞台照明設備								○				
2　同上　機器間配管配線								○				
3　調光器盤、主幹盤								○				
4　同上　一次側配管配線		○										
5　同上　二次側配管配線												
6　誘導灯消灯用信号装置		○										
7　同上　消灯連動信号の供給								○				調整室に接点供給
8　フライダクトおよびスポットライト吊込												
9　ボーダケーブルおよびケーブルリール設置												
10　フロントサイドライト、シーリングライトの器具吊下パイプ												
11　トーメンタルスポットライトの器具吊下フレーム												
12　音響反射板への照明器具取付および電源配管配線								○				
13　同上　開口および開口補強、下地補強	○											
14　舞台床コンセント									○			
15　同上　床開口および開口補強	○											
16　同上　化粧蓋	○											
17　天井内キャットウォークおよびスノコ	○											
18　持込電源盤　一次側配管配線		○										調光系（3φ 4W）を除く
19　客席照明用ダウンライト、シーリングウオッシュライト		○										
J　舞台音響設備												
1　舞台音響設備									○			
2　同上　機器間配管配線									○			
3　調整室および音響室　分電盤									○			
4　同上　一次側配管配線		○										
5　同上　二次側配管配線									○			機器および各音響盤への電源供給含む
6　非常放送カット信号供給		○										音響室およびリハーサル室
7　非常放送カットリレー（コンセント）		○										練習室1、練習室2
8　調整室　フリーアクセスフロアおよび同開口、開口補強	○											
9　調整室　手元照明用ライティングダクトおよび手元照明器具		○										
10　調整室　映写機およびビデオプロジェクター											○	
11　同上　電源確保		○										分電盤　分岐回路対応まで
12　プロセニアムスピーカ									○			
13　同上　スピーカ全面開口および開口補強、化粧枠		○										
14　同上　天井面サランネット等化粧カバー		○										
15　同上　スピーカ吊込設置用フレーム	○											
16　サイドスピーカ									○			
17　同上　スピーカ全面開口および開口補強、化粧枠	○											
18　同上　天井面サランネット等化粧カバー	○											
19　同上　スピーカ吊込設置用バトンパイプ	○											
20　同上　設置スペース内部吸音処理	○											
21　同上　スピーカメンテナンス用フック	○											
22　同上　下部サブウーハ取付用ベース									○			
23　フロント、シーリングスピーカ									○			
24　同上　壁面スピーカボックスおよび内部吸音処理	○											
25　同上　壁面サランネット等化粧カバー	○											
26　同上　メンテナンス用キャットウォーク	○											
27　2階客席サイド補助スピーカ									○			
28　同上　スピーカ全面開口および開口補強、化粧枠		○										
29　同上　天井面サランネット等化粧カバー		○										
30　同上　スピーカ吊込設置用フレーム	○											
31　三点吊マイク装置									○			
32　同上　天井貫通滑車用天上開口および開口補強、化粧枠	○											
33　舞台床コンセント									○			
34　同上　床開口および開口補強	○											
35　同上　化粧蓋	○											
36　運営系連絡放送システム									○			楽屋、スタッフ、ホワイエ系
37　運営系インターカムシステム									○			舞台運営系
38　運営系インターホン、内線電話		○										
39　運営系映像モニターシステム									○			カメラおよび送出系変調器
40　同上　モニターテレビ											○	
41　同上　モニターテレビ用電源コンセント		○										
42　同上　変調器と共聴ラインとの接続および信号混合		○										
43　同上　モニターテレビへの共聴ライン（モニター映像）供給		○										
44　演出仕込トークバックシステム									○			
45　電気音響に関する調整および測定と報告書の作成									○			
46　建築音響に関する測定と報告書の作成	○											
47　インバータノイズ対策	※	※	※	※		※	※	※	※		※	発生原因側が改善処置を行なうこと

工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）

株式会社　槇総合計画事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦

年月日　2005年 5月
図面名称　工事区分表2
縮尺　－
ファイル名称　A07Kubun
図面番号　A－07b

内部仕上表

階	室名	法規制		FL SL	床		巾木			壁			廻縁	天井			天井高	備考	
		排煙	内装制限		記号	仕上	記号	H	仕上	記号	下地	仕上		記号	下地	仕上		建築工事	別途工事
B1階	オーケストラピット 将来スペース	－	不	−5990 −6000	F1a	RC直均し	－	－	－	W1c	－	RC打放しC種	－	C1c	RC	RC打放しC種、上部の床組（鉄骨+木軸組）	直天		
	客席収納庫 将来スペース	－	不	−4390 −4400	F1a	RC直均し	－	－	－	W1c　W5d	RC,LGS	RC打放しC種　SCB8	－	C4	RC	PB12.5+9.5　背面にGW32kgt=50	1700~2200		
	前室1、2	告二	不	−4390 −4400	F1a	RC直均し	－	－	－	W1c	－	RC打放しC種	－	C1c	RC	RC打放しC種	直天		
	前室3	告二	不	−6230 −6250	F2	ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	W1a	RC	RC打放し補修 EP−U	－	C1a	RC	RC打放し補修 EP	直天		
	空調機械室（受水層置場，給水ポンプ置場，屋外給水エリア）	告一	準不	−6240,−5390,−4790 −6250,−5400,−4800	F1a	RC直均し	B1	200	RC打放し、又はCB	W2a、W1c	RC	GW32kgt=50ガラスクロス押え　柱・梁型は全てRC打放しC種	－	C1b	RC	GW32kgt=50ガラスクロス押え	直天	鉄骨階段　RCステップ（直均し）　落下防止材	
	消火ポンプ室	告二	不	−6240 −6250	F1a	RC直均し	－	－	－	W1c	－	RC打放しC種	－	C1c	RC	RC打放しC種	直天		
	熱源機械室	告二	不	−6240 −6250	F1a	RC直均し	B1	200	RC打放し、又はCB	W2a	RC	GW32kgt=50ガラスクロス押え　柱・梁型は全てRC打放しC種	－	C1b	RC	GW32kgt=50ガラスクロス押え	直天		
	発電機室	告二	不	−6050 −6250	F1c	RC直均しの上 耐油塗装（軽量コンクリートt=200）	－	－	－	W3 W2b	RC,CB	不燃木毛セメント板t=30打込み　CB側GW32kgt=50ガラスクロス押え 柱・梁型は全てRC打放しC種	－	C2b	RC	不燃木毛セメント板t=30打込み	直天	防油堤　配管・配線ピット	
	電気室	告一	準不	−4790 −4800	F1a	RC直均し	－	－	－	W3 W2b	RC,CB	不燃木毛セメント板t=30打込み　CB側GW32kgt=50ガラスクロス押え 柱・梁型は全てRC打放しC種	－	C2b	RC	不燃木毛セメント板t=30打込み	直天		
	中央監視室	告四	下不	−4315 −4400	F3a	タイルカーペットB（OA：H=85）	B2	60	ビニル巾木	W4a,W6b−A	RC	モルタルEP−U PB12.5+9.5EP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	2500		
	倉庫	告二	不	−6240 −6250	F1a	RC直均し	－	－	－	W1c	－	RC打放しC種	－	C1c	RC	RC打放しC種	直天		
1階	風除室1，2	－	下不	±0 −100	F3b	タイルカーペットB	－	－	－	詳細図参照	LGS	アルミ複合板t4焼付	－	EC1	LGS	アルミ複合板t4焼付	5160 4000	外壁面（下り壁裏含む）→内断熱（打込み・吹付）	
	ホワイエ1	機排	下不	±0 −600,−800	F6	フローリング UC　（木床組仕様）	－	－	－	詳細図参照	LGS	アルミ複合板t4焼付　S柱：耐火塗料の上FE	－	C4	LGS	PB12.5+9.5寒EP	4500	空調グリル	
	ホワイエ2 東エントランス・北エントランス	機排	下不	±0 −60	F4	フローリング UC　（モルタル仕様）	B3	60	木SOP	W6b−D	LGS	PB12.5+9.5 特殊漆喰　S柱：耐火塗料の上FE 八角柱：RC打放しSC（杉板型枠）	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5寒EP	4000	空調グリル（東エントランス）	受付カウンター
	ホール階段1，2	機排	下不	±0,+1280 −60,+1220	詳細図参照	フローリングUC　（モルタル仕様）	B3	60	木練付UC	W7aR−E	LGS	PB12.5+木練付パネル	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5寒EP	1FL+5020 1FL+4460	RAルーバー　注意喚起材	
	ホール通路1，2	機排	下不	±0,−600,−1100,−1290 −60~−1350	F4	フローリングUC　（モルタル仕様）	B3	60	木SOP	W1b　W4a W6b−A	RC/LGS	RC打放しSC（杉板型枠）　モルタルEP−U　八角柱：RC打放しSC（杉板型枠） PB12.5+9.5EP−U　S柱：耐火塗料の上FE	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5寒EP	1FL+4000 1FL+3250	注意喚起材　腰壁（外壁面）→ 外壁面→内断熱（打込み・吹付）	
	舞台 舞台通路	機排	下不	−850 −1760	F6	縁甲板　ワックス　（木床組仕様：H=910）	B3	300	木SOP	W1a W2c　W3# P3−A	RC/LGS LGS	柱・梁型面：RC打放し補修 EP−U FPB21+PB12.5+9.5の上 不燃木毛セメント板30tEP−U または、GWGC押え PB12.5+9.5EP−U	－	C2　C15 C1b　C1c C3+GW	RC LGS	RC打放しC種　FPB21+PB12.5+9.5（防振ハンガー）EP+GWGC GW32kgt=50ガラスクロス押え PB12.5の下面に GW32kgt=50ガラスクロス押え	直天 4100	ブドウ棚、吊物マシンスペース、フライギャラリー、舞台階段 外壁RC打ち放し面は内断熱（打込み・吹付）	
	音響反射板（仕上材及び下地）									W12A+W11	LGS	FPB15+15の上FRG10+木練付、FRG8+8+8寒EP（共に音響反射板）		C12（反射板）	LGS	FPB15+15の上FRG10寒EP（音響反射板）		音響反射板のバックフレーム以外の仕上げ（軽鉄含む）	音響反射板のバックフレーム（鉄骨）
	舞台前室1，2	告二	不	−850 −880	F2	ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	W4a　P1−A P1+GW	RC/LGS	PB15+15EP−U　モルタルEP−U GW32kgt=50GC　GW32kダブル+GC　（スピーカーエリア）	－	C4 C4+GW	LGS	PB12.5+9.5EP PB12.5+9.5の下面に GW32kgt=50ガラスクロス押え　（スピーカーエリア）	3000	PBによる仕切り壁、サランネット壁面（スピーカーエリア）	
	客席部	機排	下不	+1280~−1290~−1700 +1220~−1760	F4 F4#	フローリングUC（モルタル仕様） フローリングUC（根太式）→オケピ開口直上部に限る	詳細図参照			W12A W12B W12C　W14 W13　W10	LGS	FPB15+15の上FRG10+木練付 PB12.5+12.5の上FRG10+木練付 PB15の上FRG10+木練付　SCB−Pt6+木練付.背面にGW32k50tGC モルタル+PB9.5　EP　ライムストン	詳細図参照	C7a C8 C13　C14	LGS	PB15+15寒EP FPB21+PB12.5+9.5寒EP 2階客席直下天井→　PB15+FRG10木練付　SCB−P木練付+GWボード+PB12.5	詳細図参照	空調グリル　天井内キャットウォーク　間接照明BOX	
	調整室	告四	下不	+1280,+1880 −60	F7	タイルカーペットB（木床組仕様：H=1940） （FL+1280面→SL+モルタル下地、FL+1880面→木下地）	B2	60	ビニル巾木	W5a P2−A　W4a	LGS	SCB−P（吸音仕様、丸孔）EP−U FPB21+HPB9.5+敷目板PB12.5EP−U　モルタルEP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	2340 2940	木組階段、床下点検口+ラダータラップ	
	親子室	告四	下不	+1880 −60	F7	タイルカーペットB（木床組仕様：H=1940）	B3	60	木SOP	W5a P2−A　P3−A	LGS	SCB−P（吸音仕様、丸孔）EP−U FPB21+HPB9.5+敷目板PB12.5EP−U　PB12.5+9.5EP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	2340		
	親子室前室	告二	不	+1280,+1880 −60	F7	タイルカーペットB（FL+1280面→SL+モルタル下地、FL+1880面→木下地）	B3	60	木SOP	P3−A W4a	LGS	PB12.5+9.5EP−U　モルタルEP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	2340~2940	木組階段	
	前室1，2	告二	不	−1290 −1320	F3b	タイルカーペットB	B3	60	木練付UC	W7aR−E	LGS	PB12.5+木練付けパネル	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3000		
	前室3，4	告二	不	+1280 +1250	F3b	タイルカーペットB	B3	60	木練付UC	W7aR−E	LGS	PB12.5+木練付けパネル	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	2500		
	男子客用便所1，2	機排	下不	−900 −1000	F12+T1	テラゾータイル　（アスファルト防水）	－	－	－	詳細図参照	RC/CB/LGS	テラゾータイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	3000	洗面カウンター、化粧鏡、姿見、便所ブース	衛生器具
	女子客用便所1，2	機排	下不	−1100,−1290 −1200,−1390	F12+T1	テラゾータイル　（アスファルト防水）	－	－	－	詳細図参照	RC/CB/LGS	テラゾータイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	3390（女子1） 3200（女子2）	洗面カウンター、化粧鏡、姿見、便所ブース	衛生器具
	HC1，2	告二	不	−1290 −1350	F12+T2	大判タイル	－	－	－	詳細図参照	LGS	大判タイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2700		衛生器具、鏡、手スリ等一式
	喫煙所1，2	機排	下不	−600 −640	F8+T1	テラゾータイル	B3	60	木SOP	W4a	RC	モルタルEP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2700		
	休憩室	告四	下不	−1100 −1130	F2	ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	P3−A W4a	RC/LGS	モルタルEP−U　PB12.5+9.5EP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3000		手洗い器（直付）
	倉庫	告二	不	−1290 −1320	F2	ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	W3−A　W1a P4−A	RC/LGS	RC補修EP−U　PB12.5+9.5EP PB12.5+9.5EP−U	J1	C3	LGS	PB12.5 EP	3000	外壁面→内断熱（打込み・吹付）	
	業務通路1.2	告二	不	−850,−1290 −880,−1320	F2	ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	W1a　W6b−A P1−A　P3−A	RC/LGS	PB12.5+9.5EP−U　RC補修EP−U FPB15+15EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	3000	階段（RC下地：業務通路1のみ）	
	風除室3	－	下不	±0 −100	F15	タイルカーペットB	－	－	－	詳細図参照	LGS	アルミ複合板t4焼付　または指定色焼付（EV外周）	－	詳細図参照	LGS	ルーバー天井（CH4000の箇所にPB12.5+9.5EP）	詳細図参照	郵便ポスト（取出し面）　誘導鋲 外壁面内側（下り壁裏）→内断熱（打込み・吹付）	
	サブエントランス	機排	準不	±0,−850 −60,−910	F4	フローリングUC　（モルタル仕様）	B3	60	木SOP	W6d−A EW3b	LGS	FPB15+15EP−U　アルミ複合板t4指定色焼付	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5寒EP	3250 4000	注意喚起材	誘導案内板（カウンター式）
	ロビー通路	機排	準不	±0 −60	F4	フローリングUC　（モルタル仕様）	B3	60	木SOP	P1−A P3−A	LGS	FPB15+15EP−U　PB12.5+9.5EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5寒EP	3250		
	ロビー階段	機排	準不	－ －	詳細図参照	フローリングUC　（モルタル仕様）	－	－	－	P3−A W6d−A	LGS	FPB15+15EP−U　PB12.5+9.5EP−U	J1	詳細図参照	LGS	PB12.5+9.5寒EP	詳細図参照	注意喚起材	
	託児室　ボランティア室	告四	下不	±0 −30	F11	コルクタイル	B3	60	木SOP	W6d−A P3−A	LGS	FPB15+15EP−U　PB12.5+9.5EP−U　柱型：モルタルEP−U	J2 J1	C5 C4	LGS	岩綿吸音板 PB12.5+9.5 EP	3500	ロールスクリーンBOX	手動ロールスクリーン 自立型簡易間仕切
	男子・女子便所	告二	不	±0 −100	詳細図参照	大判タイル　（アスファルト防水）	－	－	－	詳細図参照	RC/LGS	大判タイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	詳細図参照	洗面カウンター、化粧鏡、姿見、便所ブース 外壁面→内断熱（打込み・吹付）	衛生器具
	カフェレストラン	告四	下不	±0 −60	F4	フローリングUC　（モルタル仕様）	B3	60	木SOP	W6b−I P3−A	LGS	PB12.5+9.5の上 アルミ複合板t2焼付　PB12.5+9.5EP−U アルミ複合板t4焼付	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5寒EP	詳細図参照	カウンター　ロールスクリーンBOX	手動ロールスクリーン
	厨房	告四	下不	±0 −100	F14	大判タイル　（アスファルト防水）	－	－	－	P3−A P3−F	LGS	半磁器質タイル<H2400　PB12.5+9.5EP>H2400	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2700		厨房器具、グリストラップ、フード等一式
	厨房便所	告二	不	±0 −100	F14	大判タイル　（アスファルト防水）	－	－	－	詳細図参照	LGS	半磁器質タイル<H2100　PB12.5+9.5EP>H2100	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2700		衛生器具
	HC3，4	告二	不	±0,−850 −100,−950	詳細図参照	大判タイル　（アスファルト防水）	－	－	－	詳細図参照	LGS	大判タイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2700		衛生器具、鏡、手スリ等一式
	大会議室　小会議室	告四	下不	±0 −85	F3a	タイルカーペットA（OA：H=85）	B3	60	木SOP	P1−A P4−A	LGS	FPB15+15EP−U　PB12.5EP−U　八角柱：モルタルEP−U	J2 J1	C5 C4	LGS	岩綿吸音板 PB12.5+9.5 EP	4000	移動間仕切　ロールスクリーンBOX	手動又は電動ロールスクリーン（遮光タイプ）
	事務室	告四	下不	±0 −85	F3a	タイルカーペットA（OA：H=85）	B2	60	ビニル巾木	P1−A P3−A	LGS	FPB15+15EP−U PB12.5+9.5EP−U　八角柱：モルタルEP−U	J2 J1	C5 C4	LGS	岩綿吸音板 PB12.5+9.5 EP	4000	ロールスクリーンBOX	手動ロールスクリーン
	前室（荷解き）	機排	準不	−850 −860	F1b	RC直均しの上防塵塗装	B3	60	木SOP	W4a　W6b−A P1−A	RC/LGS	モルタルEP−U　PB12.5+9.5EP FPB15+15EP−U	－	C11	LGS	St.ワイヤメッシュ 75*75*5ø,SOP GW32kgt=50ガラスクロス押え	4700		
	搬入口	告二	不	−1400~−1450 −1470~−1550	F1b	RC直均しの上防塵塗装　（アスファルト防水、押えコンt=100）	－	－	－	W4a W6b−A	RC/LGS	モルタルVE PB12.5+9.5VE	－	C9b	LGS	SCB−P6VE（丸孔）	5500 4700	外壁面→内断熱（打込み・吹付）　RCステップ（直均し）　壁ガード	
	楽器庫	告二	不	−850 −910	F4	フローリングUC　（モルタル仕様）	B3	60	木SOP	P1−A W6aR−A	RC/LGS	FPB15+15EP−U PB12.5+9.5EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	3000	壁ガード	
	大楽屋（練習室）	告四	下不	−850 −880	F3b	タイルカーペットB	B3	60	木SOP	P1−A W6aR'−A	RC/LGS	PB12.5+9.5EP−U FPB15+15EP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3700	腰壁（外壁面）　外壁面→内断熱（打込み・吹付） 化粧カウンター（洗面部含む）、化粧鏡、造作棚	衛生器具 手動ロールスクリーン（遮光タイプ）
	中楽屋1，2	告四	下不	−850 −880	F3b	タイルカーペットB	B3	60	木SOP	P1−A W6aR−A	LGS	FPB15+15EP−U PB12.5+9.5EP−U　八角柱：モルタルEP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3700	腰壁（外壁面）　外壁面→内断熱（打込み・吹付） 化粧カウンター（洗面部含む）、化粧鏡、造作棚	
	個室1，2	告四	下不	−850 −880	F3b	タイルカーペットB	B3	60	木SOP	P1−A W6aR−A	LGS	FPB15+15EP−U PB12.5+9.5EP−U　八角柱：モルタルEP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3700	腰壁（外壁面）　外壁面→内断熱（打込み・吹付） 化粧カウンター（洗面部含む）、化粧鏡、造作棚	
	アーティストラウンジ	機排	準不	−850 −910	F4	フローリングUC　（モルタル仕様）	B3	60	木SOP	P1−A　W6b−A W6aR'−A	RC/LGS	FPB15+15EP−U PB12.5+9.5EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	4000	腰壁（外壁面）　外壁面→内断熱（打込み・吹付）	
	楽屋事務室（主催者）	告四	下不	−850 −880	F3b	タイルカーペットB	B3	60	木SOP	P1−A P3−A	LGS	PB12.5+9.5EP−U　FPB15+15EP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3000		

略号表

○ 一般事項、構造
○ 塗装工事
○ 内装工事

DS:ダクトスペース　PS:パイプスペース　EPS:電気配線スペース　EV:エレベーター　t: 厚さ　RC:鉄筋コンクリート　LGS:軽量鉄骨　CB:コンクリートブロック　St: 鋼　SUS: ステンレス　AL: アルミニウム　FB:フラットバー　L: アングル　PL: プレート
EP:合成樹脂エマルジョンペイント　寒:寒冷紗　SOP: 合成樹脂調合ペイント　AP焼付:アクリル樹脂焼付塗装　FE:フタル酸樹脂エナメル塗装　UC:ウレタン樹脂ワニス塗装　VE:塩化ビニル樹脂エナメル塗装　FP焼付:フッ素樹脂焼付　EP−U:特殊アクリル樹脂エマルジョンペイント（防汚タイプ）　FRG: 繊維石膏ボード　HL:ヘアライン仕上げ　ZP:溶融亜鉛メッキ　AE: アクリル樹脂エナメル塗装
PB:石膏ボード　GW:グラスウール　CAW: セラミック系人造木材　SCB: 珪酸カルシウム板　SCB−P:有孔珪酸カルシウム板　SPB:シージング石膏ボード　FPB: 強化石膏ボード　HPB:硬質石膏ボード　GC:ガラスクロス　CL: クリヤーラッカー　FP:フッ素樹脂塗装　SC:シリコン系浸透撥水性塗料　OS: オイルステイン

特記

令：令126条の2　告一：告示1436号第4号ハ（一）　告二：告示1436号第4号ハ（二）　告三：告示1436号第4号ハ（三）　告四：告示1436号第4号ハ（四）　告示1436号は、平成12年度建設省告示1436号を示す

工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）

株式会社　槇総合計画事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦

年月日: 2005年 5月
図面名称: 内外部仕上表1
縮尺: －
ファイル名称: A08nFList01
図面番号: A−08

内部仕上表

階	室名	法規制		FL	床		巾木			壁			廻縁	天井			天井高	備考	
		排煙	内装制限	SL	記号	仕上	記号	H	仕上	記号	下地	仕上		記号	下地	仕上		建築工事	別途工事
1階	守衛室	告四	下不	−850 −880	F3b	タイルカーペットB	B2	60	ビニル巾木	P3−A	RC/LGS	PB12.5+9.5EP−U　柱型：モルタルEP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3000		受付カウンター
	楽屋通路	機排	準不	−850 −910	F4	フローリングUC　（モルタル仕様）	B3	60	木SOP	P1−A　W4a W6b−A	RC/LGS	FPB15+15EP−U　モルタルEP−U PB12.5+9.5EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP　アルミ目地	3700	間接照明BOX	
	男子・女子楽屋便所	告二	不	−850 −950	F12+T2	大判タイル　（アスファルト防水）	−	−	−	詳細図参照	RC/LGS	大判タイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2700	洗面カウンター、化粧鏡、姿見、便所ブース	
	シャワー室1，2	告二	不	−850 −950	詳細図参照	アスファルト防水の上シャワーユニット	−	−	−	詳細図参照	LGS	SCB8（脱衣スペースのみVE）	J1	直天 C9a	LGS	SCB6 VE（脱衣スペースのみ）	2700	脱衣スペース	
	シャワー室3	告二	不	−850 −950	詳細図参照	脱衣スペース：ビニル床シート　（アスファルト防水） シャワースペース：磁器質タイル	B3	60	木SOP（脱衣スのみ）	詳細図参照	LGS	PB12.5+SPB9.5（脱衣スペース） 半磁器質タイル（シャワースペース）	J2	C9a	LGS	SCB6 VE（シャワースペースのみバスリブ）	2700	脱衣スペース、便所スペース	
	湯沸　自販	機排	準不	−850 −880	F2	ビニル床シート	B3	60	木SOP	P3NGW−A W4a	RC/LGS	PB12.5+9.5EP−U　一部メラミン化粧板張り モルタルEP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2700	シンクユニット、吊棚	
	清掃員控室	告四	下不	−850 −880	F2	ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	P1−A W4a	RC/LGS	FPB15+15EP−U モルタルEP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2700		
2階	ラウンジ	機排	下不	±0 −30	F3b	タイルカーペットA	詳細図参照			W7aR−E W4a W6b−D	RC/LGS	PB12.5+木練付けパネル　PB12.5+9.5 特殊漆喰 モルタルEP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5寒 EP	詳細図参照	RAルーバー　間接照明BOX　外壁面→内断熱（打込み・吹付）	
	ホール階段3，4	機排	下不		詳細図参照	タイルカーペットA	詳細図参照			W7aR−E W4a	RC/LGS	PB12.5+木練付けパネル モルタルEP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5寒 EP	詳細図参照		
	前室1，2	告二	不	±0 −30	F3b	タイルカーペットA	B3	60	木UC	W7aR−E	LGS	PB12.5+木練付けパネル	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3000		
	前室3，4	告二	不	+2085 +2055	F3b	タイルカーペットA	B3	60	木UC	W7aR−E	LGS	PB12.5+木練付けパネル	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3000		
	客席部	機排	下不	−1870~+2085 −1930~+2025	F4	フローリングUC　（モルタル仕様）	詳細図参照			W12A W12B W12C　W14 W13　W10	LGS	FPB15+15の上FRG10+木練付 PB12.5+12.5の上FRG10+木練付 PB15の上FRG10+木練付　SCB−Pt6+木練付，背面にGW32k50tGC モルタル+PB9.5 EP　ライムストン	詳細図参照	C7a C8 C13　C14	LGS	PB15+15寒EP FPB21+PB12.5+9.5寒EP 2階客席直下天井→　PB15+FRG10木練付　SCB−P木練付+GWボード+PB12.5	詳細図参照	空調グリル　天井内キャットウォーク　間接照明BOX	
	喫煙所	機排	下不	±0 −40	F8+T1	テラゾータイル	B3	60	木SOP	W4a P5−A	RC LGS	モルタルEP−U FPB15+15+15EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	3000		
	男子・女子客用便所1，2	機排	下不	±0 −100	F12+T1	テラゾータイル　（アスファルト防水）	−	−	−	詳細図参照	RC/CB/LGS	テラゾータイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2500	洗面カウンター、化粧鏡、姿見、便所ブース	衛生器具
	機材室1	告二	不	±0 −30	F3b	タイルカーペットB	B2	60	ビニル巾木	W4a W6b−A　P3−A	RC/LGS	モルタルEP−U　PB12.5+9.5EP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	2500	外壁面→内断熱（打込み・吹付）	
	音響盤室	告二	不	±0 −30	F2	ビニル床シート	B1	100	下地面	W1a P3−A	RC/LGS	RC補修EP−U PB12.5+9.5EP−U	−	C1b	RC	GW32kgt=50ガラスクロス押え	直天		
	調光盤室	告二	不	±0 −30	F2	ビニル床シート				W2a P1−A	RC/LGS	GW32kgt=50ガラスクロス押え FPB15+15EP−U	−	C1b	RC	GW32kgt=50ガラスクロス押え	直天		
	排煙機室	告二	不	−10 −30	F1a	RC直均し	−	−	−	W1c P1−素　P3−素	RC/LGS	RC打放しC種　FPB15+15 PB12.5+9.5	−	C2b	−	不燃木毛セメント板t=30打込	直天		
	業務通路	告二	不	±0 −30	F2	ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	W6aR−A W4a　P3−A	RC/LGS	PB12.5+9.5EP−U　モルタルEP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	2500		
	前室5	告二	不	±0 −300	F7	タイルカーペットB　（木床組仕様：H=300）	B3	60	木SOP	P6+　W6b−A		遮音層+PB12.5+9.5EP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板EP	詳細図参照		
	前室6	告二	不	±0 −300	F5a	フローリングUC　（浮室仕様）	B4+	詳細図参照		P6+　W7b−E		遮音層+PB12.5+木練付パネル	J2	C7b+C5	LGS	岩綿吸音板EP	詳細図参照		
	前室7，8	告二	不	±0 −30	F3b	タイルカーペットB	B3	60	木SOP	P6+　W6b−A		PB12.5+9.5EP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板EP	2500		
	リハーサル室（多目的練習室）	機排	− （SPにより）	±0 −300	F5a	フローリングUC　（浮室仕様）	B4+	詳細図参照		P6+　W8 W5c		遮音層+木リブUC（吸音仕様）の上GW32kgt=50ガラスクロス（特注色）押え 遮音層+PB12.5+木パネルUC　SCB−P6（吸音仕様・長孔）木練付		C7b+ 詳細図参照		PB15+15寒EP PB12.5+9.5寒EP	詳細図参照	ロールスクリーンBOX	電動ロールスクリーン（遮光）
	機材室2	告二	不	±0 −300	F5下地（浮RC面） +F3a	タイルカーペットB（木床組仕様：2FL−30のRC金ゴテ面からH=630X浮室仕様）	B4+	詳細図参照	木SOP	P6+　W5b		遮音層+SCB−P6（吸音仕様、丸孔）EP−U		C7b+ 詳細図参照		岩綿吸音板	詳細図参照		
	倉庫1	告二	不	±0 −300	F5c	ビニル床シート　（浮室仕様）	B4+	詳細図参照	ビニル巾木	P6　その他詳細図参照		遮音層+EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP			
	倉庫2	告二	不	±0 −300	F7−V（倉庫3）	ビニル床シート　（木床組仕様：H=300）	B2	60	ビニル巾木	P6　その他詳細図参照		遮音層+EP−U	J1	C3	LGS	PB12.5 EP			
	練習室2	告四	下不	±0 −300	F5a	フローリングUC　（浮室仕様）	B4+B3	60	木SOP	P6+W5a	LGS	遮音層+SCB−P6（吸音仕様、丸孔）EP−U 但し、H675以下はPB12.5裏打ち（その他はGW）		C7b+ 詳細図参照		PB15+15+岩綿吸音板EP PB12.5+9.5寒EP	詳細図参照	ロールスクリーンBOX、姿見	電動ロールスクリーン（遮光）
	練習室1	告四	下不	±0 −300	F5a	フローリングUC　（浮室仕様）	B4+B3	60	木SOP	P6+W9	LGS	遮音層+クロス綴子張り（吸音仕様）（H>1350）の上モルトンt=15		C7b+ 詳細図参照		SCB−P+GW32kgt=50ガラスクロス押え PB12.5+9.5寒EP	詳細図参照	ロールスクリーンBOX、クロス：不燃仕様	電動ロールスクリーン（遮光）
	男子・女子便所	告二	不	±0 −100	F12+T2	大判タイル　（アスファルト防水）	−	−	−	詳細図参照	RC/LGS	大判タイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	詳細図参照	洗面カウンター、化粧鏡、姿見、便所ブース	衛生器具
	HC	告二	不	±0 −100	F12+T2	大判タイル　（アスファルト防水）	−	−	−	詳細図参照	LGS	大判タイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	詳細図参照		衛生器具、鏡、手スリ等一式
	ゴミ　湯沸	告二	不	±0 −30	F2	ビニル床シート	B3	60	木SOP	P6−A　W4a W6b−A	LGS	FPB21+21EP−U　モルタルEP−U PB12.5+9.5EP−U 一部メラミン化粧板張り	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2500	シンクユニット、吊棚	
	休憩ロビー	機排	下不	±0 −30	F3b	タイルカーペットB	B3	60	木SOP	詳細図参照	LGS	遮音層+ PB12.5+9.5EP−U　S柱：耐火塗料の上FE PB12.5+9.5EP−U　EV外周：アルミ複合板t4指定色焼付	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5寒 EP	2500		
塔屋階	シーリング投光室	機排	準不		詳細図参照	ニードルパンチカーペット	B2	60	ビニル巾木	詳細図参照	S/LGS	PB12.5+9.5EP−U（片面張り）	J1	C4	S/LGS	PB12.5+9.5 EP	詳細図参照	St.ワイヤメッシュによるスポット開口 機材用バトン	
	ピンスポット室	告二	準不		詳細図参照	ニードルパンチカーペット	B2	60	ビニル巾木	詳細図参照	S/LGS	PB15+15EP−U　（片面張り）	−	C4+GW	S/LGS	PB12.5+9.5 + GW32kgt=50ガラスクロス押え	詳細図参照	ガラスによるスポット開口 機材用バトン	
	排煙機室	告一	準不	2FL+19000 2FL+18990	F1a	RC直均し	B1	200	RC打放し	W3	RC	不燃木毛セメント板t=50打込み 一部FPB15+15の上 不燃木毛セメント板t=50	−	−	RC	不燃木毛セメント板t=50打込み	直天		
	換気機械室	告一	準不	2FL+19000 2FL+18990	F1a	RC直均し	B1	200	RC打放し	W2a W4b	RC CB	GW32kgt=50ガラスクロス押え モルタル金ゴテ素地	−	C1b	RC	GW32kgt=50ガラスクロス押え	直天	鉄骨階段、RCステップ（直均し）	
	前室	告二	不	2FL+19000 2FL+18990	F1a	RC直均し	−	−	−	W1c	RC	RC打放しC種	−	C1c	RC	RC打放しC種	直天	鉄骨階段、RCステップ（直均し）	
共通	階段室1，2	令	下不		詳細図参照	ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	詳細図参照	RC	RC打放し補修 EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP（最上部のみ）　RC打放し補修 EP−U（段裏・踊場裏）	詳細図参照		
	階段室3	令	下不		詳細図参照	ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	詳細図参照	RC/CB	モルタル EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP（最上部のみ）　RC打放し補修 EP−U（段裏・踊場裏）	詳細図参照	注意喚起材	
	アラーム弁室	告二	不	FL=SL	F1a	RC直均し	−	−	−	詳細図参照	RC/LGS	PB12.5素地	−	C1c	−	RC打放しC種	直天		
	DS	告二	不	FL=SL	F1a	RC直均し	−	−	−	詳細図参照	RC/LGS	PB12.5+9.5　FPB15+15+15　等、又はスタッドあらわし FPB15+15	−	C1c	−	RC打放しC種	直天		
	EPS	告二	不	FL=SL	F1a	RC直均し	−	−	−	詳細図参照	RC/LGS	PB12.5+9.5　FPB15+15+15　等、又はスタッドあらわし FPB15+15	−	C1c	−	RC打放しC種	直天		
	煙道	令	下不		詳細図参照	RC充填	−	−	−	詳細図参照	RC	RC打放しC種	−	C1c	−	RC打放しC種	−	芯材付繊維積層ライニング材	
	OA風洞	令	下不		詳細図参照	RC打放し	−	−	−	W1c	RC	RC打放しC種	−	C1c	−	RC打放しC種	直天		
	昇降路内	令	下不		詳細図参照	ピット内→　防水材入りモルタル	−	−	−	W1c	RC	RC打放しC種	−	C1c	−	RC打放しC種	直天		
	昇降路外周	−	−			−	−	−	−		RC	アルミ複合板t4指定色焼付	−	−	−	−	−		

略号表　男子・女子楽屋便所

○　一般事項、構造
○　塗装工事
○　内装工事

DS:ダクトスペース　PS:パイプスペース　EPS:電気配線スペース　EV:エレベーター　t: 厚さ　RC:鉄筋コンクリート　LGS:軽量鉄骨　CB:コンクリートブロック　St: 鋼　SUS: ステンレス　AL: アルミニウム　FB:フラットバー　L: アングル　PL: プレート
EP:合成樹脂エマルジョンペイント　寒:寒冷紗　SOP: 合成樹脂調合ペイント　AP焼付:アクリル樹脂焼付塗装　FE:フタル酸樹脂エナメル塗装　UC:ウレタン樹脂ワニス塗装　VE:塩化ビニル樹脂エナメル塗装　FP焼付:フッ素樹脂焼付　EP−U:特殊アクリル樹脂エマルジョンペイント（防汚タイプ）　FRG: 繊維石膏ボード　HL:ヘアライン仕上げ　ZP:溶融亜鉛メッキ　AE: アクリル樹脂エナメル塗装
PB:石膏ボード　GW:グラスウール　CAW: セラミック系人造木材　SCB: 珪酸カルシウム板　SCB−P:有孔珪酸カルシウム板　SPB:シージング石膏ボード　FPB: 強化石膏ボード　HPB:硬質石膏ボード　GC:ガラスクロス　CL: クリヤーラッカー　FP:フッ素樹脂塗装　SC: シリコン系浸透撥水性塗料　OS: オイルステイン

特記　令：令126条の2　告一：告示1436号第4号ハ（一）　告二：告示1436号第4号ハ（二）　告三：告示1436号第4号ハ（三）　告四：告示1436号第4号ハ（四）　告示1436号は、平成12年度建設省告示1436号を示す

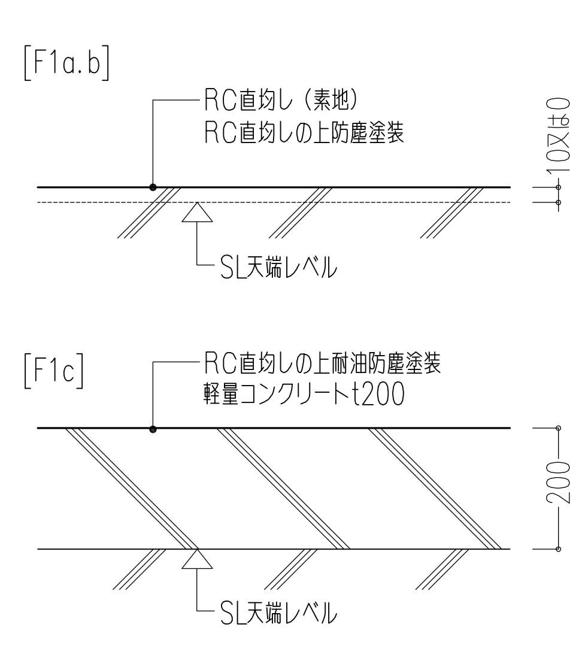
工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）

株式会社　槇総合計画事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦

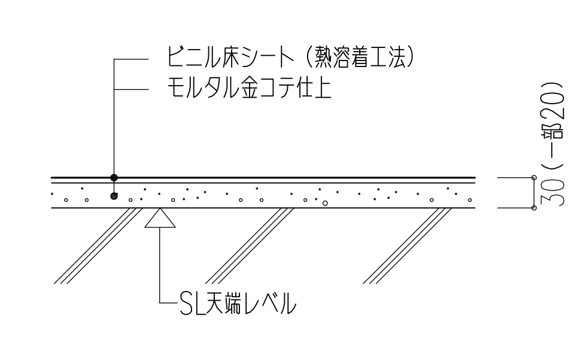
年月日　2005年 5月
図面名称　内外部仕上表2
縮尺　−
ファイル名称　A09nFList02
図面番号　A−09

床

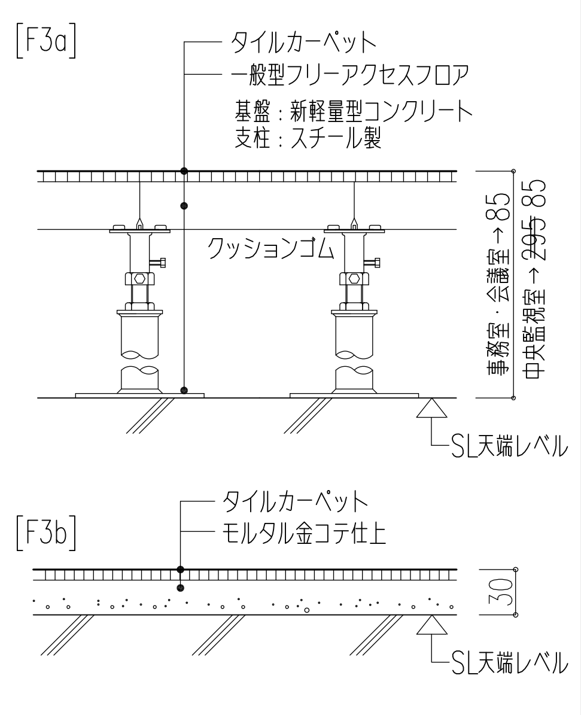
F1a RC直均し
F1b RC直均しの上防塵塗装
F1c RC直均しの上耐油防塵塗装



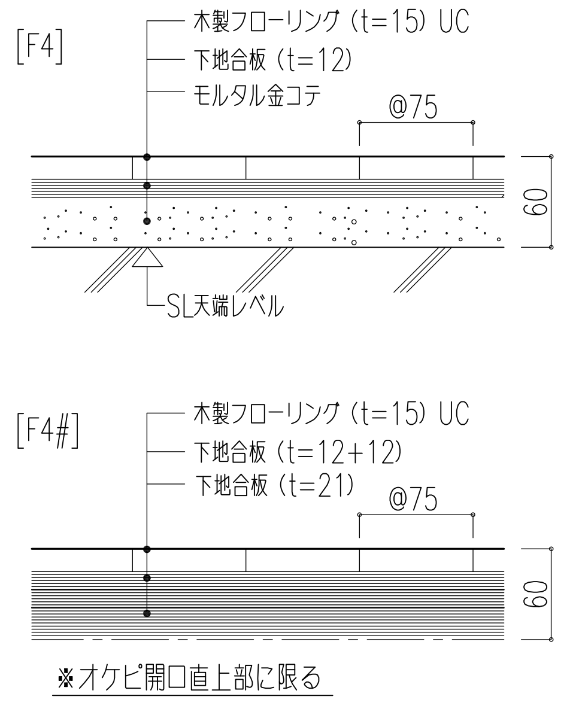
F2 ビニル床シート



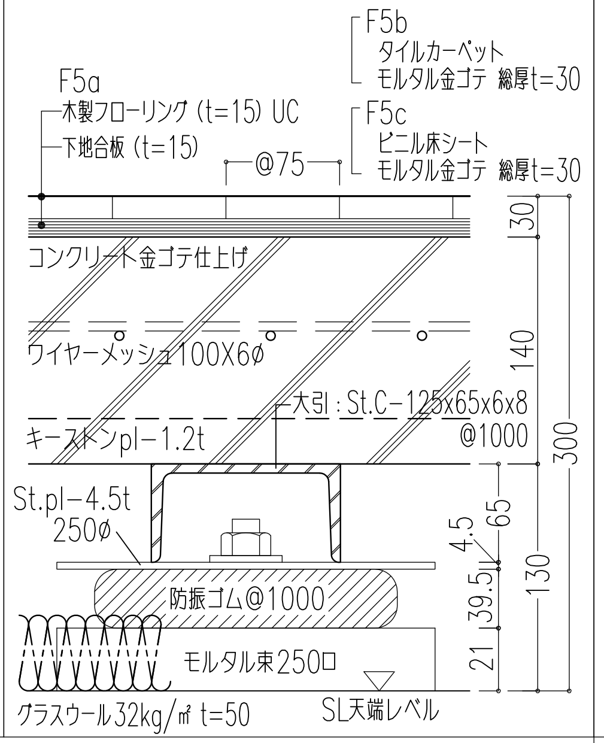
F3a タイルカーペットA,B（OAフロア）
F3b タイルカーペットA,B（一般）



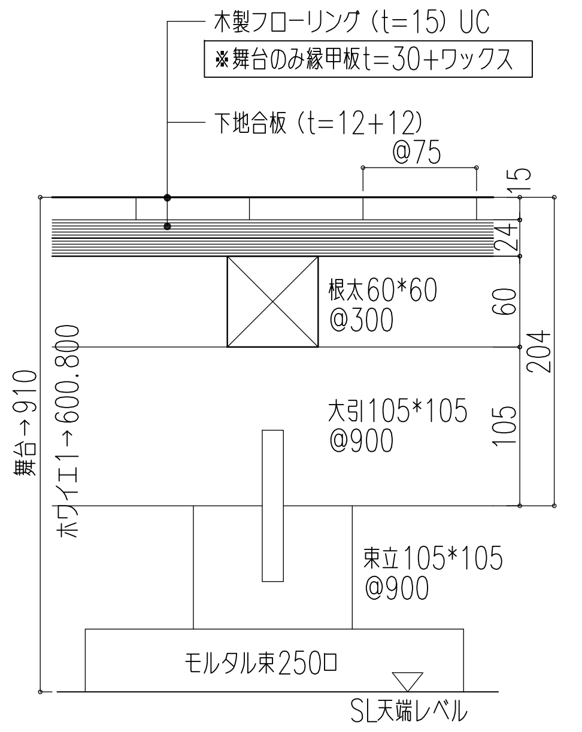
F4 フローリング（モルタル仕様）
F4# フローリング（根太式）



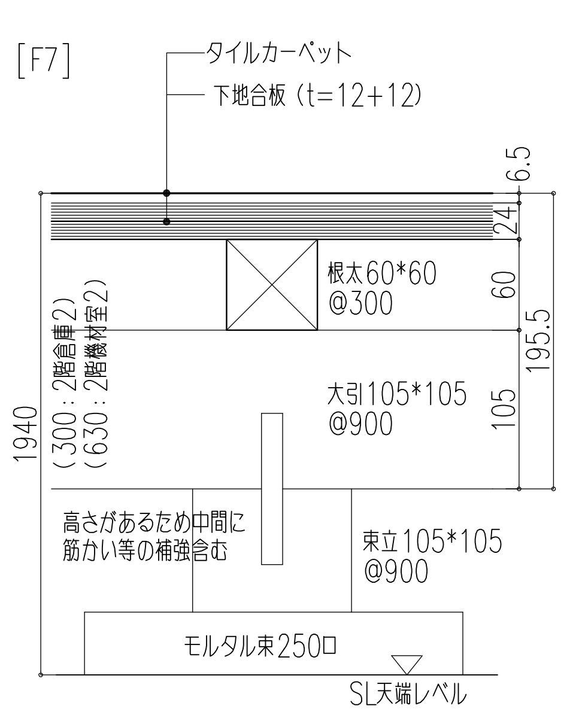
F5a フローリング（浮室仕様→リハーサル室、練習室）
F5b タイルカーペットA,B（浮室仕様→リハーサル室、練習室）
F5c ビニル床シート（浮室仕様→リハーサル室練習室1）



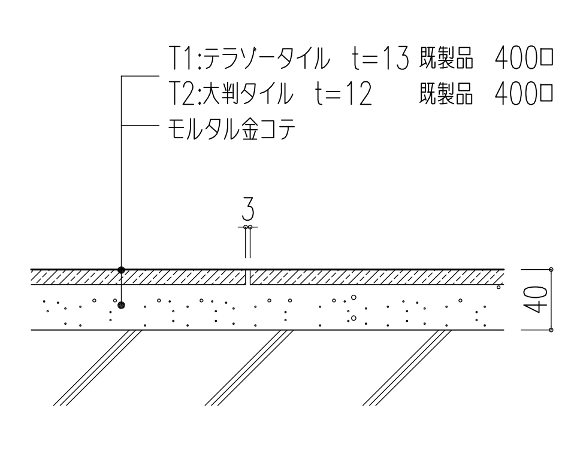
F6 フローリングt=15（木床組仕様）
鋼甲板t=30（木床組仕様）→舞台のみ



F7 タイルカーペットA,B（木床組仕様）
F7-V ビニル床シート（木床組仕様、熱溶着工法）

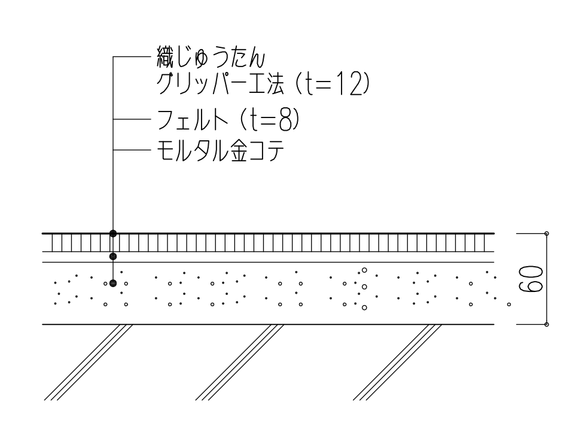


F8+T1 テラゾータイルt=13
F8+T2 大判タイルt=12

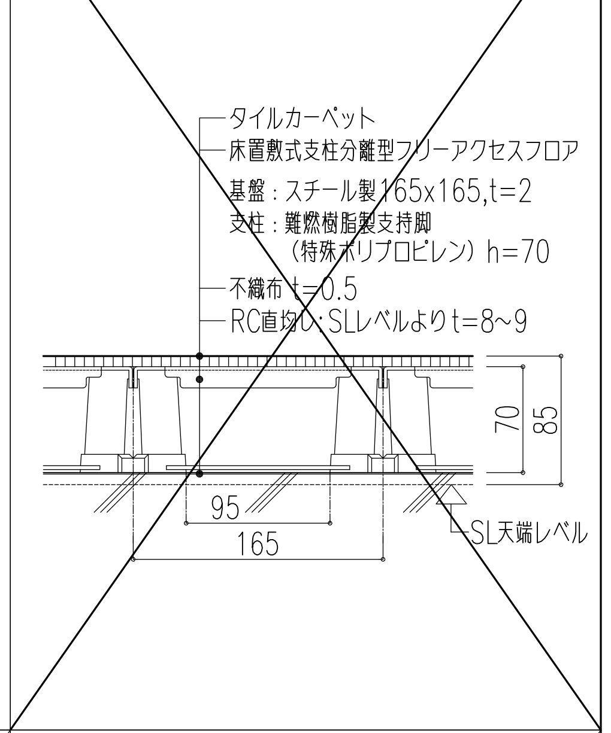


T1:テラゾータイル t=13 既製品 400□
T2:大判タイル t=12 既製品 400□
モルタル金コテ
40

F9 織じゅうたん

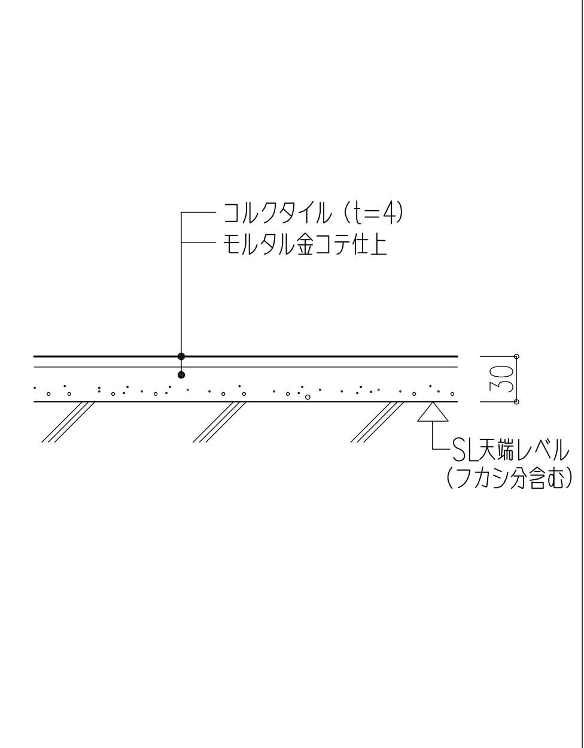


F10 タイルカーペットA,B（OAフロア）

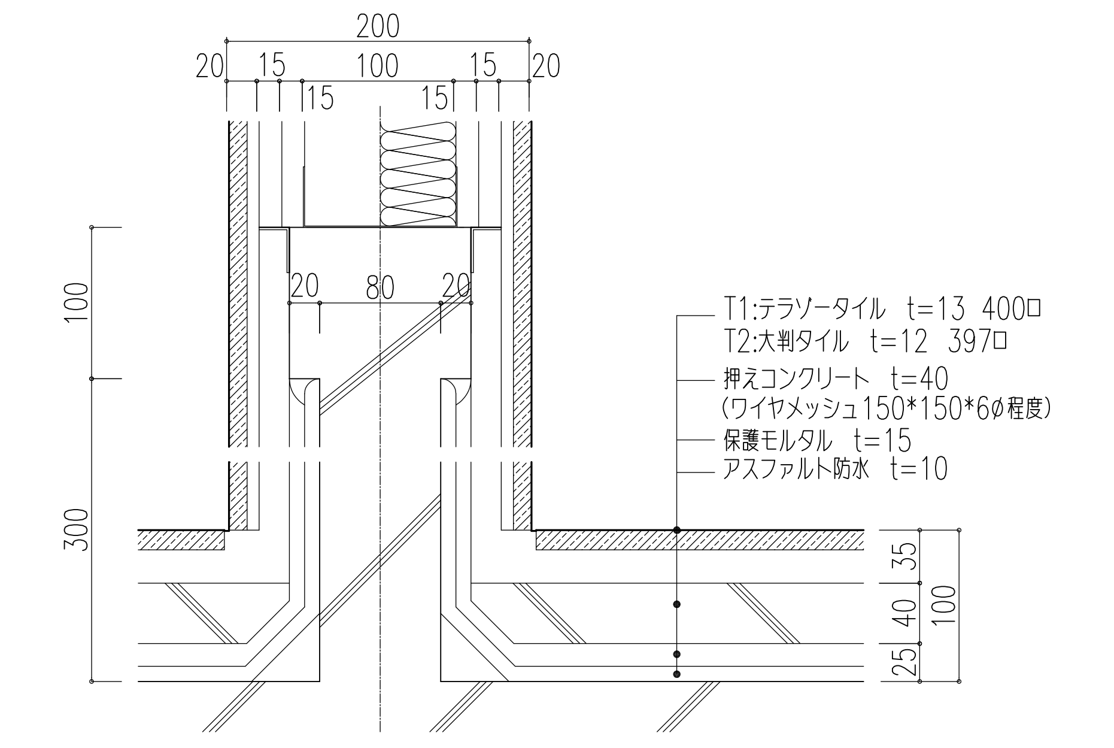


タイルカーペット
床置敷式支柱台型フリーアクセスフロア
基盤：スチール製165x165,t=2
支柱：難燃樹脂製支持脚（特殊ポリプロピレン）h=70
不陸t=0.5
RC直均し：SLレベルより t=8~9
70
85
95
165
SL天端レベル

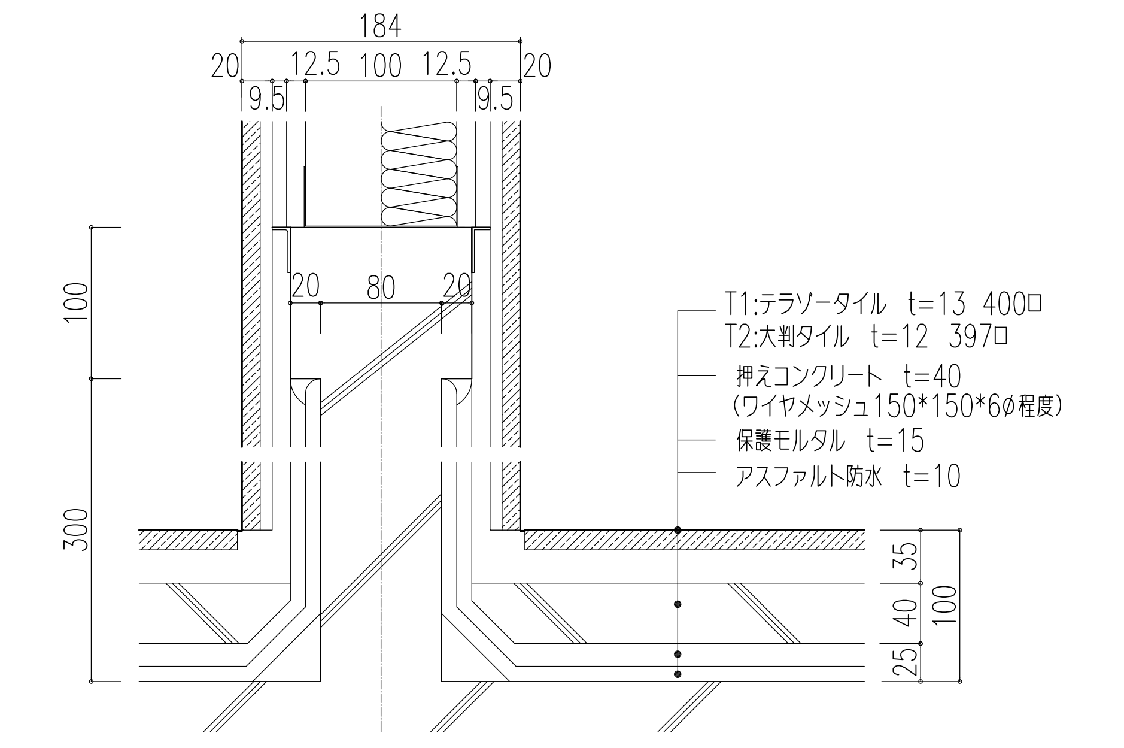
F11 コルクタイル



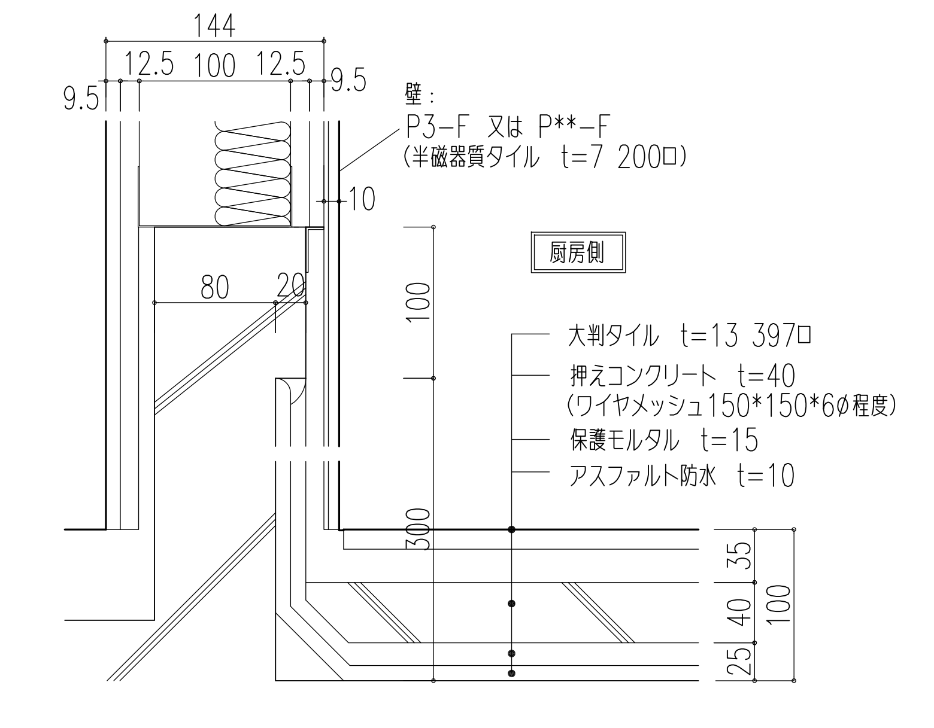
F12+T1 テラゾータイルt=13（防水仕様）
F12+T2 大判タイルt=12（防水仕様）
便所廻り



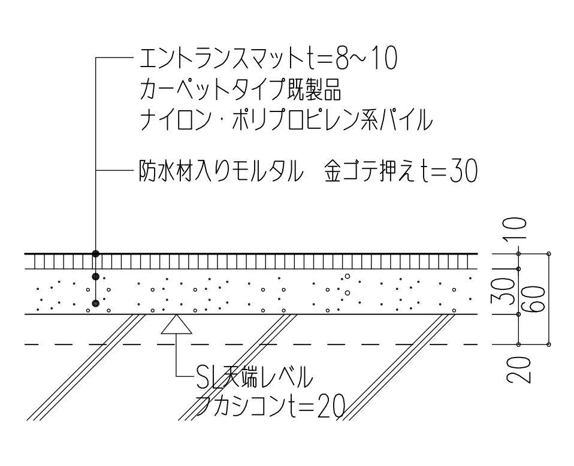
F13+T1 テラゾータイルt=13（防水仕様）
F13+T2 大判タイルt=12（防水仕様）
便所廻り



F14 大判タイルt=12（防水仕様）
厨房床

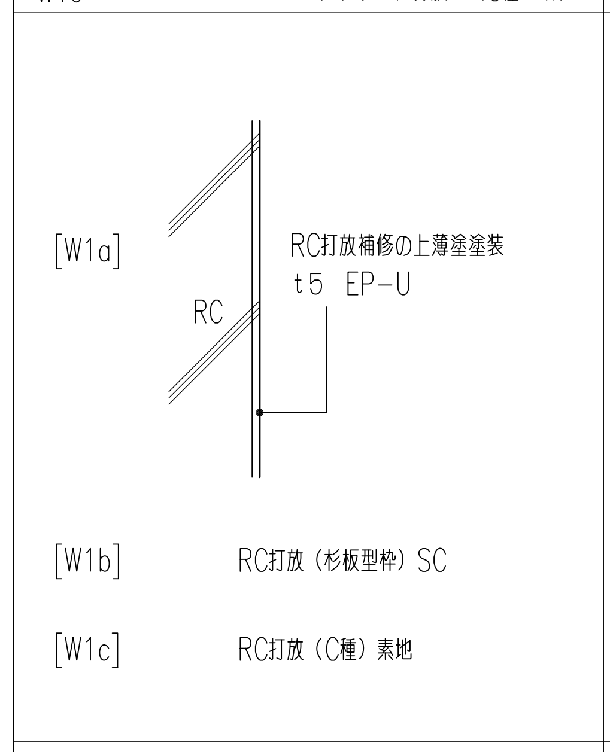


F15 エントランスマットt=10程度

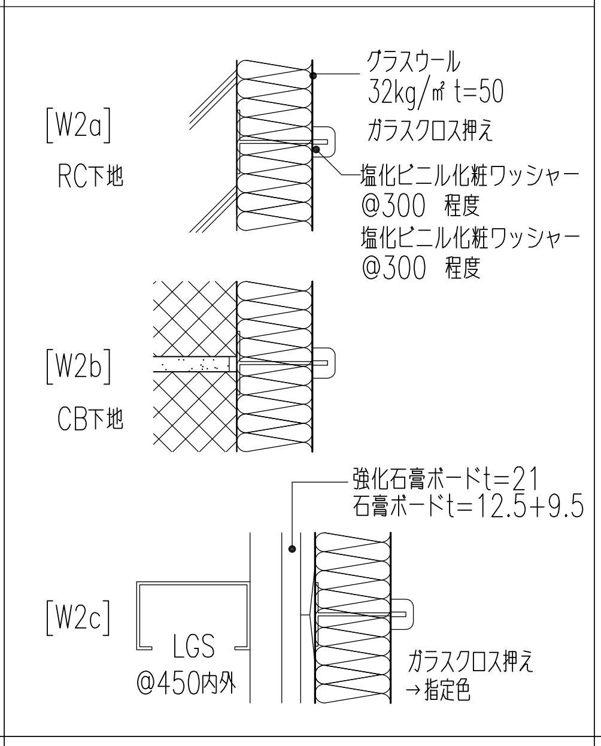


壁

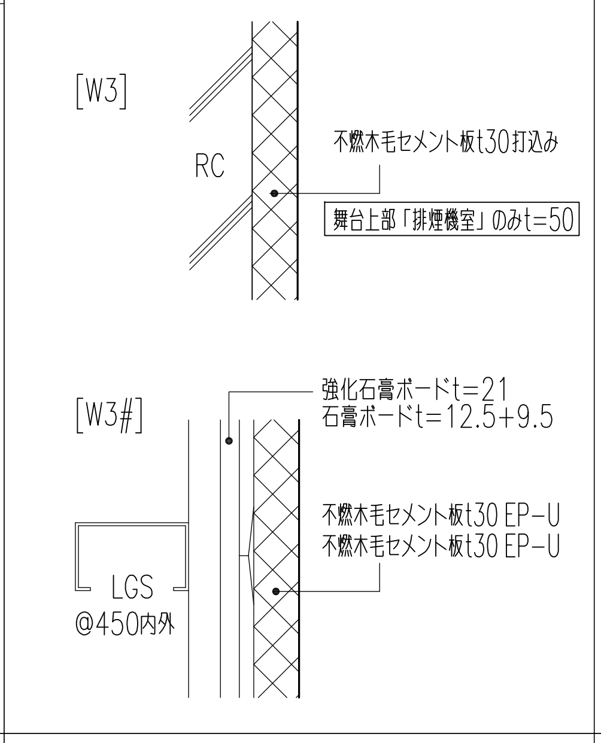
W1a コンクリート打放し（C種）RC補修の上EP-U
W1b コンクリート打放し（杉板型枠）SC
W1c コンクリート打放し（C種）素地



W2a グラスウールの上ガラスクロス押え（RC下地）
W2b グラスウールの上ガラスクロス押え（CB下地）
W2c グラスウールの上ガラスクロス押え（PB下地）

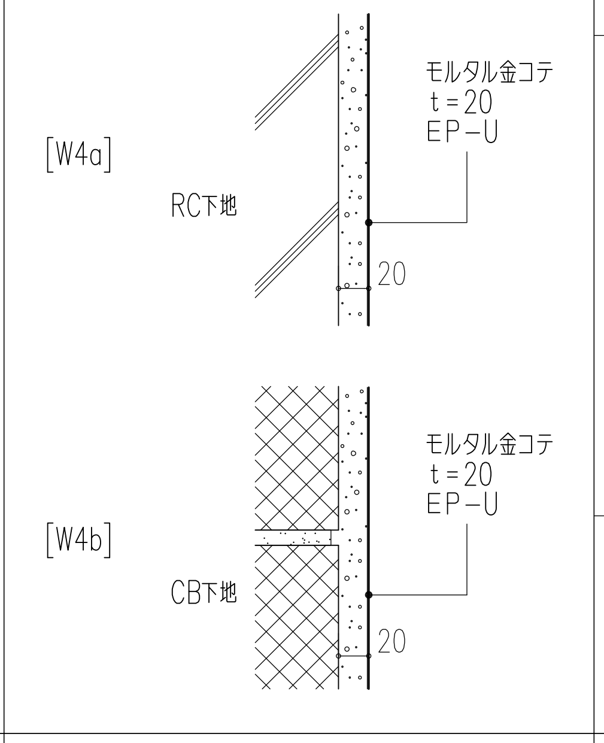


W3 コンクリート打放し不燃木毛セメント板打込み
W3# 不燃木毛セメント板30t+EP-U（PB下地）

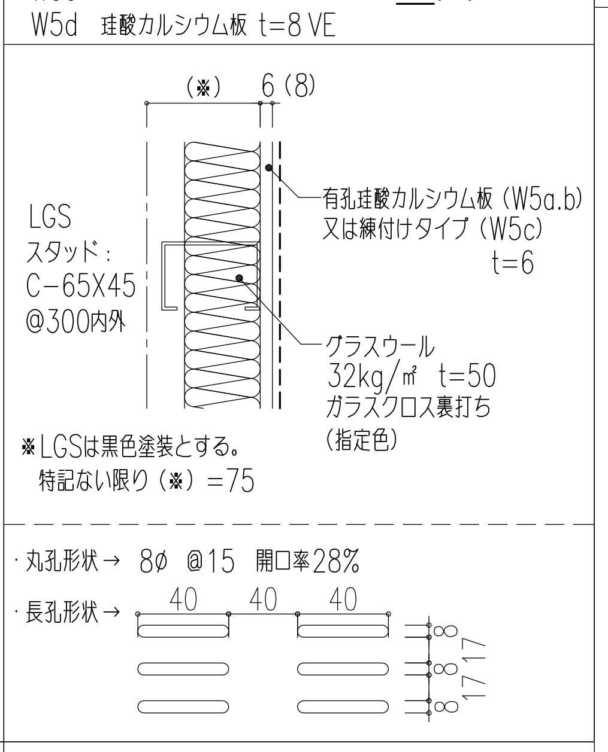


[W3]
RC
不燃木毛セメント板t30打込み
舞台上部「排煙機室」のみt=50
[W3#]
強化石膏ボードt=21
石膏ボードt=12.5+9.5
不燃木毛セメント板t30 EP-U
不燃木毛セメント板t30 EP-U
LGS
@450内外

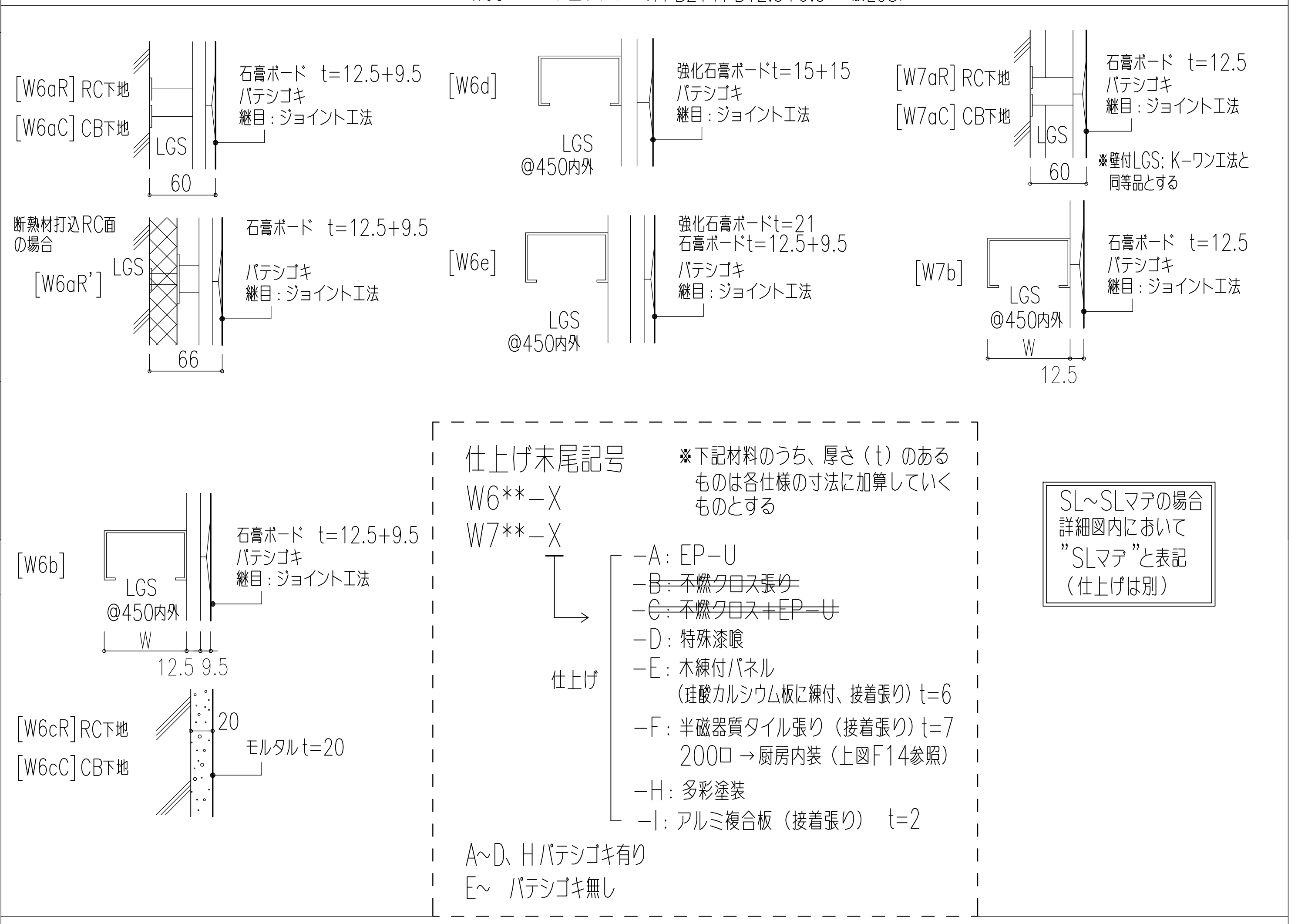
W4a モルタル EP-U（RC下地）
W4b （CB下地）



W5a 有孔珪酸カルシウム板（吸音仕様、丸孔）t=6 EP-U
W5b 有孔珪酸カルシウム板（吸音仕様、長孔）t=6 EP-U
W5c 有孔珪酸カルシウム板（吸音仕様、長孔）t=6 木練付け
W5d 珪酸カルシウム板 t=8 VE



W6aR,C 仕上げ下地（PB12.5+9.5：壁付LGS）
W6b 仕上げ下地（PB12.5+9.5：一般LGS）
W6cR,C 仕上げ下地（モルタル下地）
W6d 仕上げ下地（FPB15+15：一般LGS）
W6e 仕上げ下地（FPB21+PB12.5+9.5：一般LGS）
W7aR,C 仕上げ下地（PB12.5：壁付LGS）
W7b 仕上げ下地（PB12.5：一般LGS）



仕上げ末尾記号
W6**-X
W7**-X

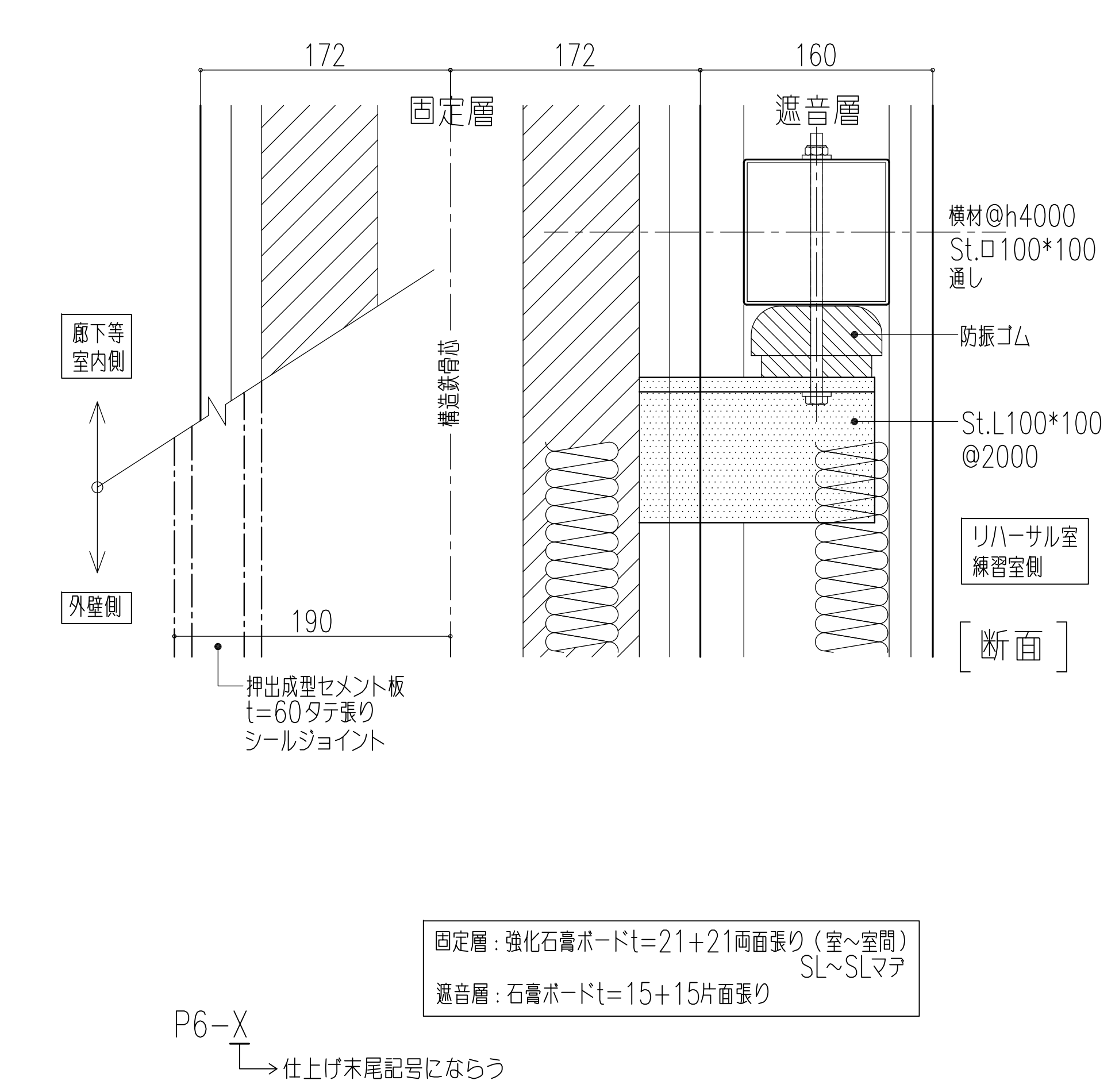
※下記材料のうち、厚さ（t）のあるものは各仕様の寸法に加算していくものとする

仕上げ
- -A：EP-U
- ~~-B：不燃クロス張り~~
- ~~-C：不燃クロス+EP-U~~
- -D：特殊塗装
- -E：木練付パネル（珪酸カルシウム板に練付、接着張り）t=6
- -F：半磁器質タイル張り（接着張り）t=7 200□→厨房内装（上図F14参照）
- -H：多彩塗装
- -I：アルミ複合板（接着張り） t=2

A~D、Hパテシゴキ有り
E~ パテシゴキ無し

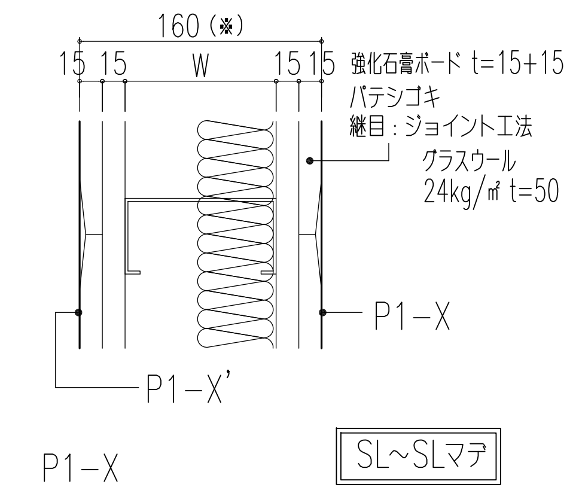
SL~SLマデの場合詳細図内において"SLマデ"と表記（仕上げは別）

P6 間仕切仕様6 間仕切仕様6（浮室仕様）
（固定層＋遮音層→リハーサル室、練習室）



P6-X
→仕上げ末尾記号にならう

P1 間仕切仕様1（FPB15+15両面張り）

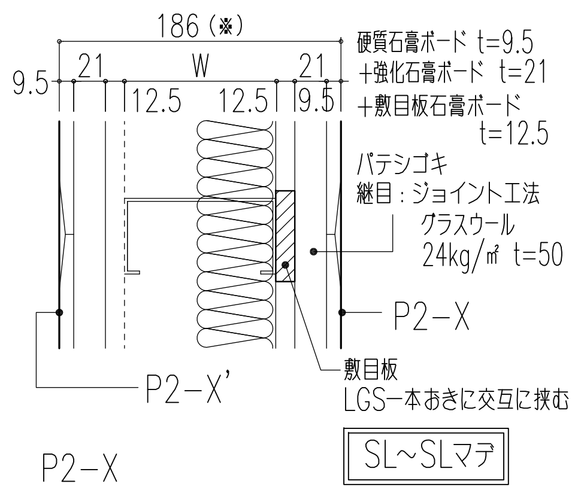


P1-X
P1-X'
→仕上げ末尾記号にならう

特記ない限り（※）=160
※仕上げ厚のあるものを接着張り等する場合、厚さ（t）を加算

1h耐火
（TLD-45）

P2 間仕切仕様2（HPB9.5+FPB21+裏目板PB12.5両面張り）

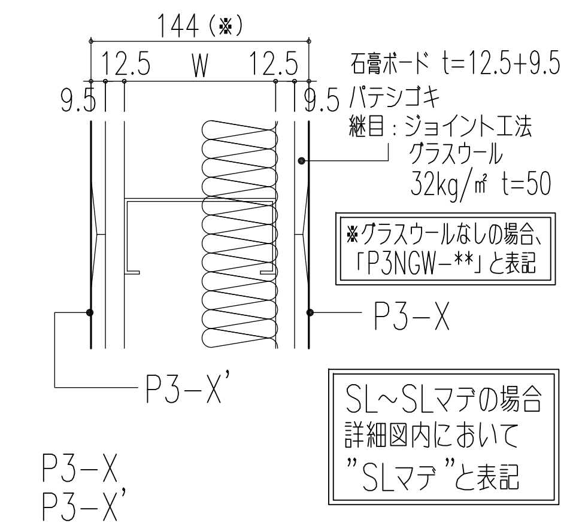


P2-X
P2-X'
→仕上げ末尾記号にならう

特記ない限り（※）=186
※仕上げ厚のあるものを接着張り等する場合、厚さ（t）を加算

（TLD-55）

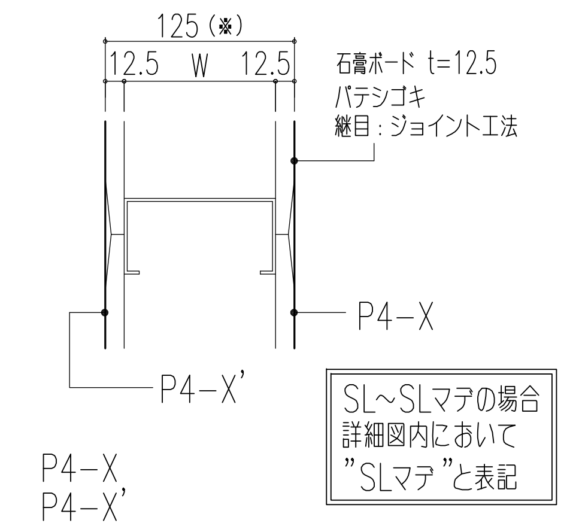
P3 間仕切仕様3（PB12+9両面張り）
P3NGW 間仕切仕様3'（GWなし）



P3-X
P3-X'
→仕上げ末尾記号にならう

特記ない限り（※）=144
※仕上げ厚のあるものを接着張り等する場合、厚さ（t）を加算

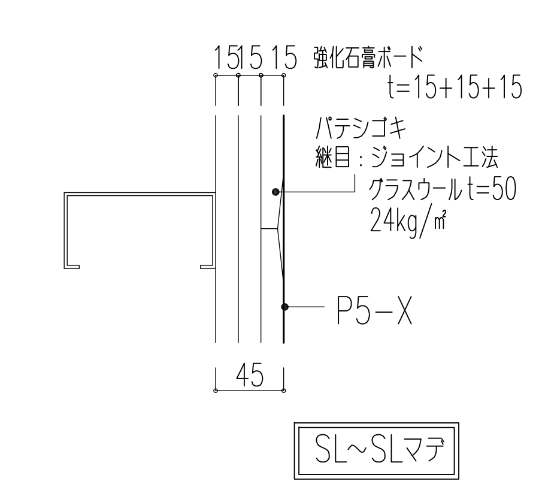
P4 間仕切仕様4（PB12両面張り）



P4-X
P4-X'
→仕上げ末尾記号にならう

特記ない限り（※）=125
※仕上げ厚のあるものを接着張り等する場合、厚さ（t）を加算

P5 間仕切仕様5 片面施工タイプ（FPB15x3 片面張り）



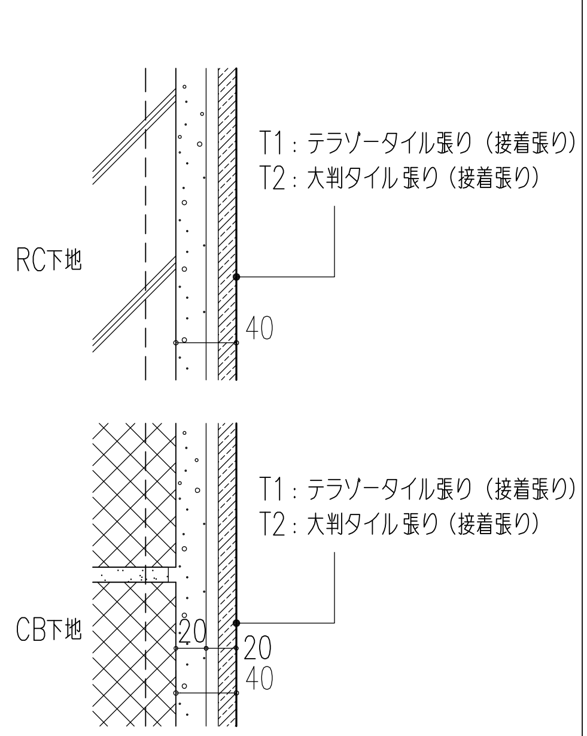
P5-X
→仕上げ末尾記号にならう

※仕上げ厚のあるものを接着張り等する場合、厚さ（t）を加算

1h耐火

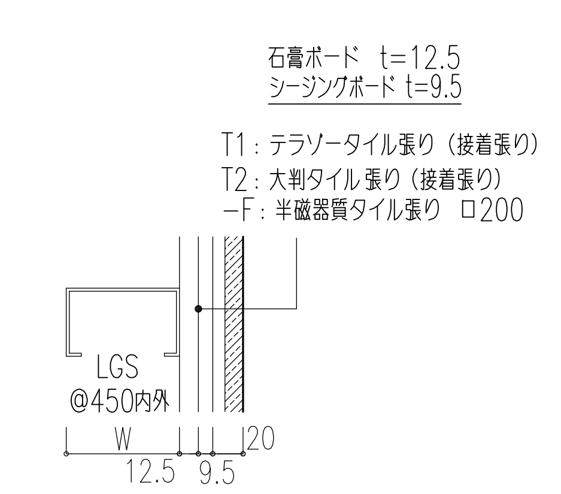
外壁面側の内断熱について：
外部に面する躯体壁面内側はポリスチレンフォームt=25打込み（柱・梁型・窓台立上り共）とし
サッシ取付部などの他部材との取合い部を発泡ウレタン吹付けにて補うものとする
→機械室・排煙機室・換気室、及び化粧として柱型・梁型を見せる箇所は除く

W4a+T1（T2）
W4b+T1（T2）
便所廻り



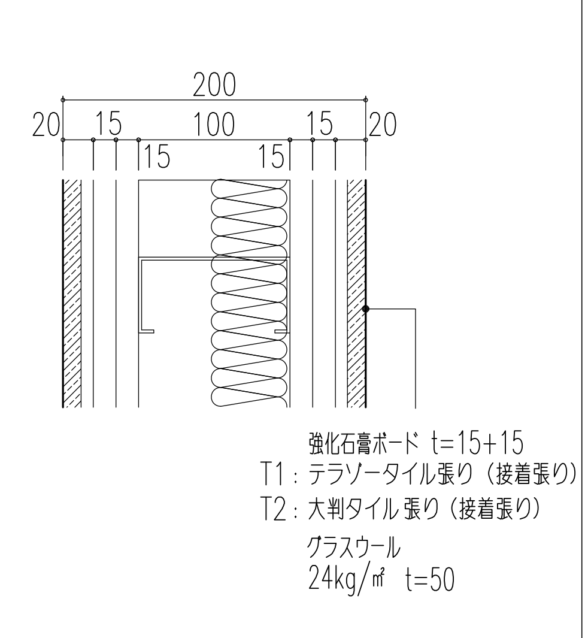
RC下地
T1：テラゾータイル張り（接着張り）
T2：大判タイル張り（接着張り）
40
CB下地
T1：テラゾータイル張り（接着張り）
T2：大判タイル張り（接着張り）
20
40

W7b+T1（T2），-F
便所廻り



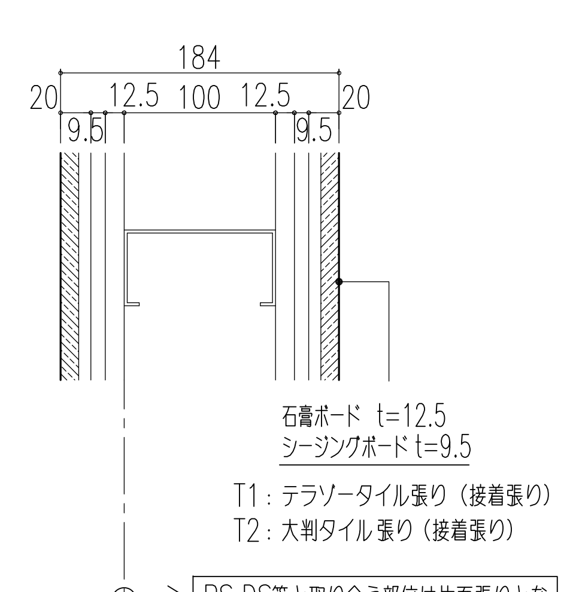
石膏ボード t=12.5
シージングボード t=9.5
T1：テラゾータイル張り（接着張り）
T2：大判タイル張り（接着張り）
-F：半磁器質タイル張り □200
LGS
@450内外
W 20
12.5 9.5

P1+T1（T2）
便所廻り



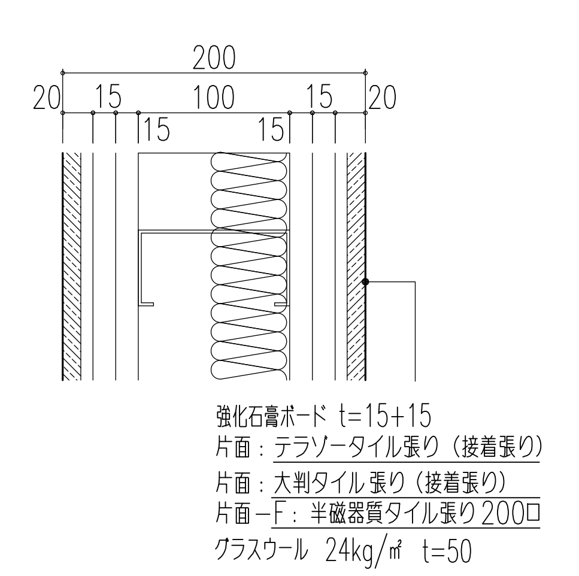
1h耐火
（TLD-45）

P4+T1（T2）
便所廻り



PS,DS等と取り合う部位は片面張りとなるため、「水廻り詳細図」内平面図より読みとること

P1+T3,-F
便所廻り

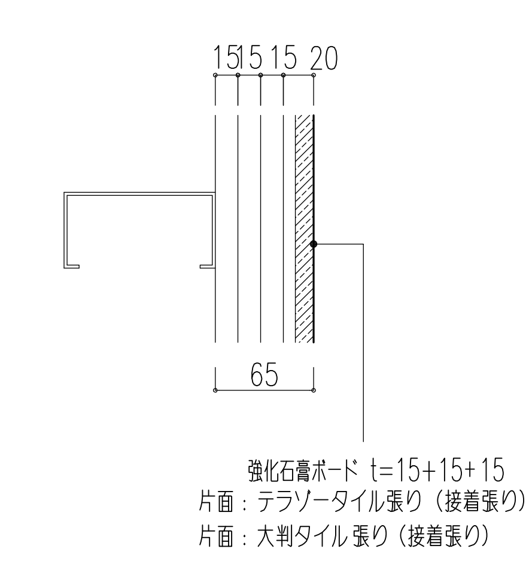


200
20 15 100 15 20
15 15
強化石膏ボード t=15+15
片面：テラゾータイル張り（接着張り）
片面：大判タイル張り（接着張り）
片面-F：半磁器質タイル張り 200□
グラスウール 24kg/㎥ t=50

どちらの壁面が各々の仕上げに属するかは「水廻り詳細図」内展開図参照

1h耐火
（TLD-45）

P5+T1（T2）
便所廻り

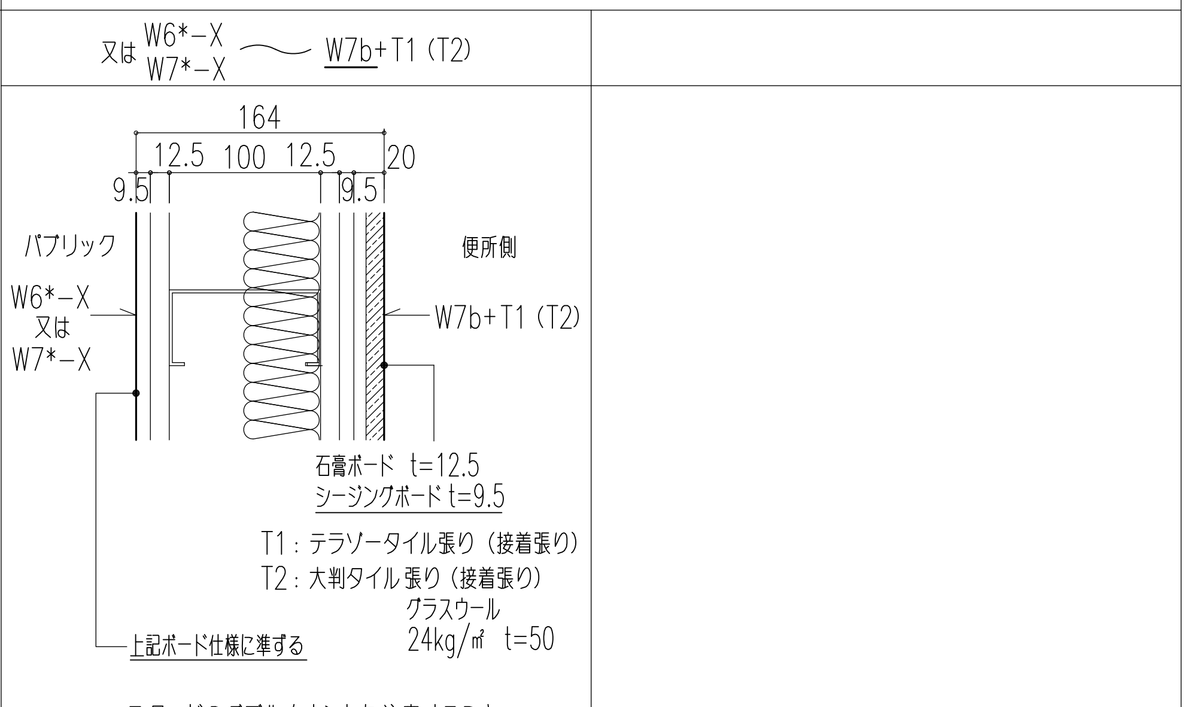


15 15 15 20
65
強化石膏ボード t=15+15+15
片面：テラゾータイル張り（接着張り）
片面：大判タイル張り（接着張り）

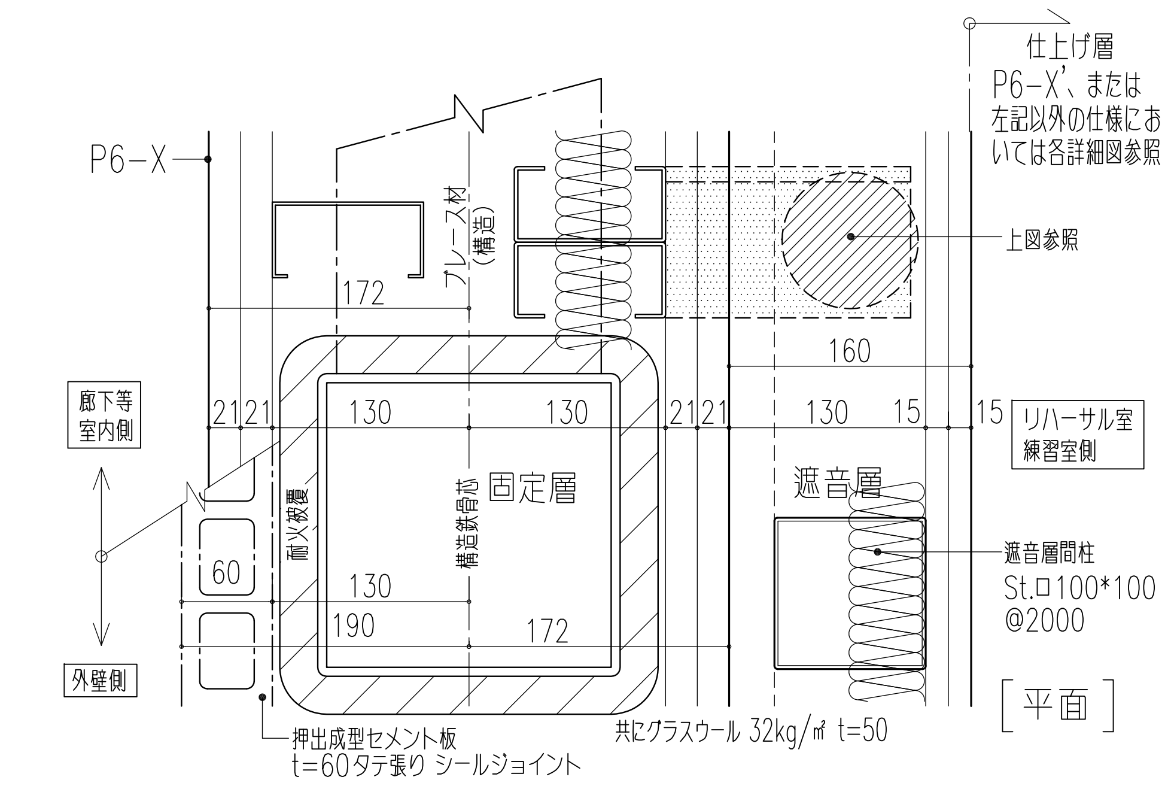
1h耐火

注）：片側：便所仕様壁 - - - - 片側：その他仕様壁 の場合
便所廻り

又は W6*-X / W7*-X ～ W7b+T1（T2）



※スタッドのダブルカウントに注意すること



※外壁側においては「外部廻り詳細図」参照

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）	株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士 建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年5月	仕上仕様図1	1:5	A10FDe01	A-10

壁
W8 リハーサル室：木リブ吸音壁（吸音仕様）
150 50 60
リブ材 t=60 w=40 スプルース 着色UC塗装
LGSスタッド：C-100X50
グラスウール 32kg/㎥ t=50 クロス裏打ち
A：リブ材 a・b：クロス
※リブ材の間隔は詳細図に示す。
W9 練習室1：クロス細子張り吸音壁（吸音仕様）
LGS スタッド C-65X45
石膏ボード t=12.5 グラスウール 24kg/㎥ t=25 モルトン t=12.5 クロス
LGSスタッド C-65X45 @300内外
ジョイナー
防火仕様
W10 ライムストーン壁 ホール
サポート LSG-C-65X45 @1200内外
スタッド ST-C-100X50X2.3t @300内外
鉄筋12Φ溶接
鉄筋9Φ溶接
ライムストーン t=40
上下運動ダボ ステンレス 3Φ
W11 繊維石膏ボード t=8+8+8 全面寒冷紗+EP ホール
繊維石膏ボードt=8+8+8 パテシゴキ 寒冷紗 EP 継目：ジョイント工法
LGS @450内外
W12A FPB15+15の上、木練付パネル（繊維石膏ボードt=10下地） ホール
強化石膏ボード t=15+15 強化石膏ボードt=10+木練付
W12B PB12.5+12.5の上、木練付パネル（繊維石膏ボードt=10下地） ホール
石膏ボードt=12.5+12.5 石膏ボードt=10+木練付
W12C PB15の上、木練付パネル（繊維石膏ボードt=10下地） ホール
石膏ボードt=15 石膏ボードt=10+木練付
W13 モルタル+EP塗装（RC下地） ホール
PB用下地@600内外
PB9.5+EP塗装 モルタル金コテ t=20
RC下地
W14 吸音壁 ホール
グラスウール t=50 32kg/㎥ ガラスクロス押え（黒色）
孔あきボード+木練付 孔形状：丸孔8Φ,@15
※有孔ボード→珪酸カルシウム板t=6
天井
C1a コンクリート打放し（C種）RC補修の上EP
C1b グラスウールガラスクロス
C1c コンクリート打放し（C種）
RC打放補修の上薄塗塗装 t5 EP
硬質亜鉛鉄 @300程度
グラスウール（32kg/㎥） ガラスクロス押え t=50
RC打放し（C種）素地
C2a コンクリート打放し複合板打込み
C2b コンクリート打放し不燃木毛セメント板t=30打込み
不燃木毛セメント板t30 ロックウール吸音板t15
C3 PBt=12.5 EP
石膏ボード t=12.5EP 継目：ジョイント工法
C4 PBt=12.5+9.5 EP
石膏ボード t=12.5+9.5（寒冷紗）パテシゴキ 継目：ジョイント工法 EP
C5 岩綿吸音板：平張 t=12
石膏ボード t=9.5捨貼り 岩綿吸音板t=12 素地、又はEP
C5 調湿ボード t=9.5+吸放出性無機塗装
※天井内RC面は全てウレタンt=15吹付
不透湿下地板 t=12 調湿ボード t=9.5+吸放出性無機塗装 継目：ジョイント工法
C6 繊維石膏ボード t=6+6 EP
繊維石膏ボード t=6+6 全面寒冷紗貼 パテシゴキ 継目：ジョイント工法 EP R加工
C7a PBt=15+15 全面寒冷紗+EP ホール
石膏ボード t=15+15（全面寒冷紗→ホールのみ）パテシゴキ 継目：ジョイント工法 EP
C7b 調音層：FPBt=15+15両面にGW32k50t（浮室仕様→防振ハンガータイプ→リハーサル室、練習室）
防振ハンガー 浮室仕様のみ リハーサル室 練習室
振止め防振ゴム
グラスウール 32kg/㎥ t=50
強化石膏ボード t=15+15（全面寒冷紗→ホールのみ）パテシゴキ 継目：ジョイント工法 EP
固定層：FPBt=21+21（P6）
C8 FPBt=21+PBt=12.5+9.5 全面寒冷紗+EP ホール
強化石膏ボード t=21 石膏ボード t=12.5+9.5 全面寒冷紗貼り+パテシゴキ 継目：ジョイント工法 EP
C9a 有孔珪酸カルシウム板 t=6 VE
C9b 有孔珪酸カルシウム板 t=6 VE（吸音仕様）
有孔珪酸カルシウム板 t=6 VE 継目：ジョイント工法
グラスウール 32kg/㎥ t=50 ガラスクロス裏打ち
丸孔形状→ 8Φ @15 開口率 28%
長孔形状→
C10a アルミ積層複合板 t=4
C10b 有孔アルミ積層複合板 t=4
※外部軒天井
アルミ積層複合板 t=4（カットパネル→エッジ金物なし）目地部：オープンジョイント（アルミクリップ）
※アルミ積層複合板芯材 ポリエチレン樹脂+水酸化アルミニウム
※外部の場合、下地はZPとする
C11 ワイヤメッシュ天井
St.ワイヤメッシュ 75*75*5Φ,SOP グラスウール（32kg/㎥）ガラスクロス押え t=50
St.ロパイプ20*20 押縁St.FB32*4.5t,共にSOP @1200グリッド
C12 繊維石膏ボードt=10+FPBt=15+15 全面寒冷紗+EP ホール
※音響反射板の「天反」のみ
強化石膏ボード t=15+15 繊維石膏ボード t=10 全面寒冷紗貼 パテシゴキ EP 継目：ジョイント工法
C13 PB15の上、木練付パネル（繊維石膏ボードt=10下地） ホール
石膏ボードt=15 繊維石膏ボードt=10+木練付
C14 吸音天井 ホール
孔あきボード+木練付 孔形状：丸孔8Φ,@15
石膏ボードt=12.5 グラスウールt=25 32kg/㎥ ガラスクロス押え（黒色）
※有孔ボード→珪酸カルシウム板t=6
C15 FPBt21+PBt12.5+9.5+GWGC 楽屋台（下手上部）→換気機械室SL直下のみ
防振ハンガー
グラスウール 32kg/㎥ t=50
強化石膏ボード t=21 石膏ボード t=12.5+9.5 グラスウール（32kg/㎥）ガラスクロス押え t=50
屋根・外部床
ER2a 陸屋根（アスファルト防水） 押えコン仕上げ →側溝集水
ER2b 陸屋根（アスファルト防水） 磁器質タイル仕上げ →側溝集水
ER2c 陸屋根（アスファルト防水） 硬化砕石仕上げ →ポイント集水
※下記以外は各詳細図による
押えコン直均し仕様 軽量コンクリートt=100（タイル仕上げ→t=69：EW2b）（ワイヤメッシュ150*150*6Φ程度） 断熱材t=25（ポリスチレンフォーム） アスファルト防水
保護層 中空押出成形セメント板t=15,FP 上枠→AL既製品上枠躯体打込用金物にて支持 下枠→AL既製品下枠用金物にて支持 無筋コンクリートt=100
アスファルトコーキング
AL製押え金物
成形緩衝材
モルタル金ゴテ 溶接金網50x50x2.6Φ
排水側溝 250 水下
モルタル+磁器質タイル仕上げ
RDカバー Sus.パンチング300Φ 「屋根伏図」参照
6号砕石+アクリル系散布材 保護クロス 硬質ポリスチレン系断熱材t=25 アスファルト防水
硬化砕石仕上げ
※防水立上り部は別途詳細図参照
EF1 ボードデッキ床
ボードデッキ ジャラ材 t=20 目地W=5mm 根太60x60@450、同材 大引90x90@750、同材 モルタル束またはCB束
中庭1,2については「外部廻り詳細図」参照
押えコン（軽量コンクリート） 土間スラブ
パラペット基本形態（壁付防水アゴ含む） 特記なき限り当仕様とする
仕上げライン
成形緩衝材
巾木 廻縁
B1 防塵塗装巾木
防塵塗装塗分け
壁GWの場合見切り化粧材を設ける
H=60
B2 ビニル巾木
ビニル巾木 Rなしタイプ H=60
B3 木製巾木
[B-3a] 木製 UCまたはSOP タイルカーペット
[B-3b] 木製 UCまたはSOP フローリング
B4 下地足元廻り（浮室仕様→リハーサル室、練習室）
※仕上げの巾木もあるため、「B4+B*」の表記となる
巾木 床仕上げ
フレ止め防振ゴム ワイヤーメッシュ100X6Φ エンドPL-1.6t グラスウール96kg/㎥ t=25
J1 塩ビ廻縁1
tは天井仕上による
継目 テープ貼りの上パテシゴキ
J2 塩ビ廻縁2
※岩綿吸音板仕様
tは天井仕上による
外部仕様
外壁
EW1 コンクリート打放し（杉板型枠）フッ素クリア
EW2 コンクリート打放し（A種）フッ素クリア
RC 伸縮目地
EW3a アルミ複合板 t=4 FP焼付（セメント板下地）
EW3b アルミ複合板 t=4 FP焼付（RC下地）
EW3c アルミ複合板 t=4 FP焼付（S下地→室内仕様）
アルミ複合板 t=4（カットパネル→エッジ金物なし）
押出成形セメント板またはRC下地 内断熱
RC等の止水者がない場合、シールジョイント
下地（雑鉄骨）St.L-40X40X3t,@606内外
※下地はZPとする
EW4a アルミスパンドレル（既製品）FP焼付（セメント板下地）
EW4b アルミスパンドレル（既製品）FP焼付（RC下地）
アルミスパンドレル（既製品）FP焼付塗装
押出成型セメント板またはRC下地 内断熱
下地（雑鉄骨）St.L-40X40X3t（スパン側）St.L-60X60X5t（躯体側）共に@606内外
アルミスパンドレル平断面
※下地はZPとする
EW5 大型セラミックタイル
ブラケットアングル Sus.L-100X50X5t,W100,@800
調整ボルト
外断熱
ハンギングレール材AL製T型 L=2700内外
ハンギング金物AL製H型及びJ型
目地材専用ショック吸収材
平面 断面
RC下地
EW6 押出成形セメント板
押出成形セメント板t=60 縦張り
鉄骨耐火ライン
グラスウール 32kg/㎥ t=50
休憩ロビー上屋外機置場外壁、及び下地仕様においては素地仕上げ その他の外壁仕様（露出部）においてはFP焼付
EW7 花こう岩
RC打放しEW1
1FL-60
花こう岩t=25 湿式工法
外構仕上げライン
下部OA既製スラブ
軒天
EC1 アルミ複合板 t=4 FP焼付（S下地）
※下地はZPとする
アルミ複合板 t=4（カットパネル→エッジ金物なし）目地部：オープンジョイント（アルミクリップ）
ER1 ステンレス屋根（竪ハゼ葺き工法）
Sus.22Cr系（1.5Mo-Ni-Ti）t=0.4 BAダル仕上げ
ガラス繊維積層材t=4.0裏打ち 高密度GWボード96kg/㎥ t=25 ゴムアスシートt=1.0 モルタルt=30
ハゼピッチ=@450内外
SL
ER3 改質アスファルト露出防水
※客屋階排煙機室、換気機械室の直上屋根のみ
アスファルトコーキング
AL製押え金物
水上 SL

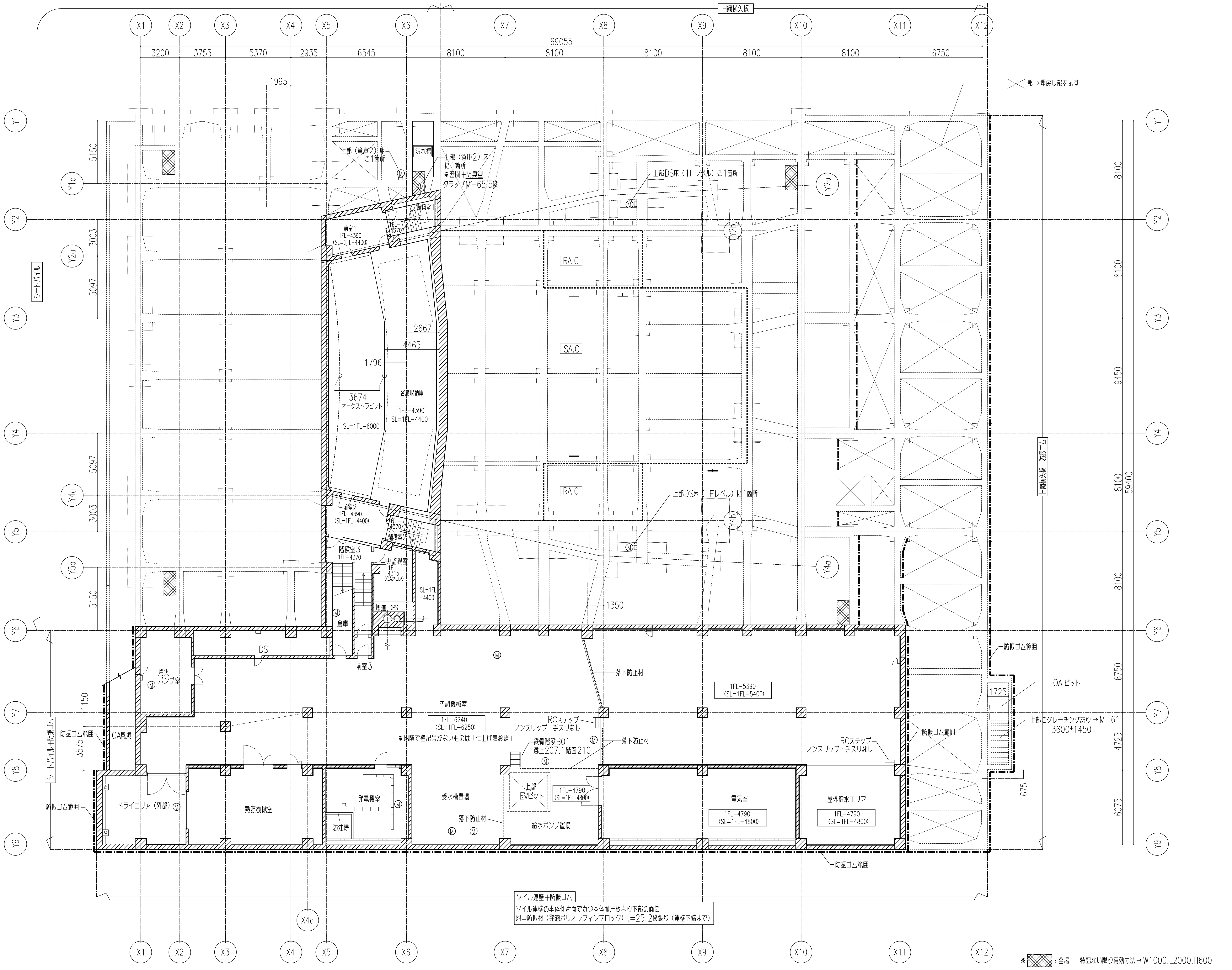
工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）

株式会社 槇総合計画事務所

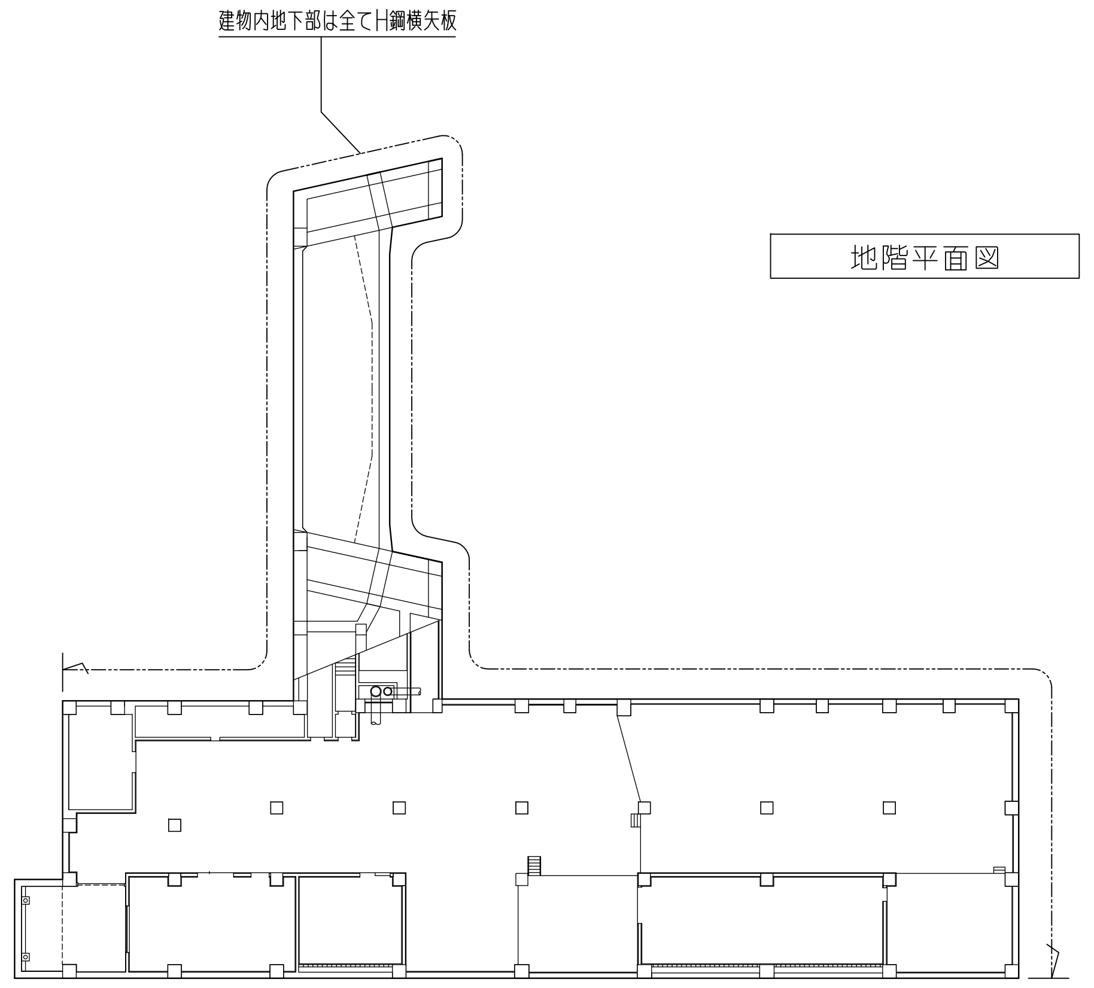
一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士 国土交通大臣登録 第37162号 槇 文彦

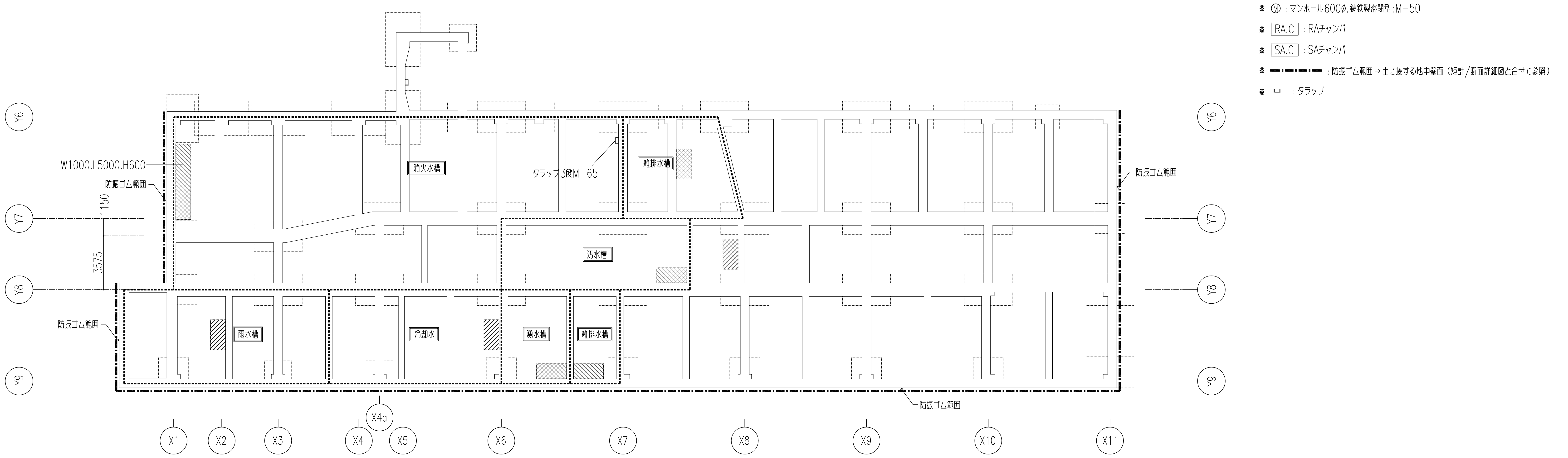
年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
2005年5月	仕上仕様図2	1:5	A11FDe02	A-11

工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	年月日 2005年 5月	図面名称 配置図	縮尺 1:300	ファイル名称 A12Gp−LS改2	図面番号 A−12



地階平面図





機械室下ピット伏図

※ ▨ ：釜場　　特記ない限り有効寸法→W1000.L2000.H600

※ Ⓜ ：マンホール600ø.鋳鉄製密閉型：M−50

※ RA.C ：RAチャンバー

※ SA.C ：SAチャンバー

※ ━・━・━ ：防振ゴム範囲→土に接する地中壁面（矩計／断面詳細図と合せて参照）

※ ⊔ ：タラップ

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	地階平面図	1:200	A13Gp-BF_070910	A−13

■ 屋外出入口の必要合計幅員（広島県建築基準法施工条例による）
ホール1階客席＝624.14㎡（＞2階客席：297.62㎡+2階リハーサル室（平土間客席）：139.6㎡）
5.78+3.56+1.21=10.55＞624.14㎡／10㎡*15cm＝9.36m：ok
主要な出入口=5.78+3.56=9.32＞10.55/2=5.275：ok

■ 階段全般・廊下・スロープの幅員は詳細図で示すこととする

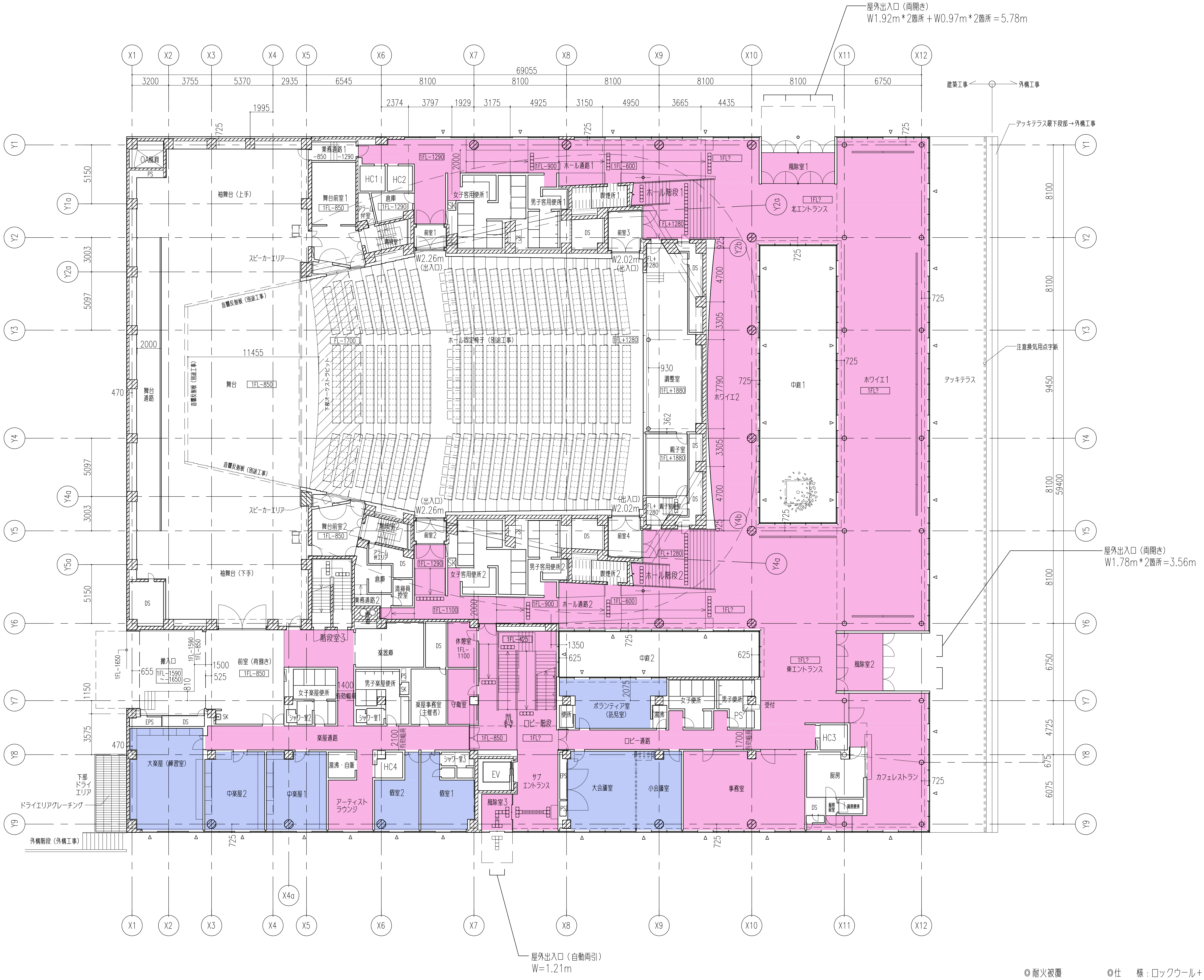
■ 客用階段（直通階段）の必要合計幅員（広島県建築基準法施工条例による）
・ホールゾーン
ホール2階客席＝297.62㎡により
297.62㎡／10㎡*15cm*0.5＝2.23m
ホール階段1：W=1.95m
ホール階段2：W=1.95m
計3.90m ＞ 2.23m：ok

※ ホール階段3.4は2階客席上部から2階FLに達するための階段である。
ホール階段3：W=1.56m
ホール階段4：W=1.56m
計3.12m
2階客席上部に2階客席と同面積のフロアがあると想定した
場合の数値＝2.23より大のためok

・リハーサル室ゾーン
2階のリハーサル室（平土間客席）＝139.6㎡により
139.6㎡／10㎡*15cm*0.5＝1.04m
ロビー階段： W=1.70m
階段室３： W=1.43m
計3.13m ＞ 1.04m：ok

■ ホール客席出入口の必要合計幅員（広島県建築基準法施工条例による）
ホール1階客席624.14㎡、2階客席：297.62㎡により
（624.14㎡+297.62㎡）／10㎡*15cm＝13.8m
1階客席：W2.26m*2箇所+W2.02m*2箇所＝計8.56m
2階客席：W1.92m*2箇所+W1.47m*2箇所＝計6.78m
計15.34m＞13.8m：ok

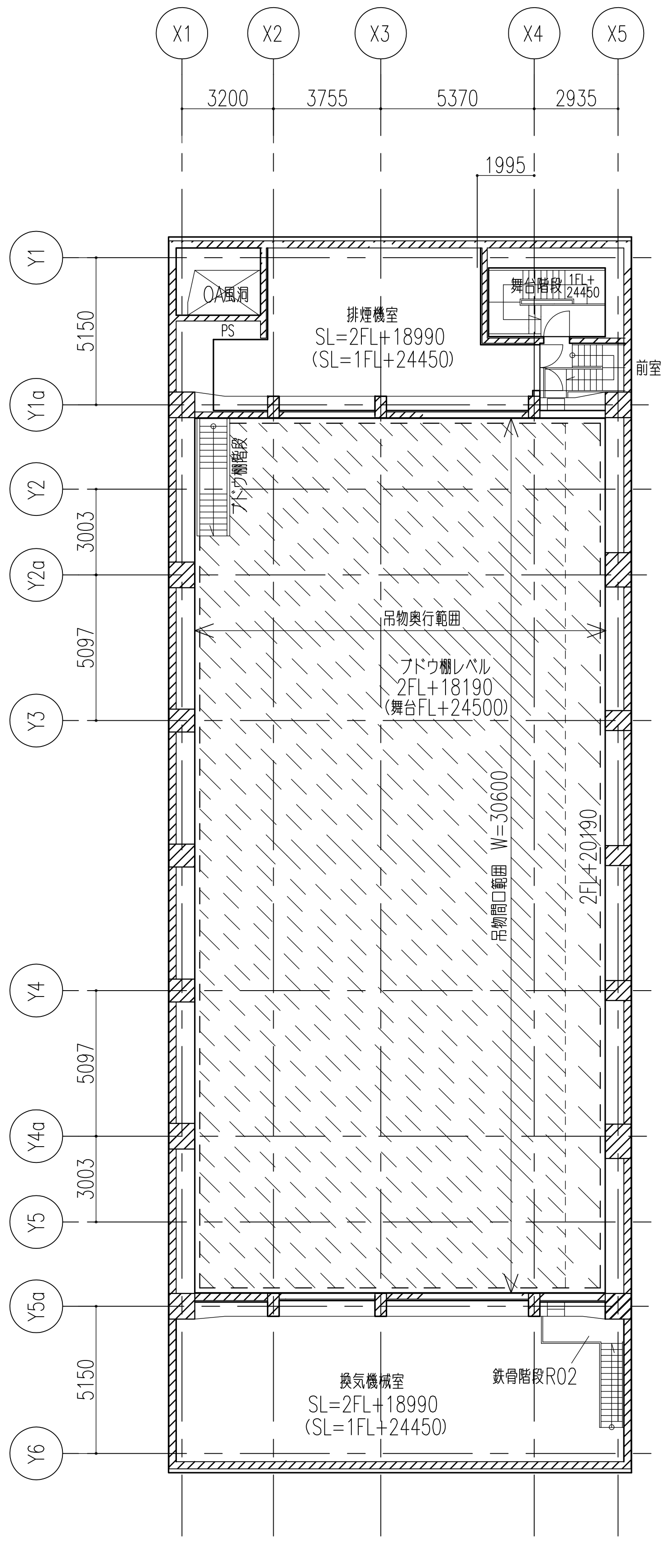
■ リハーサル室出入口の必要合計幅員 （広島県建築基準法施工条例による）
139.6㎡／10㎡*15cm＝2.09m
W1.58m*1箇所+W0.81m*1箇所＝計2.39m＞2.09m：ok



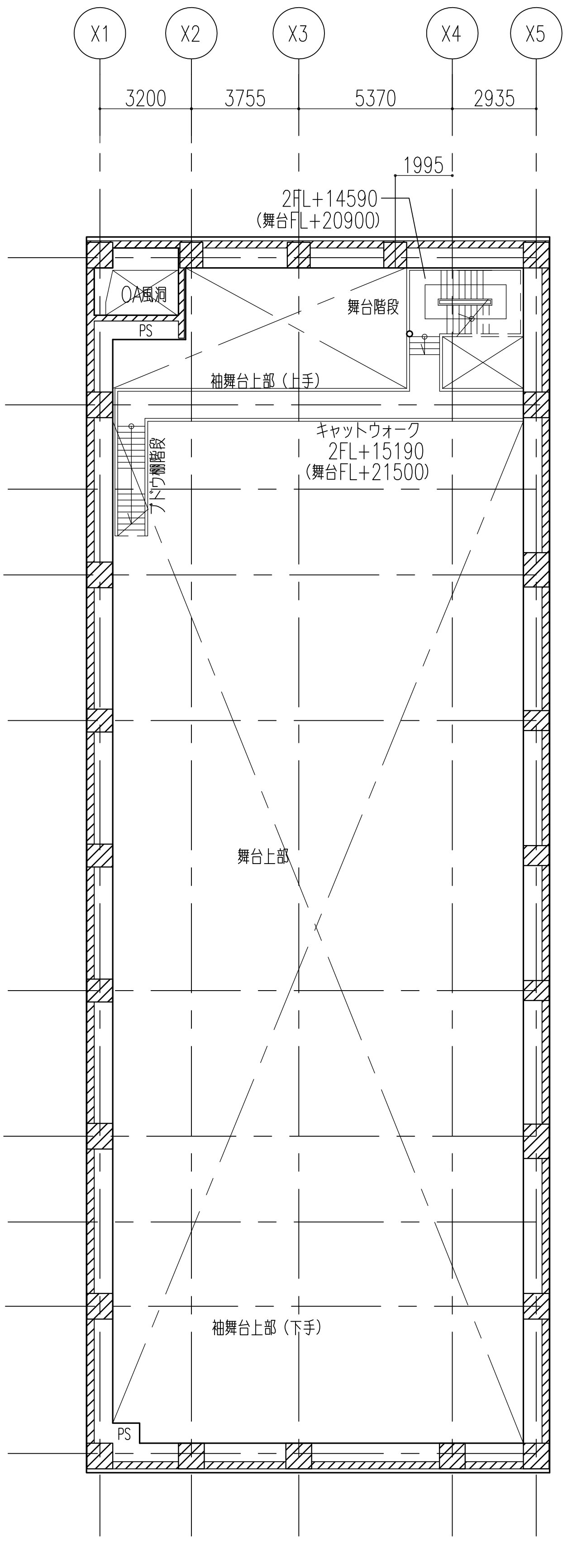
◎耐火被覆　◎仕　　様：ロックウール+セメント、湿式吹き付け工法
◎施工箇所：原則として耐火被覆が必要な隠蔽部の鉄骨
◎耐火性能：１時間耐火

◎耐火塗料　◎仕　　様：発泡性耐火被覆
大臣番号：柱：国住指第930号FP060CN−9472
梁：国住指第931号FP060BM−9419
◎施工箇所：鉄骨丸柱
◎耐火性能：１時間耐火

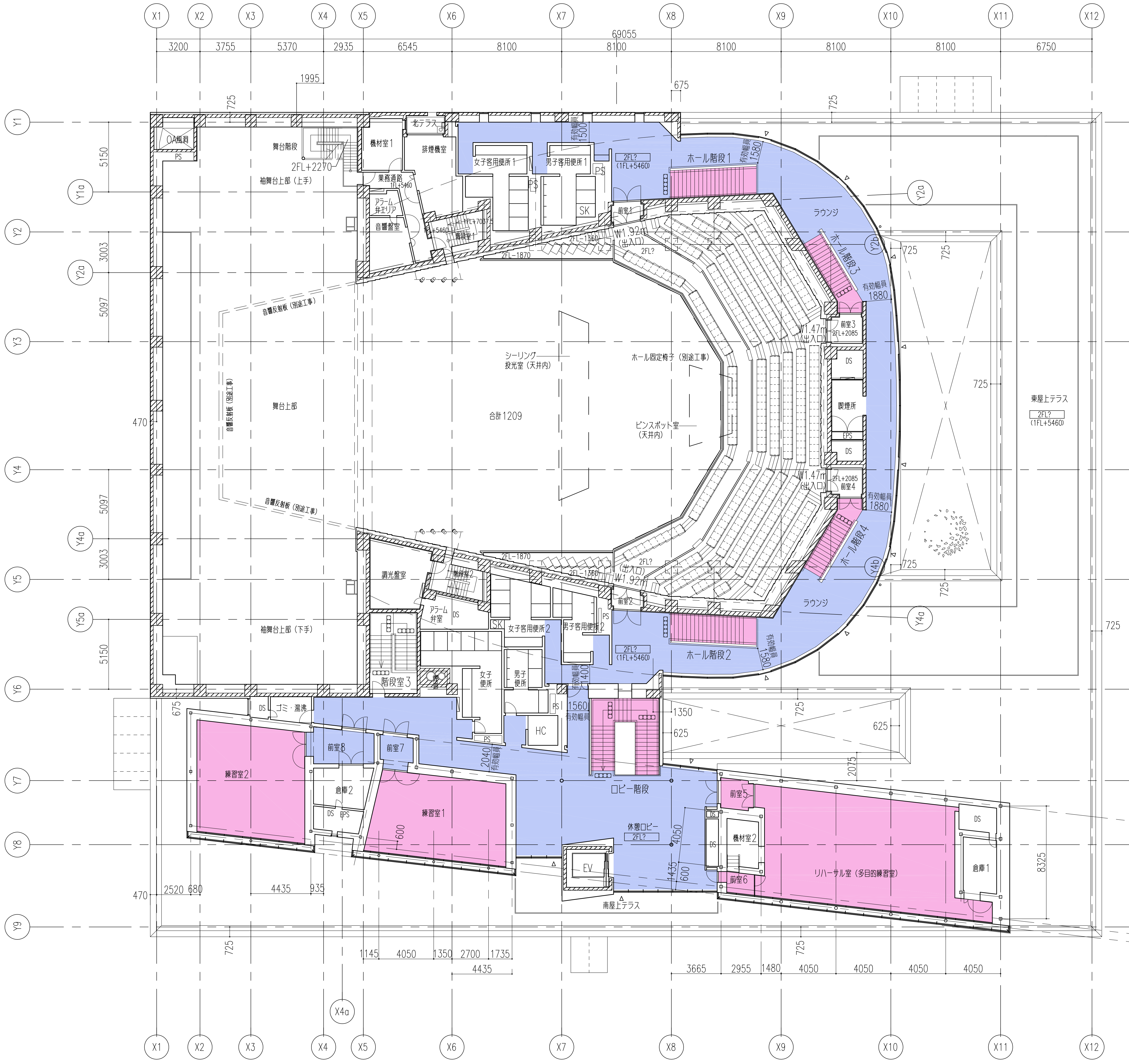
工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	年月日 2005年 5月	図面名称 1階平面図	縮尺 1:200	ファイル名称 A14Gp−1F_070912	図面番号 A−14



ブドウ棚レベル平面図



キャットウォークレベル平面図



■ 階段全般・廊下・スロープの幅員は詳細図で示すこととする

■ 客用階段（直通階段）の必要合計幅員（広島県建築基準法施工条例による）

・ホールゾーン

ホール2階客席＝297.62㎡により

297.62㎡／10㎡＊15cm＊0.5＝2.23m

ホール階段1：W=1.95m
ホール階段2：W=1.95m ］計3.90m > 2.23m：ok

※ ホール階段3.4は2階客席上部から2階FLに達するための階段である。

ホール階段3：W=1.56m
ホール階段4：W=1.56m ］計3.12m

2階客席上部に2階客席と同面積のフロアがあると想定した
場合の数値＝2.23より大のためok

・リハーサル室ゾーン

2階のリハーサル室（平土間客席）＝139.6㎡により

139.6㎡／10㎡＊15cm＊0.5＝1.04m

ロビー階段：　W=1.70m
階段室３：　W=1.43m ］計3.13m > 1.04m：ok

■ ホール客席出入口の必要合計幅員（広島県建築基準法施工条例による）

ホール1階客席624.14㎡、2階客席：297.62㎡により

（624.14㎡+297.62㎡）／10㎡＊15cm＝13.8m

1階客席：W2.26m*2箇所+W2.02m*2箇所＝計8.56m
2階客席：W1.92m*2箇所+W1.47m*2箇所＝計6.78m ］計15.34m > 13.8m：ok

■ リハーサル室出入口の必要合計幅員 （広島県建築基準法施工条例による）

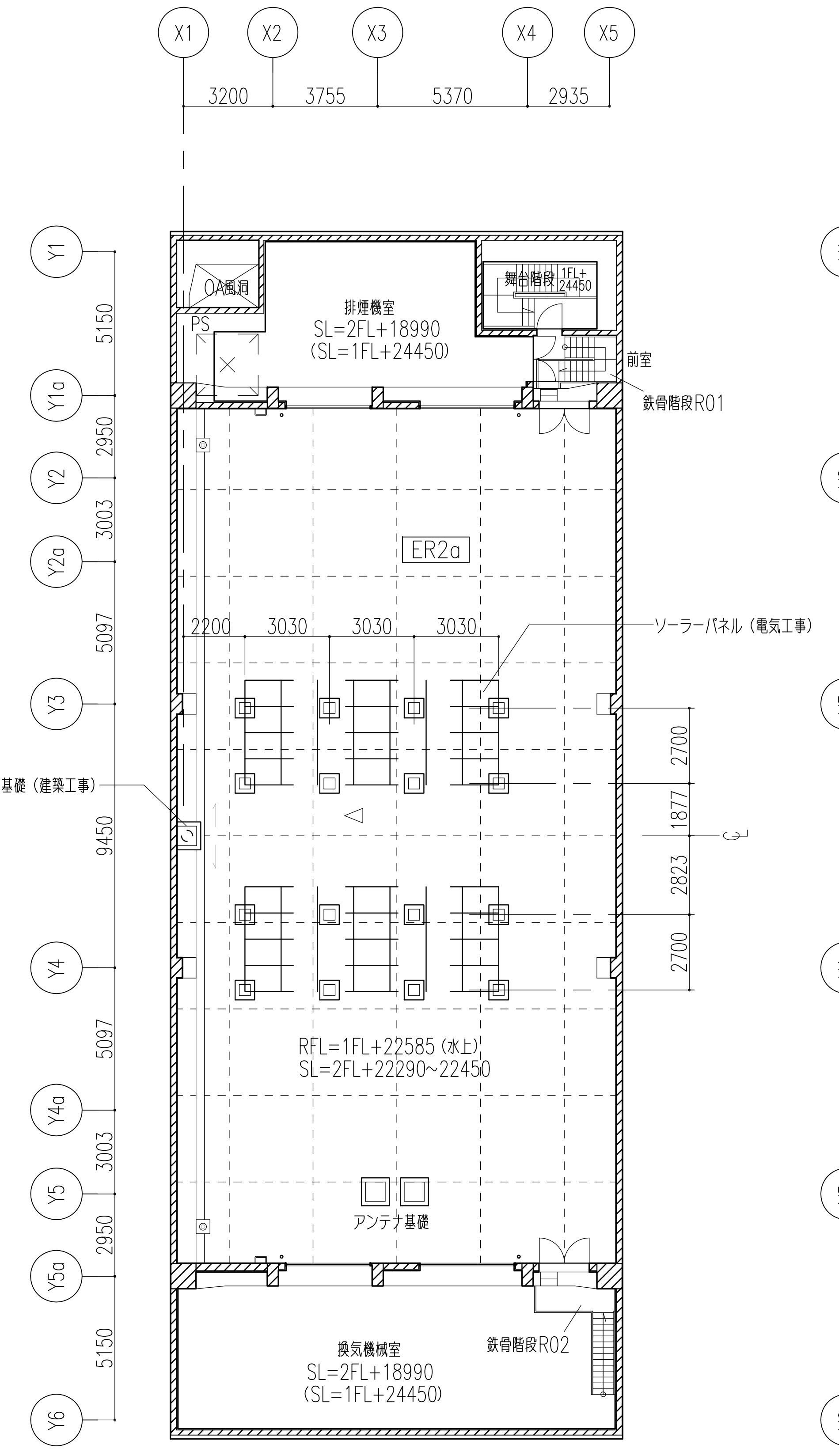
139.6㎡／10㎡＊15cm＝2.09m

W1.58m*1箇所+W0.81m*1箇所＝計2.39m > 2.09m：ok

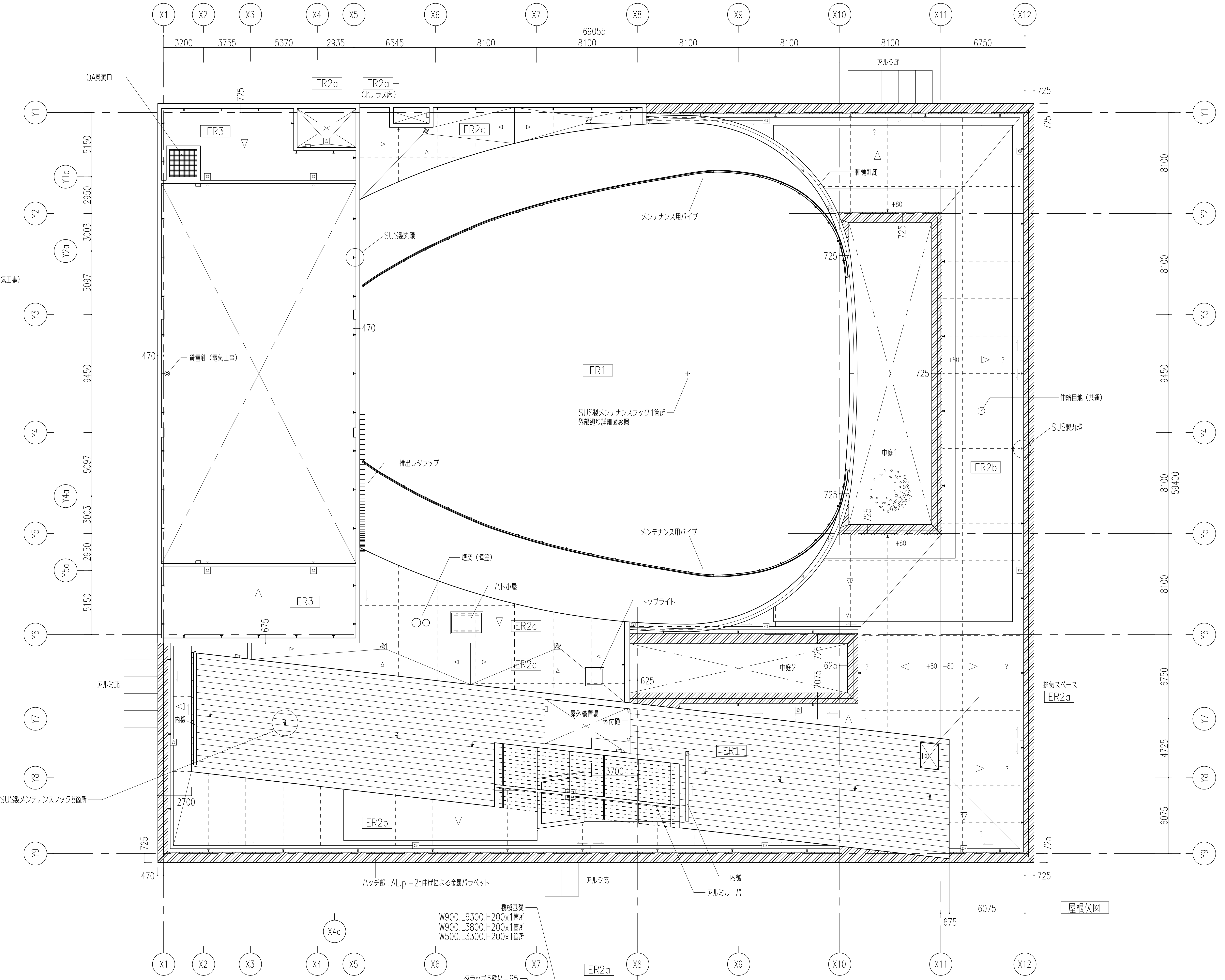
◎耐火被覆　◎仕　様：ロックウール＋セメント、湿式吹き付け工法
◎施工箇所：原則として耐火被覆が必要な隠蔽部の鉄骨
◎耐火性能：1時間耐火

◎耐火塗料　◎仕　様：発泡性耐火被覆
大臣番号：柱：国住指第930号FP060CN-9472
梁：国住指第931号FP060BM-9419
◎施工箇所：鉄骨丸柱
◎耐火性能：1時間耐火

工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	年月日 2005年 5月	図面名称 2階／舞台上部平面図	縮尺 1:200	ファイル名称 A15Gp-2PHF_070912	図面番号 A-15

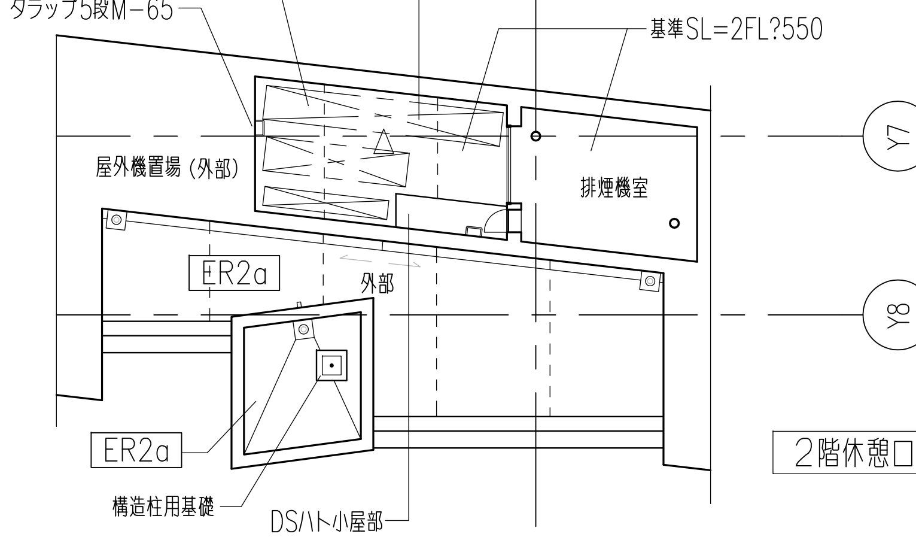


塔屋階平面図



屋根伏図

ER1	ステンレス屋根（竪ハゼ溶接工法）
ER2a	陸屋根（アスファルト防水）　押えコン仕上げ
ER2b	陸屋根（アスファルト防水）　磁器質タイル仕上げ
ER2c	陸屋根（アスファルト防水）　硬化砕石仕上げ
ER3	改質アスファルト露出防水

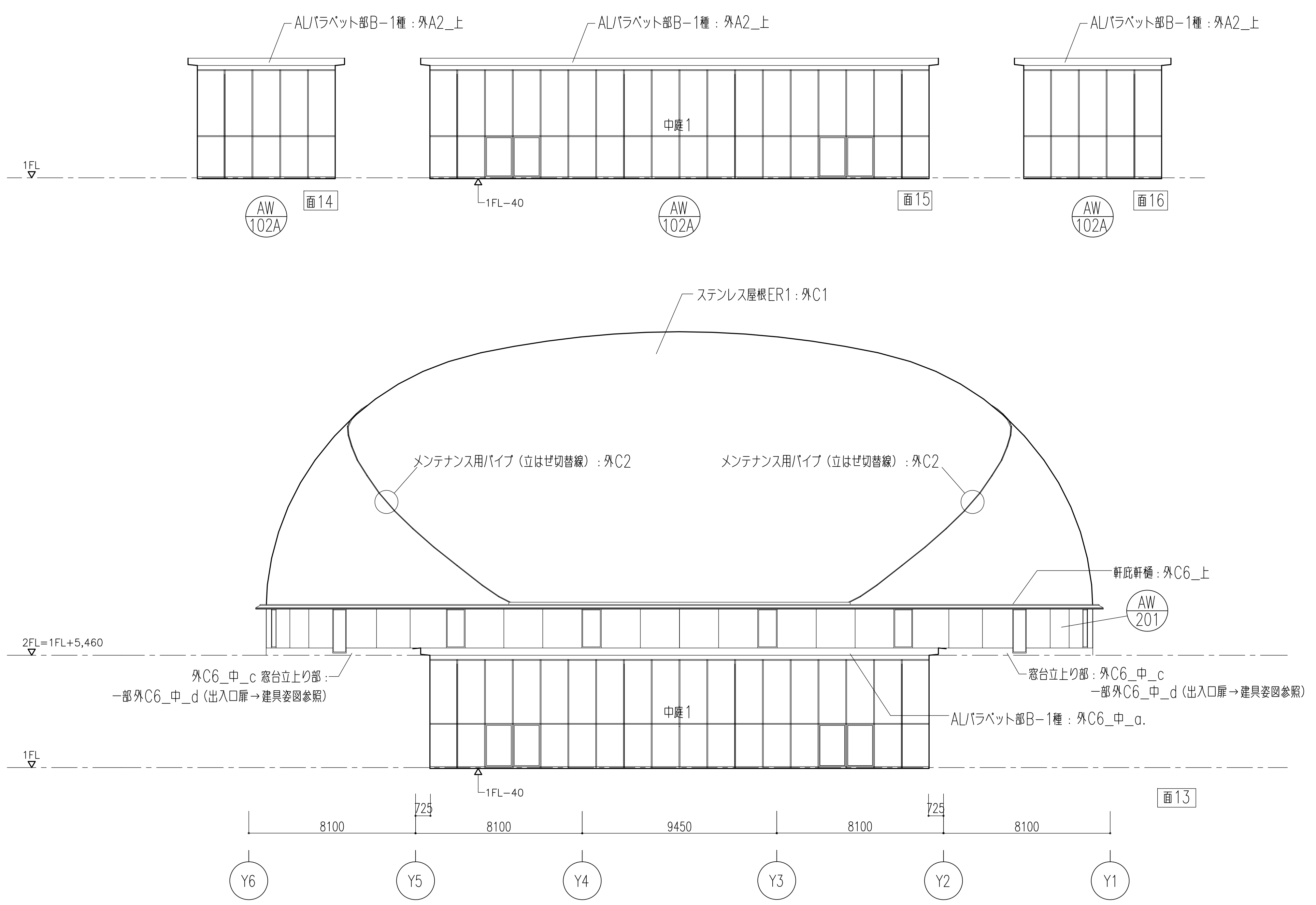


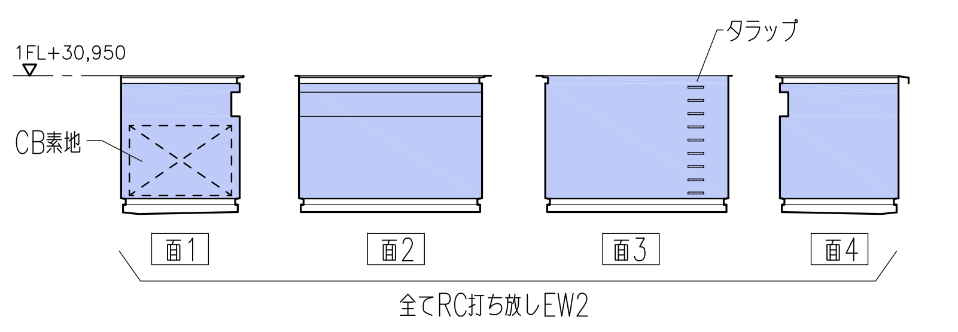
2階休憩ロビー直上部屋根伏図

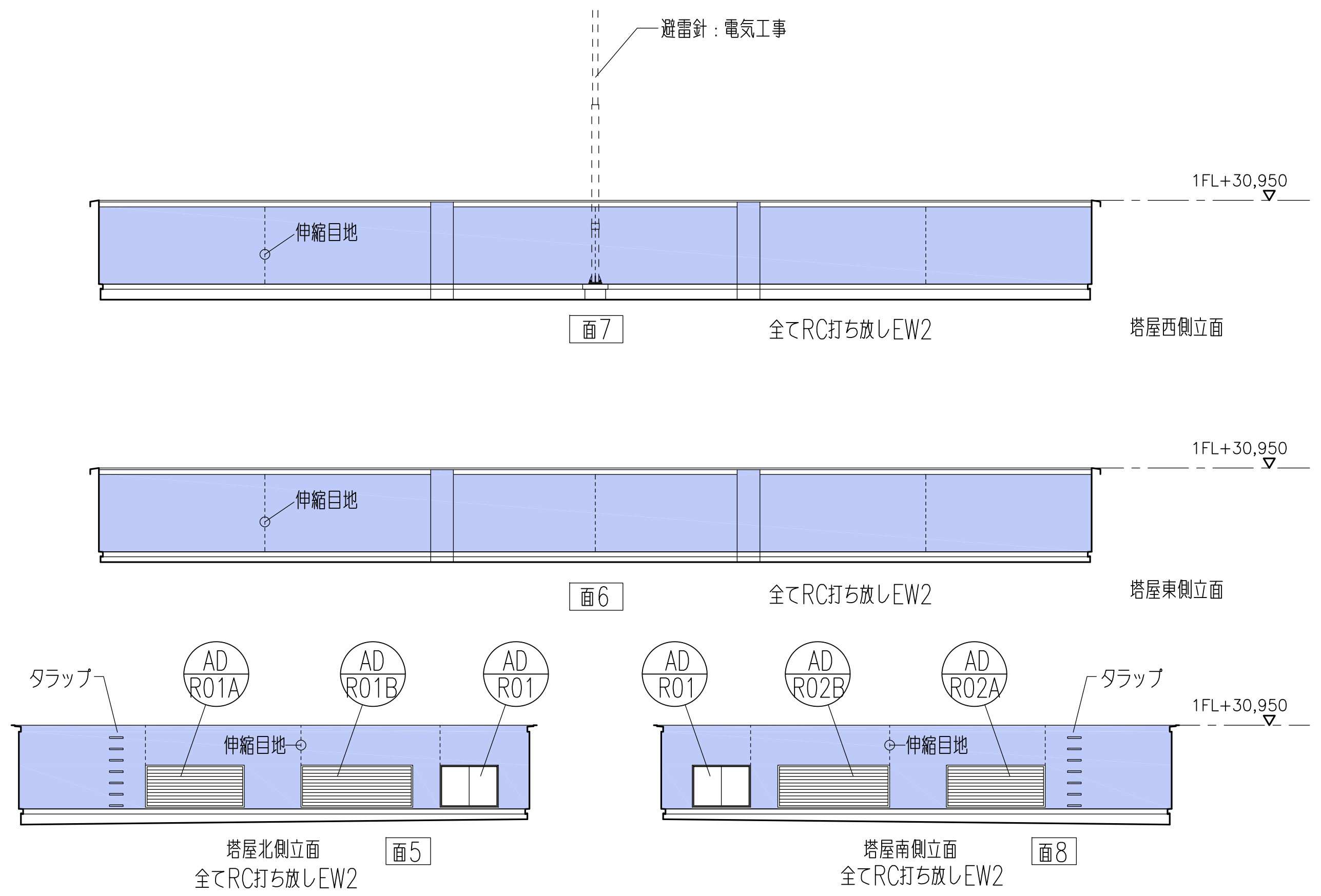
工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	年月日 2005年 5月	図面名称 屋根伏図	縮尺 1:200	ファイル名称 A16Gp-RF	図面番号 A-16

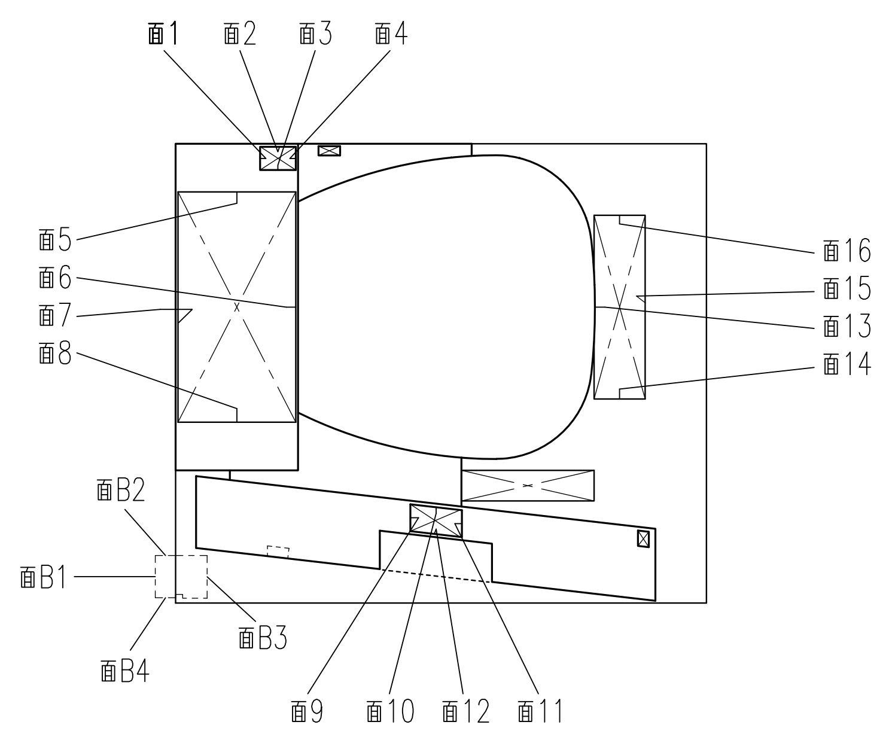
注：●外A**、外B**、外C**の記号は「外部廻り詳細図」内の記号を示す
●上記以外の記号は「仕上仕様図1.2」内の記号を示す

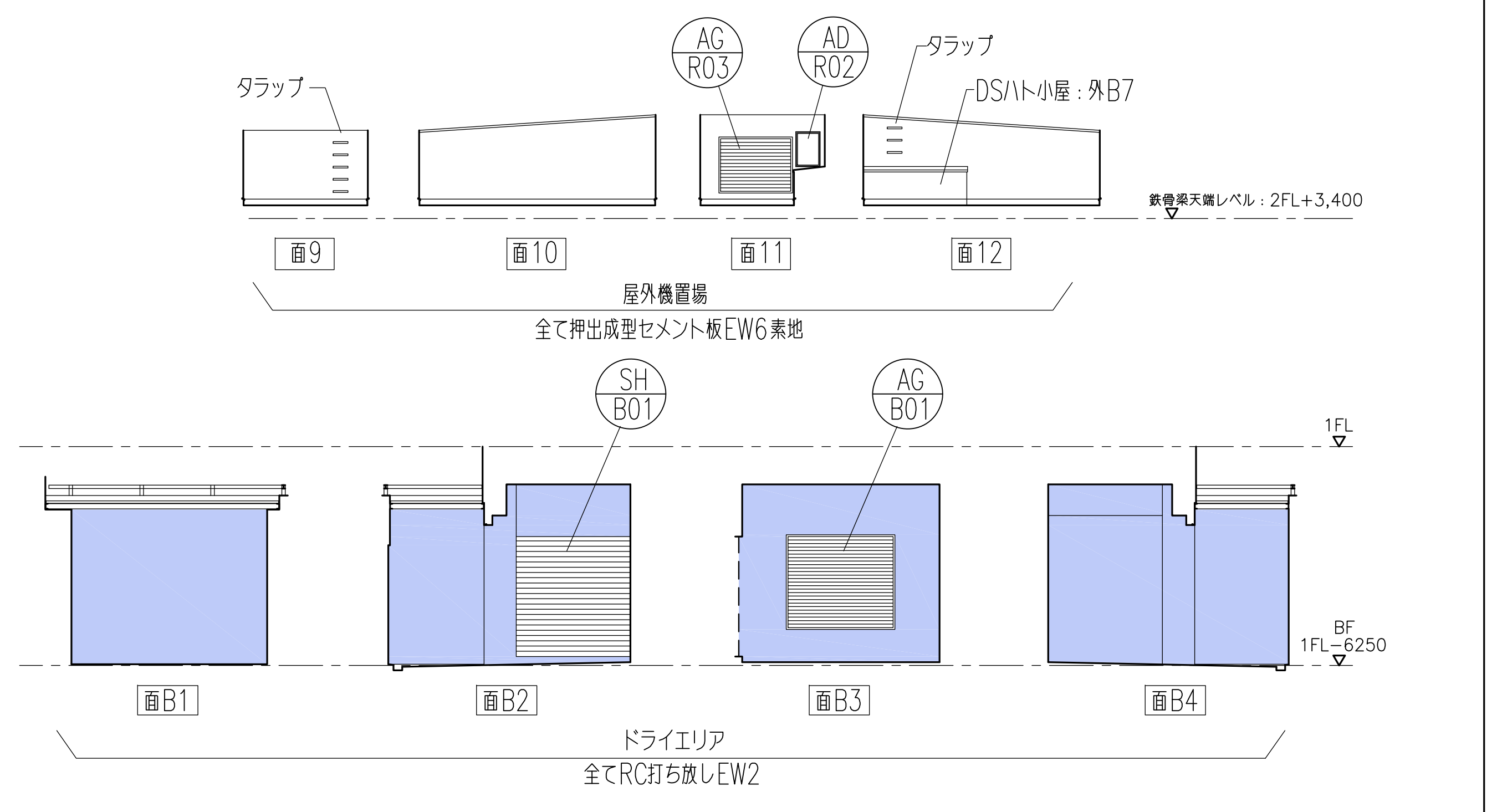
EW1	コンクリート打放し（杉板型枠）フッ素クリア
EW2	コンクリート打放し（A種）フッ素クリア
EW3a	アルミ複合板t=4FP焼付（セメント板下地）
EW3b	アルミ複合板t=4FP焼付（RC下地）
EW3c	アルミ複合板t=4FP焼付（S下地）
EW4a	アルミスパンドレル（セメント板下地）
EW4b	アルミスパンドレル（RC下地）
EW5	大型セラミックタイル
EW6	押出成型セメント板
EW7	花こう岩
	※記号は「外部仕上仕様図」に準ずる
	※建具記号においては「建具姿図」参照

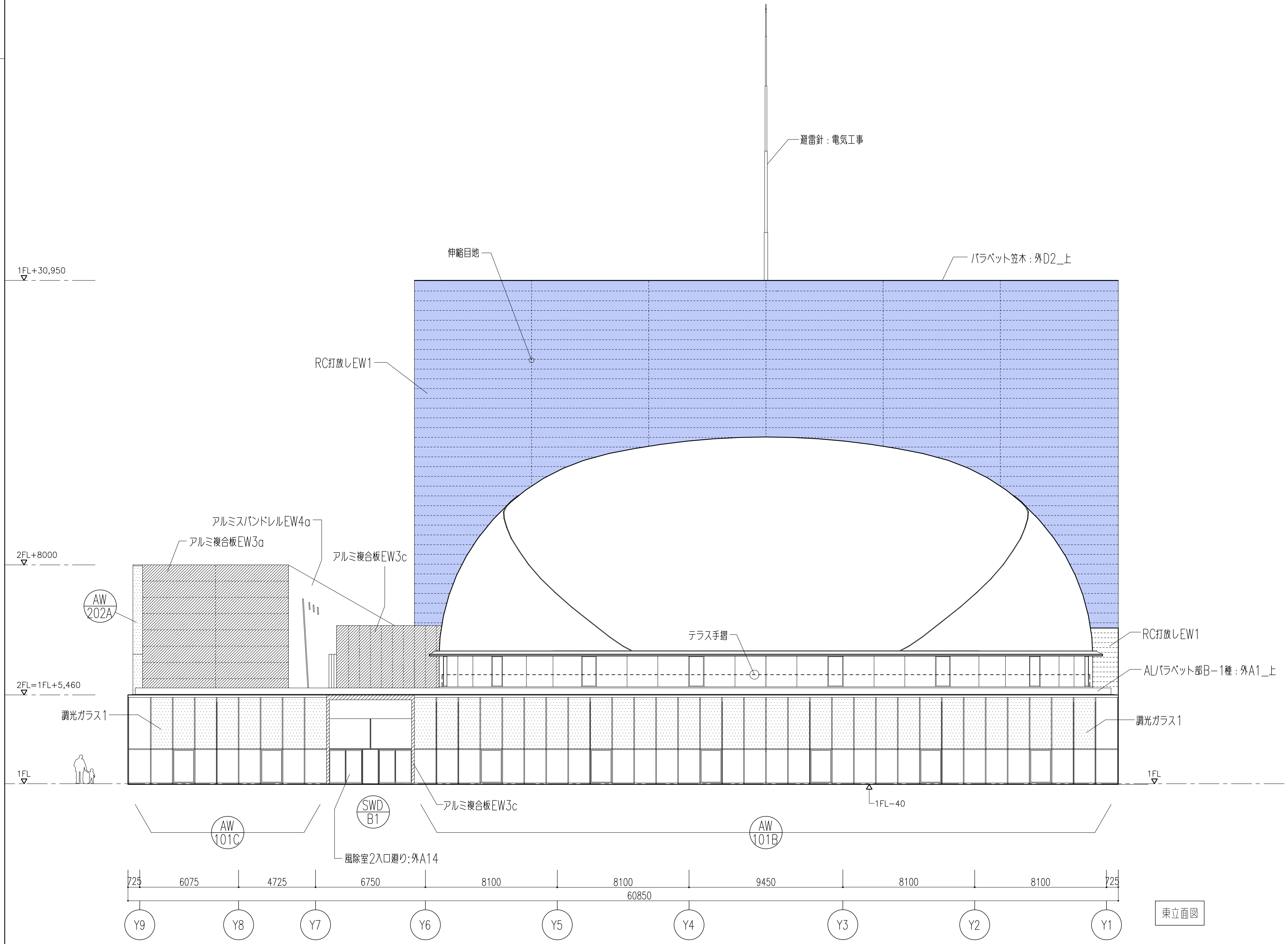

ALパラペット部B−1種：外A2_上
ALパラペット部B−1種：外A2_上
ALパラペット部B−1種：外A2_上
中庭1
1FL
1FL−40
AW 102A
面14
AW 102A
面15
AW 102A
面16
ステンレス屋根ER1：外C1
メンテナンス用パイプ（立はぜ切替線）：外C2
メンテナンス用パイプ（立はぜ切替線）：外C2
軒庇軒樋：外C6_上
AW 201
2FL=1FL+5,460
外C6_中_c 窓台立上り部：
一部外C6_中_d（出入口扉→建具姿図参照）
窓台立上り部：外C6_中_c
一部外C6_中_d（出入口扉→建具姿図参照）
ALパラペット部B−1種：外C6_中_a.
中庭1
1FL
1FL−40
面13
8100
725
8100
9450
8100
725
8100
Y6
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1



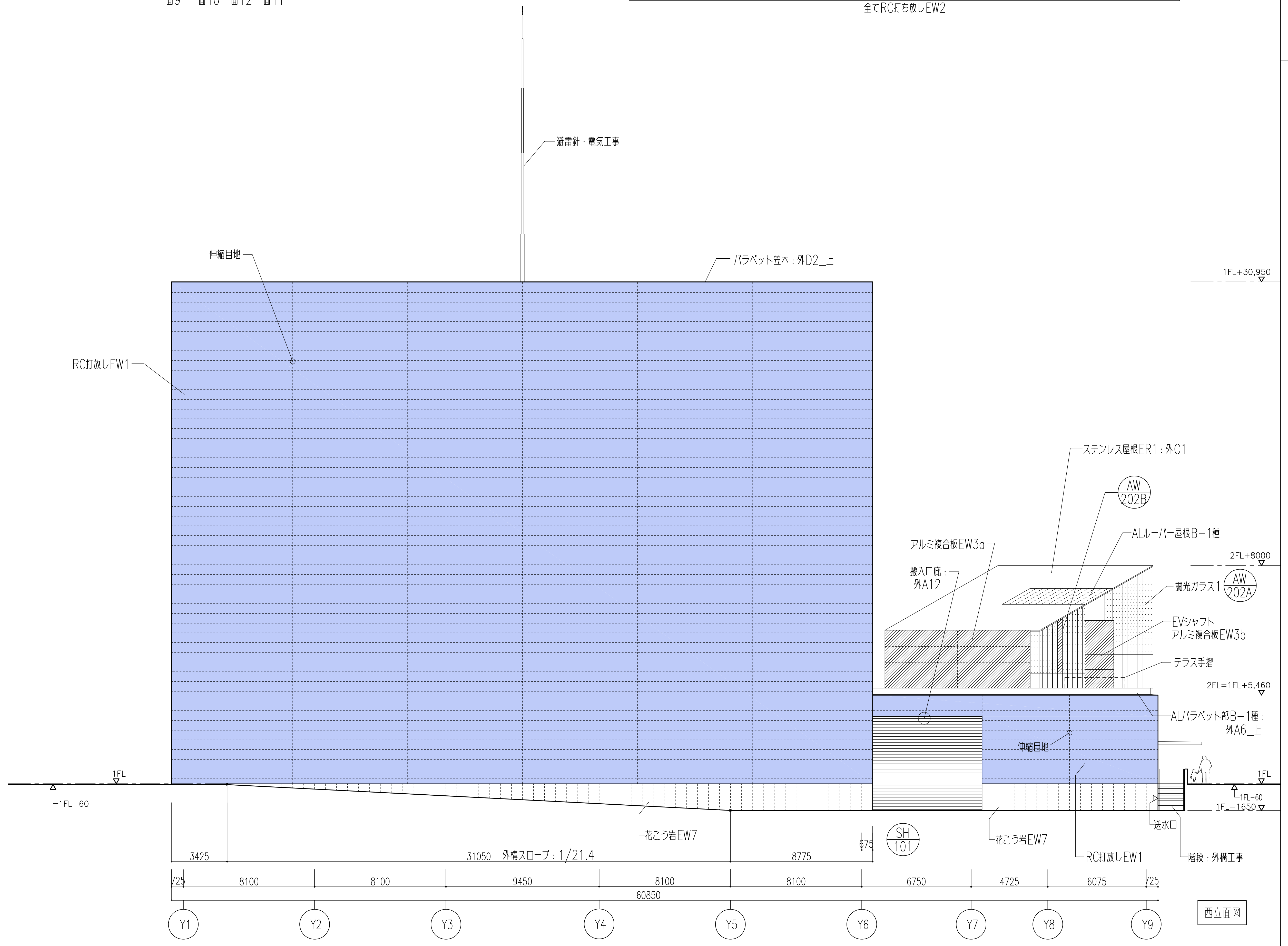








東立面図

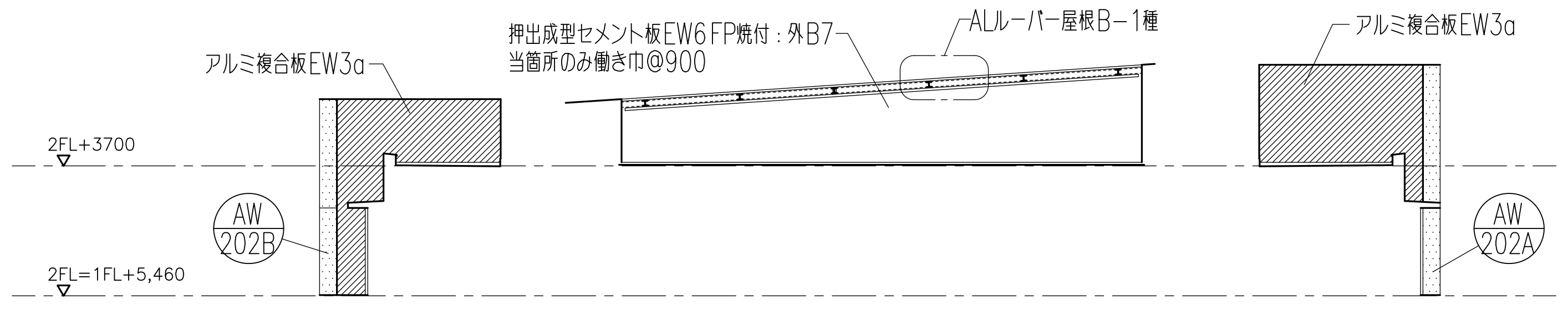


西立面図

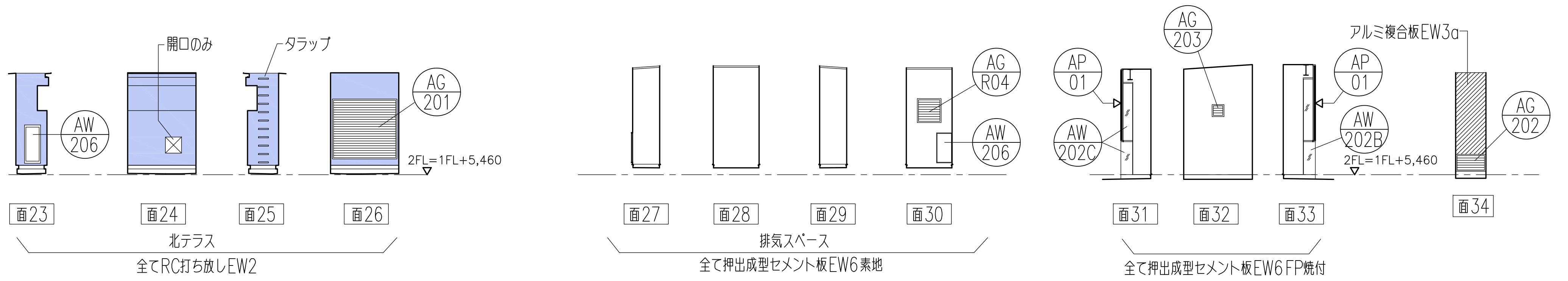
設計GL=+1.34（測量図レベル）=1FL−60mm　平均地盤面=1FL−302=設計GL−242

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）	株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	立面図1 東西面	1/200	A17−18Ge−E−org	A−17

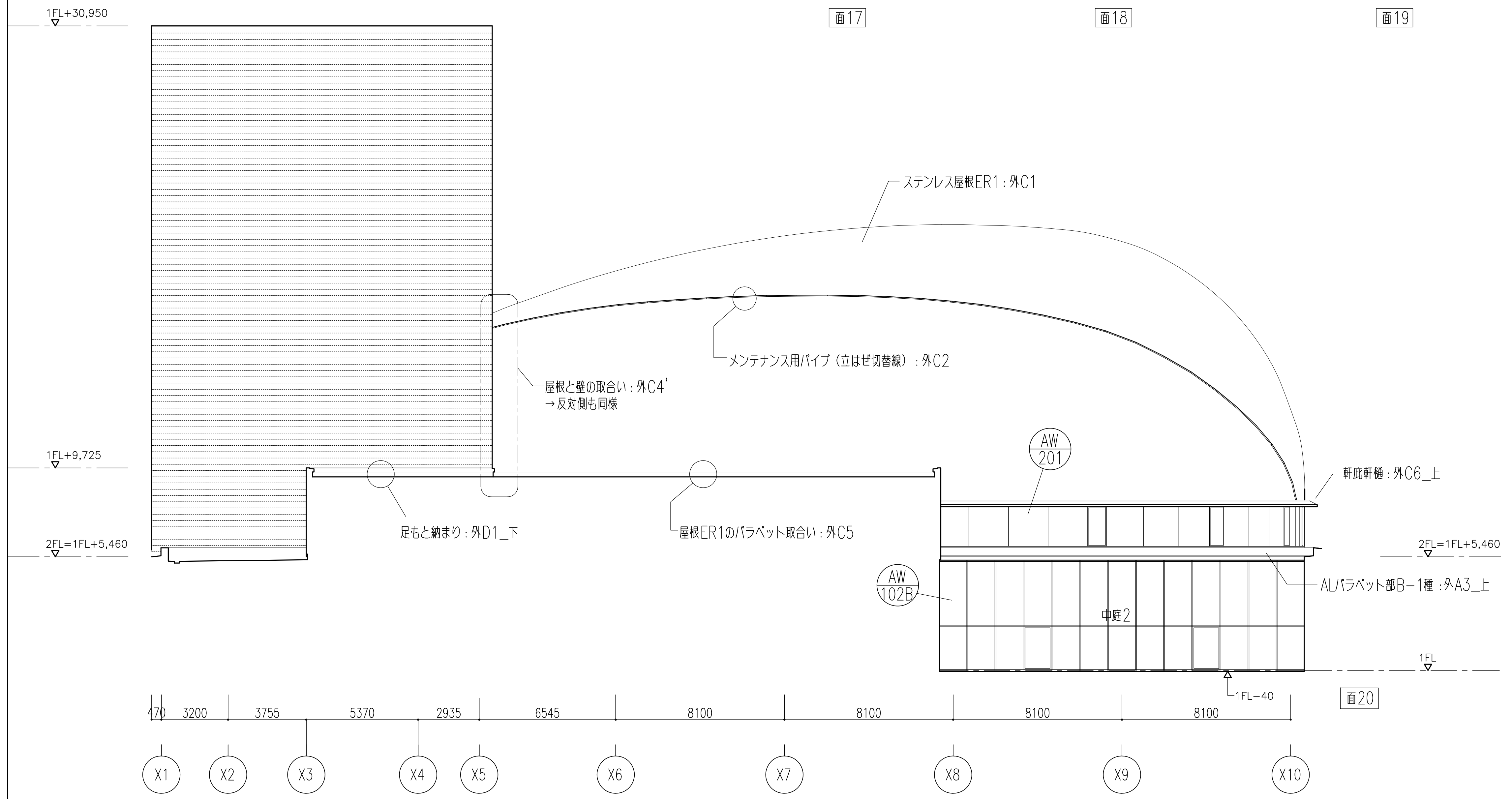
注：● 外A**、外B**、外C**の記号は「外部廻り詳細図」内の記号を示す
● 上記以外の記号は「仕上仕様図1.2」内の記号を示す



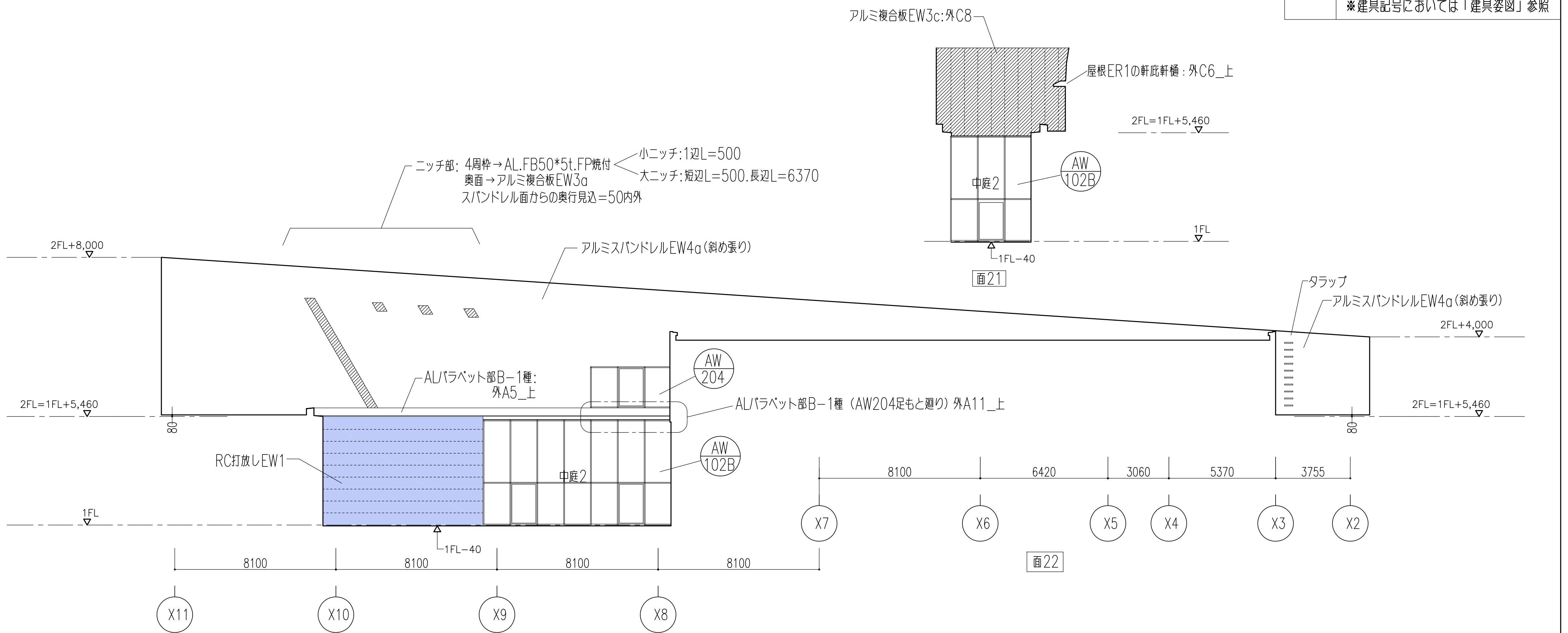
面17　面18　面19



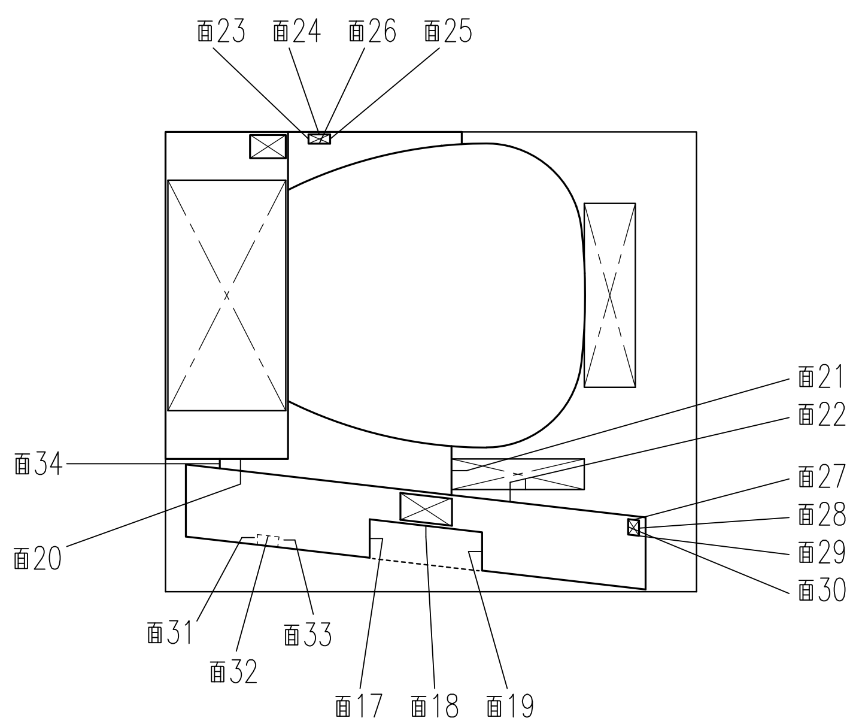
面23　面24　面25　面26　面27　面28　面29　面30　面31　面32　面33　面34

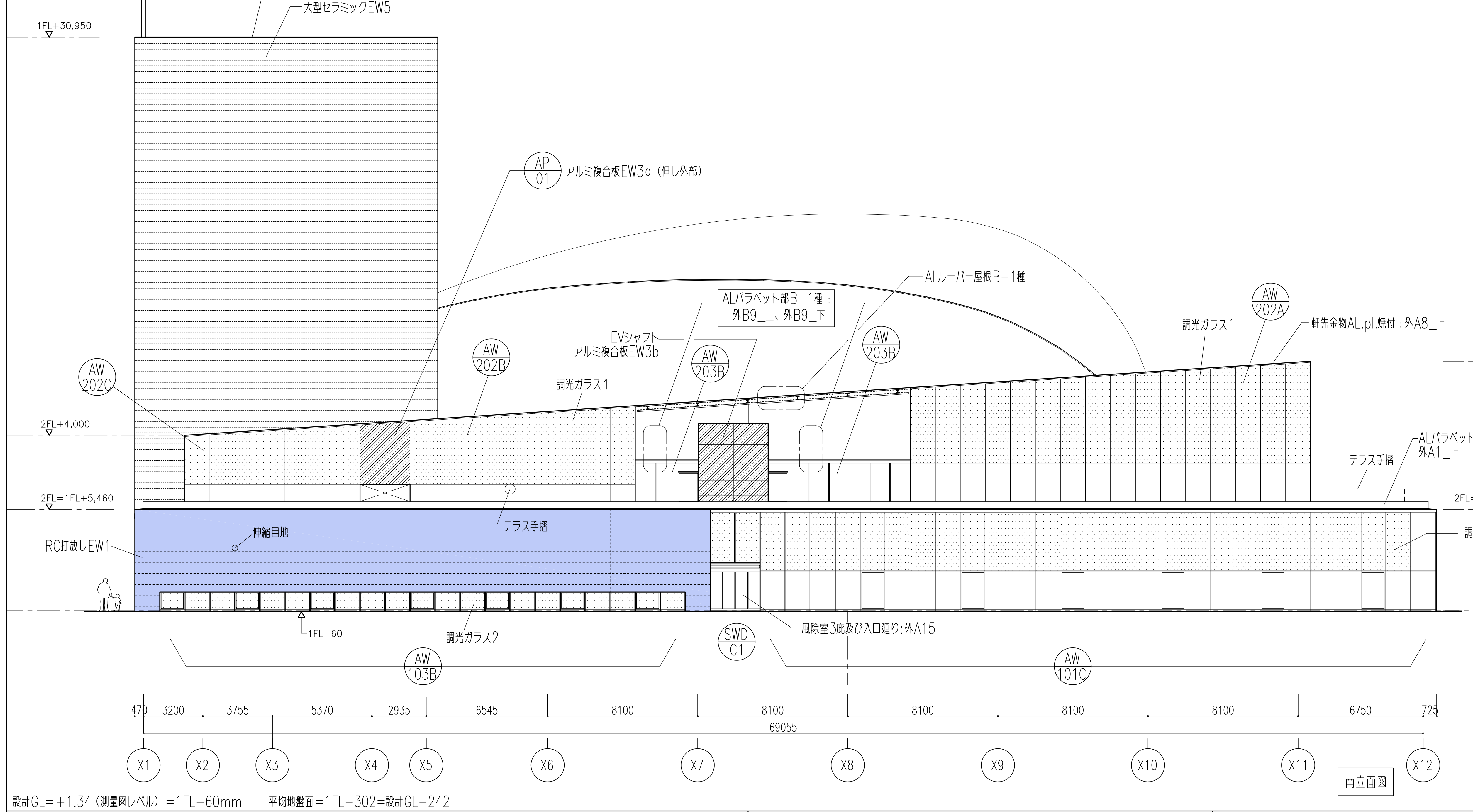


面20

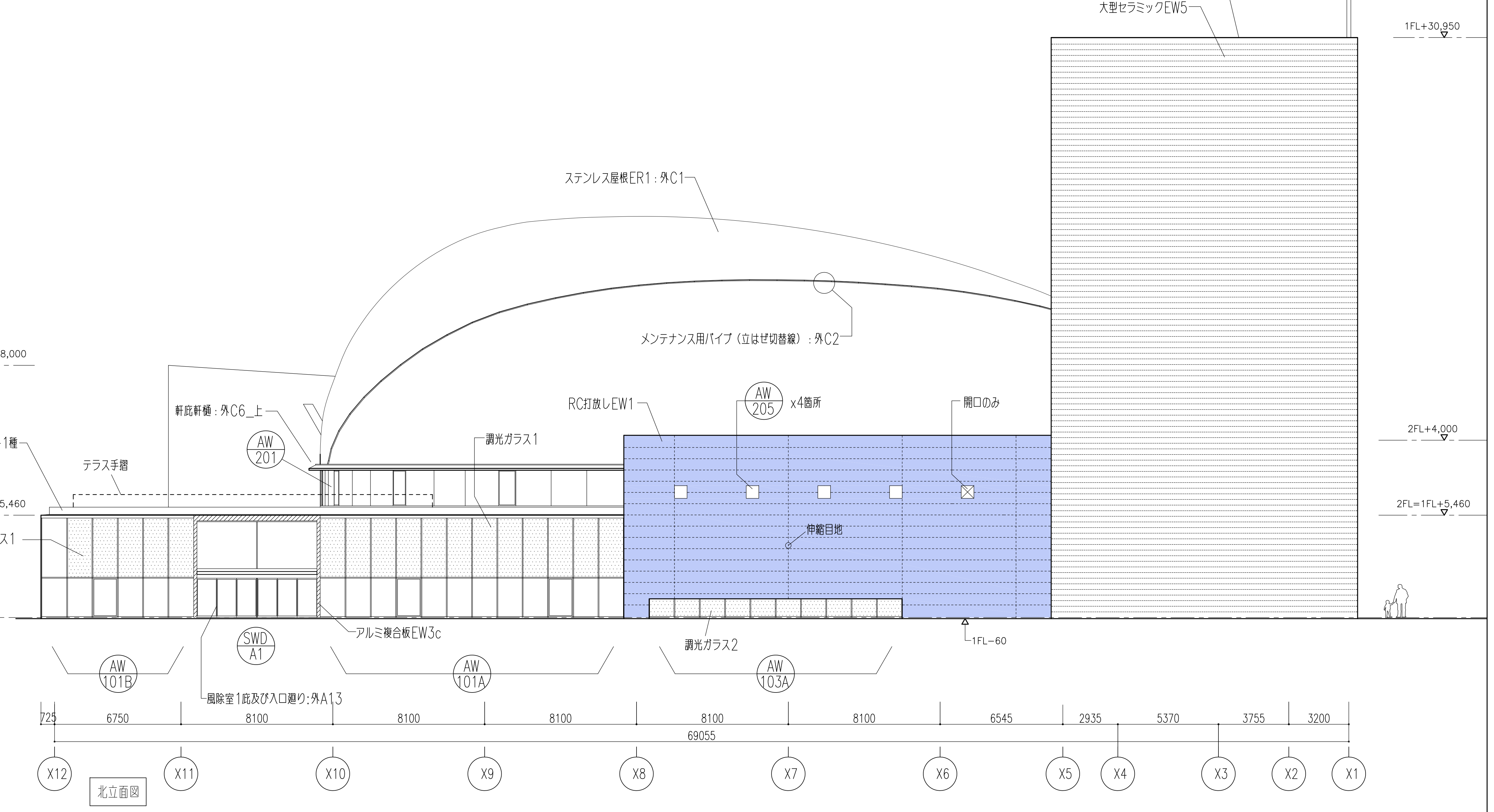

アルミ複合板EW3c：外C8
屋根ER1の軒庇軒樋：外C6_上
2FL=1FL+5,460
中庭2
AW 102B
1FL
1FL−40
面21
ニッチ部：4周枠→AL.FB50*5t.FP焼付
奥面→アルミ複合板EW3a
スパンドレル面からの奥行見込=50内外
小ニッチ：1辺L=500
大ニッチ：短辺L=500.長辺L=6370
2FL+8,000
アルミスパンドレルEW4a（斜め張り）
タラップ
アルミスパンドレルEW4a（斜め張り）
2FL+4,000
AW 204
ALパラペット部B−1種：外A5_上
ALパラペット部B−1種（AW204足もと廻り）外A11_上
2FL=1FL+5,460
80
RC打放しEW1
中庭2
AW 102B
1FL
1FL−40
8100　6420　3060　5370　3755
X7　X6　X5　X4　X3　X2
8100　8100　8100　8100
X11　X10　X9　X8

面22





南立面図



北立面図

EW1	コンクリート打放し（杉板型枠）フッ素クリア
EW2	コンクリート打放し（A種）フッ素クリア
EW3a	アルミ複合板t=4 FP焼付（セメント板下地）
EW3b	アルミ複合板t=4 FP焼付（RC下地）
EW3c	アルミ複合板t=4 FP焼付（S下地）
EW4a	アルミスパンドレルFP焼付（セメント板下地）
EW4b	アルミスパンドレルFP焼付（RC下地）
EW5	大型セラミックタイル
EW6	押出成型セメント板
EW7	花こう岩
	※記号は「外部仕上仕様図」に準ずる
	※建具記号においては「建具姿図」参照

設計GL=+1.34（測量図レベル）=1FL−60mm　　平均地盤面=1FL−302=設計GL−242

工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）

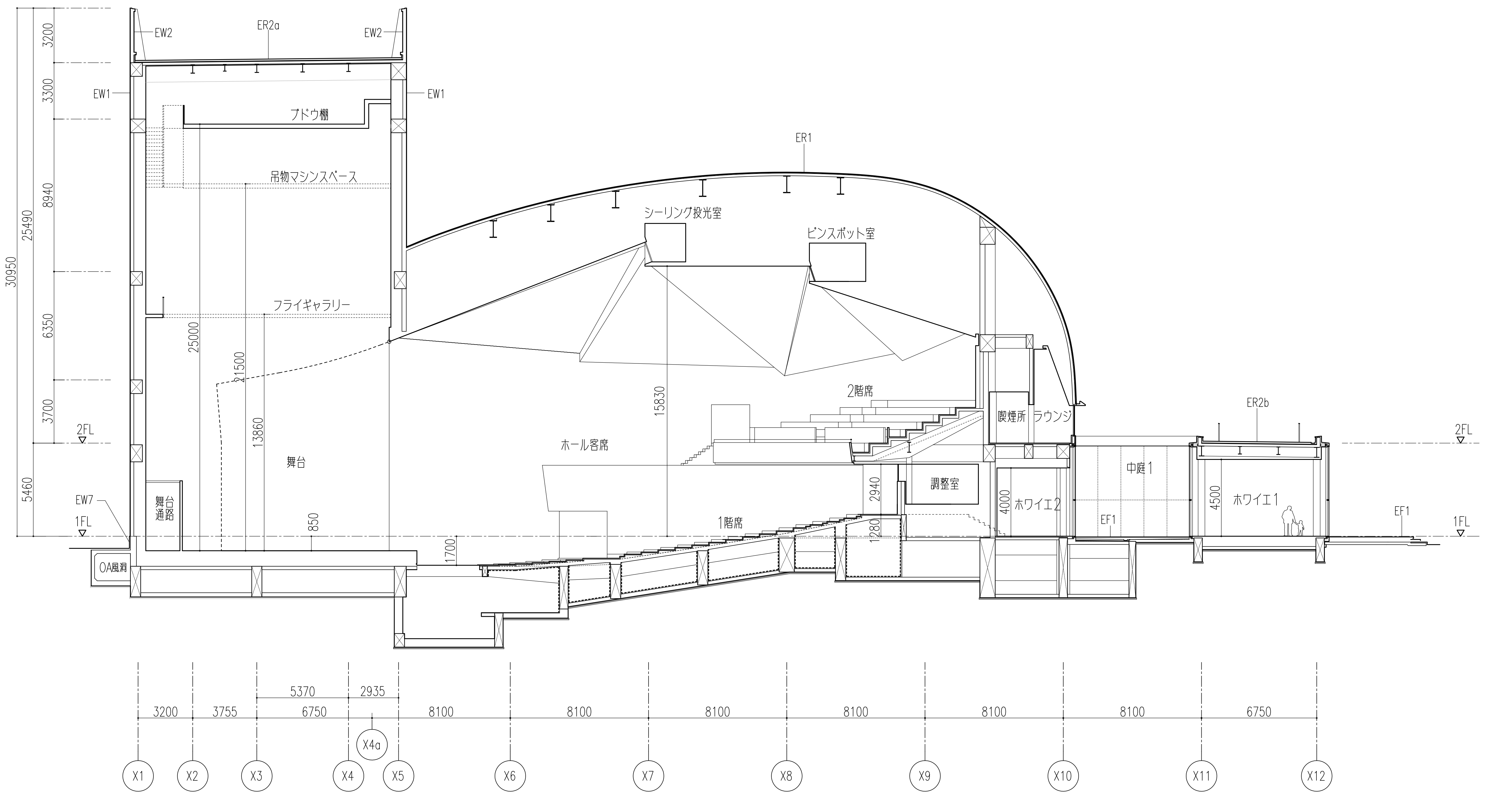
株式会社　槇総合計画事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦

年月日　2005年 5月
図面名称　立面図2　南北面
縮尺　1/200
ファイル名称　A17−18Ge−E−org
図面番号　A18

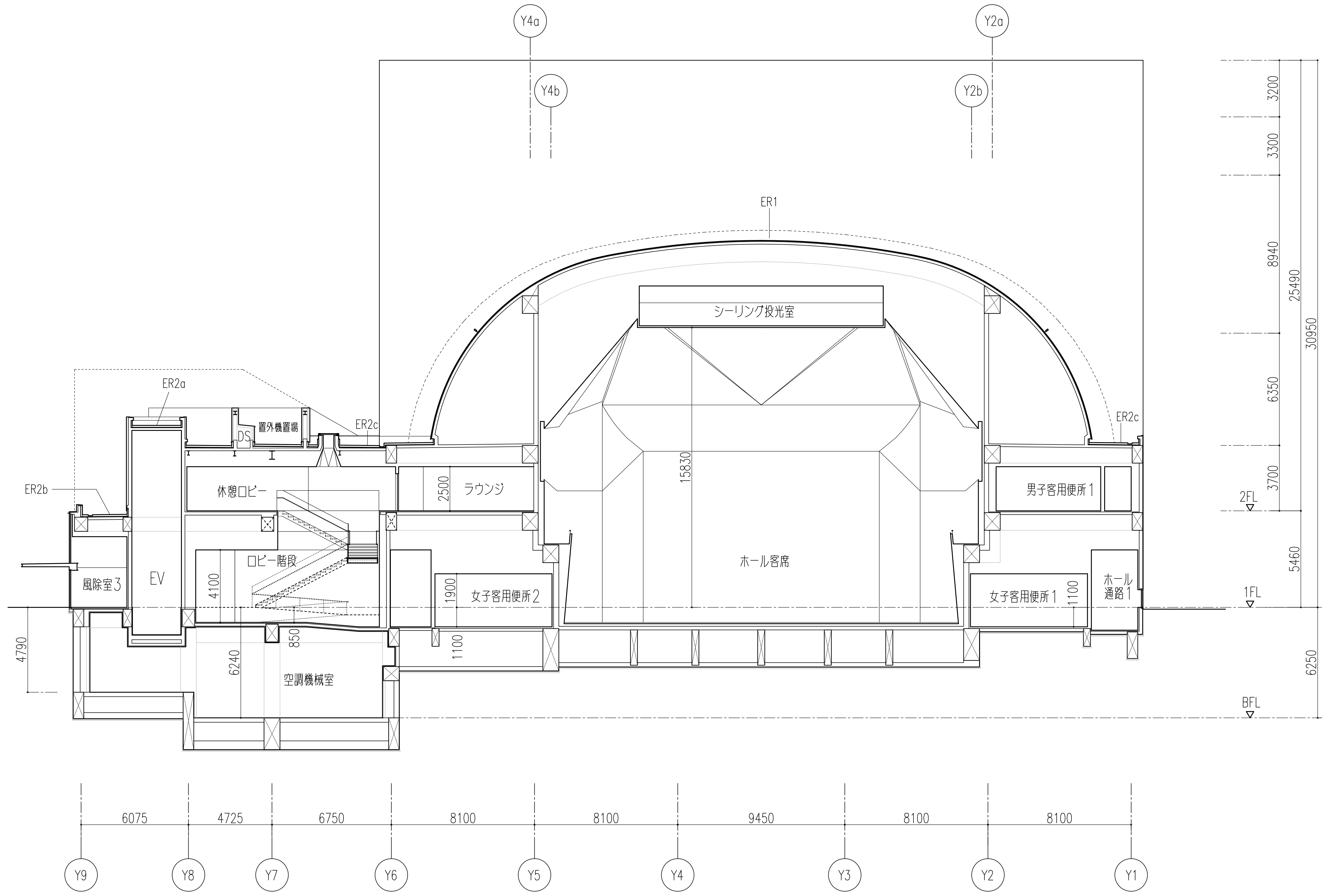
EW1	コンクリート打放し（杉板型枠）フッ素クリア
EW2	コンクリート打放し（A種）フッ素クリア
EW3a	アルミ複合板t=4FP焼付（セメント板下地）
EW3b	アルミ複合板t=4FP焼付（RC下地）
EW3c	アルミ複合板t=4FP焼付（S下地）
EW4a	アルミスパンドレル（セメント板下地）
EW4b	アルミスパンドレル（RC下地）
EW5	大型セラミックタイル
EW6	押出成型セメント板
EW7	花こう岩

ER1	ステンレス屋根（竪ハゼ溶接工法）
ER2a	陸屋根（アスファルト防水）押えコン仕上げ
ER2b	陸屋根（アスファルト防水）磁器質タイル仕上げ
ER2c	陸屋根（アスファルト防水）硬化砕石仕上げ
ER3	改質アスファルト露出防水

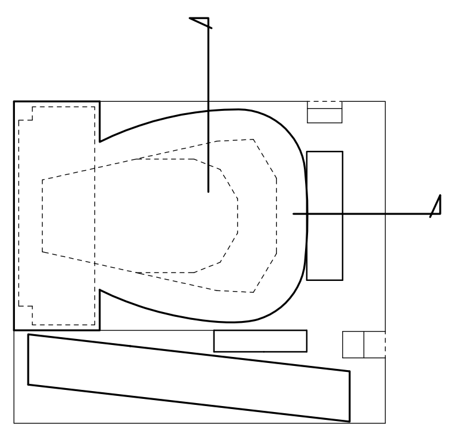
EF1	ボードデッキ



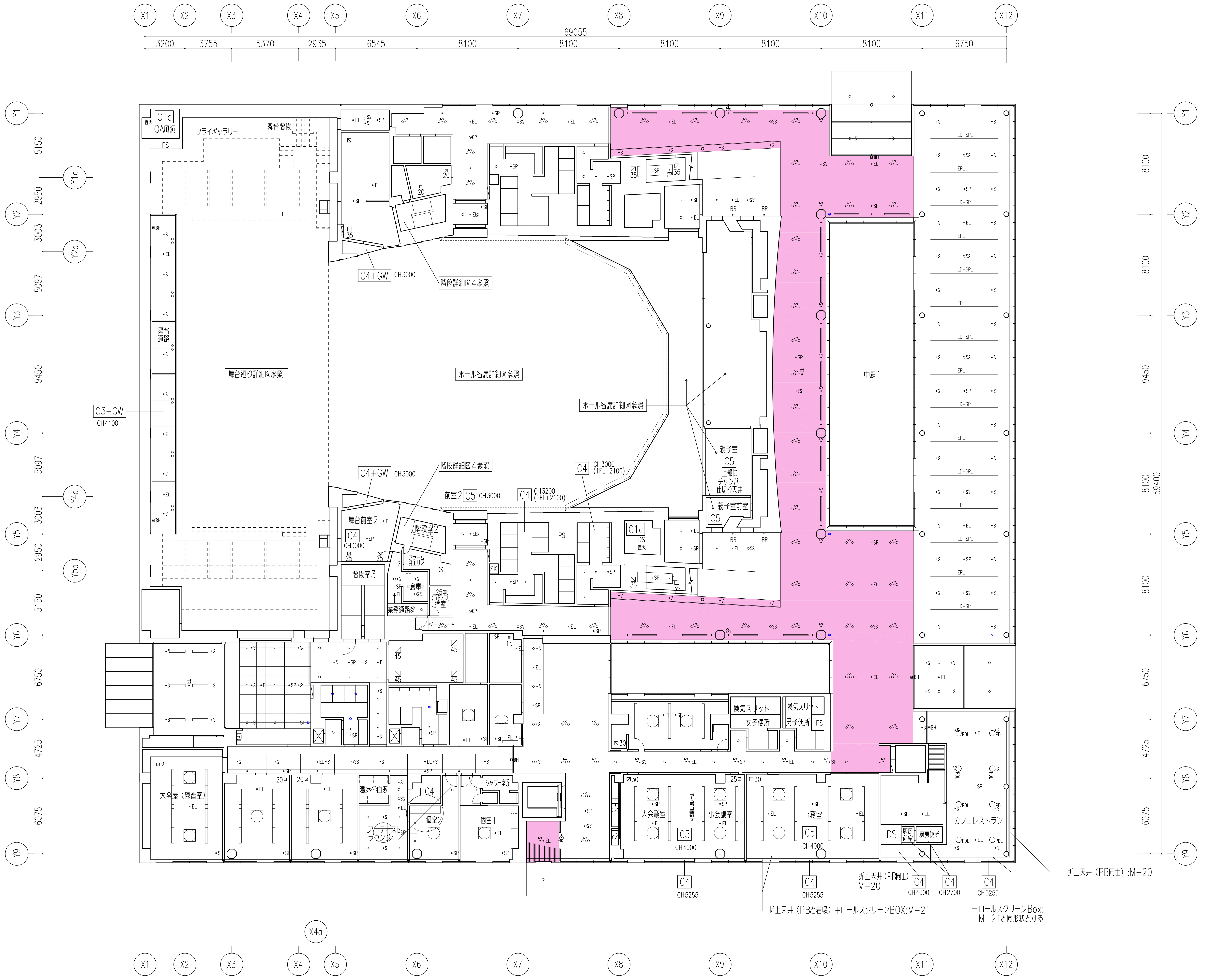
長手（西－東）断面図



短手（南－北）断面図



工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	断面図	1:200	A19Cs-01	A-19



建築工事	
記号	仕上げ
EC1	アルミ複合板t4FP焼付
C1a	RC打放し補修 EP
C1b	GW32kgt50GC
C1c	RC打放しC種
C3	PB12.5 EP
C4	PB12.5+9.5EP（全面寒冷紗においては仕上げ表参照）
C5	岩綿吸音板　素地またはEP
C7a	PB15+15寒EP
C7b	FPB15+15背面にGW32ｋｇ（防振ハンガー）
C8	FPB21+PB12.5+9.5寒EP
C9a	SCB t6VE
C9b	SCB-P t6VE背面にGW32kgt50
C11	St.ワイヤメッシュ　75x75x5ø,SOP GW32kgt50GC
C12	FPB15+15+FRG10寒EP
C13	PB15+FRG10木練付
C14	PB12.5+GWボード25GC+SCB-P6木練付
C15	FPB21+PB12.5+9.5GWGC（防振ハンガー）

その他

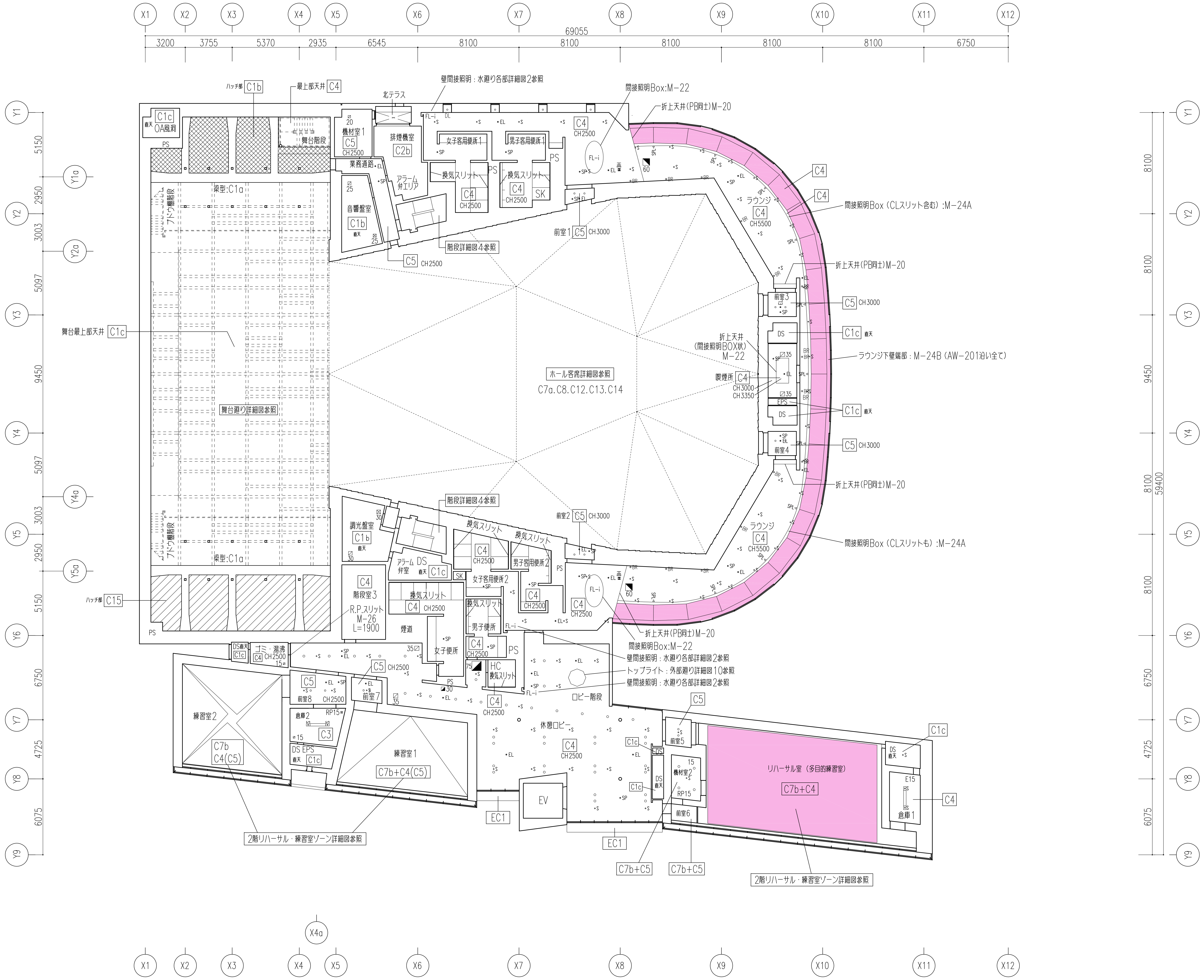
RT-**：防煙垂壁　　建具表・建具位置図参照

点検口：M-14　サイズ450x450、1,2階合わせて計60箇所

便所内換気スリット：水廻り詳細図参照

設備器具（すべて別途工事）			
記号	器具名称	開口補強	開口サイズ
▨	吸込口	○	図面による(例：25は250x250mm)
☒	吹出口	○	図面による(例：25は250x250mm)
◩	排煙口	○	図面による(例：25は250x250mm)
▢	カセット型空調	○	特記なき限り950x950mm
▭	BL	○	2000Lx100D
○	ダウンライト	—	アジャスタブルDLは要開口補強
○PDL	ペンダントライト	—	
▭	蛍光灯（埋め込み）	○	200x1250mm
FL	蛍光灯	—	
-i	間接照明	○	
LD	ライティングダクト	○	
SPL◁	スポットライト	—	
⊘BR	ブラケット照明	—	
○EL	非常用照明	—	
⧓BH	避難口誘導灯	—	
⊗CP	通路誘導灯	—	
○SP	スピーカー	—	
○S	スプリンクラー	—	

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	1階天井伏図	1:200	A20Cp-1F_070703	A-20



建築工事		
記号	仕上げ	
EC1	アルミ複合板t4FP焼付	
C1a	RC打放し補修 EP	
C1b	GW32kgt50GC	C2b 不燃木毛セメント板t=30打込
C1c	RC打放しC種	
C3	PB12.5 EP	
C4	PB12.5+9.5EP（全面寒冷紗においては仕上げ表参照）	
C5	岩綿吸音板 素地またはEP	
C7a	PB15+15寒EP	
C7b	FPB15+15背面にGW32ｋｇ（防振ハンガー）	
C8	FPB21+PB12.5+9.5寒EP	
C9a	SCB t6VE	
C9b	SCB−P t6VE背面にGW32kgt50	
C11	St.ワイヤメッシュ 75x75x5ø,SOP GW32kgt50GC	
C12	FPB15+15+FRG10寒EP	
C13	PB15+FRG10木練付	
C14	PB12.5+GWボード25GC+SCB−P6木練付	
C15	FPB21+PB12.5+9.5GWGC（防振ハンガー）	

その他

RT−**：防煙垂壁　建具表・建具位置図参照

点検口：M−14　サイズ450x450、1,2階合わせて計60箇所

便所内換気スリット：水廻り詳細図参照

設備器具（すべて別途工事）			
記号	器具名称	開口補強	開口サイズ
◿	吸込口	○	図面による(例：25は250x250mm)
⊠	吹出口	○	図面による(例：25は250x250mm)
◪	排煙口	○	図面による(例：25は250x250mm)
▢	カセット型空調	○	特記なき限り950x950mm
▭	BL	○	2000L x 100D
○	ダウンライト	—	アジャスタブルDLは要開口補強
○PDL	ペンダントライト	—	
▭	蛍光灯（埋め込み）	○	200x1250mm
FL	蛍光灯	—	
−i	間接照明	○	
LD	ライティングダクト	○	
SPL◁	スポットライト	—	
⊘BR	ブラケット照明	—	
○EL	非常用照明	—	
⧓BH	避難口誘導灯	—	
⊗CP	通路誘導灯	—	
○SP	スピーカー	—	
○S	スプリンクラー	—	

工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）

株式会社　槇総合計画事務所

一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦

年月日 2005年 5月

図面名称 2階天井伏図

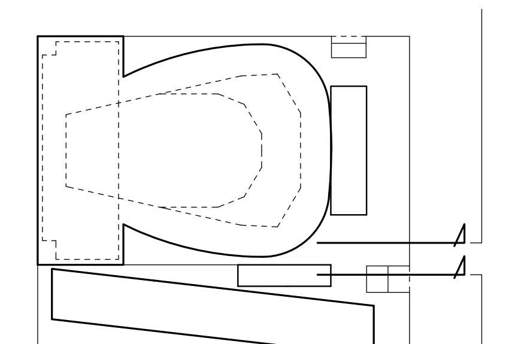
縮尺 1:200

ファイル名称 A21Cp−2F

図面番号 A−21

注：● 外A**、外B**、外C**の記号は「外部廻り詳細図」内の記号を示す
● 上記以外の記号は「仕上仕様図1,2」内の記号を示す

工事名称		年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）	株式会社 槇総合計画事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	矩計・断面詳細図1（リハーサル・楽屋）	1:100	A22-26Ds-Sec-org	A-22



注：●外A**、外B**、外C**の記号は「外部廻り詳細図」内の記号を示す
●上記以外の記号は「仕上仕様図1,2」内の記号を示す

工事名称	株式会社 槇総合計画事務所	年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建設主体工事）	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	矩計・断面詳細図2（ホール通路・搬入口）	1:100	A22-26Ds-Sec-org	A-23

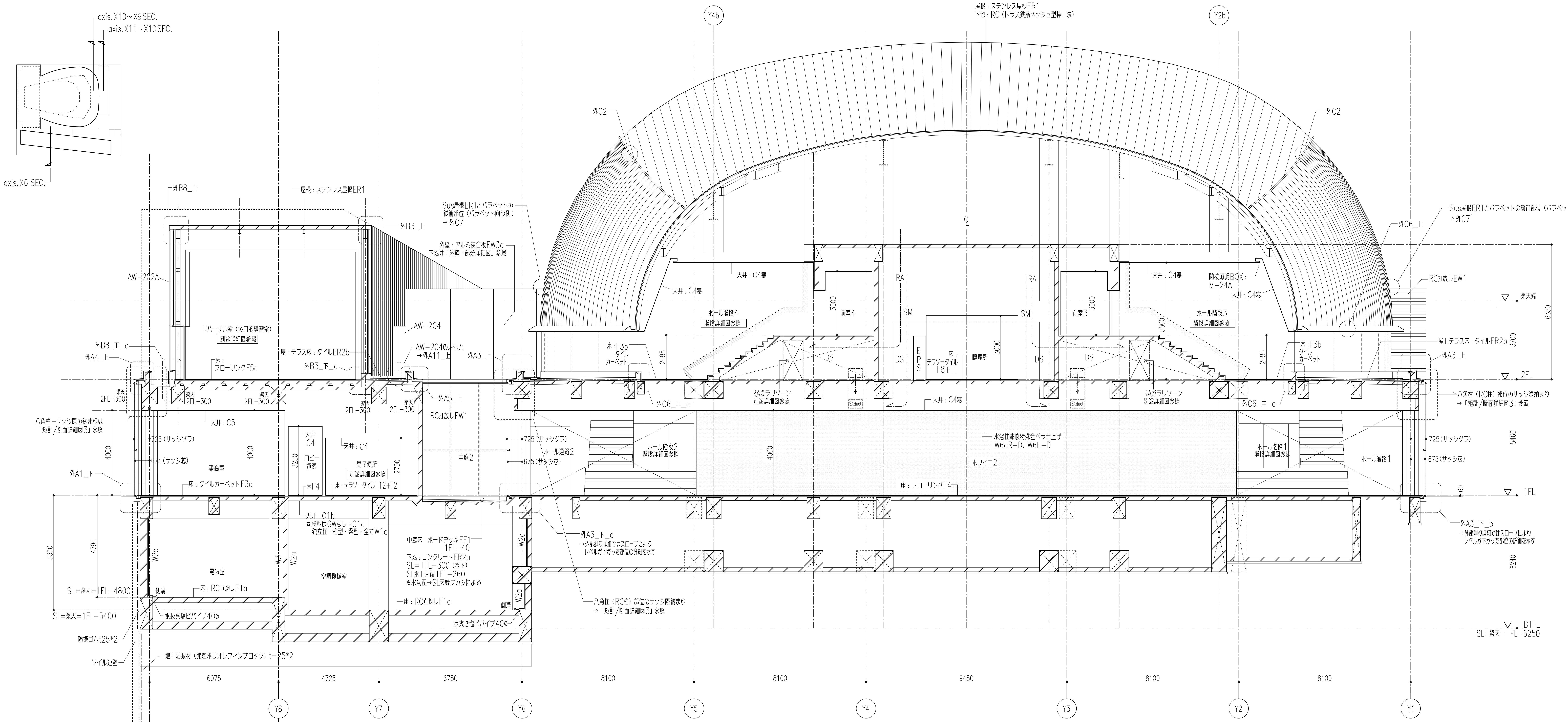
注：● 外A**、外B**、外C**の記号は「外部廻り詳細図」内の記号を示す
● 上記以外の記号は「仕上仕様図1,2」内の記号を示す

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	矩計・断面詳細図3（ホール・ホワイエ）	1:100	A22-26Ds-Sec-org	A-24

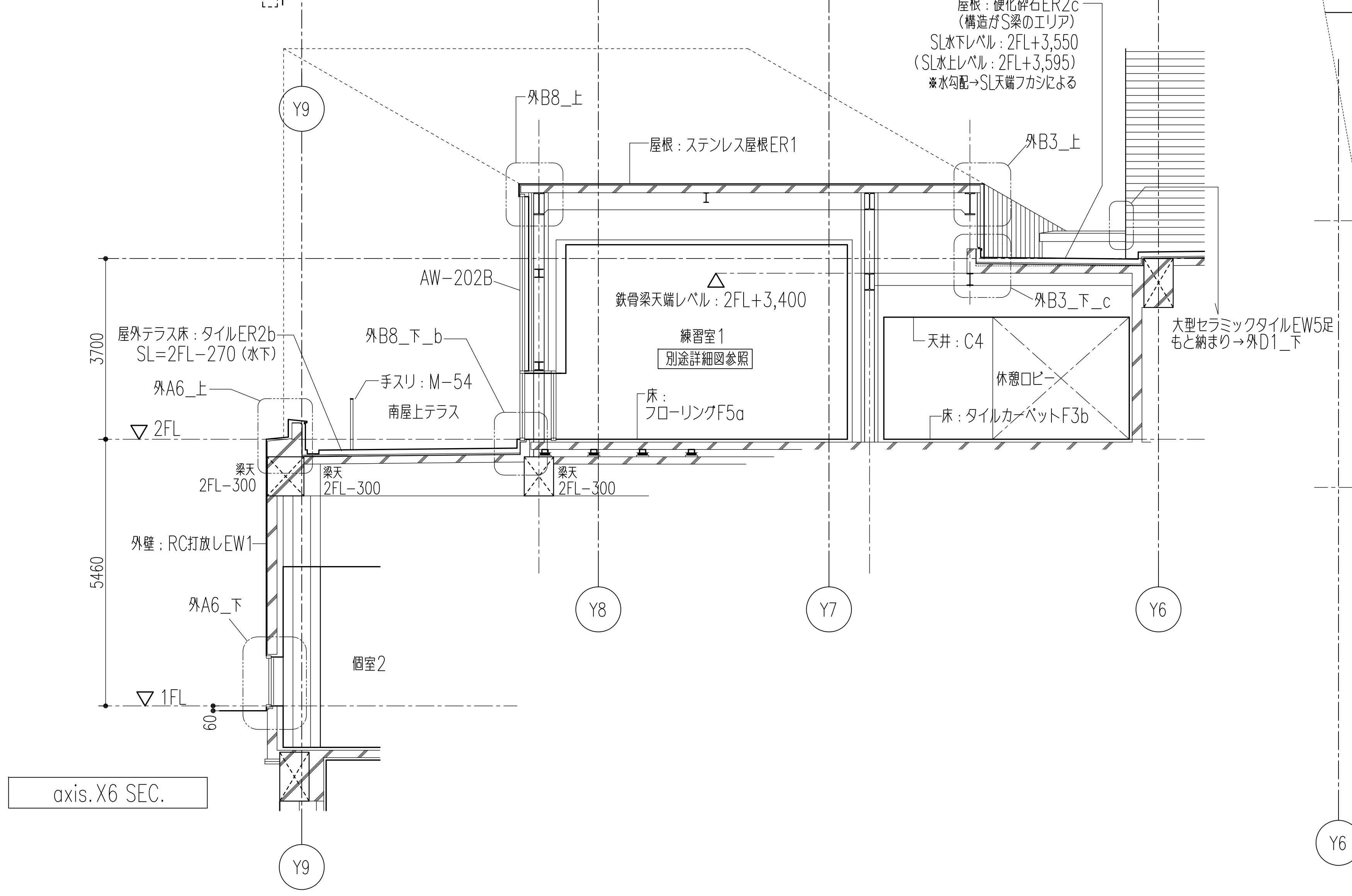
地中防振材（発泡ポリオレフィンブロック）t=25*2

注：● 外A**、外B**、外C**の記号は「外部廻り詳細図」内の記号を示す
● 上記以外の記号は「仕上仕様図1.2」内の記号を示す

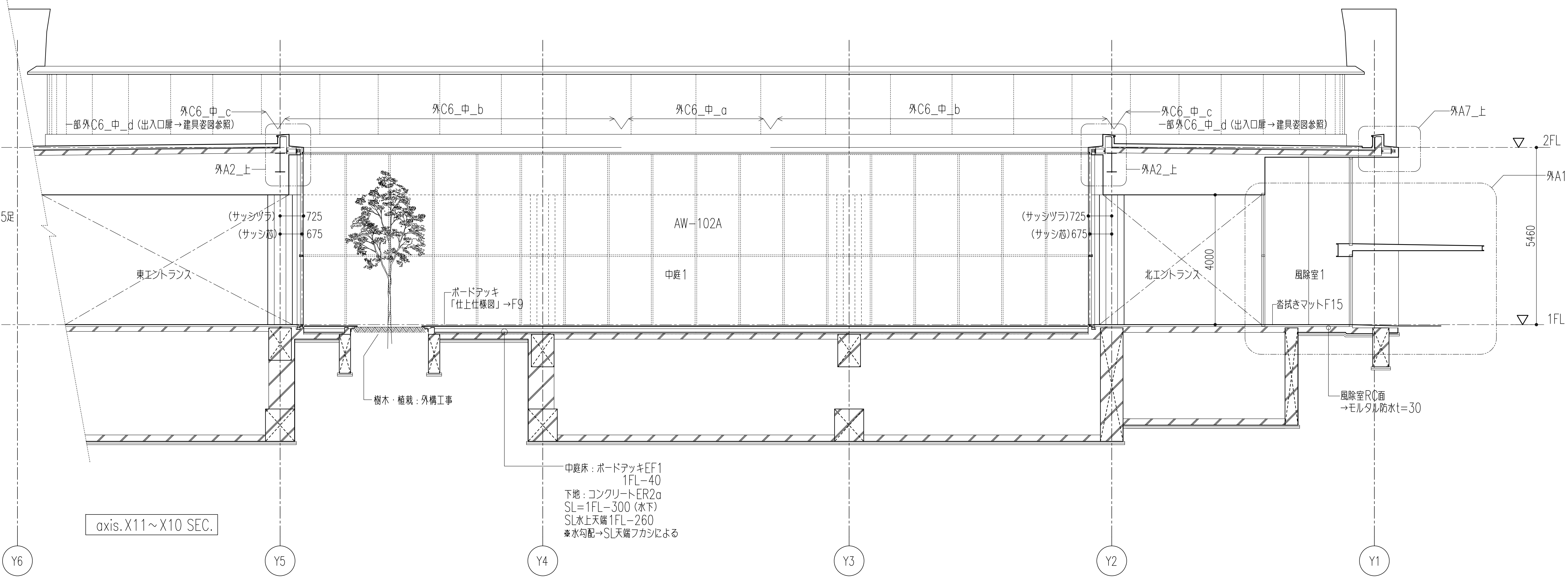
工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	矩計・断面詳細図4（ホール・ロビー階段）	1:100	A22−26Ds−Sec−org	A−25



axis.X10~X9 SEC.



axis.X6 SEC.

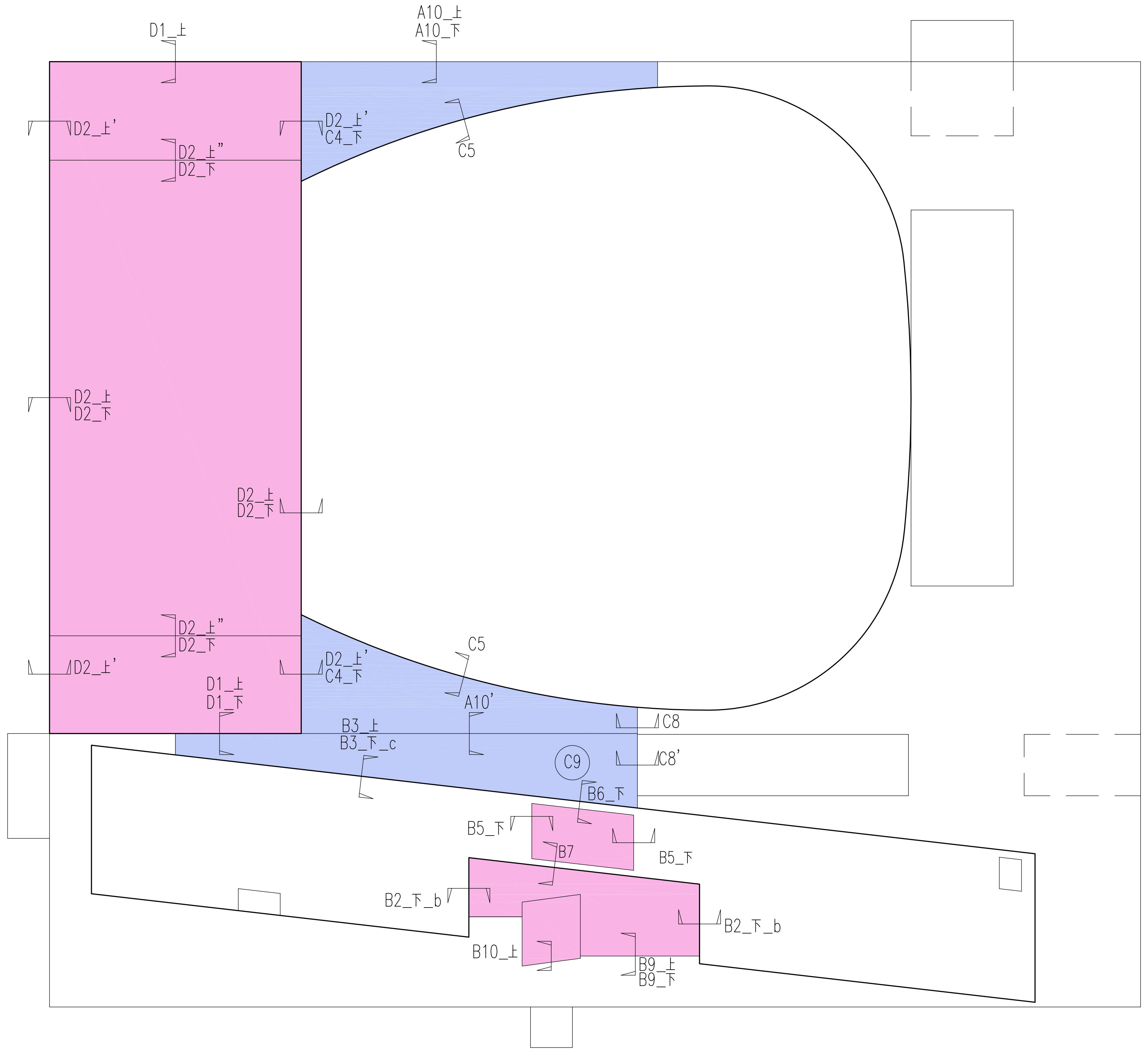


axis.X11~X10 SEC.

注：●外A**、外B**、外C**の記号は「外部廻り詳細図」内の記号を示す
●上記以外の記号は「仕上仕様図1,2」内の記号を示す

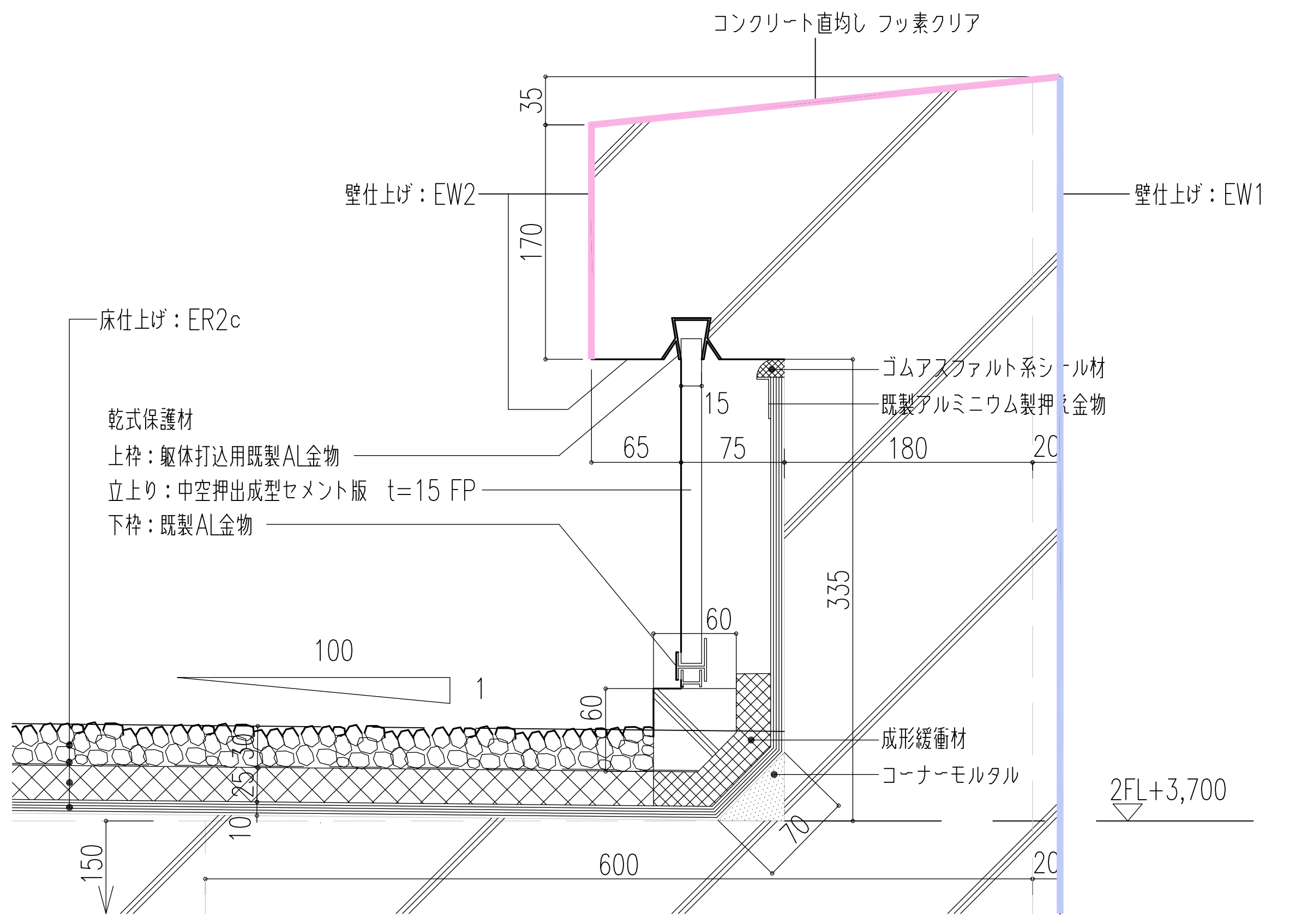
工事名称				年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	短計・断面詳細図5（ラウンジ・リハーサル）	1:100	A22-26Ds-Sec-org	A-26

Key Plan

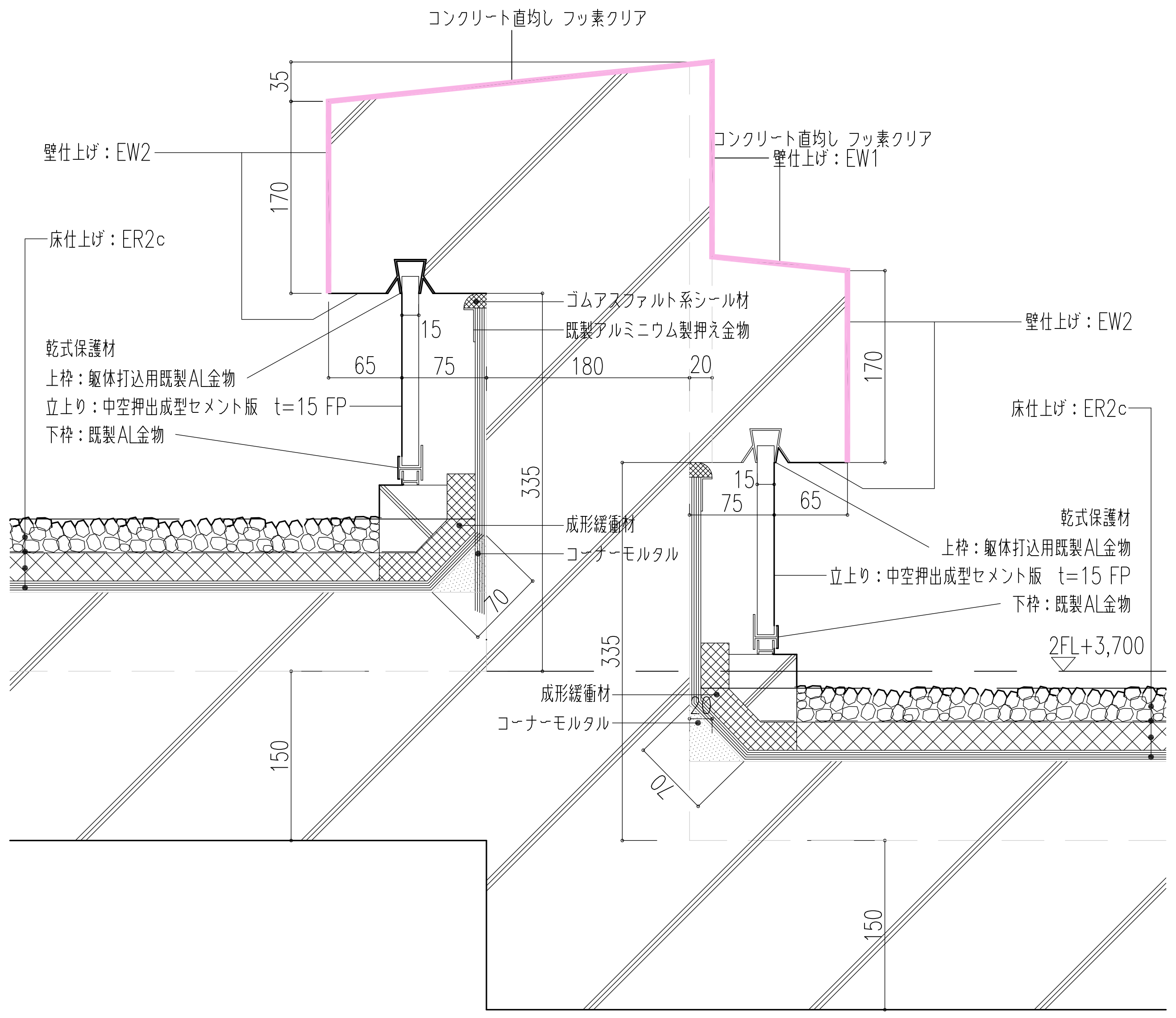


■外装詳細図に於いて、図画縮尺の特記無きものは、全てS1:5

A10_上


コンクリート直均し フッ素クリア
35
壁仕上げ：EW2
170
壁仕上げ：EW1
床仕上げ：ER2c
ゴムアスファルト系シール材
既製アルミニウム製押え金物
15
乾式保護材
上枠：躯体打込用既製AL金物
立上り：中空押出成型セメント版 t=15 FP
下枠：既製AL金物
65
75
180
20
335
60
100
1
60
25
30
10
成形緩衝材
コーナーモルタル
2FL+3,700
70
150
600
20

A10'


コンクリート直均し フッ素クリア
35
壁仕上げ：EW2
170
コンクリート直均し フッ素クリア
壁仕上げ：EW1
床仕上げ：ER2c
ゴムアスファルト系シール材
既製アルミニウム製押え金物
15
乾式保護材
上枠：躯体打込用既製AL金物
立上り：中空押出成型セメント版 t=15 FP
下枠：既製AL金物
65
75
180
20
335
成形緩衝材
コーナーモルタル
70
壁仕上げ：EW2
170
床仕上げ：ER2c
15
75
65
乾式保護材
上枠：躯体打込用既製AL金物
立上り：中空押出成型セメント版 t=15 FP
下枠：既製AL金物
2FL+3,700
335
成形緩衝材
コーナーモルタル
20
70
150
150

工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）

株式会社　槇総合計画事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦

年月日
2005年 5月

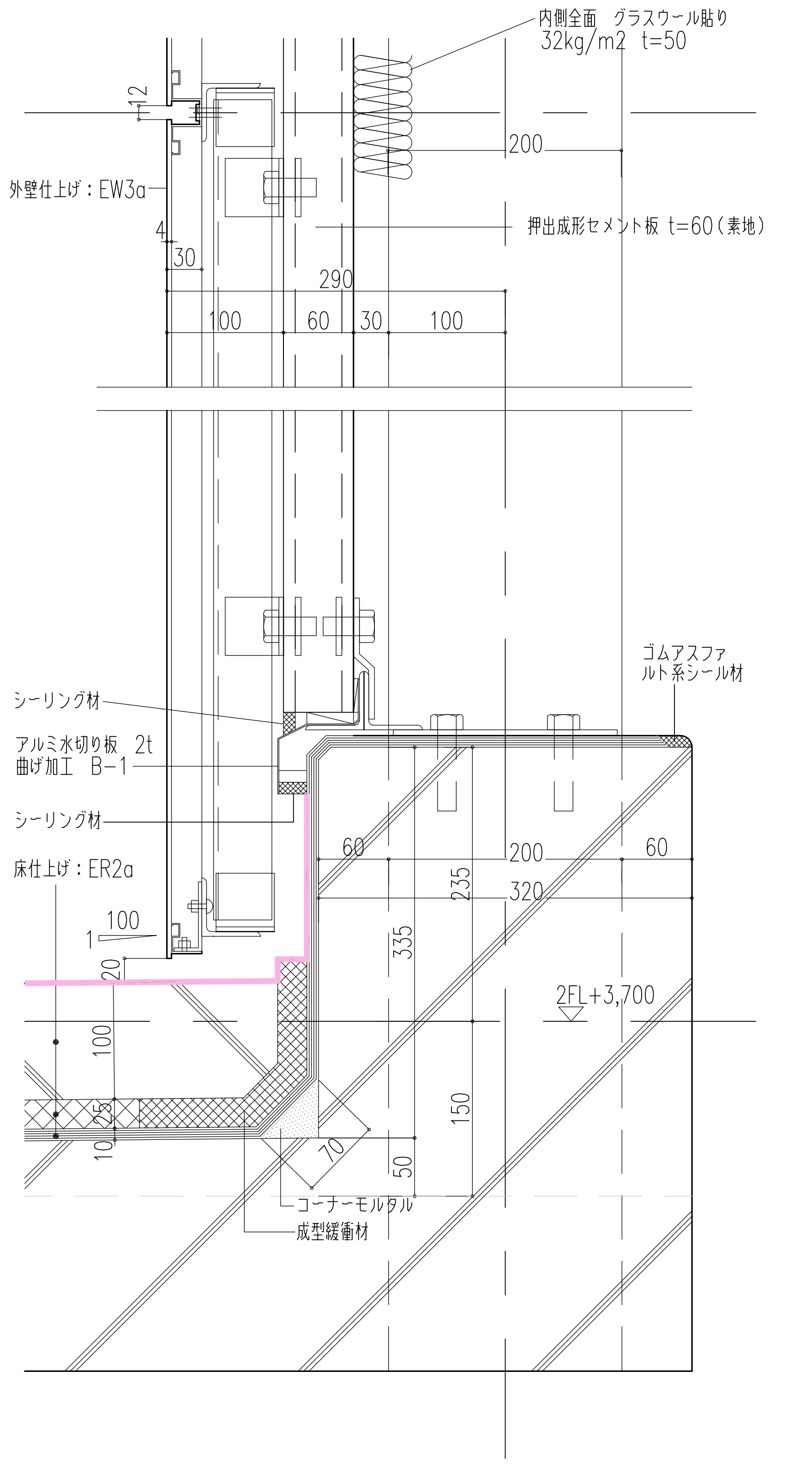
図面名称
外部廻り詳細図1n

縮尺
1:5

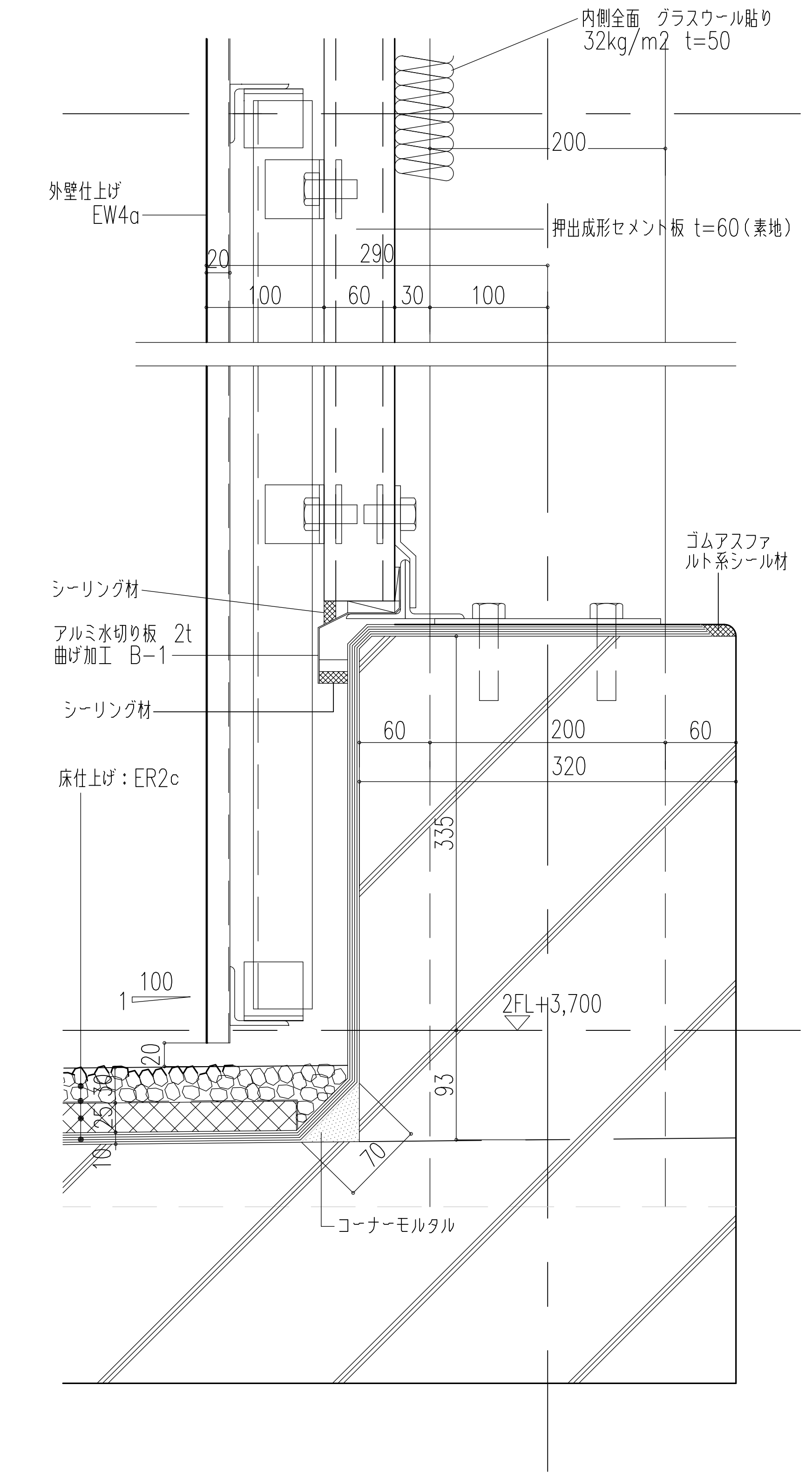
ファイル名称
A27n-30n Ext

図面番号
A-27n

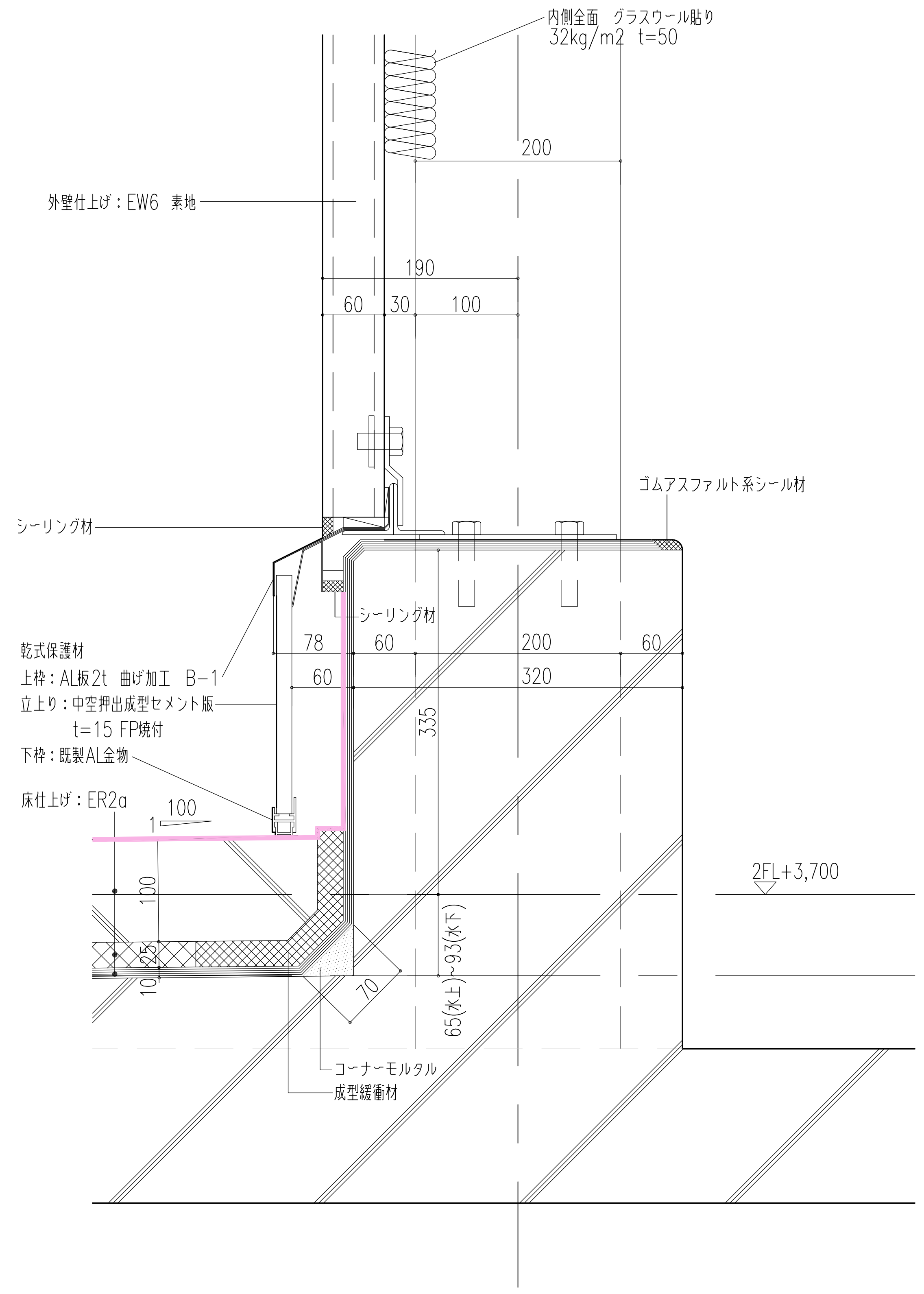
B2_下_b



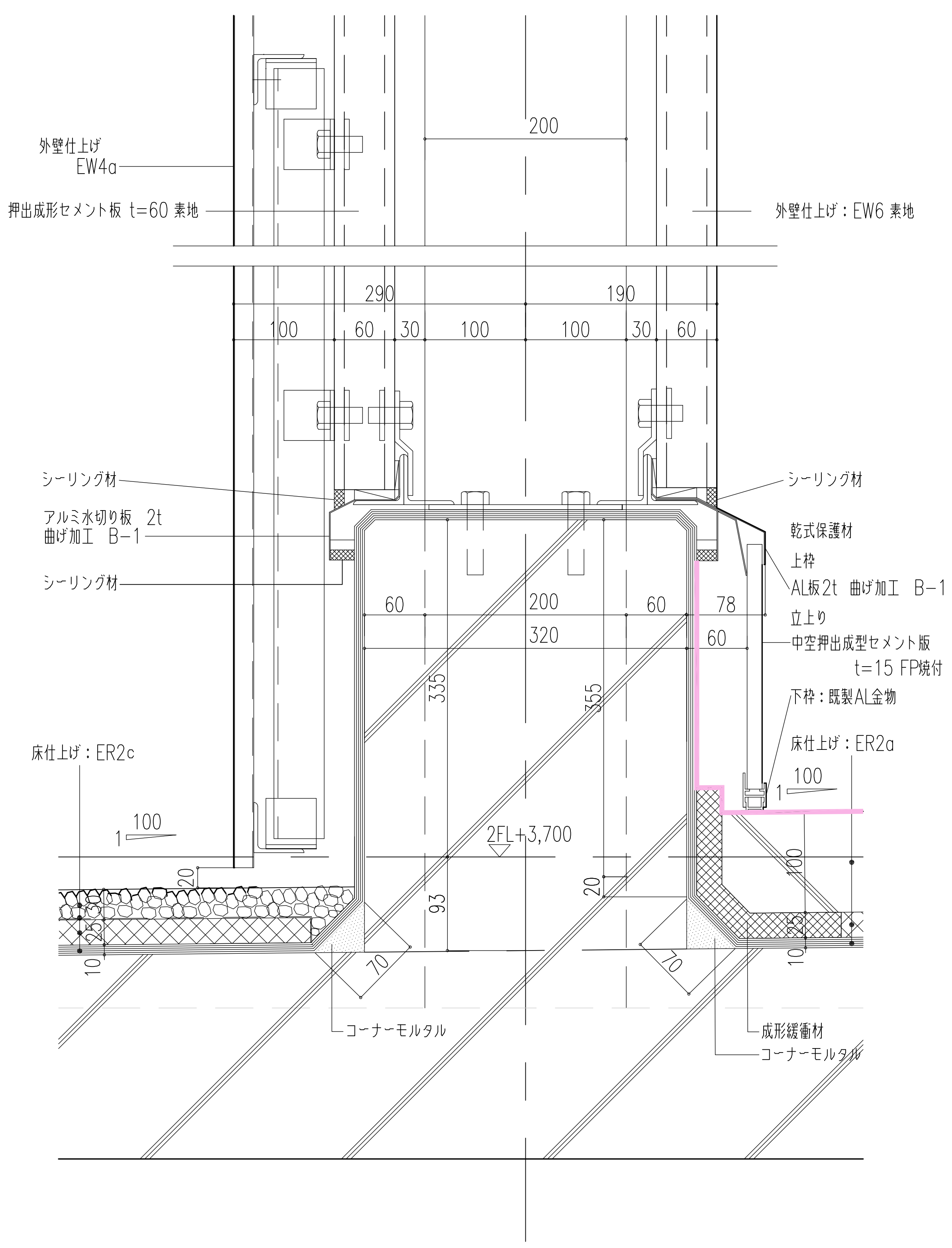
B3_下_c



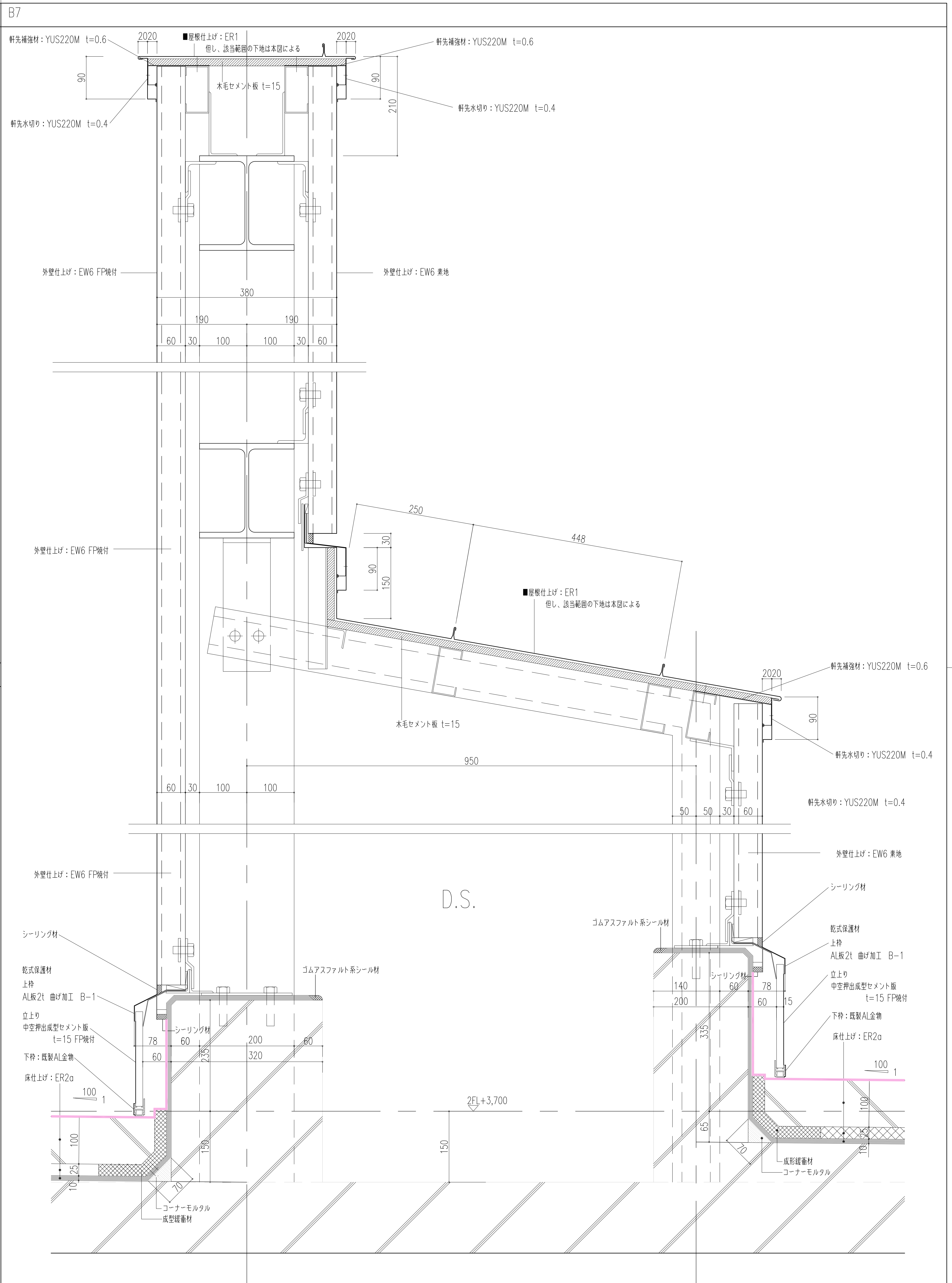
B5_下



B6_下

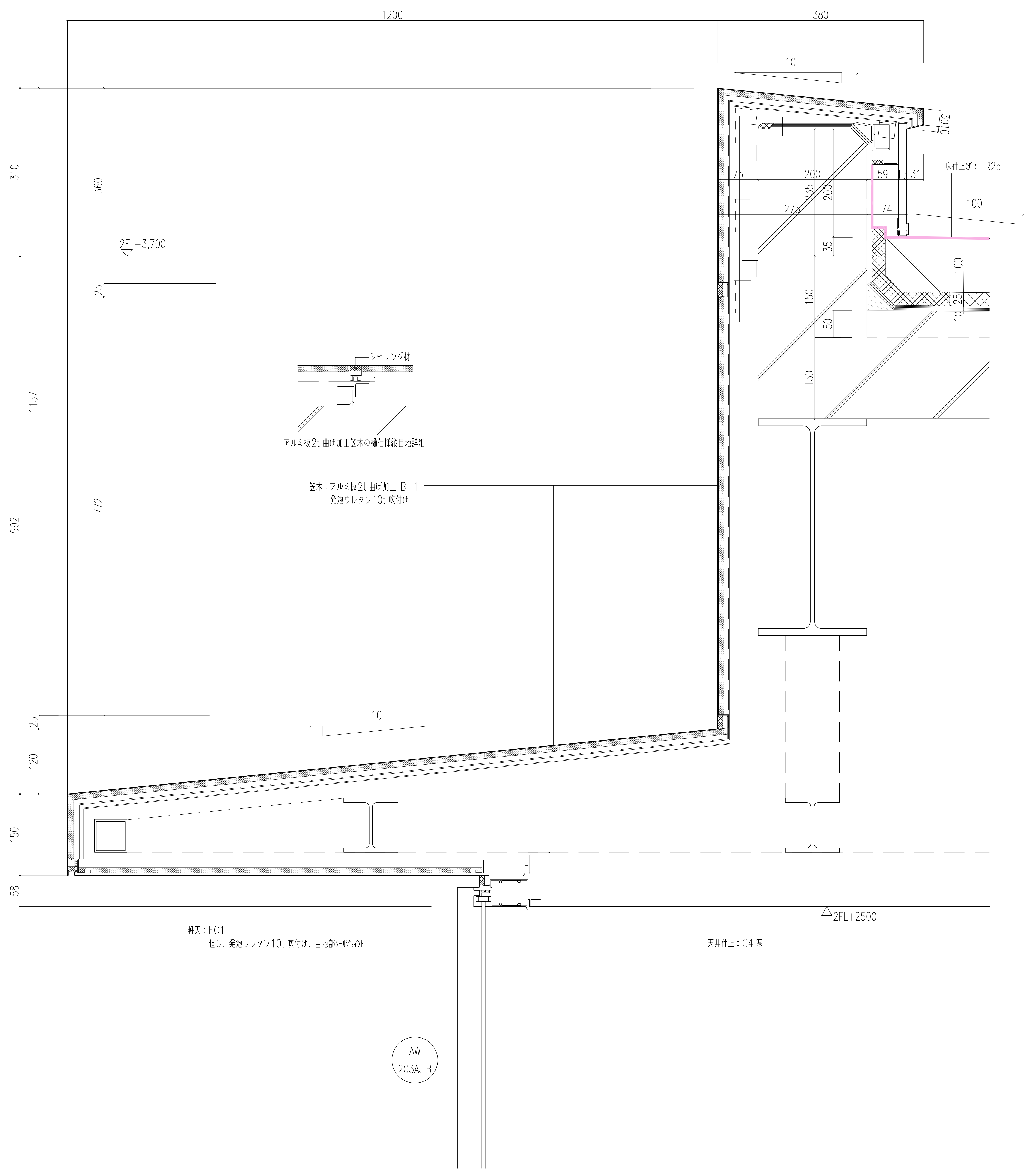


B7

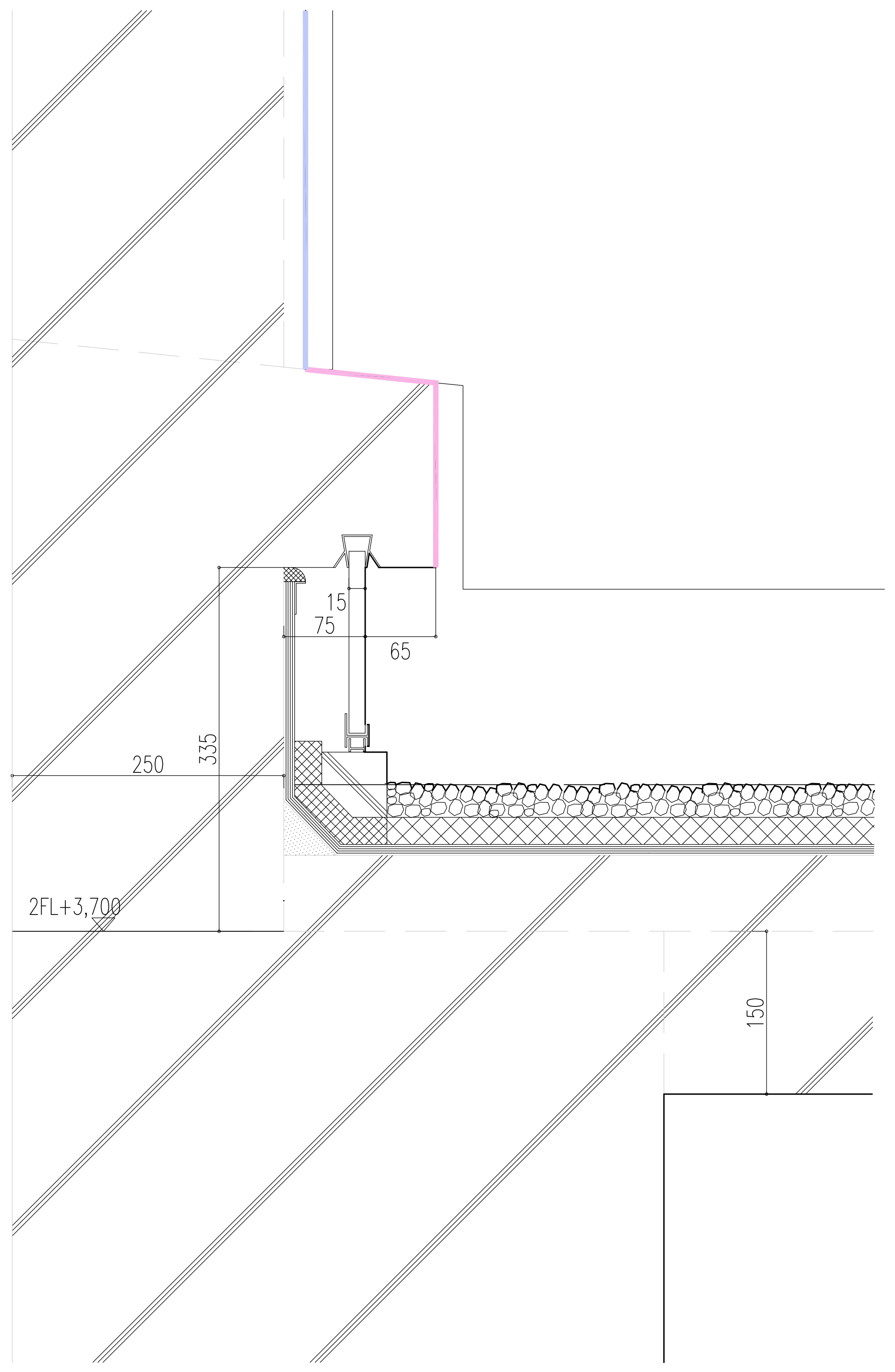


工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	外部廻り詳細図2n	1:5	A27n-30n Ext	A-28n

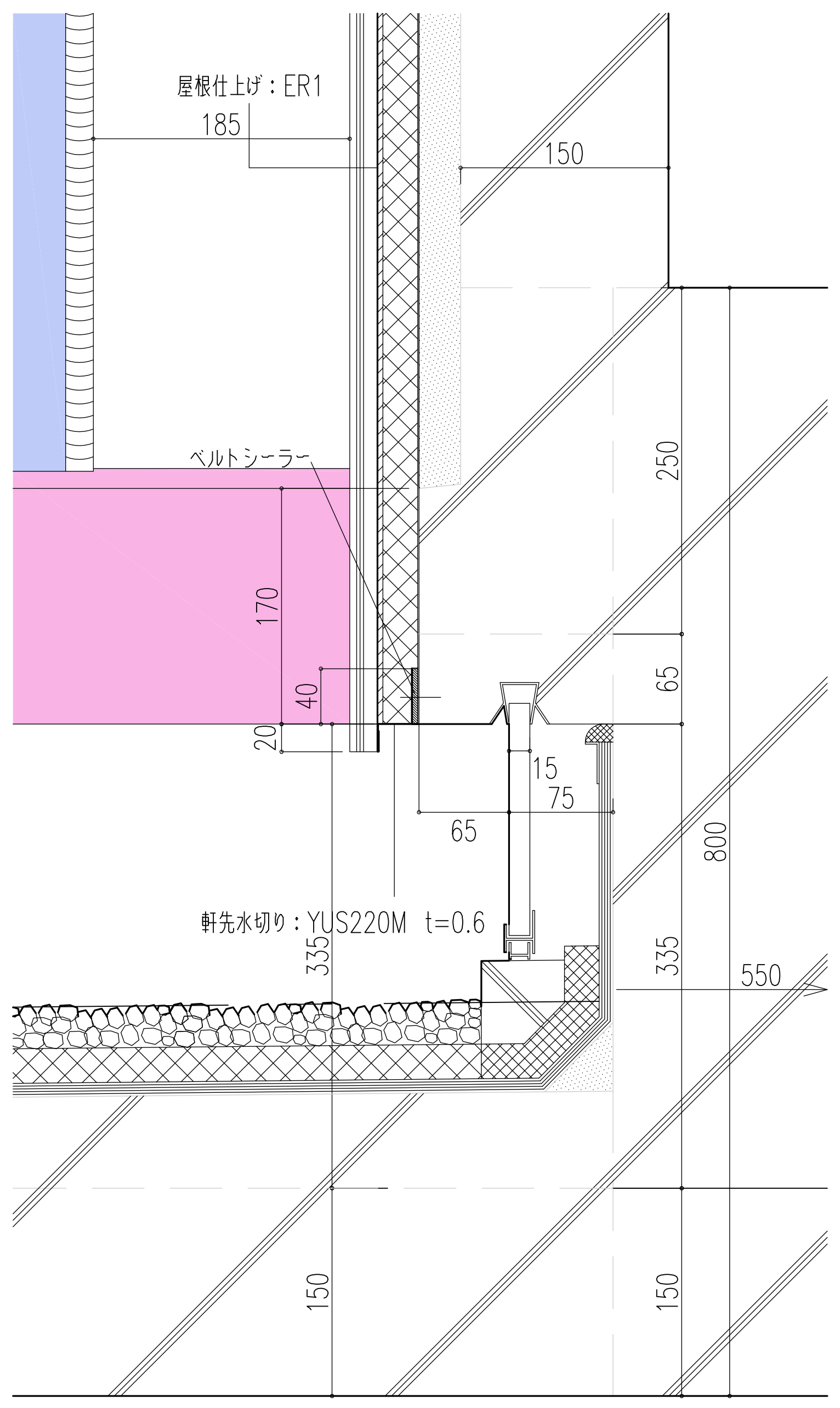
B9_上



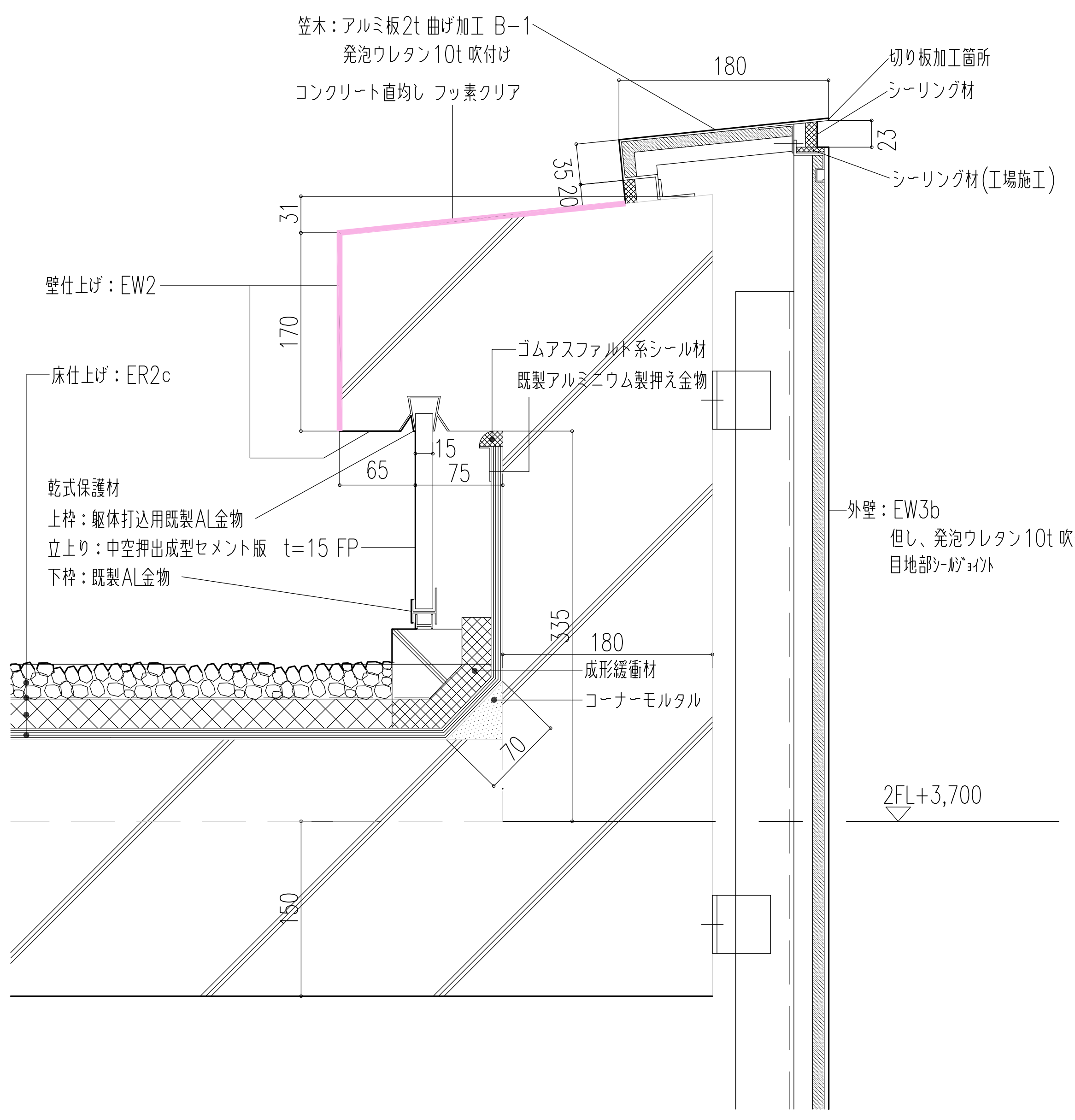
C4



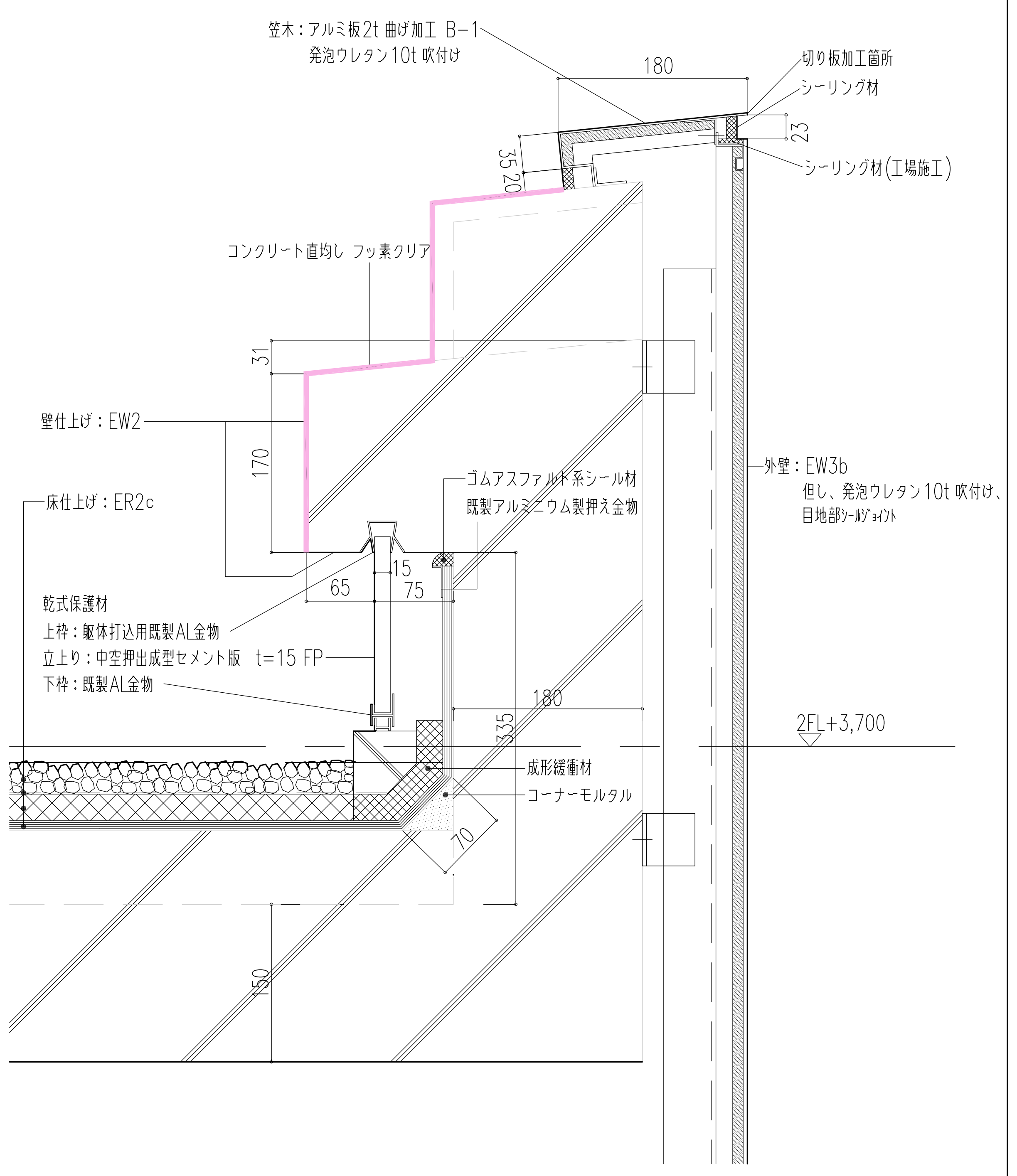
C5



C8

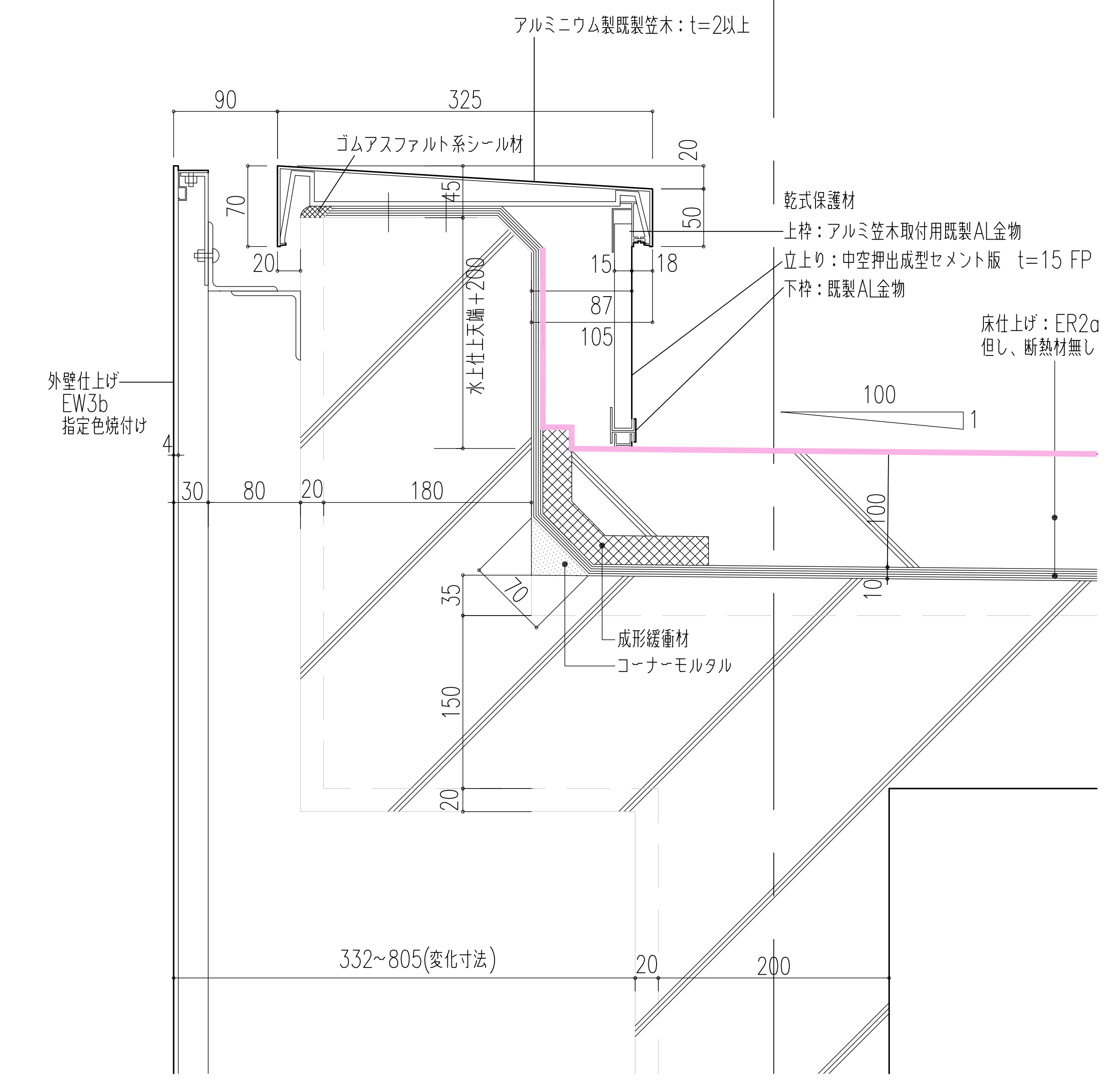


C8'

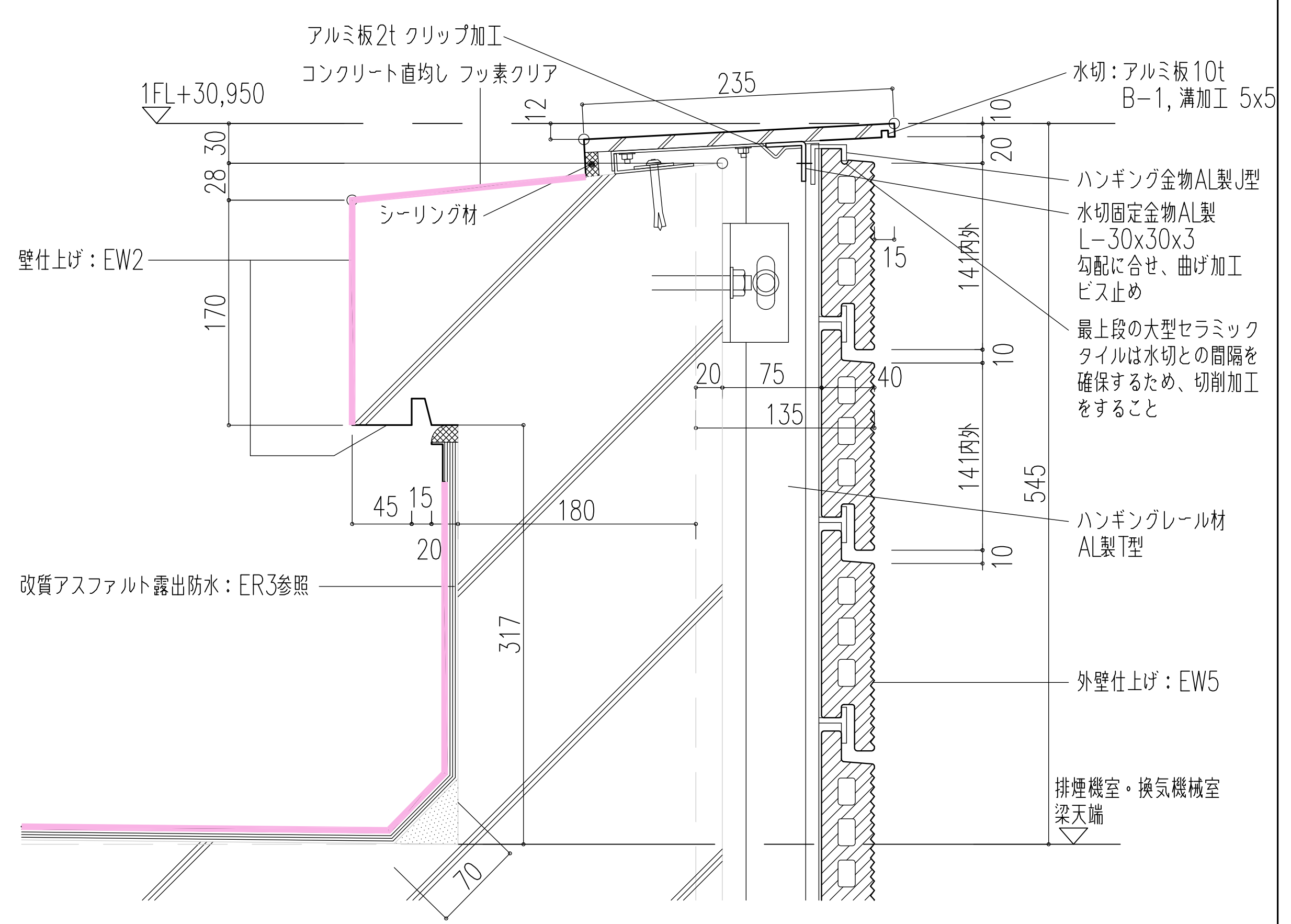


工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	外部廻り詳細図3n	1:5	A27n-30n Ext	A-29n

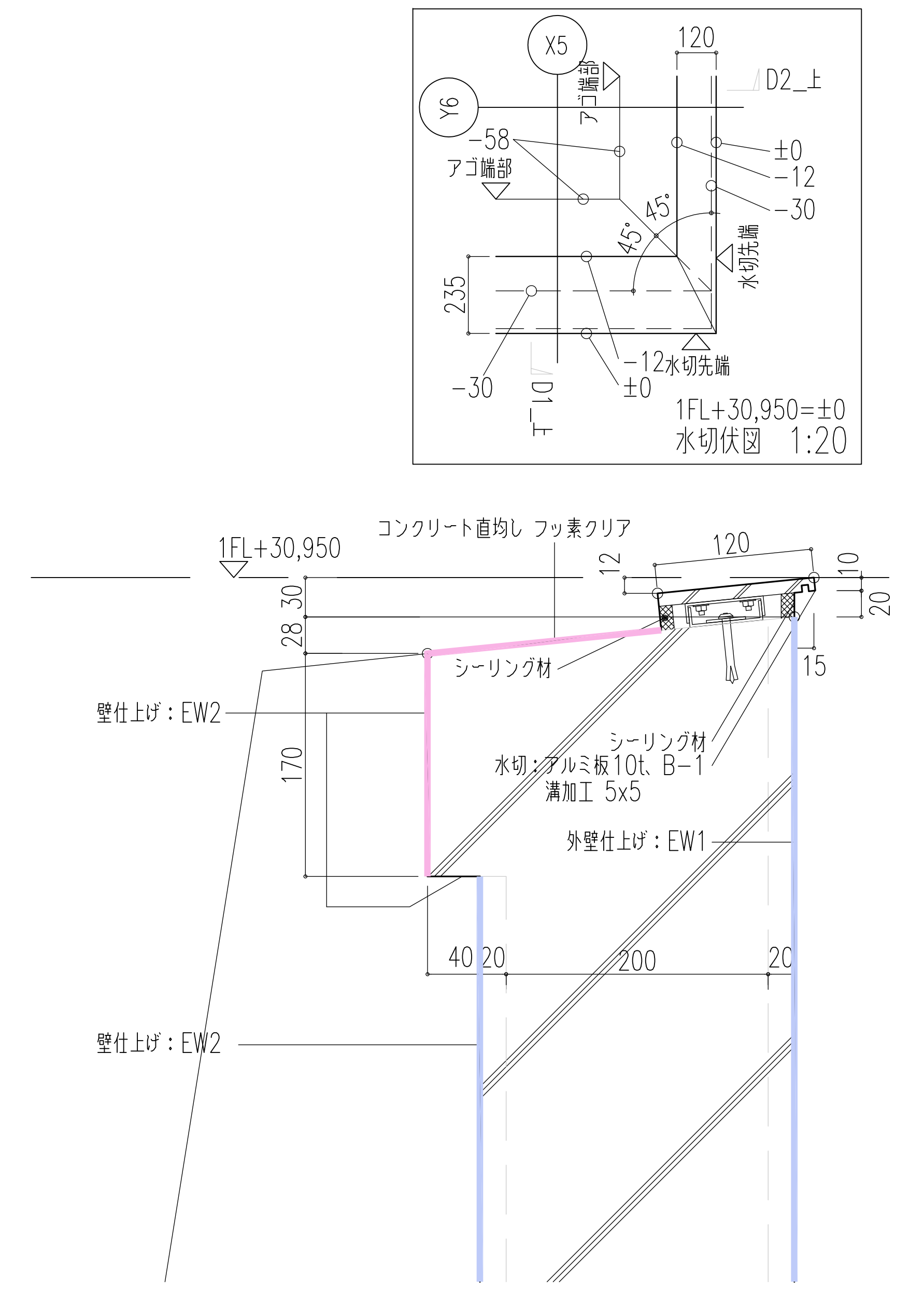
B10_上



D1_上



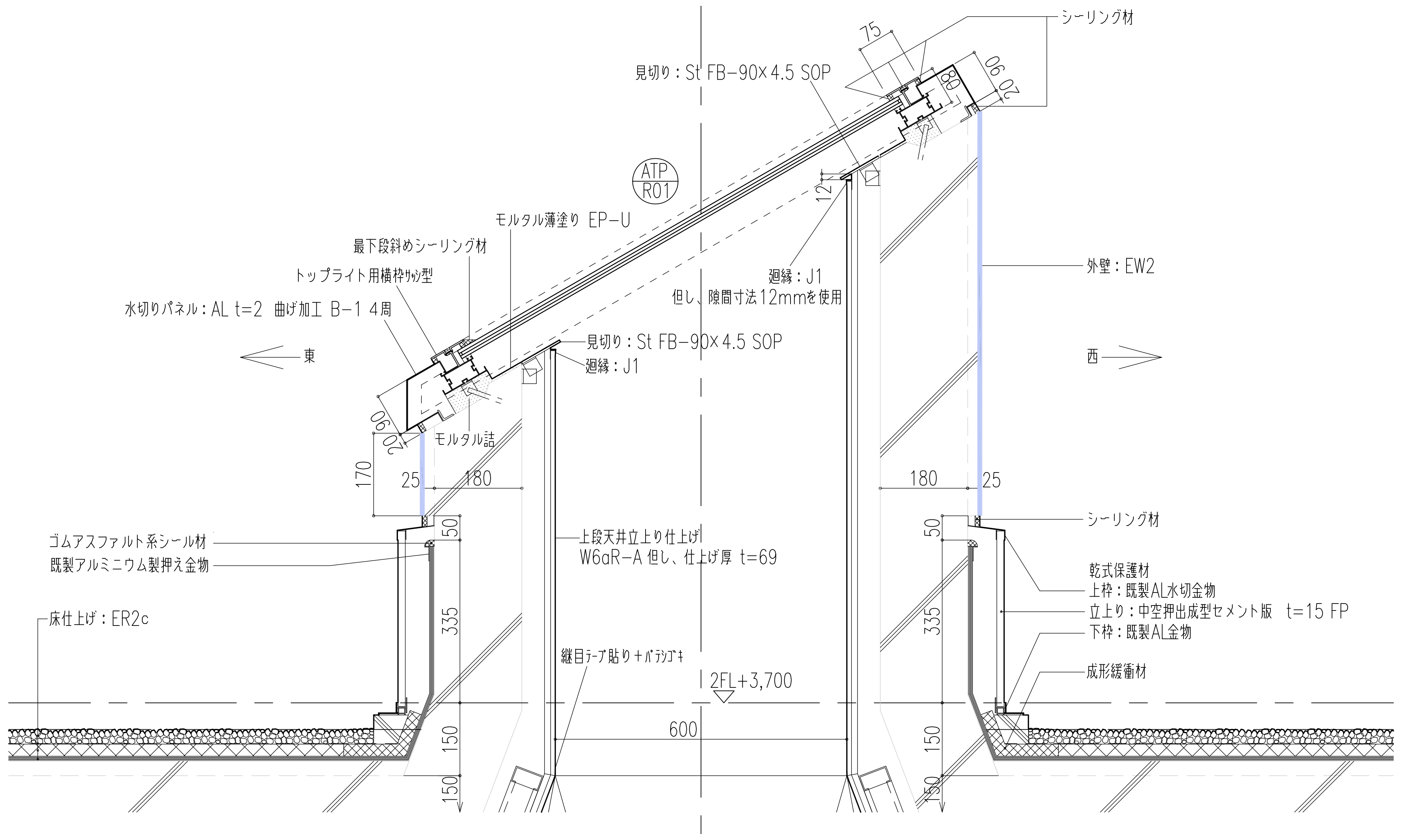
D2_上



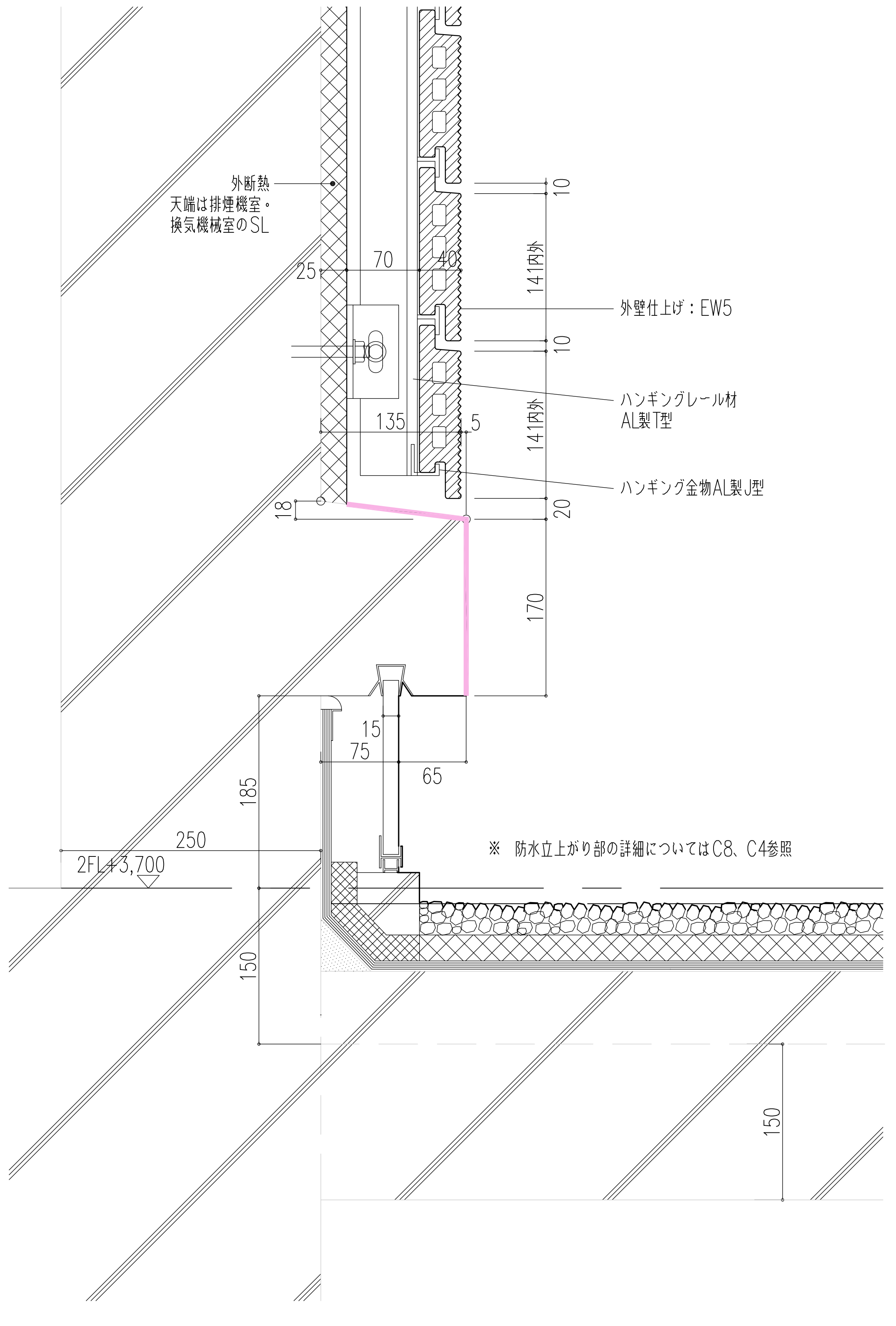
C9　ロビー階段トップライト天井詳細　　S1:10

■ATP R01のサッシ部材について■

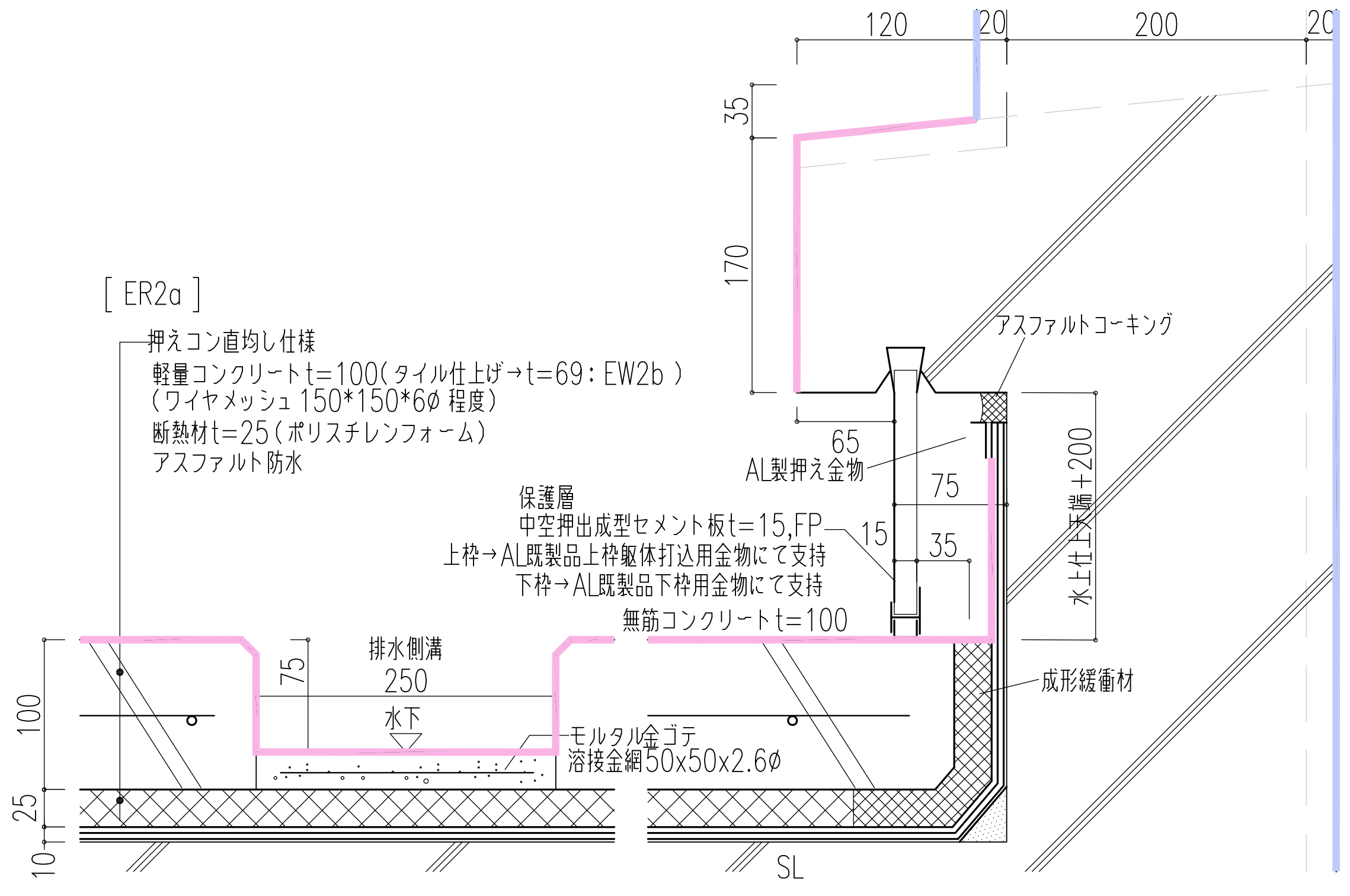
■既存型ｻｯｼ部材を使用する
■ｻｯｼ構成部材は、トップライト縦枠用ｻｯｼ、同横枠用ｻｯｼ、周囲の水切りパネル
■本図を参考とし、同等以上の既存ｻｯｼ部材型を使用する



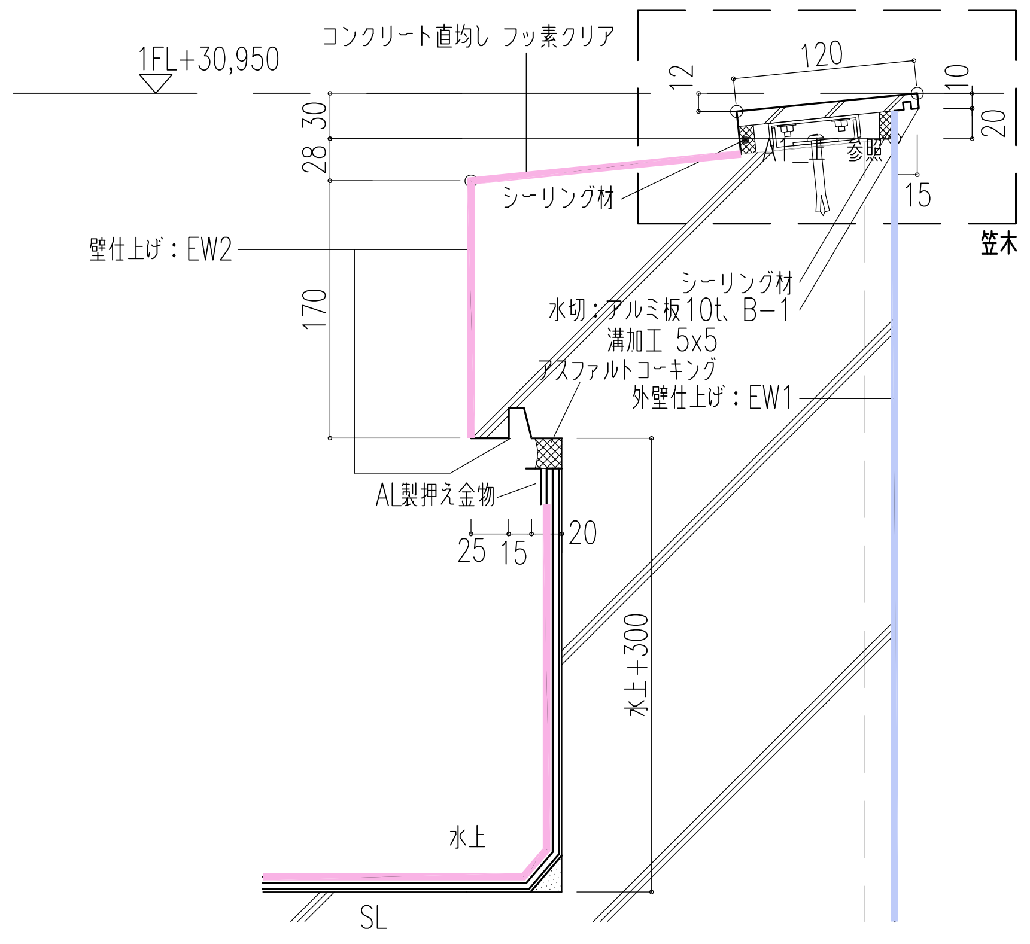
D1_下



D2_下



D2_上’（D2_上”：笠木ナシ）※塔屋階排煙機室、換気機械室の直上屋根のみ



工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）

株式会社　槇総合計画事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦

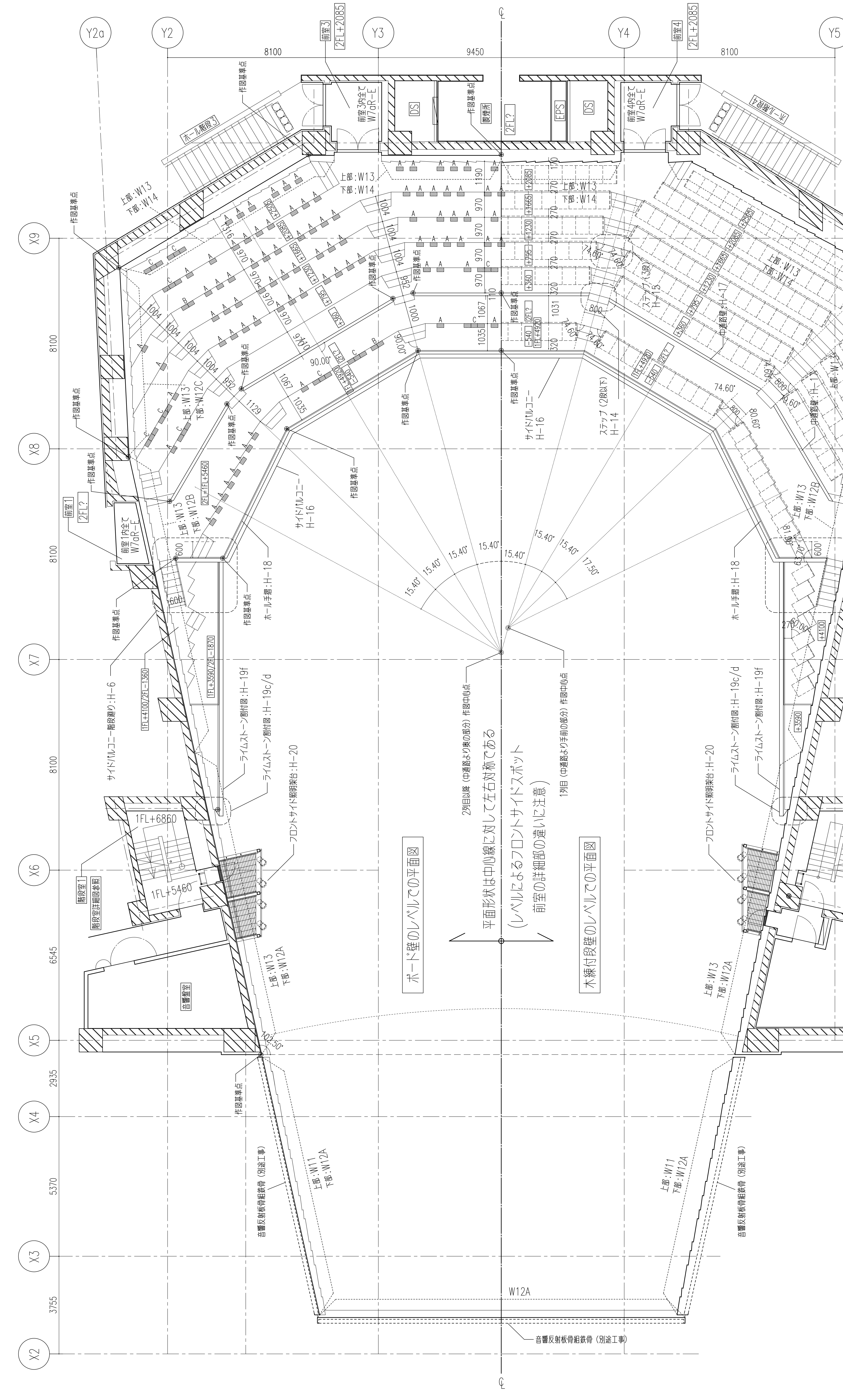
年月日
2005年 5月

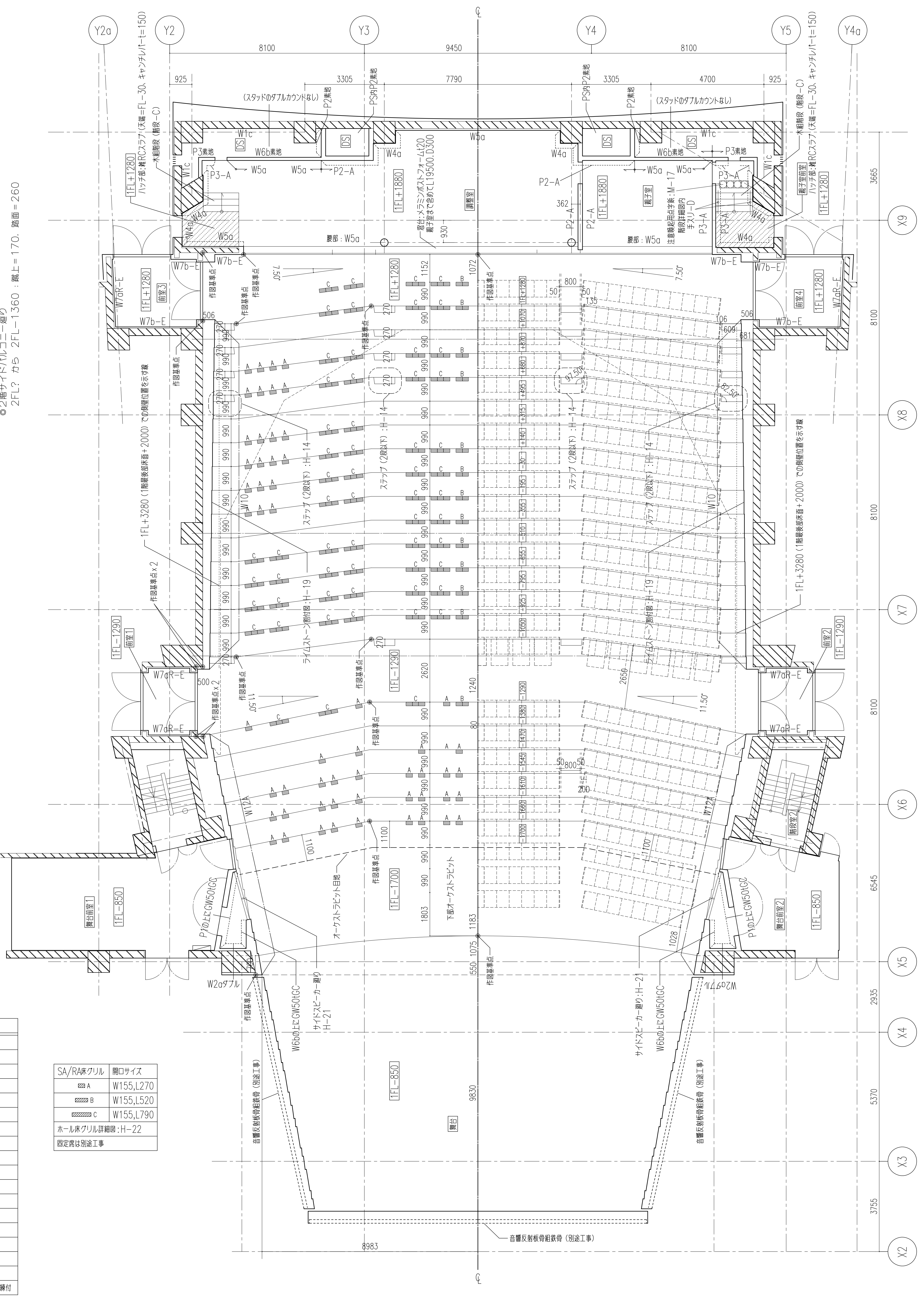
図面名称
外部廻り詳細図4n

縮尺
1:5,1:10

ファイル名称
A27n−30n Ext

図面番号
A−30n


Y2a
Y2
Y3
Y4
Y5
Y4a
X9
X8
X7
X6
X5
X4
X3
X2
8100
9450
8100
平面形状は中心線に対して左右対称である
(レベルによるフロントサイドスポット
前室の詳細部の違いに注意)
ボード壁のレベルでの平面図
木練付段壁のレベルでの平面図
サイドバルコニー
H-16
ステップ（2段以下）
H-14
1FL+6860
1FL+5460
前室1
前室2
前室3
前室4
W12A
音響反射板骨組鉄骨（別途工事）


Y2a
Y2
Y3
Y4
Y5
Y4a
X9
X8
X7
X6
X5
X4
X3
X2
8100
9450
8100
(スタッドのダブルカウントなし)
オーケストラピット
1FL+3280（1階客席床面＋2000）での側壁位置を示す線
ライムストーン割付図：H-19
サイドスピーカー廻り：H-21
1FL-850
舞台
8983
音響反射板骨組鉄骨（別途工事）

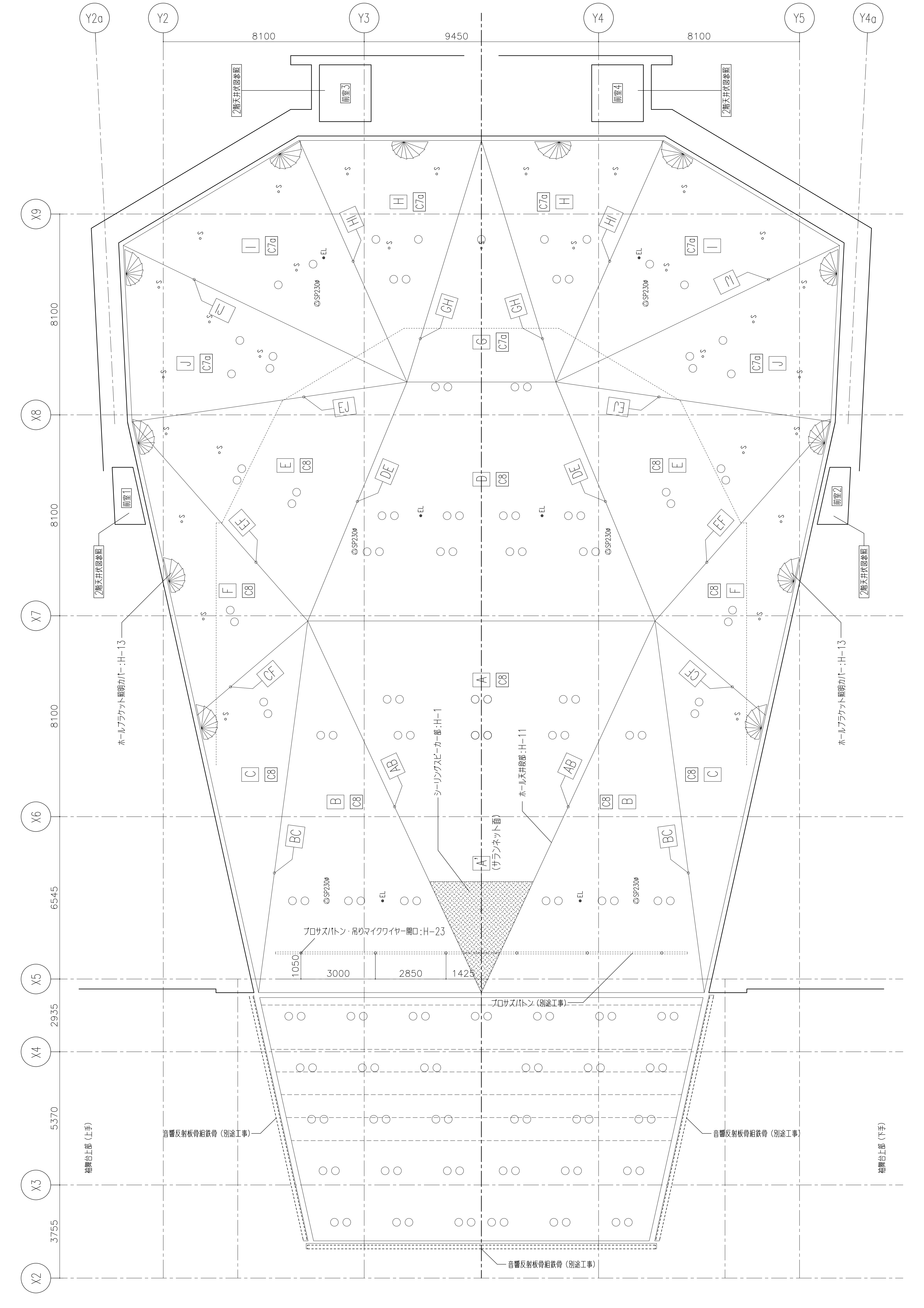
※客席通路：階段状部分
◎１・２階共通事項（下記部分を除く）
基本寸法　：蹴上≦180，踏面＝270
◎２階サイドバルコニー廻り
2FL? から　2FL－1360　：蹴上＝170，踏面＝260

建築工事	
壁記号	仕上げ
P1	FPB15+15
P2	HPB9.5+FPB21+敷目板PB12.5
P3	PB12.5+9.5
P3-A	PB12.5+9.5EP-U
W1c	コンクリート打放しC種素地
W2a	GW32ｋｇｔ50+GC
W4a	モルタルEP-U
W5b	SCB-Pt6VE
W6b	PB12.5+9.5
W7b-E	PB12.5+木練付
W10	ライムストーンt40
W11	FRG8+8+8寒+EP
W12A	FPB15+15の上にFRG10木練付
W12B	PB12.5+12.5の上にFRG10木練付
W12C	PB15の上にFRG10木練付
W13	モルタルt20の上にPB9.5+EP
W14	GW32ｋｇ:t50GCの上にSCB-P:t6木練付

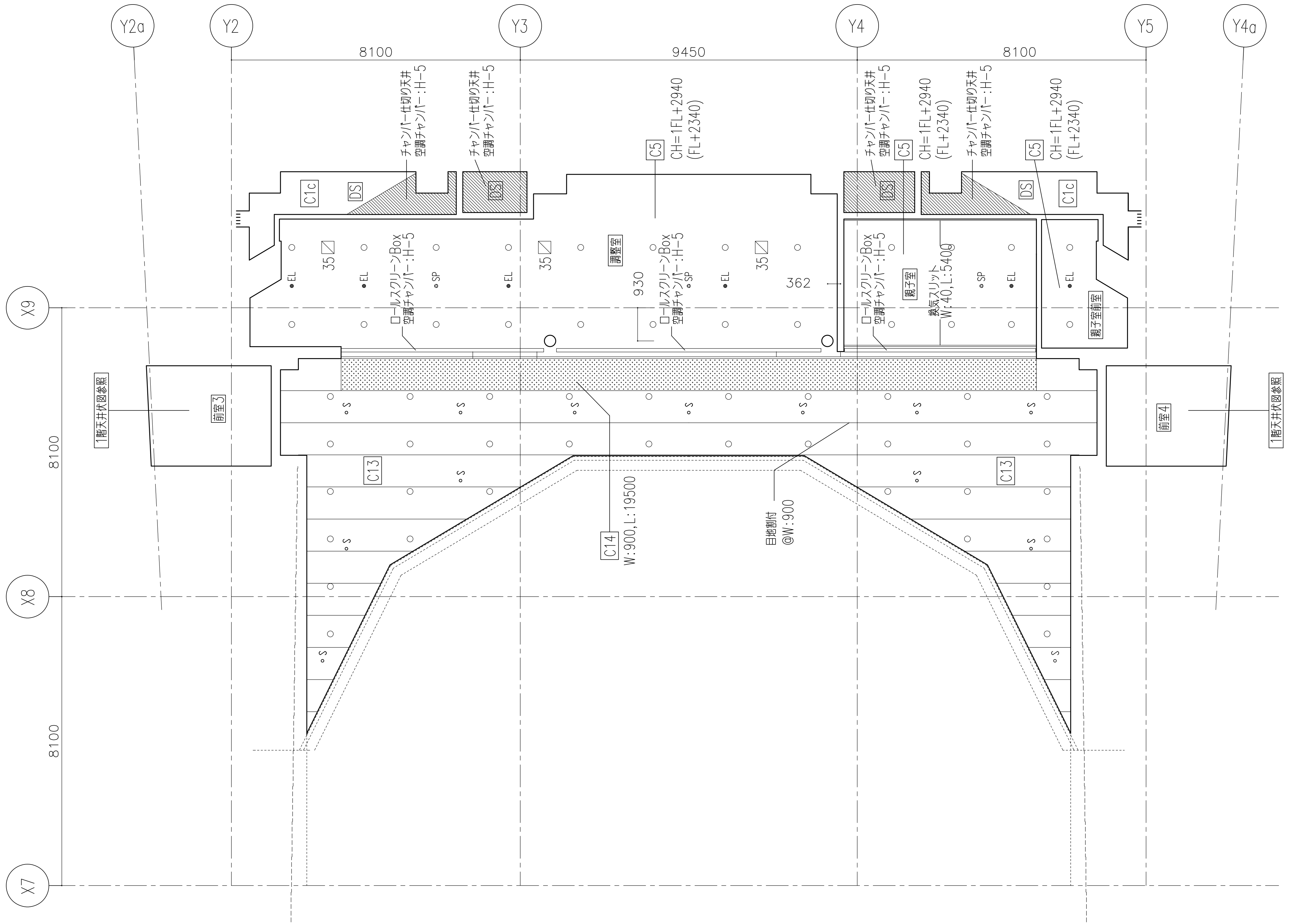
SA/RA床グリル	開口サイズ
▨ A	W155,L270
▨ B	W155,L520
▨ C	W155,L790
ホール床グリル詳細図：H-22	
固定席は別途工事	

工事名称				年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	ホール客席詳細図1　1、2階平面図	1/100	A41Det-HL01改1	A-41

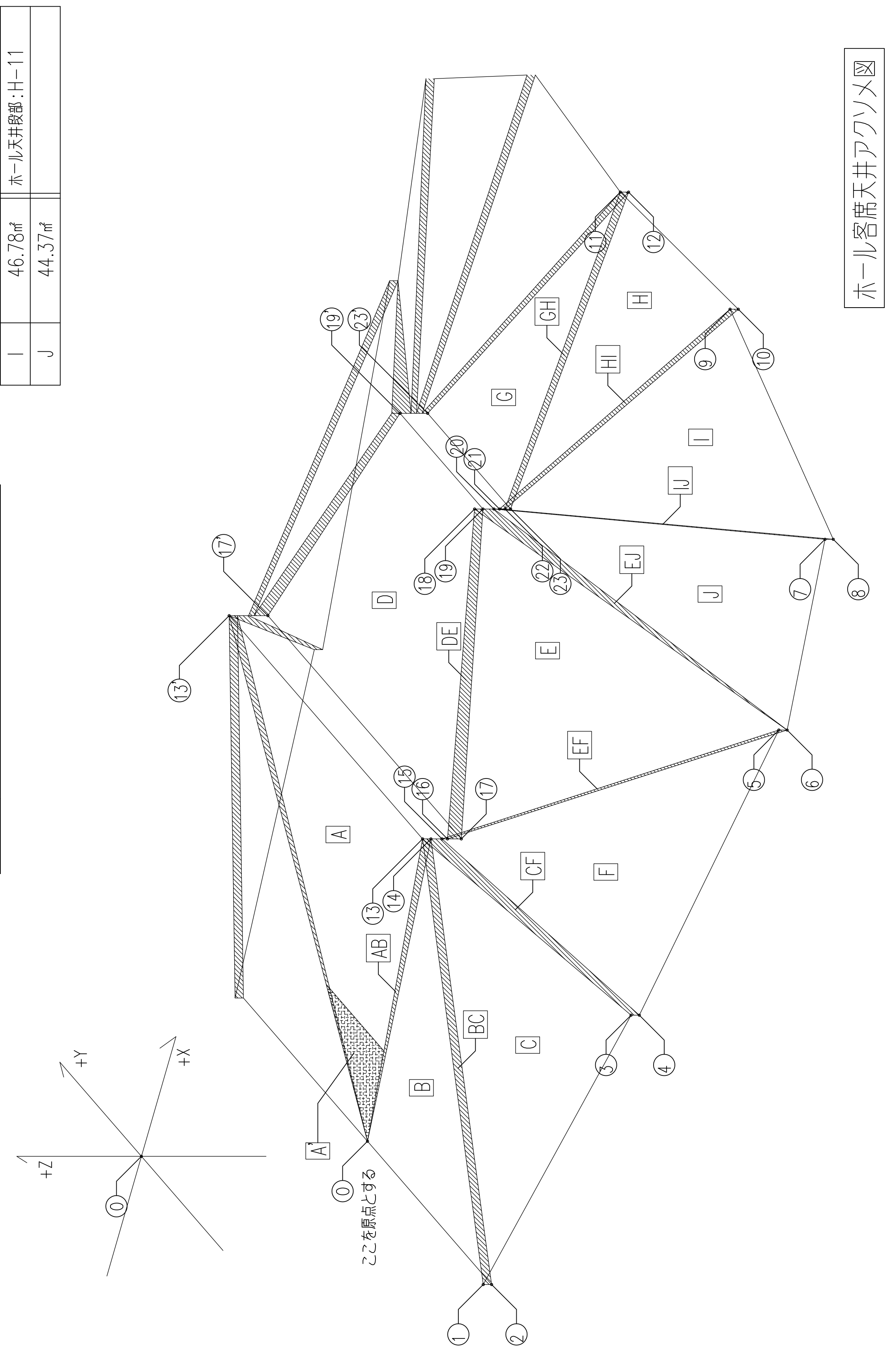
ホール2階天井伏図



ホール1階天井伏図



ホール客席天井アクソメ図



天井面積表

主天井面	面積	段部名面	面積
A	102.53㎡	AB	2.48㎡
A'	10.03㎡	BC	4.53㎡
B	71.75㎡	CF	2.93㎡
C	48.19㎡	DE	4.17㎡
D	96.35㎡	EF	2.69㎡
E	60.12㎡	EJ	3.92㎡
F	48.44㎡	GH	2.55㎡
G	30.54㎡	HI	2.67㎡
H	37.66㎡	IJ	3.17㎡
I	46.78㎡	ホール天井段部:H-11	
J	44.37㎡		

建築工事

記号	仕上げ
C1c	RC打放しC種
C4	PB12.5+9.5 EP
C5	PB9.5捨貼り+岩綿吸音版板t12+EP
C7a	PB15+15寒EP
C8	FPB21+PB12.5+9.5寒EP
C12	FRG10+FPB15+15寒EP
C13	PB15+FRG10+木練付
C14	PB12.5+GWボードt25GC +SCB-P（8φ@15）t6+木練付

天井設備器具（すべて別途工事）

記号	名称	開口サイズ
○	ダウンライト	
●EL	非常用照明	
⊘SP	スピーカー	特記なき限り100φ
∘S	スプリンクラー	
⊠	吹出口	350x350mm

天井面の頂点座標一覧（天井形状は左右対称形）

天井面	頂点1	頂点2	頂点3
A'+A	0(0,0,11400)	13(14986,-7000,17230)	13'（Y座標の符号が+）
B	0(0,0,11400)	2(0,-8983,11400)	14(14986,-7000,16930)
C	1(0,-8983,11700)	3(11182,-11462,10820)	13(14986,-7000,17230)
D	17(14986,-7000,15830)	19(24620,-3000,15830)	17'/19'（Y座標の符号が+）
E	6(23020,-14085,9900)	16(14986,-7000,16330)	18(24621,-3000,16130)
F	4(11182,-11462,10520)	5(23020,-14085,10200)	15(14986,-7000,15430)
G	23(24621,-3000,14830)	12(34360,0,11870)	23'（Y座標の符号が+）
H	10(34360,-7345,11570)	11(34360,0,12170)	22(24621,-3000,15030)
I	8(30131,-14439,10460)	9(34360,-7345,11870)	21(24621,-3000,15230)
J	6(23020,-14085,9900)	7(30131,-14439,10760)	20(24621,-3000,15430)

天井面関係の記号

記号	名称	数量
A	各天井面を表す	11種類18面
AB	段差天井面を表す	9種類18面
①	天井面の各頂点を表す	23点x2

各面には面積を付してある。

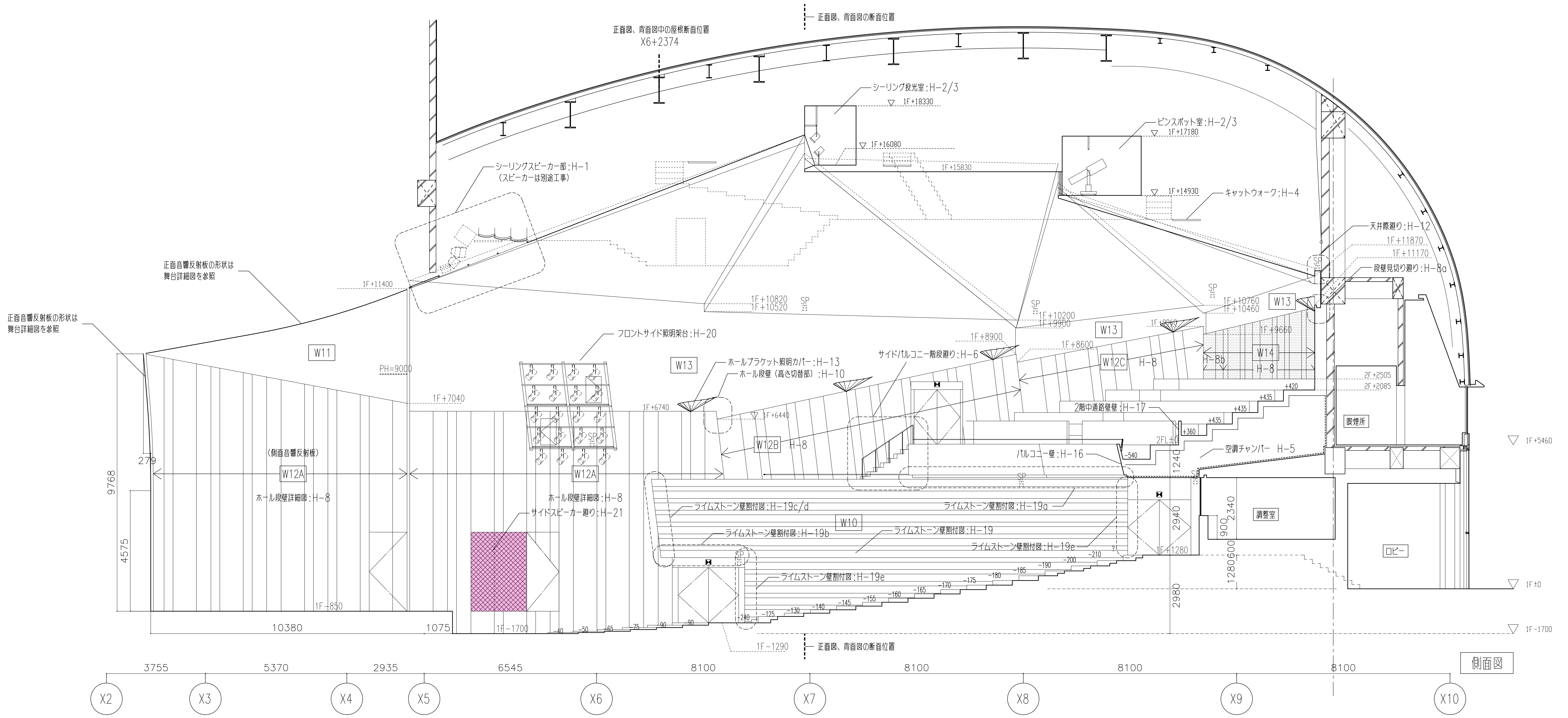
工事名称						
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	年月日 2005年 5月	図面名称 ホール客席詳細図2　1,2階天井伏図	縮尺 1/100	ファイル名称 A42Det-HL02

図面番号
A-42

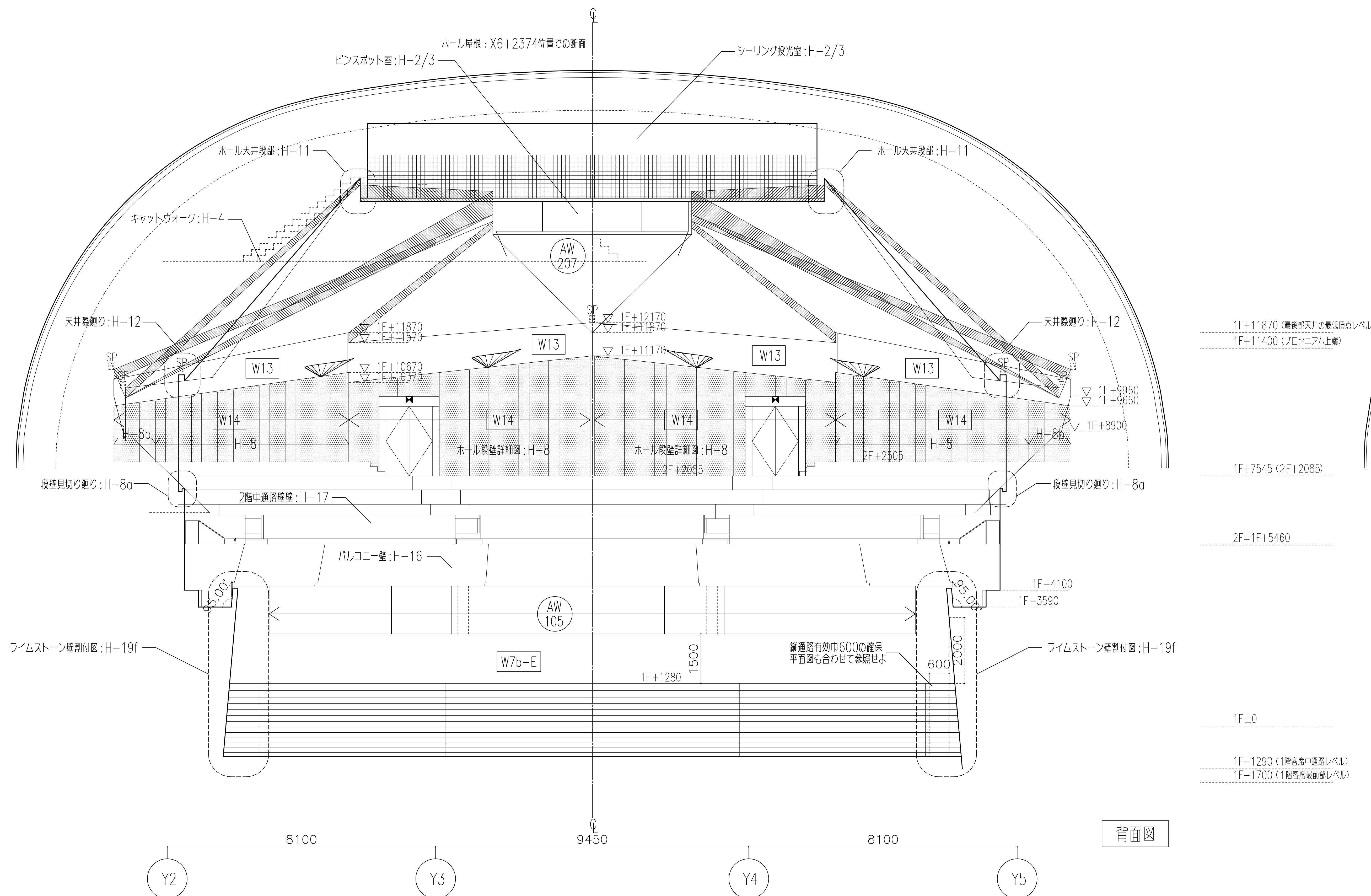
建築工事	
壁記号	仕上げ
P1	FPB15+15
P2	HPB9.5+FPB21+敷目板PB12.5
P3	PB12.5+9.5
P3−A	PB12.5+9.5EP−U
W1c	コンクリート打放しC種素地
W2a	GW32ｋｇｔ50+GC
W4a	モルタルEP−U
W5b	SCB−Pt6VE
W6b	PB12.5+9.5
W7b−E	PB12.5+木練付
W10	ライムストーンt40
W11	FRG8+8+8寒+EP
W12A	FPB15+15の上にFRG10木練付
W12B	PB12.5+12.5の上にFRG10木練付
W12C	PB15の上にFRG10木練付
W13	モルタルt20の上にPB9.5+EP
W14	GW32ｋｇ:t50GCの上にSCB−P:t6木練付

設備器具（すべて別途工事）	
記号	器具名称
SP	ウォールスピーカー
⧓	避難誘導灯

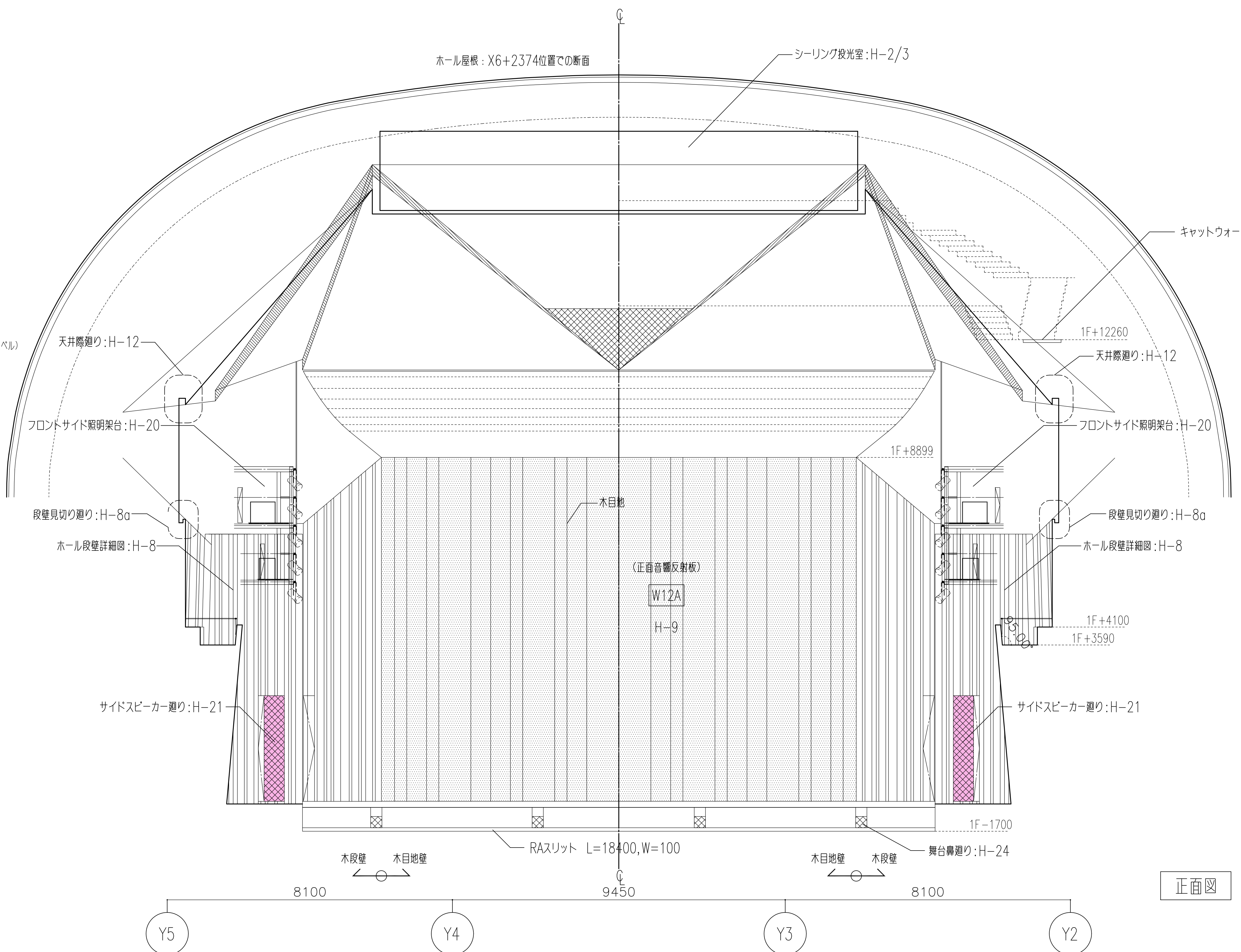
木段壁割付は、木段壁割付図：H−7を参照



側面図



背面図



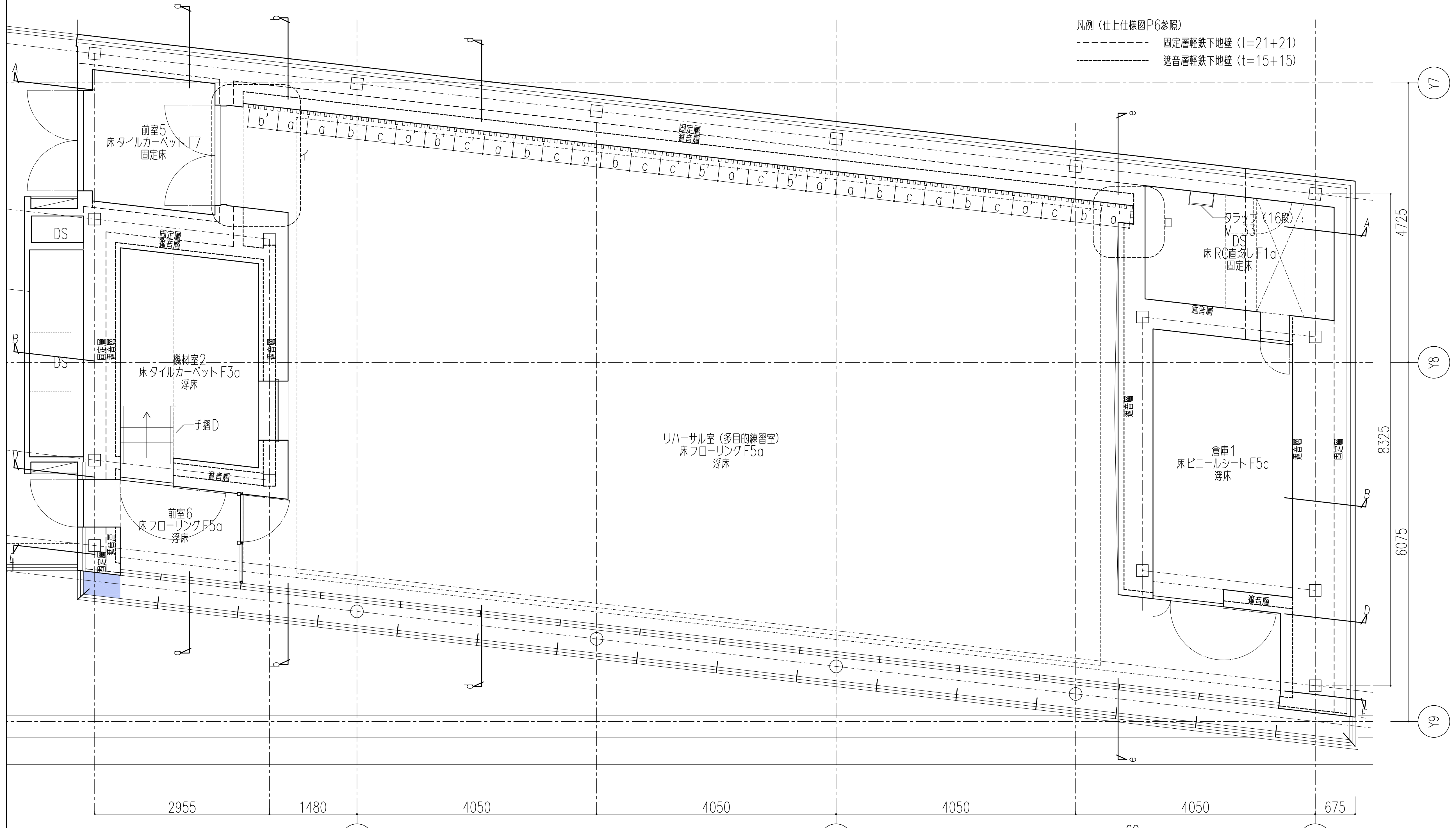
正面図

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）	株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	ホール客席詳細図3 展開図	1/100	A43Det−HL03	A−43

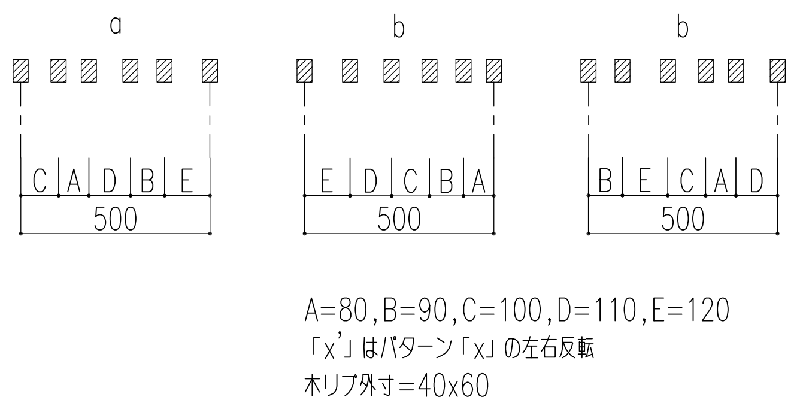
[リハーサル室平面詳細図 1:100]

[リハーサル室天井伏図 1:100]

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図1　平面・天井伏図	1:100	A56−58Det−2F00	A−56

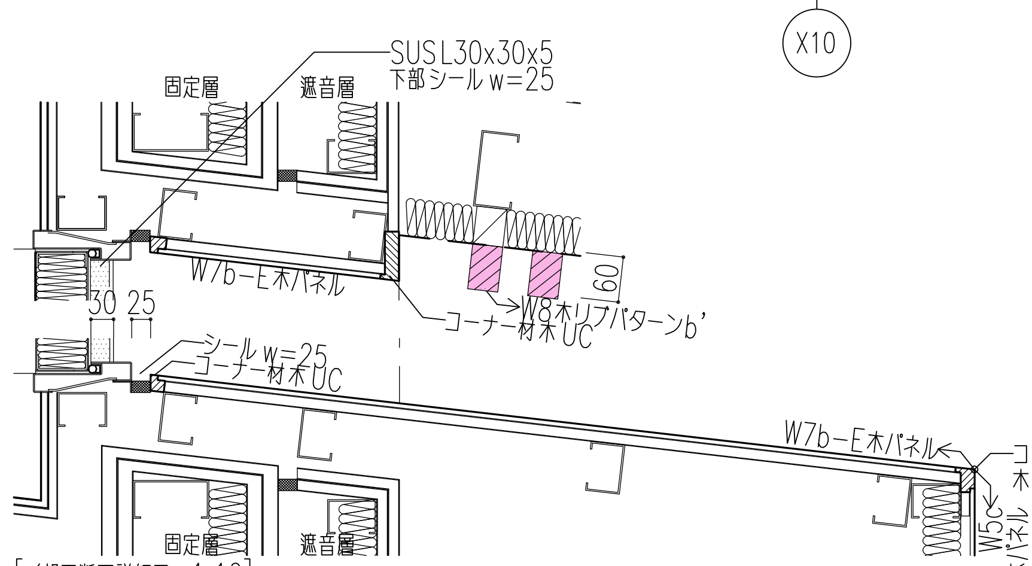


[リハーサル室平面詳細図 1:60]

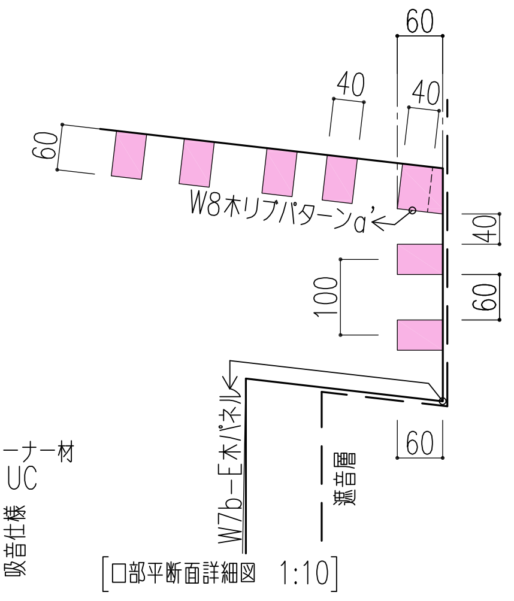


A=80,B=90,C=100,D=110,E=120
「x'」はパターン「x」の左右反転
木リブ外寸=40x60

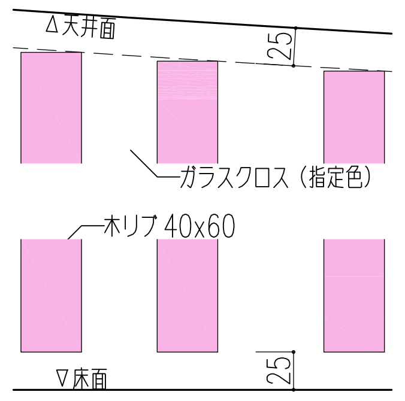
[木リブ パターン図 1:20]



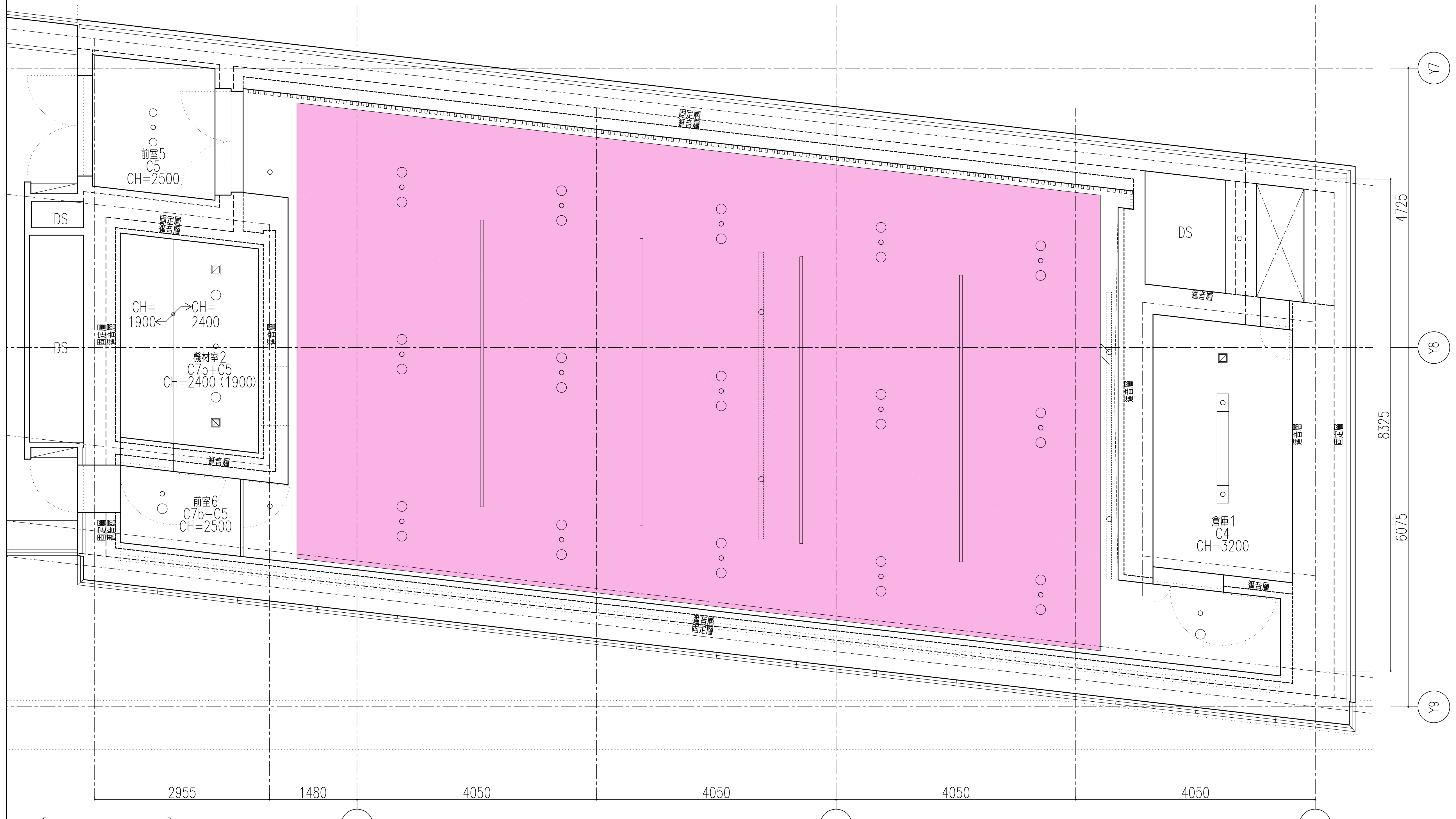
[イ部平断面詳細図 1:10]



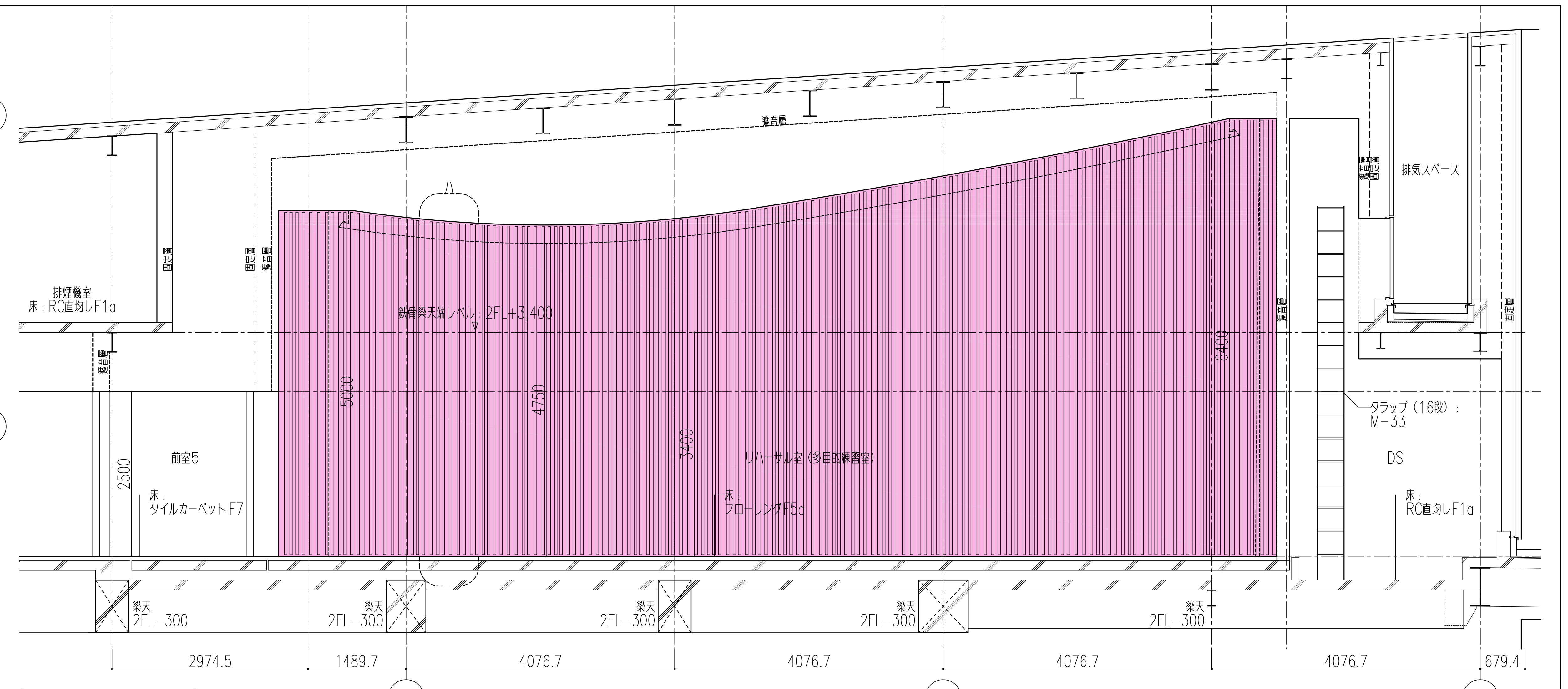
[ロ部平断面詳細図 1:10]



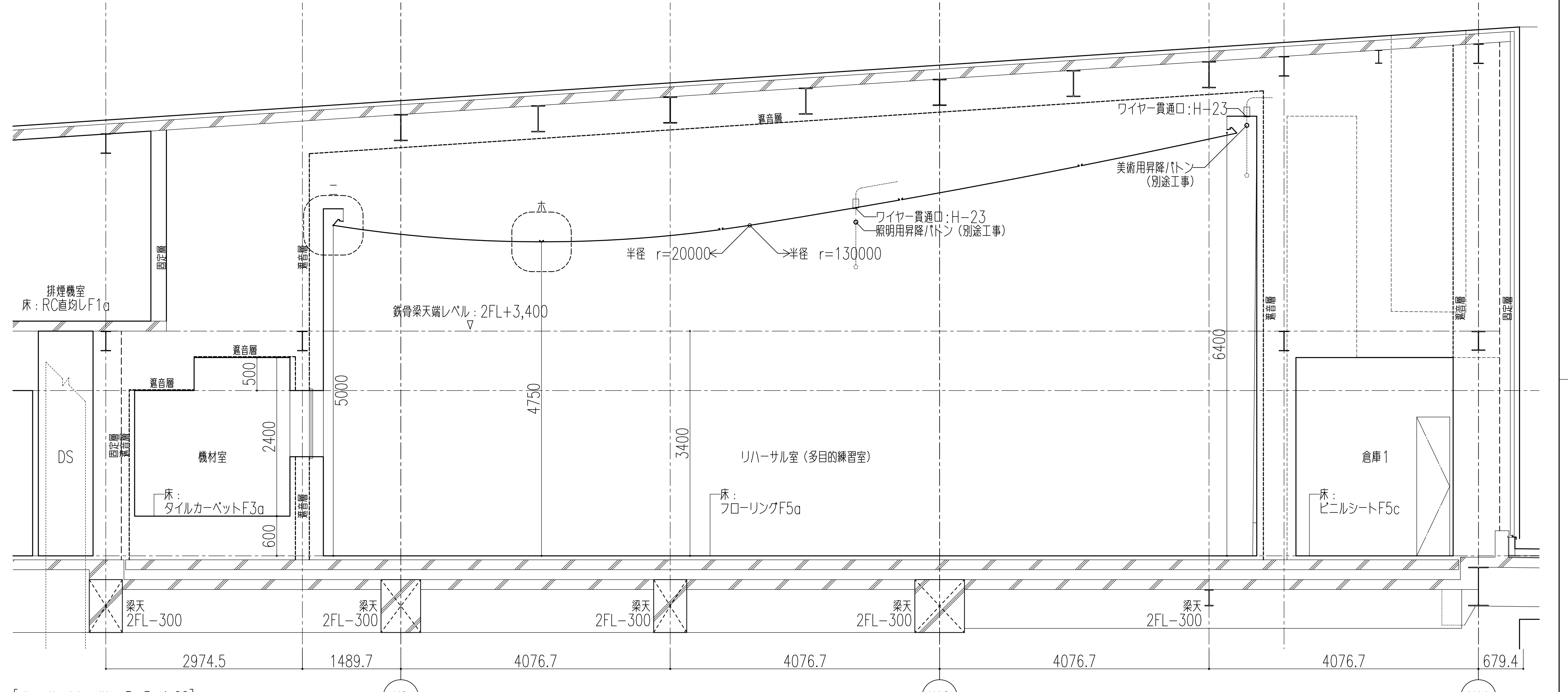
[ハ部立面詳細図 1:5]



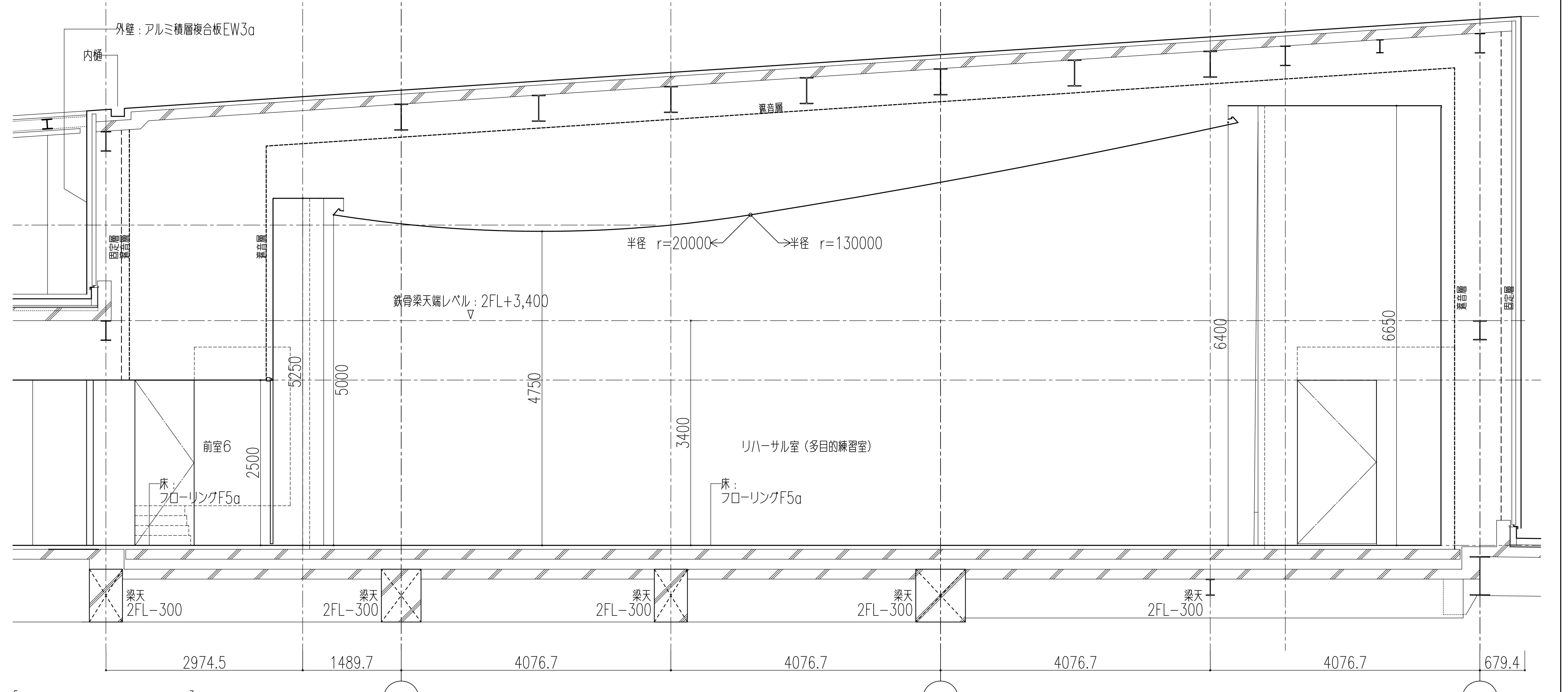
[リハーサル室天井伏図 1:60]



[リハーサル室断面詳細図A-A 1:60]



[リハーサル室断面詳細図B-B 1:60]

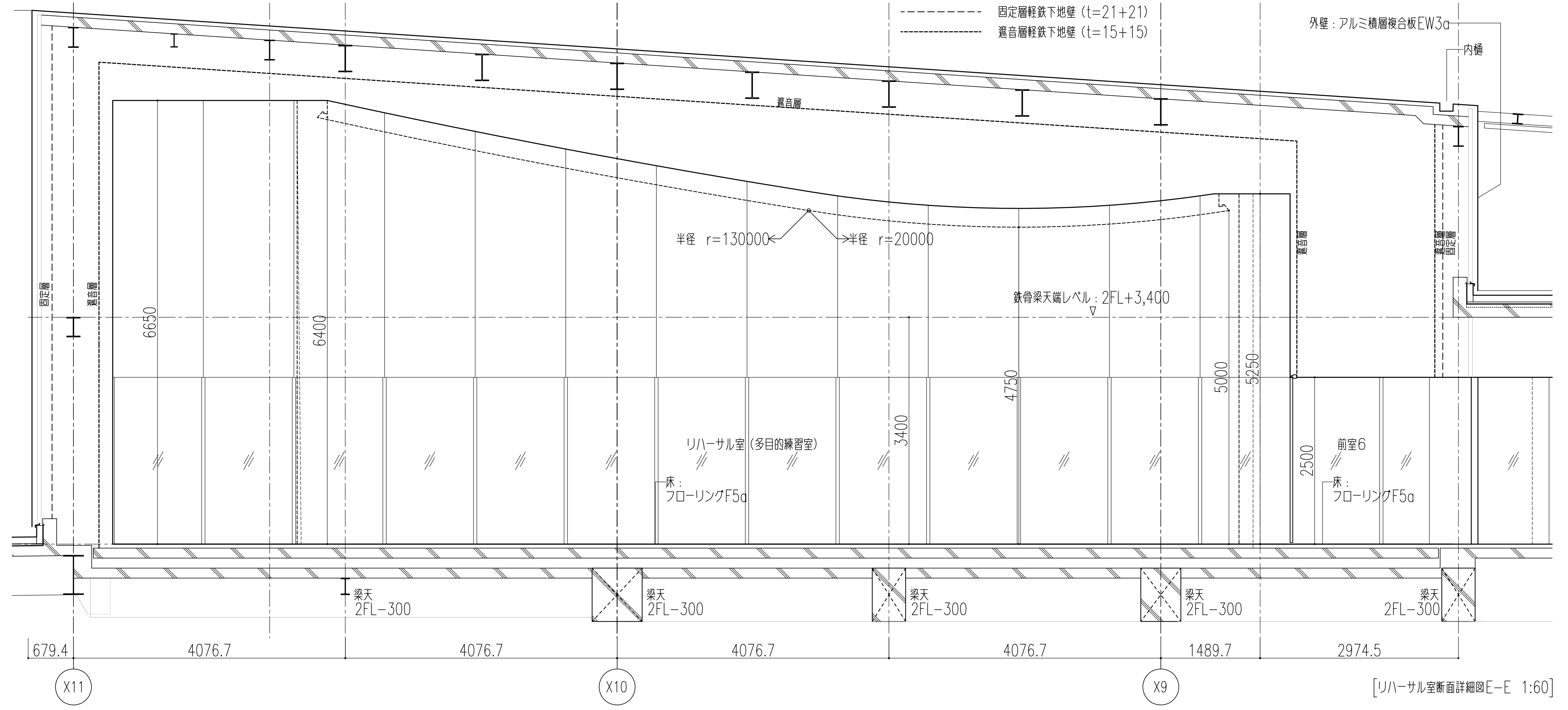


[リハーサル室断面詳細図D-D 1:60]

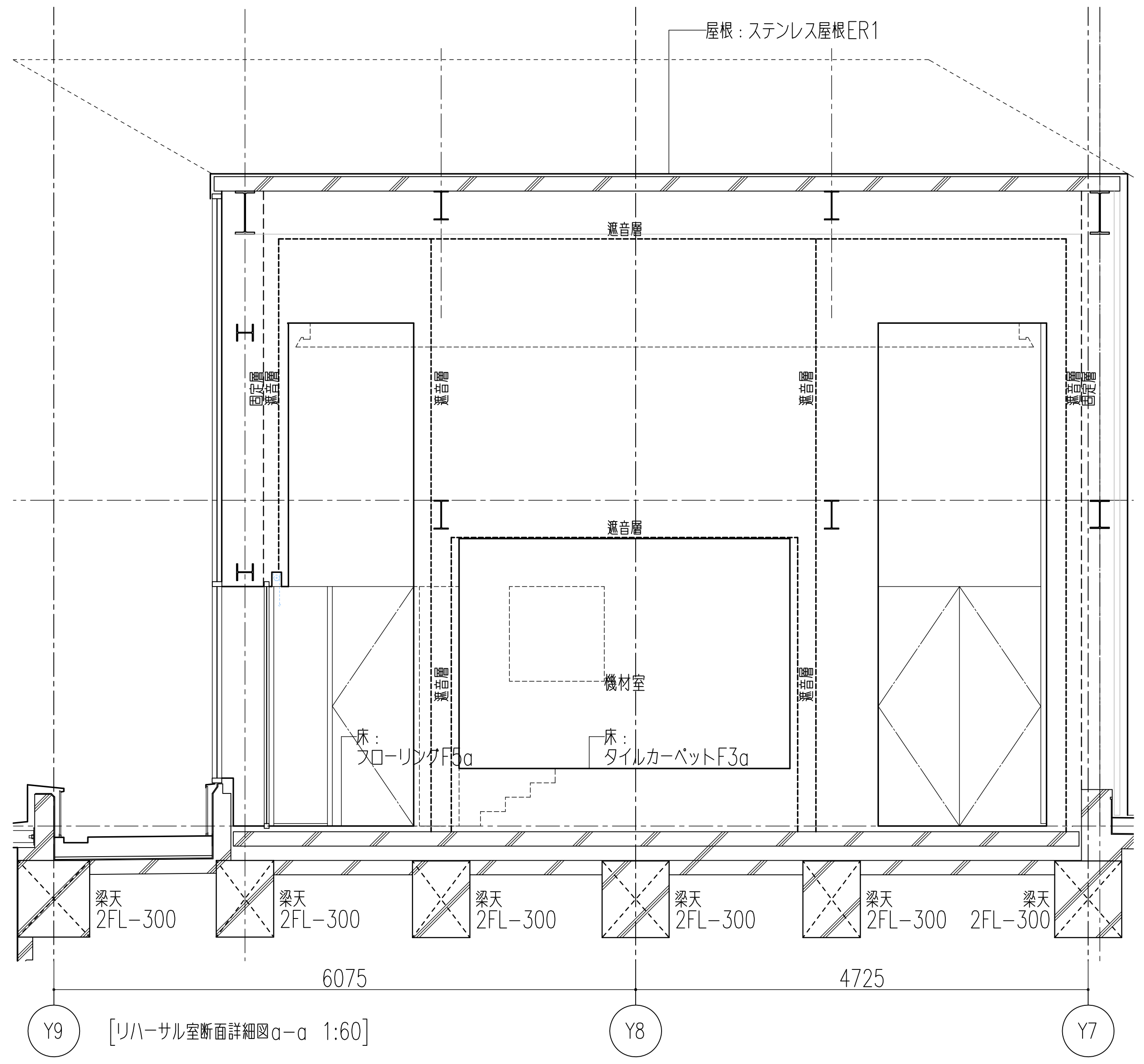
工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）

株式会社 槇総合計画事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦

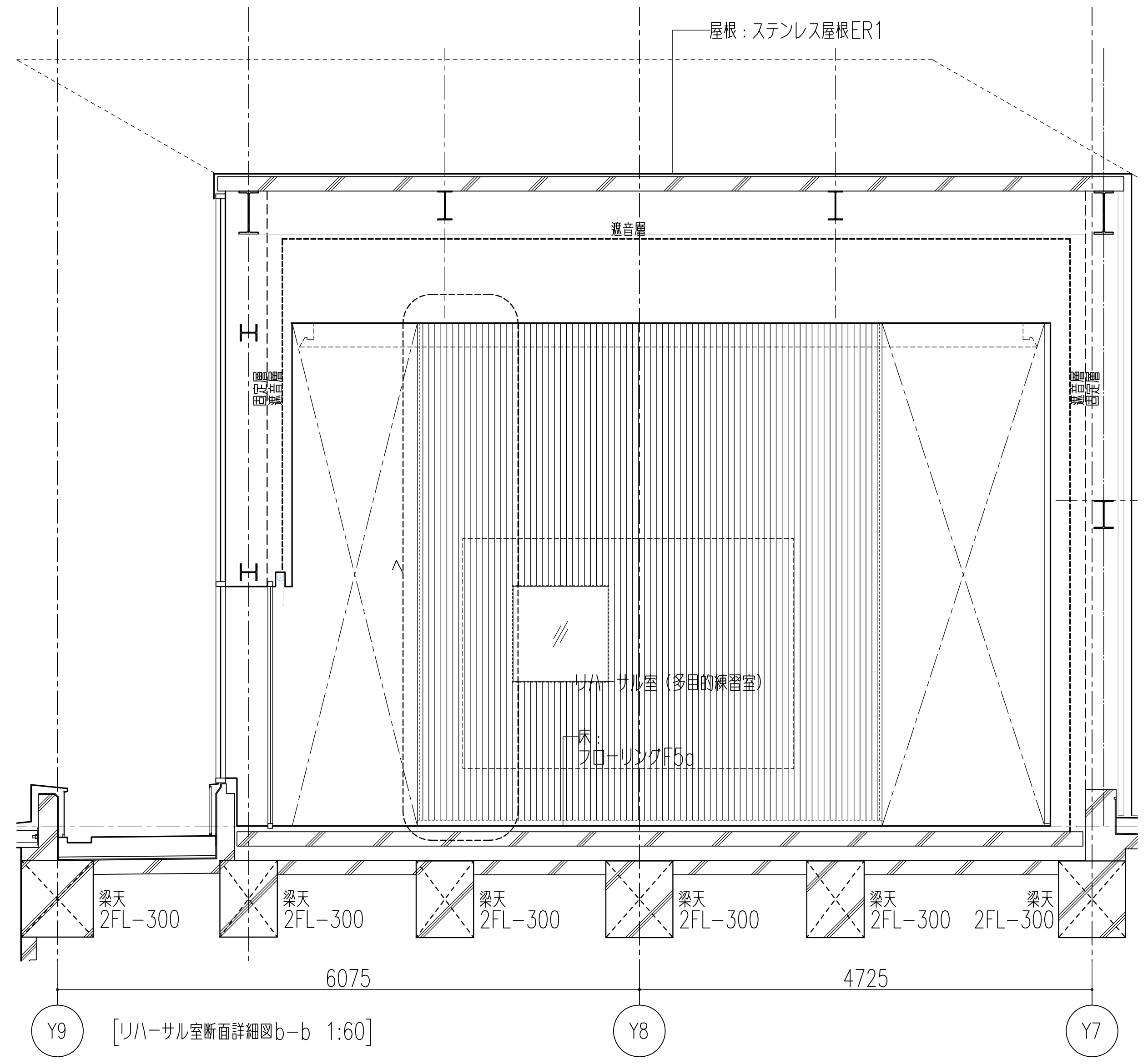
年月日
2005年 5月
図面名称
2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図2 リハーサル室
縮尺
1:60 1:20
1:10 1:5
ファイル名称
A56-58Det-2F00
図面番号
A-57



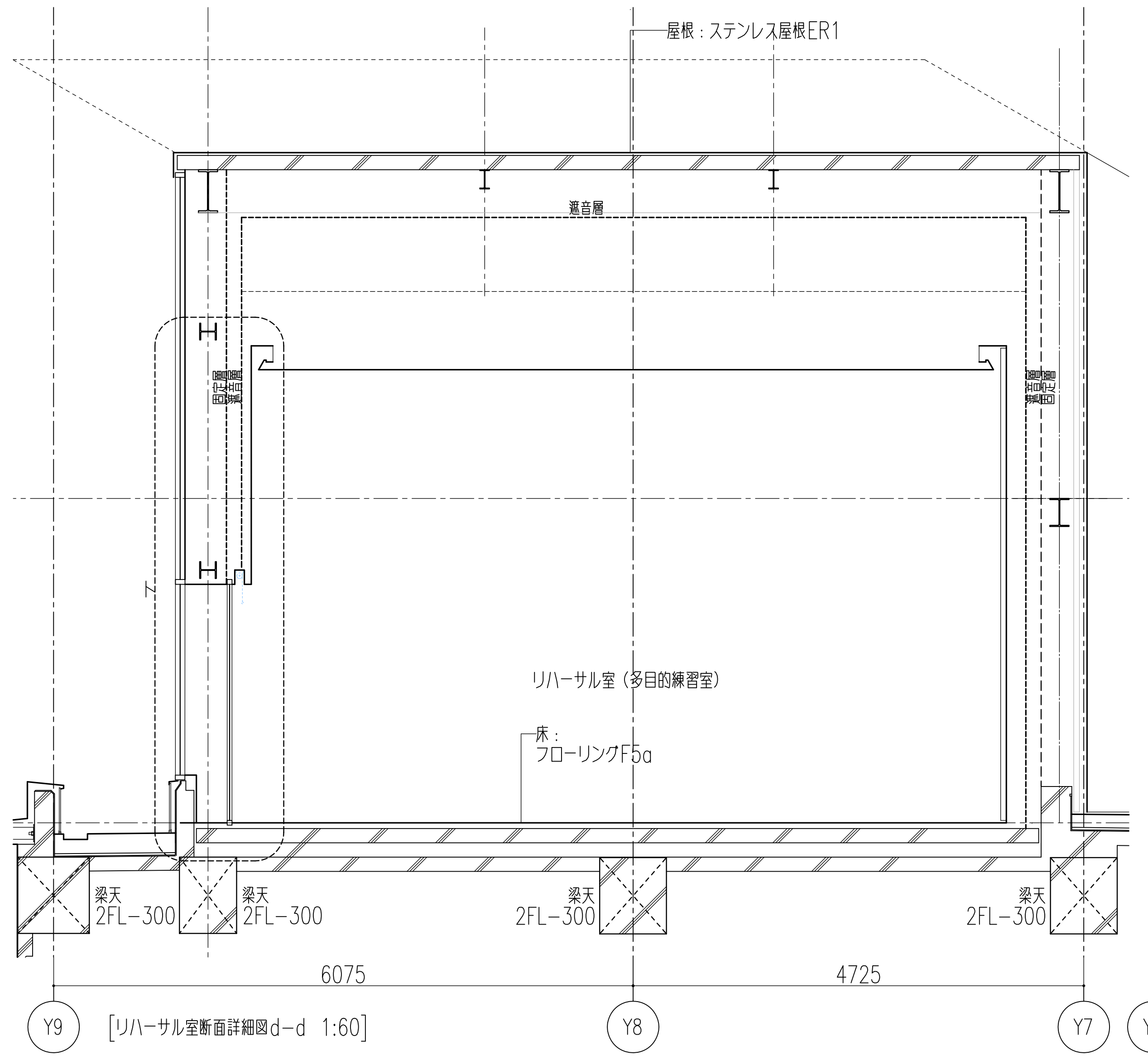
[リハーサル室断面詳細図E-E 1:60]



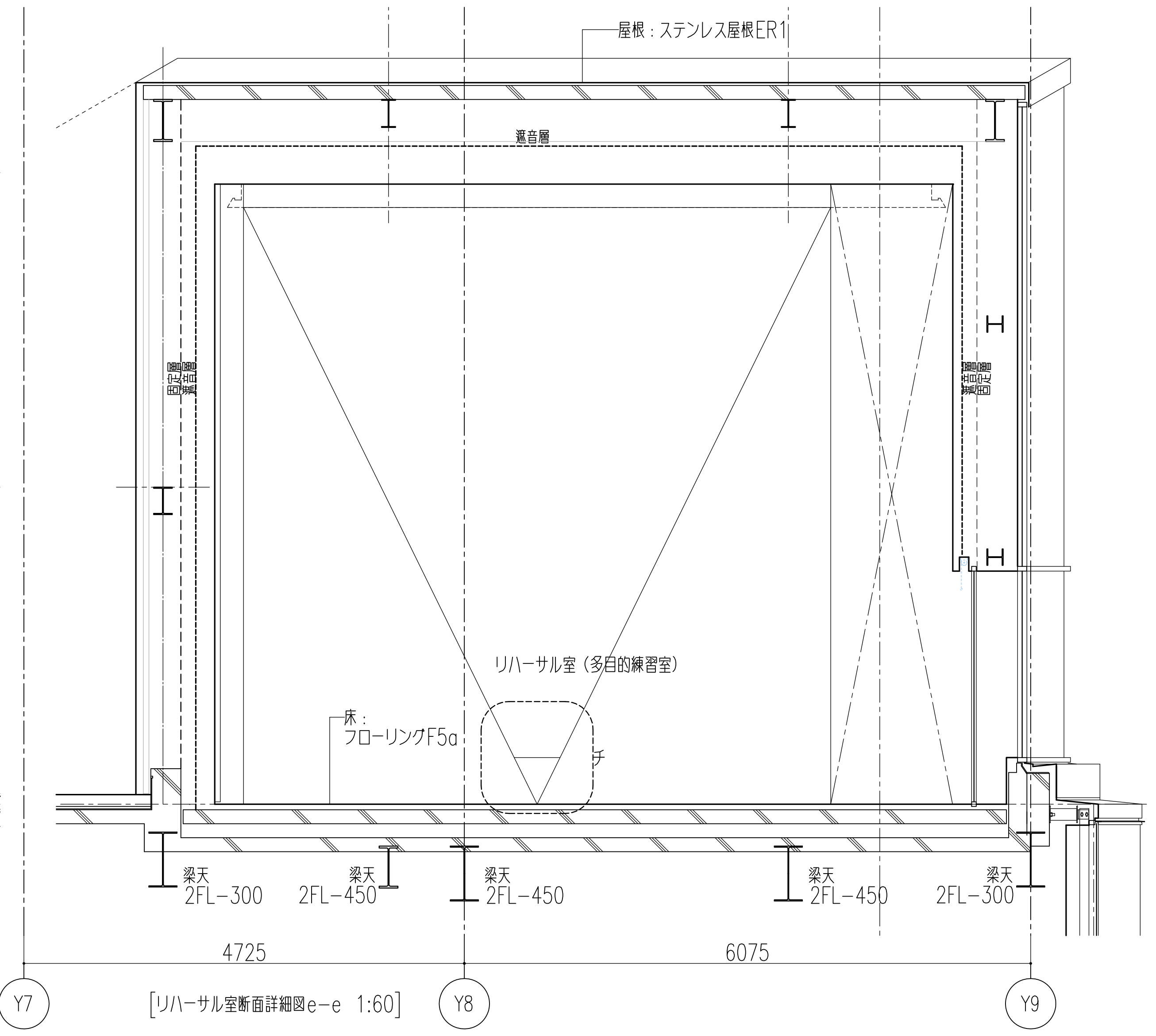
[リハーサル室断面詳細図a-a 1:60]



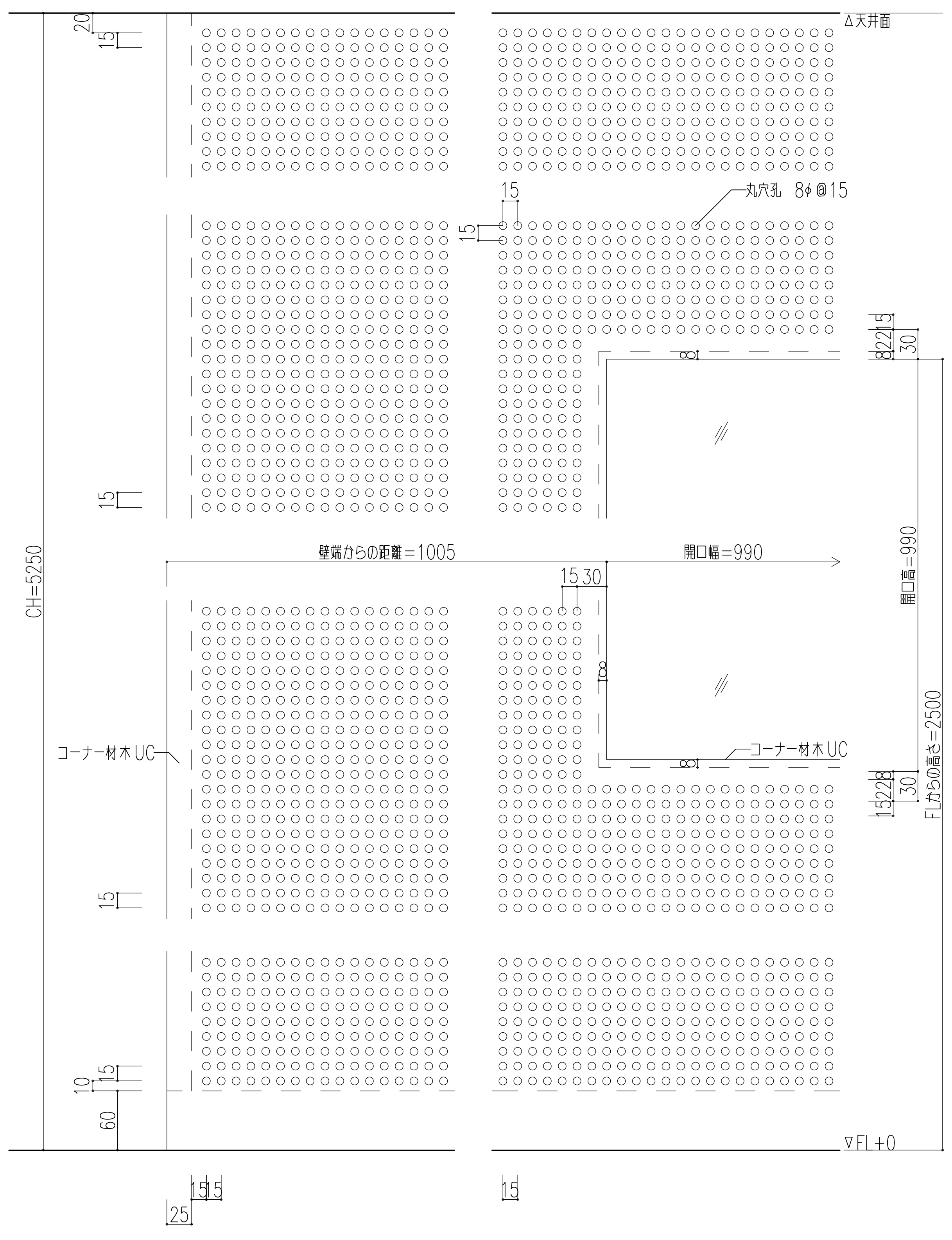
[リハーサル室断面詳細図b-b 1:60]



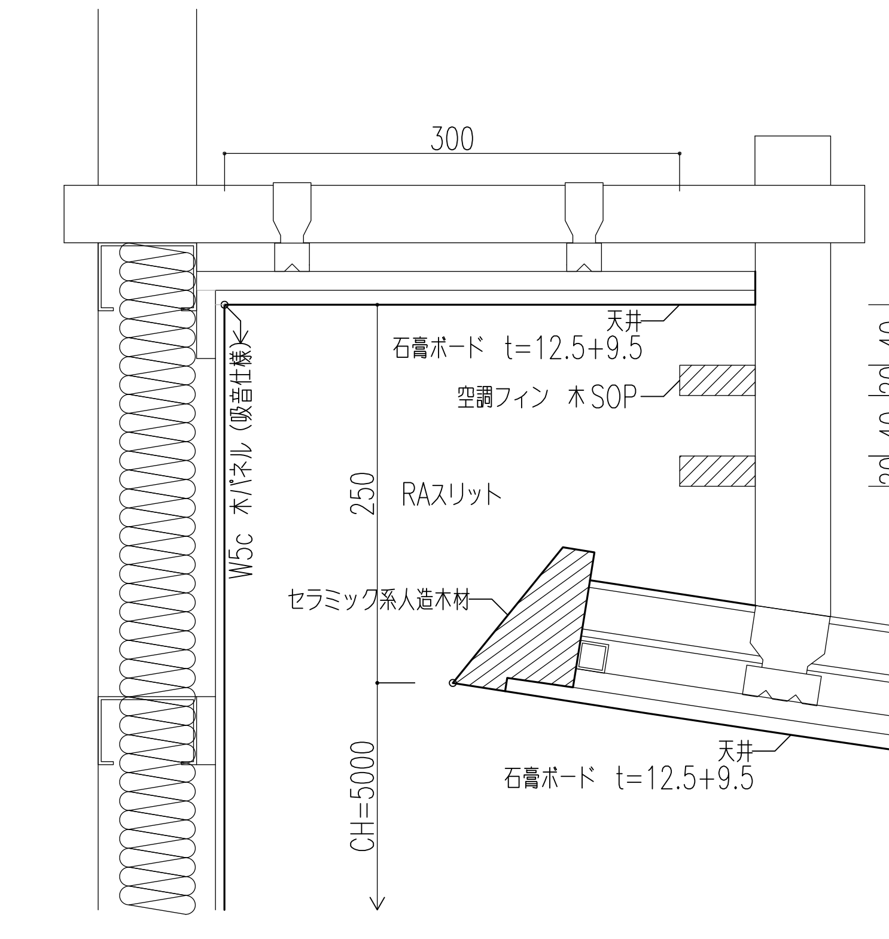
[リハーサル室断面詳細図d-d 1:60]



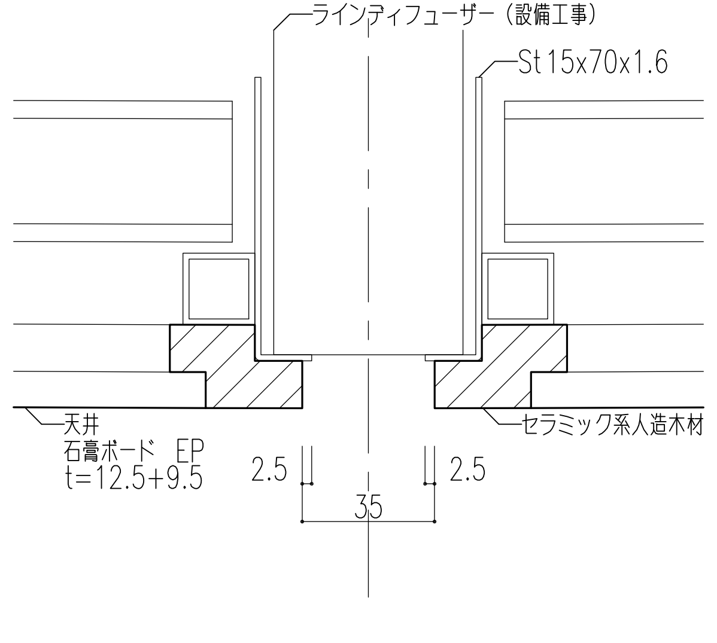
[リハーサル室断面詳細図e-e 1:60]



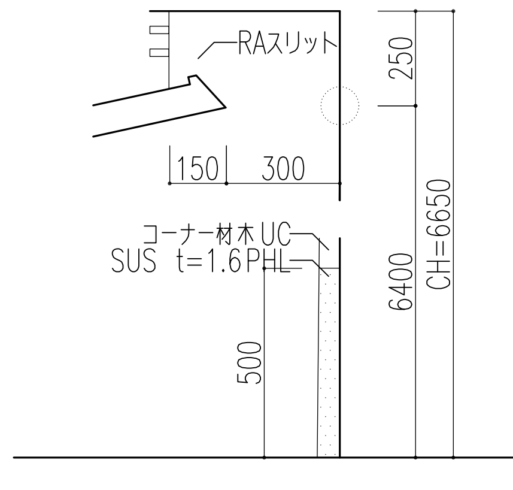
[ヘ部立面詳細図 1:5]



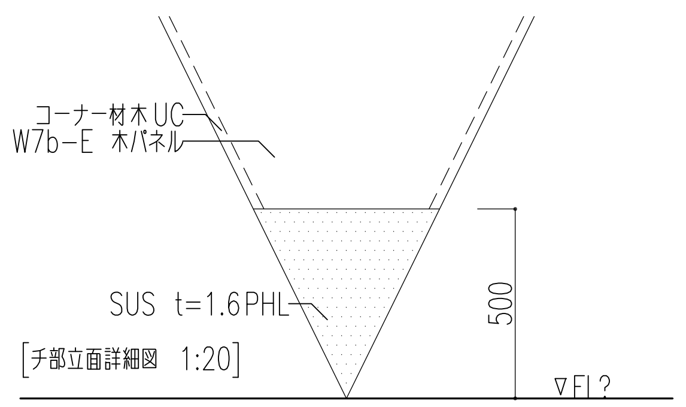
[ニ部立面詳細図 1:5]



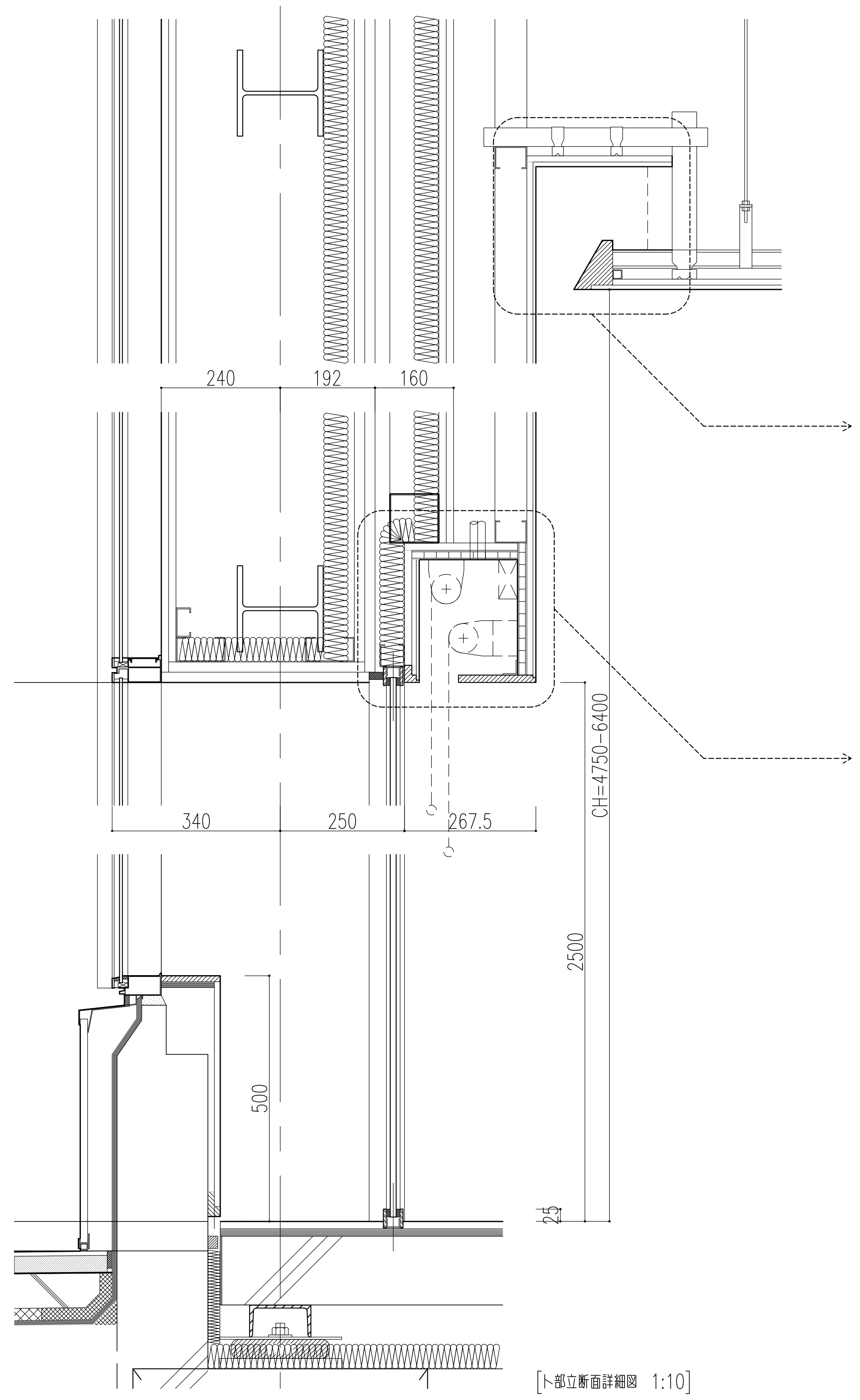
[ホ部立断面詳細図 1:2]



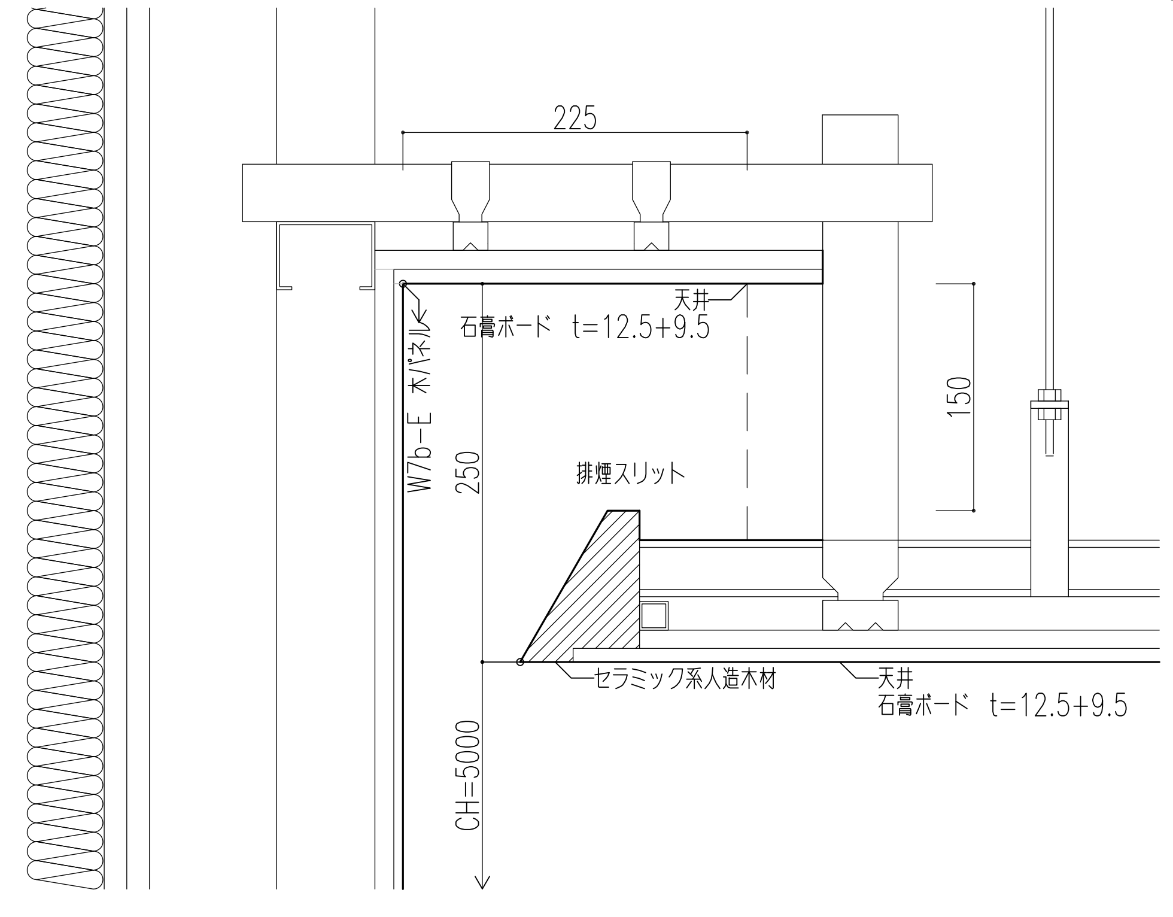
[チ部立断面詳細図 1:20]



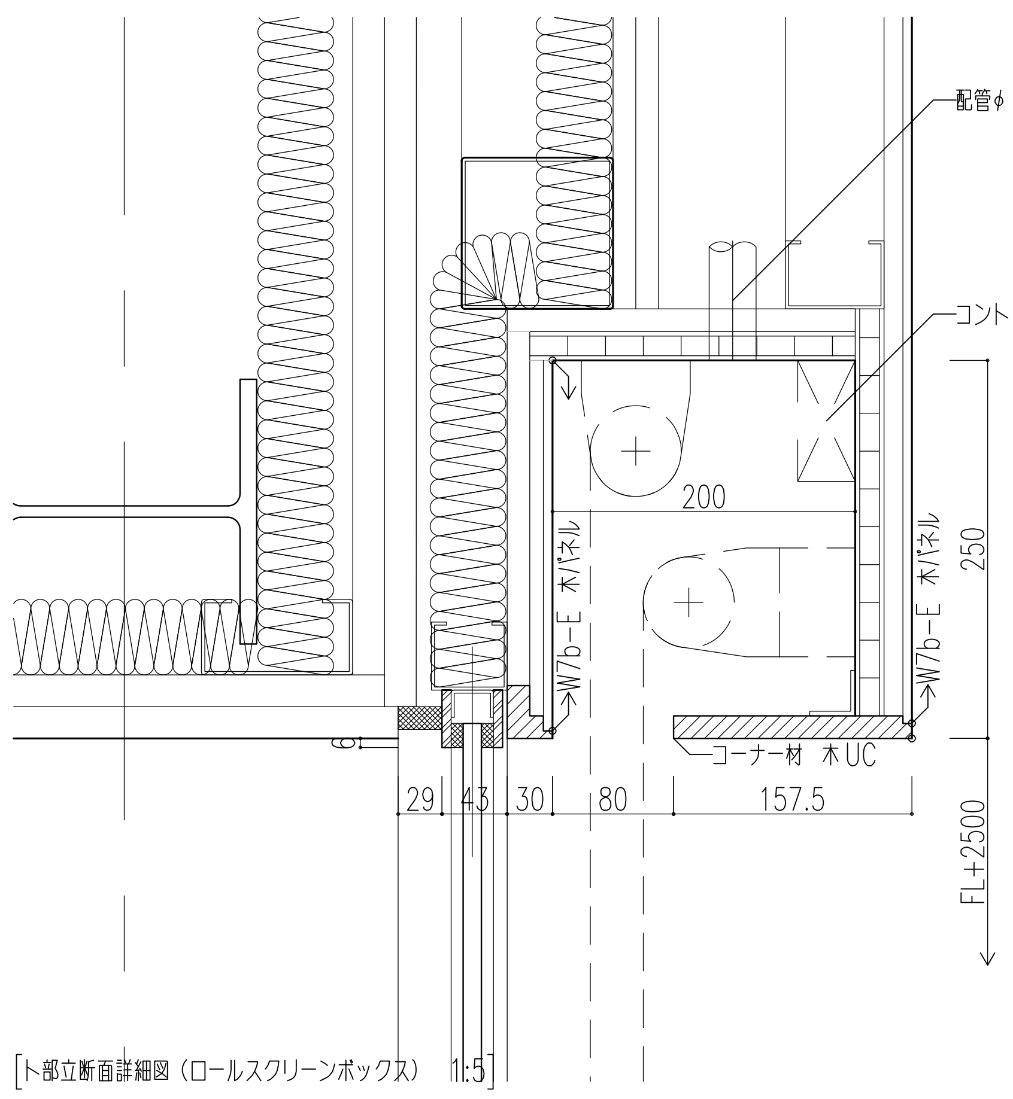
[チ部立面詳細図 1:20]



[ト部立断面詳細図 1:10]

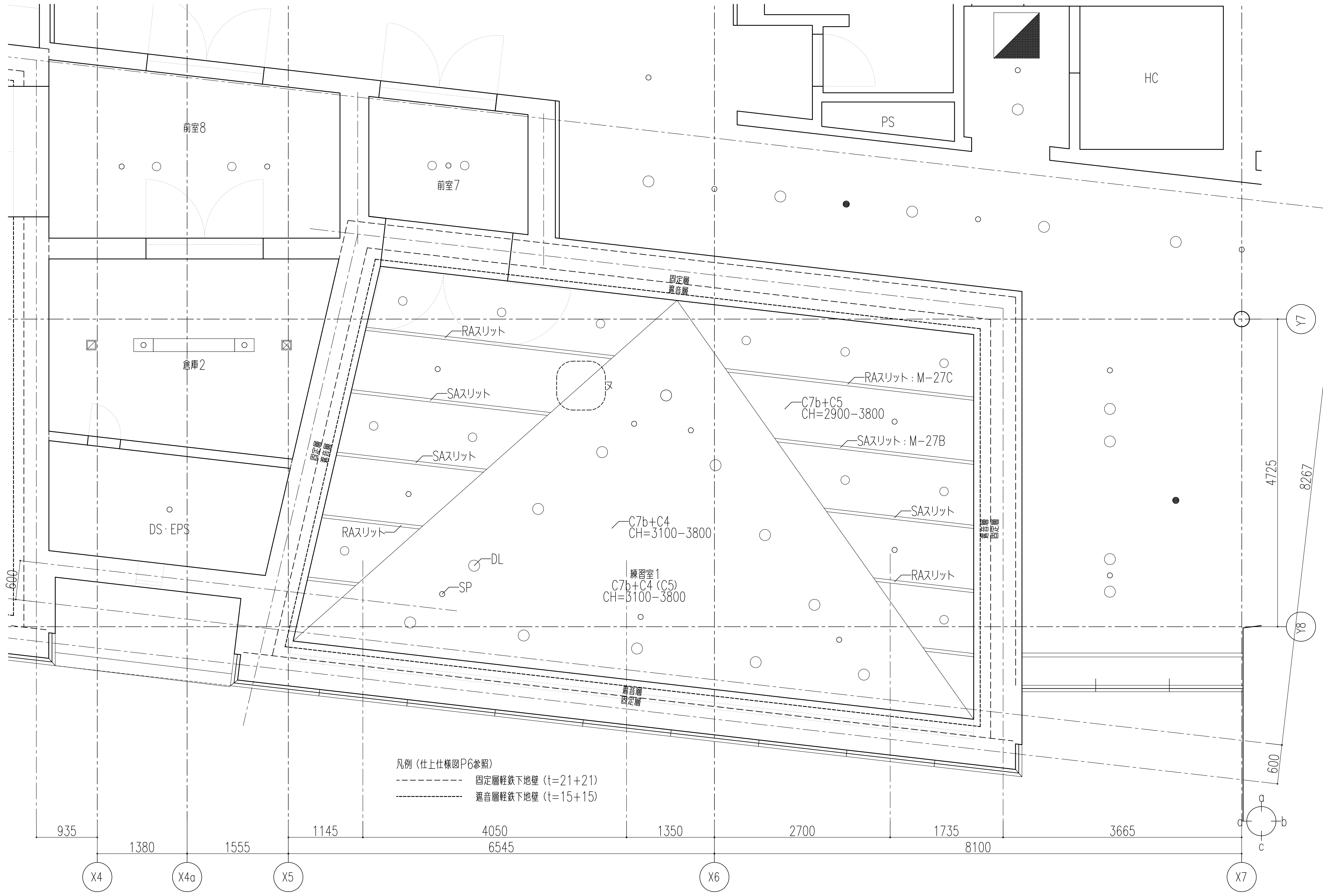


[ト部立断面詳細図（排煙スリット） 1:5]

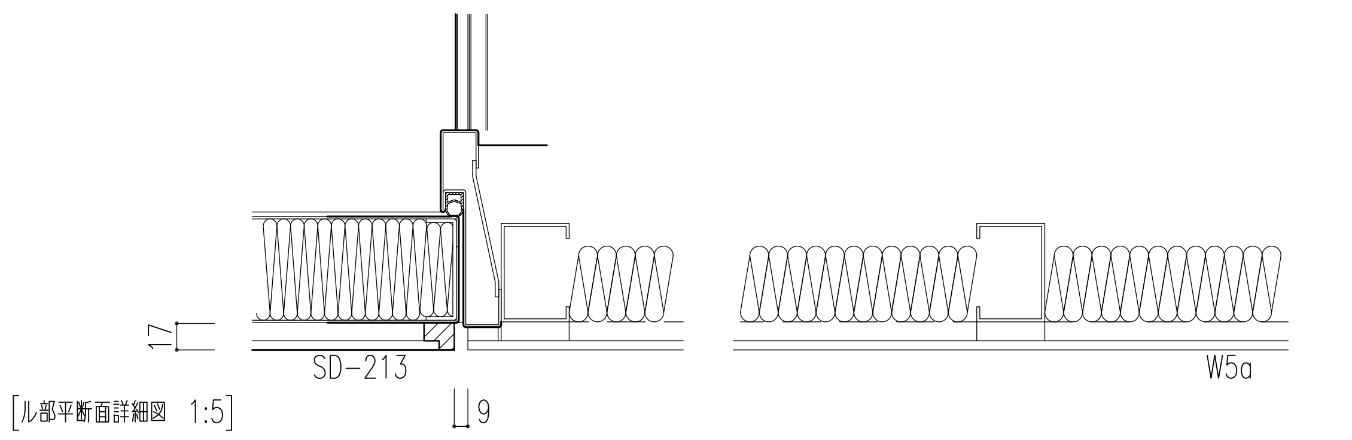


[ト部立断面詳細図（ロールスクリーンボックス） 1:5]

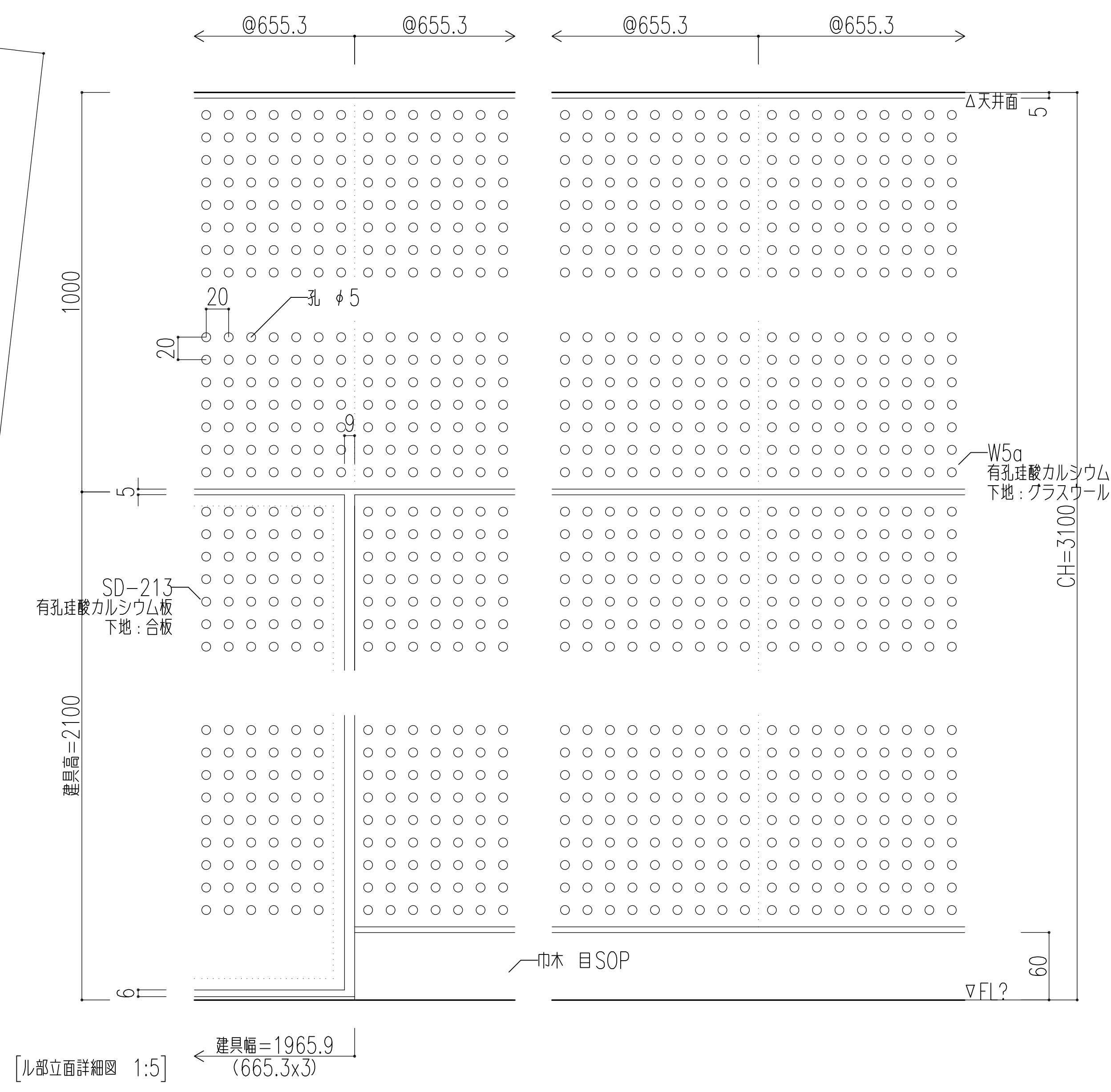
工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）	株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図3 リハーサル室	1:60 1:20 1:10 1:5	A56-58Det-2F00	A-58



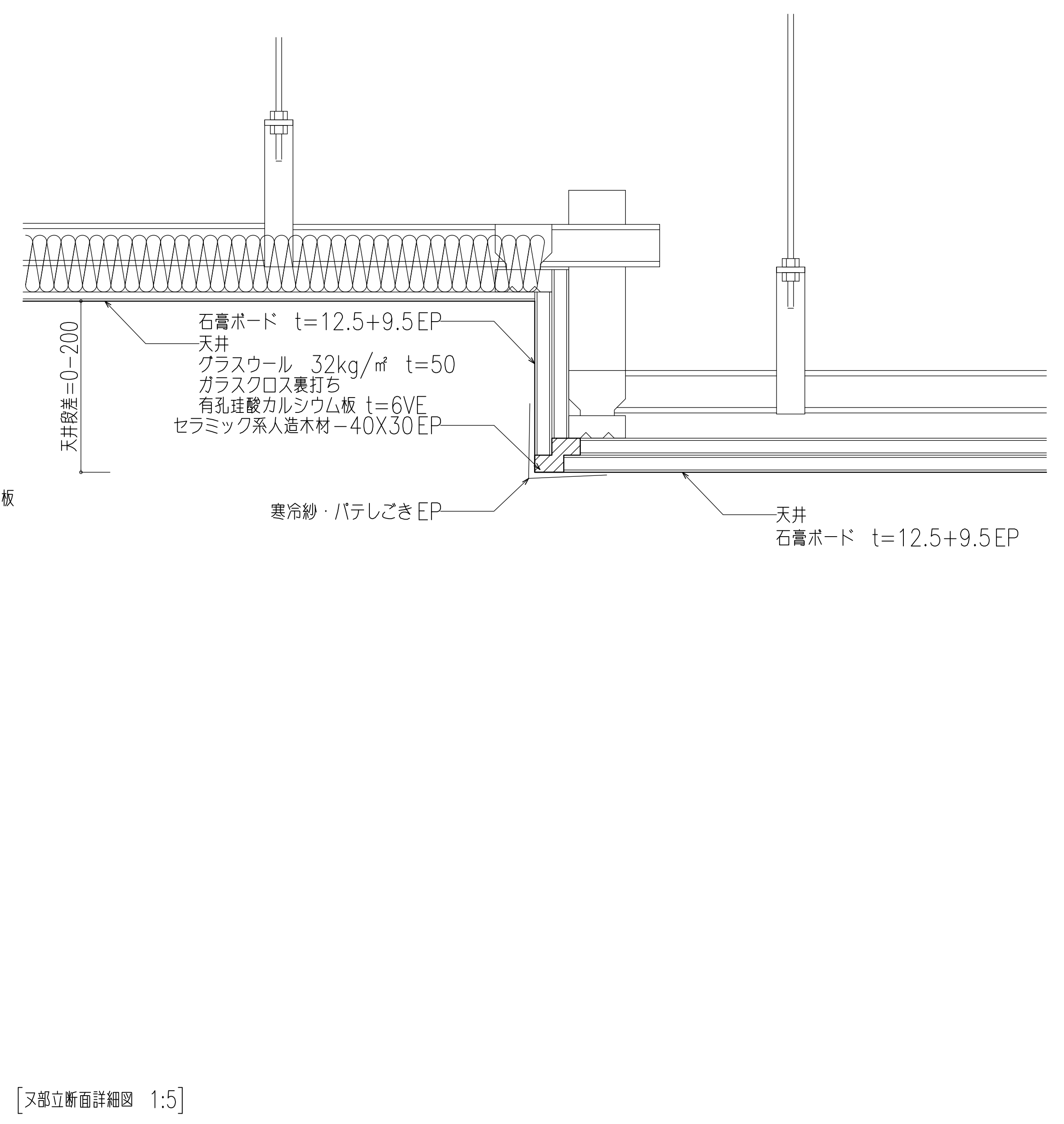
[練習室1天井伏図 1:50]



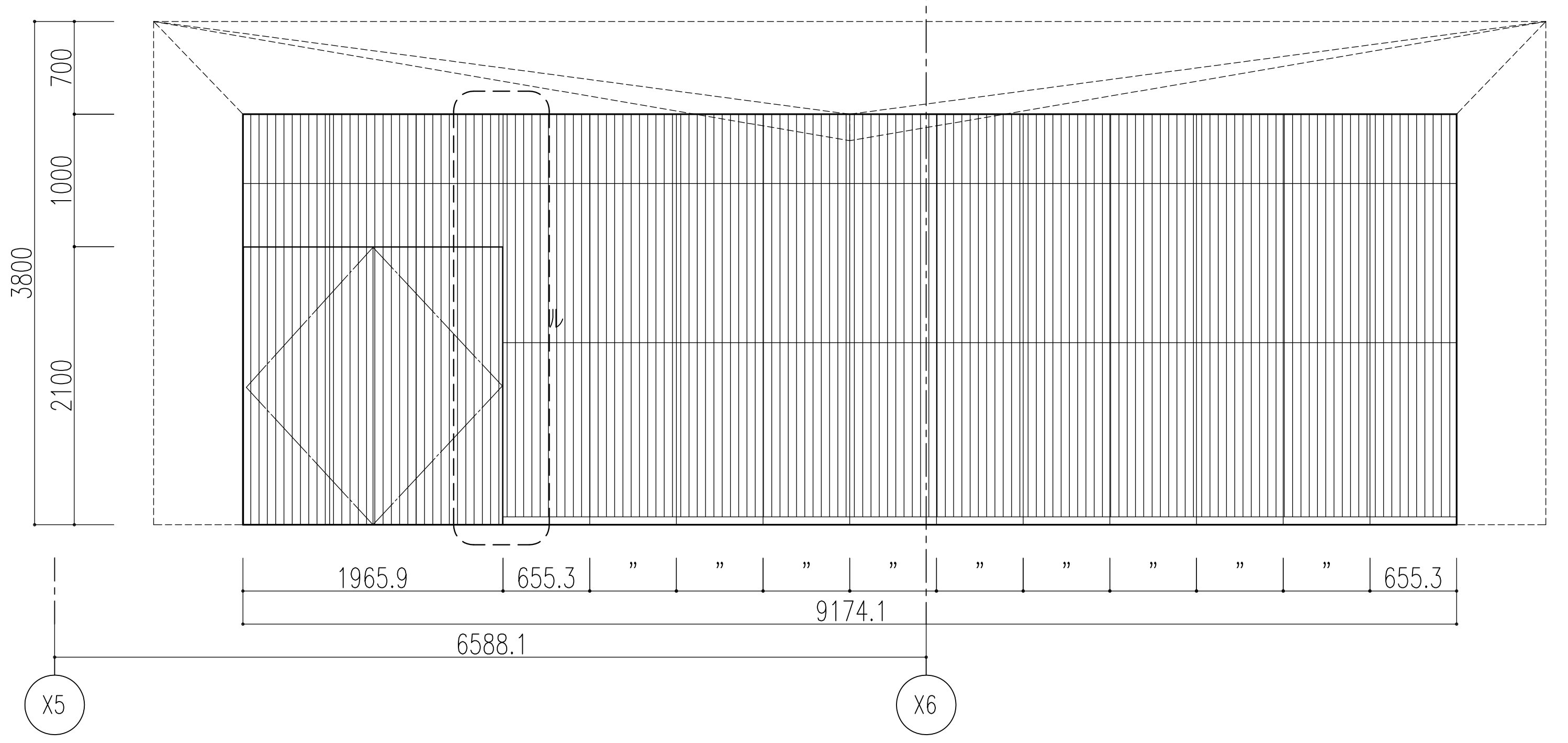
[ル部平断面詳細図 1:5]



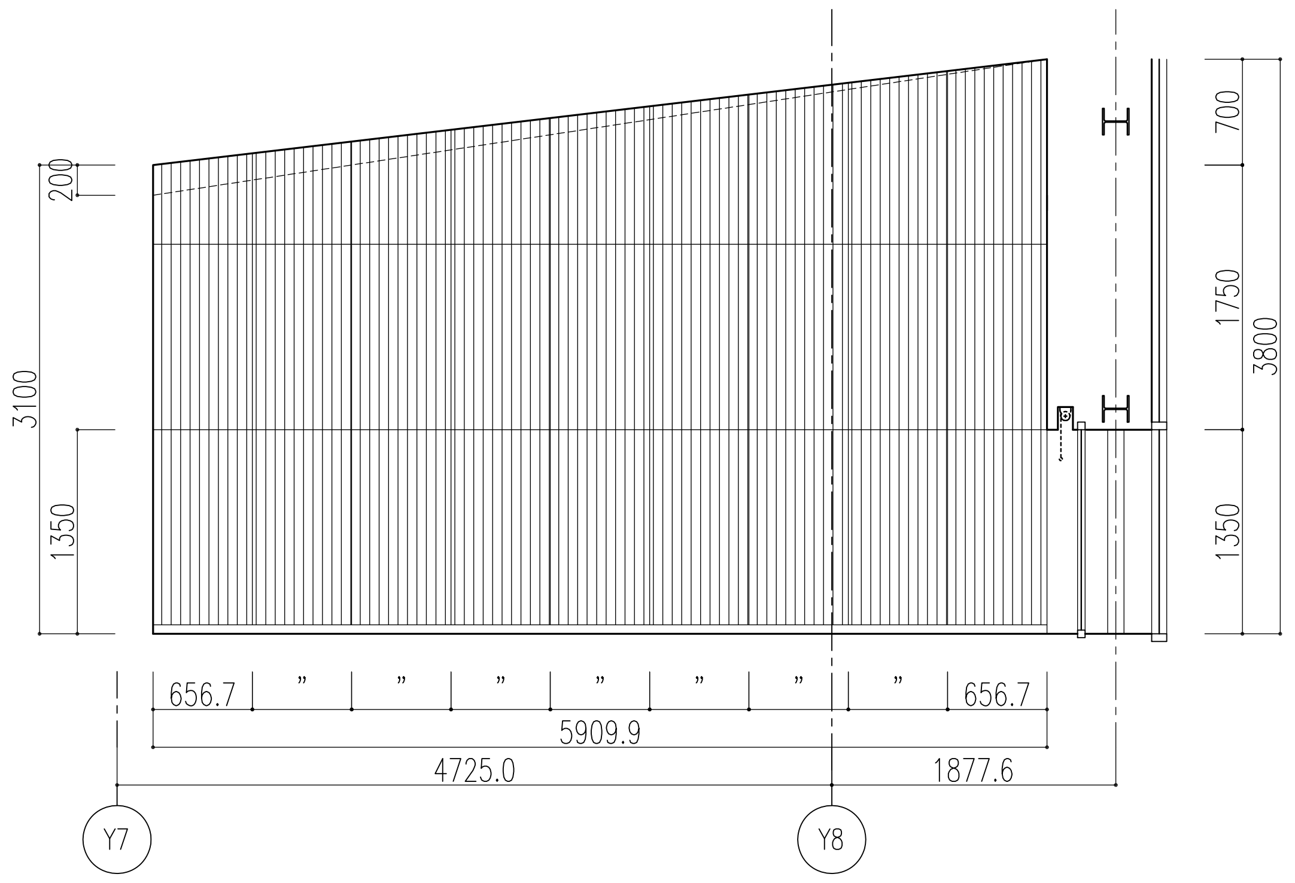
[ル部立面詳細図 1:5]



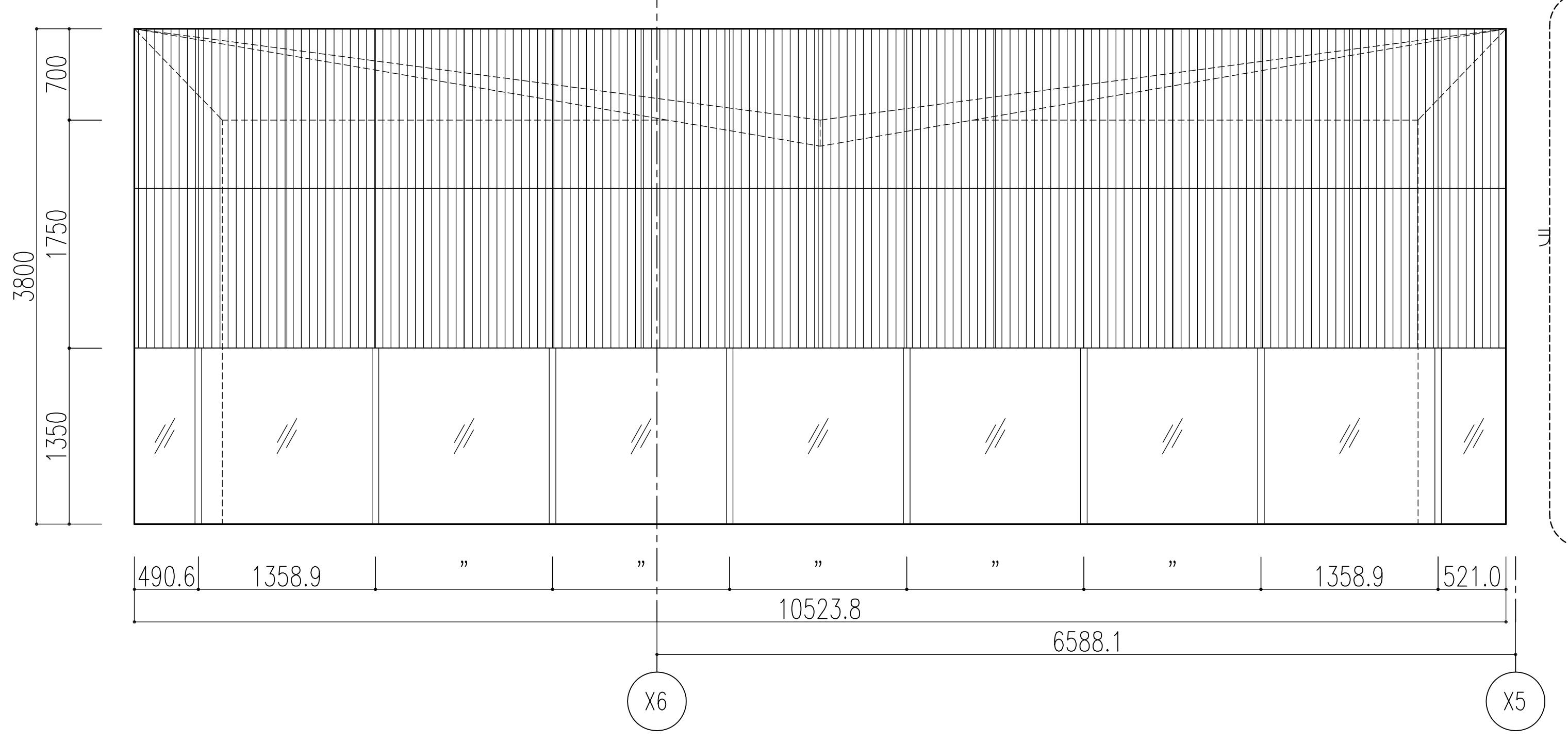
[ヌ部立断面詳細図 1:5]



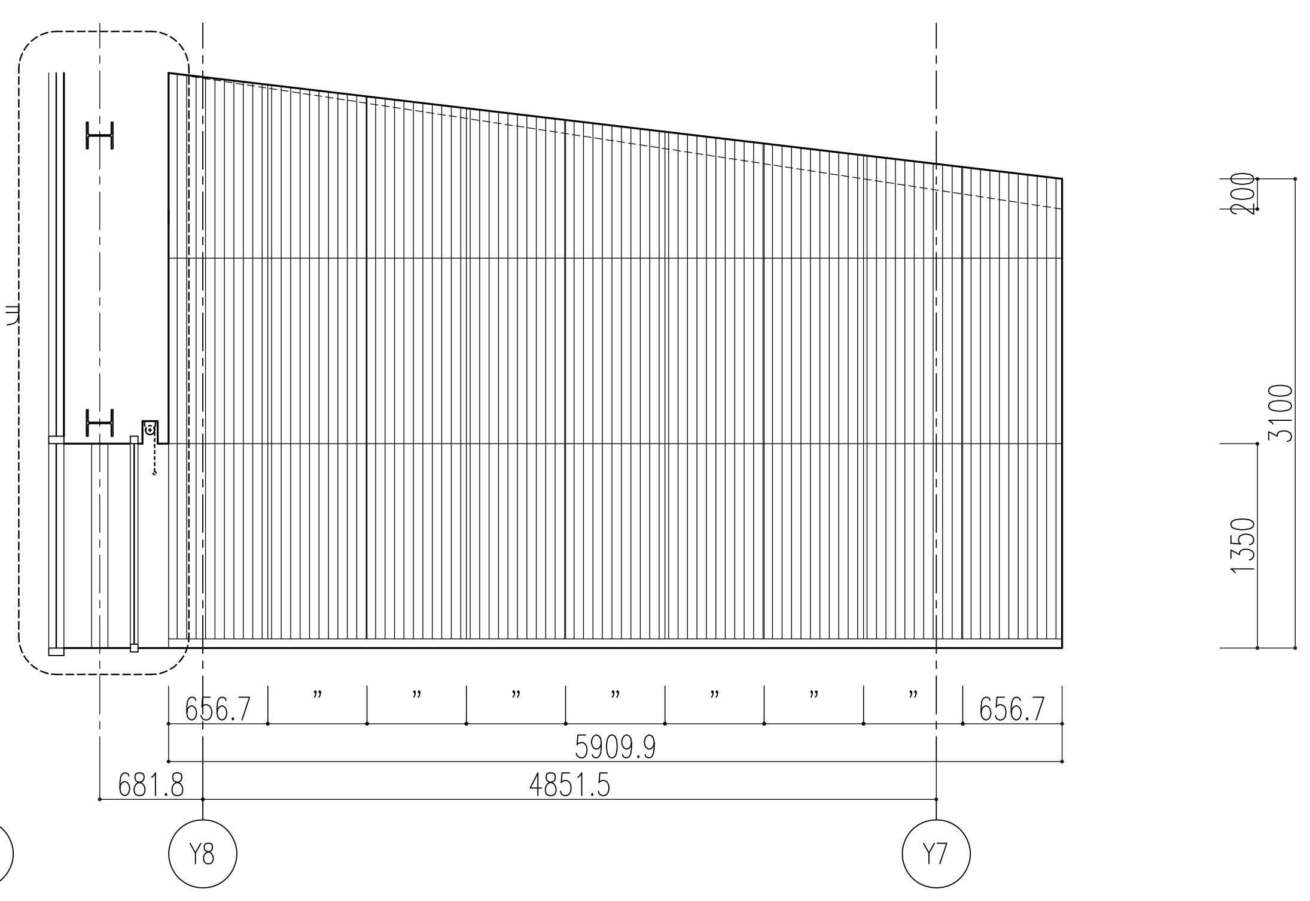
[練習室1展開図a 1:50]



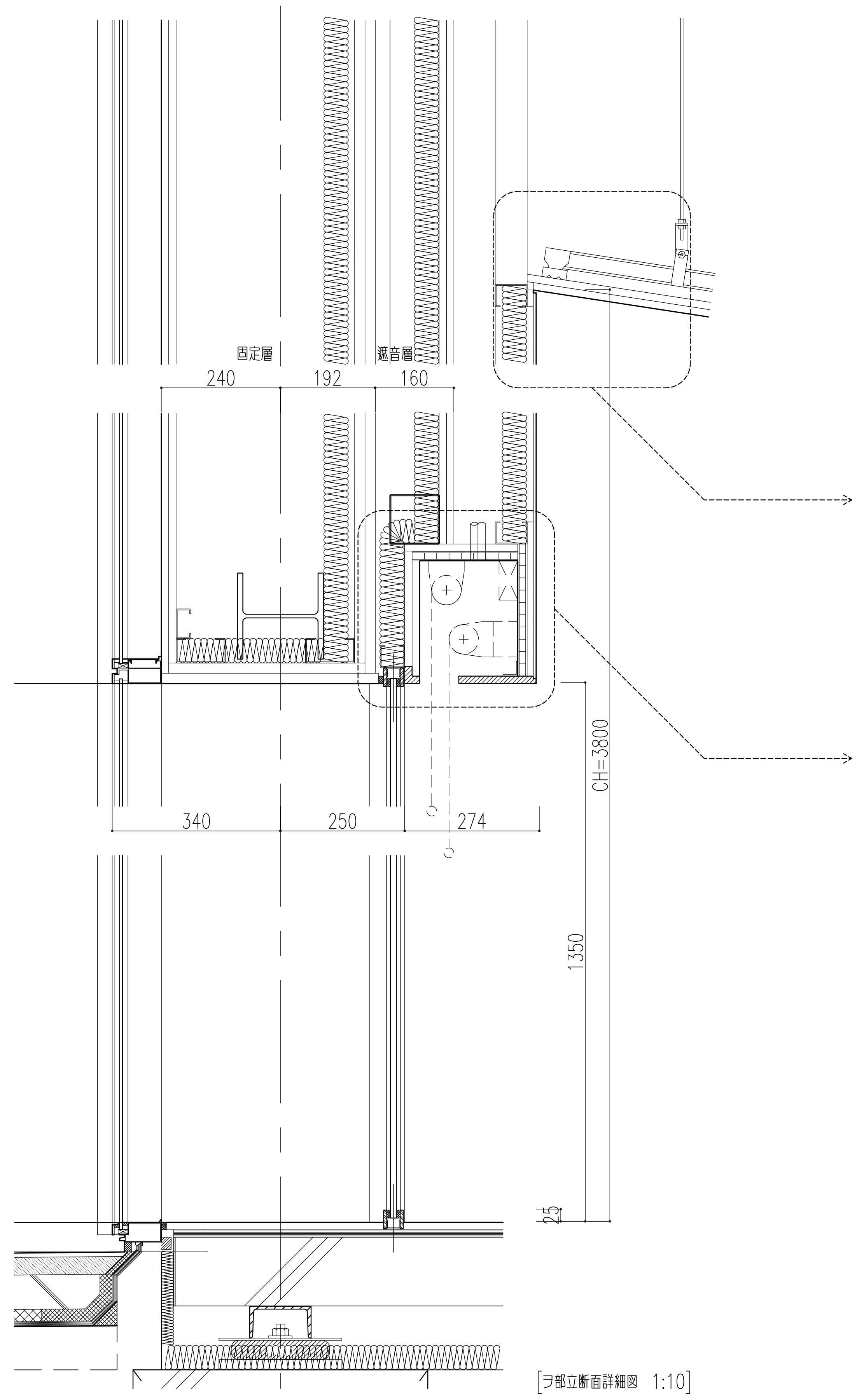
[練習室1展開図b 1:50]



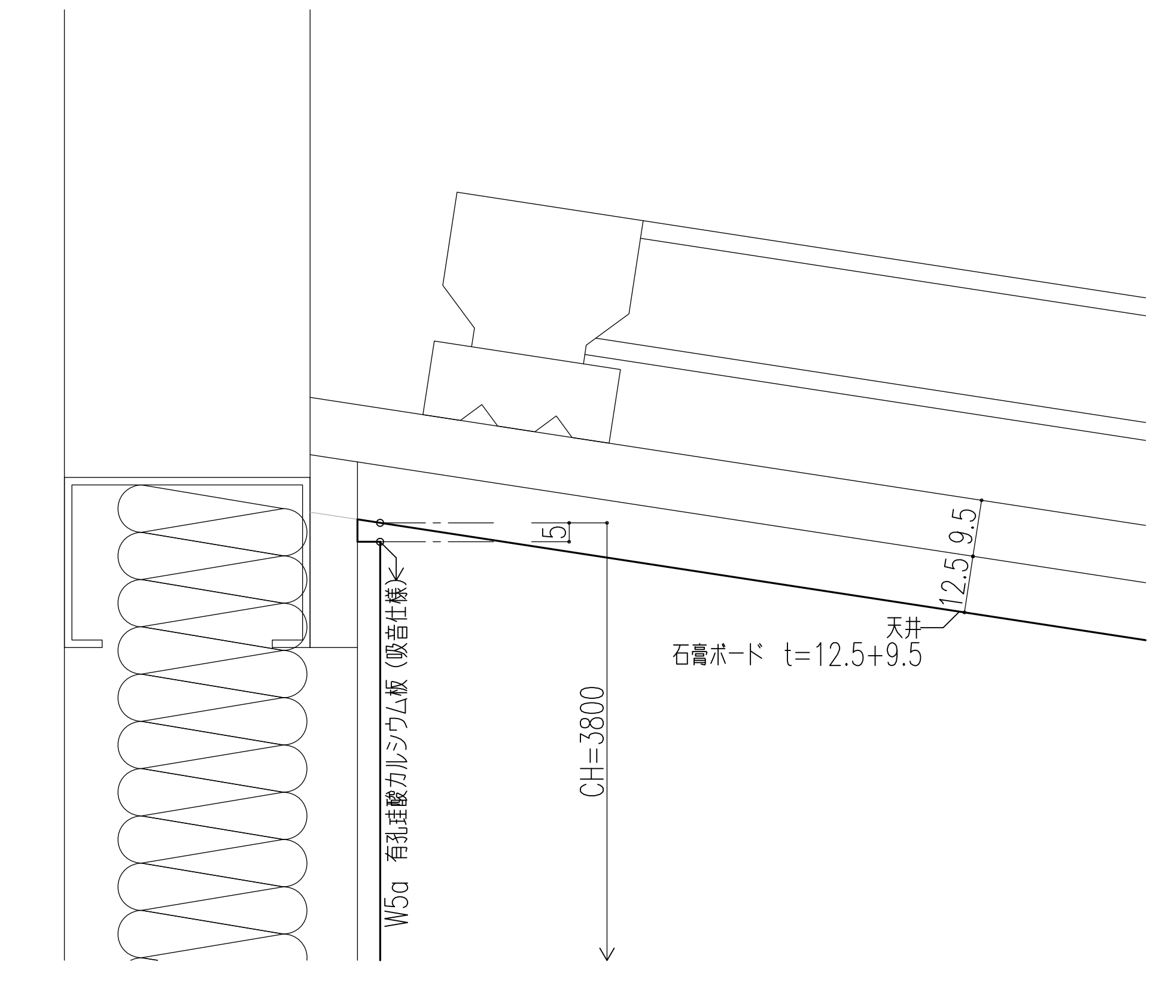
[練習室1展開図c 1:50]



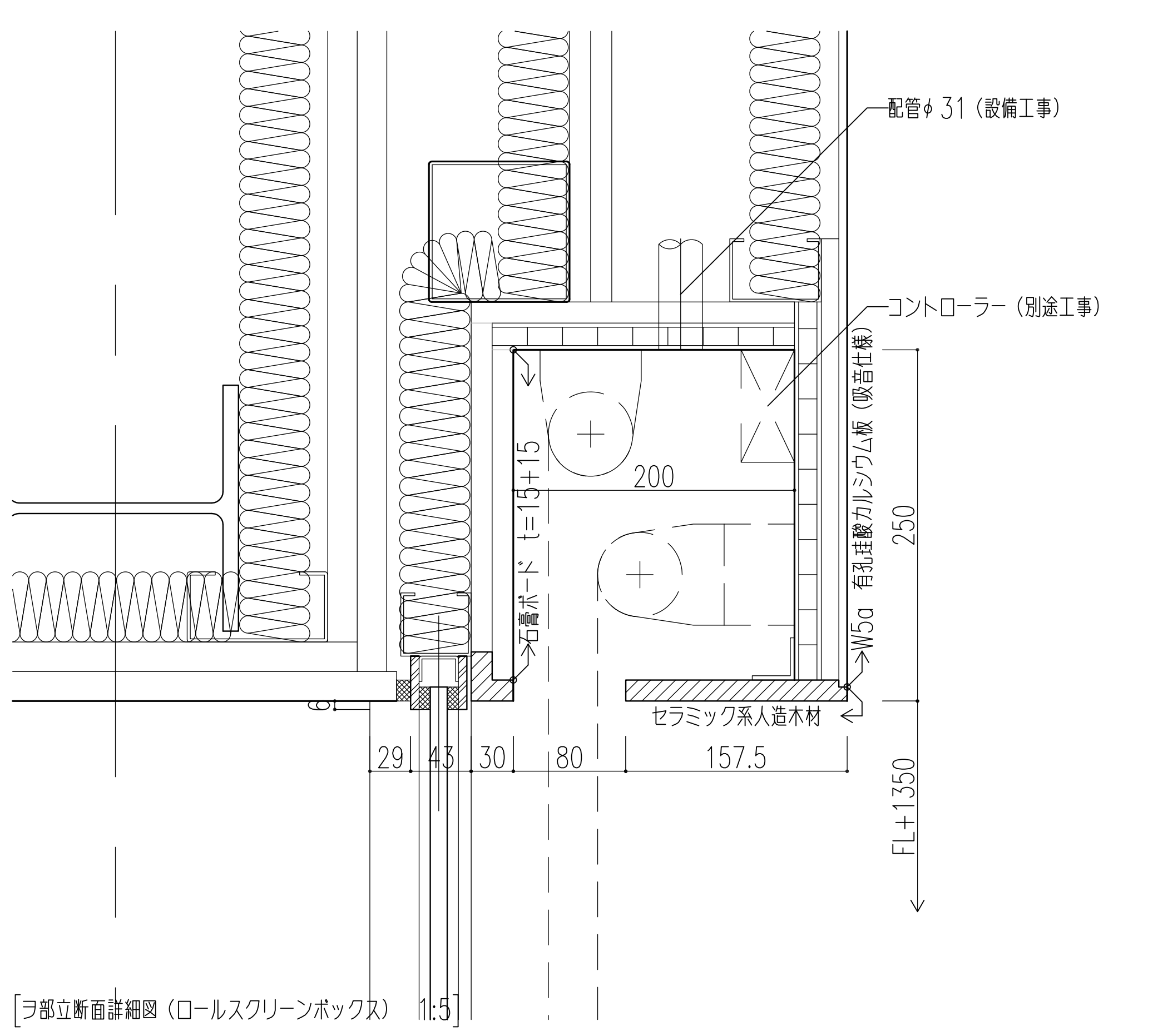
[練習室1展開図d 1:50]



[ヲ部立断面詳細図 1:10]

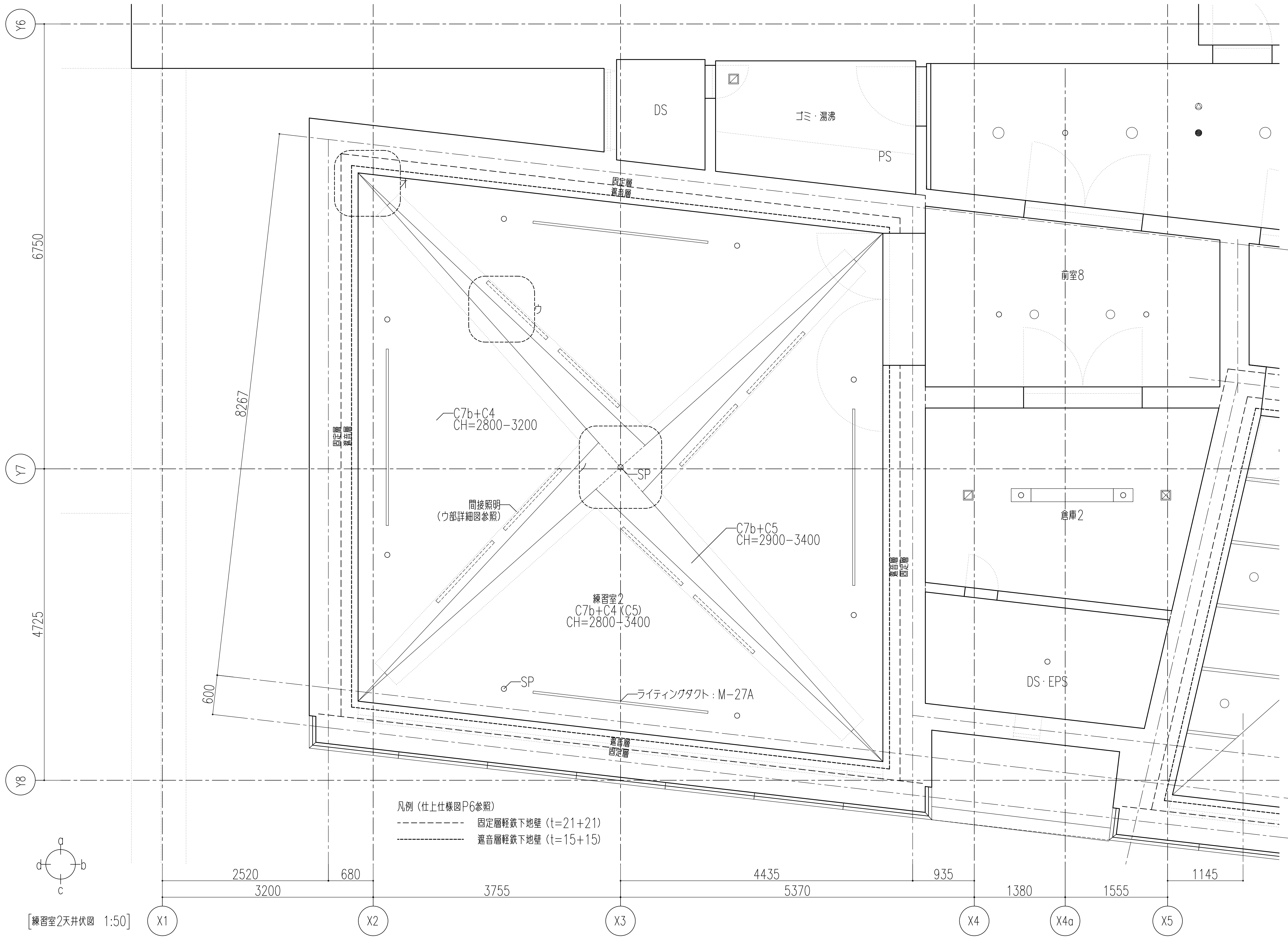


[ヲ部立断面詳細図（壁・天井入隅部） 1:2]

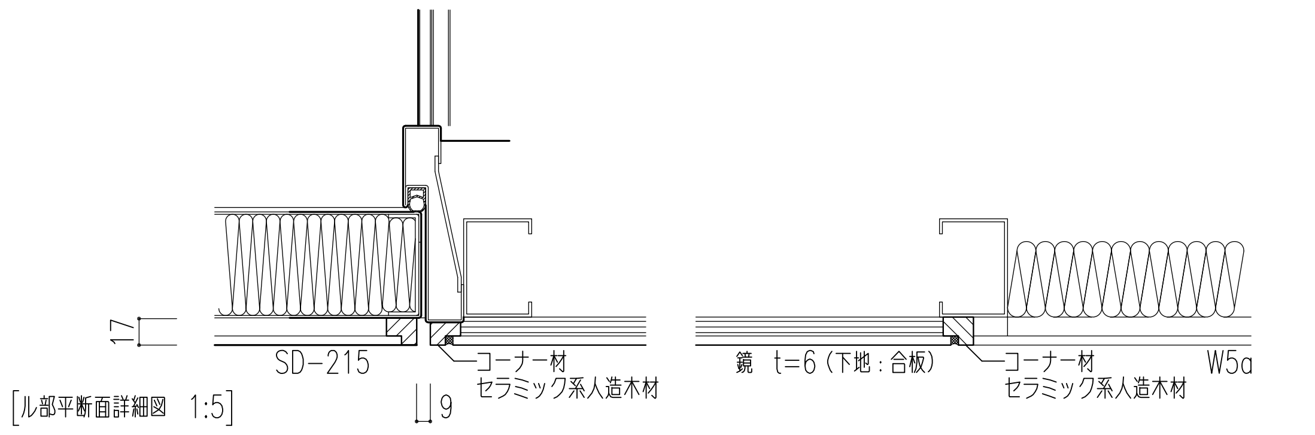


[ヲ部立断面詳細図（ロールスクリーンボックス） 1:5]

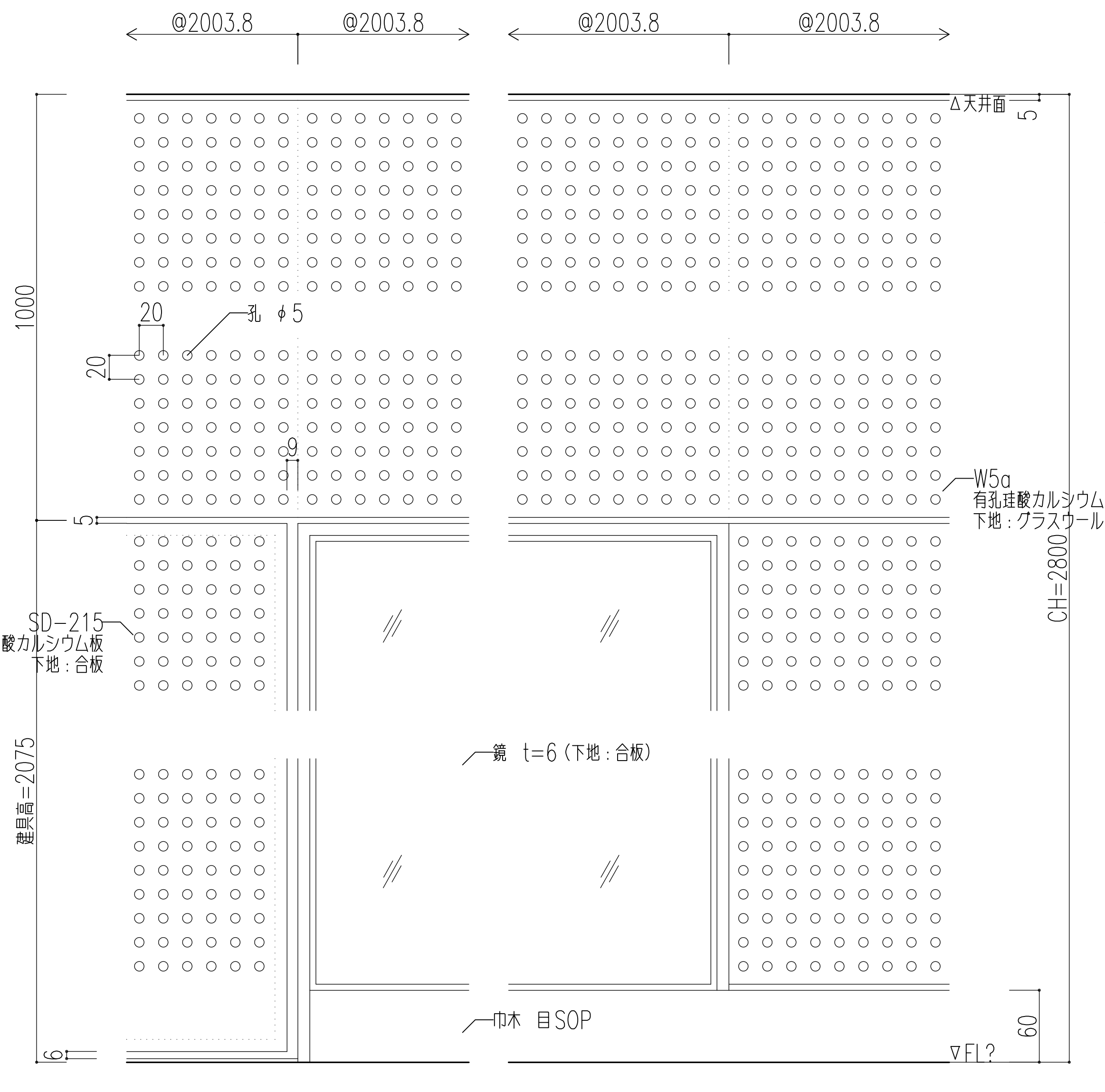
工事名称				年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）		株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図4 練習室1	1:50 1:20 1:10 1:5	A59n-60Det-2F02	A-59n



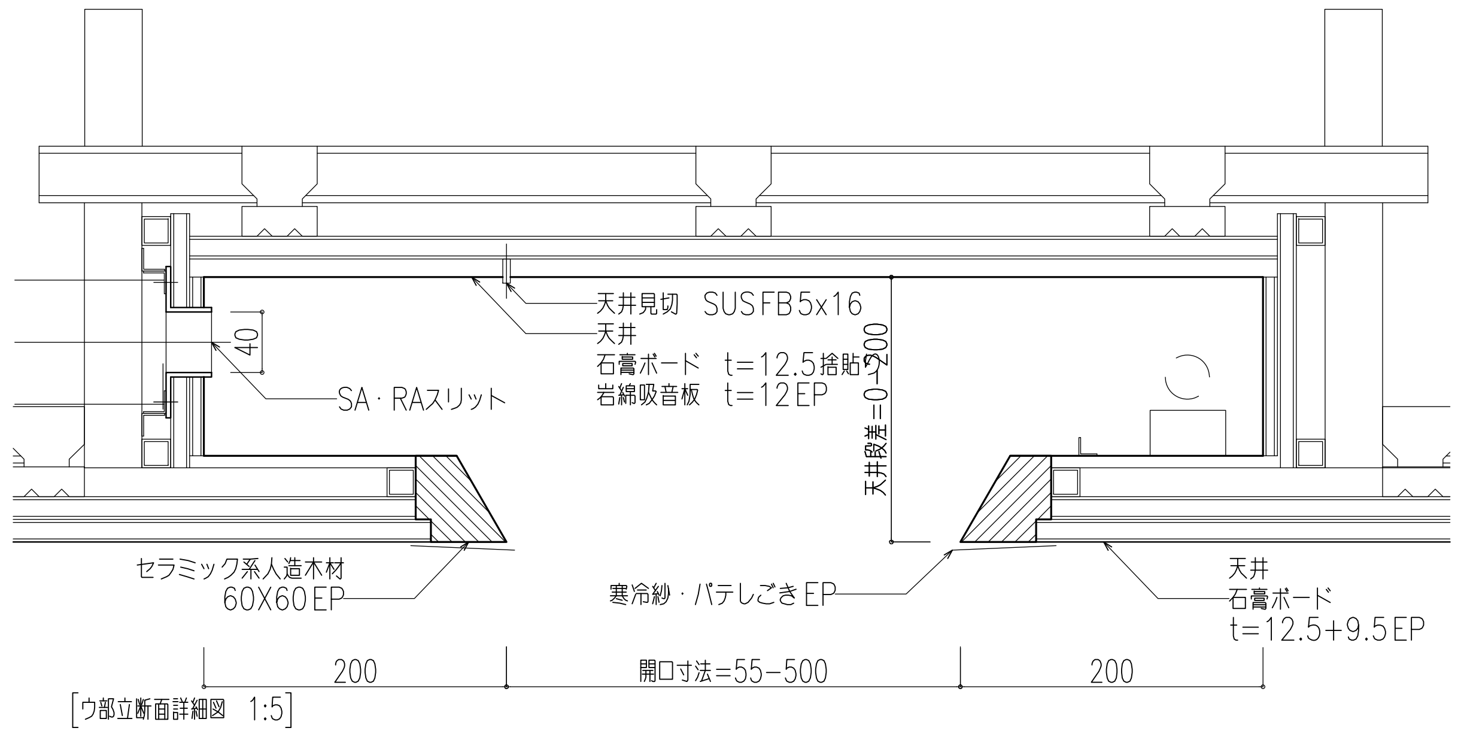
[練習室2天井伏図　1:50]



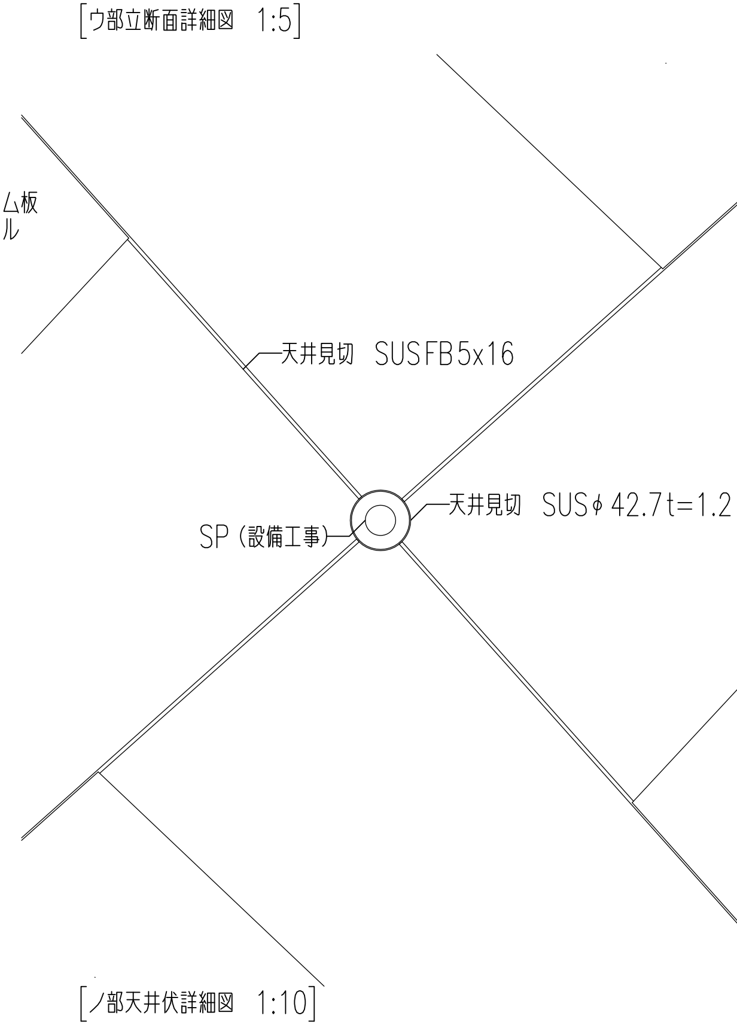
[ル部平断面詳細図　1:5]



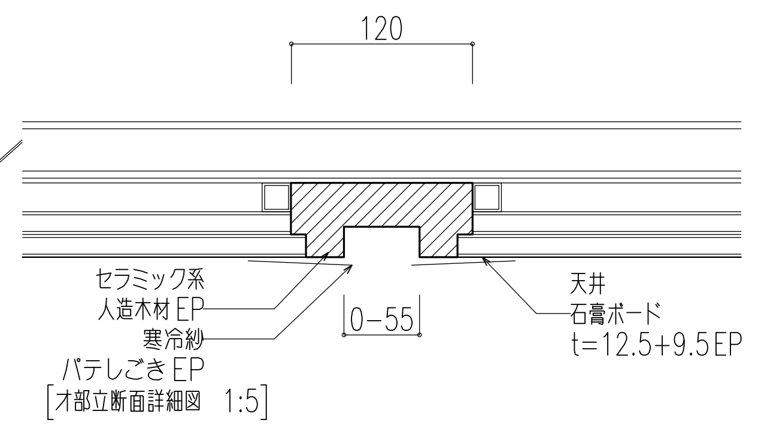
[ク部立面詳細図　1:5]



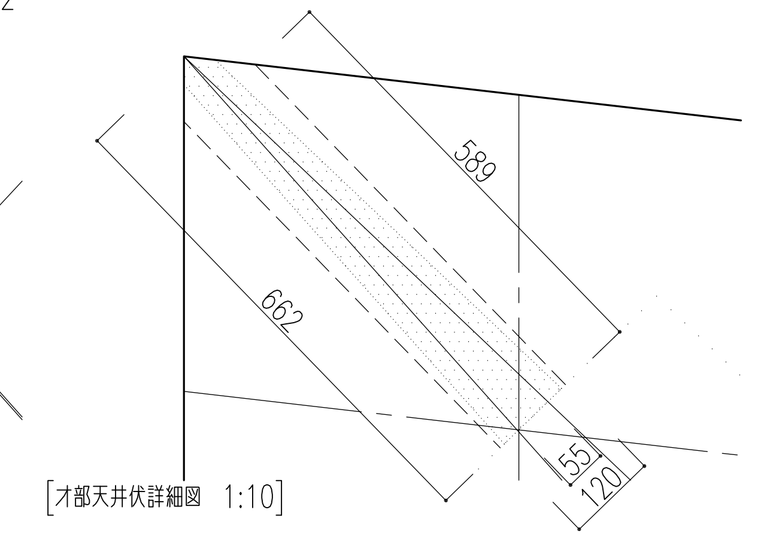
[ウ部立面断面詳細図　1:5]



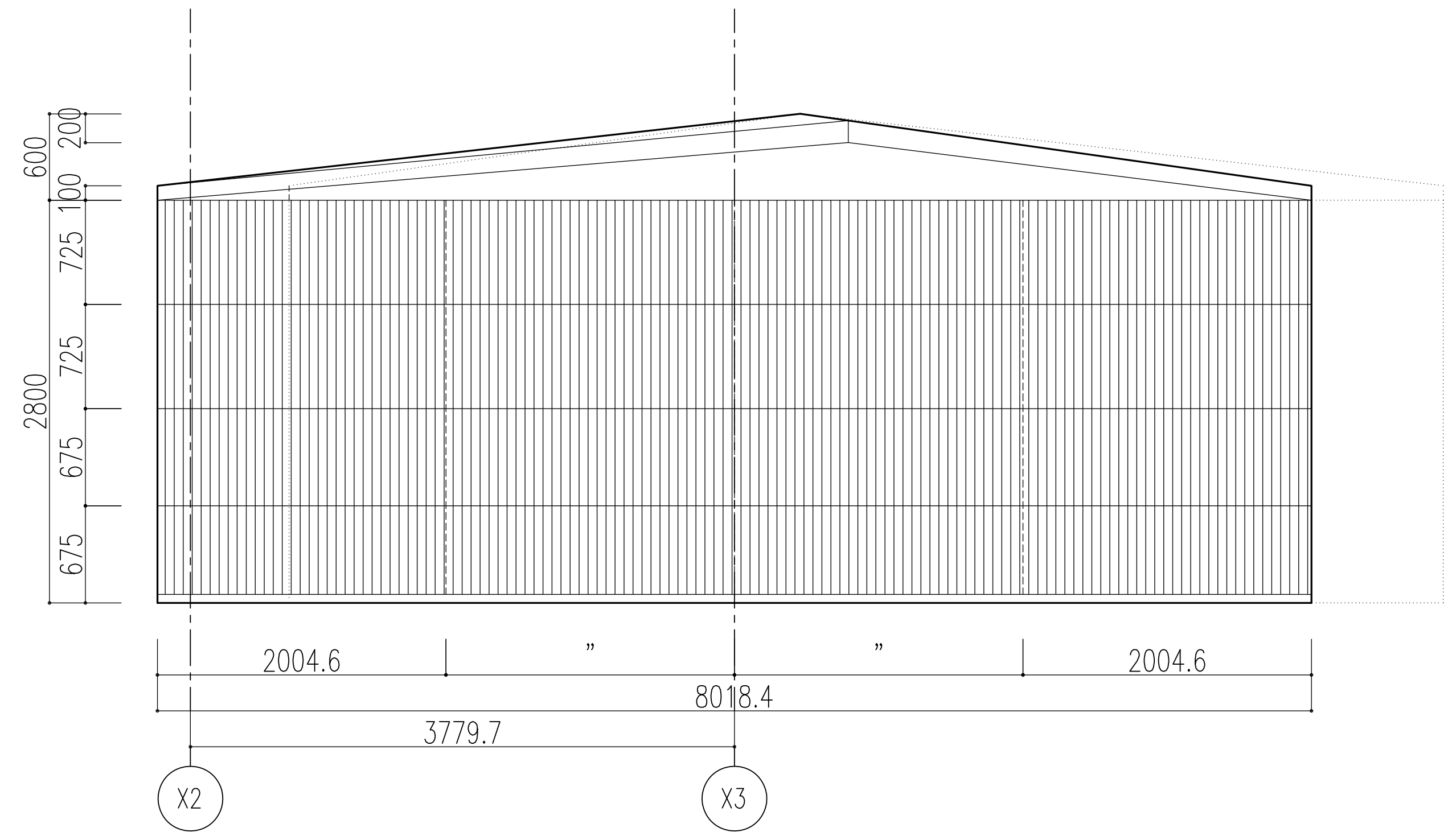
[ノ部天井伏詳細図　1:10]



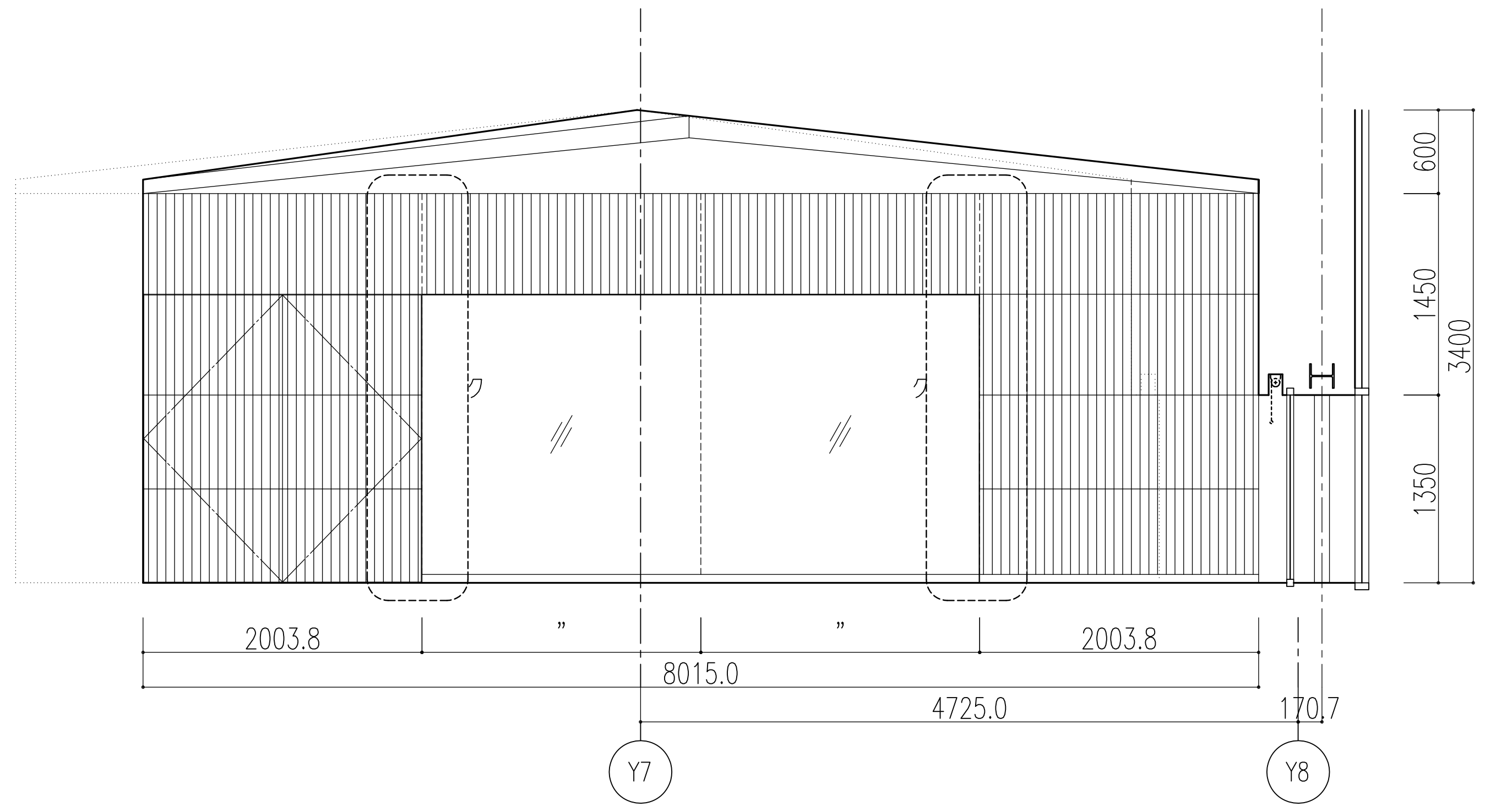
[オ部立面断面詳細図　1:5]



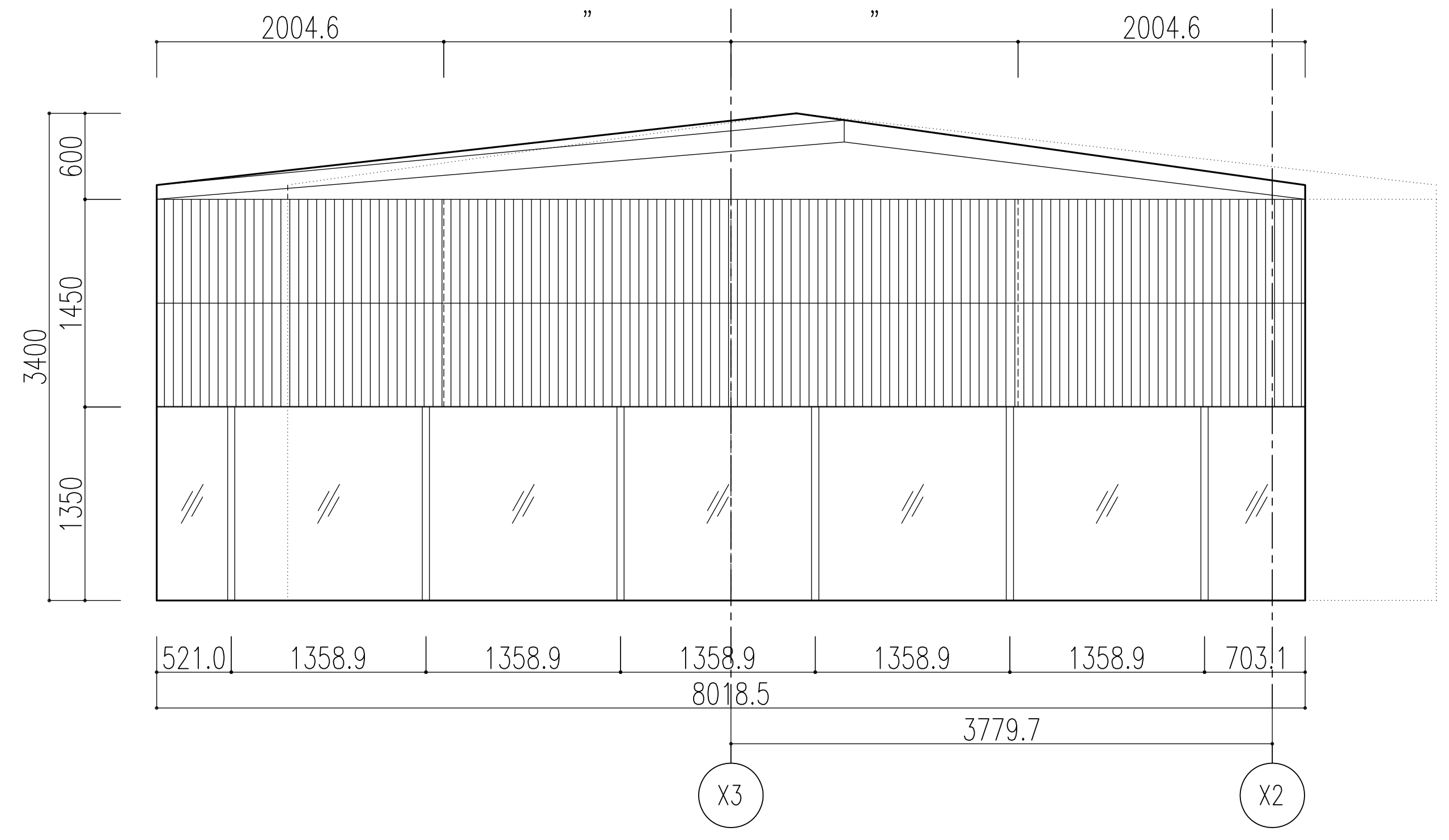
[オ部天井伏詳細図　1:10]



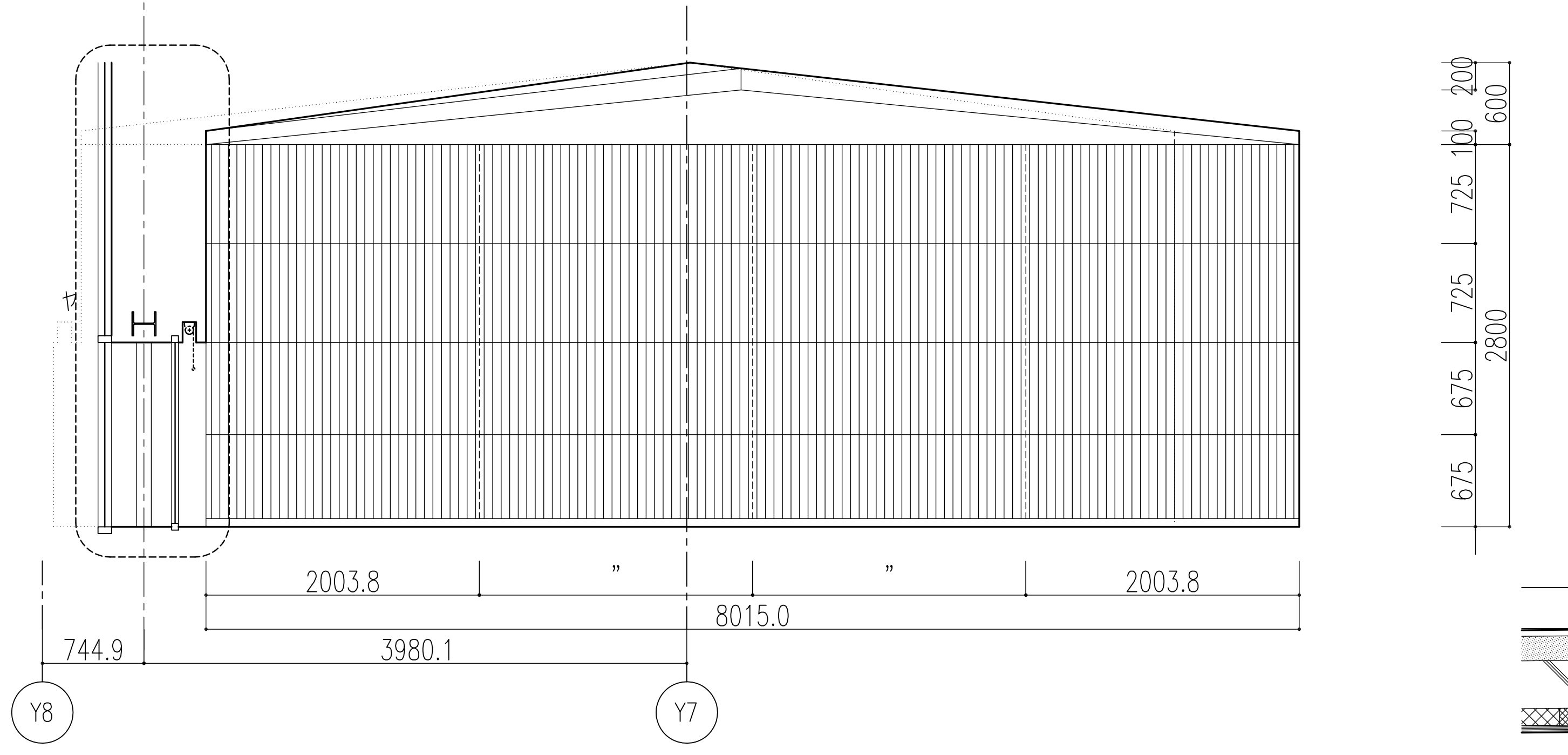
[練習室2展開図a　1:50]



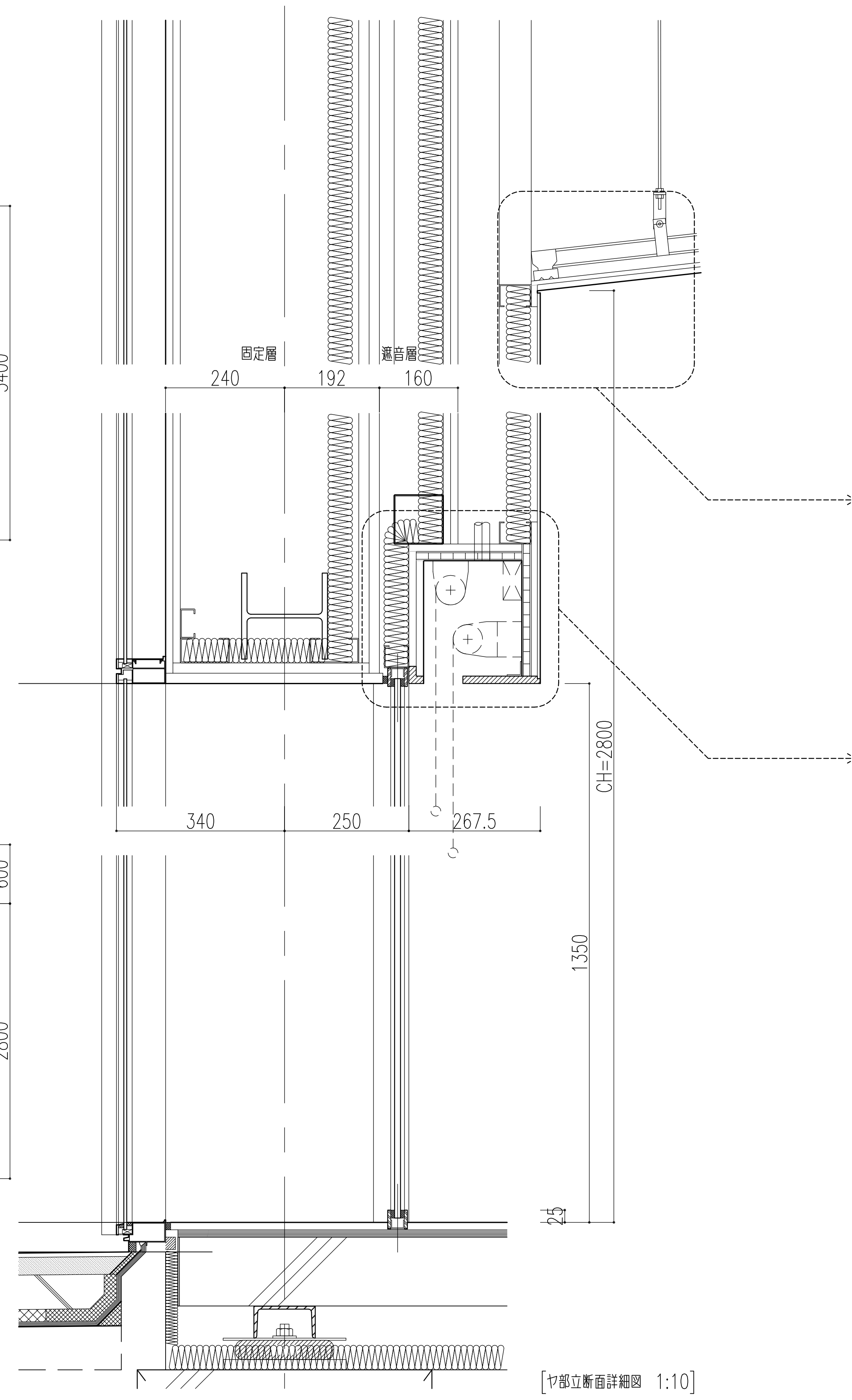
[練習室2展開図b　1:50]



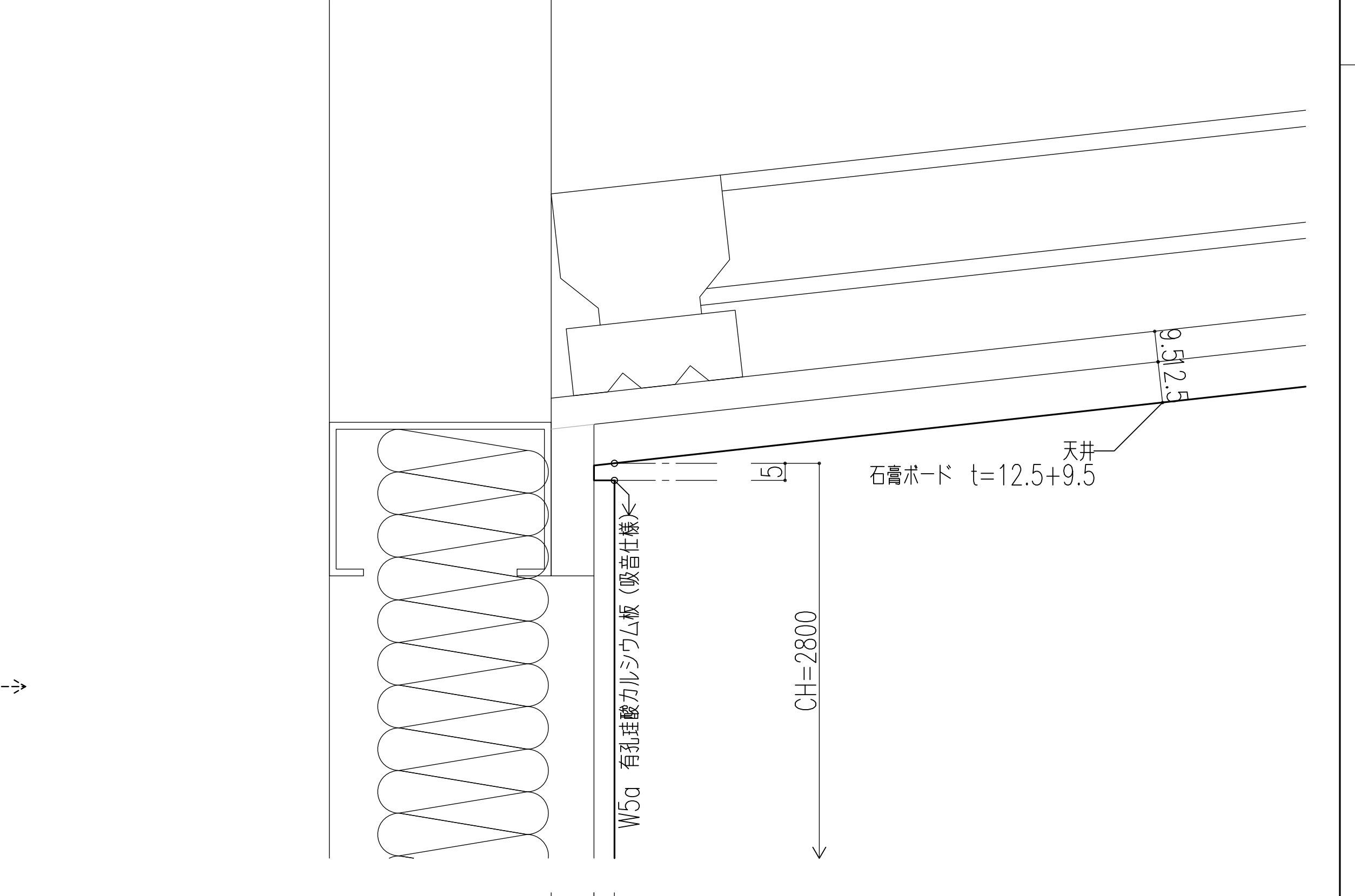
[練習室2展開図c　1:50]



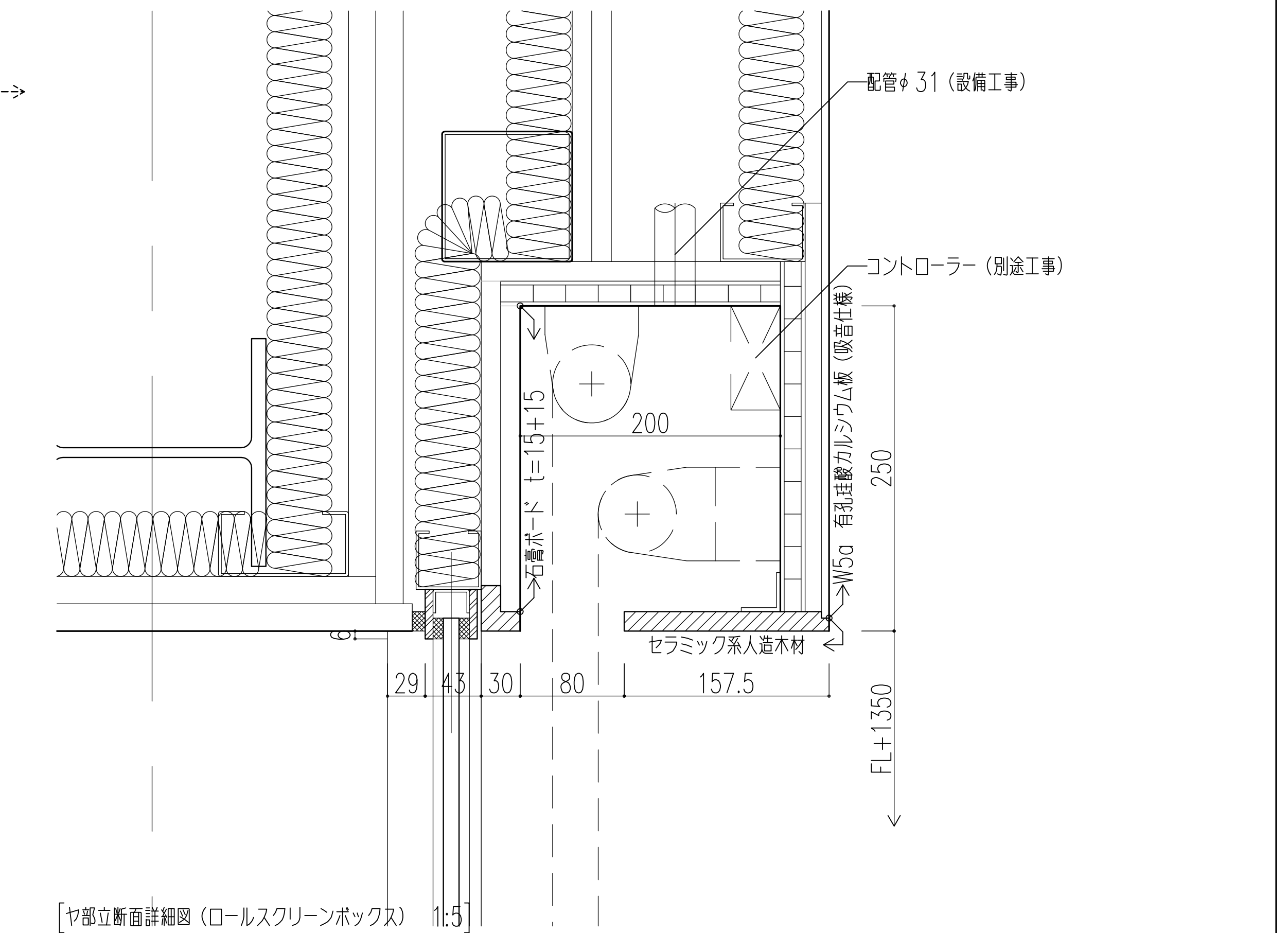
[練習室2展開図d　1:50]



[ヤ部立面断面詳細図　1:10]



[ヤ部立面断面詳細図（壁・天井入隅部）　1:2]　12.56



[ヤ部立面断面詳細図（ロールスクリーンボックス）　1:5]

工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）

株式会社　槇総合計画事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦

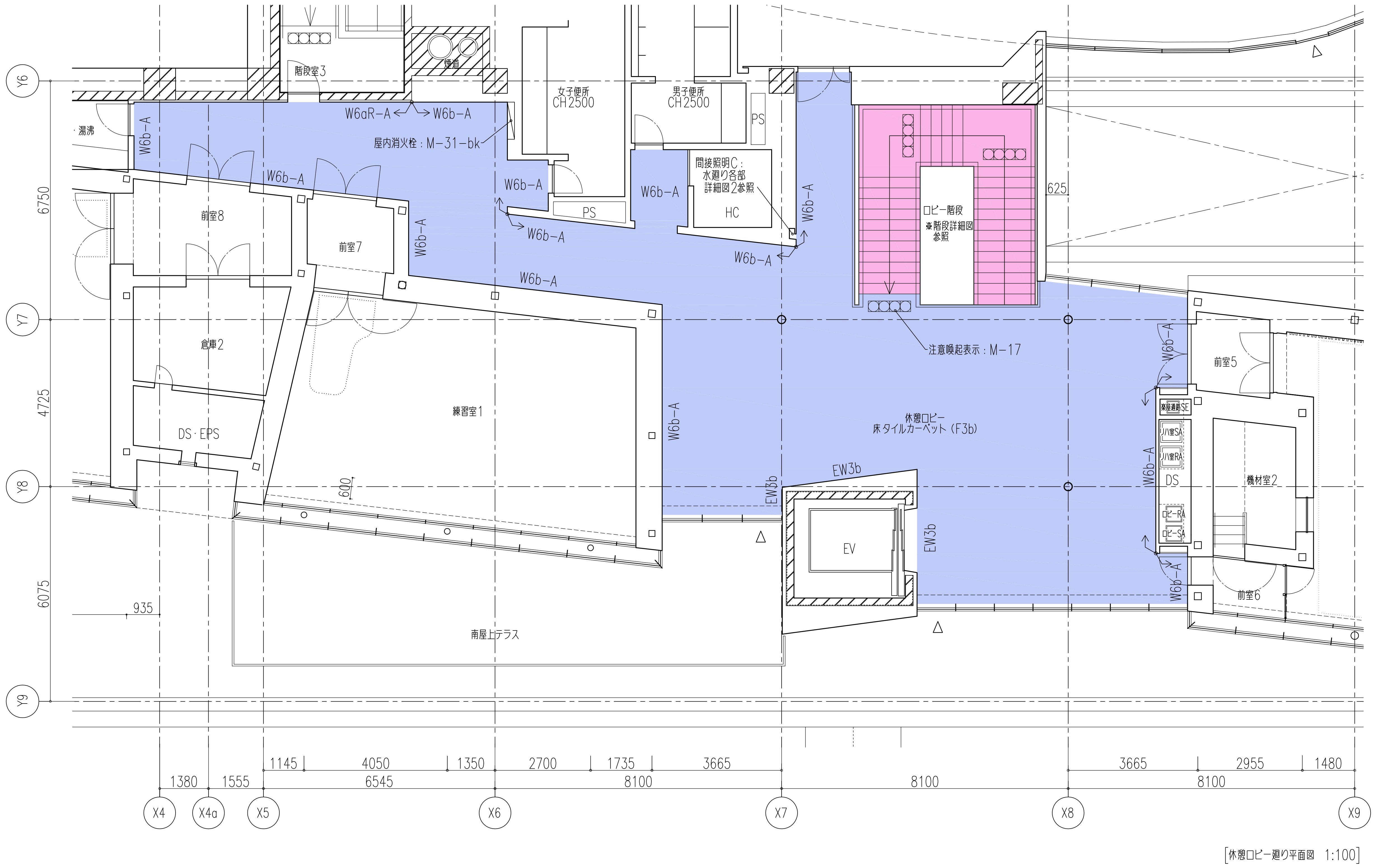
年月日
2005年 5月

図面名称
2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図5　練習室2

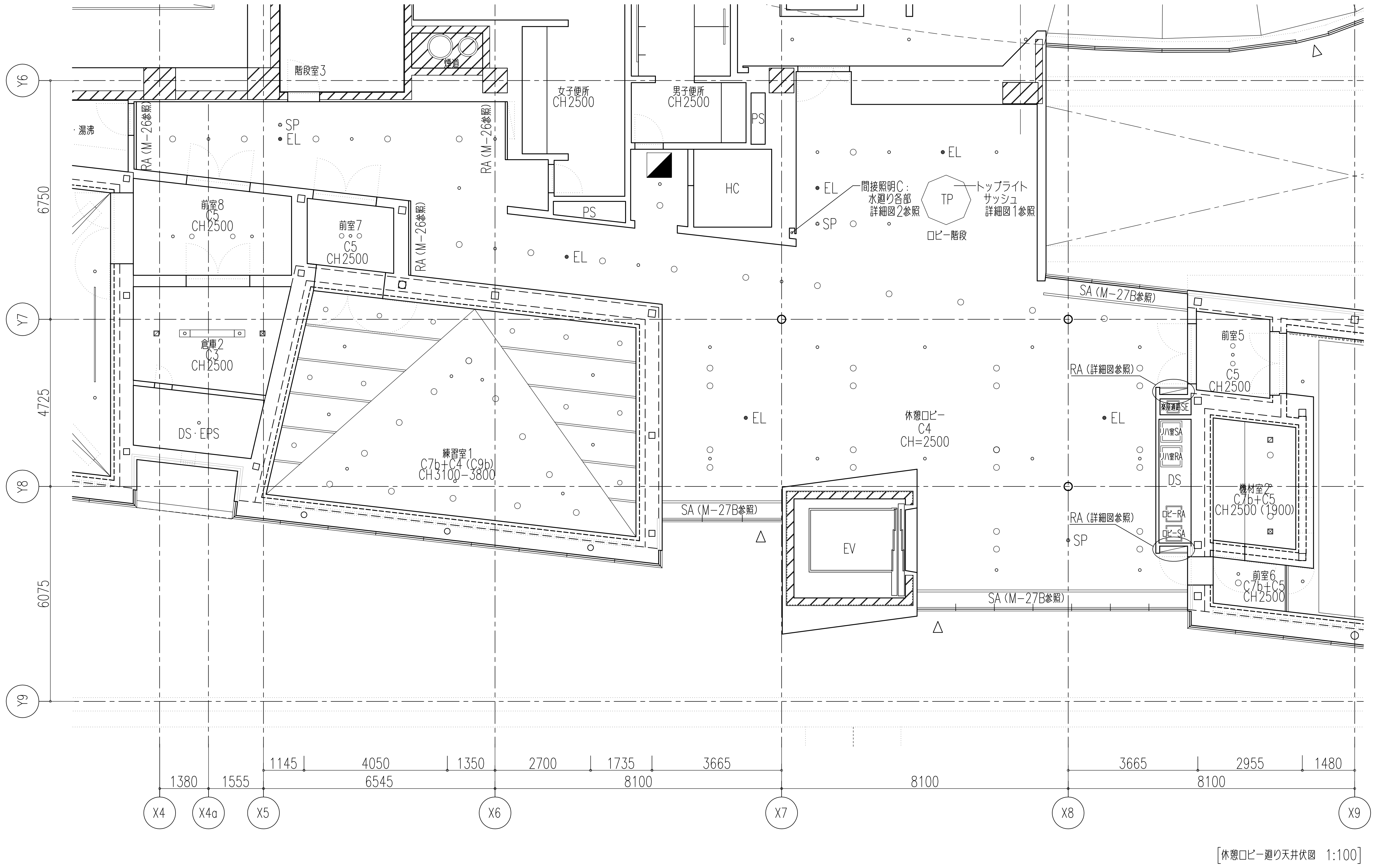
縮尺
1:50　1:20
1:10　1:5

ファイル名称
A59n-60Det-2F02

図面番号
A-60

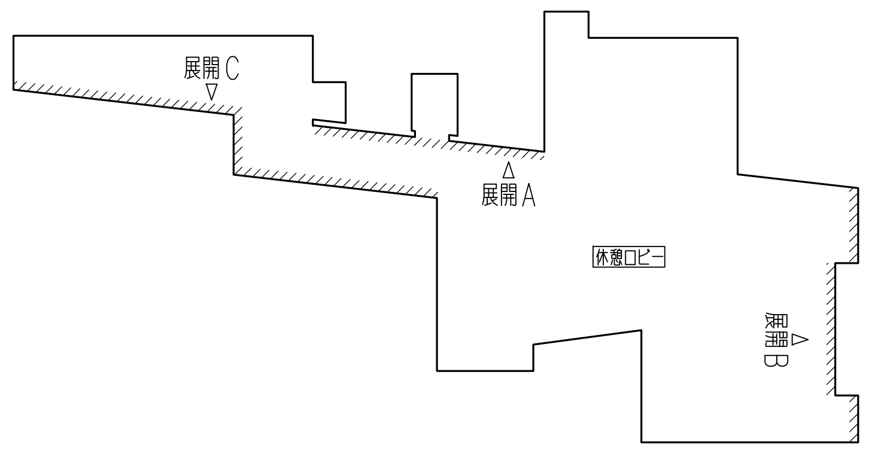


[休憩ロビー廻り平面図　1:100]



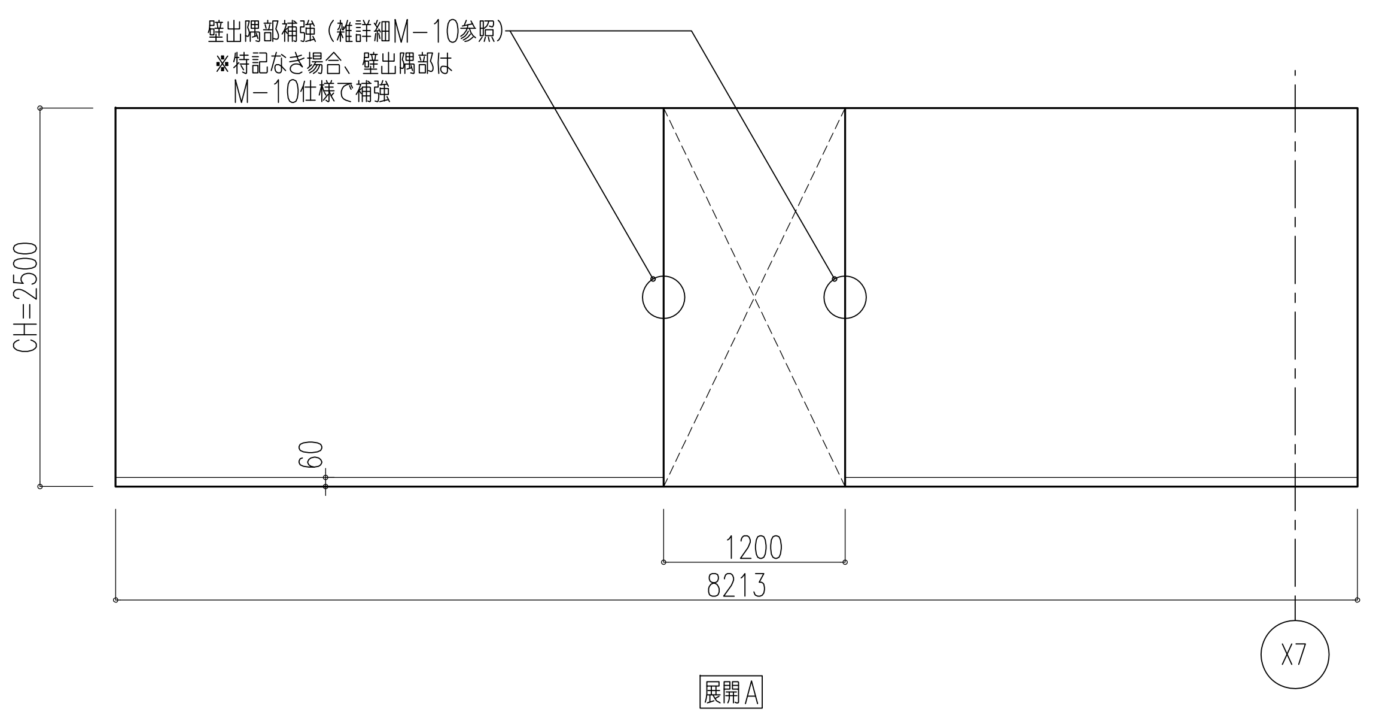
[休憩ロビー廻り天井伏図　1:100]

設備器具（すべて別途工事）	
記号	器具名称
◪	排煙口
○	ダウンライト
●EL	非常用照明
◎SP	スピーカー
○	スプリンクラー

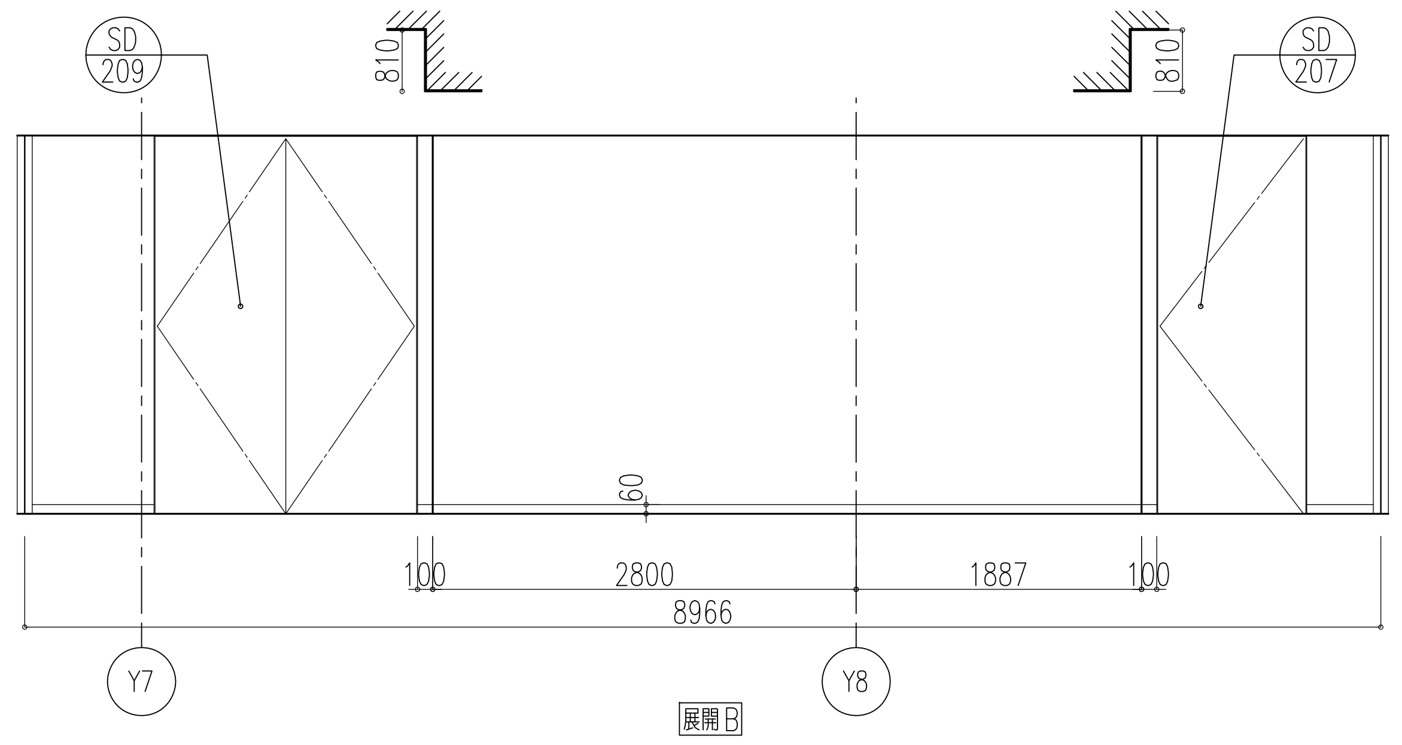


キープラン

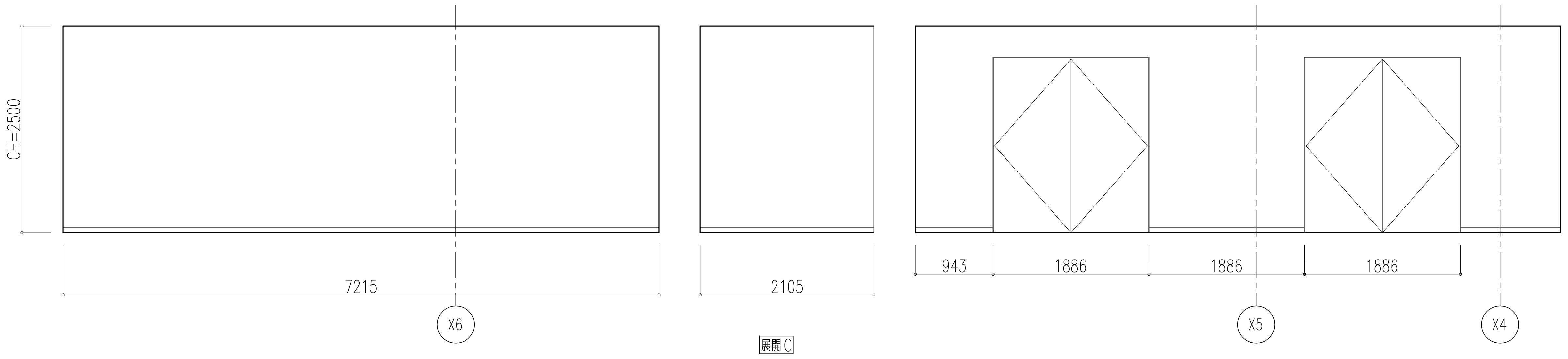
2F：	休憩ロビー仕上仕様　　CH=2500
天井	PB12.5+9.5tの上、EP−U
壁	PB12.5+9.5tの上、EP−U
巾木	木SOP,H60
床	タイルカーペット
その他	



展開A

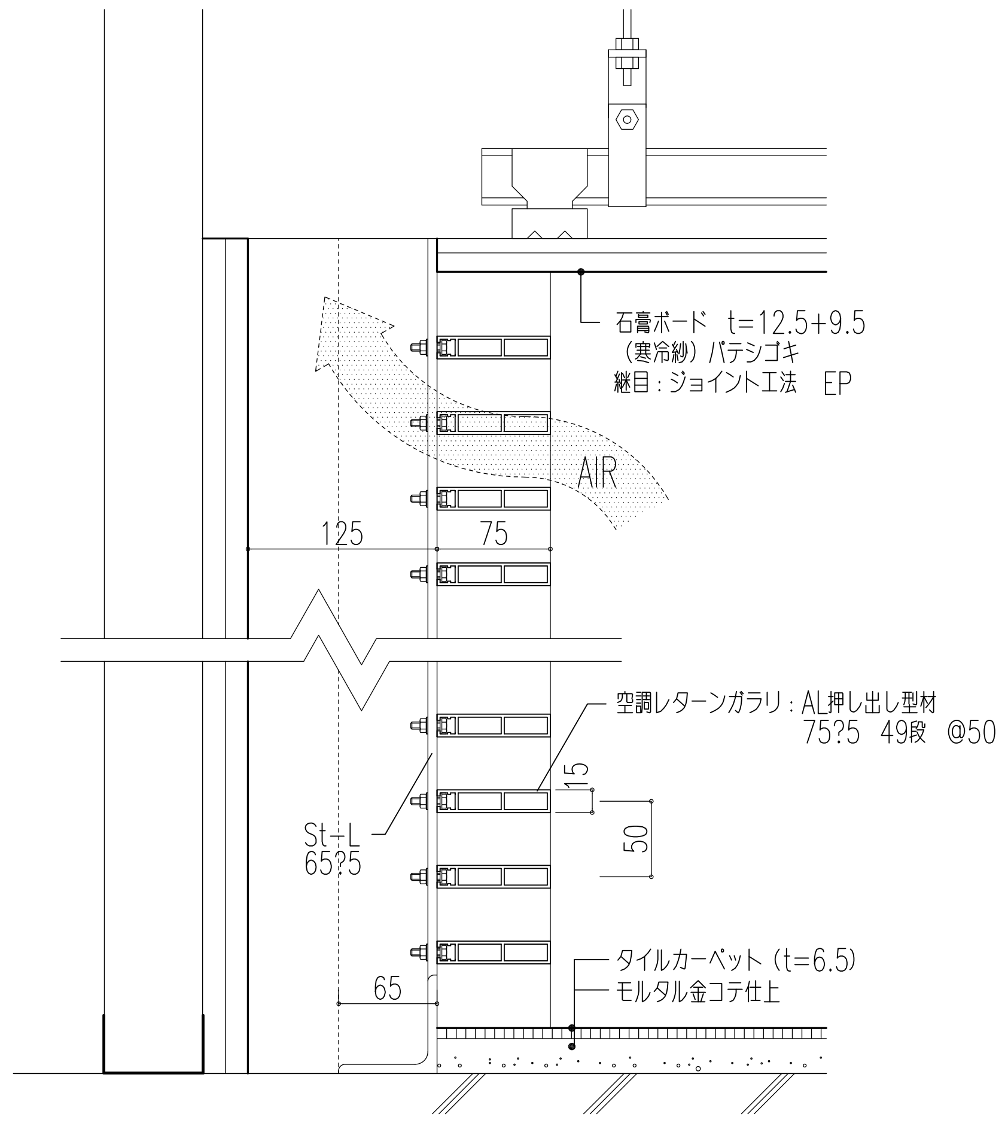


展開B

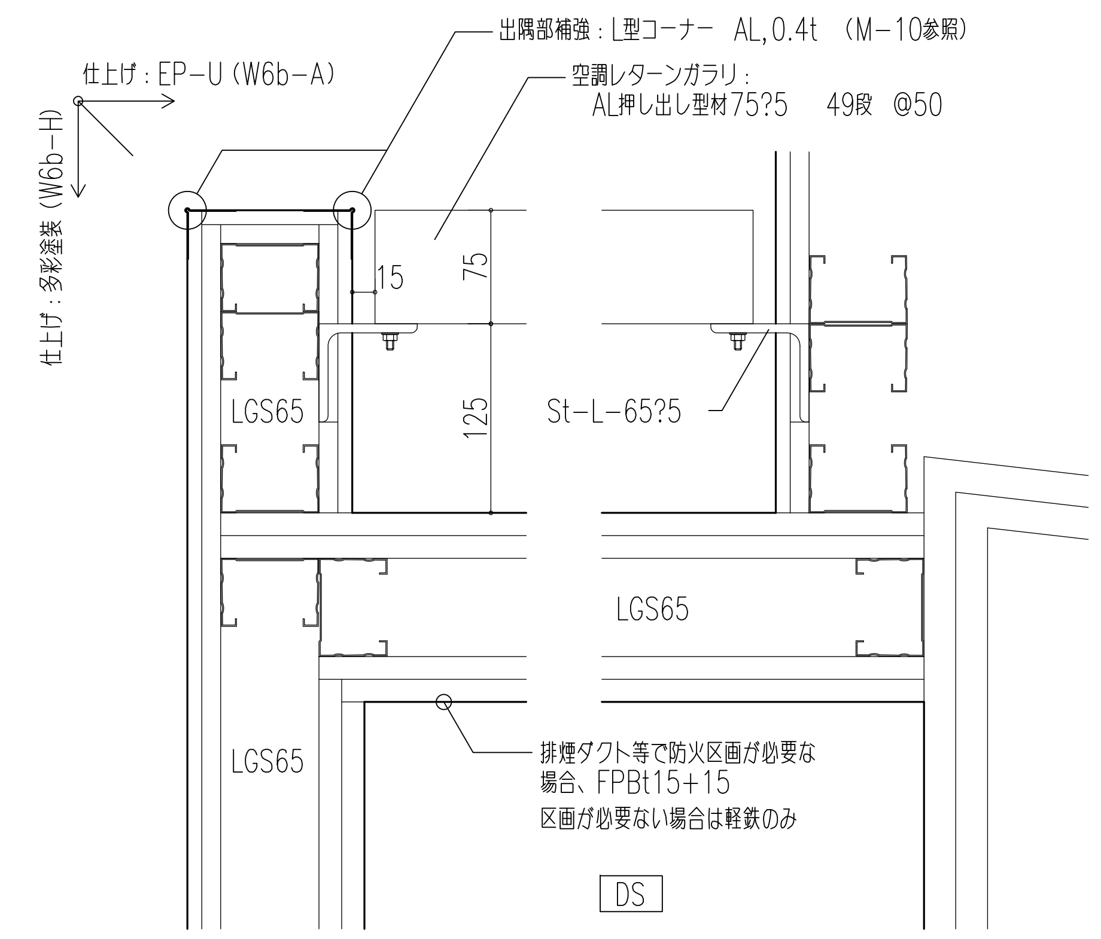


展開C

壁　レターンガラリ詳細図



断面詳細図　1/5


出隅部補強：L型コーナー　AL,0.4t　（M−10参照）
仕上げ：EP−U（W6b−A）
空調レターンガラリ：
AL押し出し型材75?5　49段　@50
仕上げ：多彩塗装（W6b−H）
15
75
125
LGS65
St−L−65?5
LGS65
LGS65
排煙ダクト等で防火区画が必要な
場合、FPBt15+15
区画が必要ない場合は軽鉄のみ
DS

平面詳細図　1/5

工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）

株式会社　槇総合計画事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録　第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦

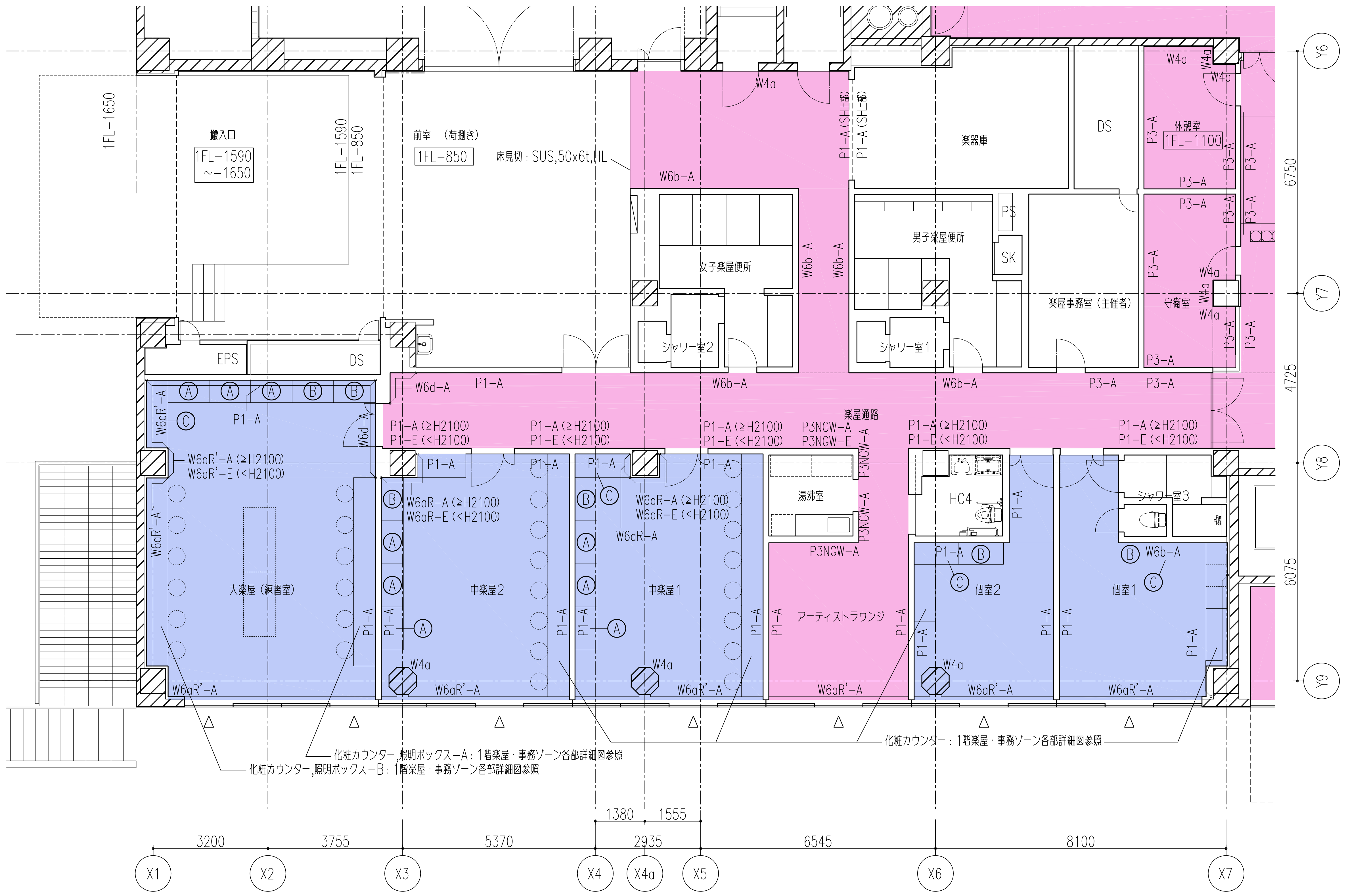
年月日
2005年 5月

図面名称
2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図6　ロビー

縮尺
1:100
1:50

ファイル名称
A61Det−2F03_070906

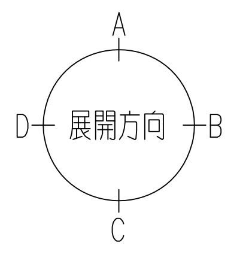
図面番号
A−61



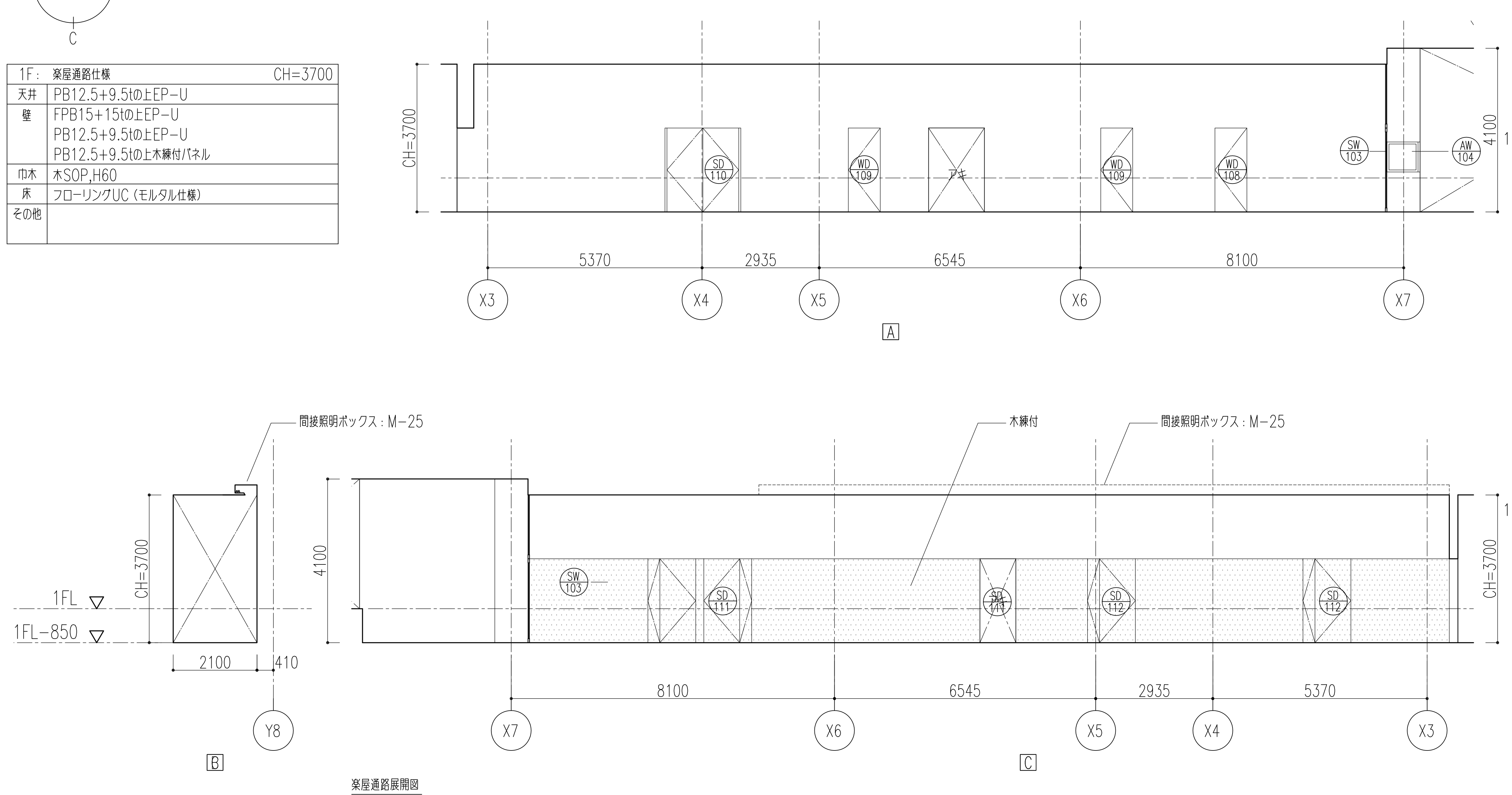
平面詳細図中 Ⓐ は造作クローゼットA, Ⓑ は造作クローゼットB, Ⓒ は造作クローゼットCとし、
それぞれ1階楽屋・事務ゾーン各部詳細参照のこと

※DS内部の仕上げは特記ない限りRC打放しC種、若しくはスタッド露わしとする
各所FLは特記ない限り1FL−850とする

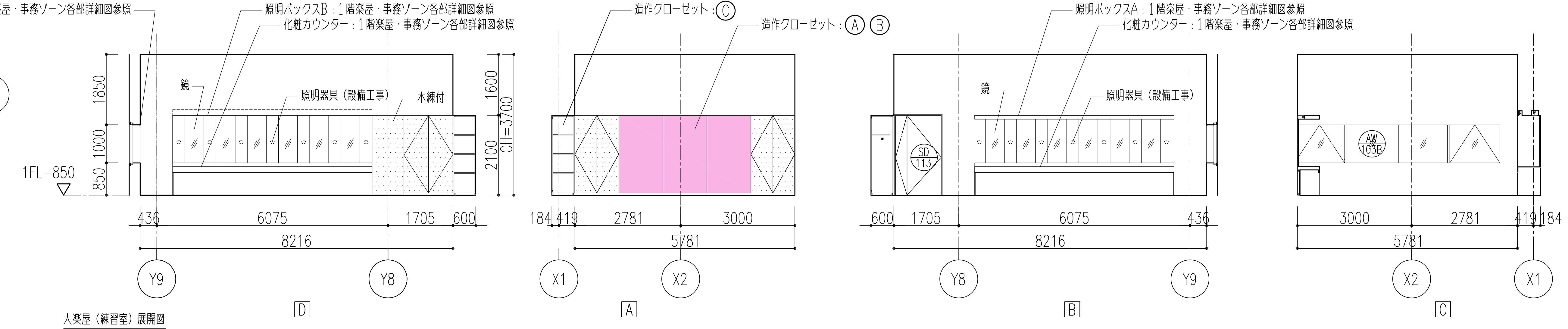
平面詳細図



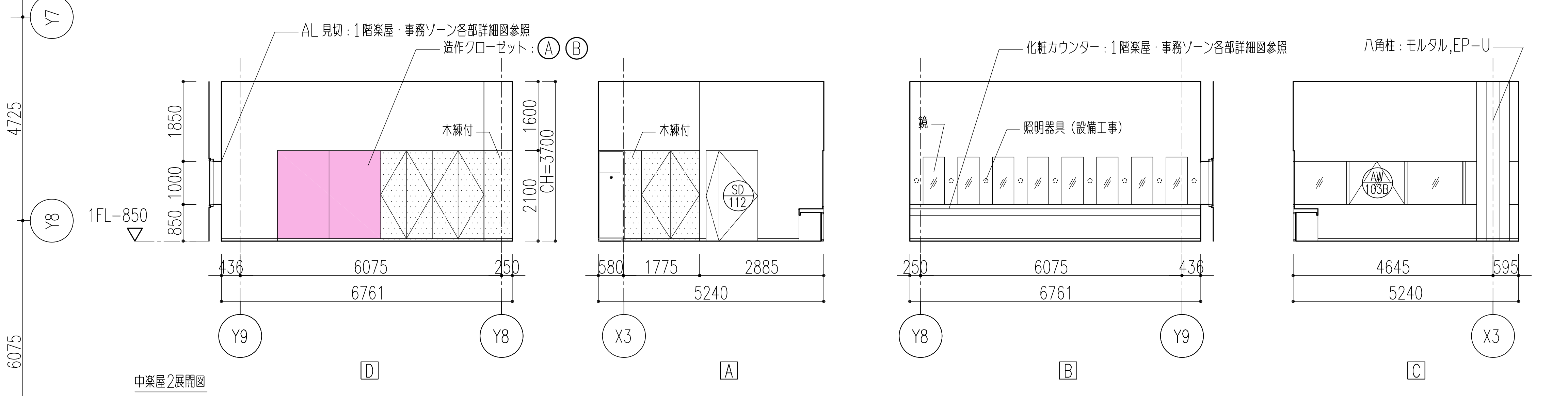
1F：　楽屋通路仕様	CH=3700
天井	PB12.5+9.5tの上EP−U
壁	FPB15+15tの上EP−U PB12.5+9.5tの上EP−U PB12.5+9.5tの上木練付パネル
巾木	木SOP,H60
床	フローリングUC（モルタル仕様）
その他	



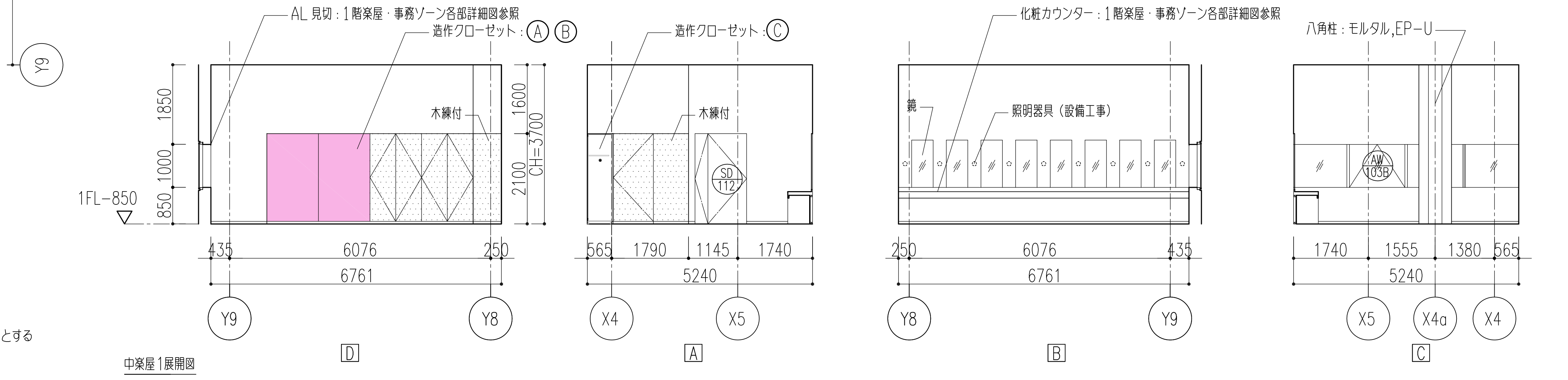
楽屋通路展開図


AL見切：1階楽屋・事務ゾーン各部詳細図参照
照明ボックスB：1階楽屋・事務ゾーン各部詳細図参照
化粧カウンター：1階楽屋・事務ゾーン各部詳細図参照
造作クローゼット：Ⓒ
造作クローゼット：Ⓐ Ⓑ
照明ボックスA：1階楽屋・事務ゾーン各部詳細図参照
化粧カウンター：1階楽屋・事務ゾーン各部詳細図参照
照明器具（設備工事）
木練付
1FL−850
D
A
B
C

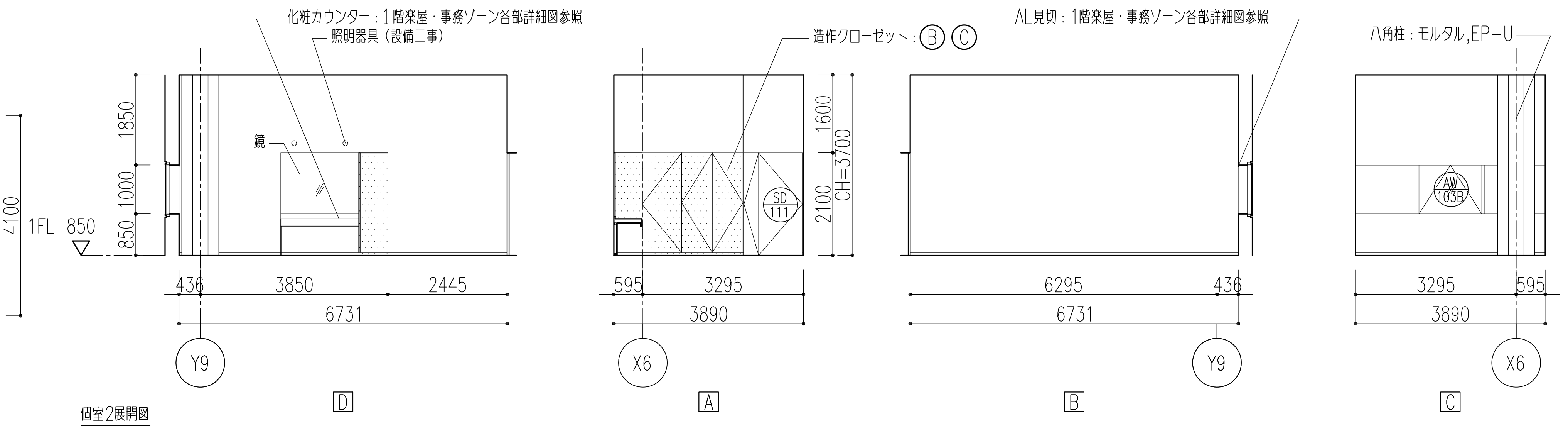
大楽屋（練習室）展開図


AL見切：1階楽屋・事務ゾーン各部詳細図参照
造作クローゼット：Ⓐ Ⓑ
化粧カウンター：1階楽屋・事務ゾーン各部詳細図参照
八角柱：モルタル,EP−U
照明器具（設備工事）
木練付
1FL−850
D
A
B
C

中楽屋2展開図



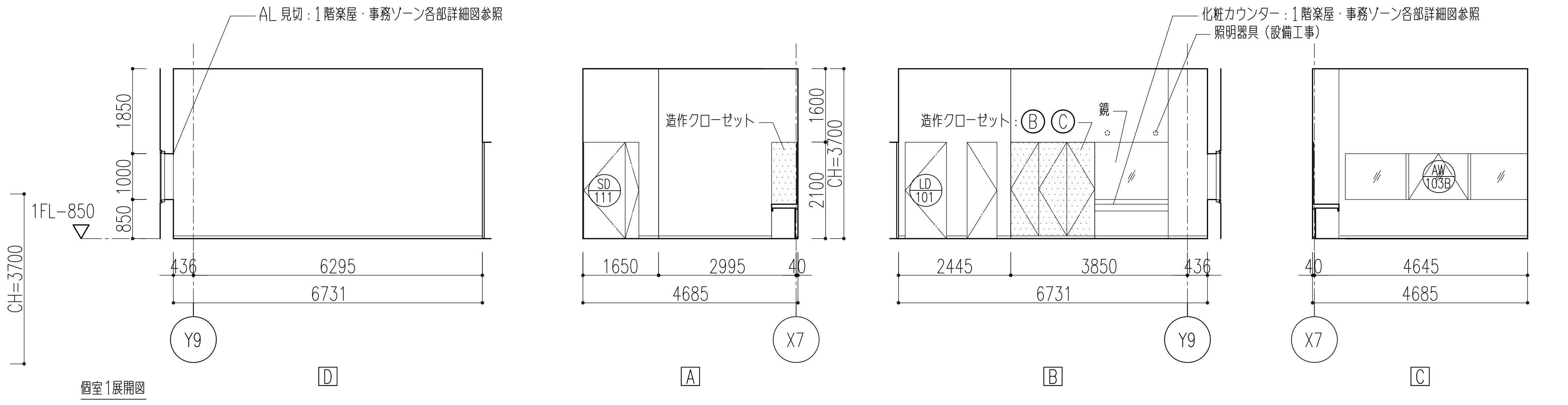
中楽屋1展開図


化粧カウンター：1階楽屋・事務ゾーン各部詳細図参照
照明器具（設備工事）
造作クローゼット：Ⓑ Ⓒ
AL見切：1階楽屋・事務ゾーン各部詳細図参照
八角柱：モルタル,EP−U
1FL−850
D
A
B
C

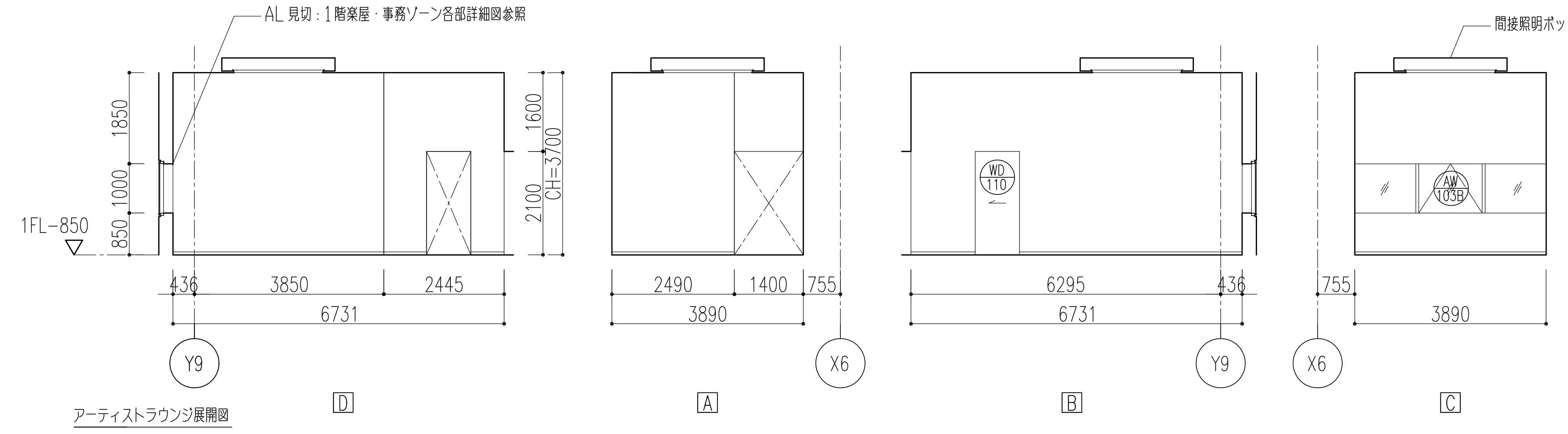
個室2展開図

1F：　大楽屋,中楽屋,個室仕様	CH=3700
天井	岩綿吸音板
壁	FPB15+15tの上EP−U,一部木練付パネル 躯体壁部：PB12.5+9.5tの上EP−U
巾木	木SOP,H60
床	タイルカーペット
その他	

造作クローゼットは平面詳細図にて、タイプ Ⓐ，Ⓑ，Ⓒ 確認のうえ
1階楽屋・事務ゾーン各部詳細図参照のこと。


AL見切：1階楽屋・事務ゾーン各部詳細図参照
造作クローゼット
造作クローゼット Ⓑ Ⓒ
化粧カウンター：1階楽屋・事務ゾーン各部詳細図参照
照明器具（設備工事）
1FL−850
D
A
B
C

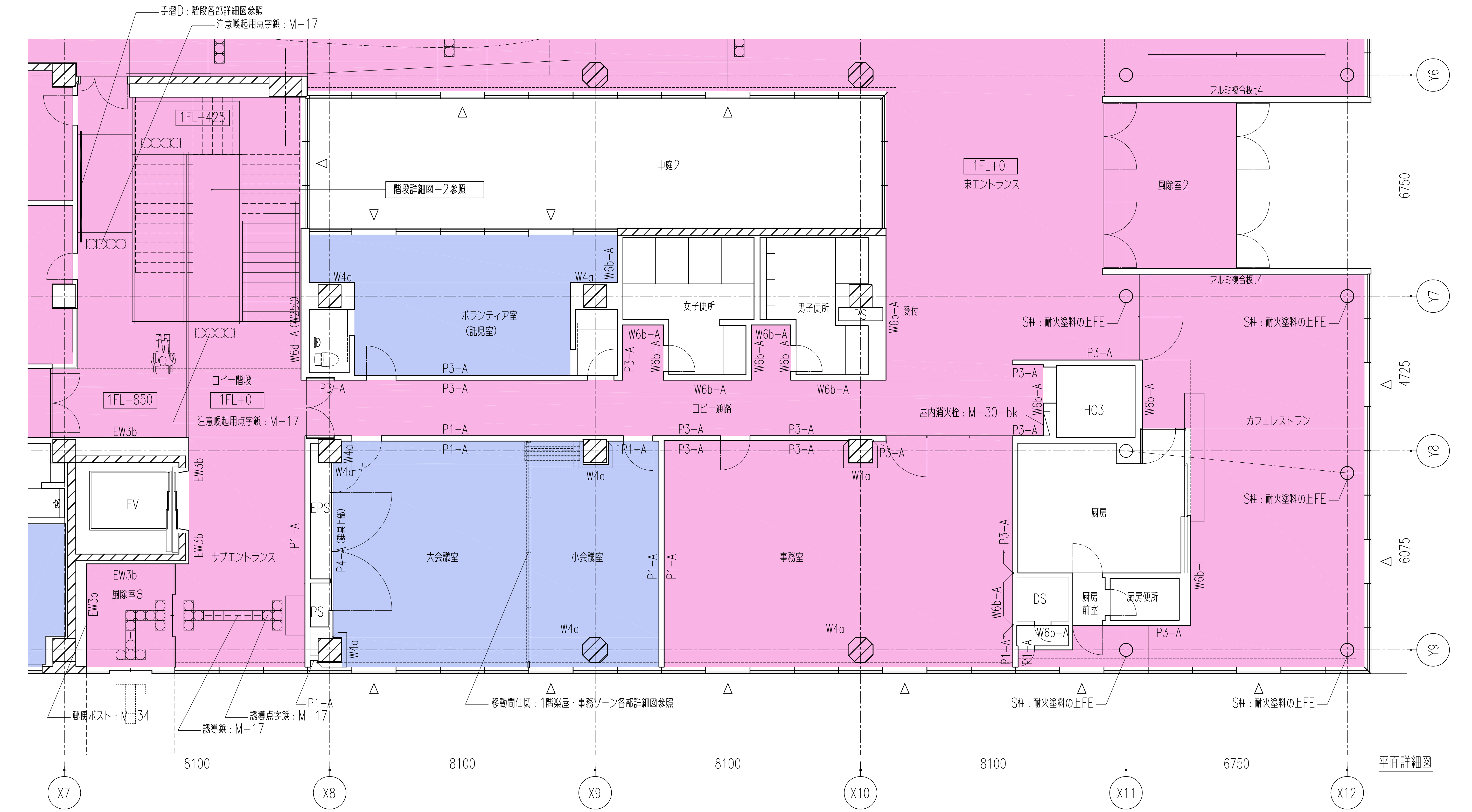
個室1展開図



アーティストラウンジ展開図

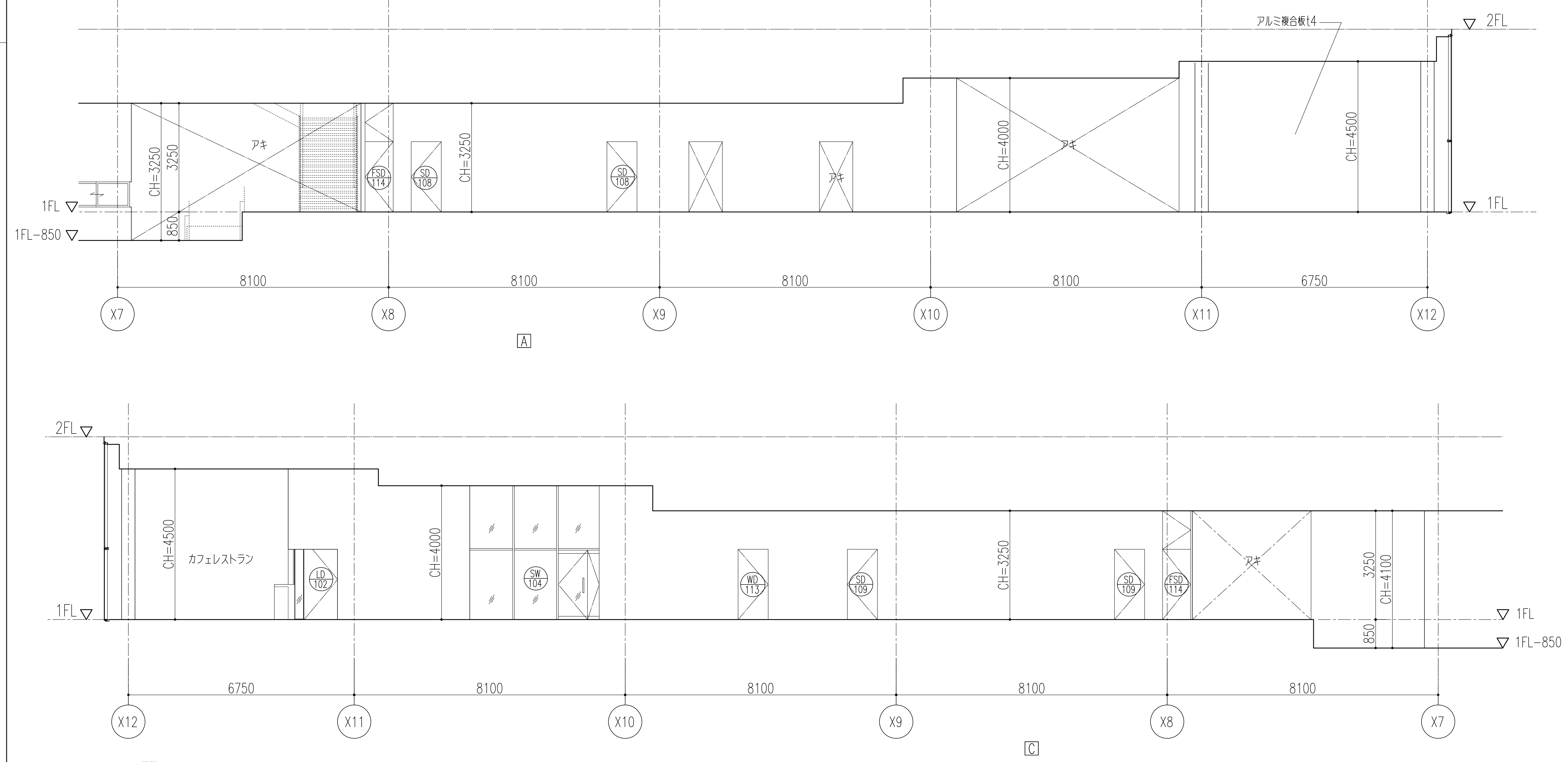
1F：　アーティストラウンジ仕様	CH=3700
天井	PB12.5+9.5のうえEP
壁	FPB15+15tの上EP−U 躯体壁部：PB12.5+9.5tの上EP−U
巾木	木SOP,H60
床	織じゅうたん
その他	

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	1階楽屋・事務ゾーン詳細図1　楽屋廻り	1:100	A62Det−1F01	A−62



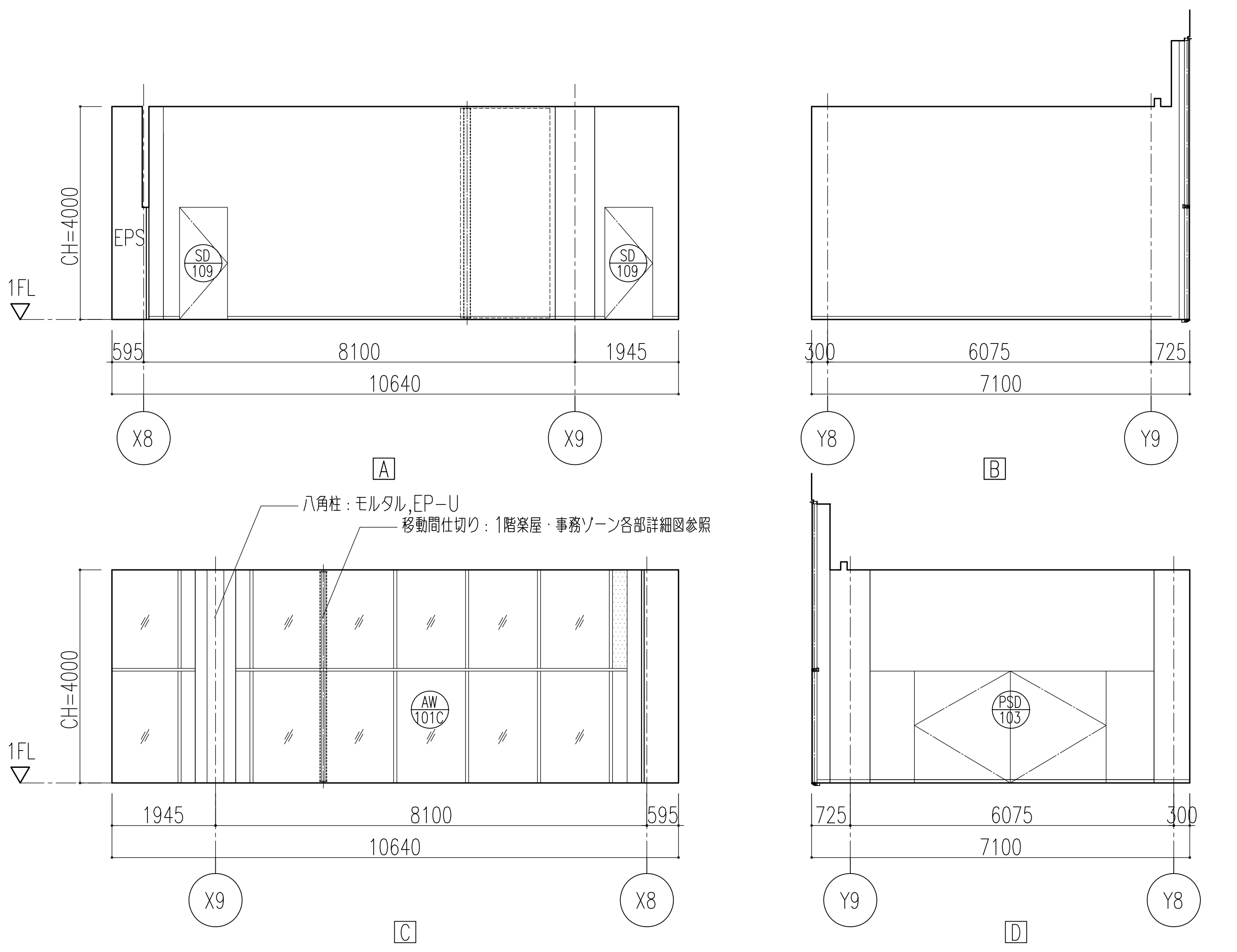
平面詳細図

※DS内部の仕上げは特記ない限りRC打放しC種、若しくはスタッド露わしとする



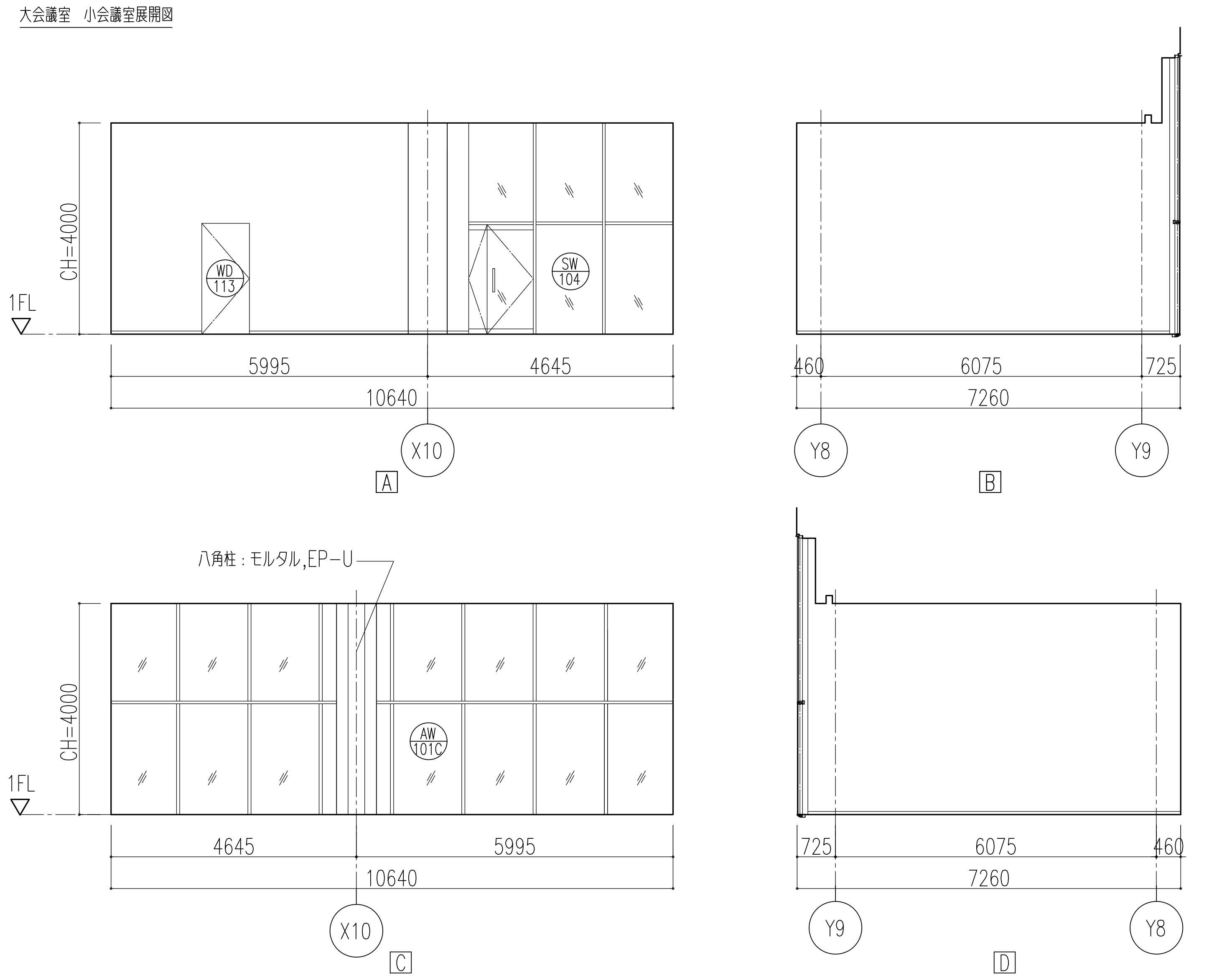
ロビー通路展開図

1F：	ロビー通路仕様　　CH=3250
天井	PB12.5+9.5tの上EP−U
壁	FPB15+15tの上EP−U PB12.5+9.5tの上EP−U
巾木	木SOP,H60
床	フローリングUC（モルタル仕様）
その他	



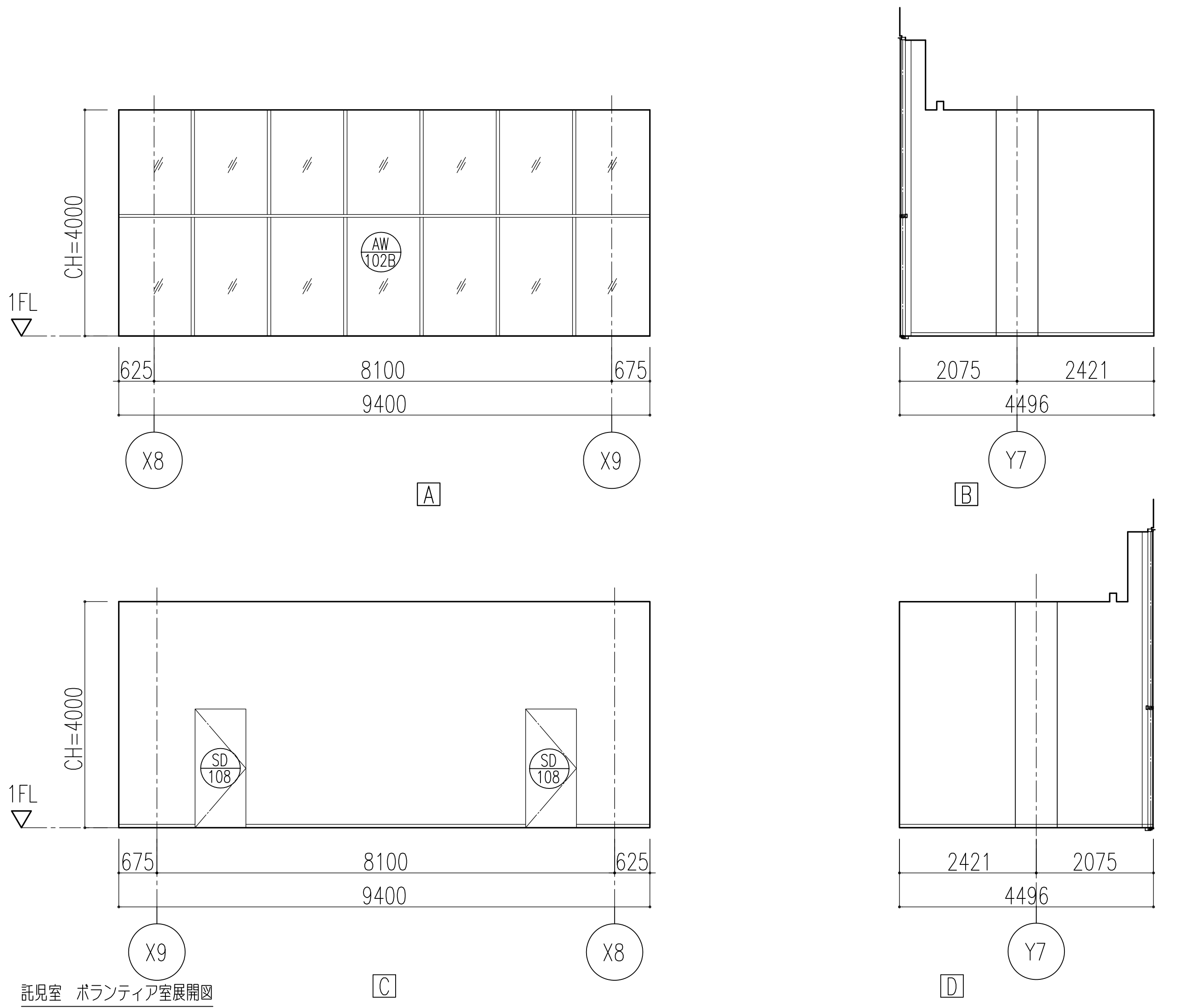
大会議室　小会議室展開図

1F：	大会議室　小会議室仕様　　CH=4000
天井	岩綿吸音板 PB12.5+9.5tの上EP−U
壁	FPB15+15tの上EP−U PB12.5tの上EP−U
巾木	木SOP,H60
床	タイルカーペット（OA：H=85）
その他	



事務室展開図

1F：	事務室仕様　　CH=4000
天井	岩綿吸音板 PB12.5+9.5tの上EP−U
壁	FPB15+15tの上EP−U PB12.5+9.5tの上EP−U
巾木	ビニル巾木,H60
床	タイルカーペット（OA：H=85）
その他	

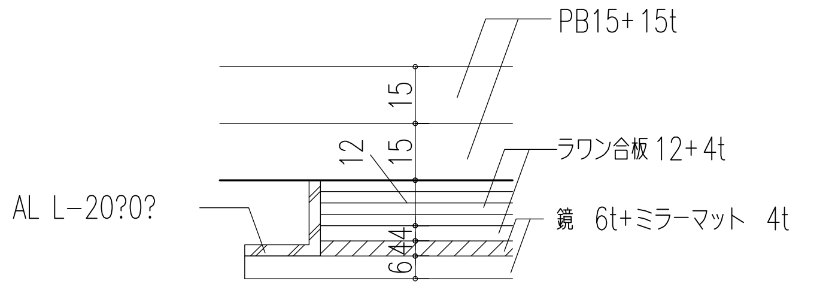


託児室　ボランティア室展開図

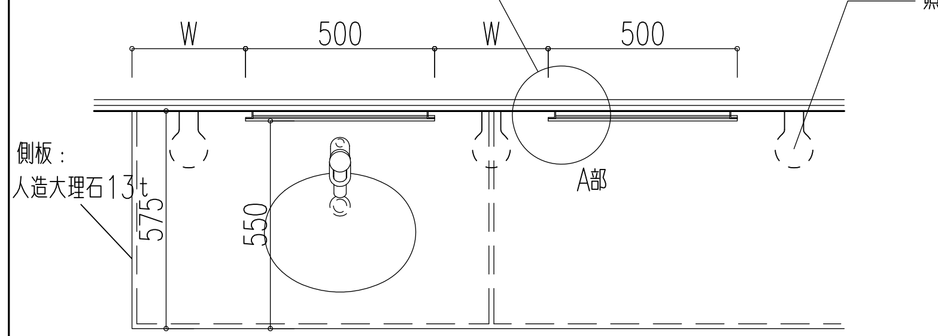
1F：	託児室　ボランティア室仕様　　CH=4000
天井	岩綿吸音板 PB12.5+9.5tの上EP−U
壁	FPB15+15tの上EP−U PB12.5+9.5tの上EP−U
巾木	木SOP,H60
床	コルクタイル
その他	

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	1階楽屋・事務ゾーン詳細図2　事務室会議室	1:100	A63Det−1F02	A−63

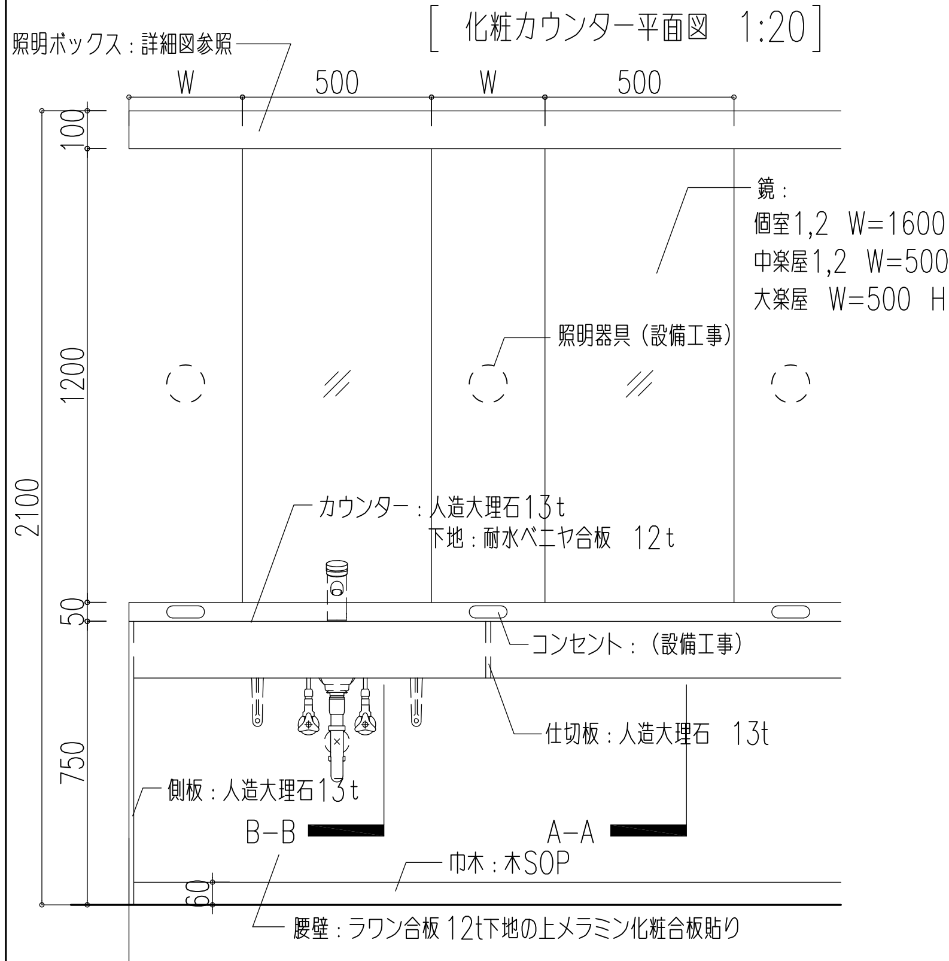
化粧カウンター　1:20 1:5 1:2



A部詳細 S=1:2



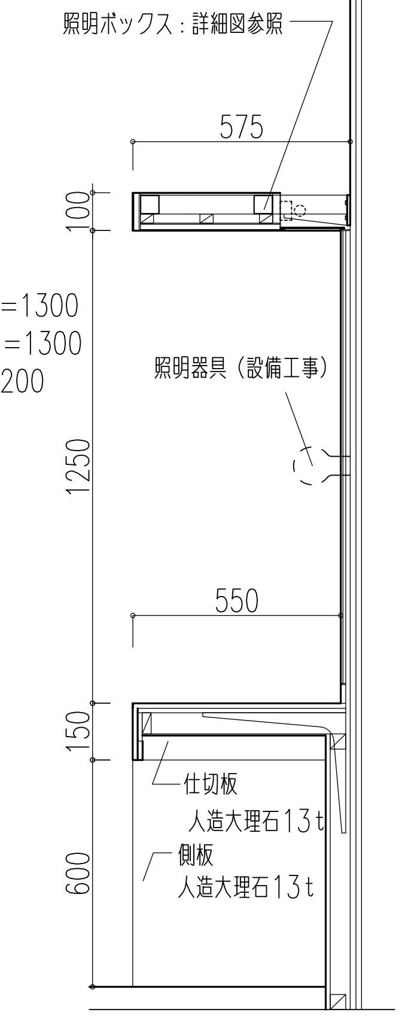
［ 化粧カウンター平面図　1:20 ］



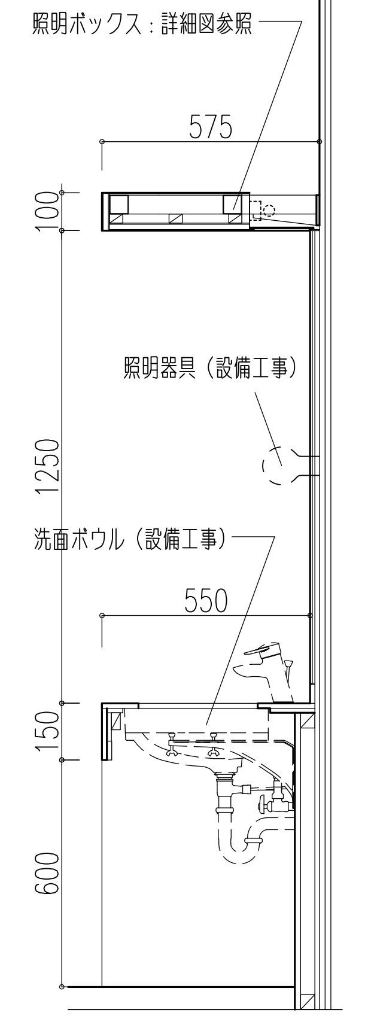
［ 化粧カウンター立面図　1:20 ］

W

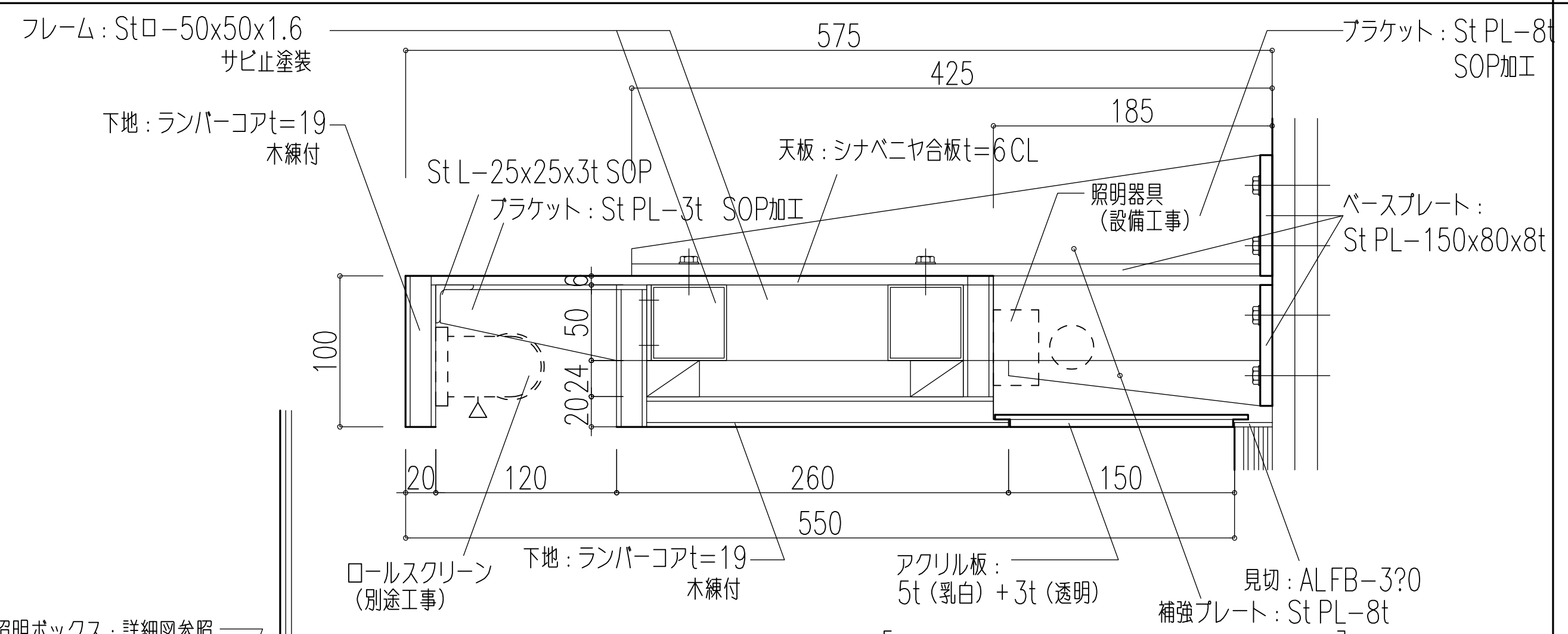
個室1,2　W=1600
中楽屋1,2　W=6760
大楽屋　W=5230



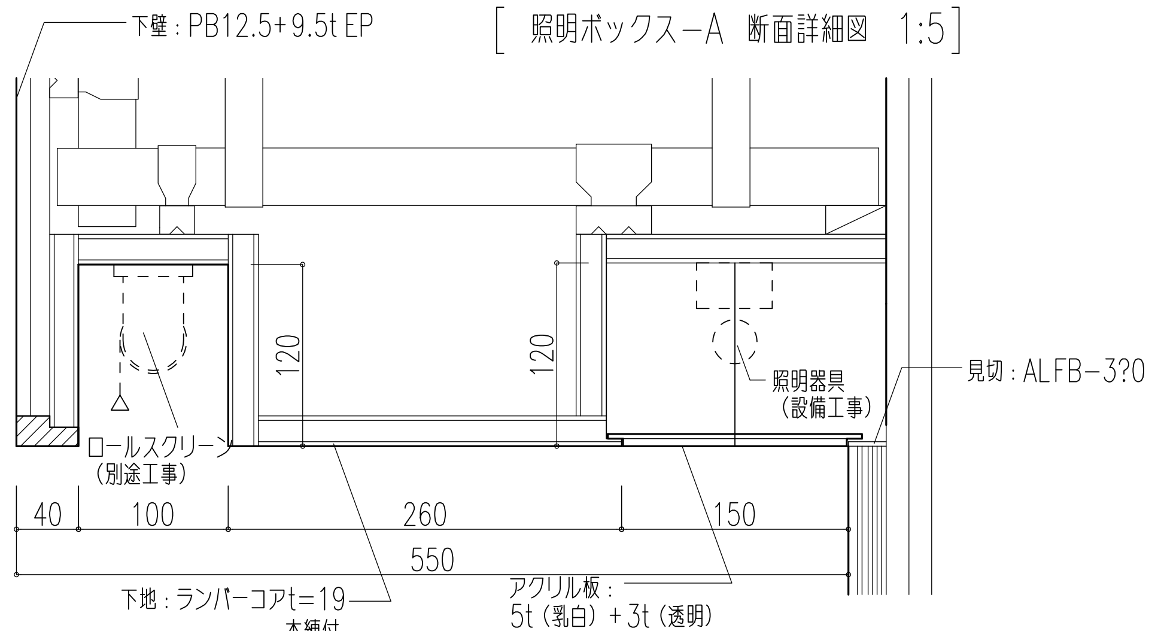
［ A-A断面図　1:20 ］



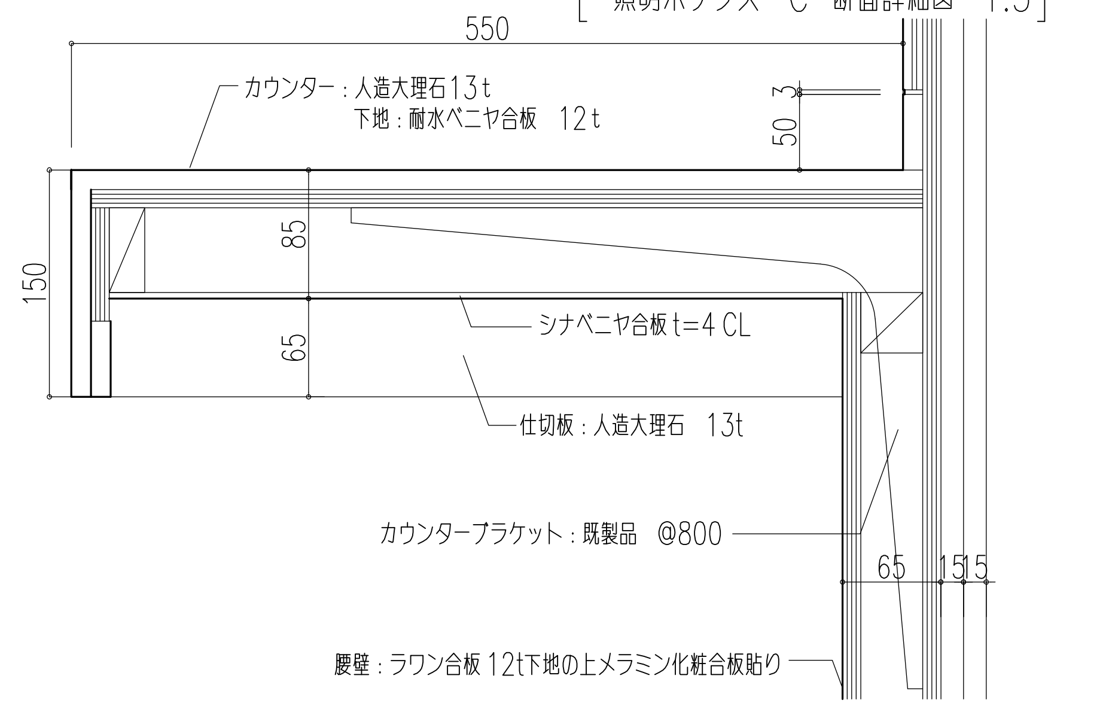
［ B-B断面図　1:20 ］



［ 照明ボックス-A　断面詳細図　1:5 ］

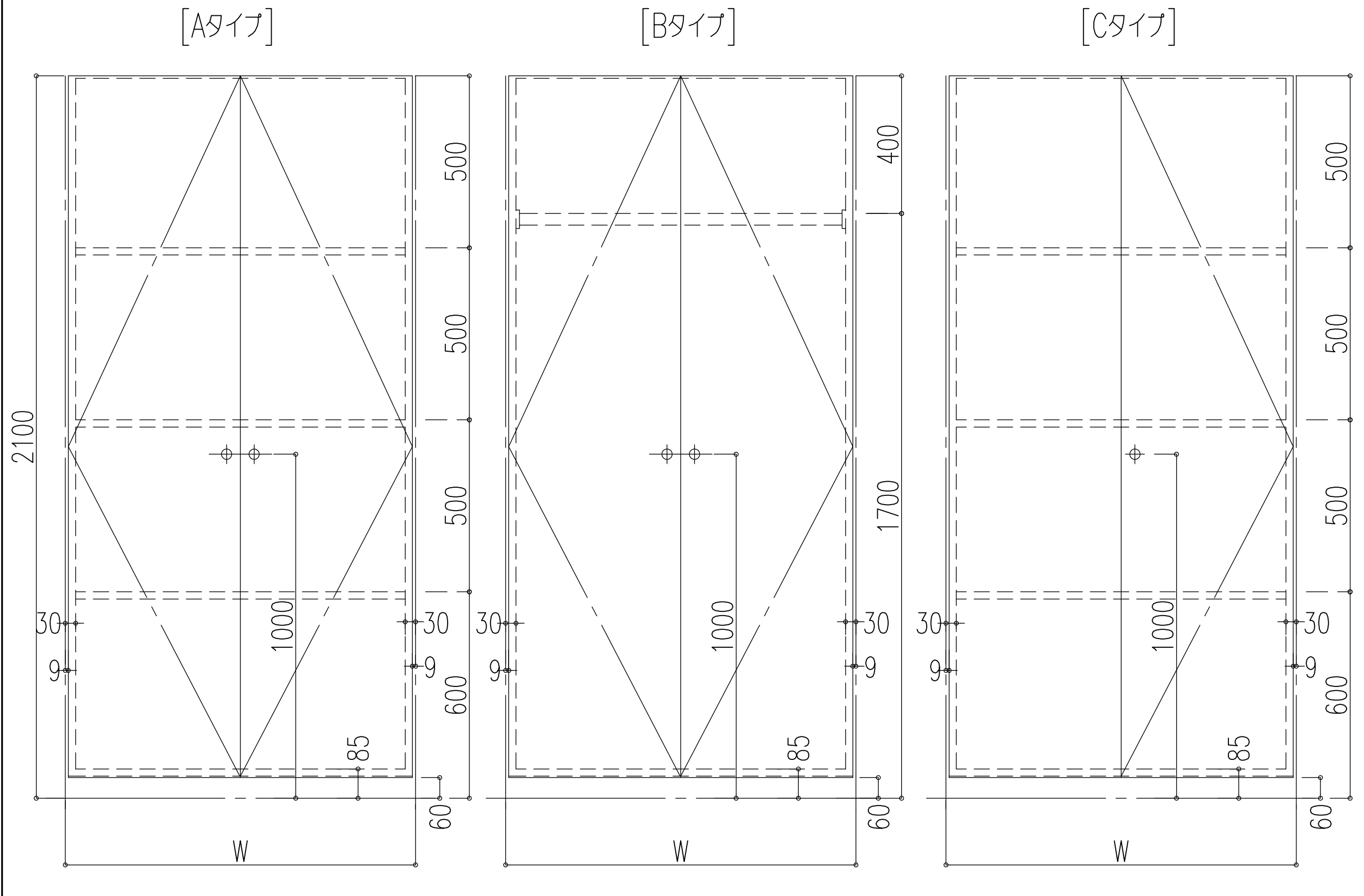


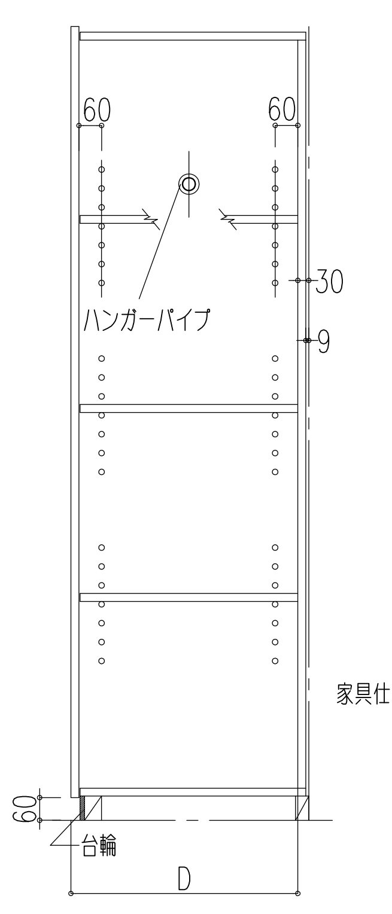
［ 照明ボックス-C　断面詳細図　1:5 ］



［ 化粧カウンター断面詳細図　1:5 ］

造作クローゼット　1:20





個室1		
Aタイプ	?	–
Bタイプ	?	W=1245
Cタイプ	?	W=1245

中楽屋1		
Aタイプ	?	W=1200
Bタイプ	?	W=1200
Cタイプ	?	W=1535

個室2		
Aタイプ	?	–
Bタイプ	?	W=1245
Cタイプ	?	W=1245 （個室1の反転タイプ）

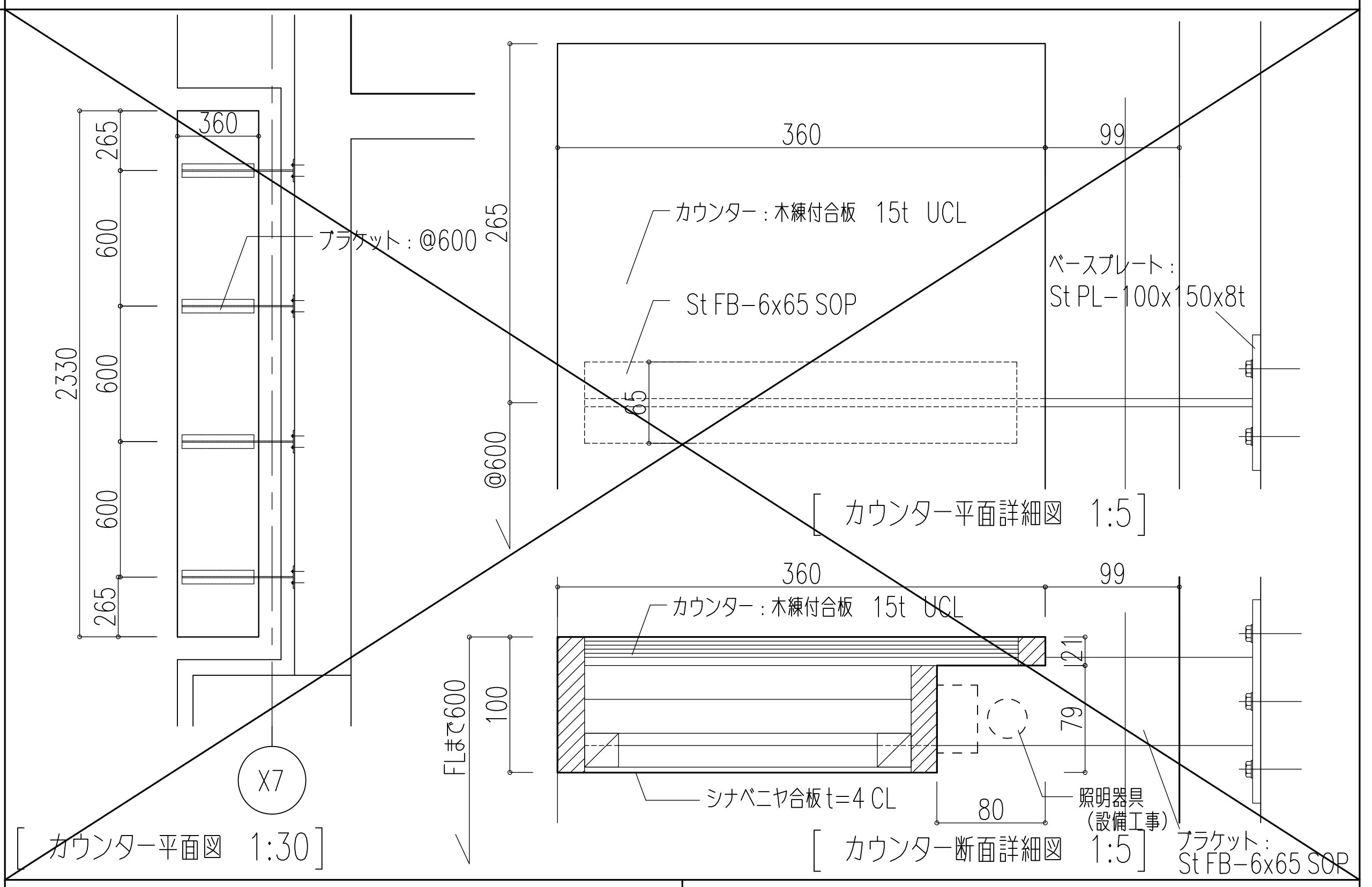
中楽屋2		
Aタイプ	?	W=1200
Bタイプ	?	W=1200
Cタイプ	?	–

大楽屋（練習室）		
Aタイプ	?	W=1145
Bタイプ	?	W=1145
Cタイプ	?	W=1880　（両扉タイプ）

家具仕様

※扉　木練付　UCL塗装
※クローゼット内部　背板・側板・底板・・棚板すべてシナベニヤ合板CL塗装仕上げとする
※台輪はその居室の巾木と同仕様とする
※ダボ孔：SUS製15ϕ 棚上下3つずつ@50
※金物：SUS製ダボ10ϕ
SUS製ハンガーパイプ34ϕ，HL
スライド丁番キャッチあり、インセット型
SUS製引手25～30ϕ 程度

アーティストラウンジ　カウンター　1:30 1:5《中止》

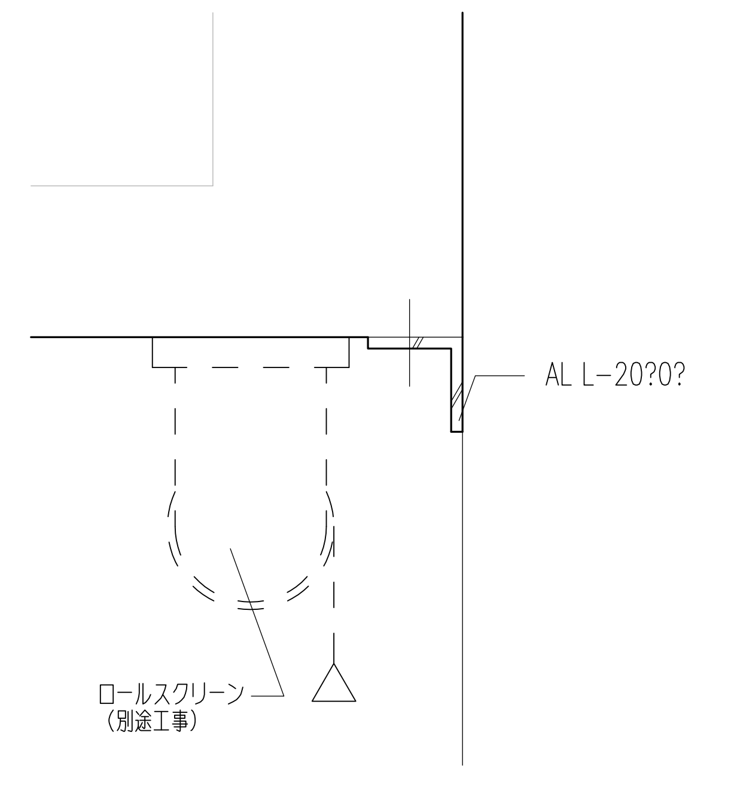


［ カウンター平面図　1:30 ］

［ カウンター平面詳細図　1:5 ］

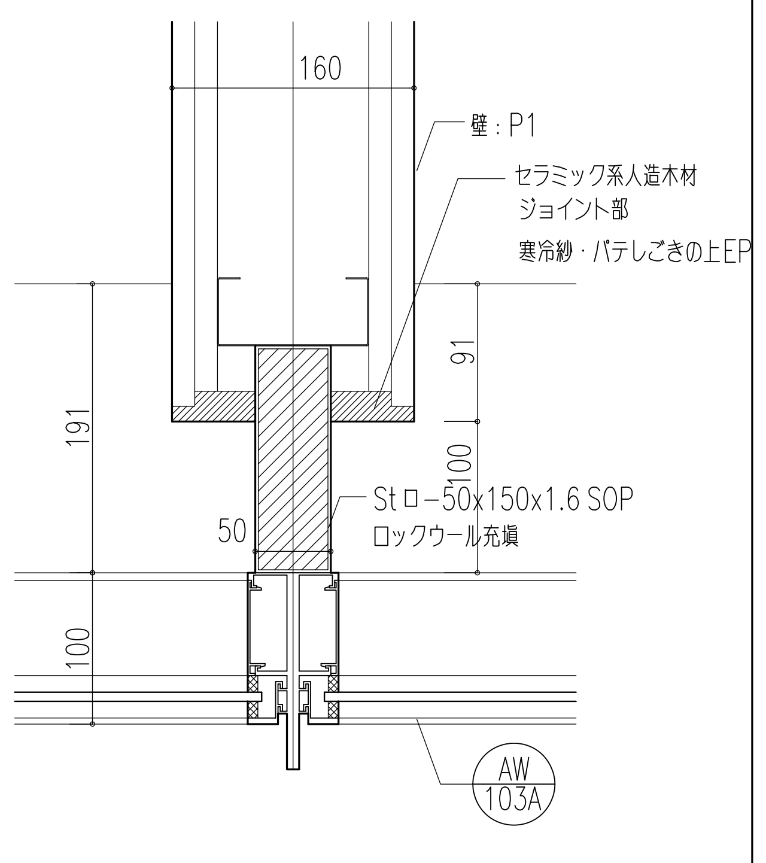
［ カウンター断面詳細図　1:5 ］

AL　見切　1:2

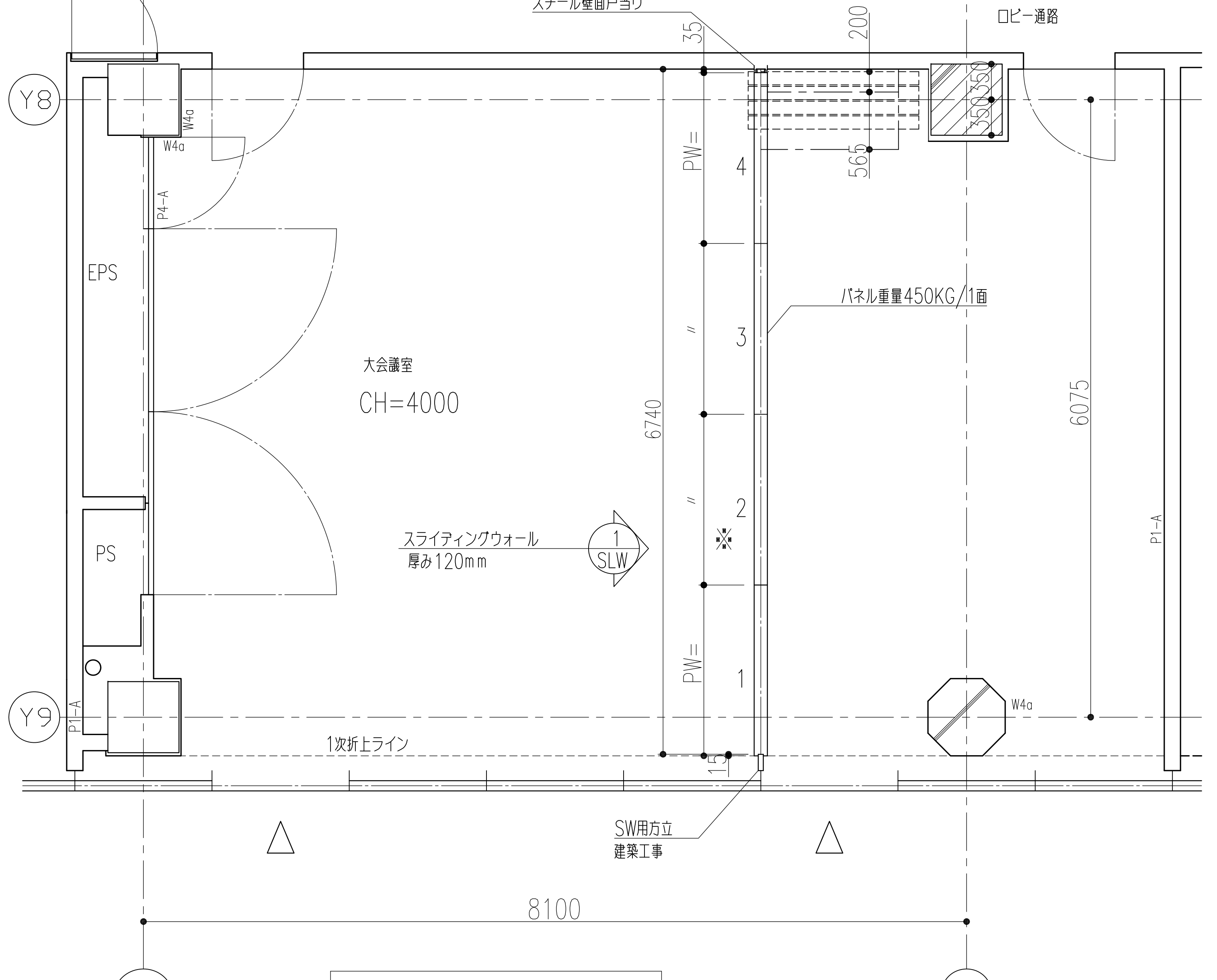


※大楽屋、中楽屋1,2及び個室1,2の窓枠上端に取付け

楽屋廻り　サッシュと間仕切り壁との取合　1:5

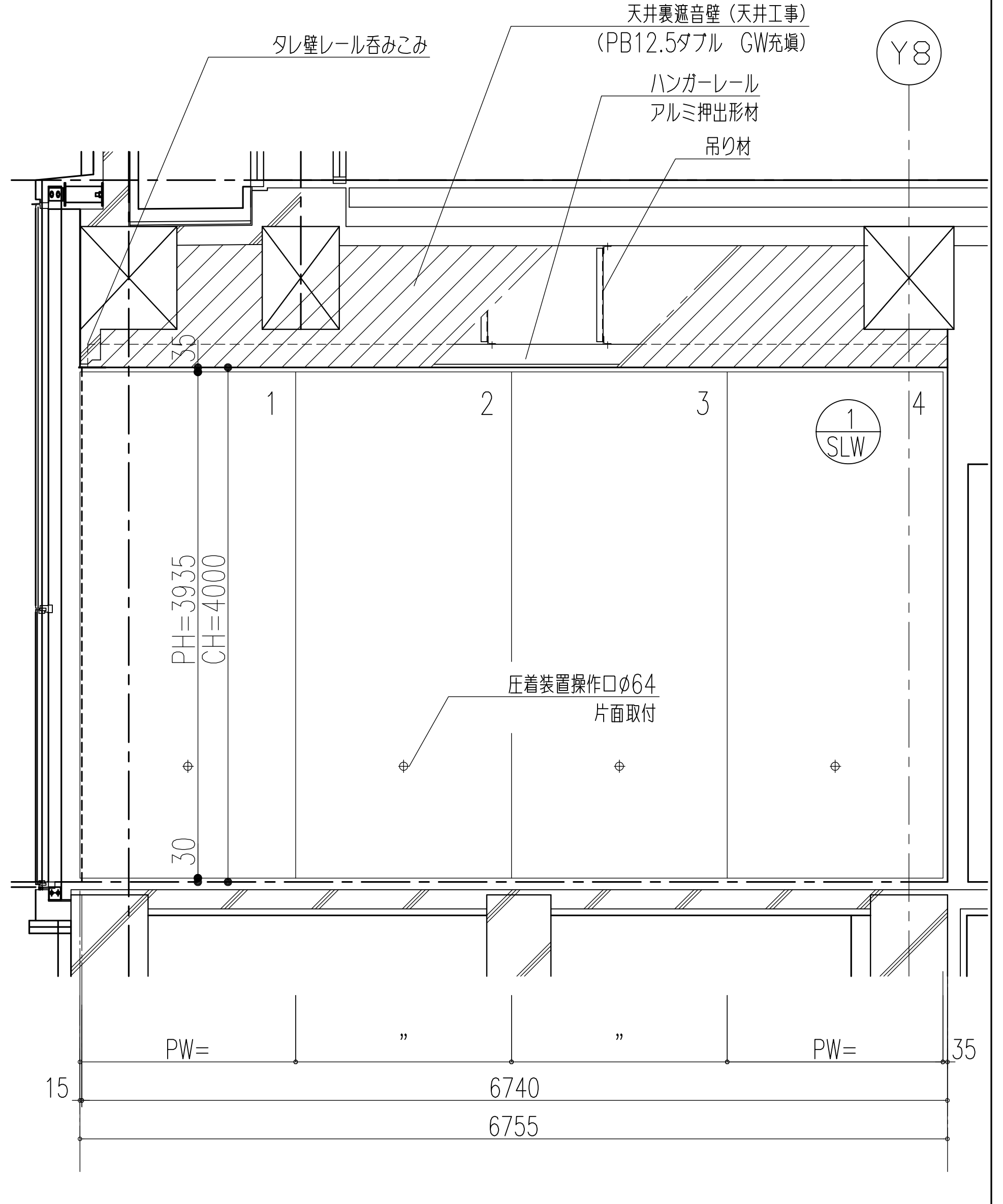


稼動間仕切り　1:5 1:50

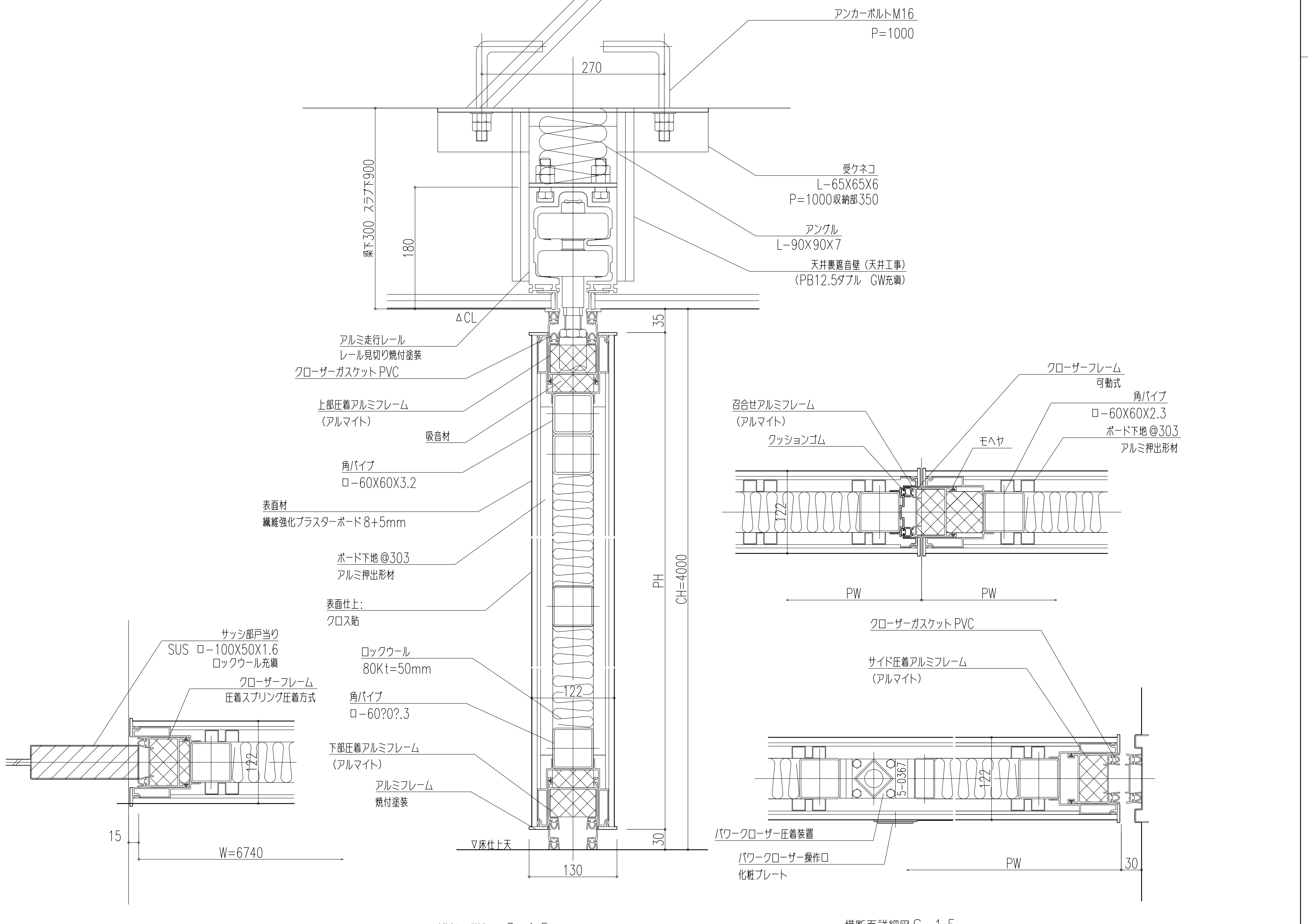


移動間仕切　平面レイアウト図 S=1:50

※パワークローザー化粧プレート取付側



移動間仕切　展開図　S=1:50



縦断面詳細図 S=1:5

横断面詳細図 S=1:5

工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）

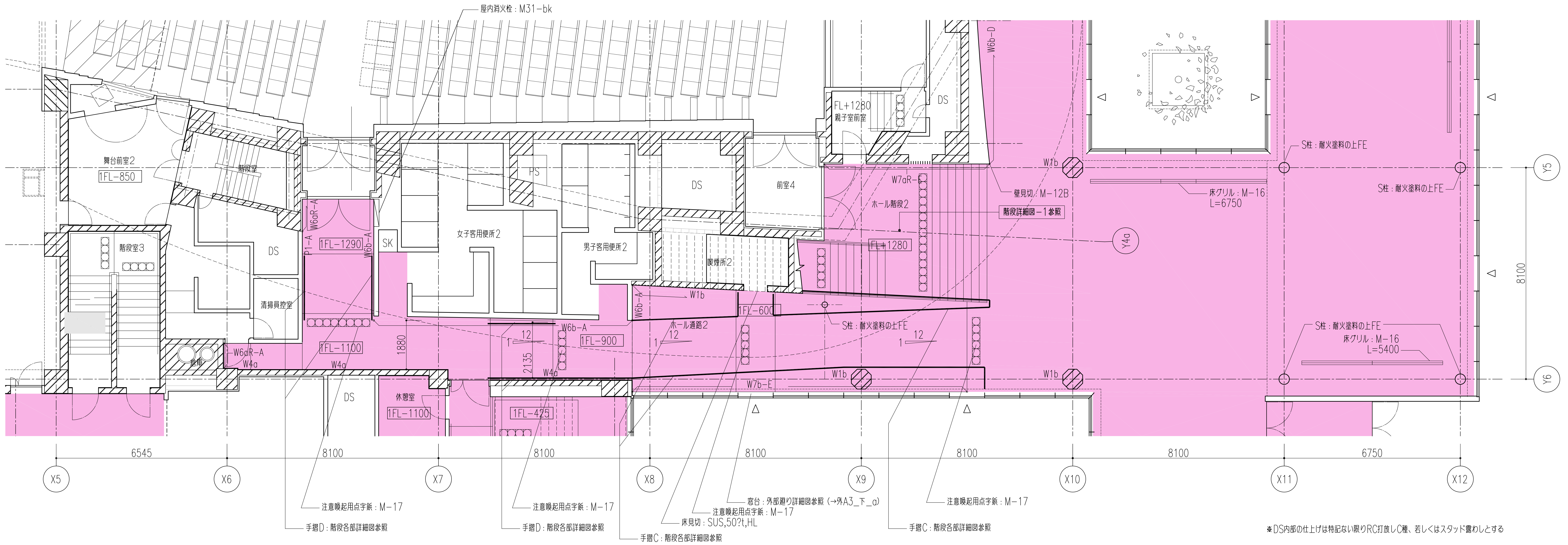
株式会社　槇総合計画事務所

一級建築士事務所 東京都知事登録　第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦

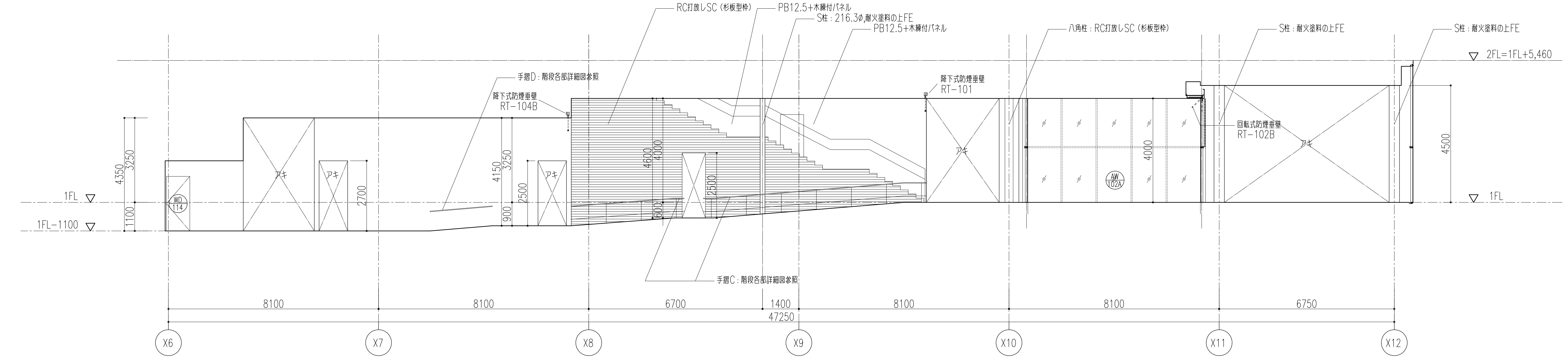
年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
2005年 5月	1階楽屋・事務ゾーン各部詳細図	1:50, 1:30 1:20, 1:5, 1:2	A64nDet-1F03	A-64n

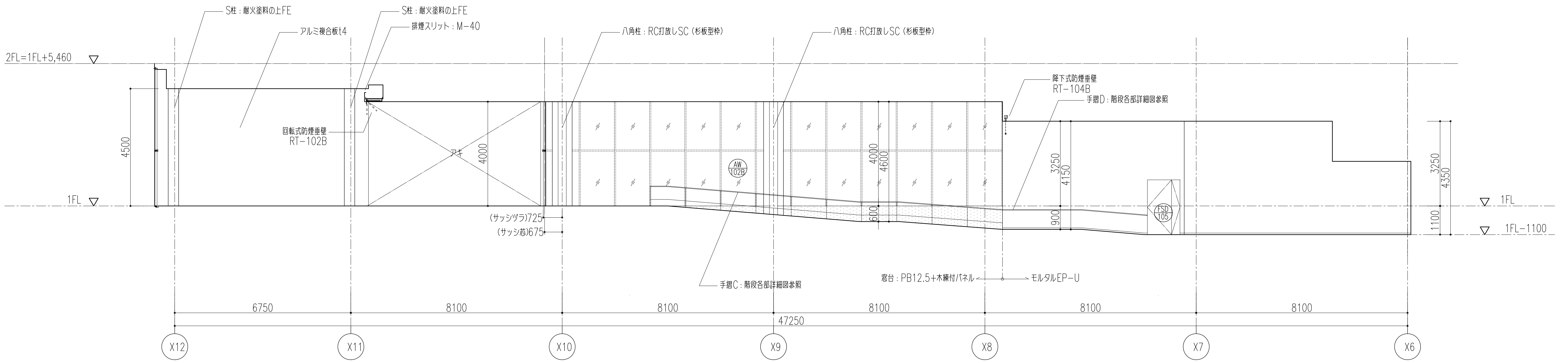
※DS内部の仕上げは特記ない限りRC打放しC種、若しくはスタッド露わしとする

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	ホワイエ・ラウンジ廻り詳細図1　ホール通路1	1:100	A65Det−PB01	A−65



※DS内部の仕上げは特記ない限りRC打放しC種、若しくはスタッド壁わしとする

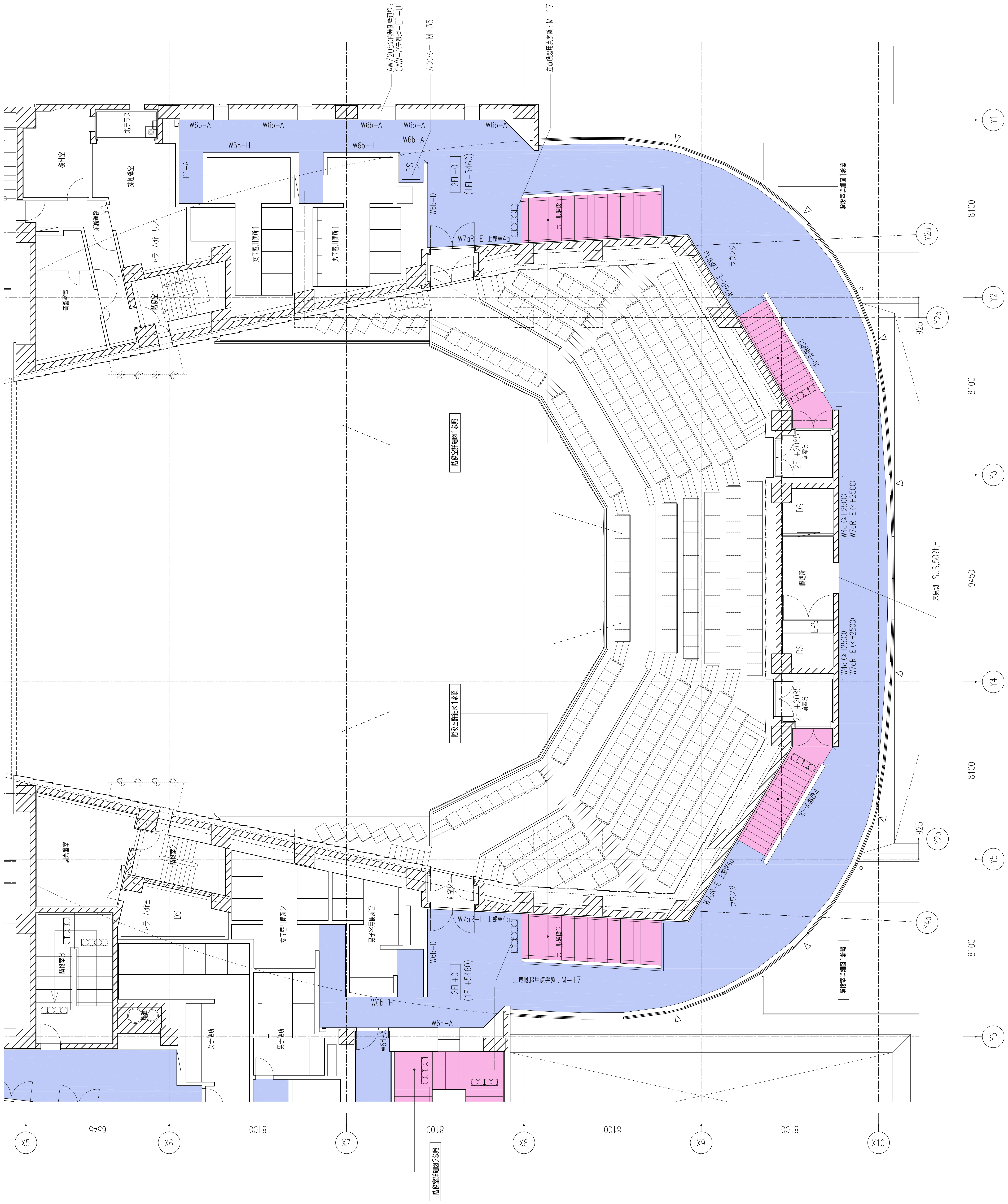




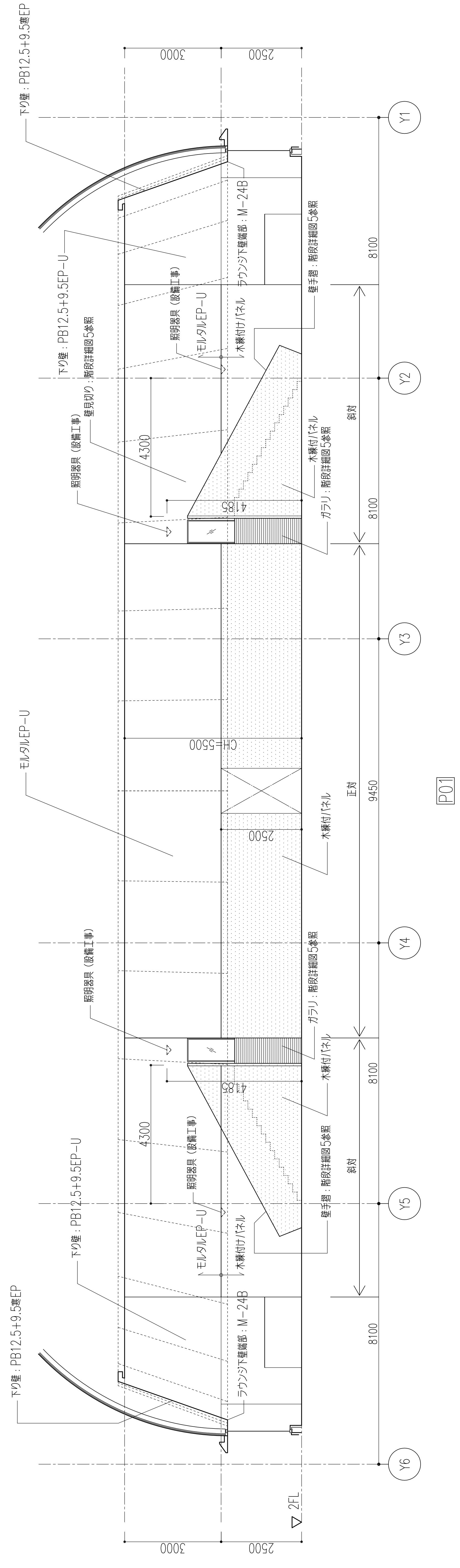
工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）

株式会社 槇総合計画事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦

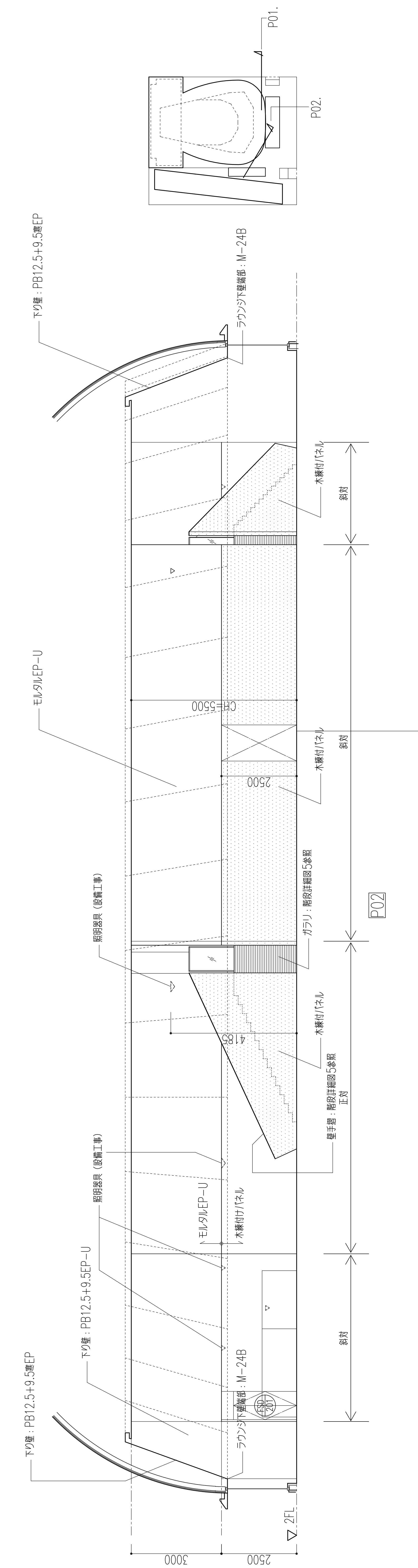
年月日 2005年 5月
図面名称 ホワイエ・ラウンジ廻り詳細図2 ホール通路2
縮尺 1:100
ファイル名称 A66Det-PB02
図面番号 A-66



※DS内部の仕上げは特記ない限りRC打放しC種、若しくはスタッド露わしとする
※壁間接照明については水廻り詳細図参照

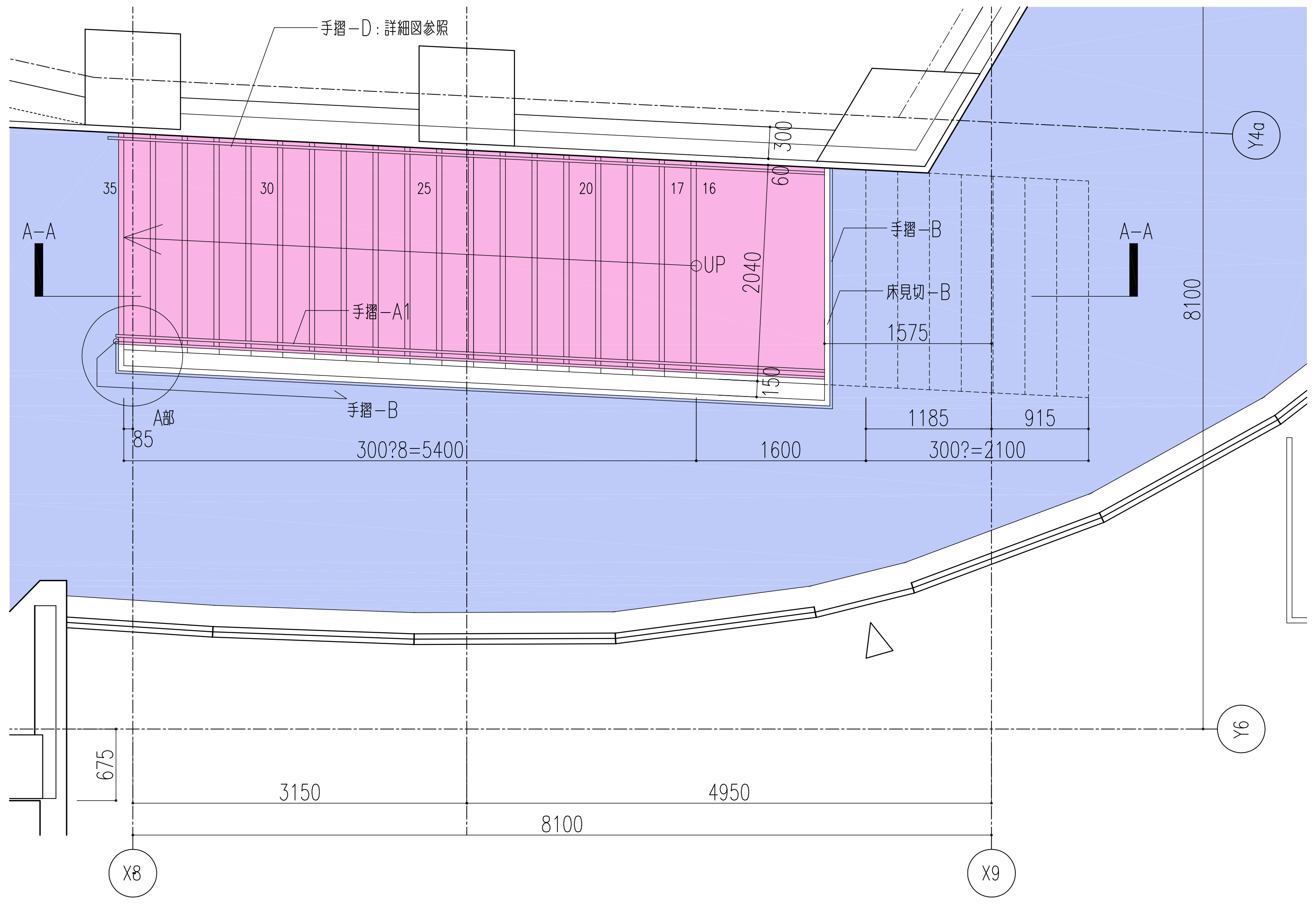


P01

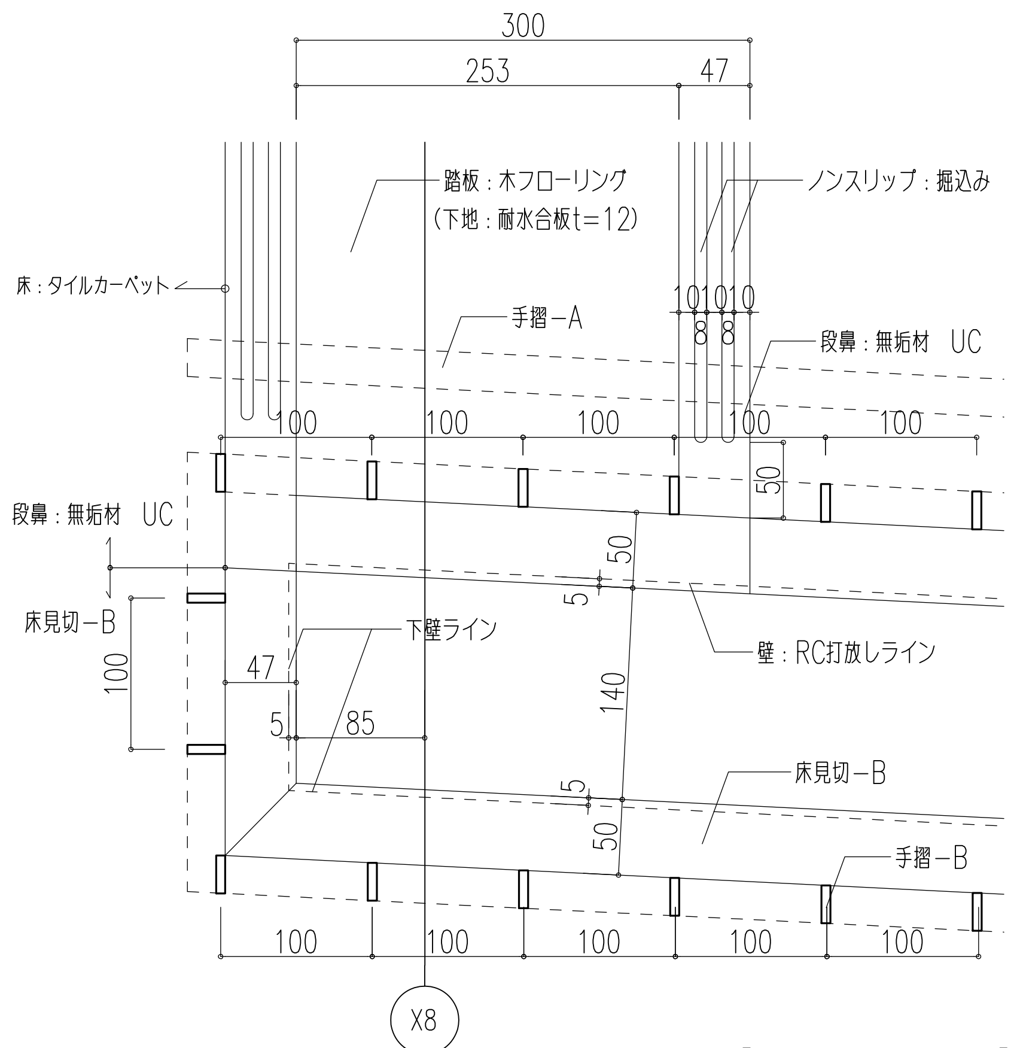


P02

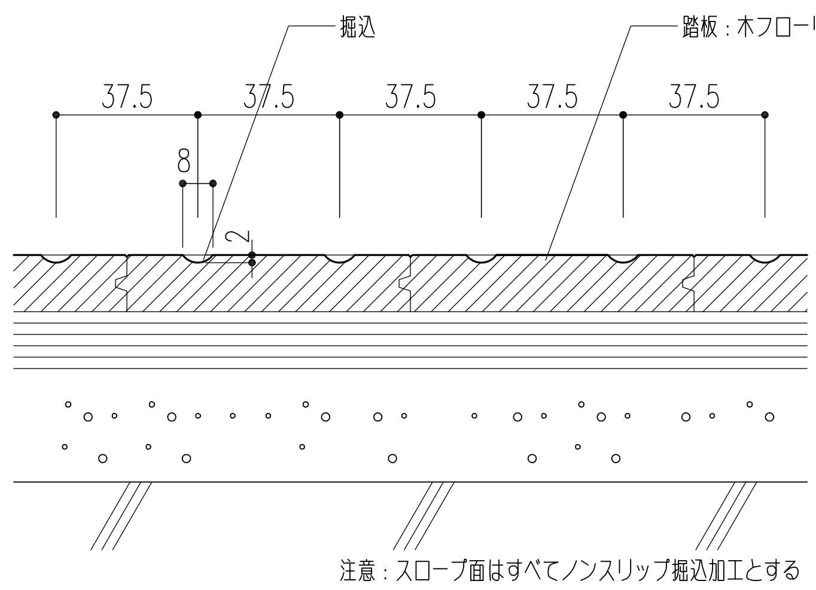
工事名称				年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	ホワイエ・ラウンジ廻り詳細図3　ラウンジ	1:100	A67Det-PB03	A-67



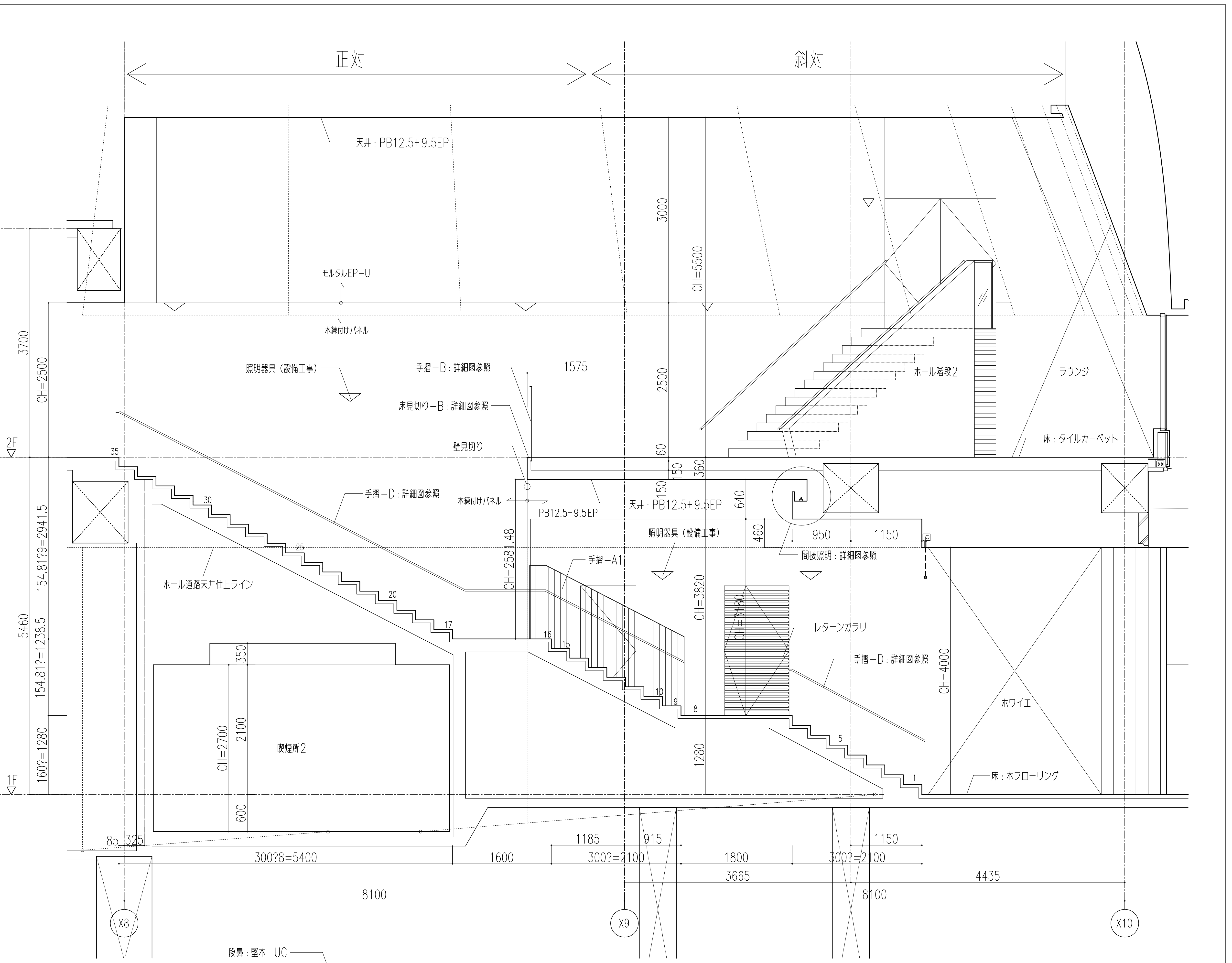
［ 2F平面図　1:50 ］



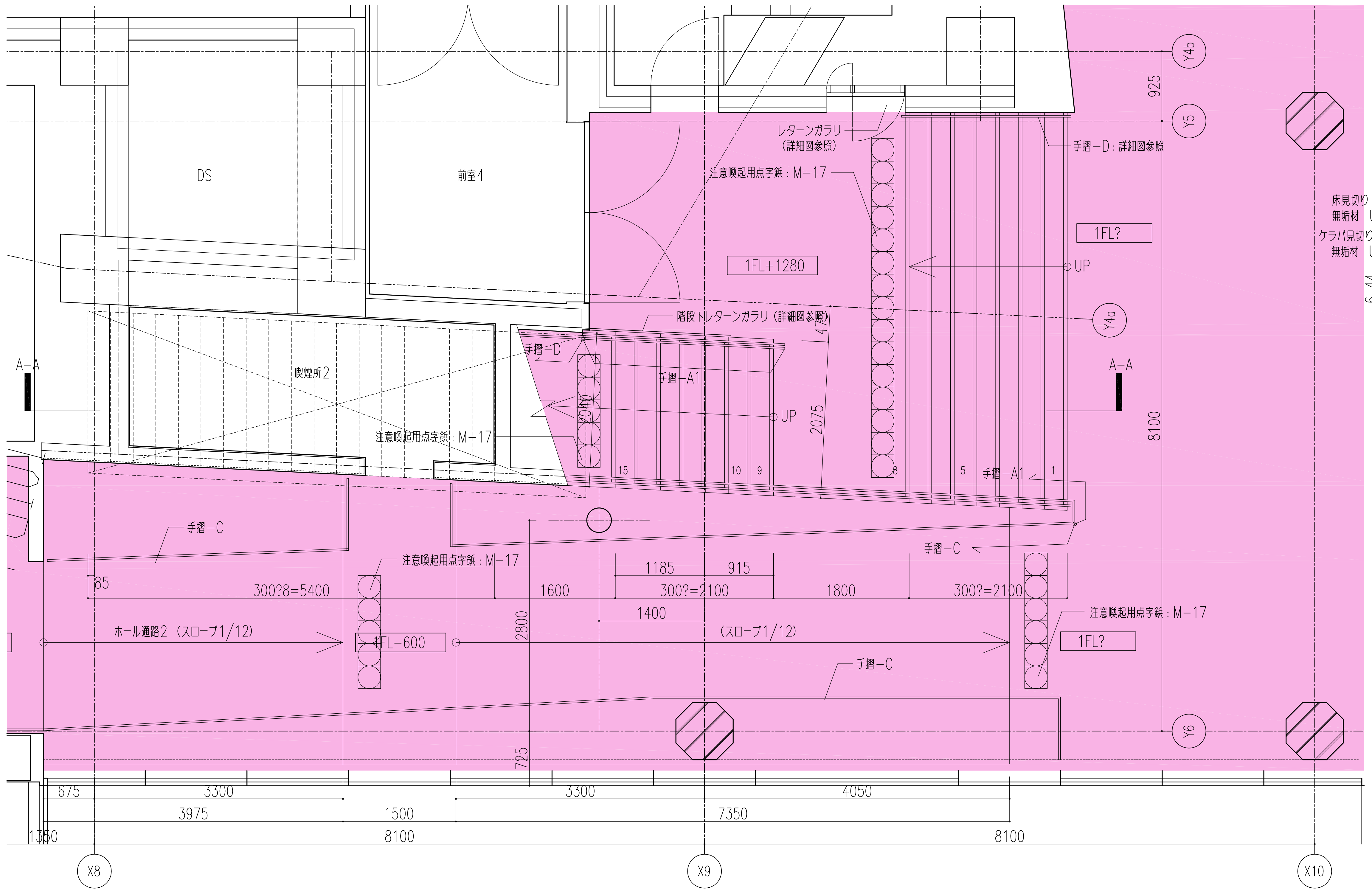
［ A部詳細図　1:5 ］



注意：スロープ面はすべてノンスリップ掘込加工とする
［ スロープ部　ノンスリップ　1:2 ］

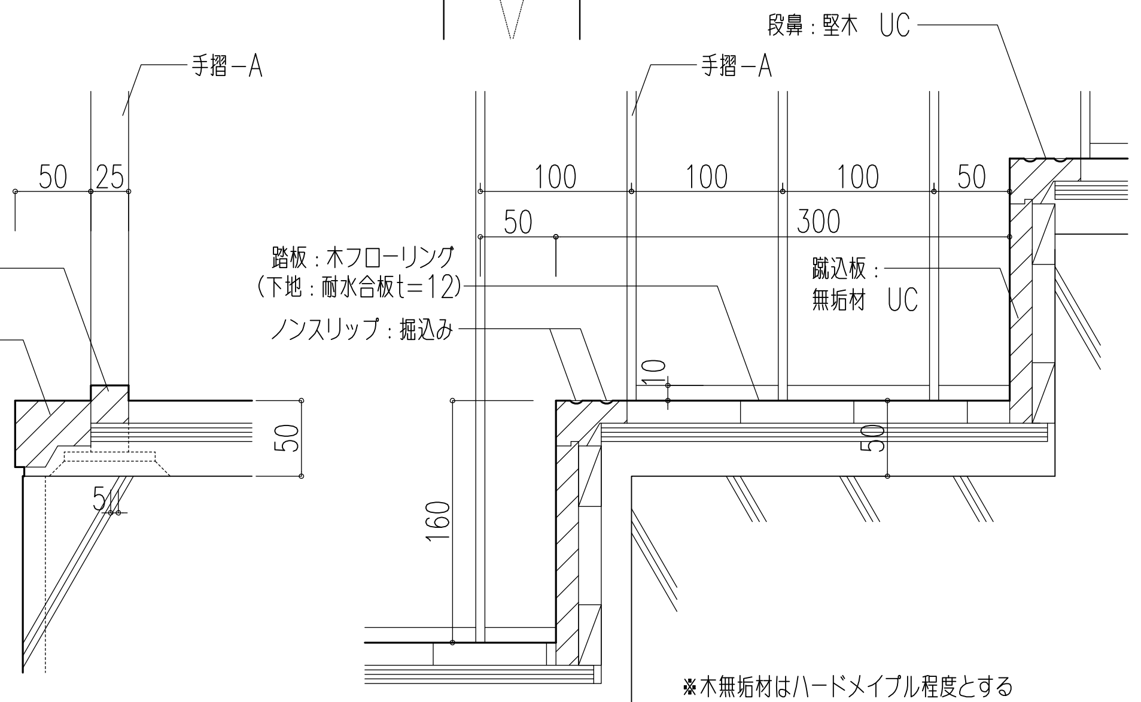


［ A－A断面図　1:50 ］

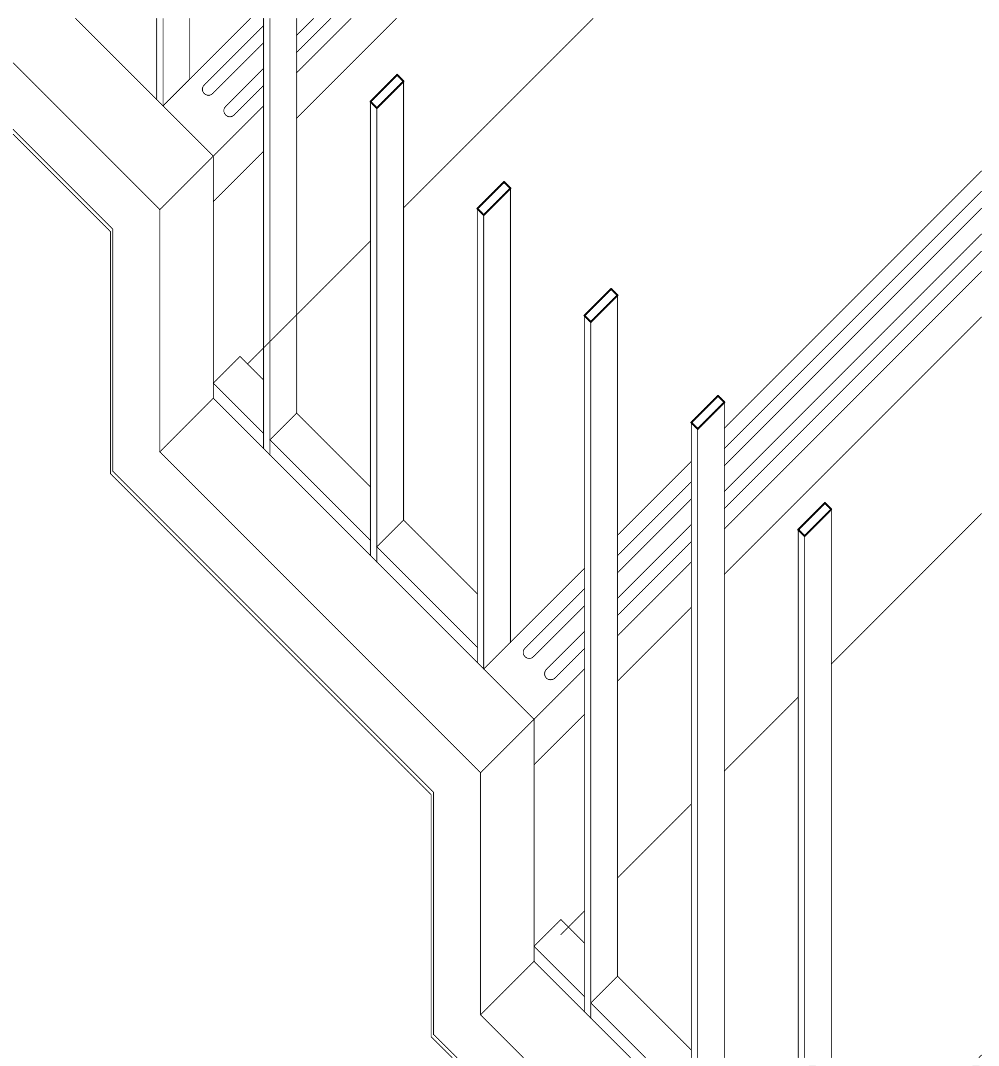


［ 1F平面図　1:50 ］

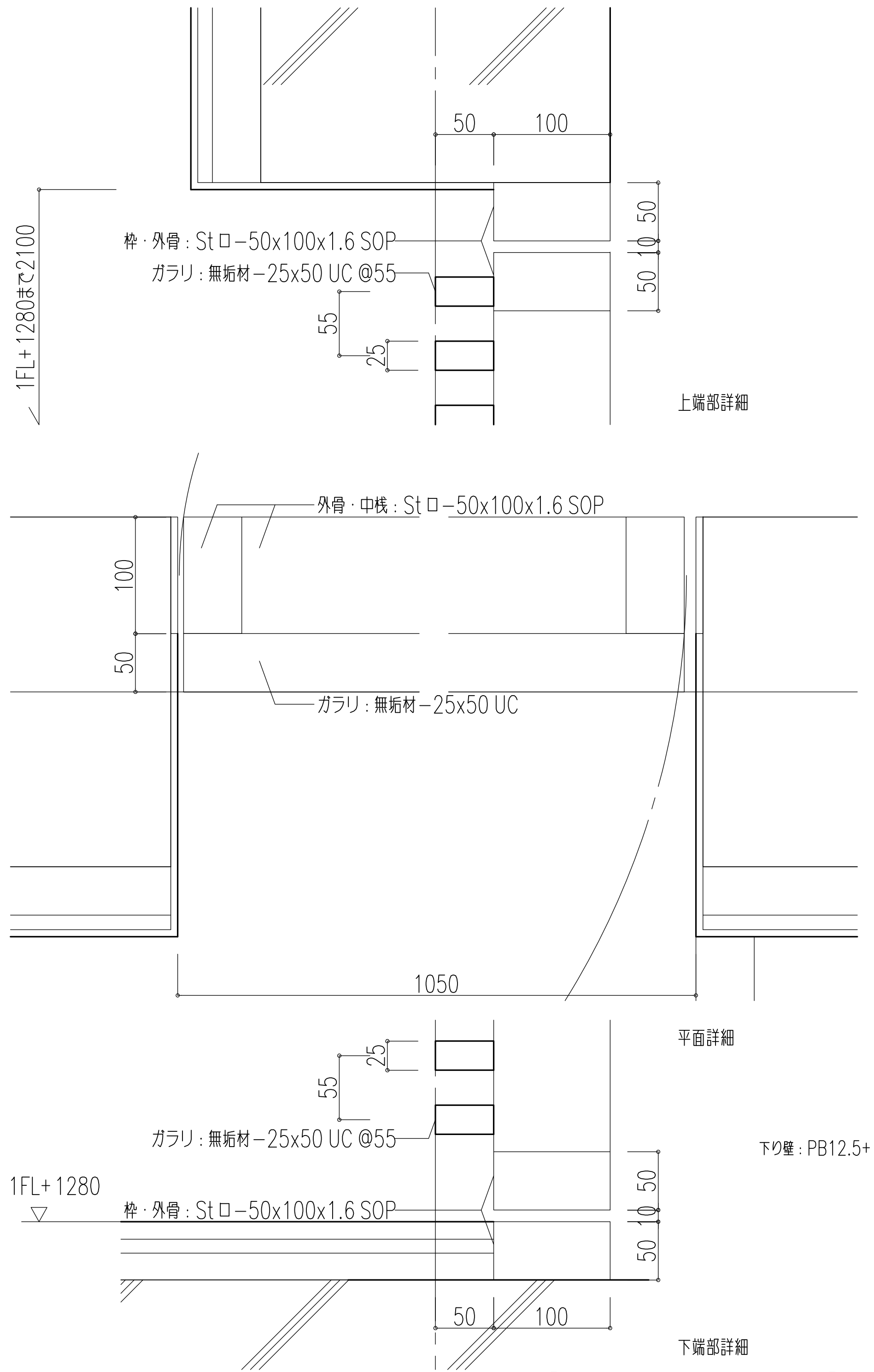
※ホール階段1は対称とする



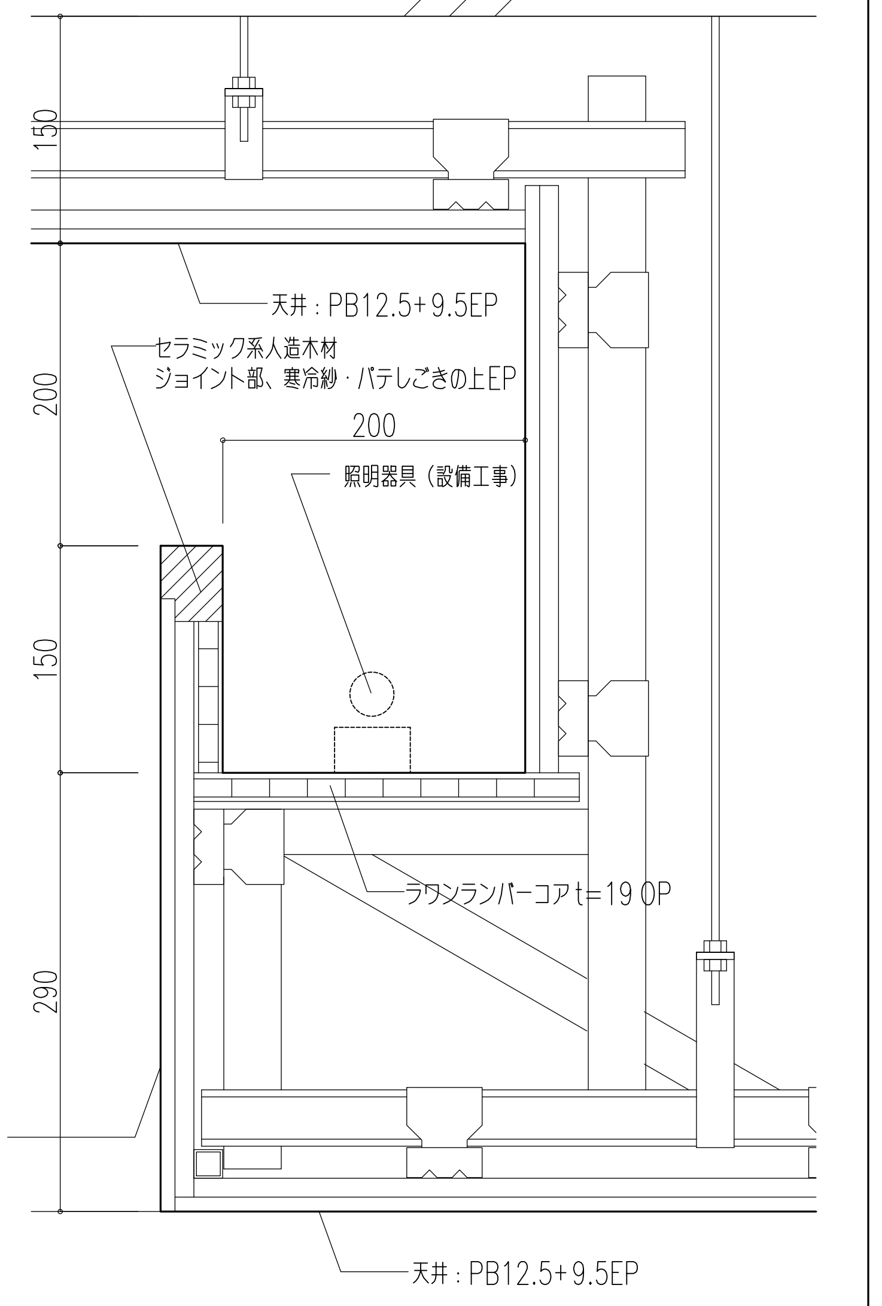
※木無垢材はハードメイプル程度とする
［ 踏込、踏面詳細図　1:5 ］



［ アクソメ図 ］

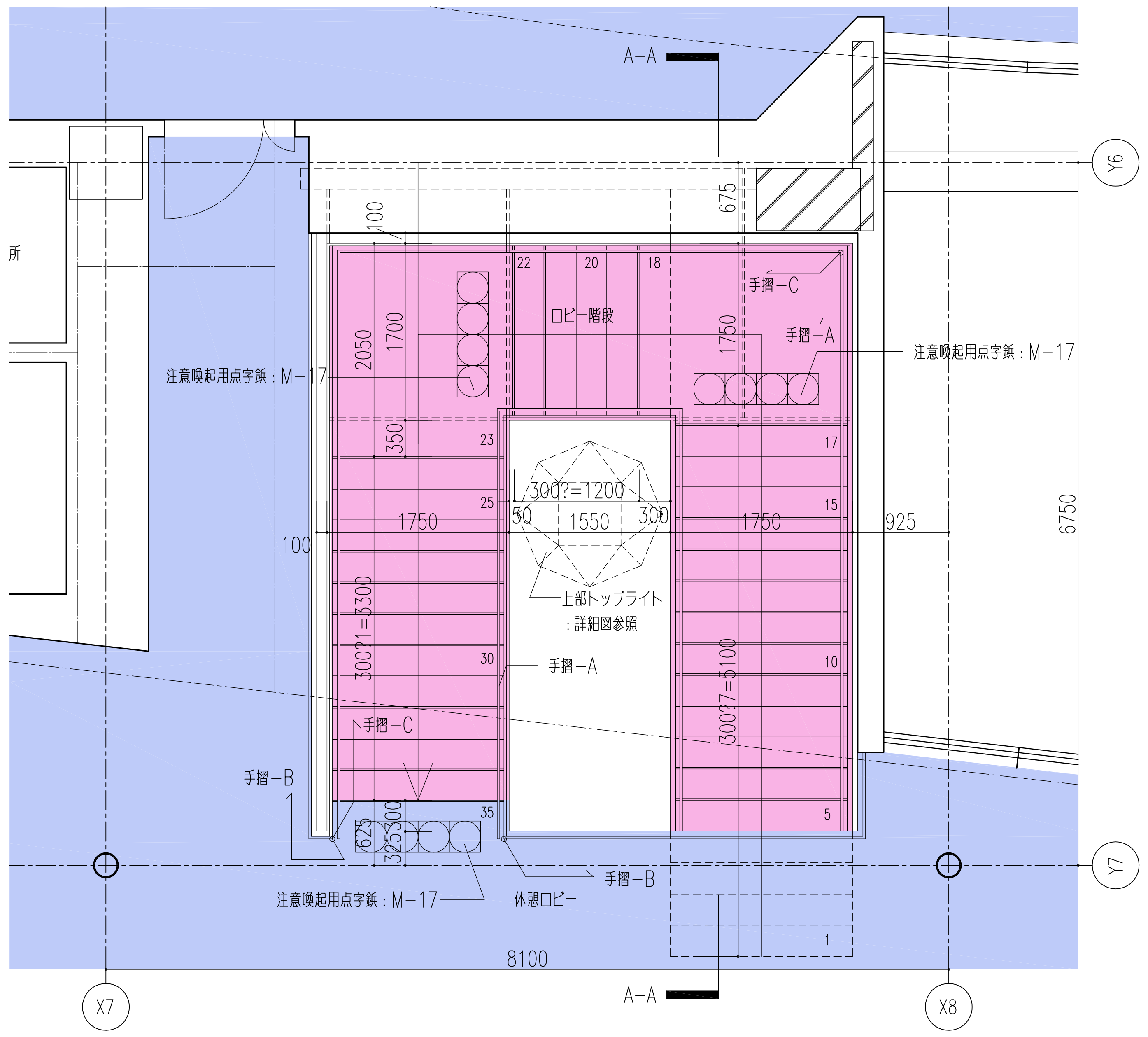

枠・外骨：Stロ－50x100x1.6 SOP
ガラリ：無垢材－25x50 UC @55
上端部詳細
外骨：中桟：Stロ－50x100x1.6 SOP
ガラリ：無垢材－25x50 UC
平面詳細
ガラリ：無垢材－25x50 UC @55
枠・外骨：Stロ－50x100x1.6 SOP
下端部詳細
1FL+1280ま で2100
1FL+1280
1050
50
100
55
25

［ レターンガラリ詳細図　1:5 ］

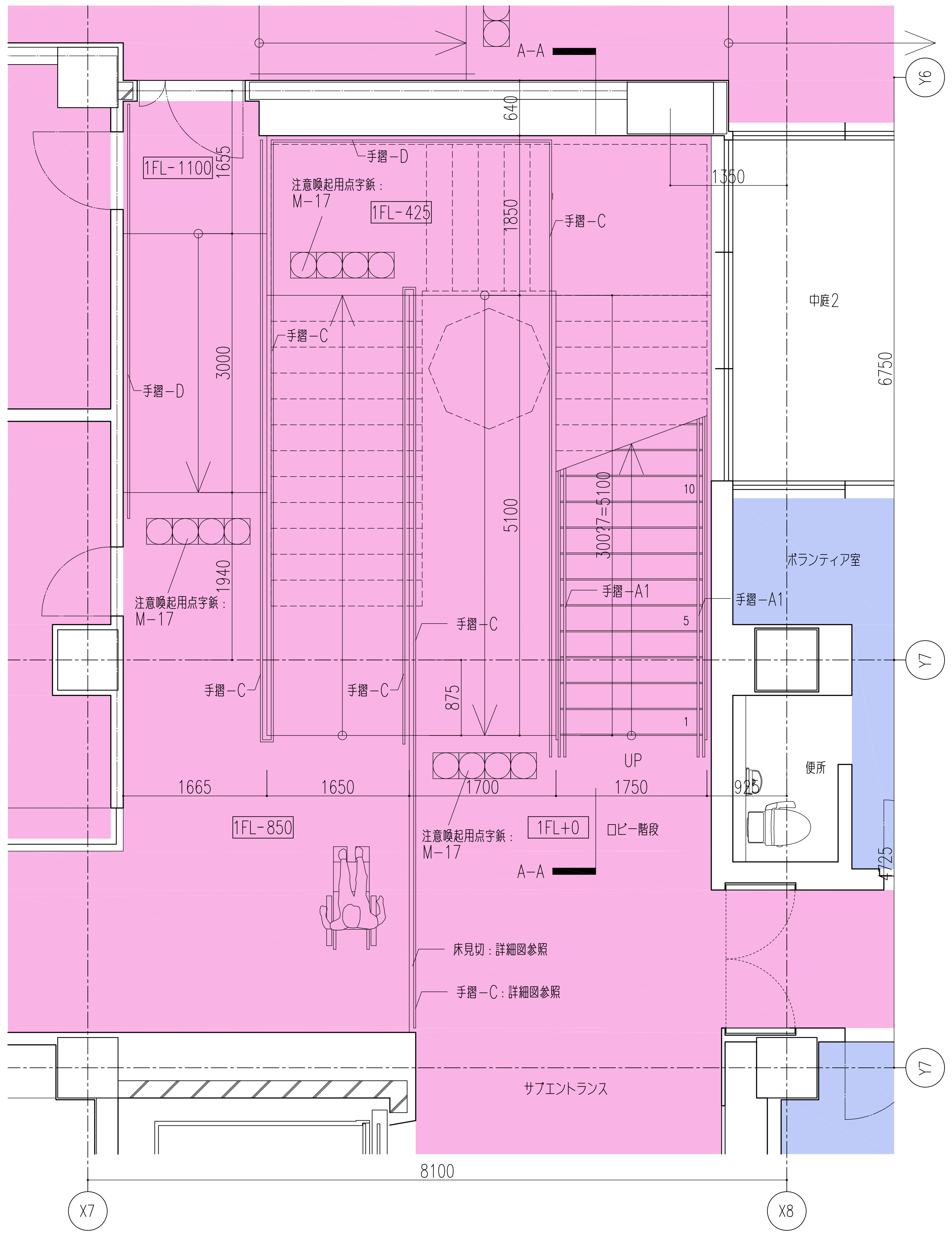


［ 間接照明詳細図　1:5 ］

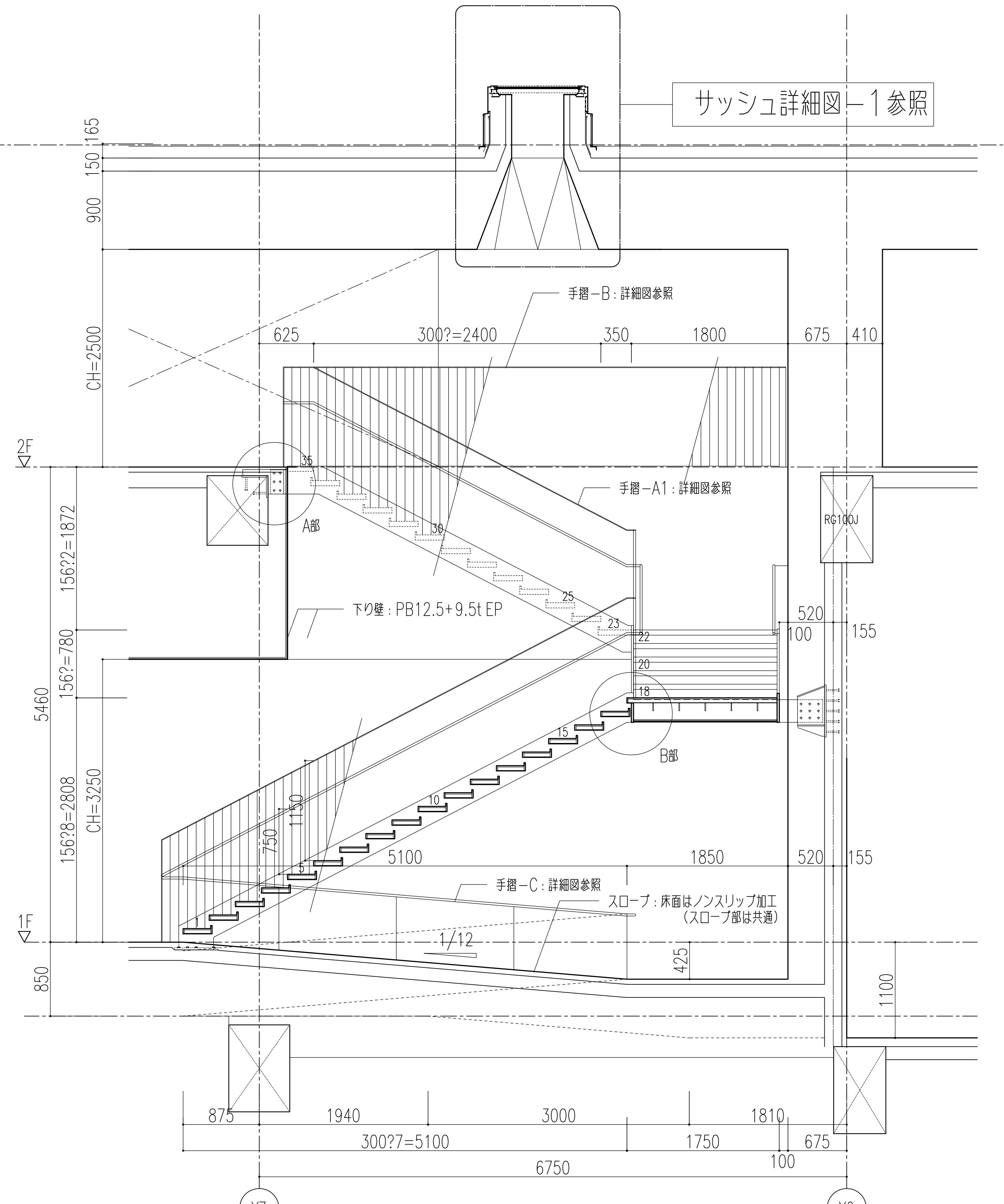
工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士 建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	階段詳細図1　ホール階段1・2	1:50,1:5	A74nStr-de01	A－74



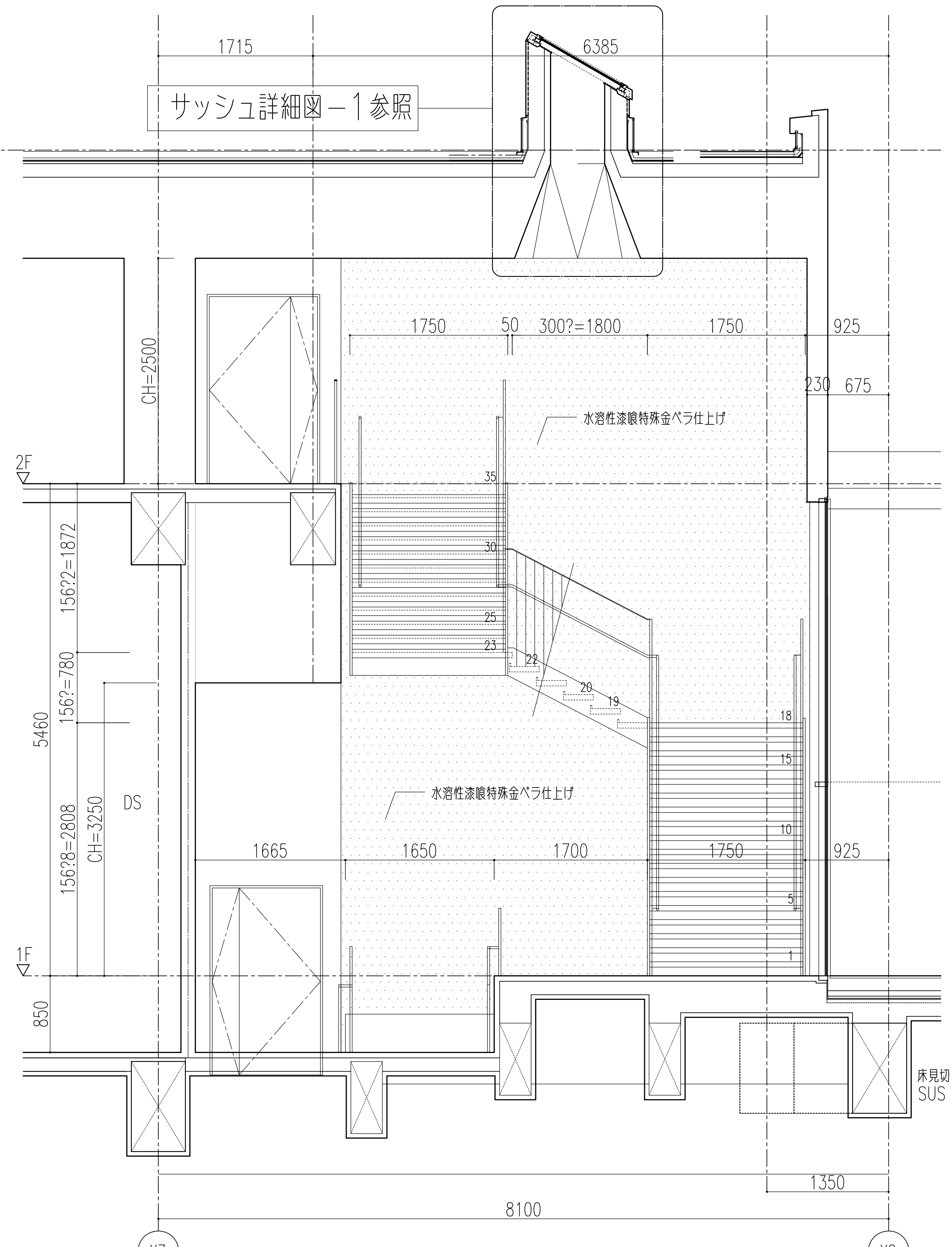
[2F平面図　1:50]



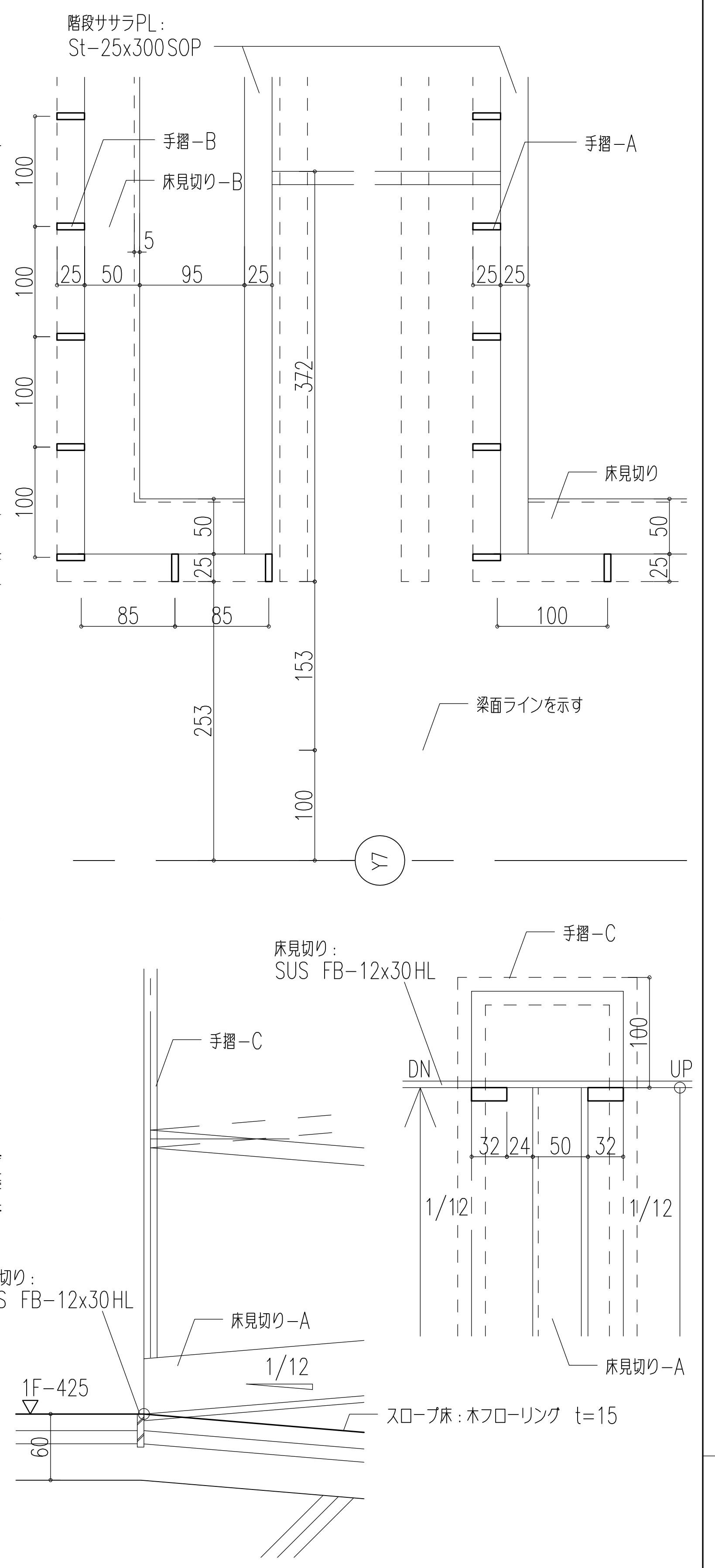
[1F平面図　1:50]

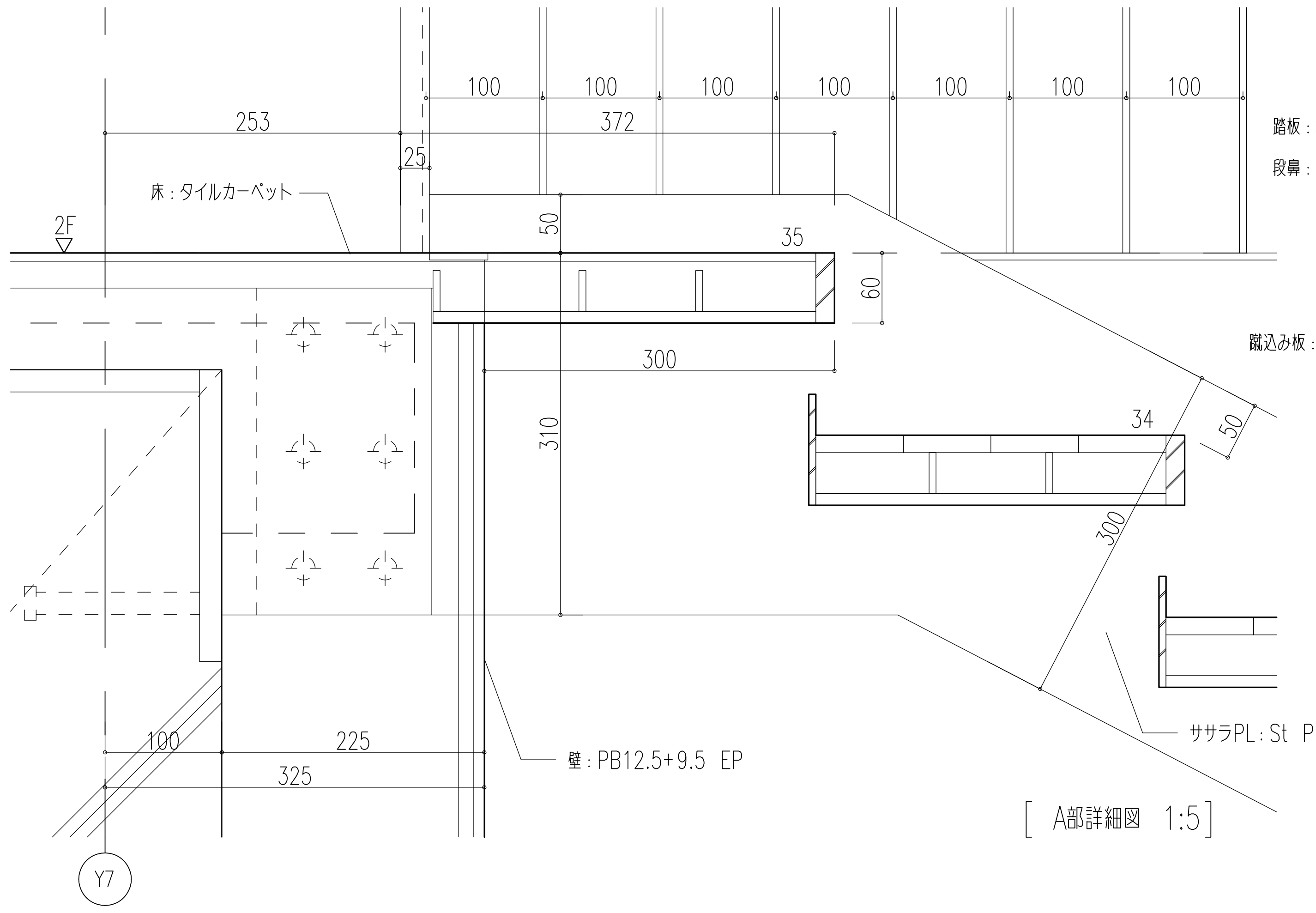


[A-A断面図　1:50]

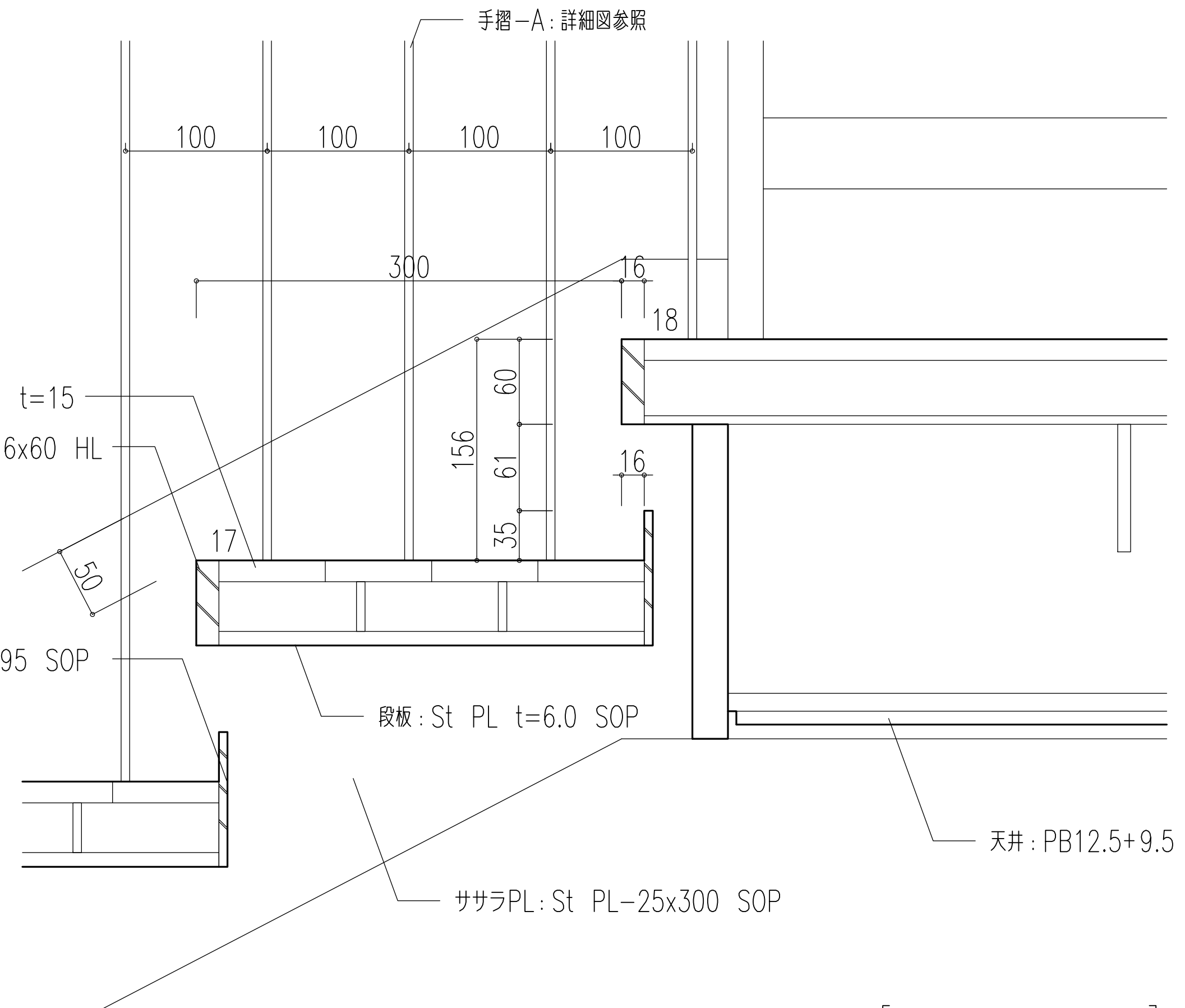


[B断面図　1:50]

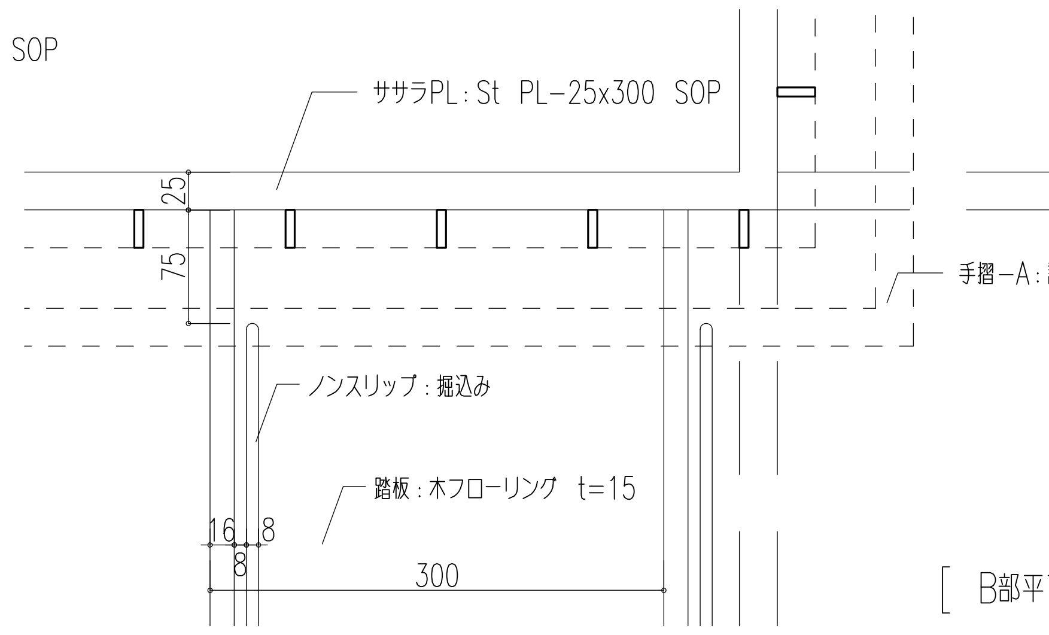




[A部詳細図　1:5]



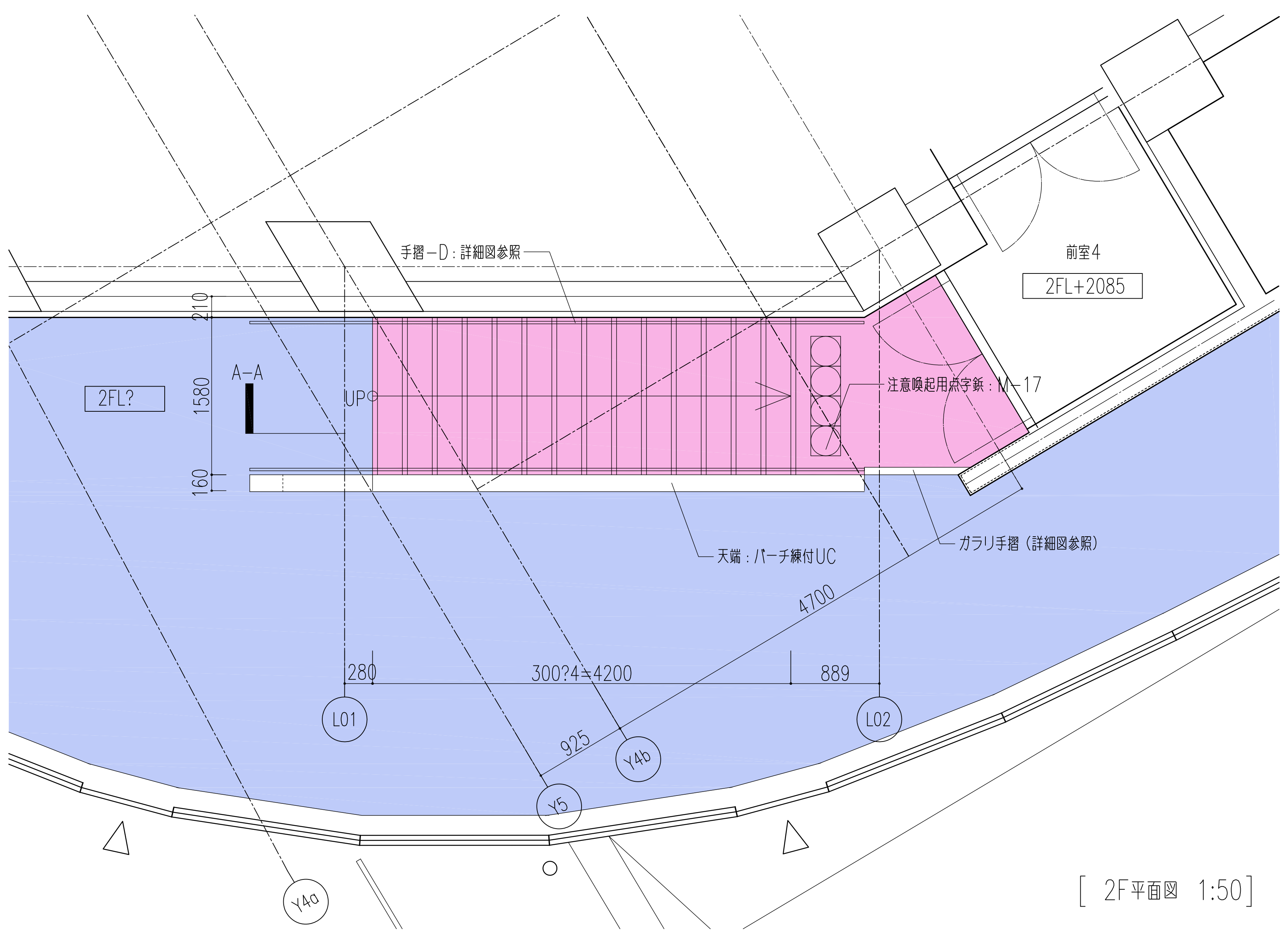
[B部断面詳細図　1:5]



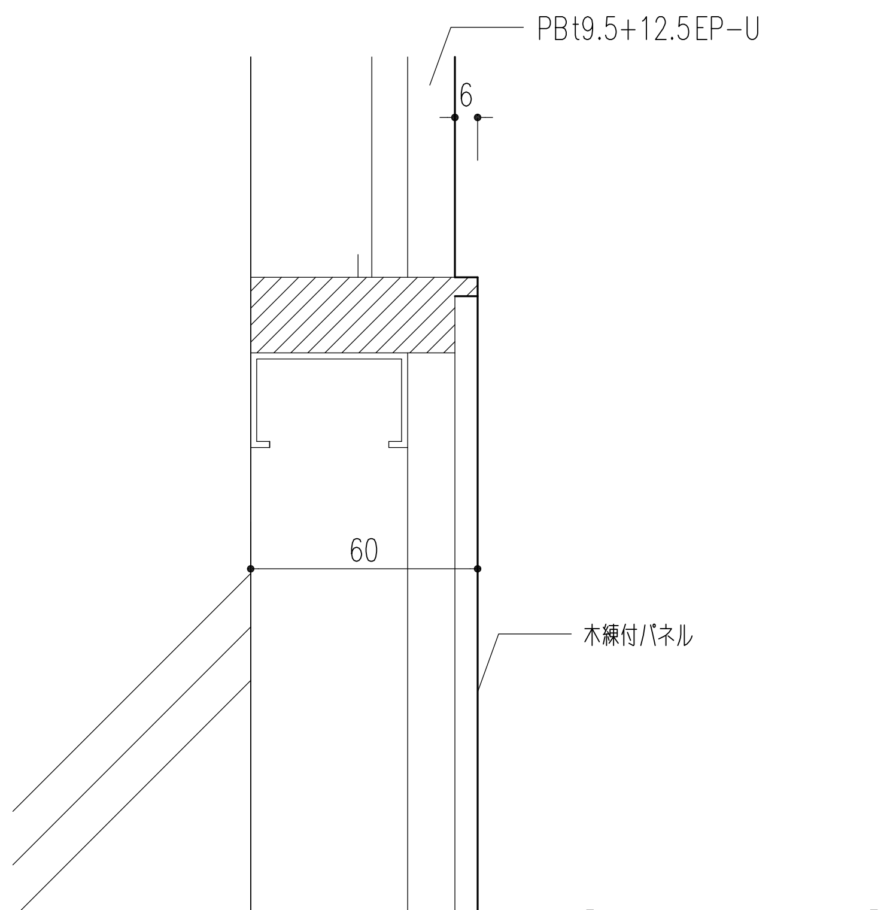
[B部平面詳細図　1:5]

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	階段詳細図2　ロビー階段	1:50,1:5	A75Str-de02	A-75

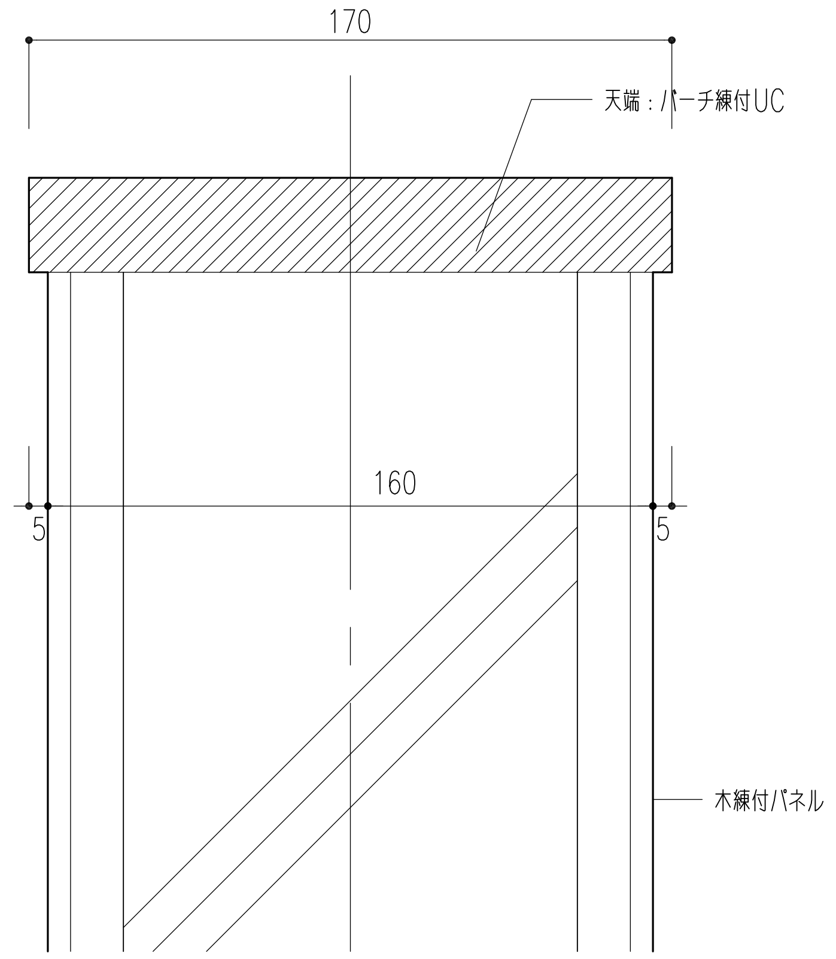
ホール階段詳細図 1:50 1:5



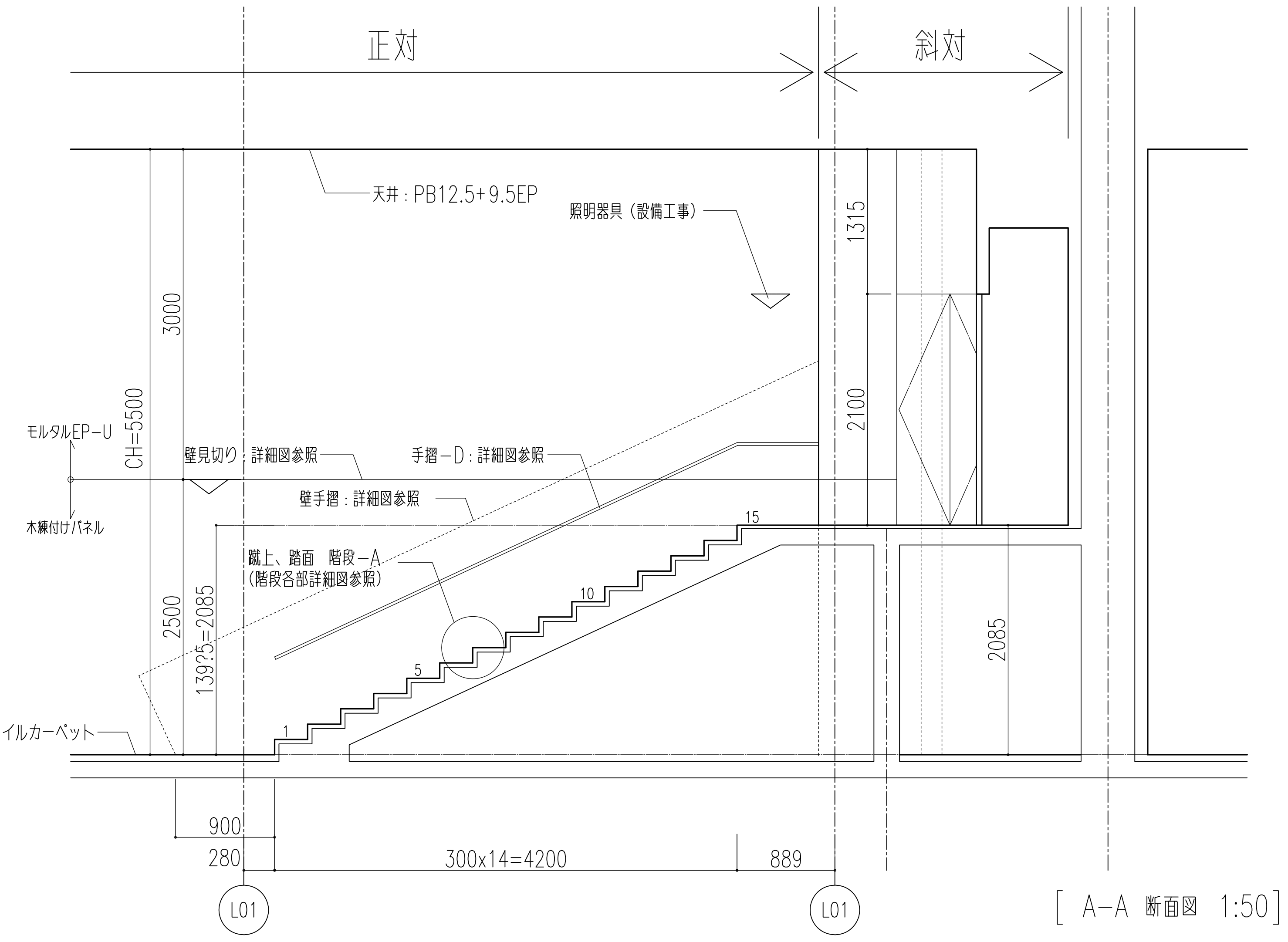
［ 2F平面図 1:50 ］



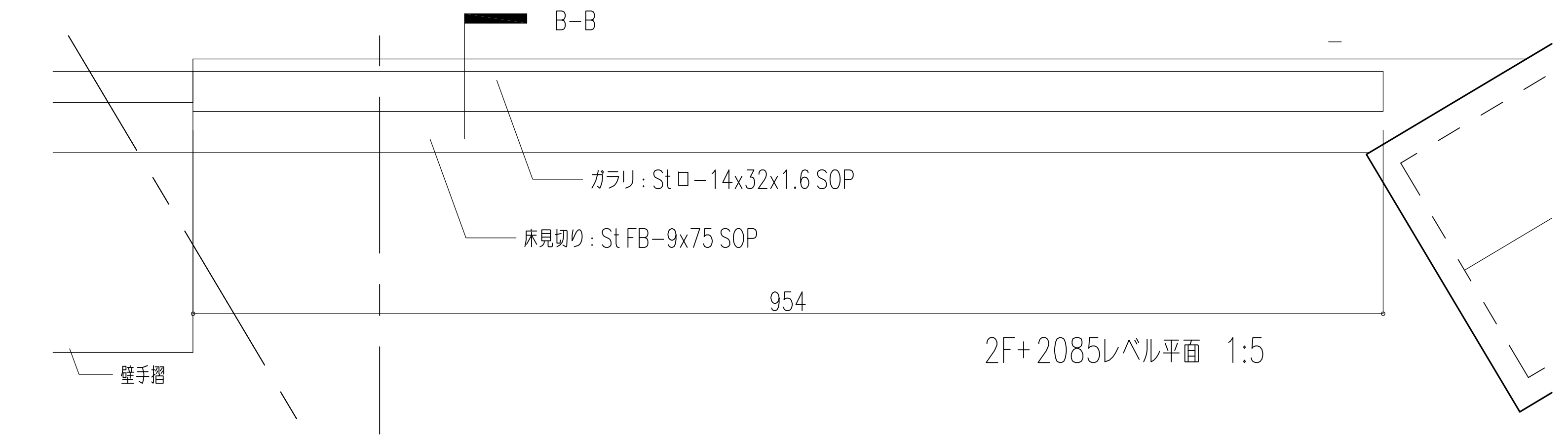
［ 壁見切詳細図 1:2 ］



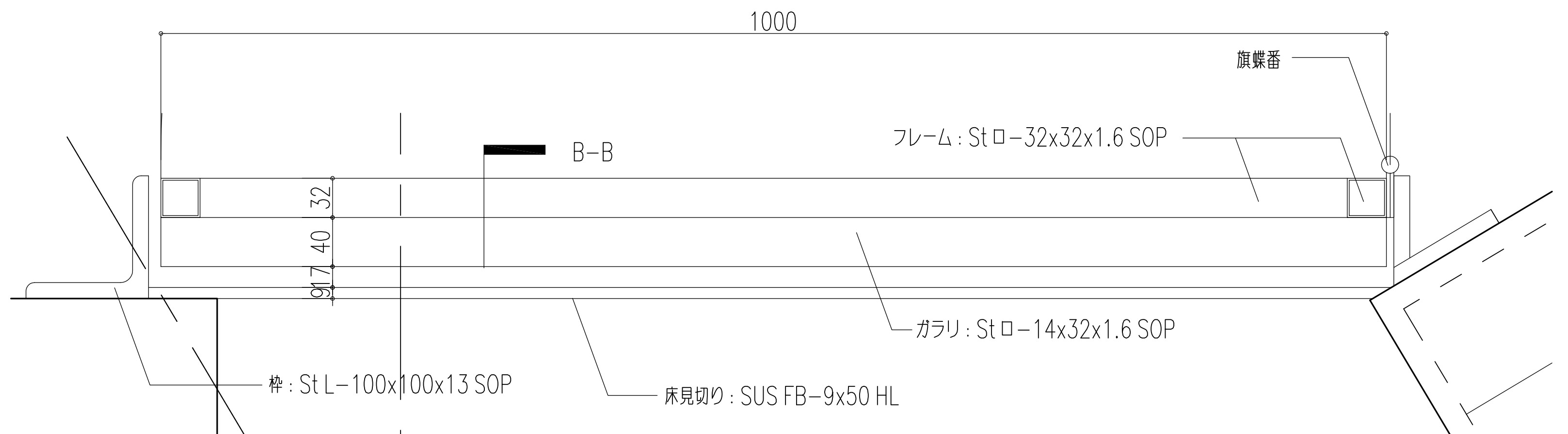
［ 手摺壁詳細図 1:2 ］



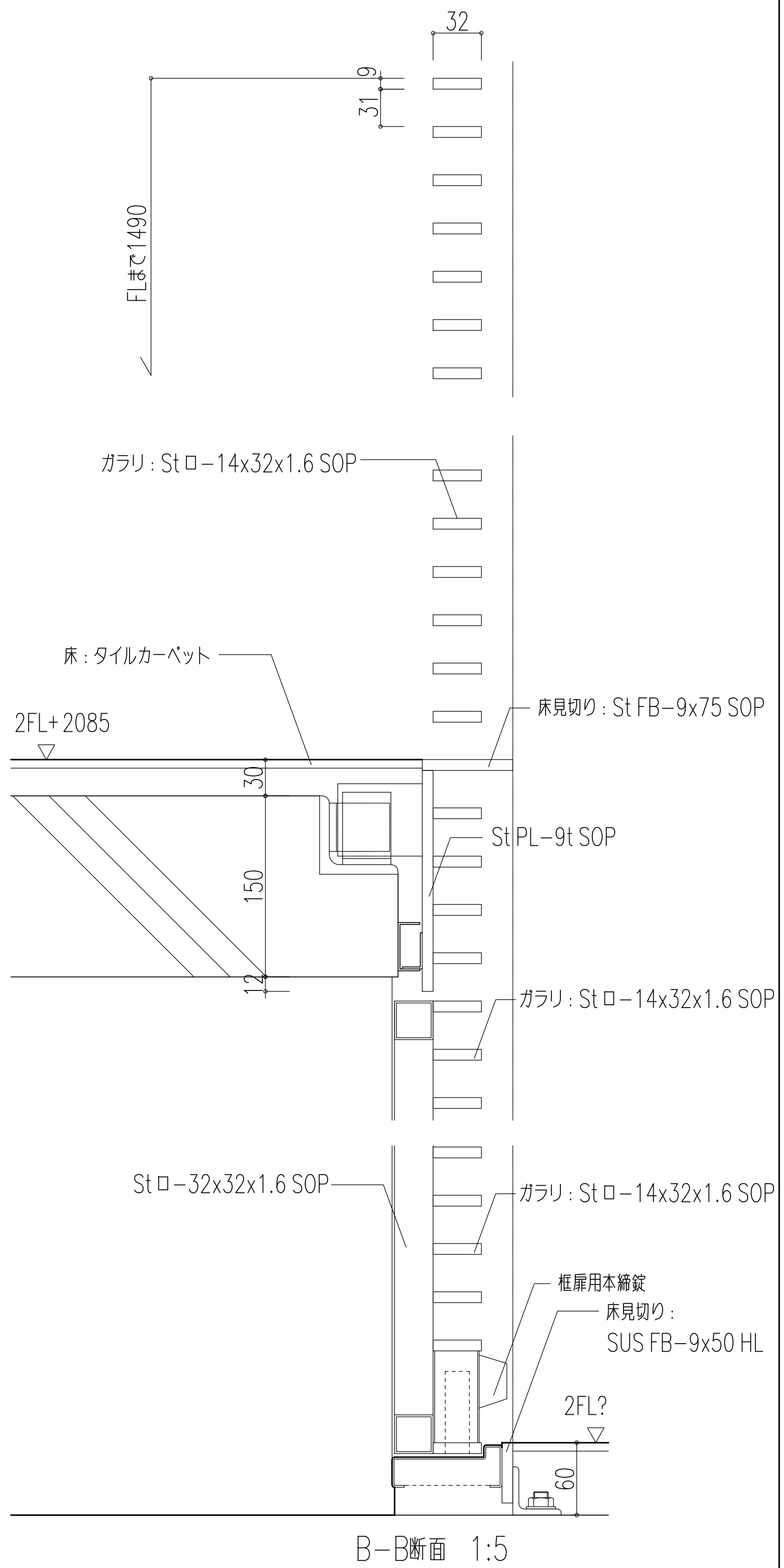
［ A-A 断面図 1:50 ］



2F+2085レベル平面 1:5

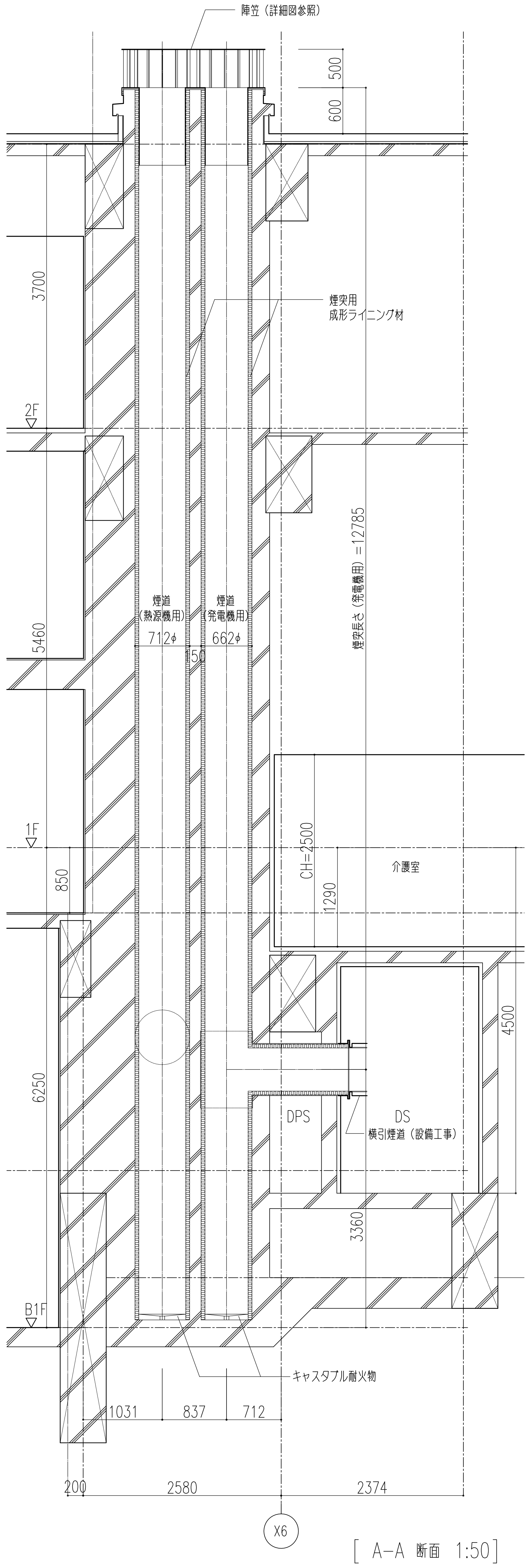


2F+0レベル平面 1:5

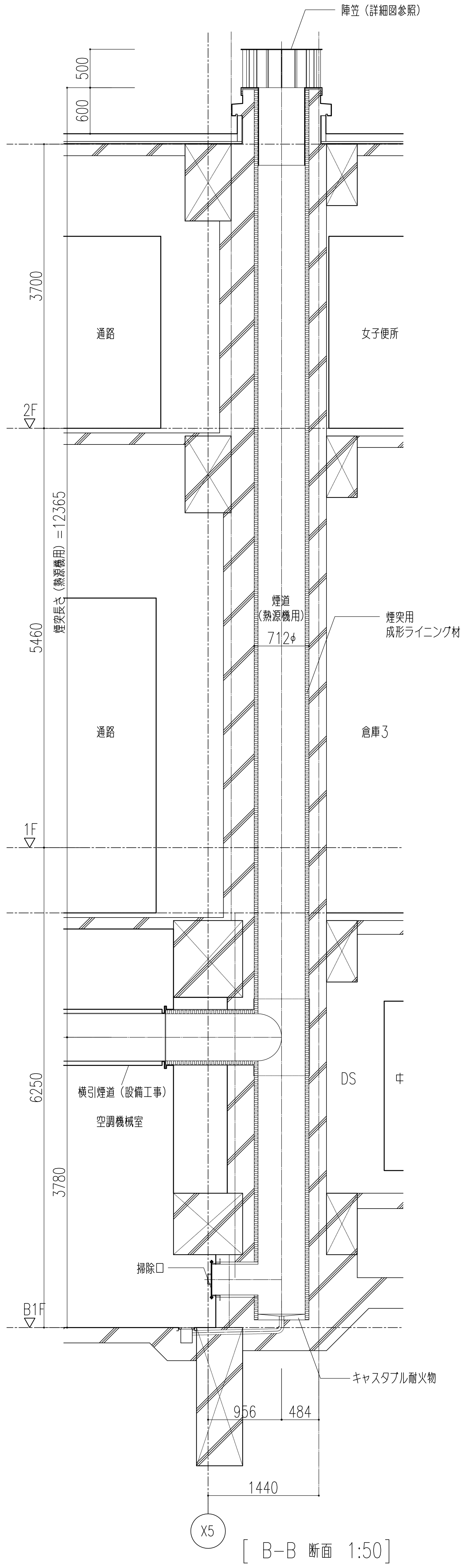


B-B断面 1:5

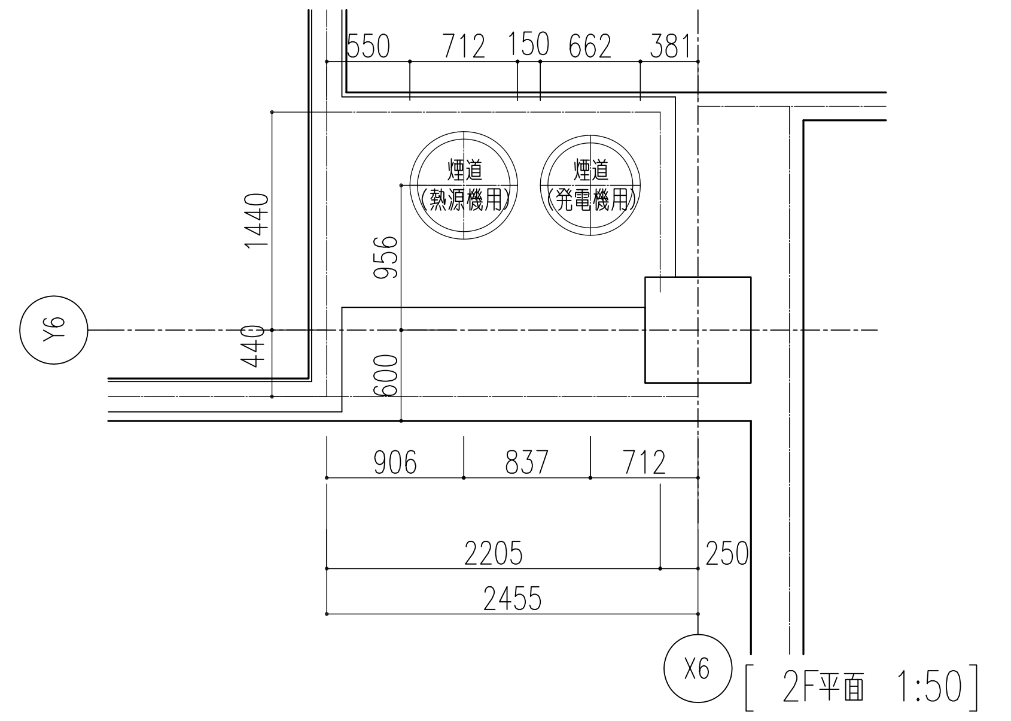
［ レターンガラリ詳細図 ］



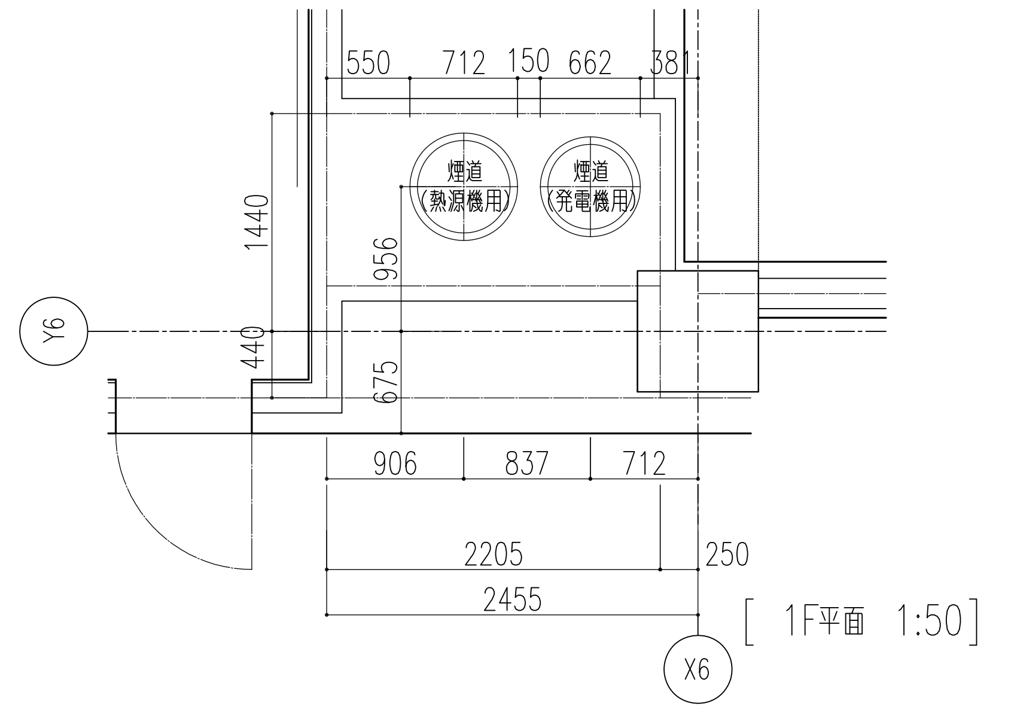
［ A-A 断面 1:50 ］



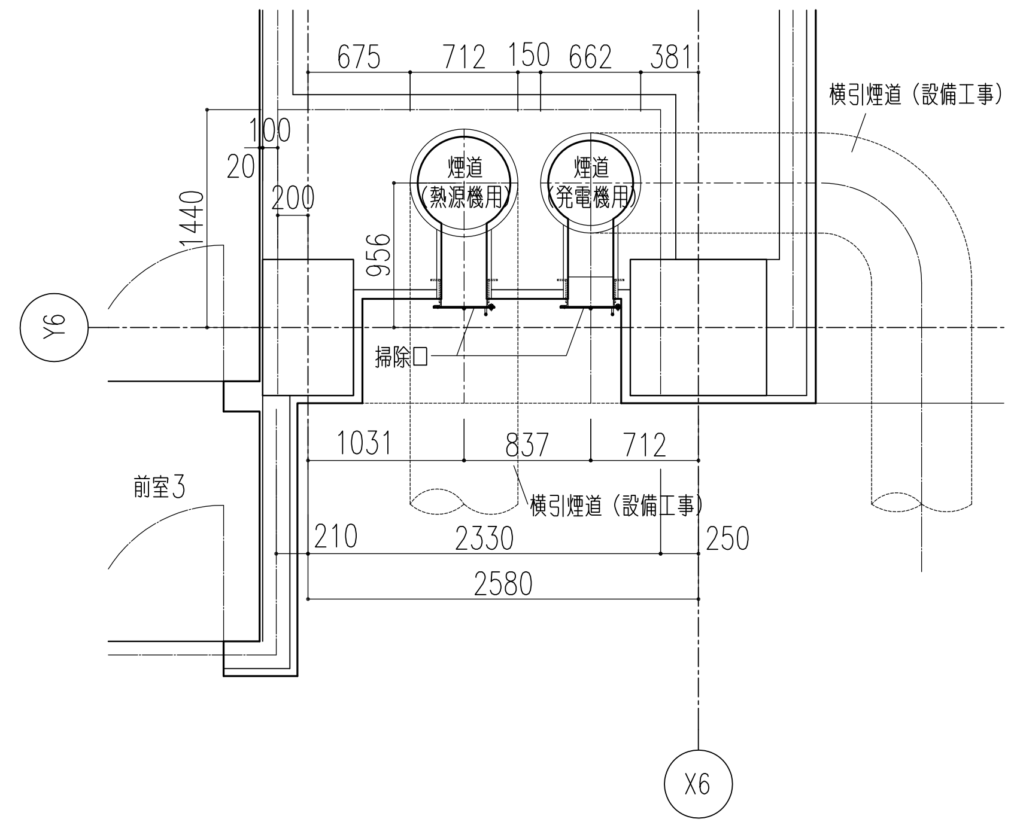
［ B-B 断面 1:50 ］



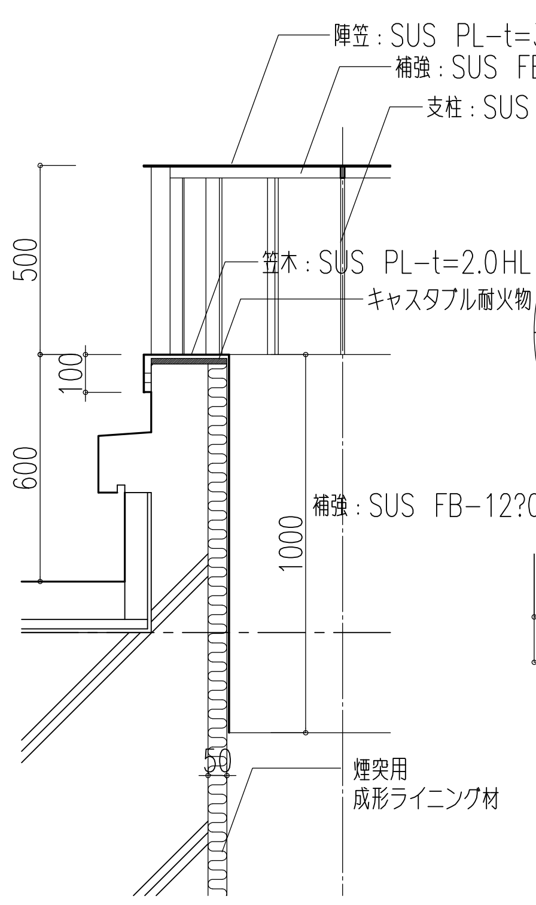
［ 2F平面 1:50 ］

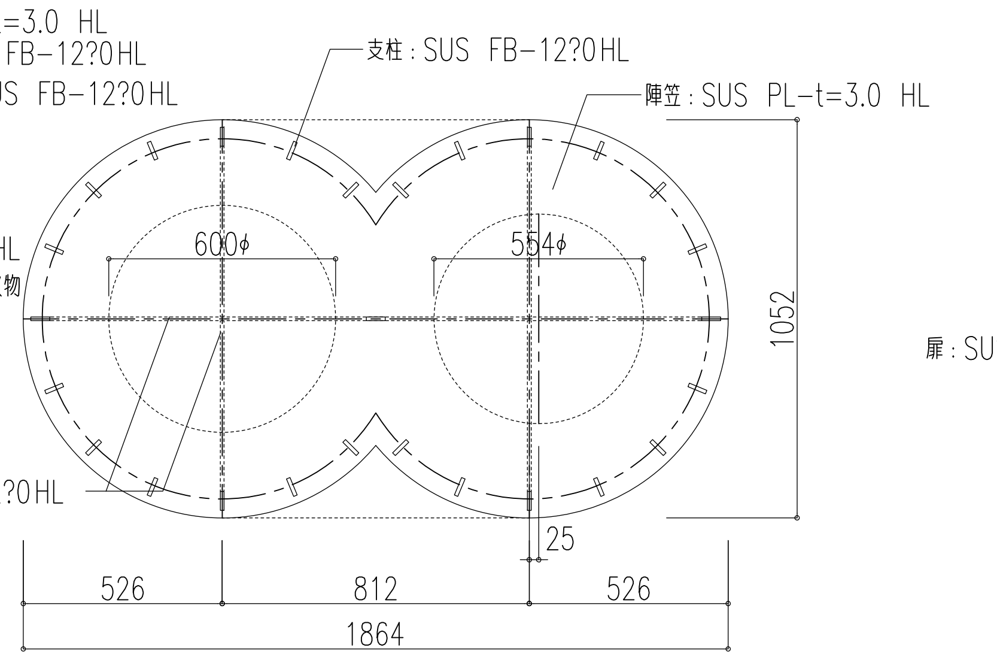


［ 1F平面 1:50 ］

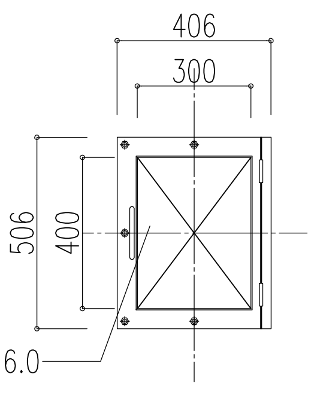


［ B1F平面 1:50 ］

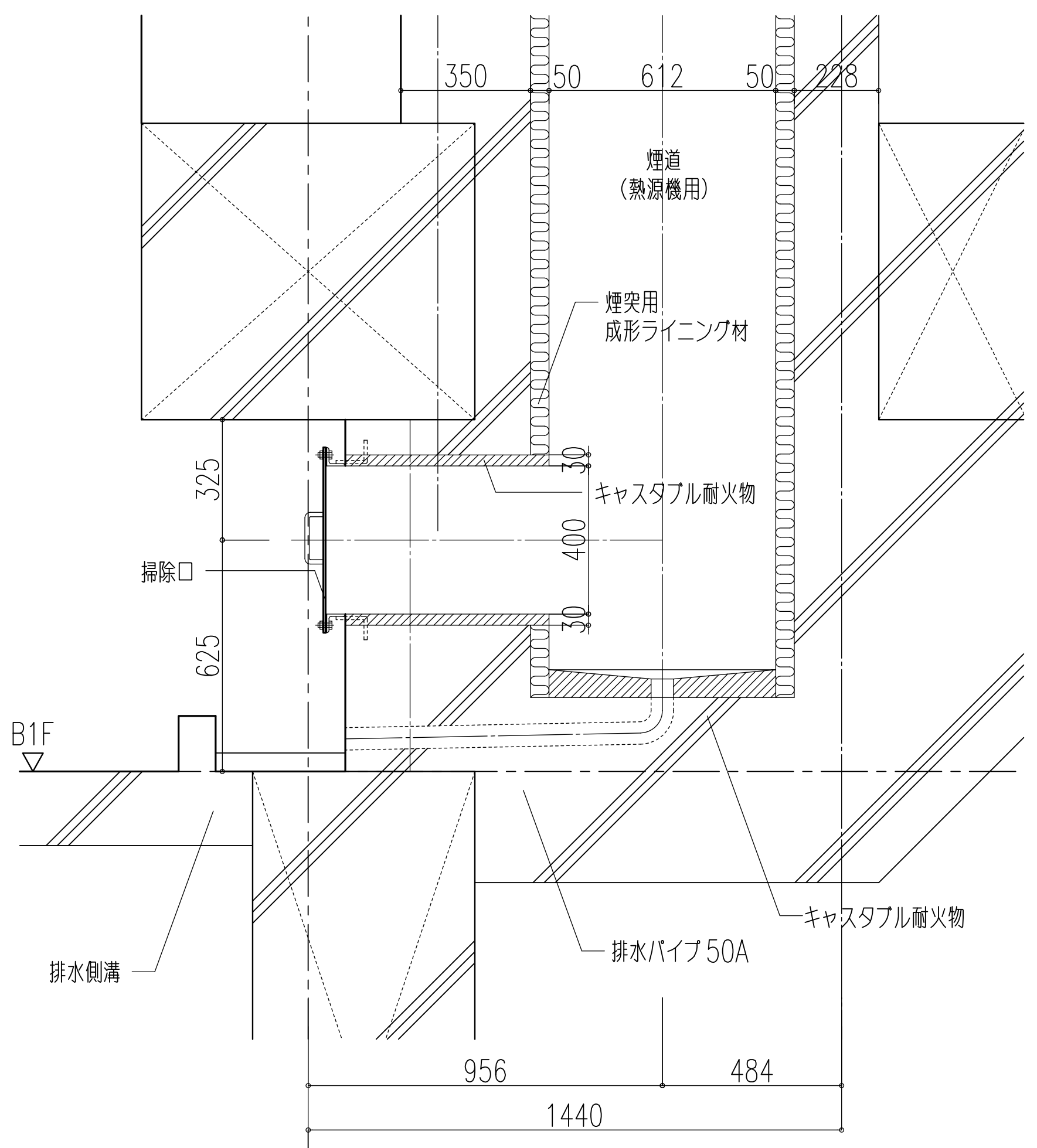




［ 陣笠平面 1:20 ］



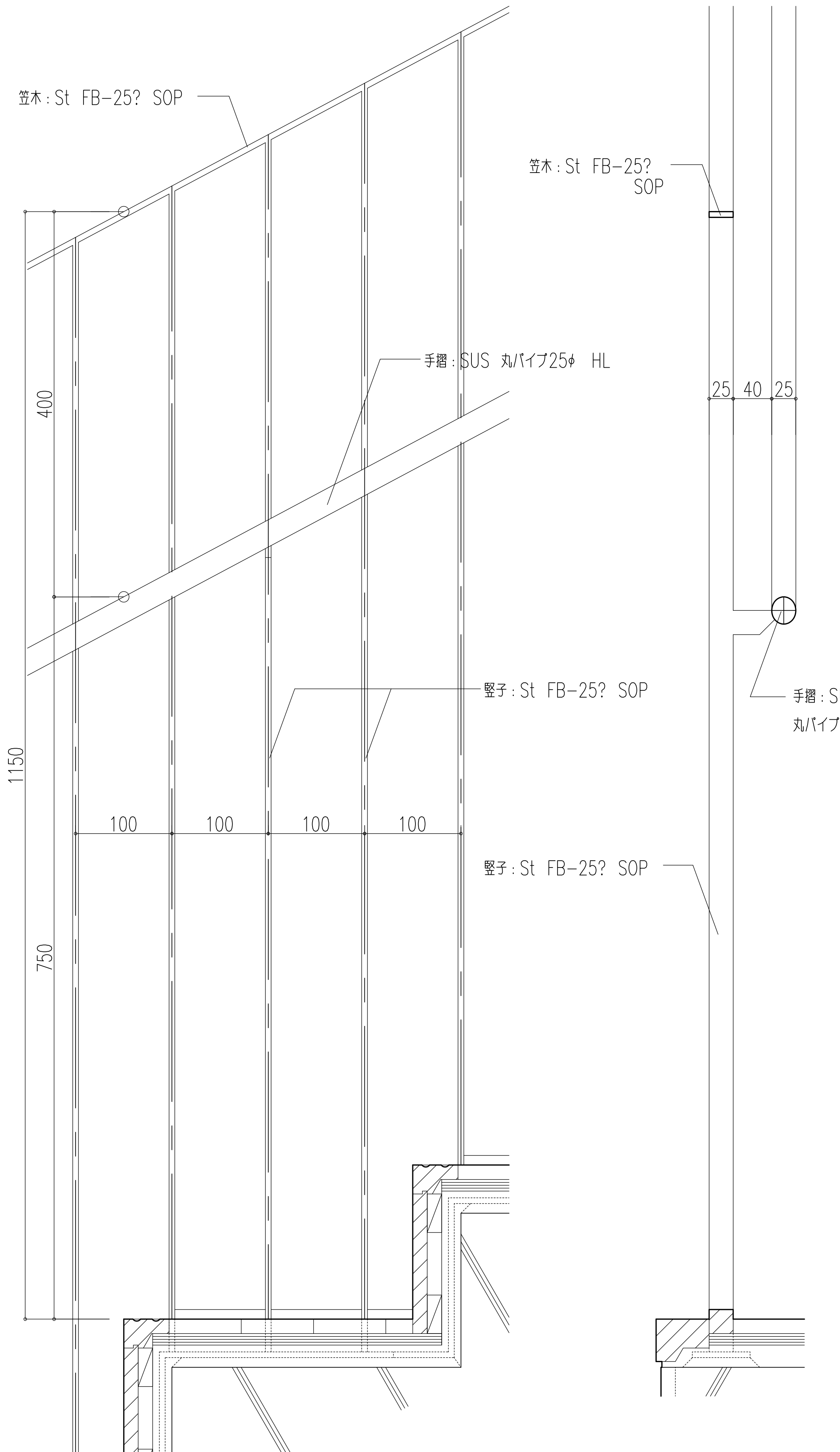
［ 掃除口 1:20 ］



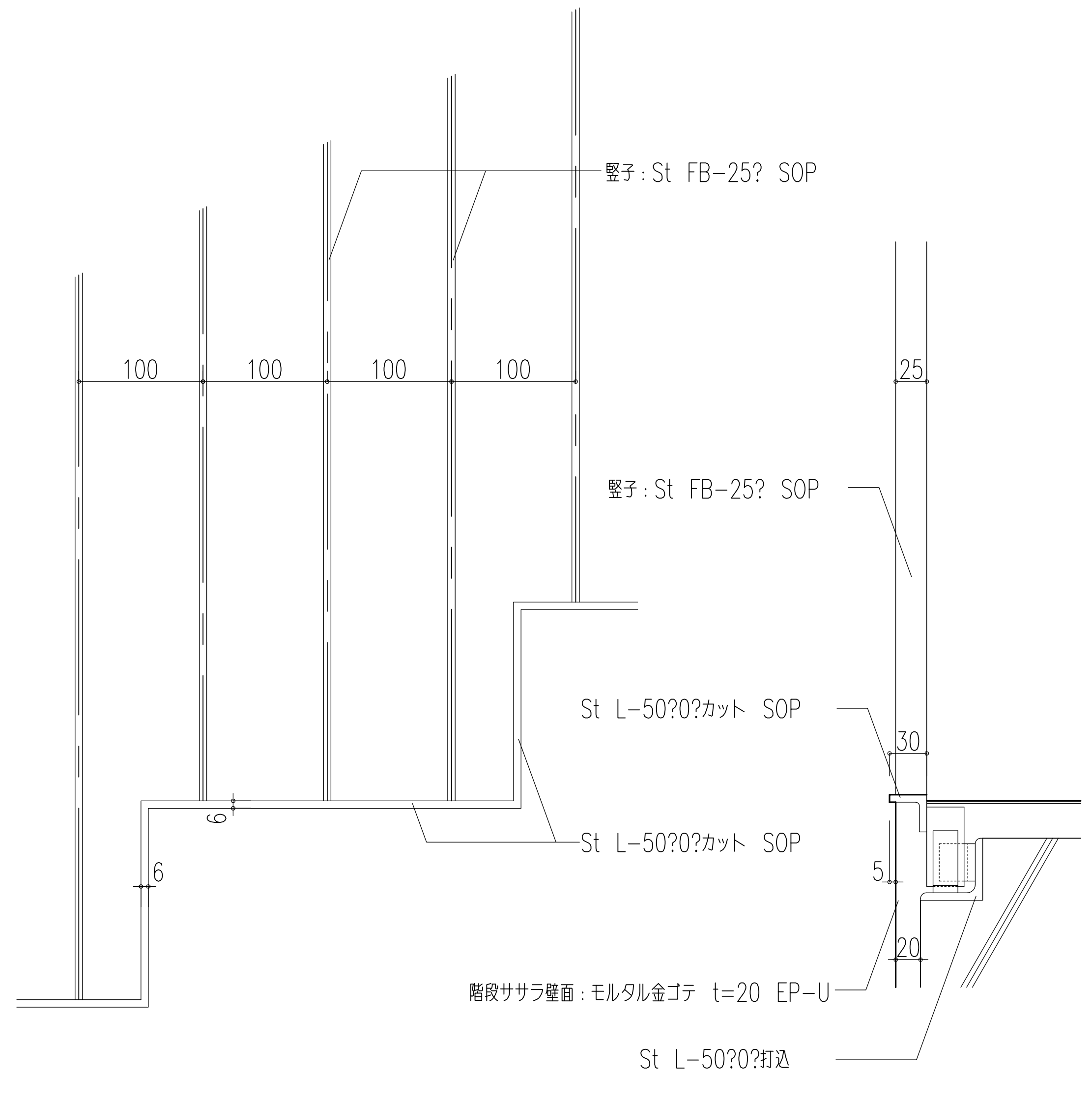
［ B-B 断面 1:50 ］

工事名称						
三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）	株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	年月日 2005年 5月	図面名称 階段詳細図5 ホール階段3,4 煙道	縮尺 1:50,1:20 1:5,1:2	ファイル名称 A78Str-de05_060306	図面番号 A-78

手摺－A1,2詳細図　1:5

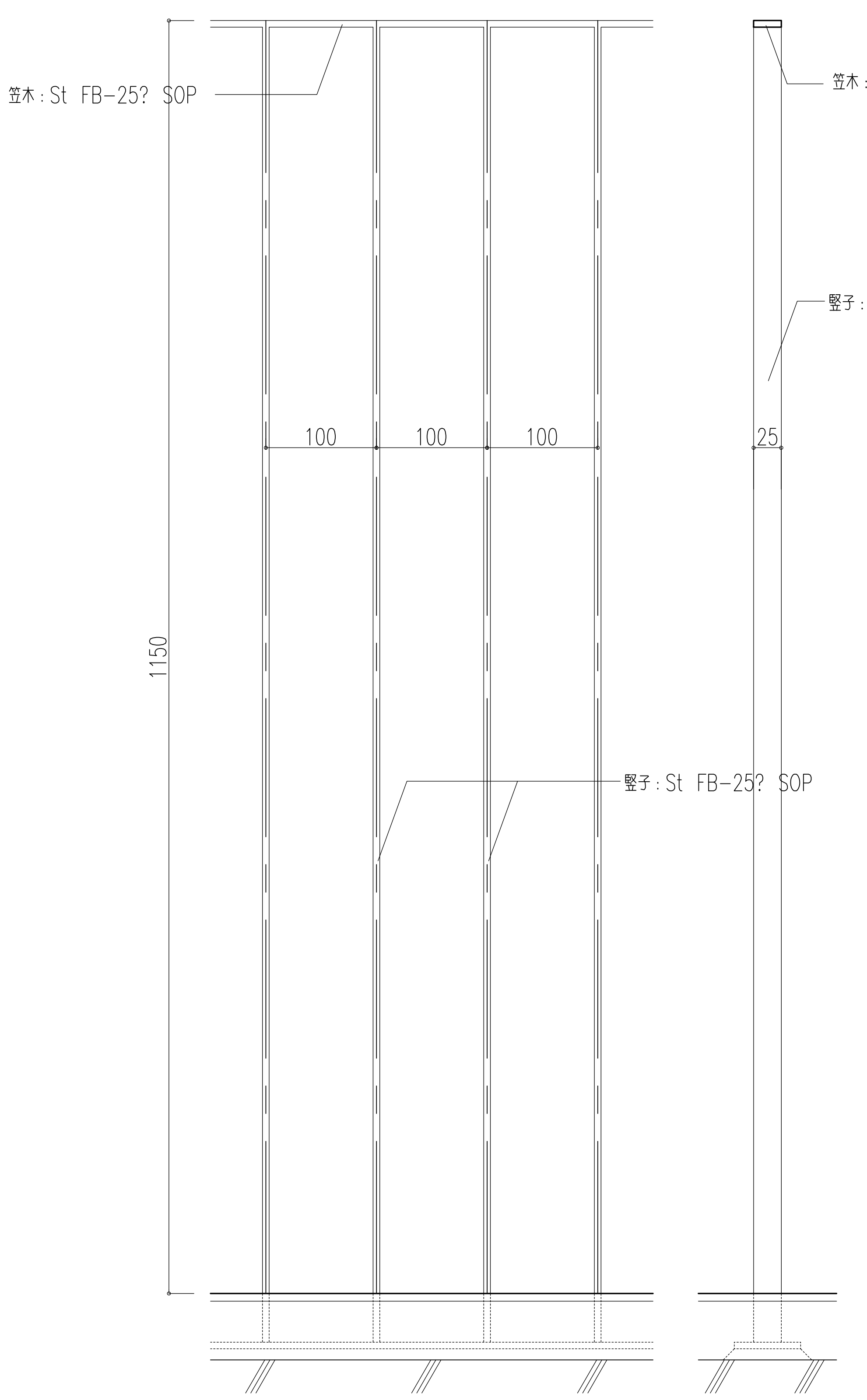


［ 手摺－A1 1:5］

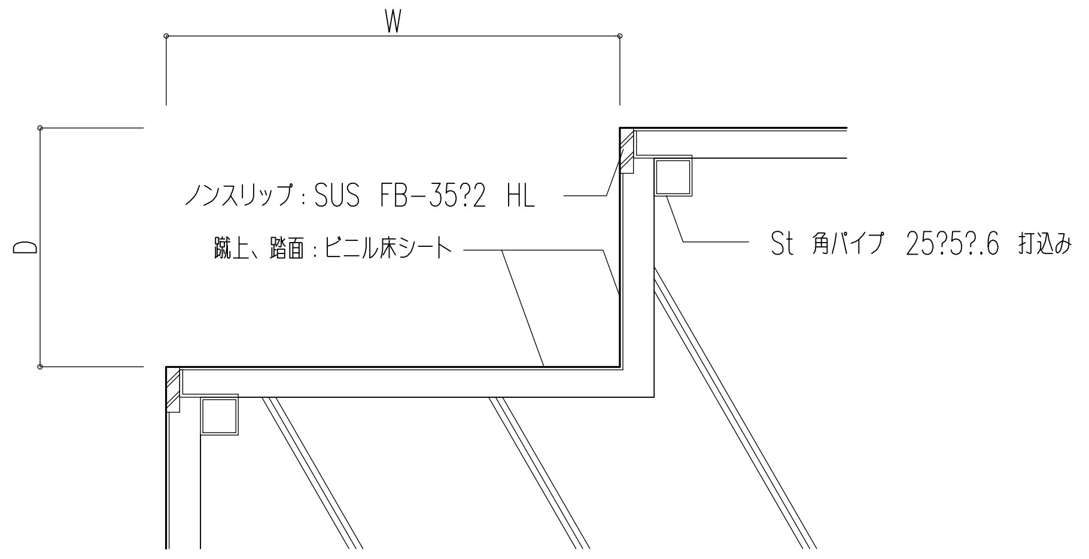


［ 手摺－A2 1:5］

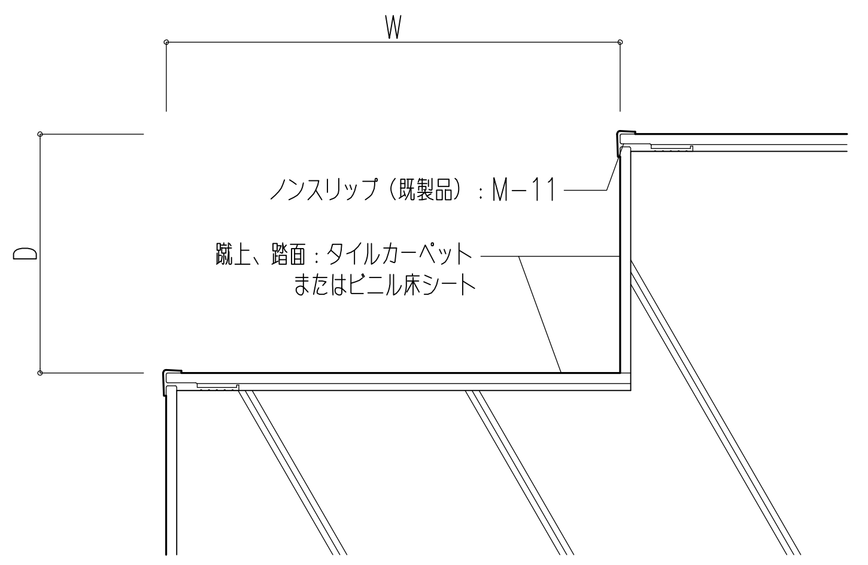
手摺－B詳細図　1:5



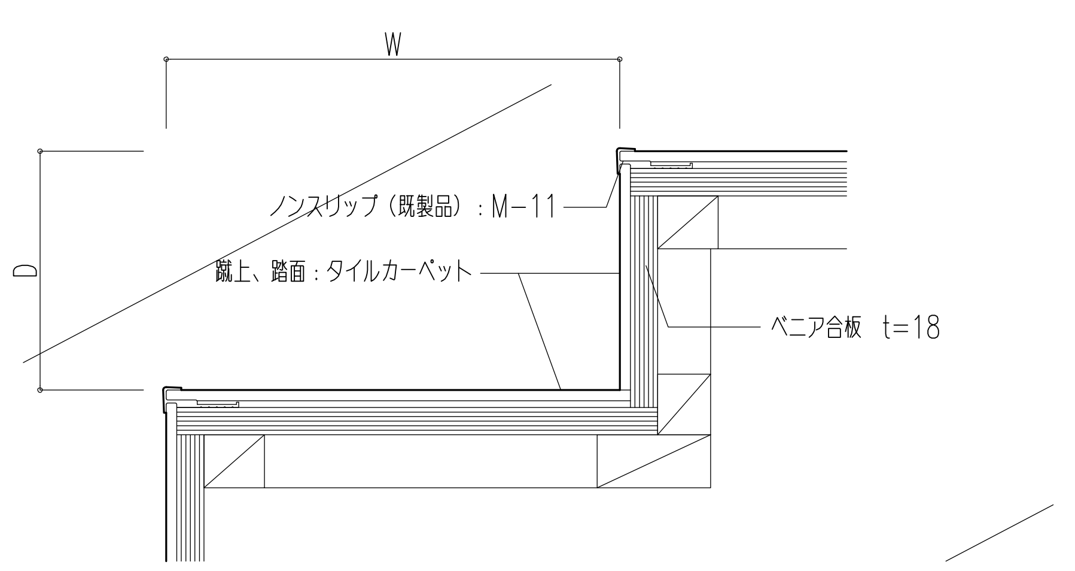
階段－A詳細図　1:5



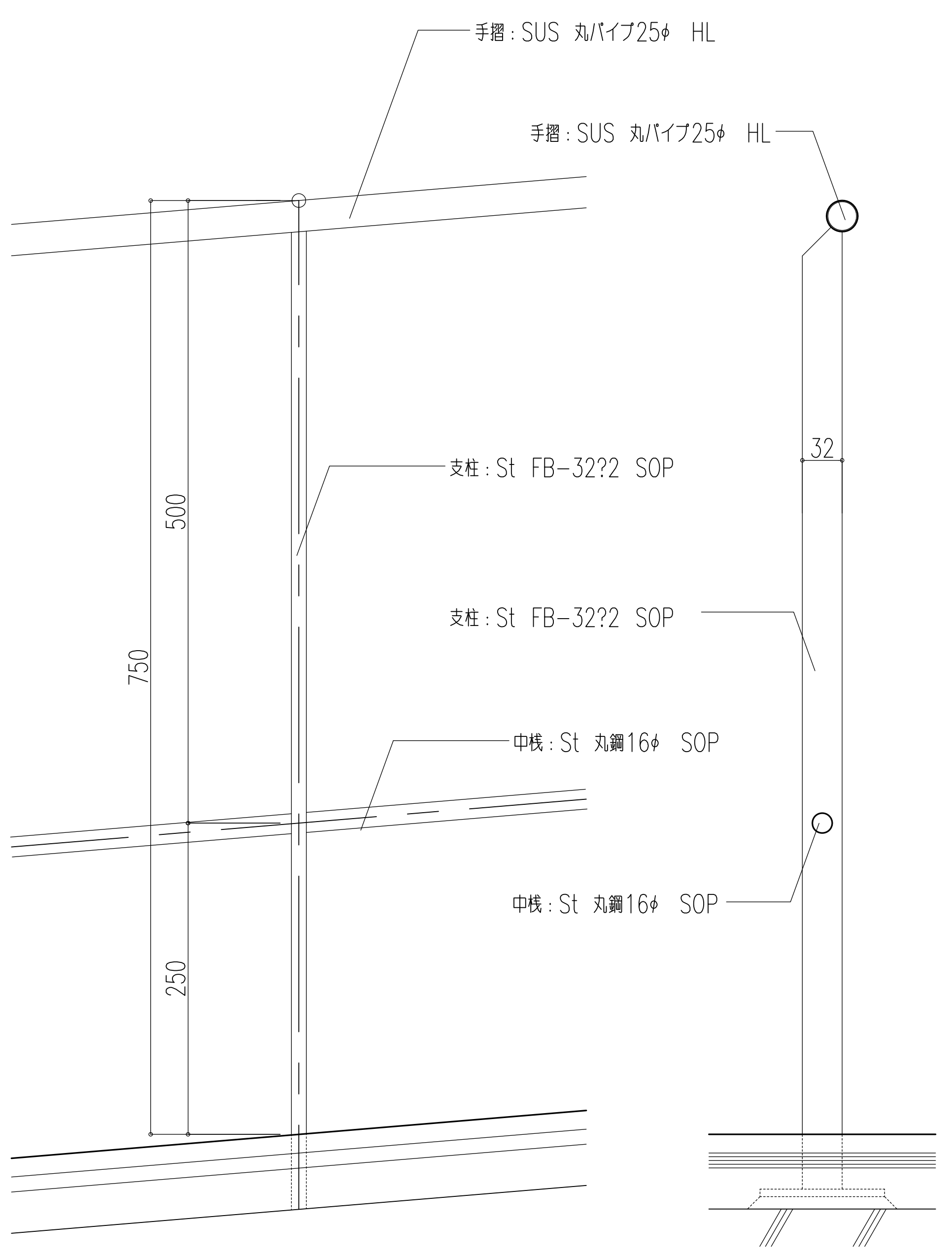
階段－B詳細図　1:5



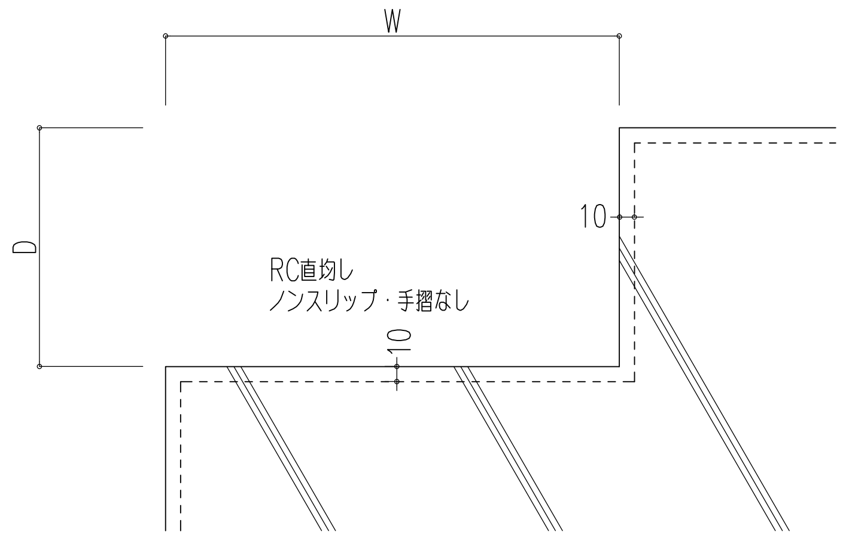
階段－C詳細図　1:5



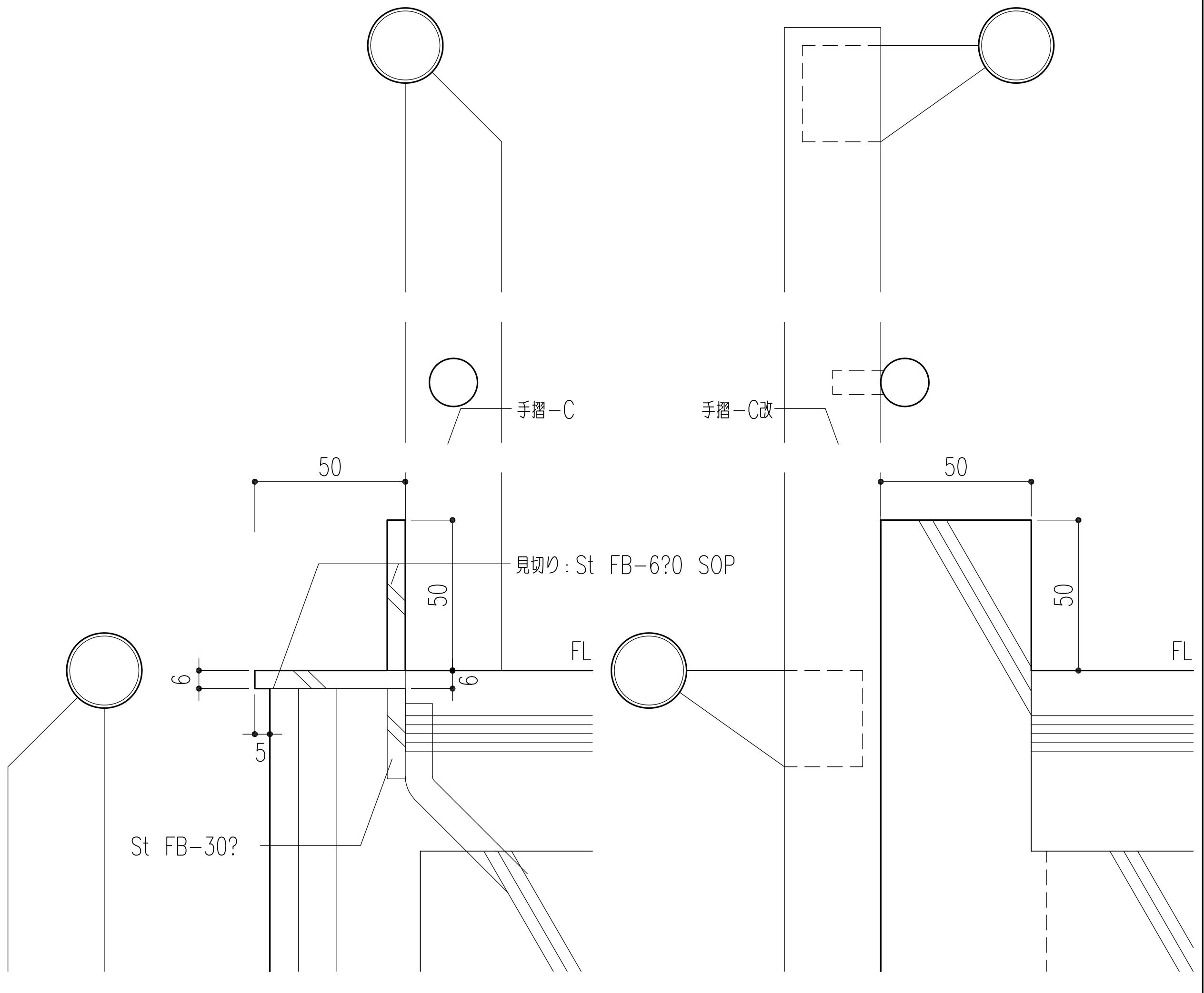
手摺－C詳細図　1:5



RCステップ　1:5

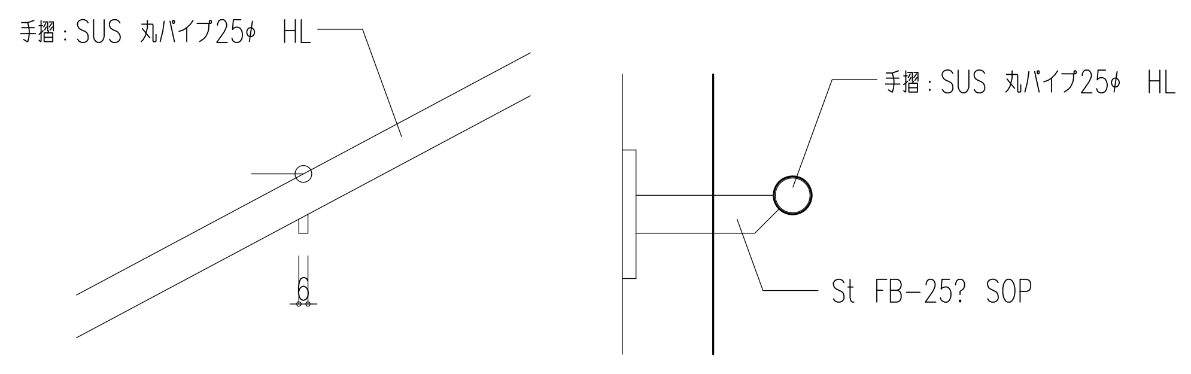


床見切詳細図　1:1

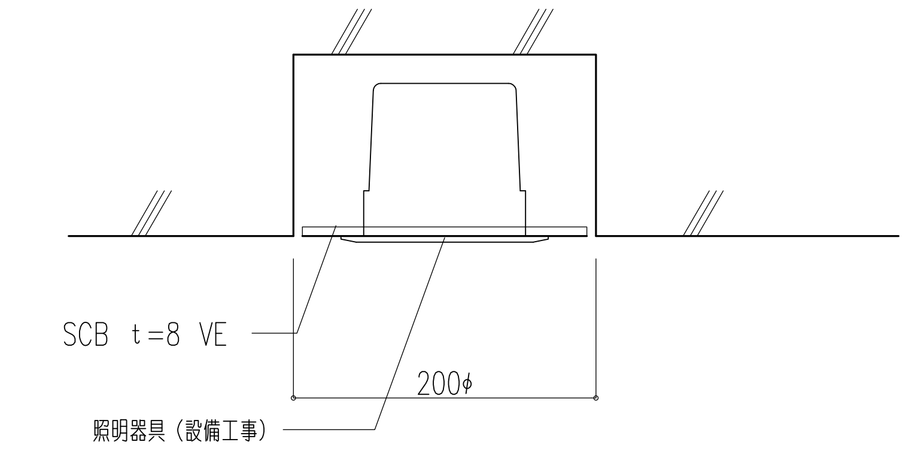


［床見切－A］　［床見切－A改］

手摺－D詳細図　1:5



階段室3天井設備器具取付け部詳細図　1:5

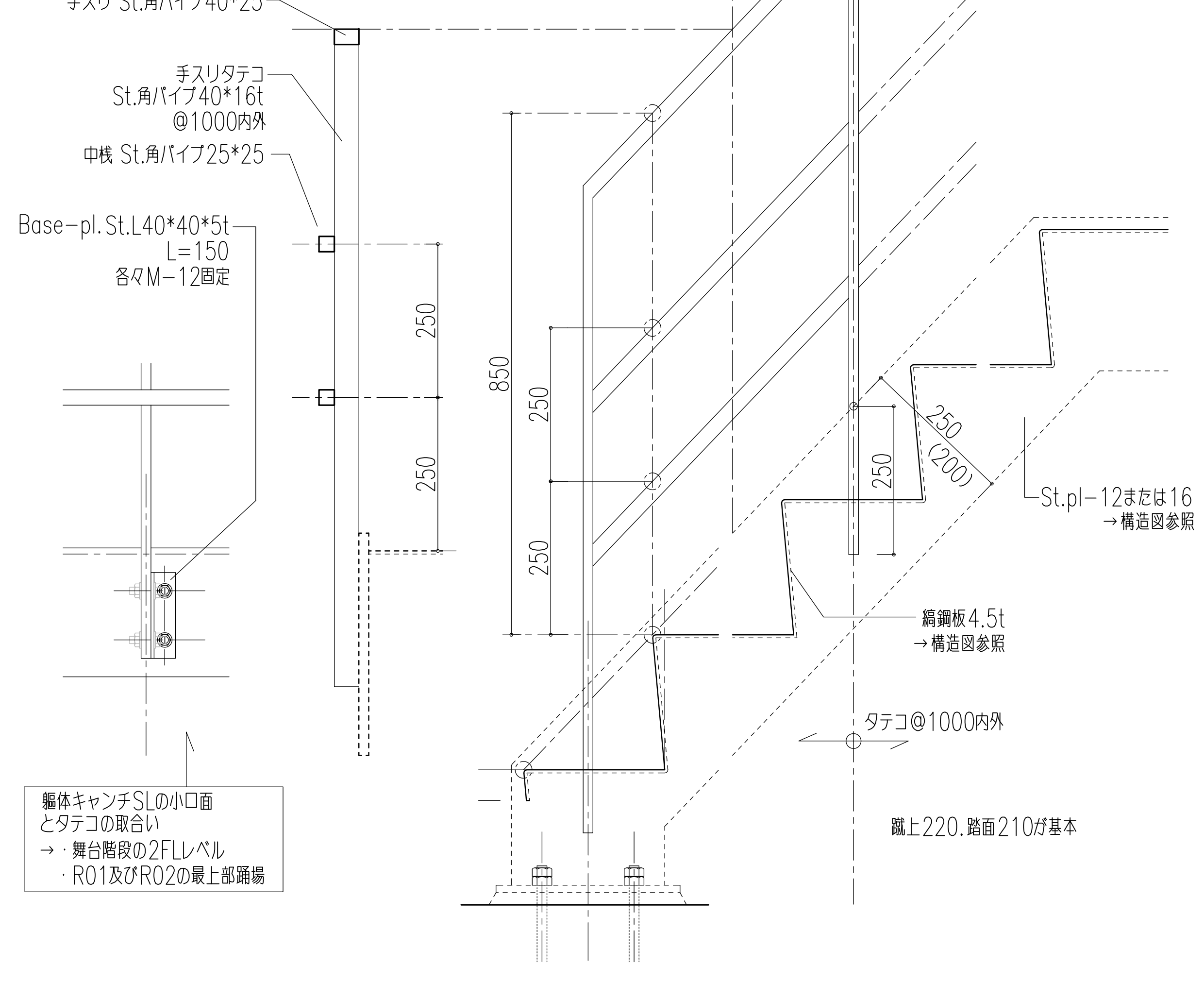


鉄骨階段手摺詳細図　1:10

各鉄骨階段仕上げ（手摺共）

地階	鉄骨階段B01	錆止塗装のみ	「地階平面図」参照
舞台上部	舞台階段	錆止塗装のみ	「舞台廻り詳細図1.2」「構造図」参照
	ブドウ棚階段	錆止塗装のみ	「舞台廻り詳細図1.2」「構造図」参照
塔屋	鉄骨階段R01（前室）	錆止塗装のみ	「舞台廻り詳細図1.2」「構造図」参照
	鉄骨階段R02（換気機械室）	錆止塗装のみ	「舞台廻り詳細図1.2」「構造図」参照
屋外機置場（別棟）	鉄骨階段L01	ZP	「雑詳細図4」M-43参照

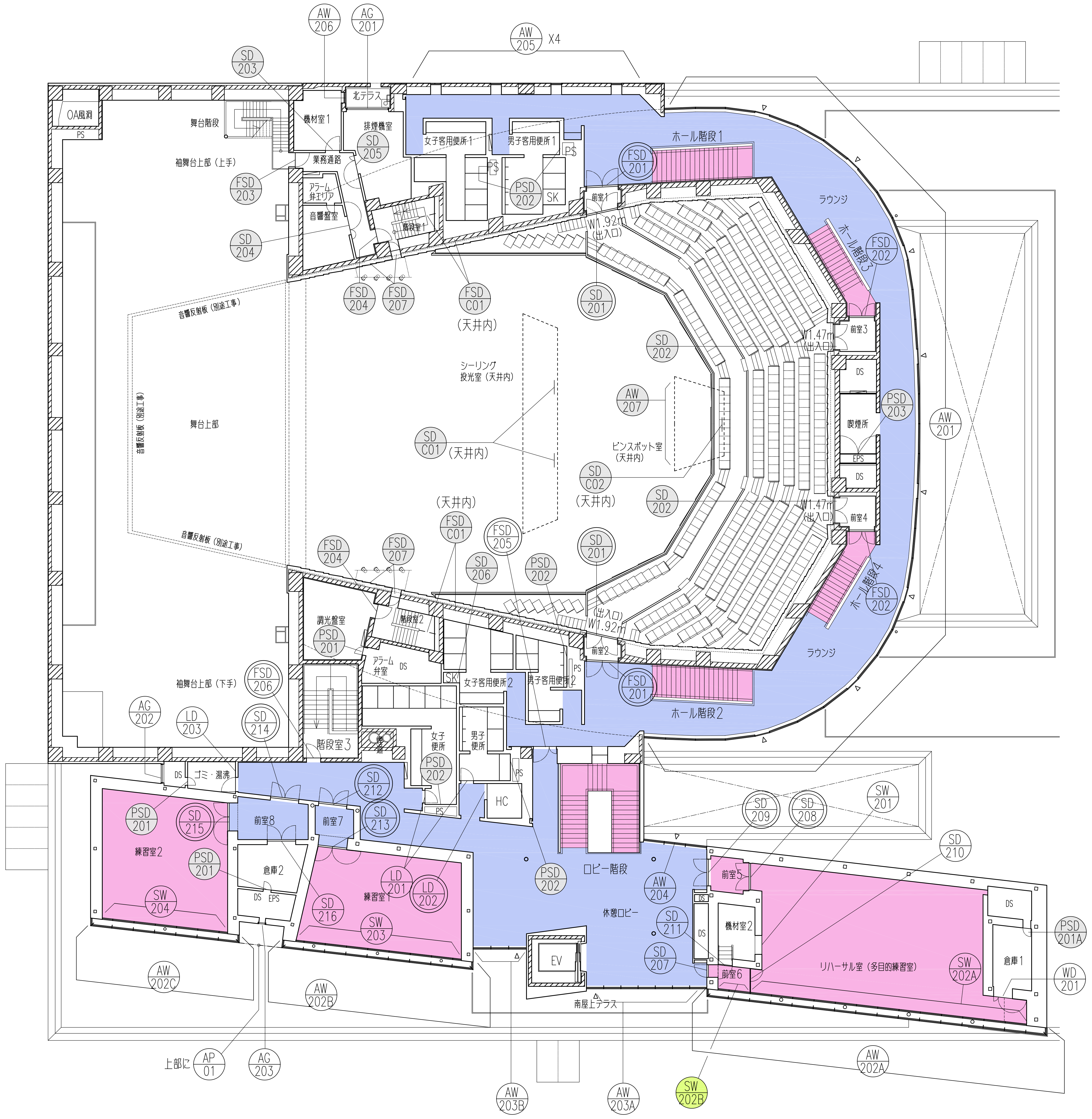
※階段本体のササラ・踏板は構造図参照
※B01及びL01においてはR01.02と同様
　の構造材メンバー・構成とする



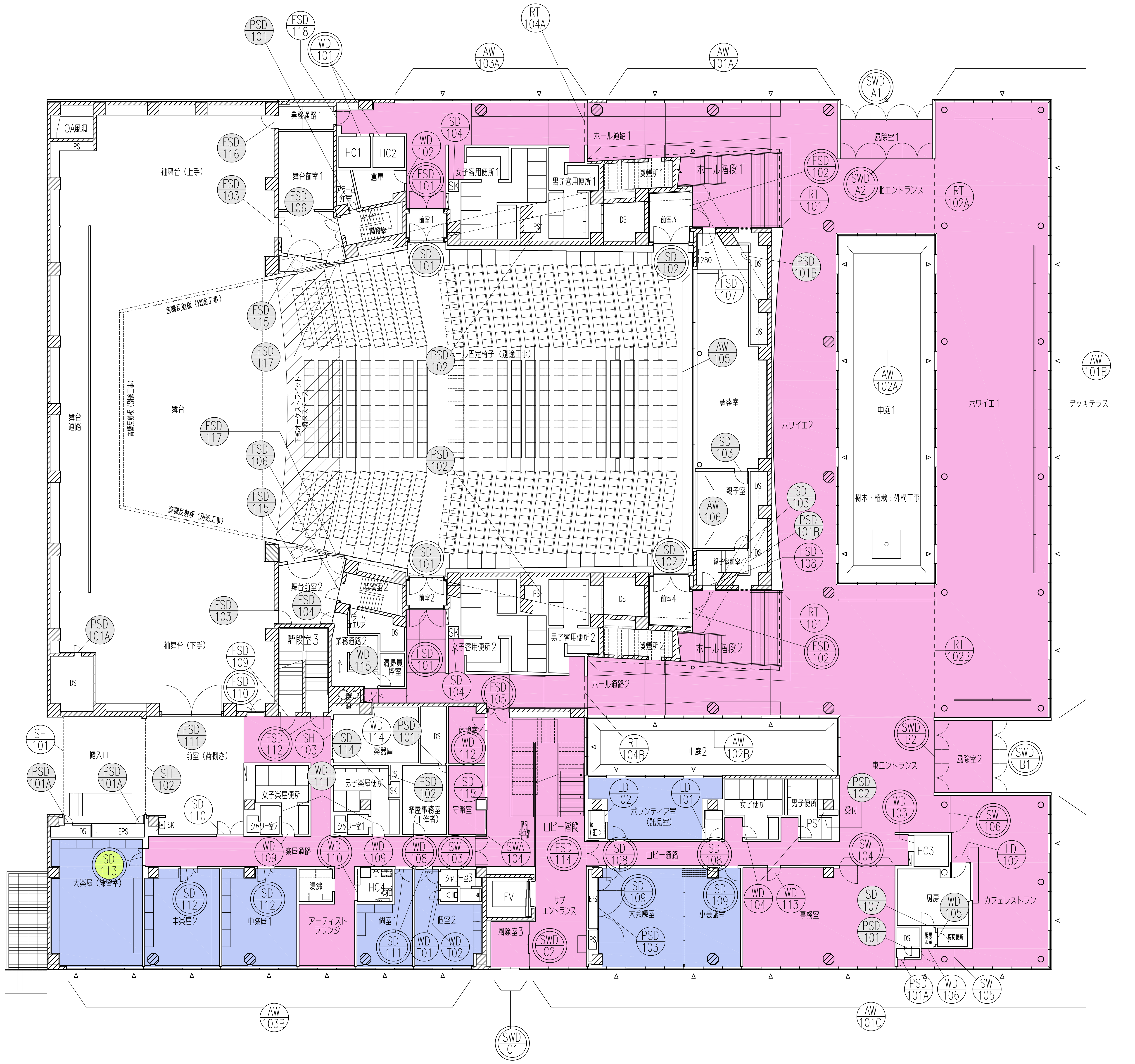
躯体キャンチSLの小口面
とタテコの取合い
→・舞台階段の2FLレベル
　・R01及びR02の最上部踊場

工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	年月日 2005年 5月	図面名称 階段各部詳細　手摺・段鼻	縮尺 1:10 1:5 1:2	ファイル名称 A79Str-de06

図面番号
A-79



[2階平面図]



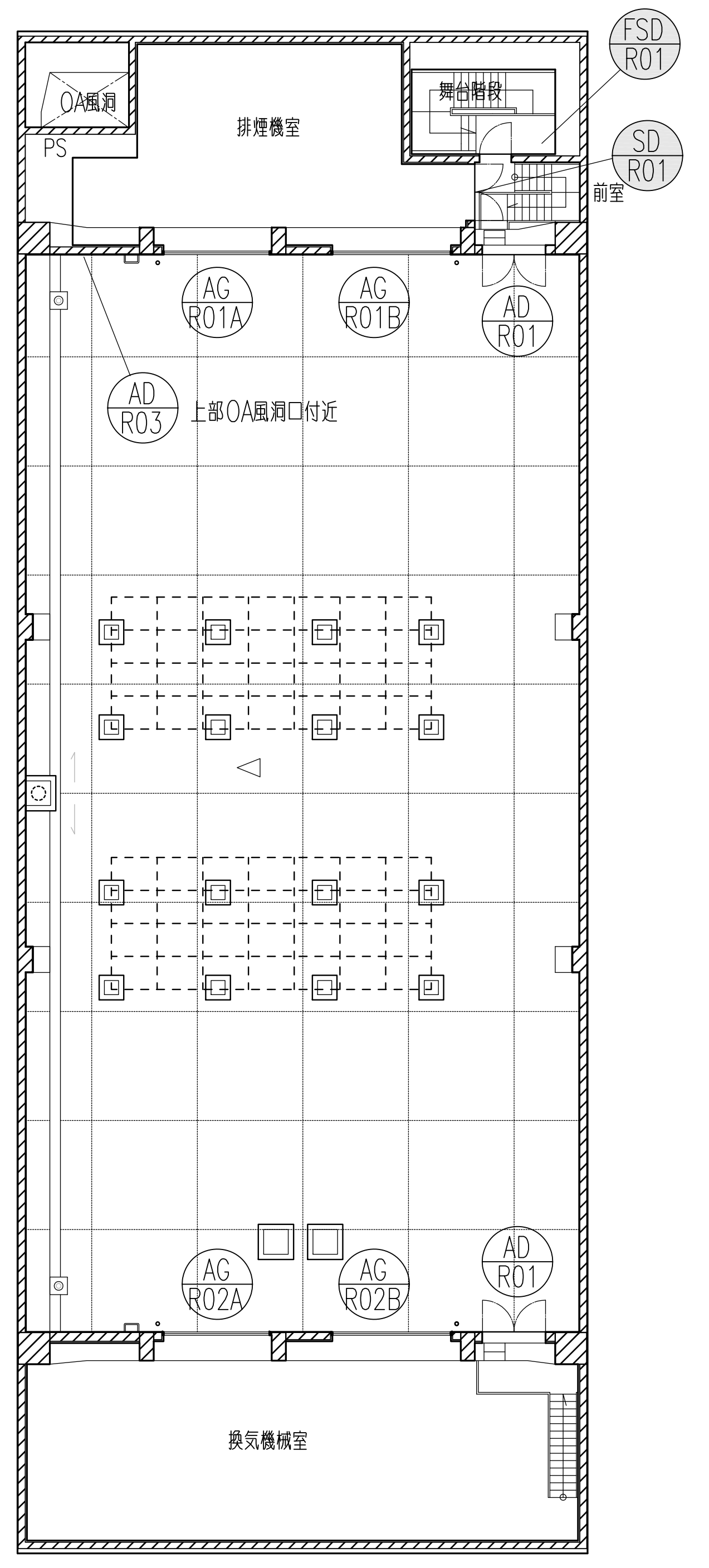
[1階平面図]

※凡例

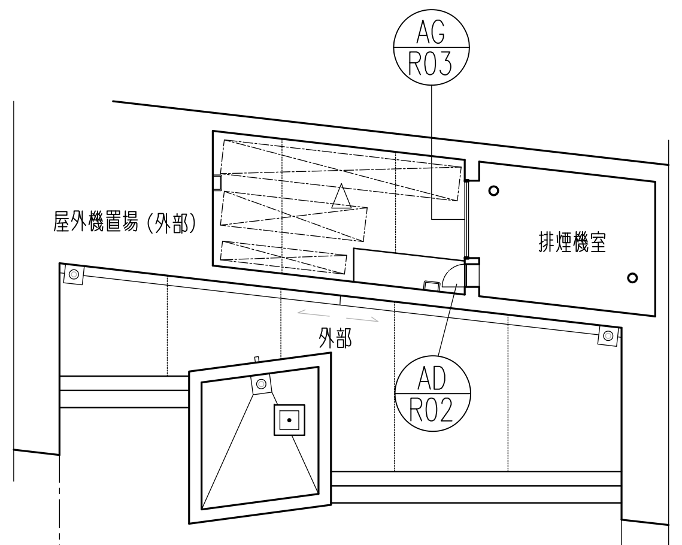
○ ハートビル法対応出入口を示す。

● 修繕工事対象外の建具を示す。

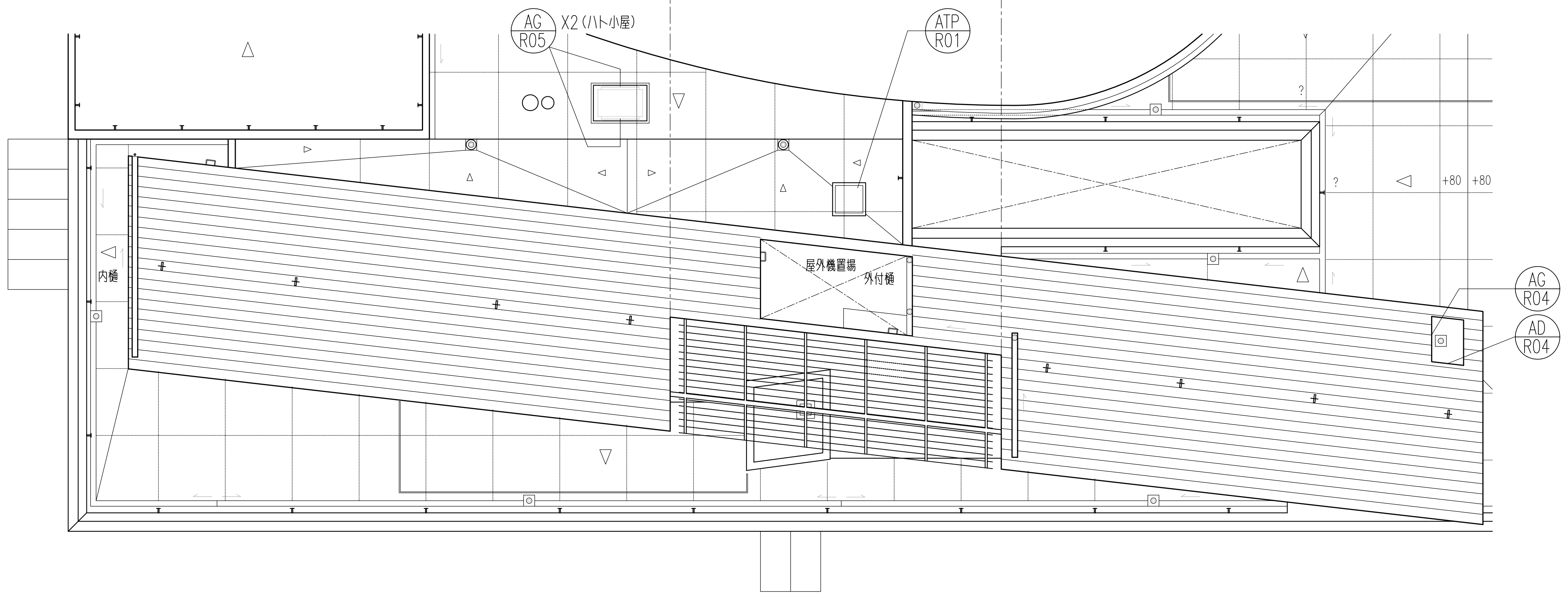
工事名称		年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	建具位置図1　1階・2階	1:200	A86Kp-12F_申請_改2	A-86



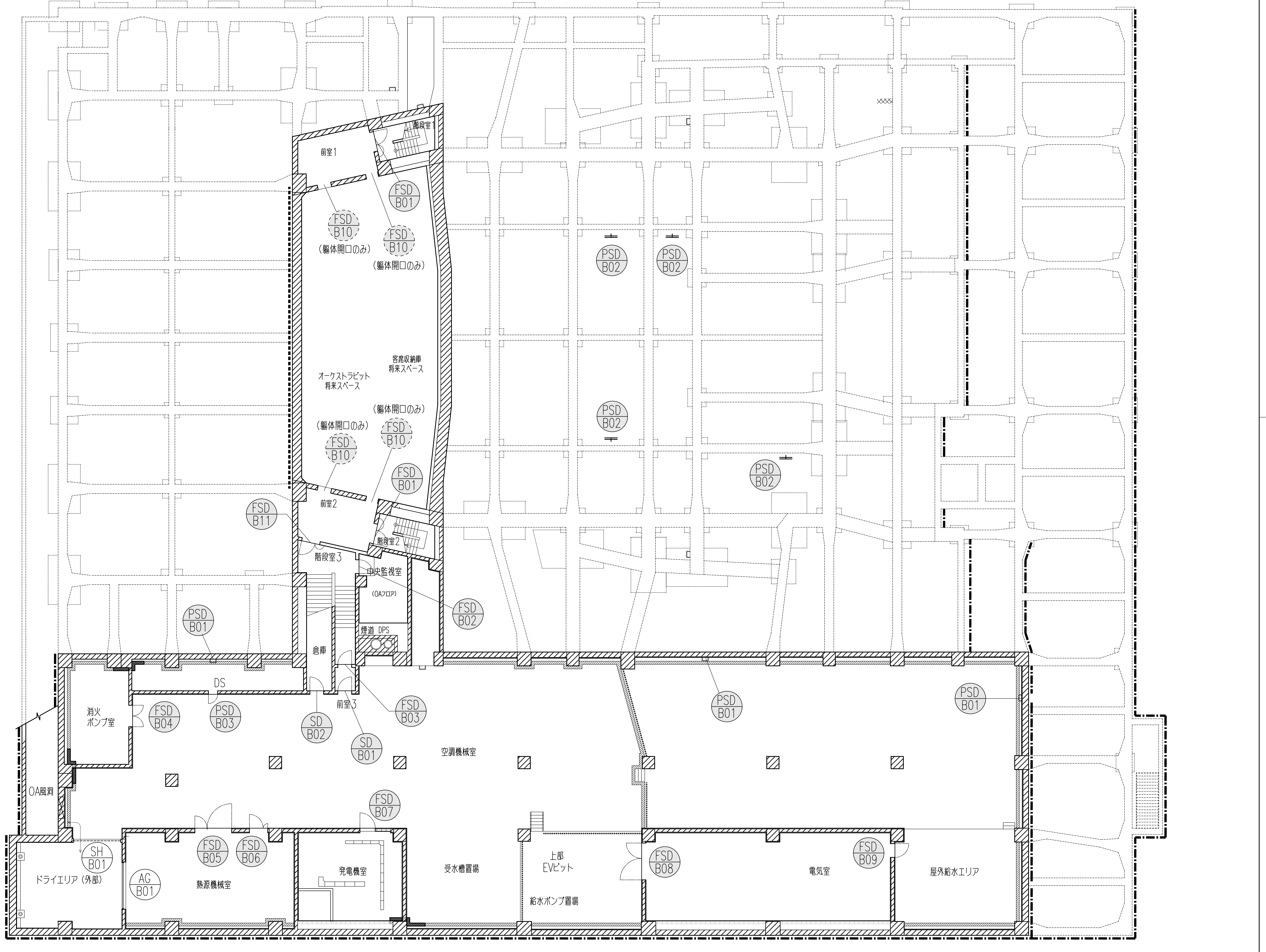
［塔屋階平面図］



［2階休憩ロビー直上部屋根伏図］



［屋根伏図（リハーサル・練習室ゾーン）］



［地階平面図］

※凡例

/ 修繕工事対象外の建具を示す。

工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）

株式会社　槇総合計画事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦

年月日
2005年 5月

図面名称
建具位置図2　地階・塔屋

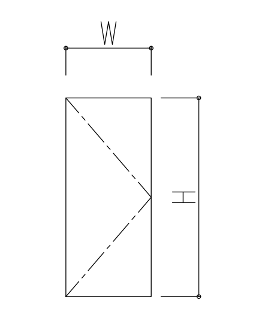
縮尺
1:200

ファイル名称
A87Kp-BPHF

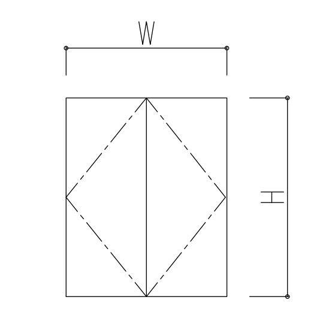
図面番号
A-87

建具姿図

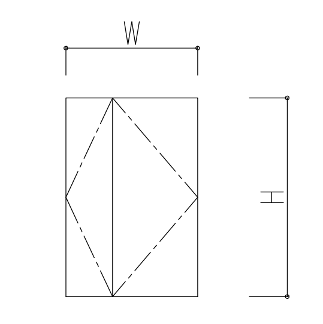
A 片開き



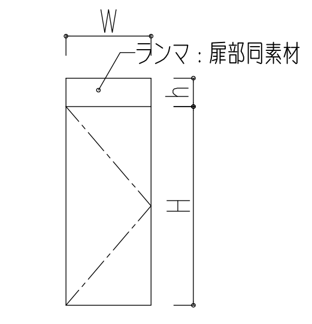
B 両開き



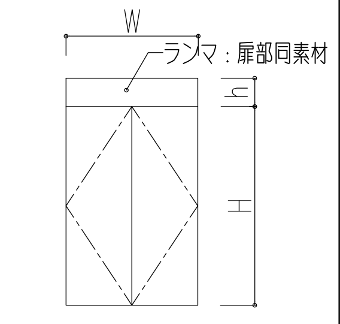
C 親子



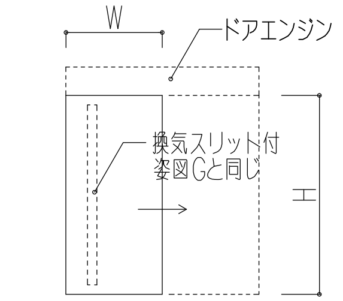
D ランマ付き（片開き）



E ランマ付き（両開き） Ea（親子）

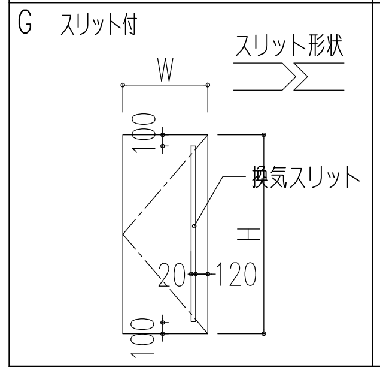


F 片引自動扉 Fa 片引手動扉

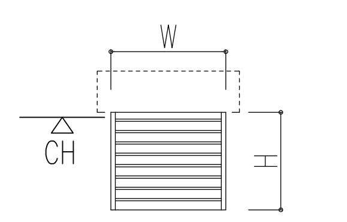


F-s Fa-s →換気スリット付

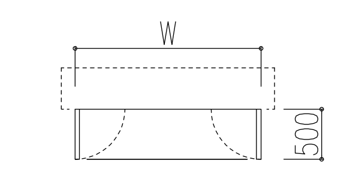
G スリット付



H 防音シャッター
遮音シャッター



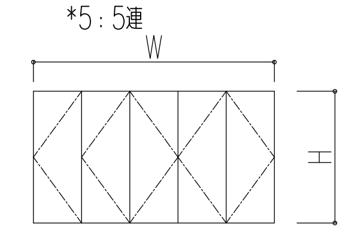
I 防煙たれ壁（垂直降下式）



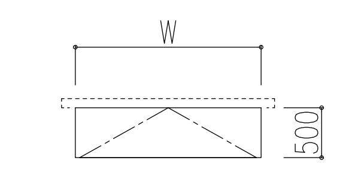
露出可動型ガイドレール仕様
巻取型不燃布製垂壁

J 連層開き戸（片面フラッシュ）

*3：3連
*4：4連
*5：5連

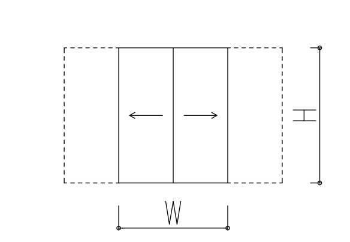


K 防煙たれ壁（回転降下式）

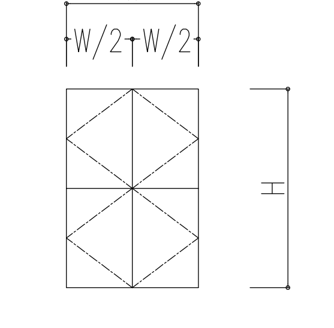


防煙たれ壁
（回転降下式）
天井材貼りタイプ

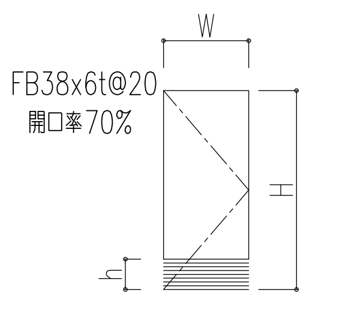
L 両引自閉式扉



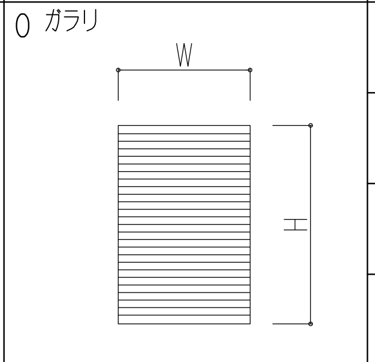
M 折戸



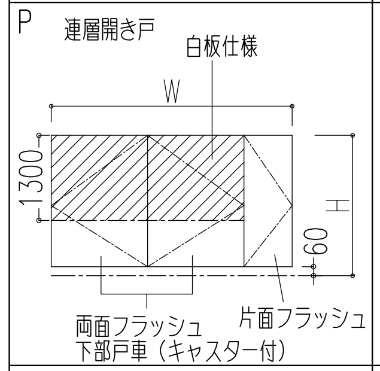
N 下部FBガラリ付き戸



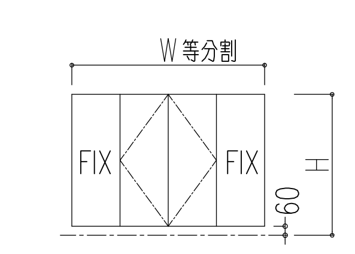
O ガラリ



P 連層開き戸



Q 連層開き戸（片面フラッシュ）



R

S

T

U

V

W

X

Y

※凡例

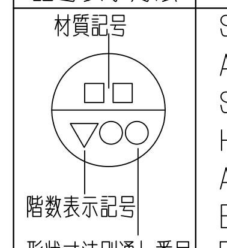
*** / *** 修繕工事対象外の建具を示す。

建具表

建具符号	姿図符号	法規制	性能記号	開閉方式	取付場所 階	取付場所 室名	数量	建具枠内法寸法 W	建具枠内法寸法 H	建具（スラット） 見込	建具（スラット） 材質 仕上	建具（スラット） 召会せ形状	枠（ガイドレール） 形状	枠（ガイドレール） 見込	枠（ガイドレール） 材質 仕上	くつずり 形状	くつずり 材質 仕上	ガラス 種類 厚さ	ガラリ 形状	ガラリ 開口率（%）	ガラリ 材質 仕上	ガラリ 有効面積（100%時）（m²）
FSD B01	C	[甲]	B2	親子	BF	階段室1.2 前室1.2	2	400+900	2100	40	S SOP	B'	E	100	S SOP	B3	SUS HL	／				
FSD B02	A	[甲]	–	片開き	BF	階段室3 中央監視室	1	900	2100	40	S SOP	／	E	100	S SOP	B2	SUS HL	／				
FSD B03	A	[甲]	B1	片開き	BF	階段室3 前室3	1	900	2100	40	S SOP	／	E	100	S SOP	C2	SUS HL	／				
FSD B04	B	[甲]	B1	両開き	BF	消火ポンプ室 空調機械室	1	1400	1700	40	S SOP	C	E	100	S SOP	C2	SUS HL	／				
FSD B05	C	[甲]	A1	親子	BF	熱源機械室 空調機械室	1	800+1600	2400	60	S SOP	C	E	120	S SOP	C2	SUS HL	／				
FSD B06	C	[甲]	A1	親子	BF	熱源機械室 空調機械室	1	300+900	2500	50	S SOP	C	E	100	S SOP	C2	SUS HL	／				
FSD B07	A	[甲]	B1	片開き	BF	発電機室 空調機械室	1	1000	2000	40	S SOP	／	E	100	S SOP	C2	SUS HL	／				
FSD B08	C	[甲]	B1	親子	BF	電気室 空調機械室（給水ポンプ置場）	1	1000+1400	2800	60	S SOP	C	E	120	S SOP	C2	SUS HL	／				
FSD B09	A	[甲]	B1	片開き	BF	電気室 空調機械室（屋外給水エリア）	1	900	2100	40	S SOP	／	E	100	S SOP	C2	SUS HL	／				
FSD/B10 将来対応	A	[甲]	B2	片開き	BF	前室1.2 オーケストラピット/客席収納庫	4	（1350） 躯体開口のみ	（2150） 躯体開口のみ													
FSD B11	C	[甲]	B2	親子	BF	階段室3 前室2	1	300+900	2100	40	S SOP	B'	E	100	S SOP	B3	SUS HL	／				
FSD 101	B	[甲]	C	両開き	1F	前室1.2 ホール通路1.2	2	2500	2100	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL	／				
FSD 102	B	[甲]	C	両開き	1F	前室3.4 ホール階段1.2	2	2200	2100	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL	／				
FSD 103	B	[甲]	C	両開き	1F	舞台前室1.2 袖舞台（上手）（下手）	2	1800	2100	60	S SOP	C	E	120	S SOP	B3	SUS HL	／				
FSD 104	A	[甲]	C	片開き	1F	舞台前室2 業務通路2	1	800	2100	60	S SOP	／	E	120	S SOP	B3	SUS HL	／				
FSD 105	C	[甲]	B2	親子	1F	ホール通路2 ロビー階段	1	450+1000	2100	40	S SOP	B'	E	100	S SOP	B3	SUS HL	／				
FSD 106	C	[甲]	B2	親子	1F	階段室1.2 舞台前室1.2	2	400+900	2100	40	S SOP	B'	E	100	S SOP	B3	SUS HL	／				
FSD 107	A	[甲]	B2	片開き	1F	ホール階段1 調整室	1	950	2100	40	S SOP	／	B	100	S SOP	B3	SUS HL	／				
FSD 108	A	[甲]	C	片開き	1F	ホール階段2 親子室前室	1	950	2100	60	S SOP	／	B	120	S SOP	B3	SUS HL	／				
FSD 109	A	[甲]	–	片開き	1F	階段室3 階段室3（地下への階段）	1	900	2100	40	S SOP	／	E	100	S SOP	B2	SUS HL	／				
FSD 110	C	[甲]	B2	親子	1F	袖舞台（下手） 前室（荷捌き）	1	300+950	2100	40	S SOP	B'	E	100	S SOP	B3	SUS HL	／				
FSD 111	B	[甲]	A2	両開き	1F	袖舞台（下手） 前室（荷捌き）	1	4150	4000	60	S SOP	B'	E	150	S SOP	B3	SUS HL	／				
FSD 112	A	[甲]	B2	片開き	1F	楽屋通路 階段室3	1	950	2100	40	S SOP	／	E	100	S SOP	B3	SUS HL	／				
~~FSD 113~~	~~B~~	~~[甲]~~	~~–~~	~~両開き~~	~~1F~~	~~楽屋通路~~ ~~楽器庫~~	~~1~~	~~2800~~	~~2100~~	~~40~~	~~S~~ ~~SOP~~	~~B~~	~~E~~	~~100~~	~~S~~ ~~SOP~~	~~B2~~	~~SUS~~ ~~HL~~	／				
FSD 114	M	(甲)	–	両開き （随時閉鎖式）	1F	ロビー通路 ロビー階段	1	1700	2100+1150	60	S SOP	B	※	※	S SOP	A1	／	／				
FSD 115	A	[甲]	B1	片開き	1F	舞台前室1.2 スピーカースペース	2	900	2100	40	S SOP	／	E	100	S SOP	B3	SUS HL	／				
FSD 116	A	[甲]	C	片開き	1F	業務通路1 袖舞台（上手）	1	900	2100	60	S SOP	／	E	120	S SOP	B3	SUS HL	／				
FSD 117	A	[甲]	B2	片開き	1F	舞台前室1.2 ホール客席	2	1200	3000	60	S SOP	／	B	120	S SOP	B3	SUS HL	／				
FSD 118	A	[甲]	C	片開き	1F	業務通路1 袖舞台（上手）	1	900	2100	60	S SOP	／	E	120	S SOP	B3	SUS HL	／				

建具符号	握玉・把手類								錠の種類								支持金物								付属金物							備考
	握玉	SUS押棒	ローラー締まりハンドル	引手	レバーハンドル	ケースハンドル	クレモン締り（3点）	掘込引手	空錠	箱錠	本締錠	電気錠	非常錠	表示錠	カードリーダー	押ボタン式電磁錠	丁番（㋕は隠し丁番）	オートヒンジ	ピボットヒンジ	フロアヒンジ	オート丁番	重量扉用ロングヒンジ	点検口用スプリングヒンジ	折れ戸用ヒンジ	ドアクローザ	ドアクローザコンシールド	アームストッパー	戸当り	フランス落し	順位調整器	スモーククローザ	
FSD B01					○					○							○								○			○	○			
FSD B02					○					○							○								○			○				
FSD B03					○					○							○								○			○				
FSD B04					○					○							○								○			○	○			
FSD B05							○				○						○								○			○	○			
FSD B06							○				○						○								○			○	○			
FSD B07					○					○							○								○			○				
FSD B08					○					○							○								○			○	○			
FSD B09					○					○							○								○			○				
FSD/B10 将来対応																																
FSD B11					○					○							○								○			○	○			
FSD 101		○									○											○				○		○				空圧式パワーオープンコンシールドクローザー 両面に木練付珪酸カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
FSD 102		○									○											○				○		○				空圧式パワーオープンコンシールドクローザー 両面に木練付珪酸カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
FSD 103					○					○												○			○			○	○			
FSD 104					○					○												○			○			○				
FSD 105					○					○									○							○		○	○			
FSD 106					○					○							○								○			○	○			
FSD 107					○					○												○			○			○				片面に木練付珪酸カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
FSD 108					○					○												○				○		○				片面に木練付珪酸カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
FSD 109					○					○							○								○			○				
FSD 110					○					○									○							○		○	○			
FSD 111							○				○											○				○		○	○	○		
FSD 112					○								○						○							○		○				
~~FSD 113~~					○					○									○						○			○	○	○		
FSD 114																																随時閉鎖式、防火戸金物一式、中心吊り、天井にFBの煙返し
FSD 115					○					○							○								○			○				片面にGW32k50tガラスクロス押え貼り
FSD 116					○					○												○			○			○				
FSD 117								○			○											○			○			○				舞台前室側→扉一体型彫込み引手 ホール客席側→木練付珪酸カルシウム板t6UC貼り →周囲と同じ練付材とする
FSD 118					○					○							○								○			○				

記号表示方法



階数表示記号
B: 地階
1: 1階
2: 2階
3: 3階
4: 4階
C:キャットウォーク
P: PH階

共通略符号

S	鋼	WD	木製扉	SH	鋼製シャッター	FLG	フロート板ガラス	SOP	合成樹脂調合ペイント
AL	アルミ	SD	鋼製扉	SSH	ステンレス製シャッター	KG	型板ガラス	FP焼付	フッソ樹脂焼付
SUS	ステンレス	LD	鋼製軽量扉	GSH	シートシャッター	TG	強化ガラス	FP	常温乾燥型フッソ樹脂塗装
HL	ヘアライン	AD	アルミ製扉	PSH	パイプシャッター	HSG	倍強度ガラス	AP焼付	アクリル樹脂焼付
AC	アルキャスト	SSD	ステンレス製扉	RT	自閉式防煙たれ壁	FG	複層ガラス		
BR	真鍮	TD	強化ガラス扉	WG	木製ガラリ	PG	合わせガラス	AUE	アクリルウレタン樹脂
EX	スチール エキスパンドメタル EXG-21	SW	鋼製窓	SG	鋼製ガラリ	MG	網入みがき板ガラス	AA	アルマイト・艶消クリアー
		SWe	鋼製窓（EVシャフト）	AG	アルミ製ガラリ	MG-F	網入複層ガラス	ZP	亜鉛メッキ
		AW	アルミ製窓	SSG	ステンレス製ガラリ	BG	すり板ガラス	PC	粉体塗装
		SSW	ステンレス製窓	ATP	アルミ製トップライト	LG	線入みがき板ガラス	HL	ヘアライン仕上
		SGD	鋼製ガラリ戸	CW	カーテンウォール	PG-T	ガラスティシュ入り合わせガラス	外SOP	外部用SOP
		STS	鋼製スクリーン	AS	アルミスクリーン	FS	片面フロスト加工ガラス		
				AGD	アルミガラリ戸	HRG	耐熱強化ガラス	UC	アンダーカット
				LV	ルーバー				

法規制

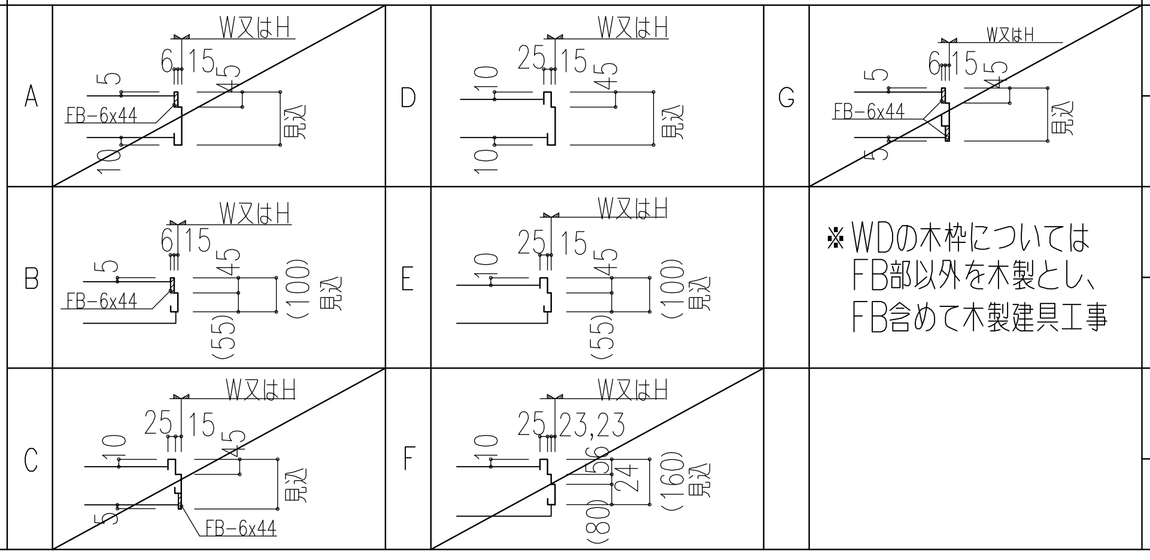
[甲]	常時閉鎖式特定防火設備
[乙]	常時閉鎖式防火設備（法第2条9号二のロ）
(甲)	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備
(乙)	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防火設備（法第2条9号二のロ）
(網)	防火設備（法第2条9号二のロ）（網入り又は耐熱強化ガラス）
(不扉)	常時閉鎖式・不燃扉
(RT)	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防煙たれ壁（不燃・防煙区画）
(防)	ガラス等の不燃間仕切による防火・防煙区画

性能記号

遮音性能 （エアタイト）

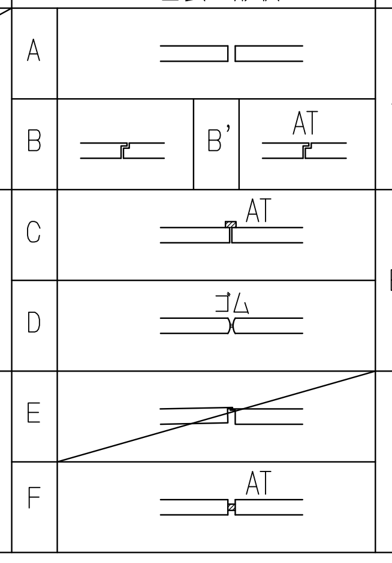
B1, B2, C	Ts-Ⅰ（Ts-25等級）
A1, A2	Ts-Ⅱ（Ts-30等級）
S	Ts-Ⅲ（Ts-35等級）

枠の規格寸法と扉寸法

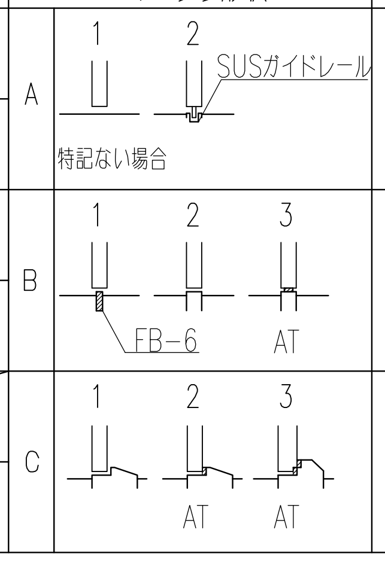


※WDの木枠については
FB部以外を木製とし、
FB含めて木製建具工事

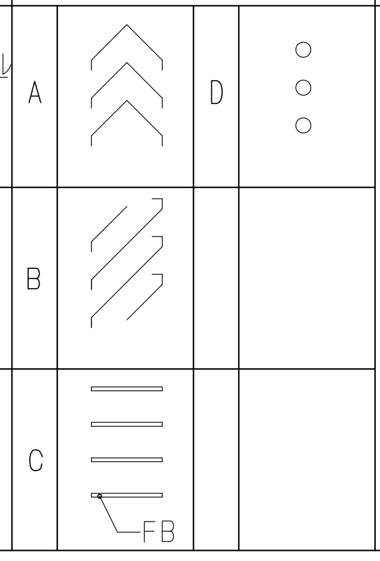
召会せ形状



くつずり形状



ガラリ形状



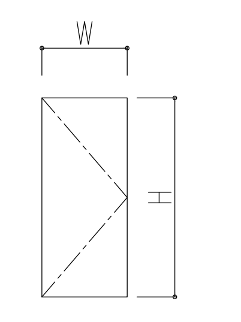
特記事項

1. 建具寸法は特記なき限り、枠内法寸法とする。
2. 扉厚は特記なき限り40mmとする。但し、鋼製軽量扉（LD）の場合は36mmとする
3. シャッターのスラットはフラット（F）型とする。
4. 遮音性能の必要な建具（SD）について、扉はロックウール充填とし、沓摺は全てモルタル充填とする。
   枠廻りは全てモルタル充填、又は、ロックウール充填とする
   →遮音性能を要しない場合は上記2にならい、扉のロックウール充填はなし
5. ※は「建具詳細図」参照とし、#は「建具姿図」参照とする。
6. シャッター、自動扉設置個所での二次側配線、操作押ボタン及び取付は建築工事とする。
7. Ⓢ はストッパー付きを示す。
8. 親子扉のうち、小扉のクローザー機能は「オートピボットヒンジ」とする
9. シャッターの座金はSUS製とする。
10. ガラリ有効面積の欄内表記のうち、「天井RAパス」は建具工事外

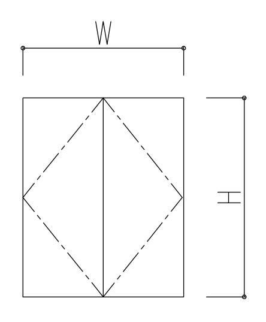
工事名称		年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）	株式会社 槇総合計画事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	建具表1 FSD		A88nDlist01	A-88

建具姿図

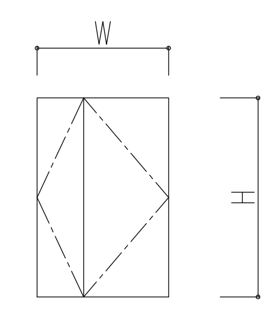
A　片開き



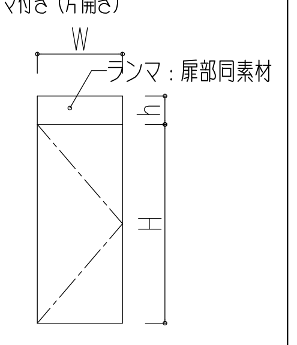
B　両開き



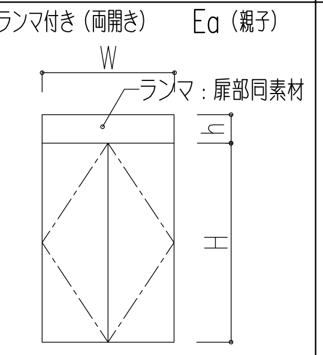
C　親子



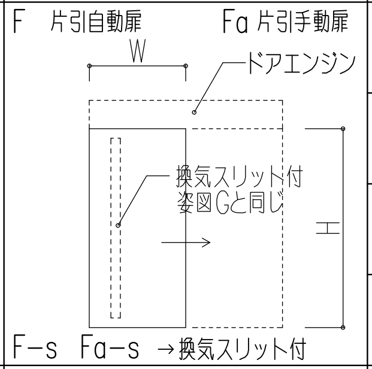
D　ランマ付き（片開き）



E　ランマ付き（両開き）　Ea（親子）

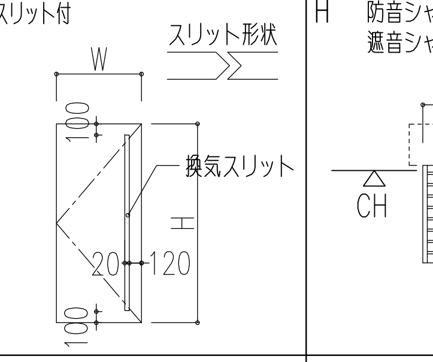


F　片引自動扉　Fa 片引手動扉

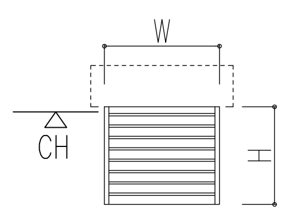


F-s　Fa-s　→換気スリット付

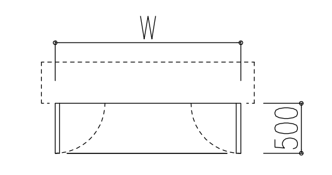
G　スリット付



H　防音シャッター
遮音シャッター



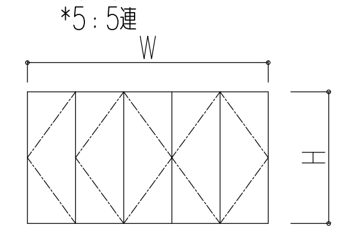
I　防煙たれ壁（垂直降下式）



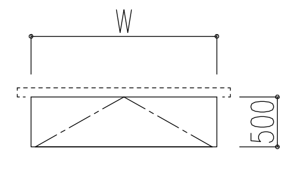
露出可動型ガイドレール仕様
巻取型不燃布製垂壁

J　連層開き戸（片面フラッシュ）

*3：3連
*4：4連
*5：5連

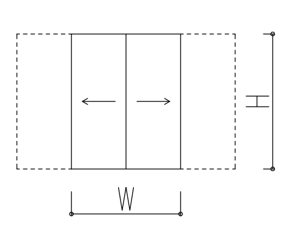


K　防煙たれ壁（回転降下式）

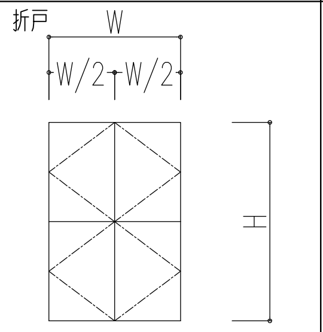


防煙たれ壁
（回転降下式）
天井材貼りタイプ

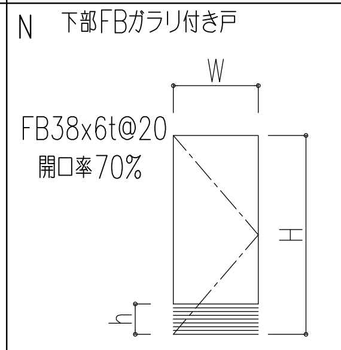
L　両引自閉式扉



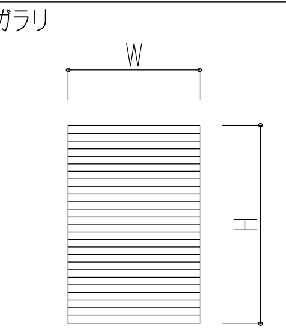
M　折戸



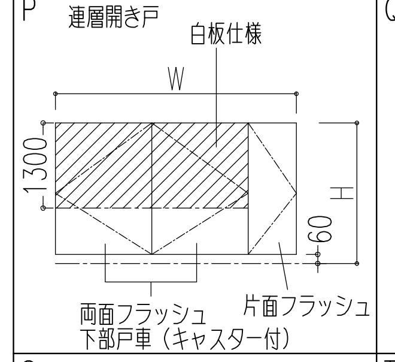
N　下部FBガラリ付き戸



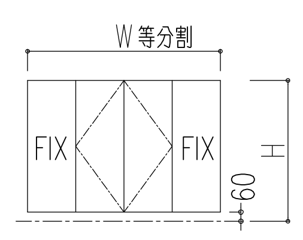
O　ガラリ



P　連層開き戸



Q　連層開き戸（片面フラッシュ）



R

S

T

U

V

W

X

Y

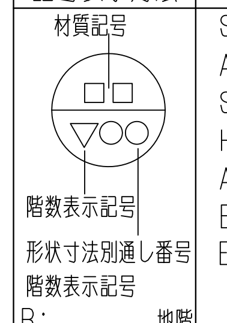
※凡例

*** / ***　修繕工事対象外の建具を示す。

建具表

建具符号	姿図符号	法規制	性能記号	開閉方式	取付場所		数量	建具枠内法寸法		建具（スラット）			枠（ガイドレール）			くつずり		ガラス	ガラリ				握玉・把手類								錠の種類								支持金物								付属金物							備考
					階	室名		W	H	見込	材質 仕上	召合せ形状	形状	見込	材質 仕上	形状	材質 仕上	種類 厚さ	形状	開口率（%）	材質 仕上	有効面積（100%時）（m²）	握玉	SUS押棒	ローラー締まりハンドル	引手	レバーハンドル	ケースハンドル	クレモン締り（3点）	堀込引手	空錠	箱錠	本締錠	電気錠	非常錠	表示錠	カードリーダー	押ボタン式電磁錠	丁番（㋕は隠し丁番）	オートヒンジ	ピボットヒンジ	フロアヒンジ	オート丁番	重量扉用ロングヒンジ	点検口用スプリングヒンジ	折れ戸用ヒンジ	ドアクローザ	ドアクローザーコンシールド	アームストッパー	戸当り	フランス落し	順位調整器	スモーククローザ	
FSD201	B	[甲]	C	両開き	2F	前室1.2 ラウンジ	2	2000 (1800)	2100	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL							○									○												○				○		○				空圧式パワーオープンコンシールドクローザー 両面に木練付珪酸カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
FSD202	B	[甲]	C	両開き	2F	前室3.4 ホール階段3.4（ラウンジ）	2	1600	2100	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL							○									○												○				○		○				空圧式パワーオープンコンシールドクローザー 両面に木練付珪酸カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
FSD203	A	[甲]	B2	片開き	2F	袖舞台（上手） 業務通路	1	900	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B3	SUS HL										○					○								○								○			○				
FSD204	A	[甲]	B2	片開き	2F	階段室1.2 業務通路、調光盤室	3	900	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B3	SUS HL										○					○								○								○			○				
FSD205	C	[甲]	B2	親子	2F	ラウンジ 休憩ロビー	1	450+1000 (1350)	2100	40	S SOP	B'	E	100	S SOP	B3	SUS HL										○					○										○							○		○	○			
FSD206	A	[甲]	B2	片開き	1F	休憩ロビー（の延長通路） 階段室3	1	950 (900)	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B3	SUS HL										○								○						○							○		○				
FSD207	A	[甲]	B1	片開き	2F	階段室1.2 ホール客席	4	600	1000	40	S SOP		E	100	S SOP	C2	SUS HL													○			○								○						○			○				階段室側：扉一体型彫込み引手、中心吊り（4箇所共通） ホール客席側2箇所（低）：ホール内装と同じ材料・仕上げパネルを取付け ホール客席側2箇所（高）：SOP仕上げ
																																																					↓ ホール客席各部詳細図内「フロントサイド照明架台」詳細図参照
FSDC01	A	[甲]	B1	片開き	客席 天井内	階段室1.2～キャットウォーク階段ゾーン キャットウォーク階段ゾーン～ホール客席天井内	2 2	900	1800	40	S SOP		E	100	S SOP	C2	SUS HL										○					○								○								○			○				ホール客席詳細図参照
FSDR01	A	[甲]	A1	片開き	RF	舞台階段 前室	1	900	2100	50	S SOP		E	100	S SOP	C2	SUS HL												○				○						○								○			○				
SDB01	A	(不扉)	A1	片開き	BF	前室3 空調機械室	1	900	2100	50	S SOP		E	100	S SOP	C2	SUS HL												○				○						○								○			○				
SDB02	A	(不扉)	－	片開き	BF	倉庫 空調機械室	1	900	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B2	SUS HL										○					○								○								○			○				
SD101	B	(不扉)	C	両開き	1F	前室1.2 ホール客席	2	2500 (2300)	2100	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL							○									○												○				○		○				空圧式パワーオープンコンシールドクローザー 両面に木練付珪酸カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
SD102	B	(不扉)	C	両開き	1F	前室3.4 ホール客席	2	2200 (2000)	2100	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL							○									○												○				○		○				空圧式パワーオープンコンシールドクローザー 両面に木練付珪酸カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
SD103	A	(不扉)	C	片開き	1F	親子室　親子室 親子室前室　調整室	2	950	2100	60	S SOP		E	120	S SOP	B3	SUS HL										○					○										○							○		○				
SD104	A	(不扉)	－	片開き	1F	女子客用便所1.2 SK	2	800	2100	40	S SOP		B	100	S SOP	B1	SUS HL									○						○											○								○	○				片面フラッシュ　かつ片面にテラゾタイル又は大半タイル貼り、中心吊り
SD105																																																						
SD106																																																						
SD107	A	(不扉)	－	片開き	1F	厨房 厨房前室	1	900	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B2	SUS HL										○					○								○								Ⓢ			○				
SD108	A	(不扉)	B2	片開き	1F	託児・ボランティア室 ロビー通路	2	950 (900)	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B3	SUS HL					天井RAパス 0.05㎡以上					○					○										○							○		○				
SD109	A	[甲]	B2	片開き	1F	大会議室　小会議室 ロビー通路	2	950 (900)	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B3	SUS HL					天井RAパス 0.05㎡以上 （小会議室側のみ）					○					○										○							○		○				
SD110	B	(不扉)	B2	両開き	1F	前室（荷捌き） 楽屋通路	1	1800	2100	40	S SOP	B'	E	100	S SOP	B3	SUS HL										○					○										○							○		○				
SD111	A	(不扉)	B2	親子	1F	楽屋通路 個室1.2	2	300+950 (1150)	2100	40	S SOP	B'	E	100	S SOP	B3	SUS HL					天井RAパス 0.01㎡以上					○					○										○							○		○	○			片面に木練付珪酸カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
SD112	A	(不扉)	B2	親子	1F	楽屋通路 中楽屋1.2	2	300+950 (1150)	2100	40	S SOP	B'	E	100	S SOP	B3	SUS HL					天井RAパス 0.03㎡以上					○					○										○							○		○	○			片面に木練付珪酸カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
SD113	C	(不扉)	B2	親子	1F	楽屋通路 大楽屋（練習室）	1	300+950 (1150)	2100	40	S SOP	B'	E	100	S SOP	B3	SUS HL					天井RAパス 0.03㎡以上					○					○										○							○		○	○			片面に木練付珪酸カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
SD114	A	(不扉)	－	片開き	1F	男子楽屋便所 SK	1	800	2100	40	S SOP		B	100	S SOP	B1	SUS HL									○						○											○								○	○				片面フラッシュ　かつ片面に前面鏡貼り、中心吊り
SD115	A	[甲]	－	片開き	1F	ロビー階段 守衛室	1	850	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B2	SUS HL										○					○										○							○		○				

記号表示方法



階数表示記号
B:　地階
1:　1階
2:　2階
3:　3階
4:　4階
C:キャットウォーク
P:　PH階

共通略符号

S	鋼	WD	木製扉	SH	鋼製シャッター	FLG	フロート板ガラス	SOP	合成樹脂調合ペイント
AL	アルミ	SD	鋼製扉	SSH	ステンレス製シャッター	KG	型板ガラス	FP焼付	フッソ樹脂焼付
SUS	ステンレス	LD	鋼製軽量扉	GSH	シートシャッター	TG	強化ガラス	FP	常温乾燥型フッソ樹脂塗装
HL	ヘアライン	AD	アルミ製扉	PSH	パイプシャッター	HSG	倍強度ガラス	AP焼付	アクリル樹脂焼付
AC	アルキャスト	SSD	ステンレス製扉	RT	自閉式防煙たれ壁	FG	複層ガラス		
BR	真鍮	TD	強化ガラス扉	WG	木製ガラリ	PG	合わせガラス	AUE	アクリルウレタン樹脂
EX	スチール エキスパンドメタル EXG-21	SW	鋼製窓	SG	鋼製ガラリ	MG	網入みがき板ガラス	AA	アルマイト・艶消クリアー
		SWe	鋼製窓（EVシャフト）	AG	アルミ製ガラリ	MG-F	網入複層ガラス	ZP	亜鉛メッキ
		AW	アルミ製窓	SSG	ステンレス製ガラリ	BG	すり板ガラス	PC	粉体塗装
		SSW	ステンレス製窓	ATP	アルミ製トップライト	LG	線入みがき板ガラス	HL	ヘアライン仕上
		SGD	鋼製ガラリ戸	CW	カーテンウォール	PG-T	ガラスティシュ入り合わせガラス	外SOP	外部用SOP
		STS	鋼製スクリーン	AS	アルミスクリーン	FS	片面フロスト加工ガラス		
				AGD	アルミガラリ戸	HRG	耐熱強化ガラス	UC	アンダーカット
				LV	ルーバー				

法規制

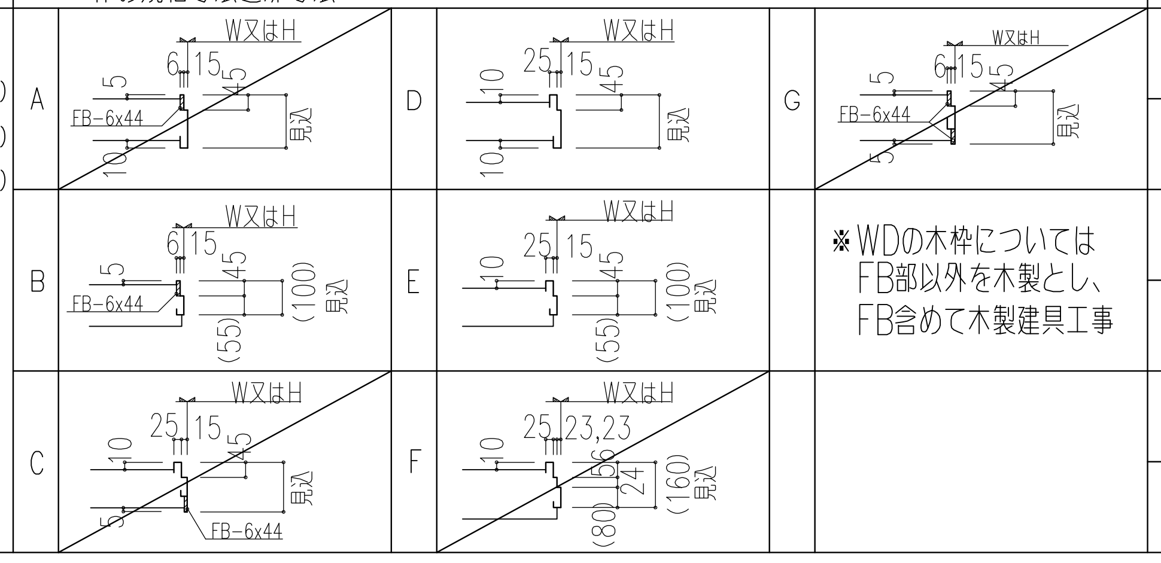
[甲]	常時閉鎖式特定防火設備
[乙]	常時閉鎖式防火設備（法第2条9号二の口）
(甲)	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備
(乙)	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防火設備（法第2条9号二の口）
(網)	防火設備（法第2条9号二の口）（網入り又は耐熱強化ガラス）
(不扉)	常時閉鎖式・不燃扉
(RT)	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防煙たれ壁（不燃・防煙区画）
(防)	ガラス等の不燃間仕切による防火・防煙区画

性能記号

遮音性能　（エアタイト）

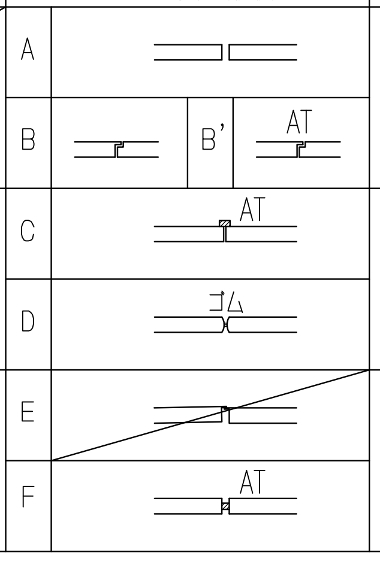
B1, B2, C	Ts-I　（Ts-25等級）
A1, A2	Ts-II（Ts-30等級）
S	Ts-III（Ts-35等級）

枠の規格寸法と扉寸法

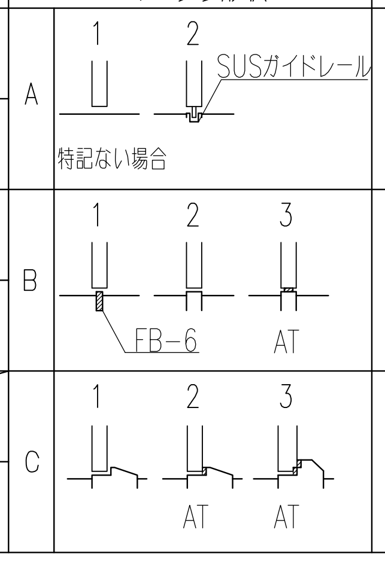


※WDの木枠については
FB部以外を木製とし、
FB含めて木製建具工事

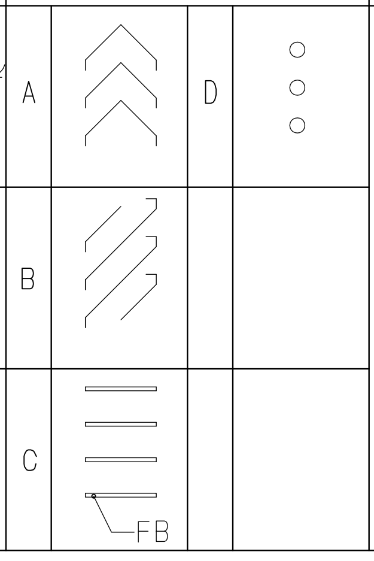
召合せ形状



くつずり形状



ガラリ形状



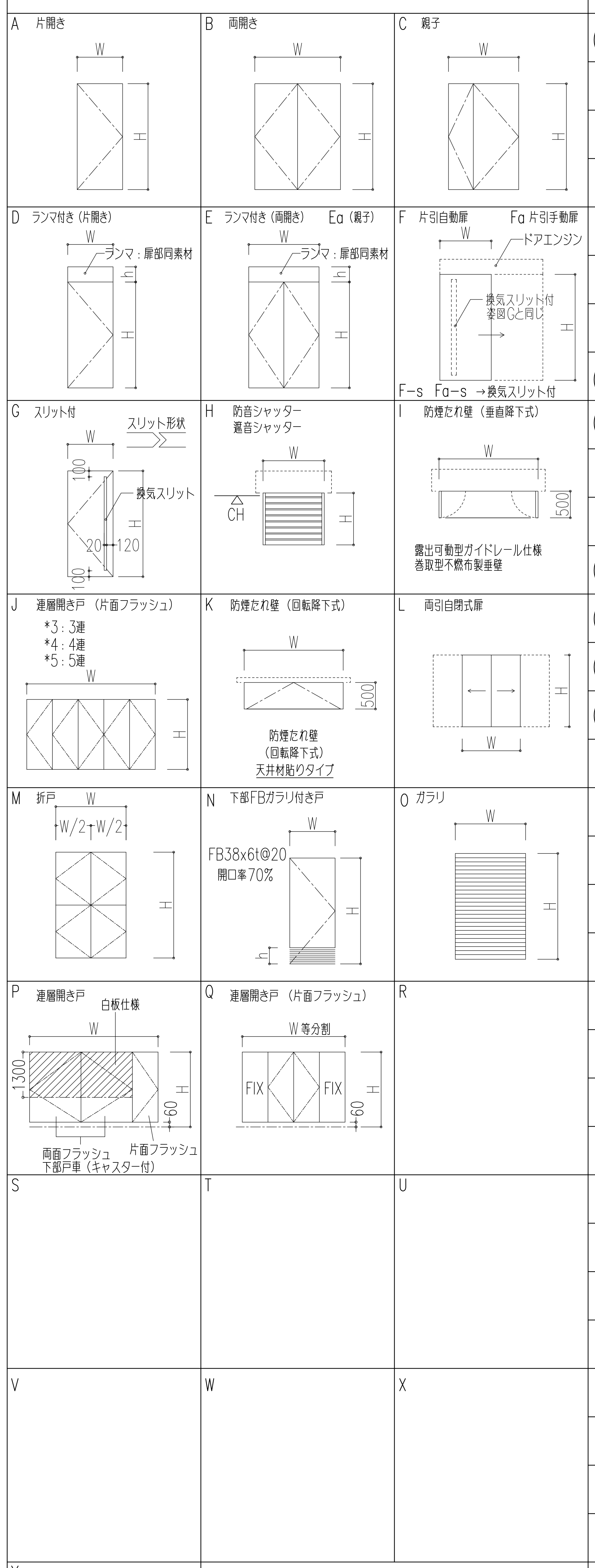
特記事項

1. 建具寸法は特記なき限り、枠内法寸法とする。
2. 扉厚は特記なき限り40mmとする。但し、鋼製軽量扉（LD）の場合は36mmとする
3. シャッターのスラットはフラット（F）型とする。
4. 遮音性能の必要な建具（SD）について、扉はロックウール充塡とし、沓摺は全てモルタル充塡とする。
   枠廻りは全てモルタル充塡、又は、ロックウール充塡とする
   →遮音性能を要しない場合は上記2にならい、扉のロックウール充塡はなし
5. ※は「建具詳細図」参照とし、#は「建具姿図」参照とする。
6. シャッター、自動扉設置個所での二次側配線、操作押ボタン及び取付は建築工事とする。
7. Ⓢ はストッパー付きを示す。
8. 親子扉のうち、小扉のクローザー機能は「オートピボットヒンジ」とする
9. シャッターの座金はSUS製とする。
10. ガラリ有効面積の欄内表記のうち、「天井RAパス」は建具工事外

工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	年月日 2005年 5月	図面名称 建具表2　FSD　SD	縮尺	ファイル名称 A89nDlist02_申請_改2

図面番号
A-89

建具姿図



Y

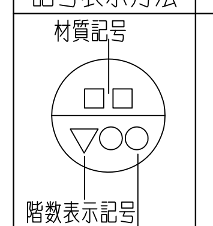
※凡例

修繕工事対象外の建具を示す。

建具符号	姿図符号	法規制	性能記号	開閉方式	取付場所		数量	建具枠内法寸法		建具（スラット）			枠（ガイドレール）			くつずり		ガラス	ガラリ			
					階	室名		W	H	見込	材質 仕上	召合せ形状	形状	見込	材質 仕上	形状	材質 仕上	種類 厚さ	形状	開口率（%）	材質 仕上	有効面積（100%時）（m²）
SD201	B	不扉	C	両開き	2F	ホール客席 前室1.2	2	2000 (1800)	2100	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL					
SD202	B	不扉	C	両開き	2F	ホール客席 前室3.4	2	1600	2100	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL					
SD203	A	不扉	甲	片開き	2F	機材室1 業務通路	1	900	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B2	SUS HL					
SD204	C	不扉	A2	親子	2F	音響盤室 業務通路	1	300+900	2100	60	S SOP	C	E	120	S SOP	B3	SUS HL					
SD205	C	不扉	A1	親子	2F	排煙機室 業務通路	1	300+900	2100	60	S SOP	C	E	120	S SOP	B3	SUS HL					
SD206	A	不扉	–	片開き	2F	女子客用便所2 SK	1	800	2100	40	S SOP		B	100	S SOP	B1	SUS HL					
SD207	A	不扉	C	片開き	2F	休憩ロビー 前室6	1	950	2500	60	S SOP		B	120	S SOP	B3	SUS HL					
SD208	B	不扉	C	両開き	2F	リハーサル室 前室5	1	1700 (1500)	2500	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL					
SD209	B	不扉	C	両開き	2F	休憩ロビー 前室5	1	1700 (1500)	2500	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL					
SD210	#	不扉	C	片開き	2F	リハーサル室 前室6	1	#	2500	60	S SOP		B	※	S SOP	B3	SUS HL					
SD211	A	不扉	–	片開き	2F	機材室2 前室6	1	900	2500	40	S SOP		E	100	S SOP	B2	SUS HL					
SD212	B	不扉	S	両開き	2F	休憩ロビー（の延長通路） 前室7	1	1850 (1650)	2100	68.5	S SOP	B'	E	120	S SOP	B3	SUS HL					
SD213	B	不扉	S	両開き	2F	練習室1 前室7	1	1850 (1650)	2100	68.5	S SOP	B'	E	120	S SOP	B3	SUS HL					
SD214	B	不扉	S	両開き	2F	休憩ロビー（の延長通路） 前室8	1	1850 (1650)	2100	68.5	S SOP	B'	E	120	S SOP	B3	SUS HL					
SD215	B	不扉	S	両開き	2F	練習室2 前室8	1	1850 (1650)	2100	68.5	S SOP	B'	E	120	S SOP	B3	SUS HL					
SD216	B	不扉	B1	両開き	1F	倉庫2 前室8	1	1800	2100	40	S SOP	B'	E	100	S SOP	B3	SUS HL					
SDC01	A	不扉	–	片開き	客席 天井内	シーリング投光室 ホール客席天井内	2	900	1800	40	S SOP		E	100	S SOP	C1	SUS HL					
SDC02	A	不扉	B1	片開き	客席 天井内	ピンスポット室 ホール客席天井内	1	900	1800	40	S SOP		E	100	S SOP	C2	SUS HL					
SDR01	B	不扉	A1	両開き	RF	排煙機室 前室	1	1600	2100	50	S SOP	C	E	100	S SOP	C2	SUS HL					
PSDB01	A	甲	A1	片開き	BF	空調機械室・DS ピット	3	600	600	50	S SOP		E	100	S SOP	C2	S SOP					
PSDB02	A	甲	A1	片開き	BF	ピット（チャンバー） ピット	4	600	600	50	S SOP		E	100	S SOP	C2	S SOP					
PSDB03	A	—	B1	片開き	BF	空調機械室 DS	1	500	1800	40	S SOP		E	100	S SOP	C2	S SOP					
PSD101	A	—	–	片開き	1F	各諸室 DS・PS・アラーム弁室	6	500	1800	40	S SOP		E	100	S SOP	B2	S SOP					
PSD101A	A	—	A1	片開き	BF	DS 袖舞台（下手）	1	900	2100	50	S SOP		E	100	S SOP	C2	SUS HL					
PSD101B	A	—	B1	片開き	BF	DS 調整室、親子室	2	500	1800	40	S SOP		E	100	S SOP	C2	SUS SOP					
PSD102	A	—	–	片開き	1F	客用便所 PS	4	400	400	40	S SOP		B	100	S SOP							
PSD103	P	—	–	3連開き	1F	大会議室 EPS	1	1800+1800+900	2100	40	S SOP	A	B	100	S SOP	B2	S SOP					
PSD201	A	—	–	片開き	2F	各諸室 DS・PS・アラーム弁室	3	500	1800	40	S SOP		E	100	S SOP	B2	S SOP					
PSD201A	A	—	B1	片開き	2F	倉庫1・2 DS	1	500	1800	40	S SOP		E	100	S SOP	C2	S SOP					
PSD202	A	—	–	片開き	2F	客用便所 PS	5	400	400	40	S SOP		B	100	S SOP							
PSD203	Q	—	–	両開き＋ 両袖FIX	2F	喫煙所 EPS	1	2300	2100	40	S SOP	A	E	100	S SOP							

建具符号	握玉・把手類								錠の種類								支持金物								付属金物							備考
	握玉	SUS押棒	ローラー締まりハンドル	引手	レバーハンドル	ケースハンドル	クレモン締り（3点）	掘込引手	空錠	箱錠	本締錠	電気錠	非常錠	表示錠	カードリーダー	押ボタン式電磁錠	丁番（㋕は隠し丁番）	オートヒンジ	ピボットヒンジ	フロアヒンジ	オート丁番	重量扉用ロングヒンジ	点検口用スプリングヒンジ	折れ戸用ヒンジ	ドアクローザ	ドアクローザ（コンシールド）	アームストッパー	戸当り	フランス落し	順位調整器	スモーククローザ	
SD201		○									○											○				○		○				空圧式パワーオープンコンシールドクローザー 両面に木練付珪酸カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
SD202		○									○											○				○		○				空圧式パワーオープンコンシールドクローザー 両面に木練付珪酸カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
SD203					○					○							○								○			○				
SD204							○				○						○								○			○	○			
SD205							○				○						○								○			○	○			
SD206				○					○										○								○	○				片面フラッシュ　かつ片面に全面鏡貼り、中心吊り
SD207		○									○											○				○		○				
SD208		○									○											○				○		○				片面に木練付珪酸カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
SD209		○									○											○				○		○				
SD210		○									○											○				○		○				片面に木練付珪酸カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
SD211		○									○											○			○			○				
SD212		○									○											○				○		○		○		
SD213		○									○											○				○		○		○		片面に有孔珪酸カルシウム板t6SOP貼り→周囲と同じ有孔板とする
SD214		○									○											○				○		○		○		
SD215		○									○											○				○		○		○		片面に有孔珪酸カルシウム板t6SOP貼り→周囲と同じ有孔板とする
SD216					○					○									○							○		○				
SDC01					○					○							○								○			○				
SDC02					○					○							○								○			○				
SDR01							○				○						○								○			○	○			
PSDB01							○				○						○															
PSDB02							○				○						○															
PSDB03						○				○							○											○				
PSD101						○				○							○										○	○				片面フラッシュ 階段室1～アラーム弁室の扉一箇所のみ甲→遮音スペックB1仕様
PSD101A							○				○						○								○			○				
PSD101B						○				○							○											○				
PSD102																			○													片面フラッシュ　かつ片面にテラゾタイル又は大判タイル貼り 一般点検口と同類の点検錠　　中心吊り
PSD103											○								○								○		○			W1800の戸板→通常フラッシュかつ片面に白板（ホーロー鋼板t0.4）接着貼り W900の戸板→片面フラッシュ、塗装仕上げ 扉下部を＝FL＋60でおさえ、扉下部を手掛けとする　　中心吊り
PSD201						○				○							○										○	○				片面フラッシュ
PSD201A						○				○							○											○				
PSD202																			○													片面フラッシュ　かつ片面にテラゾタイル又は大判タイル貼り 一般点検口と同類の点検錠　　中心吊り
PSD203											○								○								○					片面フラッシュ 扉下部を＝FL＋60でおさえ、扉下部を手掛けとする　　中心吊り

記号表示方法



階数表示記号

B:	地階
1:	1階
2:	2階
3:	3階
4:	4階
C:	キャットウォーク
P:	PH階

共通略符号

略号	名称
S	鋼
AL	アルミ
SUS	ステンレス
HL	ヘアライン
AC	アルキャスト
BR	真鍮
EX	スチール エキスパンドメタル EXG−21
WD	木製扉
SD	鋼製扉
LD	鋼製軽量扉
AD	アルミ製扉
SSD	ステンレス製扉
TD	強化ガラス扉
SW	鋼製窓
SWe	鋼製窓（EVシャフト）
AW	アルミ製窓
SSW	ステンレス製窓
SGD	鋼製ガラリ戸
STS	鋼製スクリーン
SH	鋼製シャッター
SSH	ステンレス製シャッター
GSH	シートシャッター
PSH	パイプシャッター
RT	自閉式防煙たれ壁
WG	木製ガラリ
SG	鋼製ガラリ
AG	アルミ製ガラリ
SSG	ステンレス製ガラリ
ATP	アルミ製トップライト
CW	カーテンウォール
AS	アルミスクリーン
AGD	アルミガラリ戸
LV	ルーバー
FLG	フロート板ガラス
KG	型板ガラス
TG	強化ガラス
HSG	倍強度ガラス
FG	複層ガラス
PG	合わせガラス
MG	網入みがき板ガラス
MG−F	網入複層ガラス
BG	すり板ガラス
LG	線入みがき板ガラス
PG−T	ガラスティシュ入り合わせガラス
FS	片面フロスト加工ガラス
HRG	耐熱強化ガラス
SOP	合成樹脂調合ペイント
FP焼付	フッソ樹脂焼付
FP	常温乾燥型フッソ樹脂塗装
AP焼付	アクリル樹脂焼付
AUE	アクリルウレタン樹脂
AA	アルマイト・艶消クリアー
ZP	亜鉛メッキ
PC	粉体塗装
HL	ヘアライン仕上
外SOP	外部用SOP
UC	アンダーカット

法規制

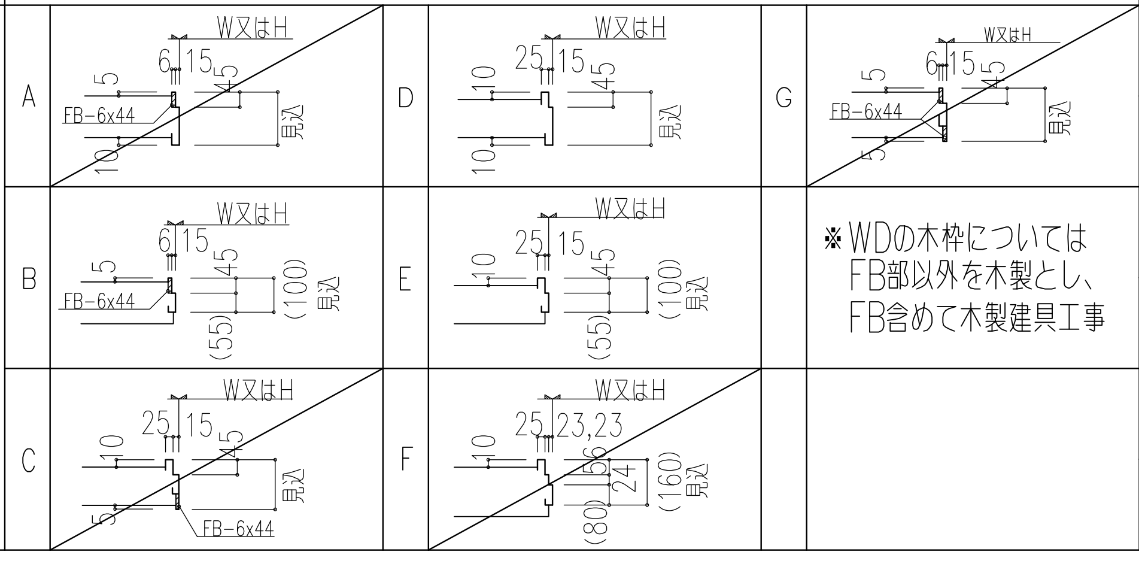
甲	常時閉鎖式特定防火設備
乙	常時閉鎖式防火設備（法第2条9号二の口）
㊙甲	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備
㊙乙	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防火設備（法第2条9号二の口）
網	防火設備（法第2条9号二の口）（網入り又は耐熱強化ガラス）
不扉	常時閉鎖式・不燃扉
RT	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防煙たれ壁（不燃・防煙区画）
防	ガラス等の不燃間仕切による防火・防煙区画

性能記号

遮音性能（エアタイト）

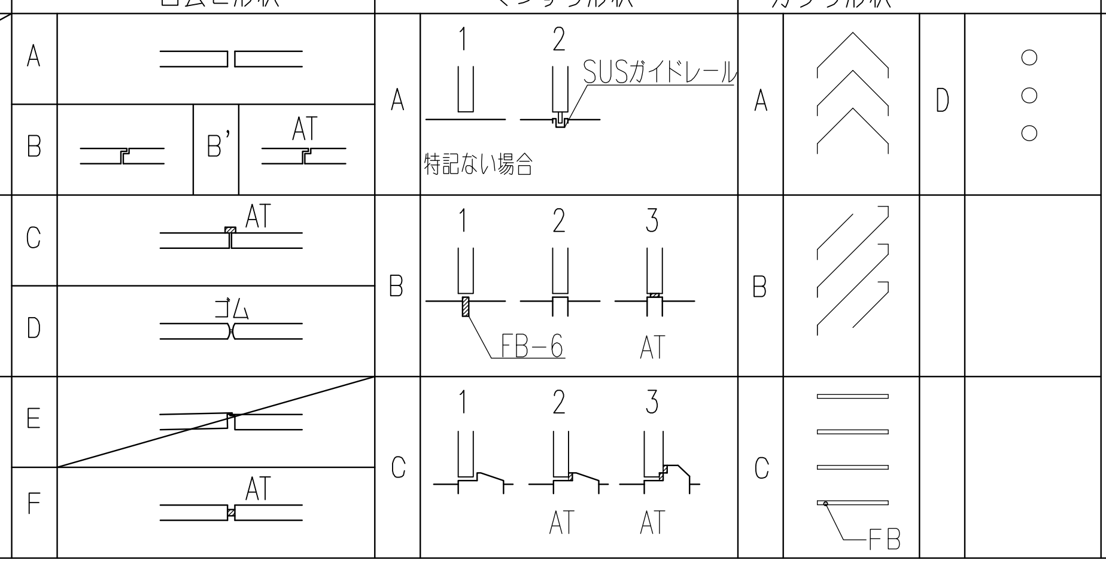
B1, B2, C	Ts−I（Ts−25等級）
A1, A2	Ts−II（Ts−30等級）
S	Ts−III（Ts−35等級）

枠の規格寸法と扉寸法



※WDの木枠については
FB部以外を木製とし、
FB含めて木製建具工事

召合せ形状　くつずり形状　ガラリ形状



特記事項

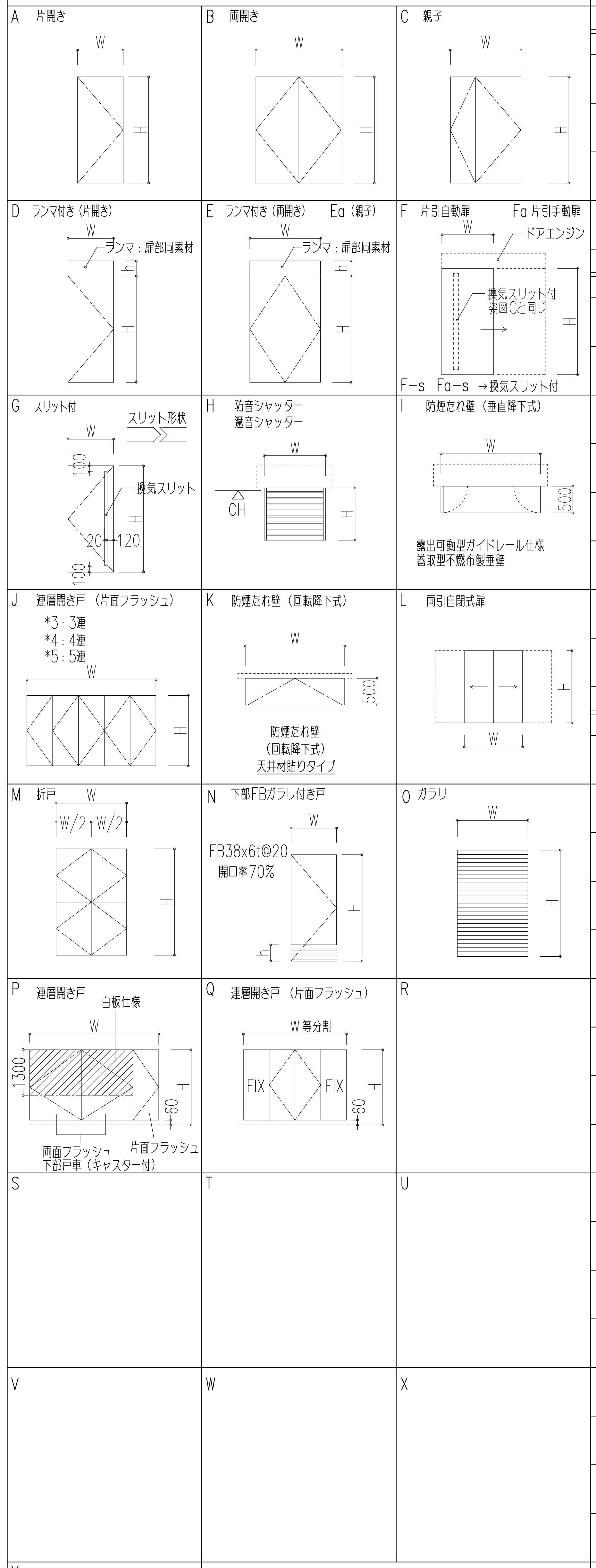
1. 建具寸法は特記なき限り、枠内法寸法とする。
2. 扉厚は特記なき限り40mmとする。但し、鋼製軽量扉（LD）の場合は36mmとする
3. シャッターのスラットはフラット（F）型とする。
4. 遮音性能の必要な建具（SD）について、扉はロックウール充填とし、沓摺は全てモルタル充填とする。
   枠廻りは全てモルタル充填、又は、ロックウール充填とする
   →遮音性能を要しない場合は上記2にならい、扉のロックウール充填はなし
5. ※は「建具詳細図」参照とし、#は「建具姿図」参照とする。
6. シャッター、自動扉設置個所での二次側配線、操作押ボタン及び取付は建築工事とする。
7. Ⓢ はストッパー付きを示す。
8. 親子扉のうち、小扉のクローザー機能は「オートピボットヒンジ」とする
9. シャッターの座金はSUS製とする。
10. ガラリ有効面積の欄内表記のうち、「天井RAパス」は建具工事外

工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）

株式会社　槇総合計画事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦

年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
2005年 5月	建具表3　SD　PSD		A90nDlist03_申請_改1	A−90

建具姿図



※凡例

●（***／***） 修繕工事対象外の建具を示す。

建具符号	姿図符号	法規制	性能記号	開閉方式	取付場所		数量	建具枠内法寸法		建具（スラット）			枠（ガイドレール）			くつずり		ガラス	ガラリ			
					階	室名		W	H	見込	材質 仕上	召合せ形状	形状	見込	材質 仕上	形状	材質 仕上	種類 厚さ	形状	開口率（%）	材質 仕上	有効面積（100%時）（m²）
~~LD101~~	~~Fa-s~~		~~—~~	~~片引手動~~	~~1F~~	~~楽屋通路~~ ~~シャワー室3~~	~~1~~	~~900~~	~~2100~~	~~36~~	~~S~~ ~~SOP~~											~~換気スリット~~ ~~0.03㎡以上~~
LD102	#	—	—	片開き+FIX	1F	カフェレストラン 厨房	1	#	#	36 片開き戸	S SOP		※	※	S SOP	B1	SUS HL	TG（袖部） 10				
LD201	G	不扉	—	片開き	2F	休憩ロビー 男子便所、女子便所	2	850	2100	36	S SOP		E	100	S SOP	B1	SUS HL					換気スリット 0.08㎡以上
LD202	Fa-s	不扉	—	片引手動	2F	休憩ロビー HC	1	1000 (900)	2100	36	S SOP											換気スリット 0.02㎡以上
LD203	A	不扉	—	片開き	2F	ゴミ・湯沸 休憩ロビー（の延長通路）	1	900	2100	36	S SOP		E	100	S SOP	B2	SUS HL					UC 0.02㎡以上
~~LD204~~	~~B~~	~~不扉~~	~~—~~	~~両開き~~	~~2F~~	~~倉庫3~~ ~~前室8~~	~~1~~	~~1800~~	~~2100~~	~~36~~	~~S~~ ~~SOP~~	~~B~~	~~E~~	~~100~~	~~S~~ ~~SOP~~	~~B2~~	~~SUS~~ ~~HL~~					~~天井RAパス~~ ~~0.02㎡以上~~
WD101	Fa-s	—	—	片引手動	1F	ホール通路1 HC1.2	2	1000 (900)	2100	40	木 SOP											換気スリット 0.02㎡以上
WD102	A	—	—	片開き	1F	ホール通路1 倉庫	1	900	2100	40	木 SOP		E	100	木 SOP	B2	SUS HL					天井RAパス 0.02㎡以上
WD103	Fa-s	—	—	片引手動	1F	東エントランス HC3	1	1000 (900)	2100	40	木 SOP											換気スリット 0.02㎡以上
WD104	G	—	—	片開き	1F	ロビー通路 男子便所，女子便所	2	850	2100	40	木 SOP		E	100	木 SOP	B1	SUS HL					換気スリット 0.08㎡以上
WD105	A	—	—	片開き	1F	厨房前室 厨房便所	1	850	2100	40	木 SOP		E	100	木 SOP	B1	SUS HL					UC 0.01㎡以上
WD106	A	—	—	片開き	1F	厨房前室 カフェ（前室）	1	900	2100	40	木 SOP		E	100	木 SOP	B1	SUS HL					
~~WD107~~	~~A~~	~~—~~	~~—~~	~~片開き~~	~~1F~~	~~ロビー階段~~ ~~守衛室~~	~~1~~	~~850~~	~~2100~~	~~40~~	~~木~~ ~~SOP~~		~~E~~	~~100~~	~~木~~ ~~SOP~~	~~B2~~	~~SUS~~ ~~HL~~					~~UC~~ ~~0.02㎡以上~~
WD108	A	—	—	片開き	1F	楽屋事務室 楽屋通路	1	950 (900)	2100	40	木 SOP		E	100	木 SOP	B2	SUS HL					UC 0.03㎡以上
WD109	G	—	—	片開き	1F	男子、女子楽屋便所 楽屋通路	2	850	2100	40	木 SOP		E	100	木 SOP	B1	SUS HL					換気スリット 0.07㎡以上
WD110	Fa-s	—	—	片引手動	1F	楽屋通路 HC4	1	1000 (900)	2100	40	木 SOP											換気スリット 0.02㎡以上
WD111	A	—	—	片開き	1F	男子、女子楽屋便所 シャワー室1.2	2	850	2100	40	木 SOP		E	100	木 SOP	A1						UC 0.02㎡以上
WD112	A	—	—	片開き	1F	休憩室 ロビー階段	1	950	2100	40	木 SOP		E	100	木 SOP	B1	SUS HL					UC 0.02㎡以上
WD113	A	—	—	片開き	1F	事務室 ロビー通路	1	950	2100	40	木 SOP		E	100	木 SOP	B2	SUS HL					天井RAパス 0.05㎡以上
WD114	A	—	—	片開き	1F	業務通路2 ホール通路2	1	900	2100	40	木 SOP		E	100	木 SOP	B1	SUS HL					天井RAパス 0.02㎡以上
WD115	A	—	—	片開き	1F	業務通路2 清掃員控室	1	750	2100	40	木 SOP		E	100	木 SOP	A1						UC 0.01㎡以上
WD201	C	—	—	親子	2F	倉庫1 リハーサル室	1	300+900	2500	40	木 SOP	B	E	100	木 SOP	B2	SUS HL					UC 0.03㎡以上

建具符号	握玉・把手類								錠の種類								支持金物								付属金物							備考
	握玉	SUS押棒	ローラー締まりハンドル	引手	レバーハンドル	ケースハンドル	クレモン締り（3点）	堀込引手	空錠	箱錠	本締錠	電気錠	非常錠	表示錠	カードリーダー	押ボタン式電磁錠	丁番（㋕は隠し丁番）	オートヒンジ	ピボットヒンジ	フロアヒンジ	オート丁番	重量扉用ロングヒンジ	点検口用スプリングヒンジ	折れ戸用ヒンジ	ドアクローザ	ドアクローザコンシールド	アームストッパー	戸当り	フランス落し	順位調整器	スモーククローザ	
~~LD101~~																																~~ガイドローラー、レール金物、錠前（表示システム）~~ ~~開閉が容易なスライド機構及び自閉機構、その他支持金物一式~~
LD102								○			○								○							Ⓢ		○				扉部：扉一体型彫込み引手、中心吊り
LD201		○							○										○							○		○				換気スリット2本
LD202																																ガイドローラー、レール金物、錠前（表示システム） 開閉が容易なスライド機構及び自閉機構、その他支持金物一式
LD203					○				○										○							○		○				UC=25mm
~~LD204~~					~~○~~					~~○~~									~~○~~						~~○~~			~~○~~	~~○~~			
WD101																																ガイドローラー、レール金物、錠前（表示システム） 開閉が容易なスライド機構及び自閉機構、その他支持金物一式
WD102					○					○									○						Ⓢ			○				
WD103																																ガイドローラー、レール金物、錠前（表示システム） 開閉が容易なスライド機構及び自閉機構、その他支持金物一式
WD104		○							○										○							○		○				換気スリット2本
WD105					○									○			○								○			○				UC=20mm
WD106					○					○									○						Ⓢ			○				
~~WD107~~					~~○~~					~~○~~									~~○~~						~~Ⓢ~~			~~○~~				~~UC=25mm~~
WD108					○					○									○						Ⓢ			○				UC=35mm
WD109		○							○										○							○		○				換気スリット2本
WD110																																ガイドローラー、レール金物、錠前（表示システム） 開閉が容易なスライド機構及び自閉機構、その他支持金物一式
WD111					○					○									○						○			○				UC=25mm
WD112					○					○									○						Ⓢ			○				UC=25mm
WD113					○					○									○						Ⓢ			○				
WD114					○					○							○								○			○				
WD115					○					○							○								Ⓢ			○				UC=15mm
WD201					○					○									○						Ⓢ			○	○			UC=25mm

記号表示方法

材質記号
階数表示記号
形状寸法別通し番号
階数表示記号

B:	地階
1:	1階
2:	2階
3:	3階
4:	4階
C:	キャットウォーク
P:	PH階

共通略符号

記号	意味	記号	意味	記号	意味	記号	意味	記号	意味
S	鋼	WD	木製扉	SH	鋼製シャッター	FLG	フロート板ガラス	SOP	合成樹脂調合ペイント
AL	アルミ	SD	鋼製扉	SSH	ステンレス製シャッター	KG	型板ガラス	FP焼付	フッソ樹脂焼付
SUS	ステンレス	LD	鋼製軽量扉	GSH	シートシャッター	TG	強化ガラス	FP	常温乾燥型フッソ樹脂塗装
HL	ヘアライン	AD	アルミ製扉	PSH	パイプシャッター	HSG	倍強度ガラス	AP焼付	アクリル樹脂焼付
AC	アルキャスト	SSD	ステンレス製扉	RT	自閉式防煙たれ壁	FG	複層ガラス		
BR	真鍮	TD	強化ガラス扉	WG	木製ガラリ	PG	合わせガラス	AUE	アクリルウレタン樹脂
EX	スチール エキスパンドメタル EXG-21	SW	鋼製窓	SG	鋼製ガラリ	MG	網入みがき板ガラス	AA	アルマイト・艶消クリアー
		SWe	鋼製窓（EVシャフト）	AG	アルミ製ガラリ	MG-F	網入複層ガラス	ZP	亜鉛メッキ
		AW	アルミ製窓	SSG	ステンレス製ガラリ	BG	すり板ガラス	PC	粉体塗装
		SSW	ステンレス製窓	ATP	アルミ製トップライト	LG	線入みがき板ガラス	HL	ヘアライン仕上
		SGD	鋼製ガラリ戸	CW	カーテンウォール	PG-T	ガラスティシュ入り合わせガラス	外SOP	外部用SOP
		STS	鋼製スクリーン	AS	アルミスクリーン	FS	片面フロスト加工ガラス		
				AGD	アルミガラリ戸	HRG	耐熱強化ガラス	UC	アンダーカット
				LV	ルーバー				

法規制

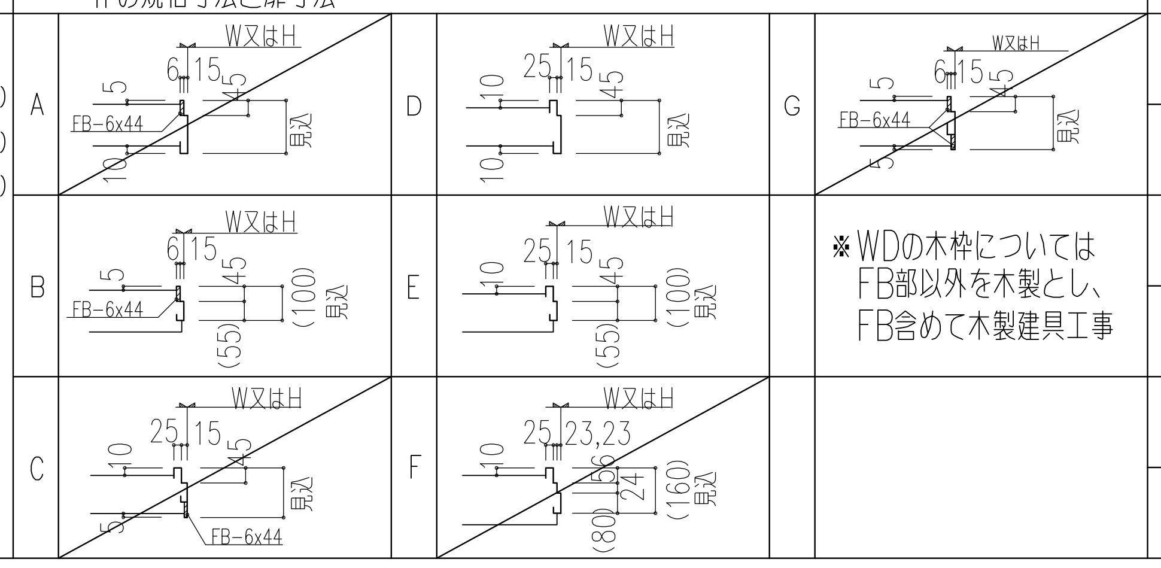
甲	常時閉鎖式特定防火設備
乙	常時閉鎖式防火設備（法第2条9号二の口）
㊙甲	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備
㊙乙	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防火設備（法第2条9号二の口）
網	防火設備（法第2条9号二の口）（網入り又は耐熱強化ガラス）
不扉	常時閉鎖式・不燃扉
RT	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防煙たれ壁（不燃・防煙区画）
防	ガラス等の不燃間仕切による防火・防煙区画

性能記号

遮音性能（エアタイト）

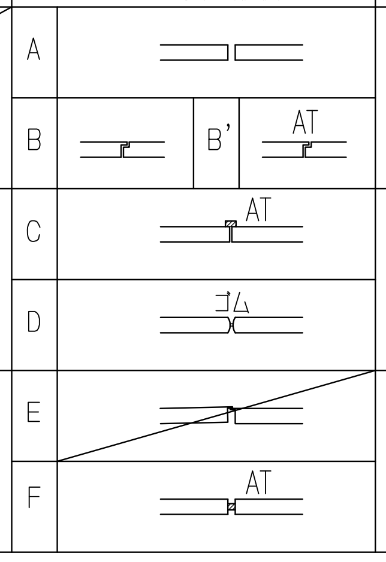
B1, B2, C	Ts-I（Ts-25等級）
A1, A2	Ts-II（Ts-30等級）
S	Ts-III（Ts-35等級）

枠の規格寸法と扉寸法

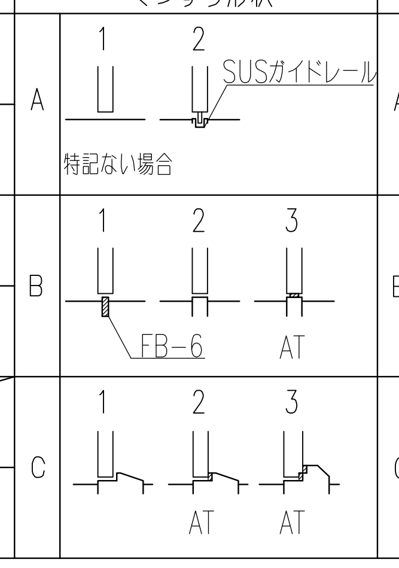


※WDの木枠については FB部以外を木製とし、 FB含めて木製建具工事

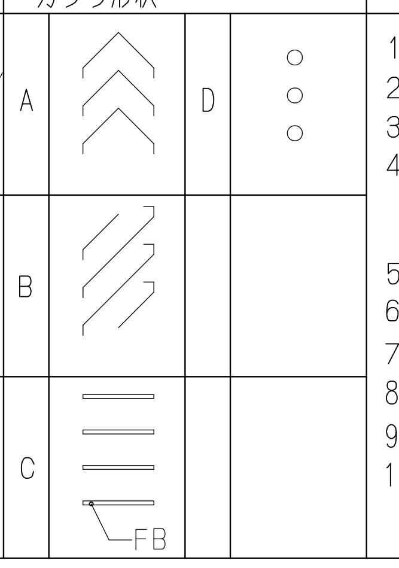
召合せ形状



くつずり形状



ガラリ形状



特記事項

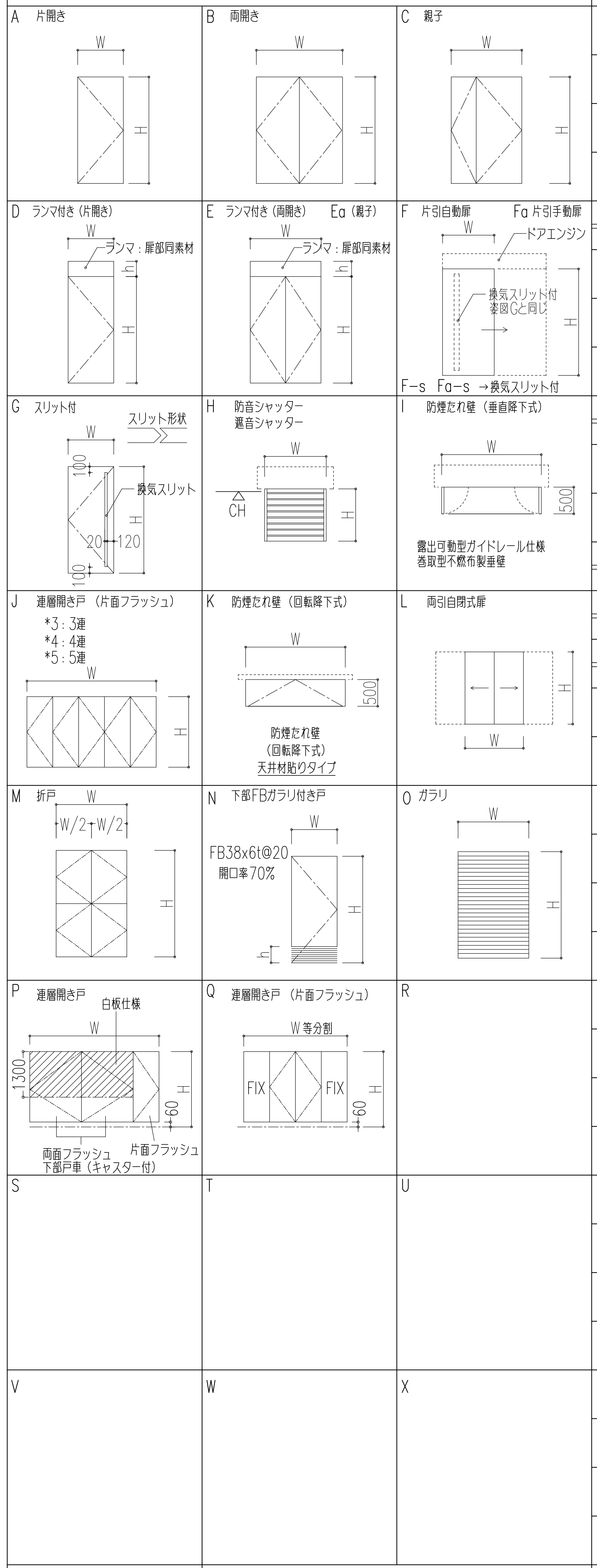
1. 建具寸法は特記なき限り、枠内法寸法とする。
2. 扉厚は特記なき限り40mmとする。但し、鋼製軽量扉（LD）の場合は36mmとする
3. シャッターのスラットはフラット（F）型とする。
4. 遮音性能の必要な建具（SD）について、扉はロックウール充塡とし、沓摺は全てモルタル充塡とする。
   枠廻りは全てモルタル充塡、又は、ロックウール充塡とする
   →遮音性能を要しない場合は上記2にならい、扉のロックウール充塡はなし
5. ※は「建具詳細図」参照とし、#は「建具姿図」参照とする。
6. シャッター、自動扉設置個所での二次側配線、操作押ボタン及び取付は建築工事とする。
7. Ⓢ はストッパー付きを示す。
8. 親子扉のうち、小扉のクローザー機能は「オートピボットヒンジ」とする
9. シャッターの座金はSUS製とする。
10. ガラリ有効面積の欄内表記のうち、「天井RAパス」は建具工事外

工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）

株式会社 槇総合計画事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦

年月日 2005年 5月
図面名称 建具表4 LD WD
縮尺
ファイル名称 A91Dlist04_申請_改1
図面番号 A-91

建具姿図



Y

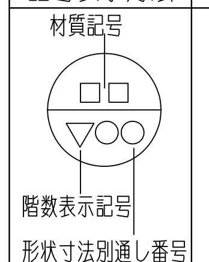
※凡例

/ 修繕工事対象外の建具を示す。

建具符号	姿図符号	法規制	性能記号	開閉方式	取付場所 階	取付場所 室名	数量	建具枠内法寸法 W	建具枠内法寸法 H	建具（スラット） 見込	建具（スラット） 材質 仕上	建具（スラット） 召合せ形状	枠（ガイドレール） 形状	枠（ガイドレール） 見込	枠（ガイドレール） 材質 仕上	くつずり 形状	くつずり 材質 仕上	ガラス 種類 厚さ	ガラリ 形状	ガラリ 開口率（%）	ガラリ 材質 仕上	ガラリ 有効面積（100%時）（m²）
SH B01	H	–	–	電動式巻上	BF	ドライエリア 空調機械室	1	3250	3425	1.6	S ZPの上FP		Sus.曲げ材（一般枠）	75	Sus.pl曲げ HL							
SH 101	H	–	防音 Ts-1	電動式巻上	1F	屋外 搬入口	1	6750	5500	1.6	S ZPの上FP		Sus.曲げ材合成ゴム	90	Sus.pl曲げ HL							
SH 102	H	–	防音 Ts-1	電動式巻上	1F	前室（荷捌き） 搬入口	1	6750	4700	1.6	S ZPの上FP		Sus.曲げ材合成ゴム	90	Sus.pl曲げ HL							
SH 103	H	甲	防火	電動式巻上	1F	前室（荷捌き） 楽器庫	1	2800	3000	1.6	S ZPの上SOP		Sus.曲げ材（一般枠）	90	Sus.pl曲げ HL							
~~SH~~ ~~104~~	~~H~~	~~甲~~	~~防火~~	~~電動式巻上~~	~~1F~~	~~ロビー階段~~ ~~守衛室~~	~~1~~	~~1950~~	~~750~~	~~1.6~~	~~S~~ ~~ZPの上SOP~~		~~Sus.曲げ材（一般枠）~~	~~90~~	~~Sus.pl曲げ~~ ~~HL~~							
RT 101	I	(RT)	–	垂直降下式（手動復帰式）	1F	ホール階段1.2 ホール通路1.2、ホワイエ2	2	5400 + 13600	500	0.25程度	不燃布 ガラスクロス		露出可動型	95	AL AP焼付							
RT 102A	K	(RT)	–	回転降下式（手動復帰式）	1F	ホワイエ1 北エントランス	1	4950	500		S SOP											
RT 102B	K	(RT)	–	回転降下式（手動復帰式）	1F	ホワイエ1 東エントランス	1	9050	500		S SOP											
~~RT~~ ~~103~~	~~K~~	~~(RT)~~	~~–~~	~~回転降下式（手動復帰式）~~	~~1F~~	~~ロビー通路~~ ~~東エントランス~~	~~1~~	~~1700~~	~~500~~		~~S~~ ~~SOP~~											
RT 104A	I	(RT)	–	垂直降下式（手動復帰式）	1F	ホール通路1 ホール通路1	1	2735	500	0.25程度	不燃布 ガラスクロス		露出可動型	95	AL AP焼付							
RT 104B	I	(RT)	–	垂直降下式（手動復帰式）	1F	ホール通路2 ホール通路2	1	2285	500	0.25程度	不燃布 ガラスクロス		露出可動型	95	AL AP焼付							
~~RT~~ ~~105~~	~~I~~	~~(RT)~~	~~–~~	~~垂直降下式（手動復帰式）~~	~~1F~~	~~サブエントランス~~ ~~ロビー階段~~	~~1~~	~~6815~~	~~500~~	~~0.25程度~~	~~不燃布~~ ~~ガラスクロス~~		~~露出可動型~~	~~95~~	~~AL~~ ~~AP焼付~~							
~~SW~~ ~~101~~	~~#~~	~~(防)~~	~~TS-II~~	~~FIX~~ ~~一部片開き~~	~~1F~~	~~ホール客席~~ ~~調整室、親子室~~	~~1~~	~~#~~	~~#~~		~~S~~ ~~SOP~~		~~FB構成材~~	~~68~~	~~S~~ ~~SOP~~	~~FB構成材~~	~~S~~ ~~SOP~~	~~FLG~~ ~~10~~				
~~SW~~ ~~102~~	~~#~~	~~–~~	~~TS-II以上~~	~~FIX~~	~~1F~~	~~空気層~~ ~~親子室~~	~~1~~	~~#~~	~~#~~		~~S~~ ~~SOP~~		~~FB構成材~~	~~46 端部材のみ~~	~~S~~ ~~SOP~~	~~FB構成材~~	~~S~~ ~~SOP~~	~~FLG~~ ~~6~~				
SW 103	#	(不扉)	B2	ランマ：FIX 下部：両開き	1F	楽屋通路 サブエントランス	1	# (2000)	#	40	S SOP	F	FB構成材	83	S SOP	FB構成材	S. SOP Sus. HL	FLG 8				
SW 104	#	(防)	–	袖部/ランマ：FIX 端部：親子	1F	東エントランス 事務室	1	# (1100)	#	40	S SOP		FB構成材	83	S SOP	FIX-FB 開き-B2	S. Sus. SOP HL	# #				
SW 105	#	(防)	–	FIX	1F	カフェレストラン 業務用勝手口	1	#	#		S SOP		FB構成材	※	S SOP	FB構成材	S SOP	FLG 8				
SW 106	#	–	–	袖部/ランマ：FIX 端部：親子	1F	カフェレストラン 東エントランス	1	# (1150)	#	※	SUS HL	A	FB構成材	※	S SOP	FIX-FB 開き-A1	S SOP	# #				
SW 201	#	(防)	TS-II	FIX	2F	機材室2 リハーサル室	1	#	#		S SOP		FB構成材	46 端部材のみ	S SOP	FB構成材	S SOP	FLG 10				
SW 202A	#	–	TS-II	FIX	2F	外装サッシ リハーサル室	1	#	#		S SOP		FB構成材	70	S SOP	FB構成材	S SOP	PG 10 (5+5)				
SW 202B	#	–	TS-II	FIX	2F	外装サッシ リハーサル室	1	#	#		S SOP		FB構成材	70	S SOP	FB構成材	S SOP	PG 10 (5+5)				
SW 203	#	–	TS-II	FIX	2F	外装サッシ 練習室1	1	#	#		S SOP		FB構成材	70	S SOP	FB構成材	S SOP	PG 10 (5+5)				
SW 204	#	–	TS-II	FIX	2F	外装サッシ 練習室2	1	#	#		S SOP		FB構成材	70	S SOP	FB構成材	S SOP	PG 10 (5+5)				
AD R01	B	–	A1	両開き	RF	前室、換気機械室 屋外	2	1800	1200	50	AL B-1	C	E	100	AL B-1	C2	SUS HL					
AD R02	A	–	A1	片開き	RF	排煙機室 屋外機置場	1	600	900	50	AL B-1		B	120	AL B-1	C2	SUS HL					
AD R03	A	–	A1	片開き	RF	OA風洞口 屋外	1	600	600	50	AL B-1		B	120	AL B-1	C2	SUS HL					
AD R04	A	–	A1	片開き	RF	リハーサル室DS リハーサル室DS上部屋外	1	600	1200	50	AL B-1		B	120	AL B-1	C2	SUS HL					
AD L01	A	–	–	片開き	GL	屋外機置場（別棟） 外部（既存屋外トイレ近傍）	1	750	1500	50	AL B-1		E	100	AL B-1	C1	SUS HL					
SWD A1	#	–	–	#（両開き）	1F	風除室1 屋外	1	# (1900?)	#	※	Sus HL+FP	D	※	※	Sus HL+FP	※	SUS HL	#				
SWD A2	#	(不扉)	–	#（両開き）	1F	風除室1 北エントランス	1	# (1900?)	#	※	Sus HL+FP	D	※	※	Sus HL+FP	※	SUS HL	#				
SWD B1	#	–	–	#（両開き）	1F	風除室2 屋外	1	# (2000?)	#	※	Sus HL+FP	D	※	※	Sus HL+FP	※	SUS HL	#				
SWD B2	#	(不扉)	–	#（両開き）	1F	風除室2 東エントランス	1	# (2000?)	#	※	Sus HL+FP	D	※	※	Sus HL+FP	※	SUS HL	#				
SWD C1	#	–	–	#（自動扉）	1F	風除室3 屋外	1	# (1400)	#	※	Sus HL+FP	D	※	※	Sus HL+FP	※	SUS HL	#				
SWD C2	#	(不扉)	–	#（自動扉）	1F	風除室3 サブエントランス	1	# (1400)	#	※	Sus HL+FP	D	※	※	Sus HL+FP	※	SUS HL	#				

建具符号	握玉・把手類 握玉	SUS押棒	ローラー締まりハンドル	引手	レバーハンドル	ケースハンドル	クレモン締り（3点）	堀込引手	錠の種類 空錠	箱錠	本締錠	電気錠	非常錠	表示錠	カードリーダー	押ボタン式電磁錠	支持金物 丁番（㋕は隠し丁番）	オートヒンジ	ピボットヒンジ	フロアヒンジ	オート丁番	重量扉用ロングヒンジ	点検口用スプリングヒンジ	折れ戸用ヒンジ	付属金物 ドアクローザ	ドアクローザ（コンシールド）	アームストッパー	戸当り	フランス落し	順位調整器	スモーククローザ	備考
SH B01																																電動式巻上シャッター： 電動モーター（400VL） まぐさSus.pl曲げ＋座金Sus.2L−50*50*6t、その他支持金物一式
SH 101																																電動式巻上防音シャッター： 電動モーター（400VL） まぐさSus.pl曲げ＋座金Sus.2L−50*50*6t、その他支持金物一式 非常時開放、非常用電源対応とする
SH 102																																電動式巻上防音シャッター： 電動モーター（400VL） まぐさSus.pl曲げ＋座金Sus.2L−50*50*6t、その他支持金物一式 非常時開放、非常用電源対応とする
SH 103																																電動式巻上防火シャッター： 電動モーター（400VL） まぐさSus.pl曲げ＋座金Sus.2L−50*50*6t、その他支持金物一式 管理用のため煙感連動に必要性なし
~~SH~~ ~~104~~																																~~電動式巻上シャッター： 電動モーター（400VL）~~ ~~まぐさSus.pl曲げ＋座金Sus.2L−50*50*6t、その他支持金物一式~~
RT 101																																煙感連動開放装置　手動開閉装置、オペレーター、その他支持金物一式
RT 102A																																煙感連動開放装置　手動開閉装置、オペレーター、スプリングステー、 その他支持金物一式　また、天井材貼りタイプとする
RT 102B																																煙感連動開放装置　手動開閉装置、オペレーター、スプリングステー、 その他支持金物一式　また、天井材貼りタイプとする
~~RT~~ ~~103~~																																~~煙感連動開放装置　手動開閉装置、オペレーター、スプリングステー、~~ ~~その他支持金物一式　また、天井材貼りタイプとする~~
RT 104A																																煙感連動開放装置　手動開閉装置、オペレーター、その他支持金物一式
RT 104B																																煙感連動開放装置　手動開閉装置、オペレーター、その他支持金物一式
~~RT~~ ~~105~~																																~~煙感連動開放装置　手動開閉装置、オペレーター、その他支持金物一式~~
~~SW~~ ~~101~~																																~~手動開閉框片開き戸、2段階ストッパー、ハンドルその他支持金物一式~~
~~SW~~ ~~102~~																																~~SW-101との空気層D=150~~
SW 103		○									○								○							○		○				扉部：ガラス框戸（両開き）
SW 104		○									○									○								○				扉部：軸吊強化ガラス扉（親子）→ヒンジ・本締錠部はSus.pl支持 →フロアヒンジ（中心吊タイプ） （姿図参照）　Sus部：HL仕上げ
SW 105																																
SW 106		○									○									○								○				扉部：軸吊強化ガラス扉（親子）→ヒンジ・本締錠部はSus.pl支持 →フロアヒンジ（中心吊タイプ） （姿図参照）　Sus部：HL仕上げ
SW 201																																
SW 202A																																AWとの空気層厚＝Dにおいては「2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図」参照
SW 202B																																AWとの空気層厚＝Dにおいては「2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図」参照
SW 203																																AWとの空気層厚＝Dにおいては「2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図」参照
SW 204																																AWとの空気層厚＝Dにおいては「2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図」参照
AD R01							○				○						㋕								○			○	○			
AD R02							○				○						㋕								○			○				
AD R03							○				○						㋕								○			○				具体的位置は「舞台廻り詳細図2」参照
AD R04							○				○						㋕								○			○				
AD L01					○					○							㋕										○	○				屋外機置場に設置　雑詳細図参照（M−43）
SWD A1										「外部廻り詳細図」参照																						フロアヒンジ（持出しタイプ）、Sus製押棒、本締錠（下部）、 戸当り（床埋込み＋回転式）その他支持金物一式
SWD A2										「外部廻り詳細図」参照																						フロアヒンジ（持出しタイプ）、Sus製押棒、本締錠（下部）、 戸当り（床埋込み＋回転式）その他支持金物一式
SWD B1										「外部廻り詳細図」参照																						フロアヒンジ（持出しタイプ）、Sus製押棒、本締錠（下部）、 戸当り（床埋込み＋回転式）その他支持金物一式
SWD B2										「外部廻り詳細図」参照																						フロアヒンジ（持出しタイプ）、Sus製押棒、本締錠（下部）、 戸当り（床埋込み＋回転式）その他支持金物一式
SWD C1										「外部廻り詳細図」参照																						煙感連動非常開放仕様、復旧スイッチ、センサー、エンジン、 安全ビーム等取付金物一式
SWD C2										「外部廻り詳細図」参照																						煙感連動非常開放仕様、復旧スイッチ、センサー、エンジン、 安全ビーム等取付金物一式

記号表示方法



階数表示記号
B: 地階
1: 1階
2: 2階
3: 3階
4: 4階
C: キャットウォーク
P: PH階

共通略符号

S	鋼	WD	木製扉	SH	鋼製シャッター	FLG	フロート板ガラス	SOP	合成樹脂調合ペイント
AL	アルミ	SD	鋼製扉	SSH	ステンレス製シャッター	KG	型板ガラス	FP焼付	フッソ樹脂焼付
SUS	ステンレス	LD	鋼製軽量扉	GSH	シートシャッター	TG	強化ガラス	FP	常温乾燥型フッソ樹脂塗装
HL	ヘアライン	AD	アルミ製扉	PSH	パイプシャッター	HSG	倍強度ガラス	AP焼付	アクリル樹脂焼付
AC	アルキャスト	SSD	ステンレス製扉	RT	自閉式防煙たれ壁	FG	複層ガラス		
BR	真鍮	TD	強化ガラス扉	WG	木製ガラリ	PG	合わせガラス	AUE	アクリルウレタン樹脂
EX	スチール エキスパンドメタル EXG-21	SW	鋼製窓	SG	鋼製ガラリ	MG	網入みがき板ガラス	AA	アルマイト・艶消クリアー
		SWe	鋼製窓（EVシャフト）	AG	アルミ製ガラリ	MG-F	網入複層ガラス	ZP	亜鉛メッキ
		AW	アルミ製窓	SSG	ステンレス製ガラリ	BG	すり板ガラス	PC	粉体塗装
		SSW	ステンレス製窓	ATP	アルミ製トップライト	LG	線入みがき板ガラス	HL	ヘアライン仕上
		SGD	鋼製ガラリ戸	CW	カーテンウォール	PG-T	ガラスティシュ入り合わせガラス	外SOP	外部用SOP
		STS	鋼製スクリーン	AS	アルミスクリーン	FS	片面フロスト加工ガラス		
				AGD	アルミガラリ戸	HRG	耐熱強化ガラス	UC	アンダーカット
				LV	ルーバー				

法規制

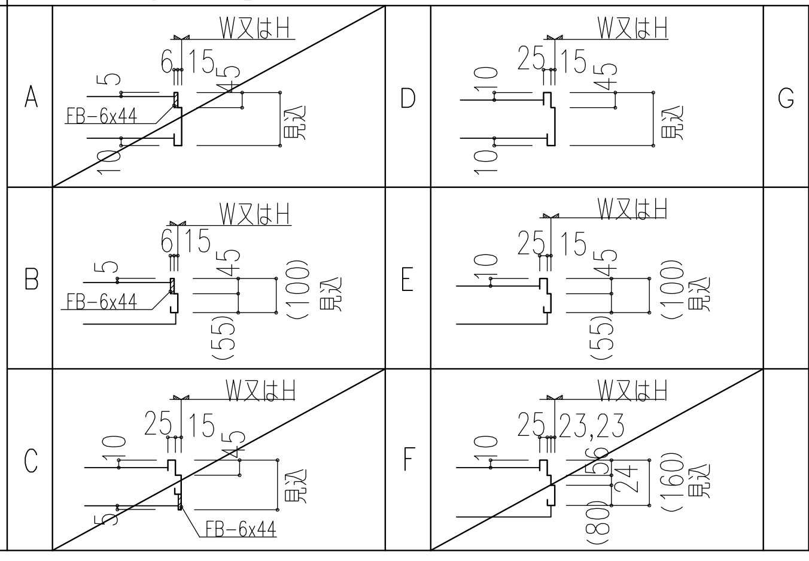
甲	常時閉鎖式特定防火設備
乙	常時閉鎖式防火設備（法第2条9号二のロ）
(甲)	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備
(乙)	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防火設備（法第2条9号二のロ）
(網)	防火設備（法第2条9号二のロ）（網入り又は耐熱強化ガラス）
(不扉)	常時閉鎖式・不燃扉
(RT)	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防煙たれ壁（不燃・防煙区画）
(防)	ガラス等の不燃間仕切による防火・防煙区画

性能記号

遮音性能（エアタイト）

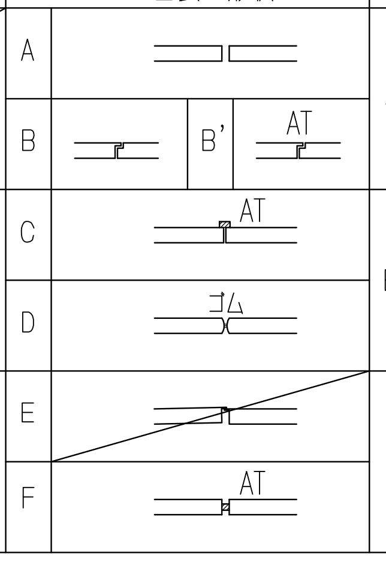
B1, B2, C	Ts-I（Ts-25等級）
A1, A2	Ts-II（Ts-30等級）
S	Ts-III（Ts-35等級）

枠の規格寸法と扉寸法

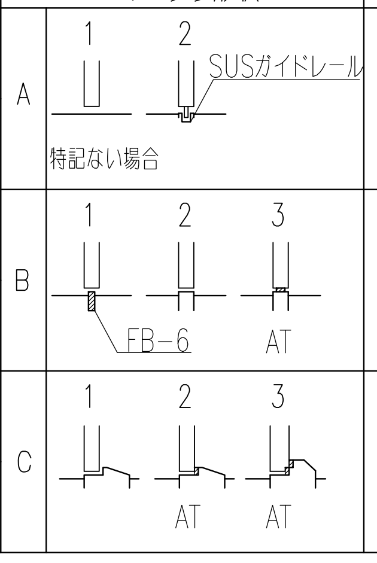


※WDの木枠については FB部以外を木製とし、FB含めて木製建具工事

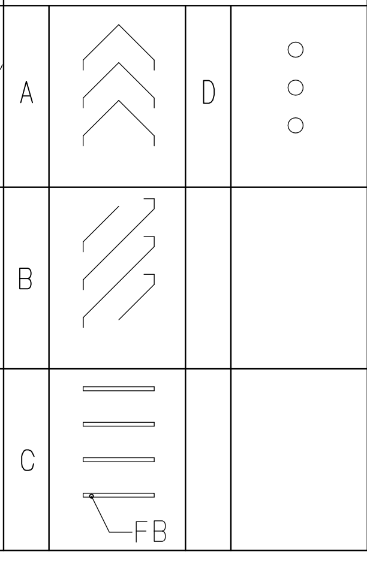
召合せ形状



くつずり形状



ガラリ形状



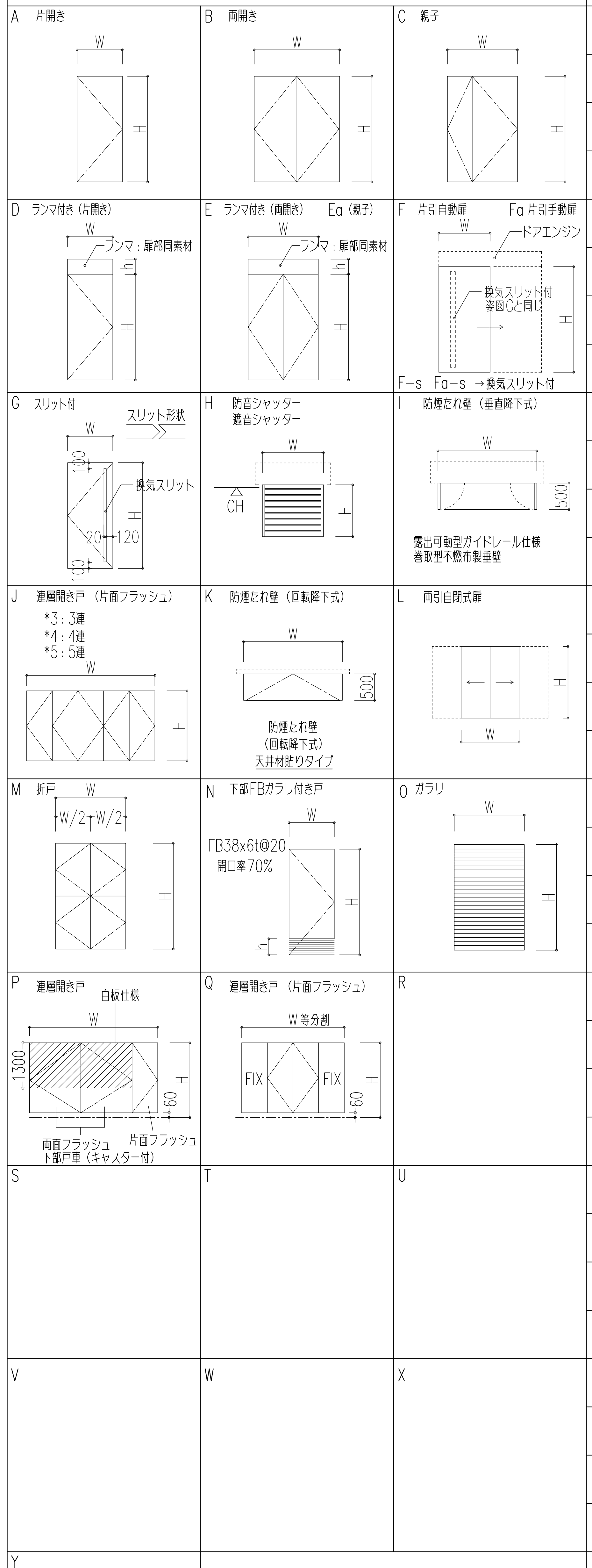
特記事項

1. 建具寸法は特記なき限り、枠内法寸法とする。
2. 扉厚は特記なき限り40mmとする。但し、鋼製軽量扉（LD）の場合は36mmとする
3. シャッターのスラットはフラット（F）型とする。
4. 遮音性能の必要な建具（SD）について、扉はロックウール充填とし、沓摺は全てモルタル充填とする。
   枠廻りは全てモルタル充填、又は、ロックウール充填とする
   →遮音性能を要しない場合は上記2にならい、扉のロックウール充填はなし
5. ※は「建具詳細図」参照とし、#は「建具姿図」参照とする。
6. シャッター、自動扉設置個所での二次側配線、操作押ボタン及び取付は建築工事とする。
7. Ⓢ はストッパー付きを示す。
8. 親子扉のうち、小扉のクローザー機能は「オートピボットヒンジ」とする
9. シャッターの座金はSUS製とする。
10. ガラリ有効面積の欄内表記のうち、「天井RAパス」は建具工事外

工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）

株式会社　槇総合計画事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦

年月日 2005年 5月
図面名称 建具表5　SH　SW　AD　SWD
縮尺
ファイル名称 A92Dlist05_申請_改2
図面番号 A-92



※凡例

（***／***） 修繕工事対象外の建具を示す。

建具符号	姿図符号	法規制	性能記号	開閉方式	取付場所 階	取付場所 室名	数量	建具枠内法寸法 W	建具枠内法寸法 H	建具（スラット） 見込	建具（スラット） 材質仕上	建具（スラット） 召合せ形状	枠（ガイドレール） 形状	枠（ガイドレール） 見込	枠（ガイドレール） 材質仕上	くつずり 形状	くつずり 材質仕上	ガラス 種類厚さ	ガラリ 形状	ガラリ 開口率（%）	ガラリ 材質仕上	ガラリ 有効面積（100%時）（m^2）	握玉・把手類／錠の種類／支持金物／付属金物	備考
AW 101A	#	—	—	FIX 片開き框戸	1F	ホール通路1 外部	1	#	#	※	AL B-1		AL	※	AL B-1	※	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照	
AW 101B	#	—	—	FIX 片開き框戸	1F	ホワイエ1 外部、テッキテラス	1	#	#	※	AL B-1		AL	※	AL B-1	※	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照	新型アルミ型材+スチールマリオン （4辺支持） 換気用手動開閉框片開き戸、丁番、ハンドル型締り金物、角度調整器 その他支持金物一式
AW 101C	#	—	—	FIX 片開き框戸	1F	会議室、事務室、カフェレストラン 外部、テッキテラス	1	#	#	※	AL B-1		AL	※	AL B-1	※	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照	
AW 102A	#	—	—	FIX 両開き框戸	1F	ホワイエ1,2、東北エントランス 中庭1	1	#	#	※	AL B-1	D	AL	※	AL B-1	※	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照	新型アルミ型材+スチールマリオン （4辺支持） 出入口用手動開閉框片開き戸、丁番、ハンドル型締り金物、角度調整器 X11通り側でY2~Y5までH>2100に再生木ルーバー その他支持金物一式
AW 102B	#	—	—	FIX 片開き框戸	1F	ホール通路2、東エントランス、ボランティア室 中庭2	1	#	#	※	AL B-1		AL	※	AL B-1	※	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照	新型アルミ型材+スチールマリオン （4辺支持） 換気用手動開閉框片開き戸、丁番、ハンドル型締り金物、角度調整器 その他支持金物一式
AW 103A	#	—	—	FIX 突出し框戸	1F	ホール通路1 外部	1	#	#	※	AL B-1		AL	※	AL B-1	※	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照	新型アルミ型材サッシ （4辺支持） 換気用手動開閉框突出し窓、カムラッチハンドル、突き出しアーム、 あおり止め、その他支持金物一式
AW 103B	#	—	—	FIX 突出し框戸	1F	個室、中楽屋、大楽屋 外部	1	#	#	※	AL B-1		AL	※	AL B-1	※	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照	新型アルミ型材サッシ （4辺支持） 換気用手動開閉框突出し窓、カムラッチハンドル、突き出しアーム、 あおり止め、その他支持金物一式
SWA 104	#	—	—	FIX 引き違い框戸	1F	守衛室 ロビー階段	1	#	#	40	AL C-1	既型型材による	AL	75	AL C-1	AL	AL C-1	FLG 5						既型アルミ型材サッシ （4辺支持） 引き違い框戸、クレセントその他支持金物一式
AW 105	#	㊡	TS-II	FIX 一部片引き	1F	ホール客席 調整室、親子室	1	#	#		AL AP焼付		AL	100	AL AP焼付	AL	AL AP焼付	FLG 10						手動片引き框戸、クレセント、戸当りその他支持金物一式
AW 106	#	—	TS-II以上	FIX	1F	空気層 親子室	1	#	#		AL AP焼付		AL	100	AL AP焼付	AL	AL AP焼付	FLG 6						SW-101との空気層D=150
AW 201	#	—	—	FIX 片開き框戸	2F	ラウンジ 屋上テラス	1	#	#	※	AL B-1		AL	※	AL B-1	※	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照	既型アルミ型材サッシ（換気・出入口框戸共に2辺支持）→参考詳細図と同等以上 換気用・出入口用手動開閉框片開き戸、丁番、ハンドル型締り金物、角度調整器 その他支持金物一式
AW 202A	#	—	—	FIX	2F	リハーサル室 外部	1	#	#	※	AL B-1		AL	※	AL B-1	※	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照	
AW 202B	#	—	—	FIX	2F	練習室1 屋上テラス	1	#	#	※	AL B-1		AL	※	AL B-1	※	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照	新型アルミ型材サッシ （4辺支持） 支持金物一式 ※AW内側に空気層をはさんでSWあり（SW202A.B.203.204）
AW 202C	#	—	—	FIX	2F	練習室2 外部	1	#	#	※	AL B-1		AL	※	AL B-1	※	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照	
AW 203A	#	—	—	FIX 片開き框戸	2F	休憩ロビー 外部	1	#	#	※	AL B-1		AL	※	AL B-1	※	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照	新型アルミ型材サッシ （4辺支持） 換気用手動開閉框片開き戸、丁番、ハンドル型締り金物、角度調整器 その他支持金物一式
AW 203B	#	—	—	FIX 片開き框戸	2F	休憩ロビー 屋上テラス	1	#	#	※	AL B-1		AL	※	AL B-1	※	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照	新型アルミ型材サッシ （4辺支持） 出入口用手動開閉框片開き戸、丁番、ハンドル型締り金物、角度調整器 その他支持金物一式
AW 204	#	—	—	FIX	2F	休憩ロビー 外部	1	#	#	※	AL B-1		AL	※	AL B-1	※	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照	新型アルミ型材サッシ （4辺支持） 換気用手動開閉框片開き戸、丁番、ハンドル型締り金物、角度調整器 その他支持金物一式
AW 205	#	—	—	突出し框戸	2F	ラウンジ（男女客用便所1,2前） 外部	4	675	675	—	AL B-1		AL	100	AL B-1			FLG 5						既型アルミ型材サッシ （4辺支持） 換気用手動開閉框突出し窓、カムラッチハンドル、突き出しアーム、 あおり止め、その他支持金物一式
AW 206	#	—	—	片開き框戸	2F	機材室1 北テラス	1	#	#	40	AL B-1		AL	100	AL B-1	C1	AL B-1	FLG 6						既型アルミ型材サッシ （4辺支持） 換気用手動開閉框片開き戸、丁番、ハンドル型締り金物、角度調整器 その他支持金物一式
AW 207	#	㊡	TS-II	FIX 内開き框戸	2F	ピンスポット室 ホール客席上部	1	#	#	40	AL C-1	既型型材による	AL	100	AL C-1	C2	AL C-1	HRG 10						既型アルミ型材サッシ （4辺支持） 内開きタイプ ハンドル部その他支持金物一式
AP 01	#	—	—	FIX	2F	DS 外部	1	#	#	※	AL B-1		AL	※	AL B-1	※	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照	AW202A.B.Cの型材を加工応用 但しガラス支持ではなくアルミパネル切板t3→建具姿図参照も合せて参照
AG B01	0	—	—	FIX	BF	ドライエリア 熱源機械室	1	3000	2600		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1	2.73		
AG 201	0	—	—	FIX	2F	北テラス 排煙機室	1	2600	2400		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1	2.17		
AG 202	0	—	—	FIX	2F	DS 屋外	1	1150	600		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1	0.22		
AG 203	0	—	—	FIX	2F	DS 屋外	1	450	450		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1	0.07		
AG R01A	0	—	—	FIX	RF	排煙機室 屋外	1	2950	1200		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1	total 1.69		
AG R01B	0	—	—	FIX	RF	排煙機室 屋外	1	3350	1200		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1			
AG R02A	0	—	—	FIX	RF	換気機械室 屋外	1	2950	1200		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1	total 2.64		アルミ既製ガラリ及び枠とし（ガラリは通し）、ガラリ補強方立ては@1000 にて裏側に設置 ガラリ背面に防虫アミ（SUS：黒色塗装）、水切、皿板等、 ダクト接続フランジ、その他支持金物一式
AG R02B	0	—	—	FIX	RF	換気機械室 屋外	1	3350	1200		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1			
AG R03	0	—	—	FIX	RF	排煙機室 置外機置場	1	2000	1500		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1	1.08		
AG R04	0	—	—	FIX	RF	リハーサル室DS上部 屋外	1	900	900		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1	0.28		
AG R05	0	—	—	FIX	RF	ハト小屋 屋外	2	1700	600		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	*	AL B-1	0.35		
ATP R01	※	—	—	FIX	RF	ロビー階段 屋根	1	※	※		AL B-1		※	※	AL B-1			MG-F ア6+A6+6.8					「外部廻り詳細図」参照	既型アルミ型材サッシ （4辺支持） →参考詳細図と同等以上 「ア6」=乳白アクリル板t=6を示す 水切（AL.pl-2t）その他支持金物一式

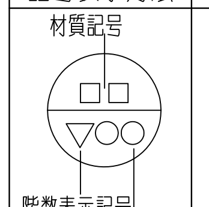
握玉・把手類：握玉、SUS押棒、ローラー締まりハンドル、引手、レバーハンドル、ケースハンドル、クレモン締り（3点）、堀込引手

錠の種類：空錠、箱錠、本締錠、電気錠、非常錠、表示錠、カードリーダー、押ボタン式電磁錠

支持金物：丁番（㋕は隠し丁番）、オートヒンジ、ピボットヒンジ、フロアヒンジ、オート丁番、重量扉用ロングヒンジ、点検口用スプリングヒンジ、折れ戸用ヒンジ

付属金物：ドアクローザ、ドアクローザコンシールド、アームストッパー、戸当り、フランス落し、順位調整器、スモーククローザ

記号表示方法



階数表示記号

B：	地階
1：	1階
2：	2階
3：	3階
4：	4階
C：	キャットウォーク
P：	PH階

共通略符号

S	鋼
AL	アルミ
SUS	ステンレス
HL	ヘアライン
AC	アルキャスト
BR	真鍮
EX	スチール エキスパンドメタル EXG-21
WD	木製扉
SD	鋼製扉
LD	鋼製軽量扉
AD	アルミ製扉
SSD	ステンレス製扉
TD	強化ガラス扉
SW	鋼製窓
SWe	鋼製窓（EVシャフト）
AW	アルミ製窓
SSW	ステンレス製窓
SGD	鋼製ガラリ戸
STS	鋼製スクリーン
SH	鋼製シャッター
SSH	ステンレス製シャッター
GSH	シートシャッター
PSH	パイプシャッター
RT	自閉式防煙たれ壁
WG	木製ガラリ
SG	鋼製ガラリ
AG	アルミ製ガラリ
SSG	ステンレス製ガラリ
ATP	アルミ製トップライト
CW	カーテンウォール
AS	アルミスクリーン
AGD	アルミガラリ戸
LV	ルーバー
FLG	フロート板ガラス
KG	型板ガラス
TG	強化ガラス
HSG	倍強度ガラス
FG	複層ガラス
PG	合わせガラス
MG	網入みがき板ガラス
MG-F	網入複層ガラス
BG	すり板ガラス
LG	線入みがき板ガラス
PG-T	ガラスティシュ入り合わせガラス
FS	片面フロスト加工ガラス
HRG	耐熱強化ガラス
SOP	合成樹脂調合ペイント
FP焼付	フッソ樹脂焼付
FP	常温乾燥型フッソ樹脂塗装
AP焼付	アクリル樹脂焼付
AUE	アクリルウレタン樹脂
AA	アルマイト・艶消クリアー
ZP	亜鉛メッキ
PC	粉体塗装
HL	ヘアライン仕上
外SOP	外部用SOP
UC	アンダーカット

法規制

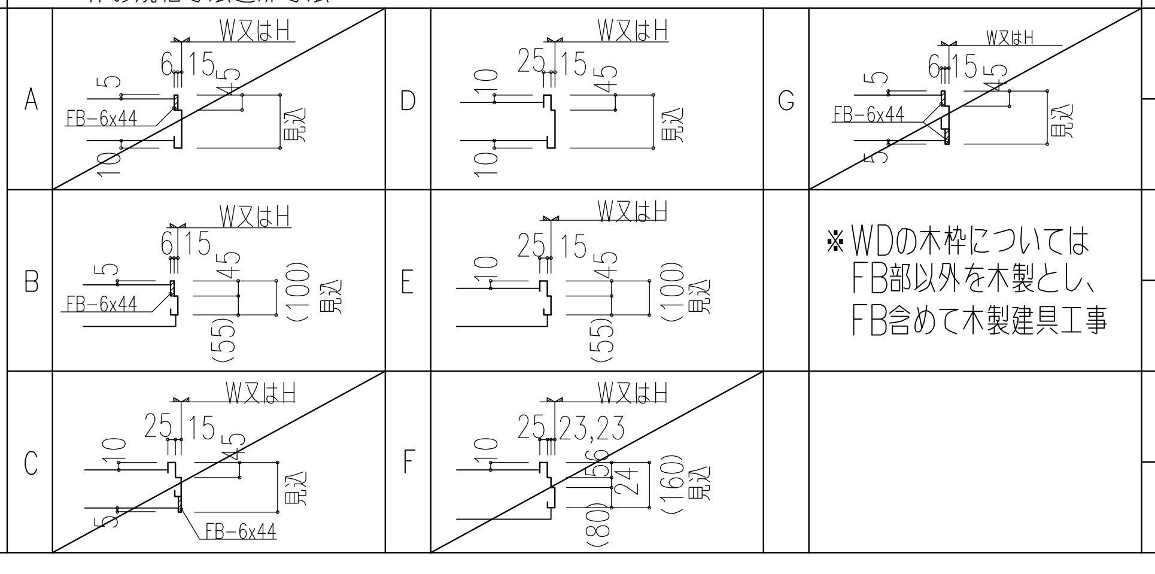
甲	常時閉鎖式特定防火設備
乙	常時閉鎖式防火設備（法第2条9号二の口）
㊙甲	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備
㊚乙	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防火設備（法第2条9号二の口）
網	防火設備（法第2条9号二の口）（網入り又は耐熱強化ガラス）
不扉	常時閉鎖式・不燃扉
RT	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防煙たれ壁（不燃・防煙区画）
㊡	ガラス等の不燃間仕切による防火・防煙区画

性能記号

遮音性能（エアタイト）

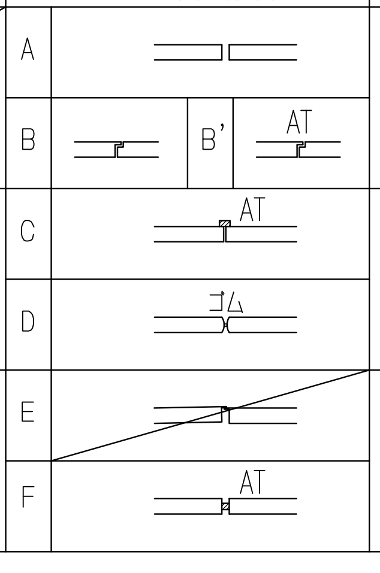
B1, B2, C	Ts-I（Ts-25等級）
A1, A2	Ts-II（Ts-30等級）
S	Ts-III（Ts-35等級）

枠の規格寸法と扉寸法

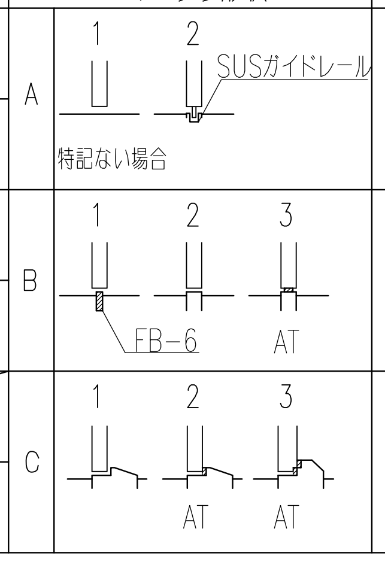


※WDの木枠については FB部以外を木製とし、FB含めて木製建具工事

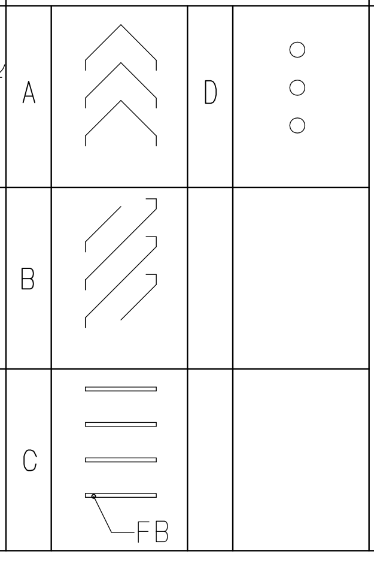
召合せ形状



くつずり形状



ガラリ形状



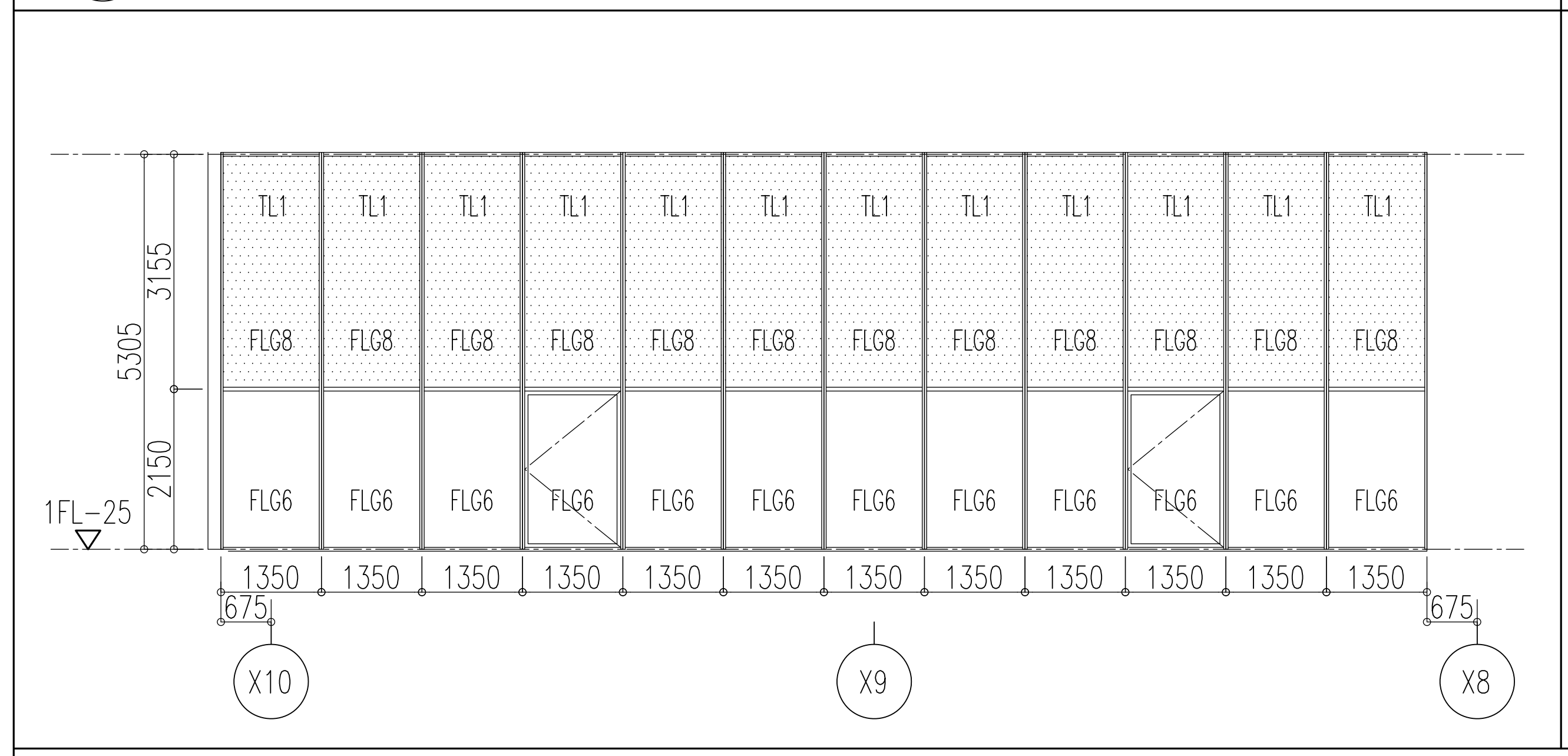
特記事項

1. 建具寸法は特記なき限り、枠内法寸法とする。
2. 扉厚は特記なき限り40mmとする。但し、鋼製軽量扉（LD）の場合は36mmとする
3. シャッターのスラットはフラット（F）型とする。
4. 遮音性能の必要な建具（SD）について、扉はロックウール充填とし、沓摺は全てモルタル充填とする。
   枠廻りは全てモルタル充填、又は、ロックウール充填とする
   →遮音性能を要しない場合は上記2にならい、扉のロックウール充填はなし
5. ※は「建具詳細図」参照とし、#は「建具姿図」参照とする。
6. シャッター、自動扉設置個所での二次側配線、操作押ボタン及び取付は建築工事とする。
7. Ⓢ はストッパー付きを示す。
8. 親子扉のうち、小扉のクローザー機能は「オートピボットヒンジ」とする
9. シャッターの座金はSUS製とする。
10. ガラリ有効面積の欄内表記のうち、「天井RAパス」は建具工事外

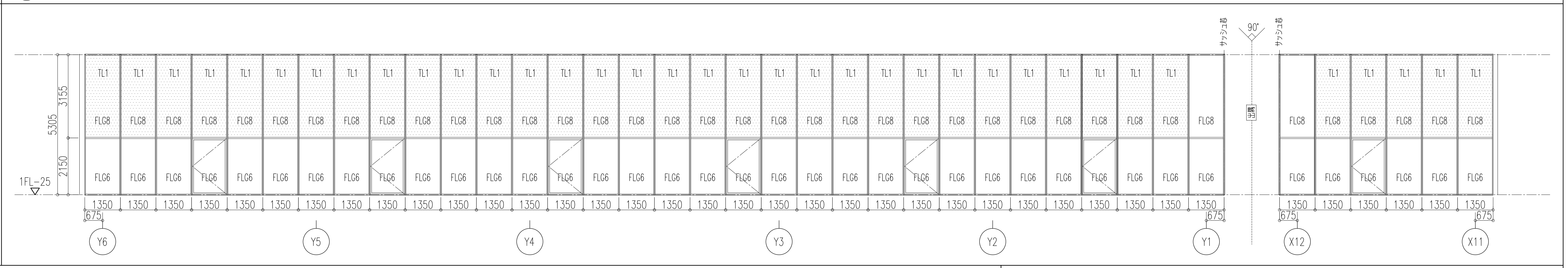
工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）	株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	年月日 2005年 5月	図面名称 建具表6 AW AG	縮尺	ファイル名称 A93Dlist06

図面番号 A-93

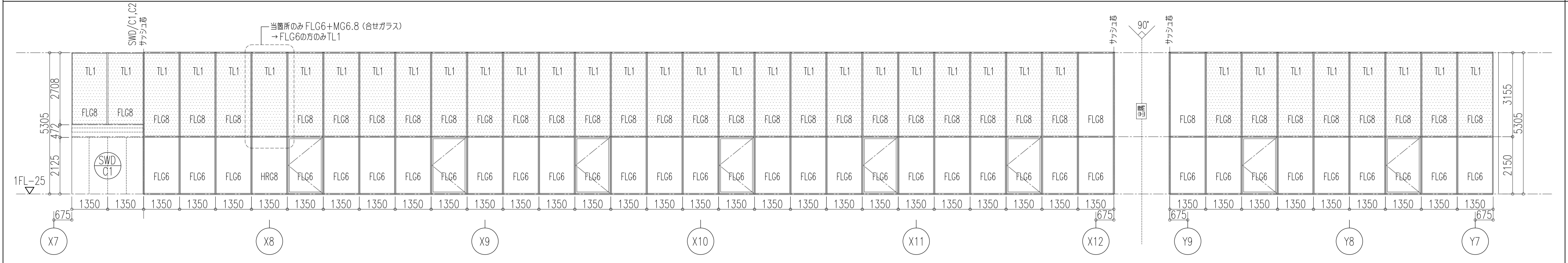
AW 101A



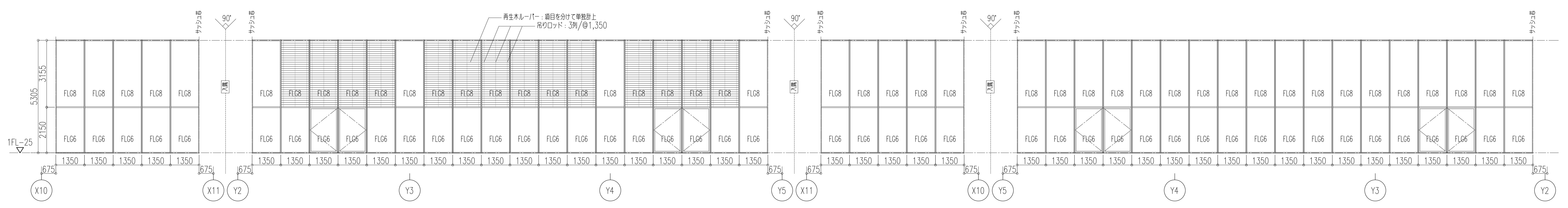
AW 101B



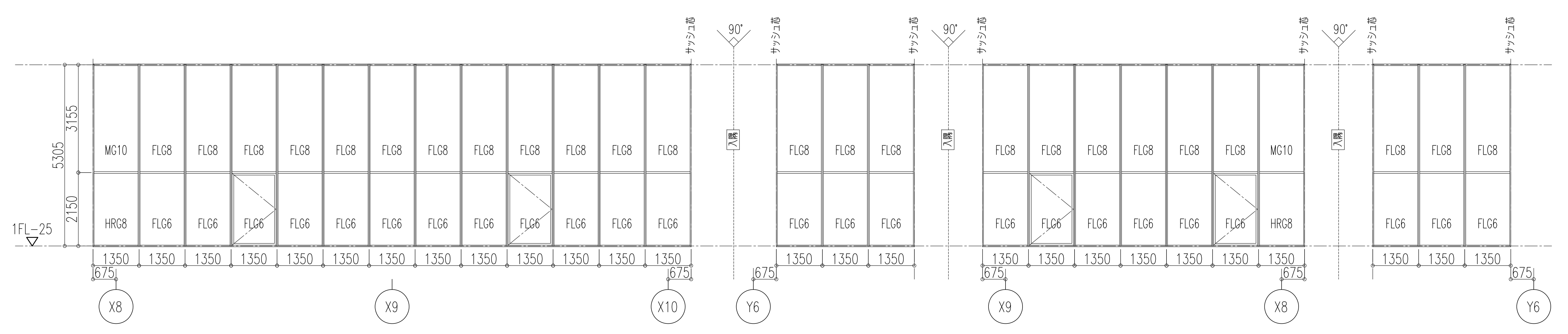
AW 101C



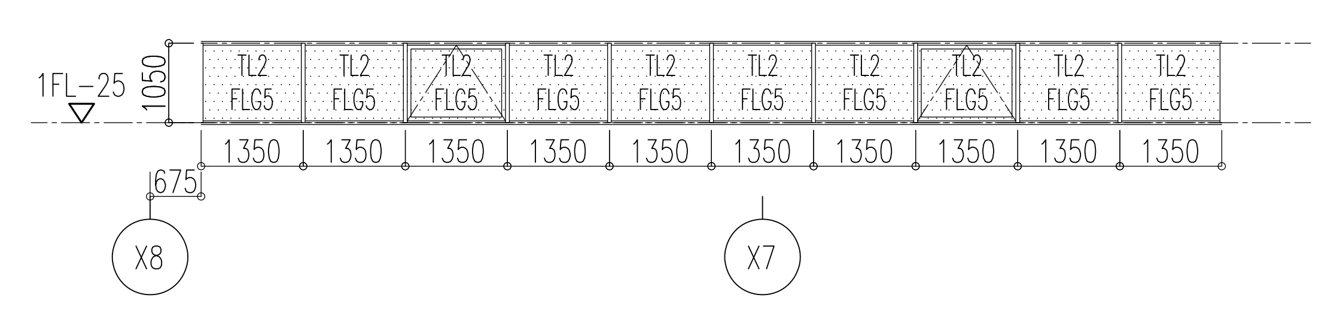
AW 102A



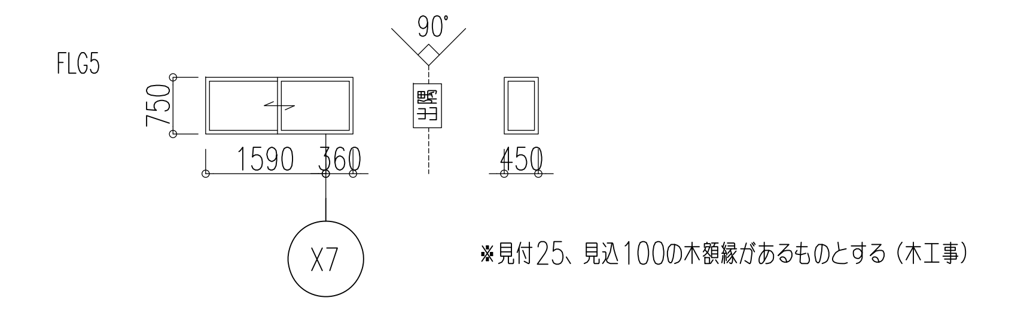
AW 102B



AW 103A

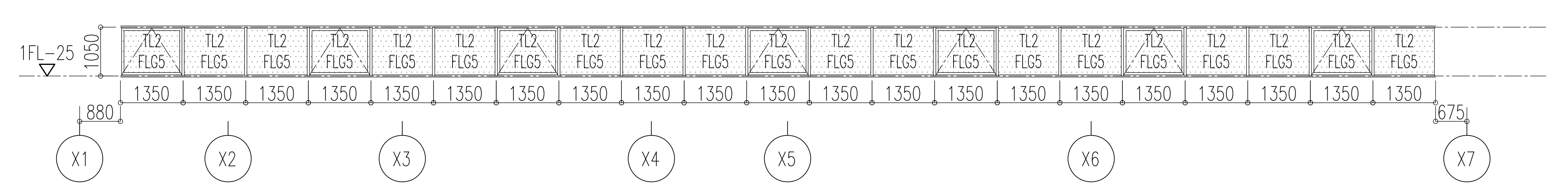


AW 104



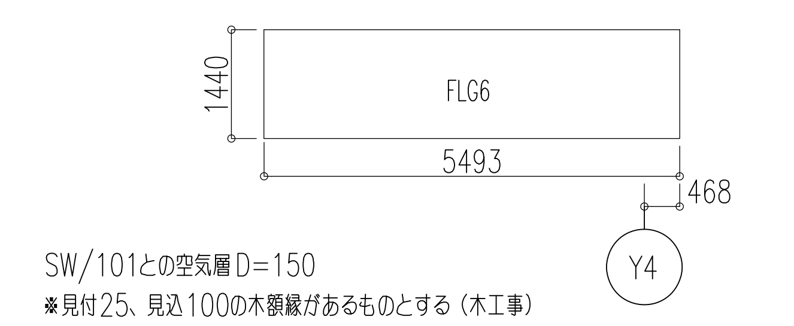
※見付25、見込100の木額縁があるものとする（木工事）

AW 103B



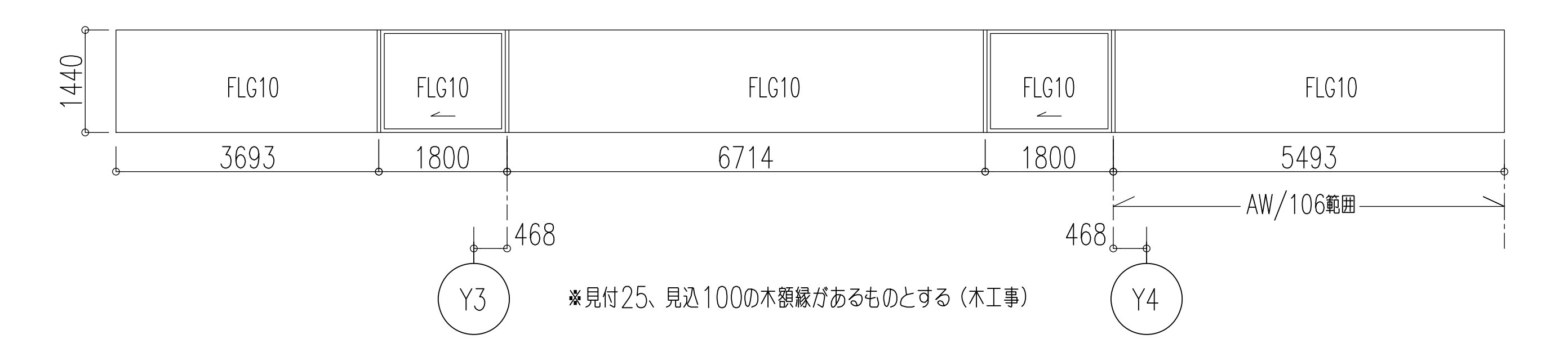
AW 105

AW 106



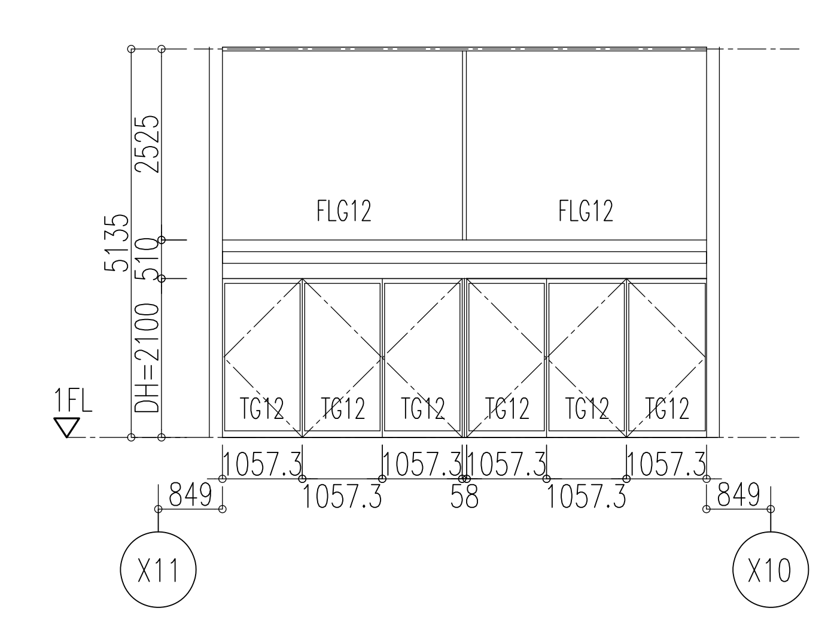
SW/101との空気層D=150

※見付25、見込100の木額縁があるものとする（木工事）

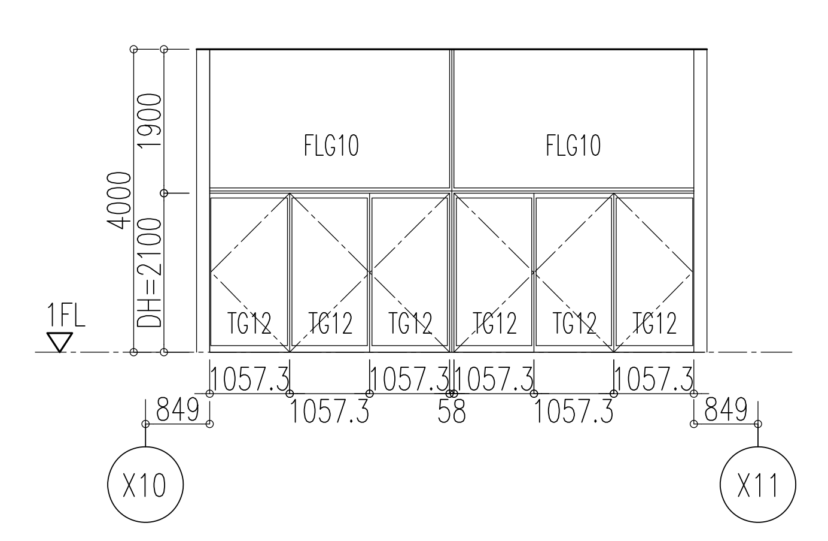


※見付25、見込100の木額縁があるものとする（木工事）

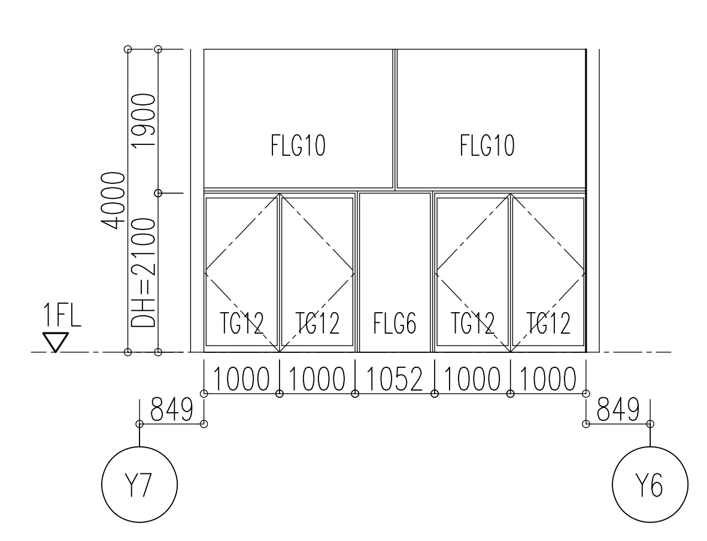
SWD A1



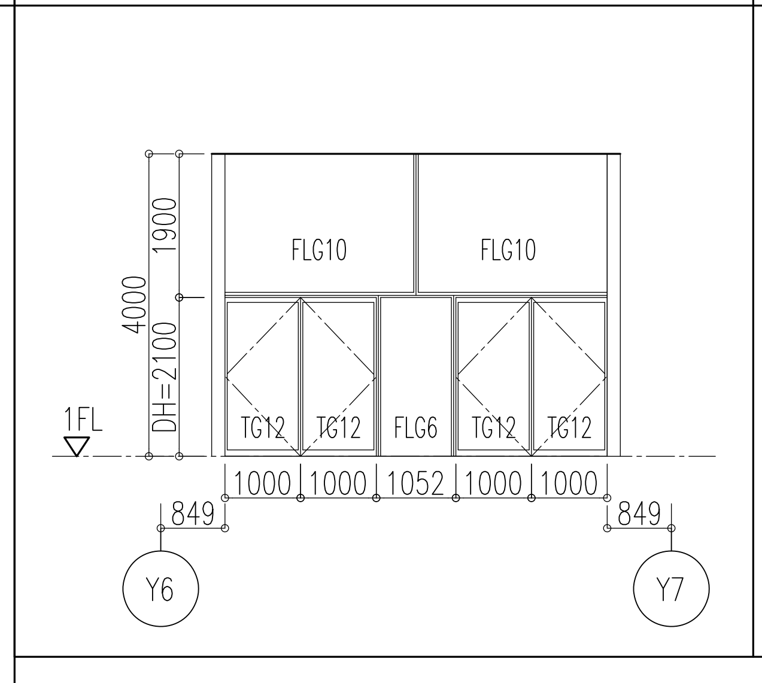
SWD A2



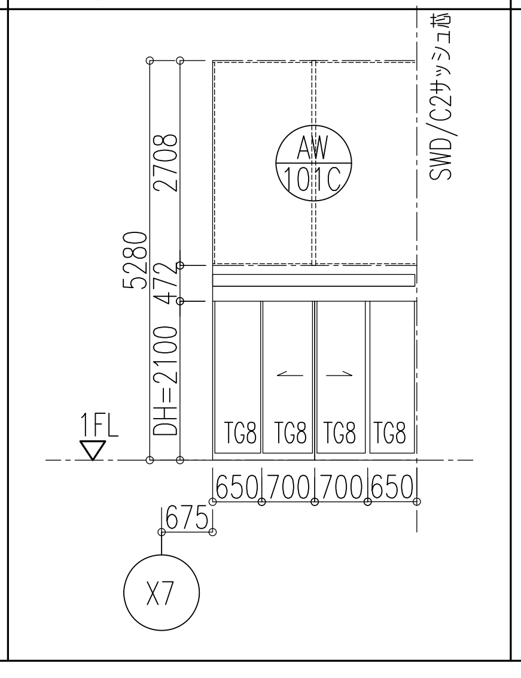
SWD B1



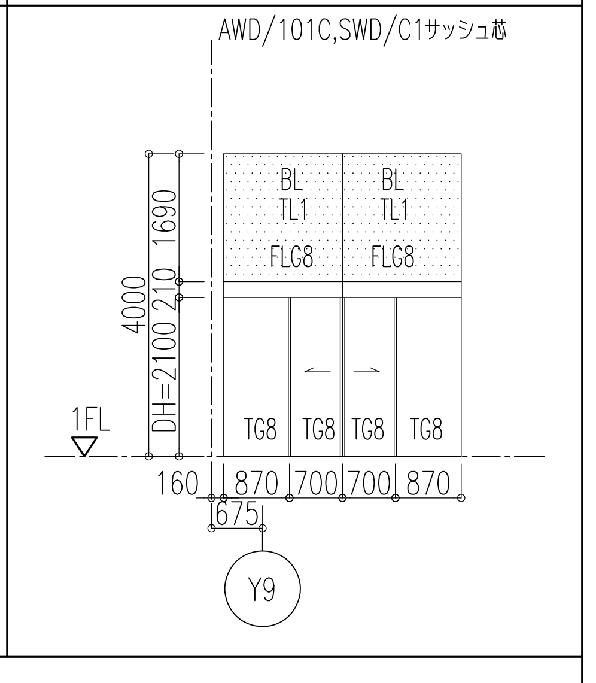
SWD B2



SWD C1



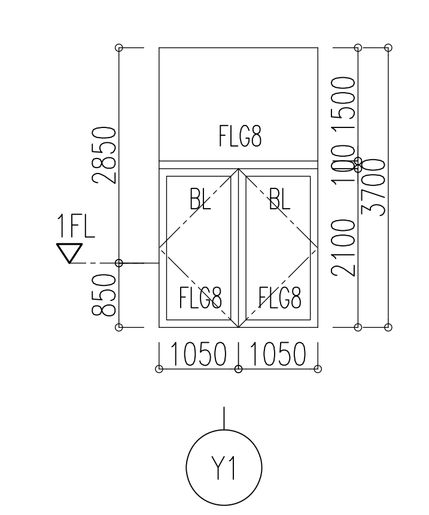
SWD C2



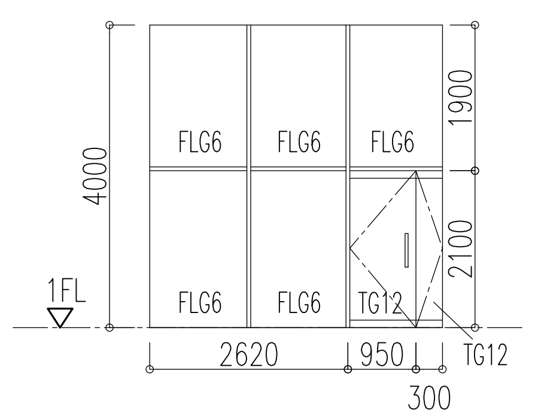
※表面処理記号 ： Flm：飛散防止フィルム／ TL1：調光ガラス1／ TL2：調光ガラス2／ BL：ブラスト加工

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	建具姿図1	1:100	A94Delev01	A−94

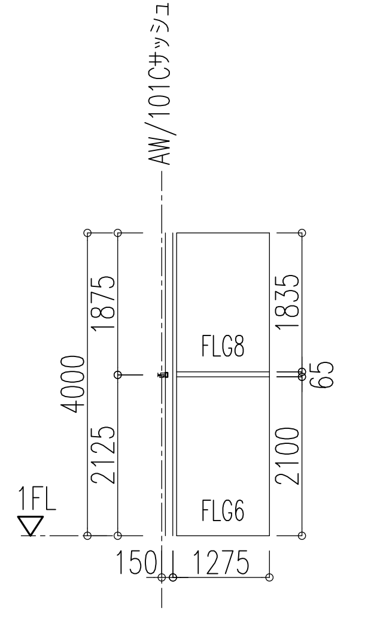
SW 103



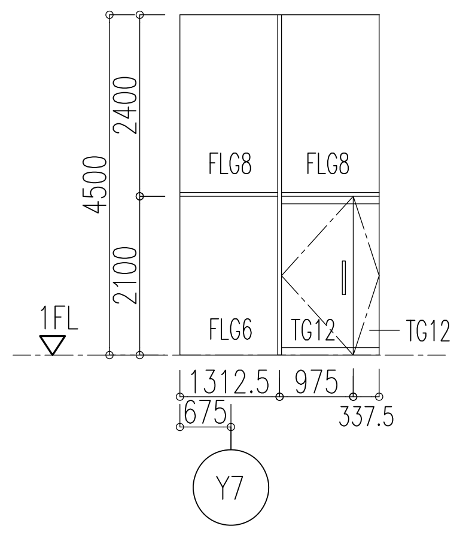
SW 104



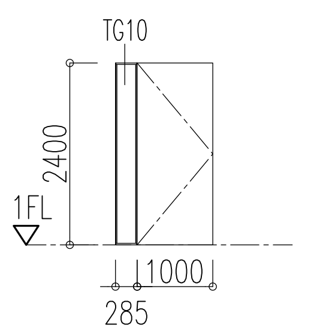
SW 105



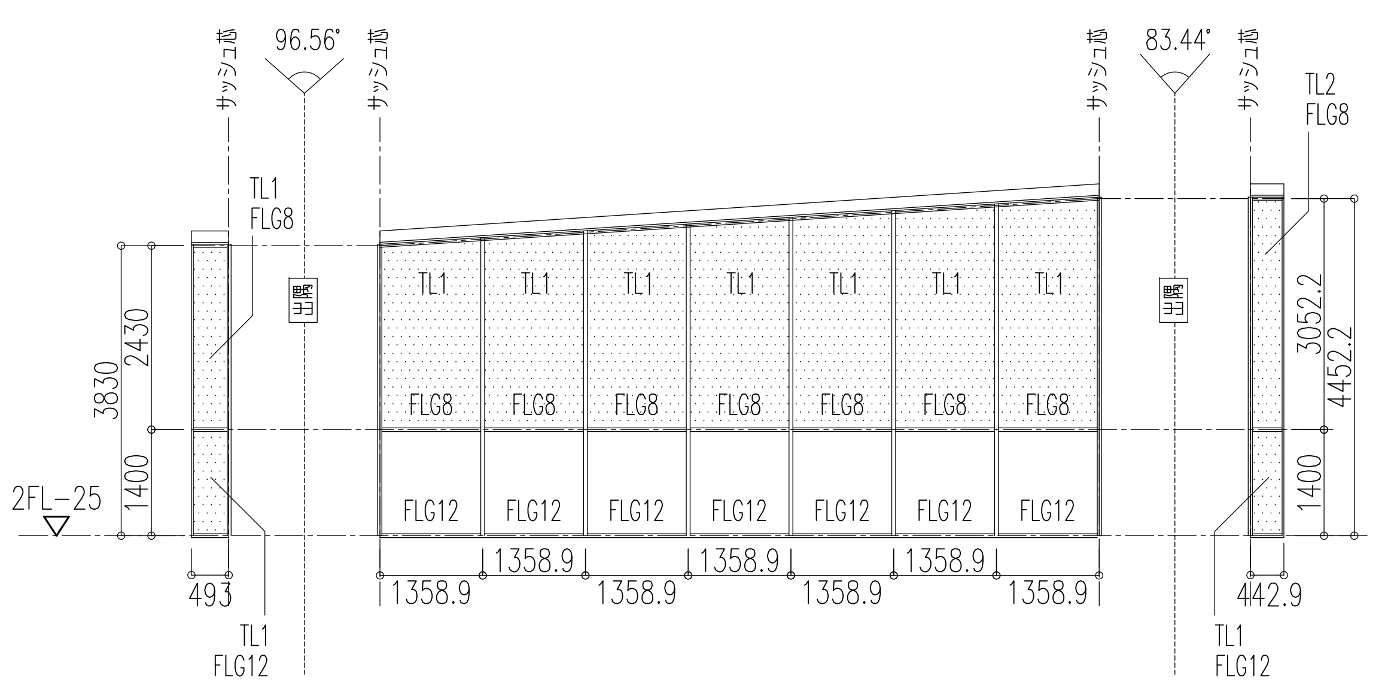
SW 106



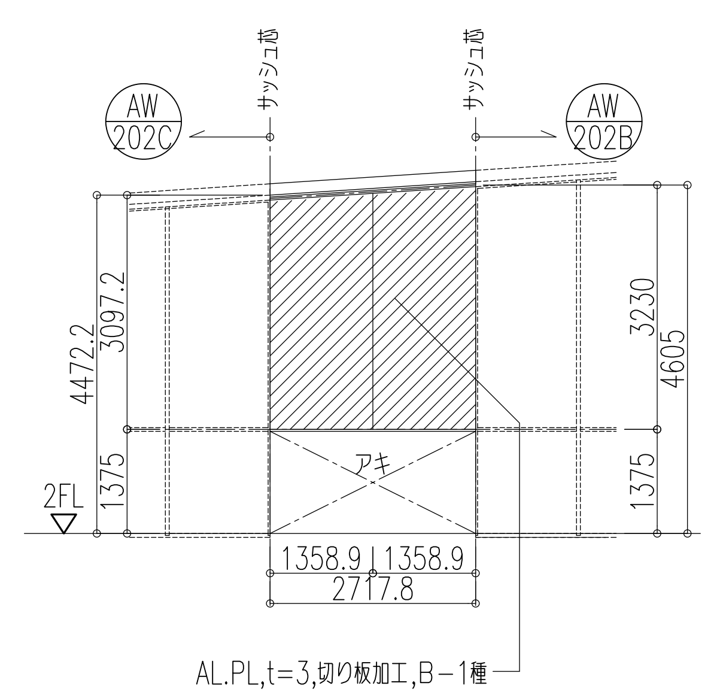
LD 102



AW 202C

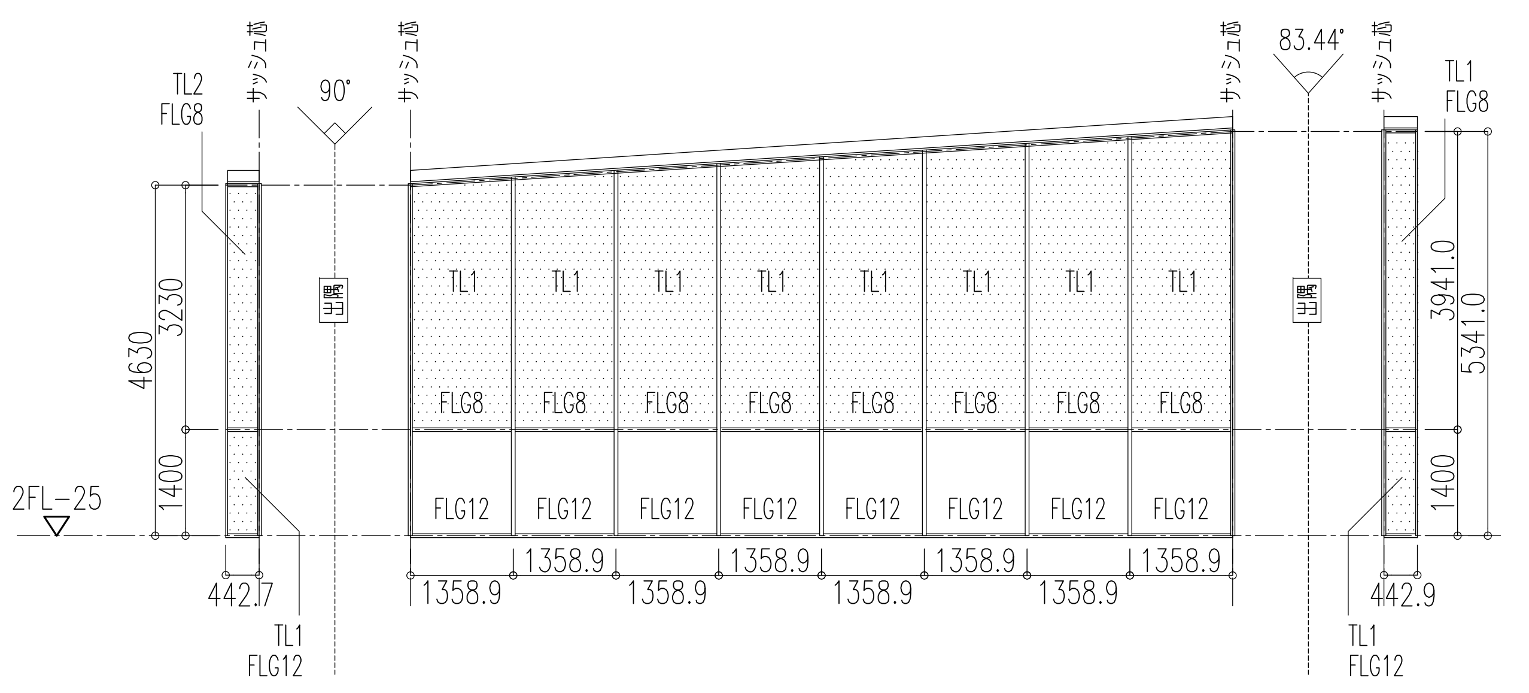


AP 01

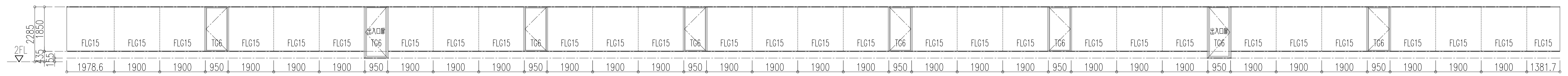


AL.PL.t=3,切り板加工,B-1種

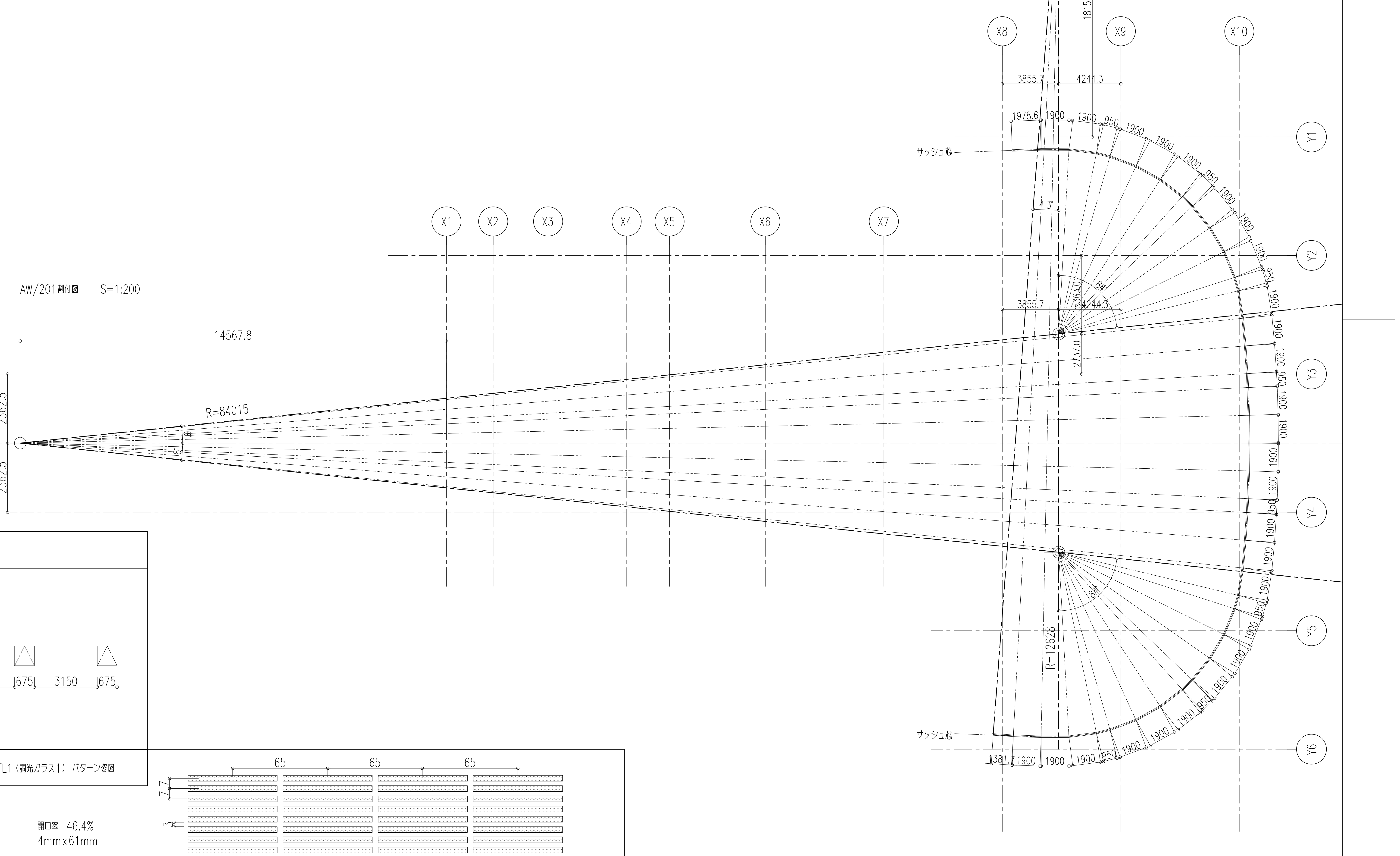
AW 202B



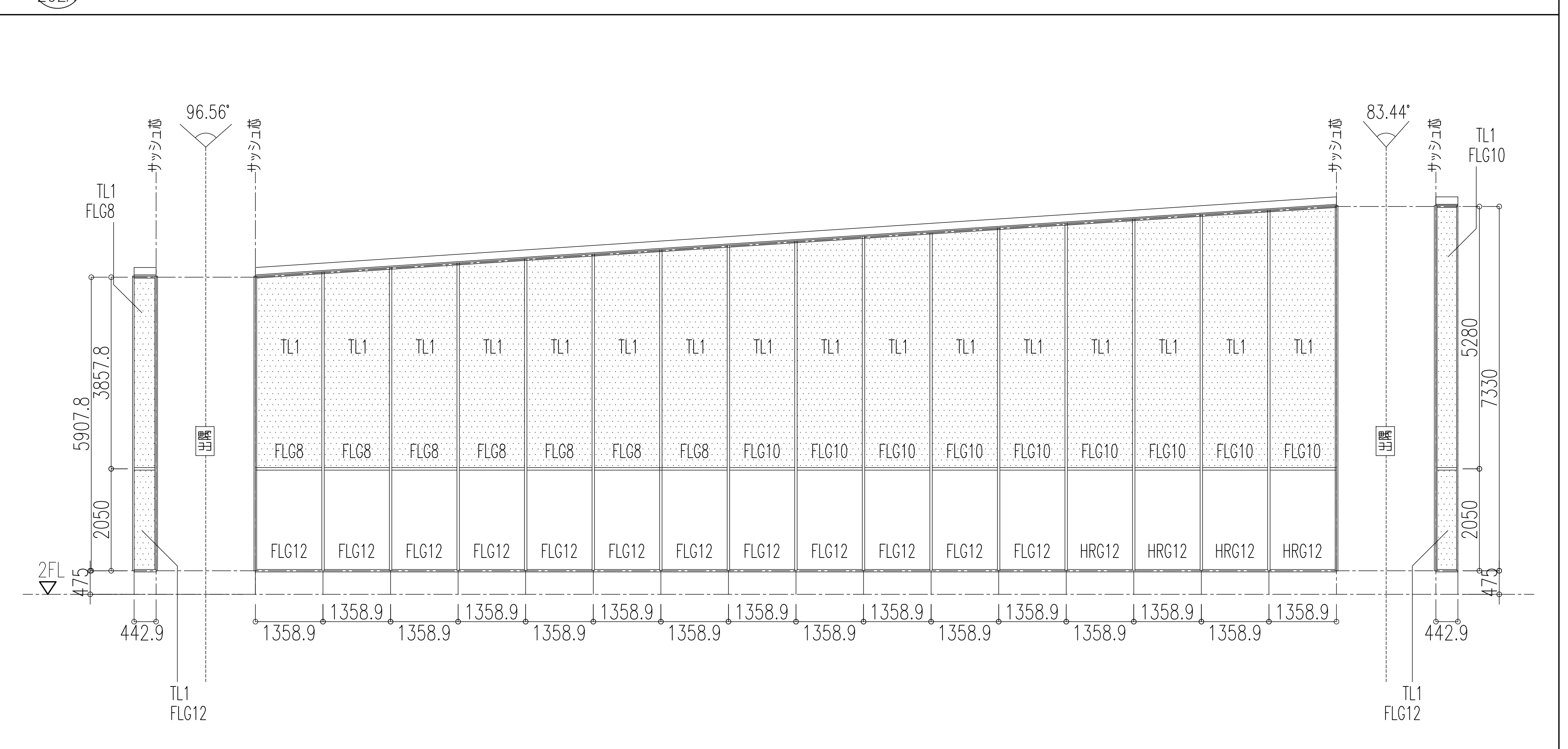
AW 201



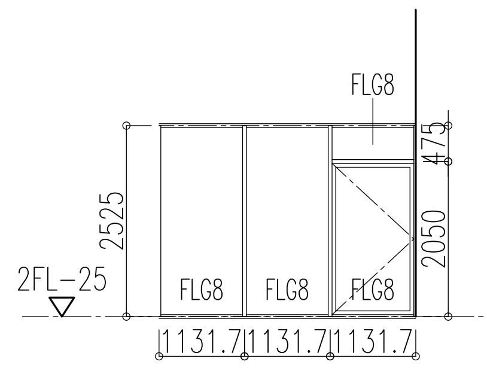
AW/201割付図　S=1:200



AW 202A

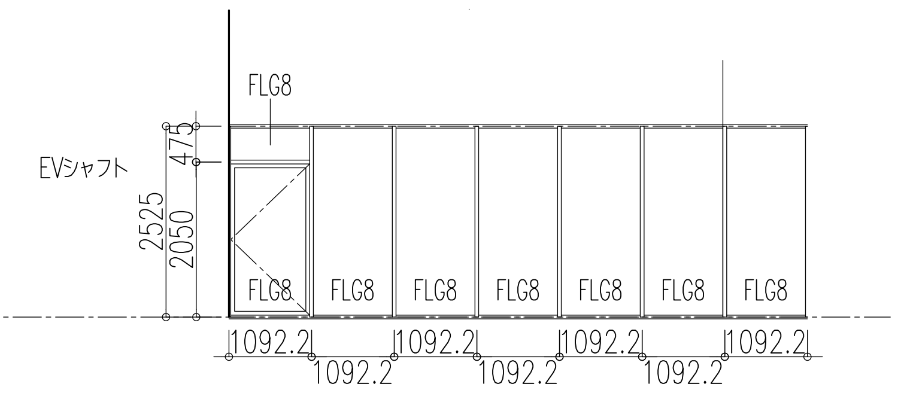


AW 203B

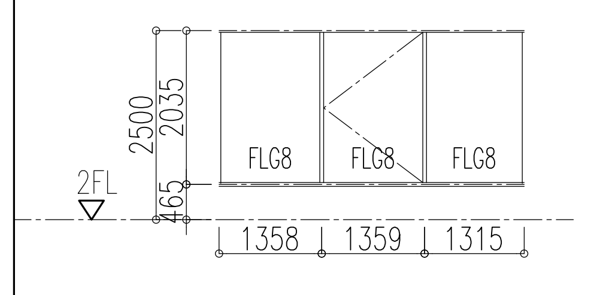


AW 203A

EVシャフト

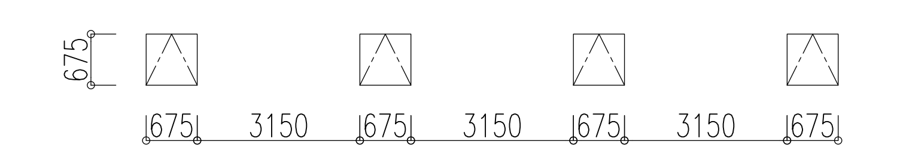


AW 204



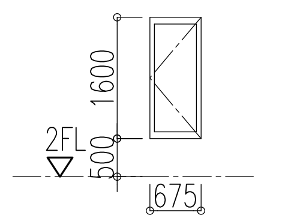
AW 205

全てFLG5

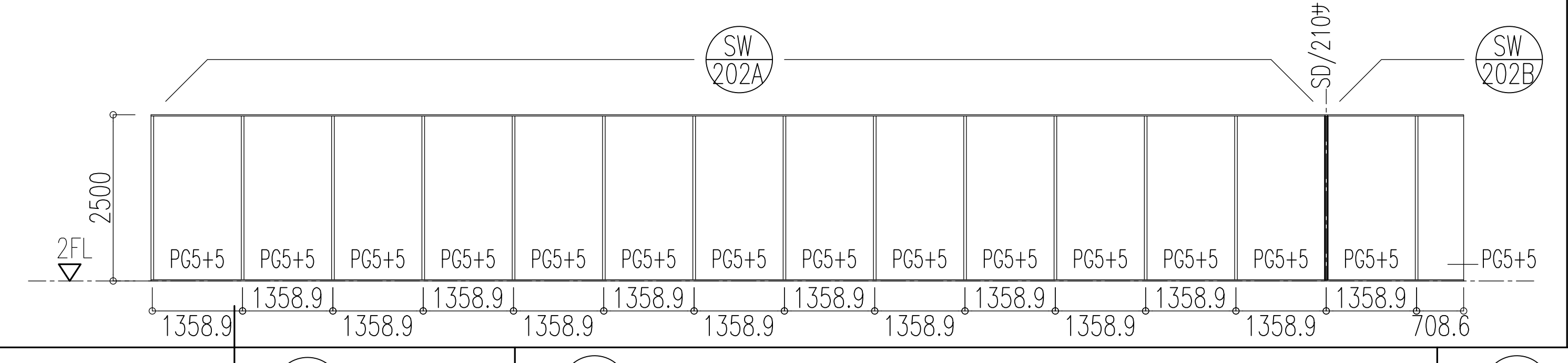


AW 206

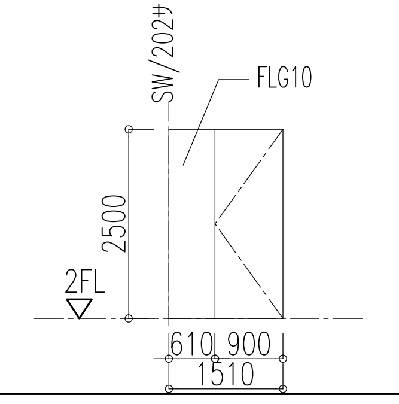
FLG6



SW 202A　SW 202B

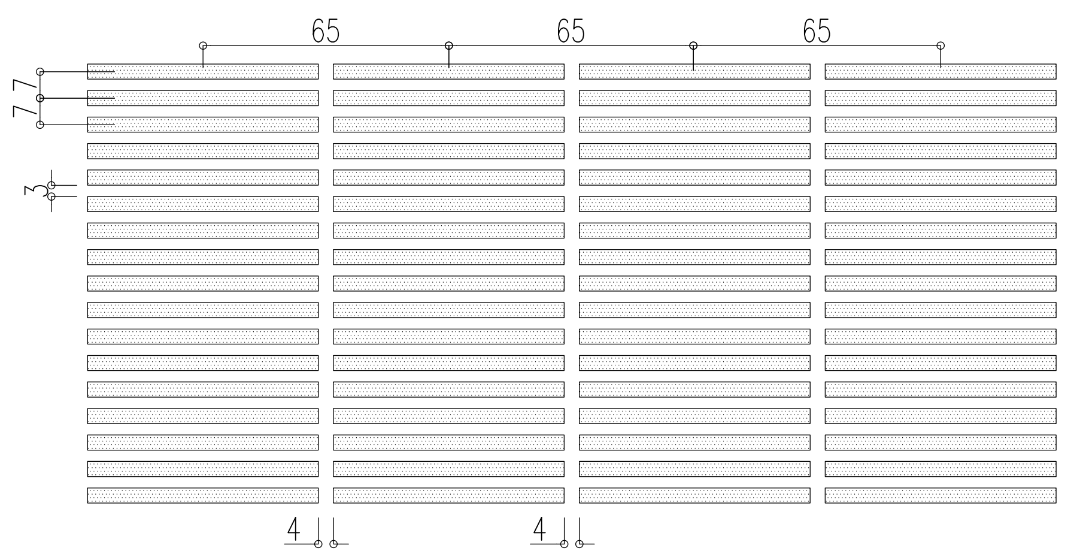


SD 210

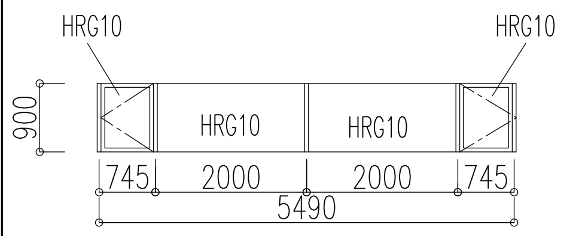


TL1（調光ガラス1）パターン姿図

開口率 46.4%
4mm×61mm
@7　@65

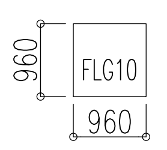


AW 207

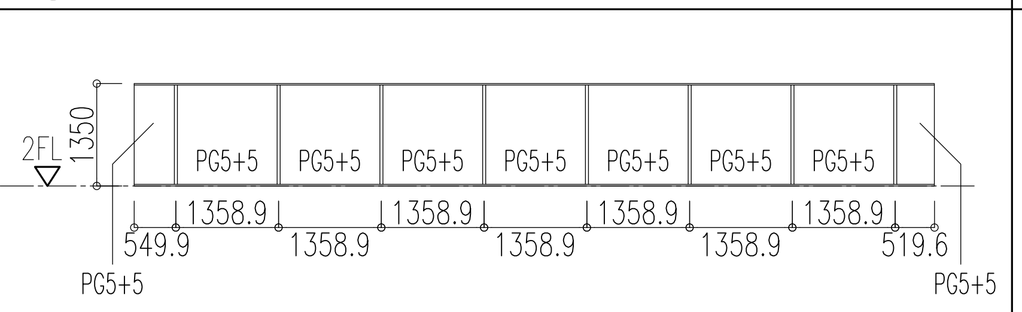


※見付25、見込100の木額縁があるものとする（木工事）

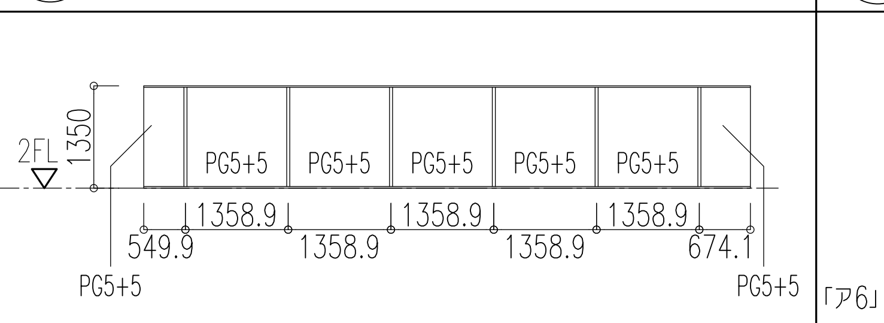
SW 201



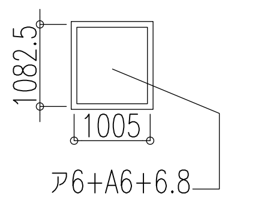
SW 203



SW 204

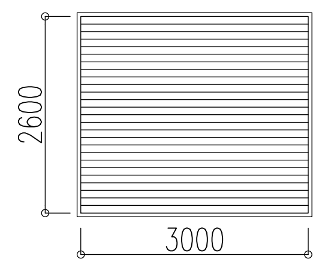


ATP R01

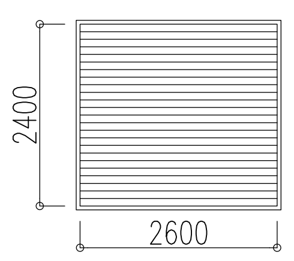


「ア6」＝乳白アクリル板t=6を示す

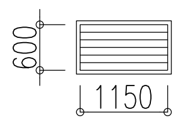
AG B01



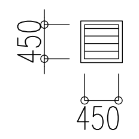
AG 201



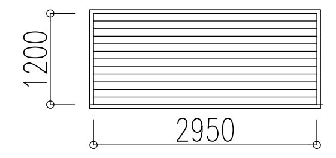
AG 202



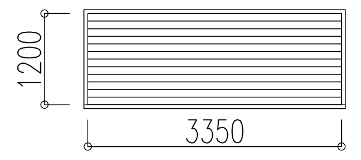
AG 203



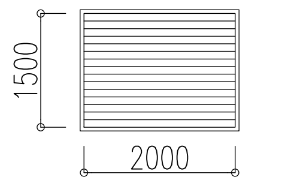
AG R01A　AG R02A



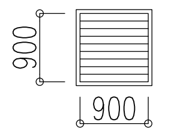
AG R01B　AG R02B



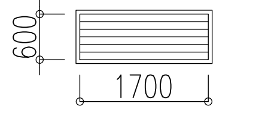
AG R03



AG R04

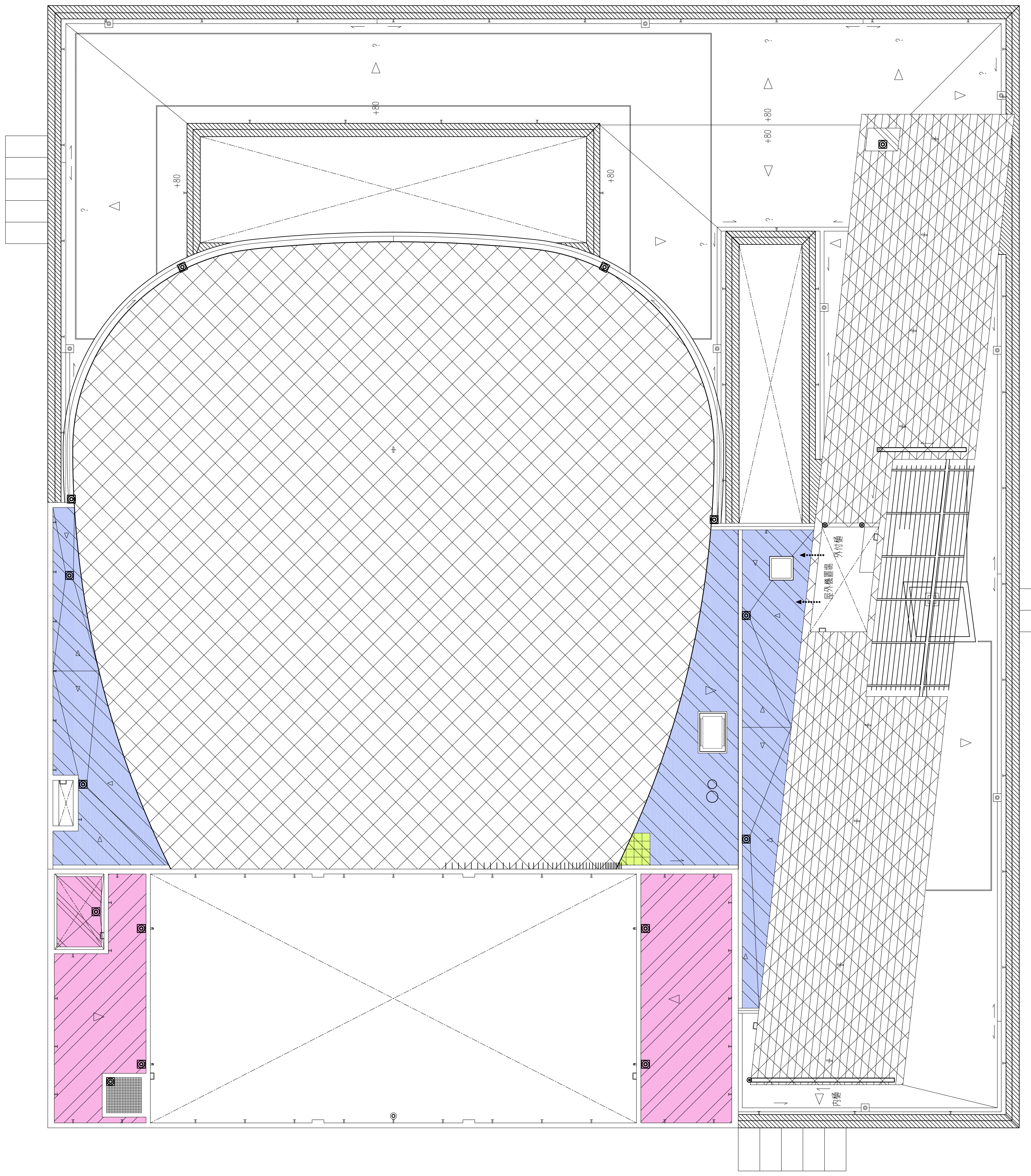


AG R05

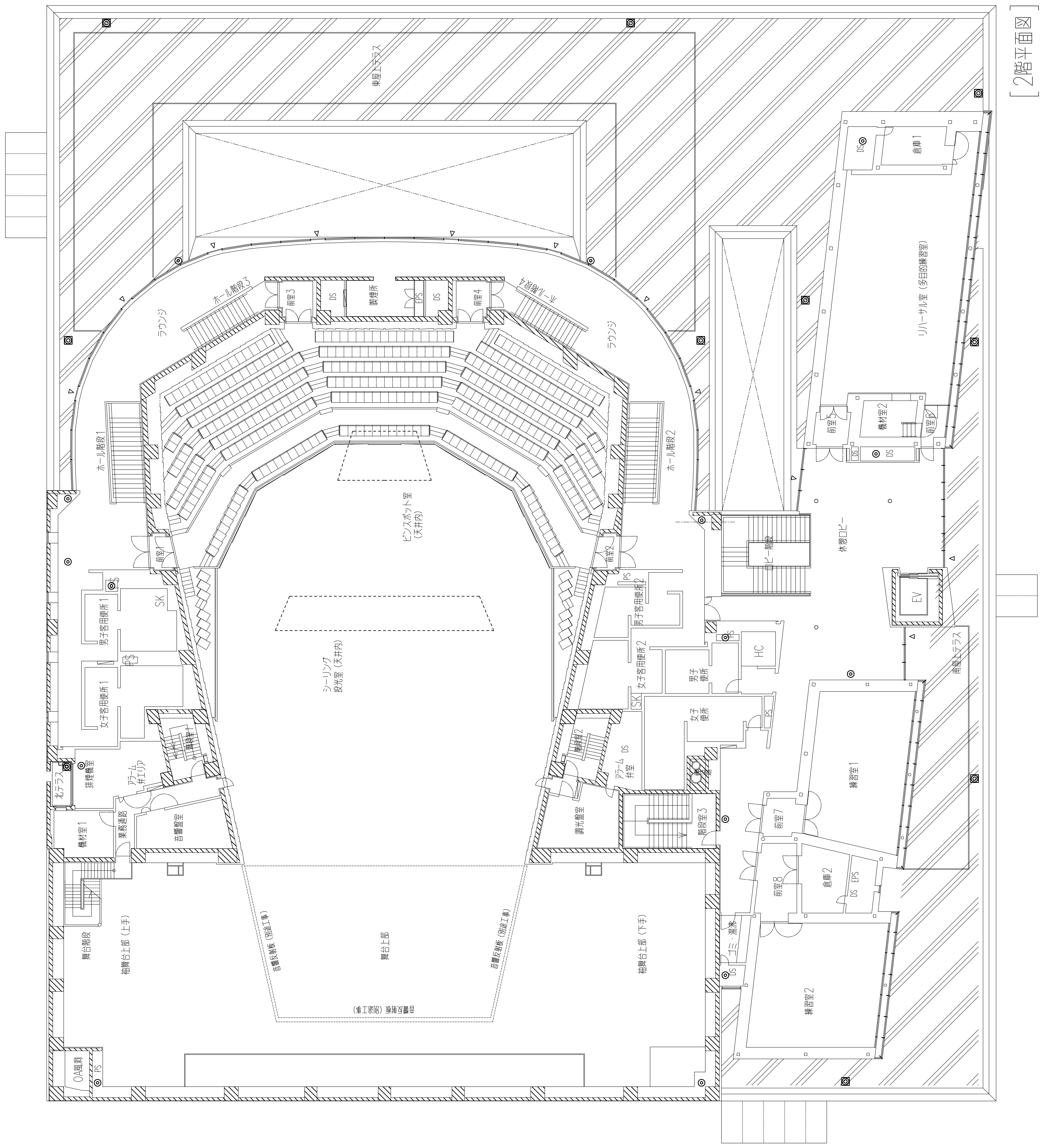


※表面処理記号 ： Flm：飛散防止フィルム／ TL1：調光ガラス1／ TL2：調光ガラス2／ BL：ブラスト加工

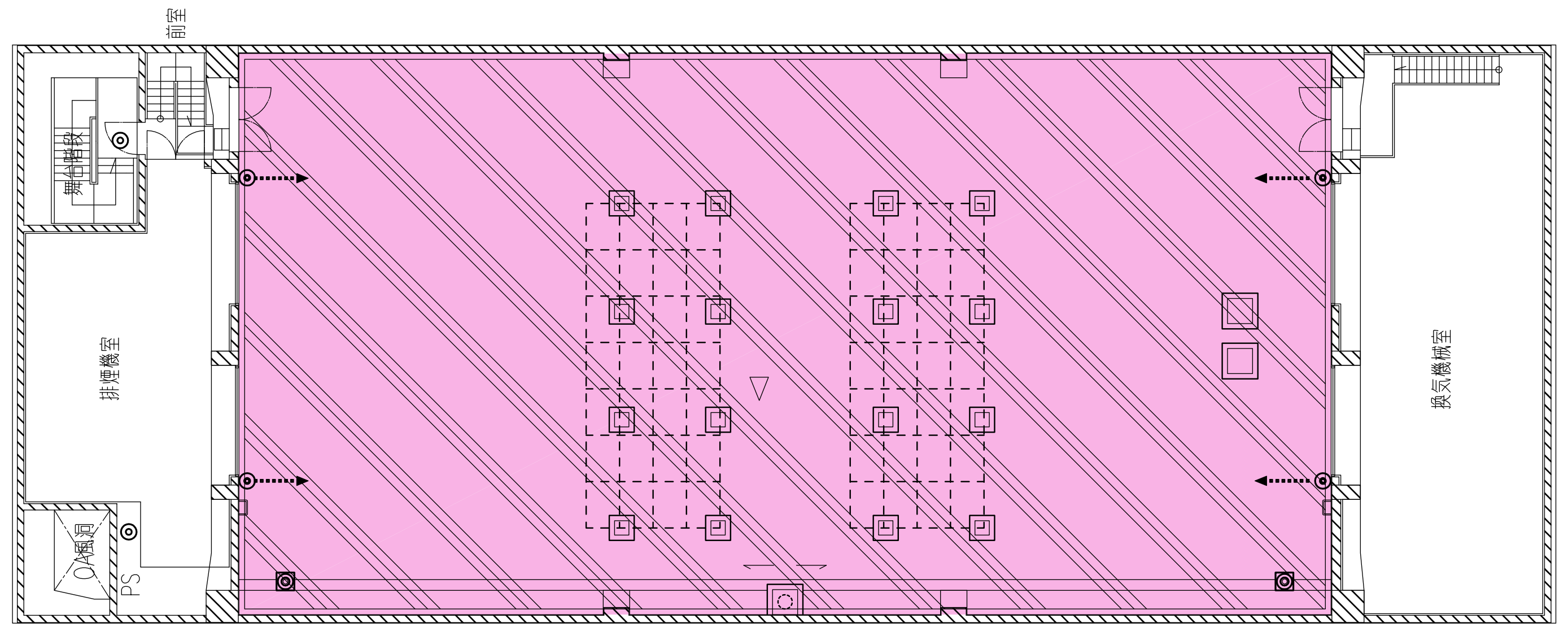
工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	建具姿図2	1:100	A95Delev02	A-95



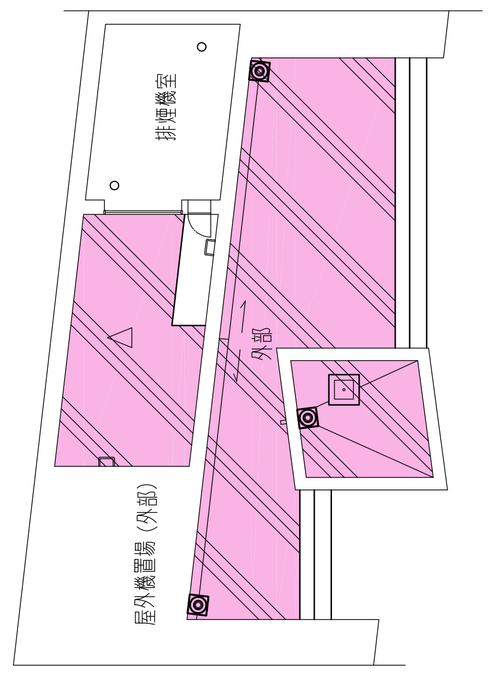
［R階平面図］



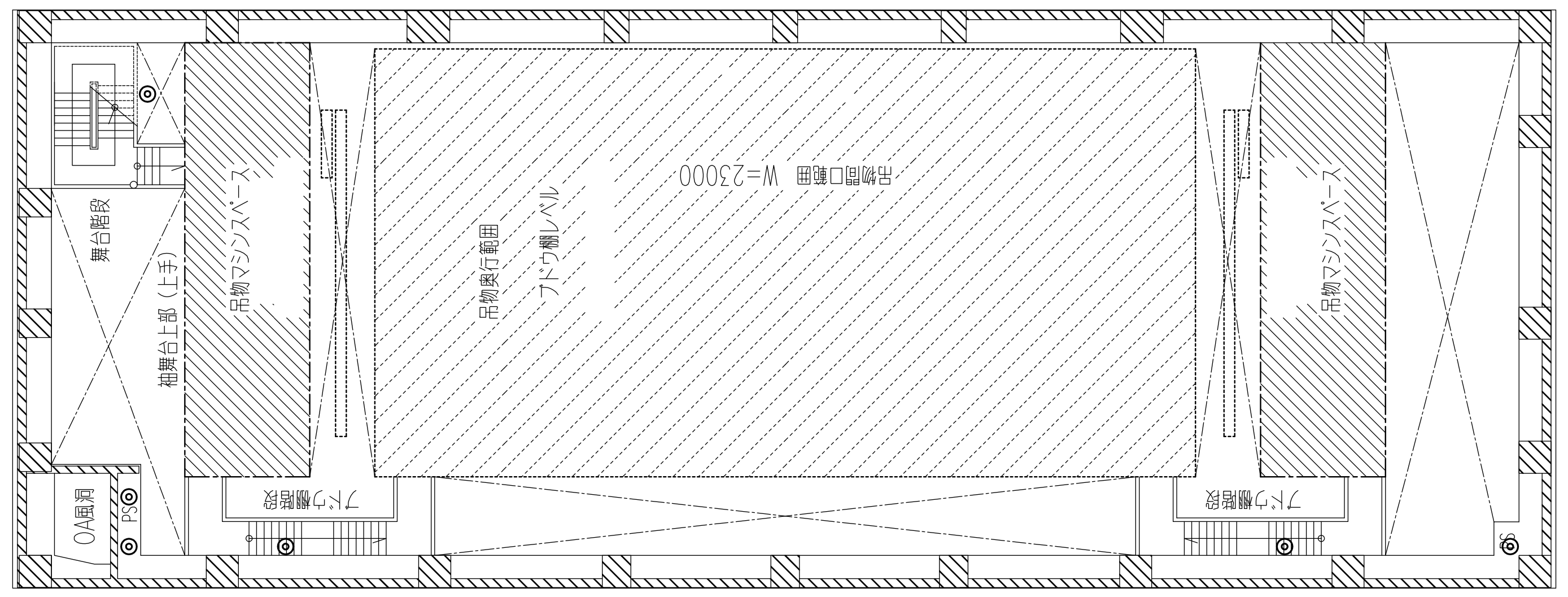
［2階平面図］



［搭屋階平面図］



［2階休憩ロビー直上部屋根伏図］



［マシンスペース、ブドウ棚レベル平面図］

雨水排水凡例

◎ ：排水用ステンレス製落とし口
（特記無き限り縦抜きとする）

縦抜き	150φ：	1カ所
	125φ：	1カ所
	100φ：	7カ所
	75φ：	15カ所
	50φ：	3カ所
横抜き	100φ：	2カ所
	75φ：	4カ所

◎ ：竪管（径は図示による）
エルボ管
横引管
掃除口
スリーブ

1) 特記なき配管は天井内配管とする。
2) アスファルト防水端末部の防水押えは、SUS製またはAL製の押え金物による
3) 押えコンクリート（シンダー面）における伸縮目地は、@3000とする
4) 外構 雨水桝に接続するまでを本工事とする。（その先は外構工事）

［一般階］
（上階からの）管径＋集水面積
（下階への）管径＋集水面積

［直上階にRDがある場合］
直上階RDの径＋集水面積

［最上階］
RDの径＋集水面積

防水範囲凡例

- ▨ ER2a 陸屋根（アスファルト防水）押えコン仕上げ
- ▨ ER2b 陸屋根（アスファルト防水）磁器質タイル仕上げ
- ▨ ER2c 陸屋根（アスファルト防水）硬化砕石仕上げ
- ▨ ER1 ステンレス屋根（竪ハゼ溶接工法）
- ▨ ER3 改質アスファルト露出防水

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	雨水排水・防水範囲図2　2階・屋根	1:200	A99Wpf-2FRF	A-99

外構

図面番号	図面名称	縮尺
L-00	中表紙【外構】	-
L-10	舗装計画平面図	1/300
L-25	駐車場平面詳細図	1/100
L-32	舗装詳細図２	1/10,1/5

凡例

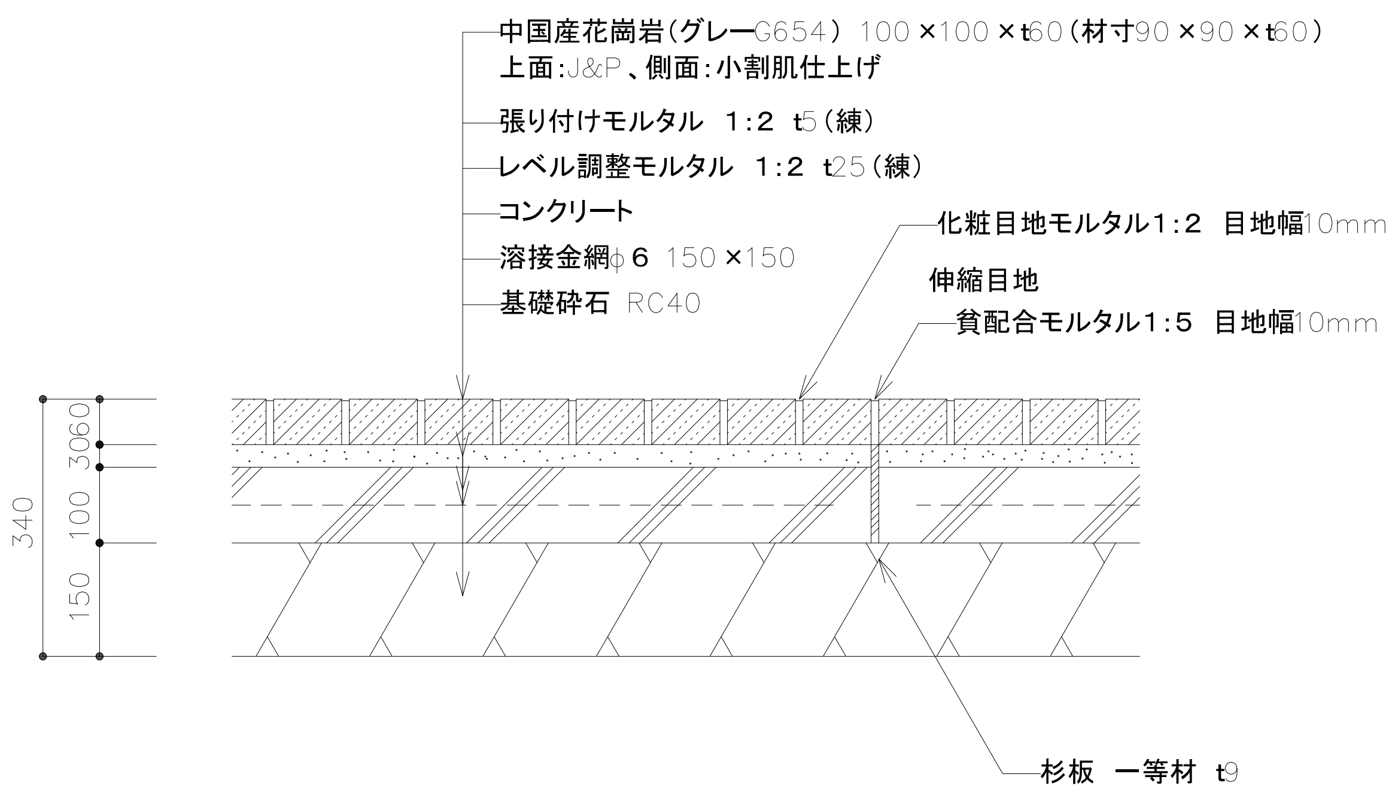
記号	名称	形状、仕様など	数量
⊞	擬石ブロック舗装-1	600×600×60 のみ切りPC平板 研磨仕上げ 特注色-1 SUSドット	244.1(m2)
⊞	擬石ブロック舗装-2	300×300×80 のみ切りPC平板 研磨仕上げ 特注色-1	31.7(m2)
▨	擬石ブロック舗装-3	300×300×80 のみ切りPC平板 研磨仕上げ 特注色-2	262.5(m2)
▥	インターロッキング舗装-1	100×100×60 インターロッキング 特注色	770.35(m2)
▤	インターロッキング舗装-2	100×100×60 インターロッキング 指定色	ー
▧	小舗石舗装-1	90×90×90 中国産花崗岩グレー バーナー仕上げ	47.0(m2)
▥	小舗石舗装-2	90×90×90 中国産花崗岩グレー バーナー仕上げ	69.6(m2)
▒	アスファルト舗装-1	開粒度アスファルト 自家用車程度対応	1895.9(m2)
▒	アスファルト舗装-2	開粒度アスファルト 大型車対応	1883.0(m2)
□□□□□□□	飛び石舗装	コンクリート平板 600×300×60	ー
図示	コンクリート洗出し舗装	コンクリート 天然石砕石洗い出し	ー
▤	コンクリートブロック舗装	コンクリートブロック100×100×600	ー
図示	ベンチ足下舗装	コンクリート 天然石砕石洗い出し	ー
図示	砕石犬走り	花崗岩砕石 φ100〜150	156.5(m)

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）	株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	舗装計画平面図	1:300	L10hosou	L-10

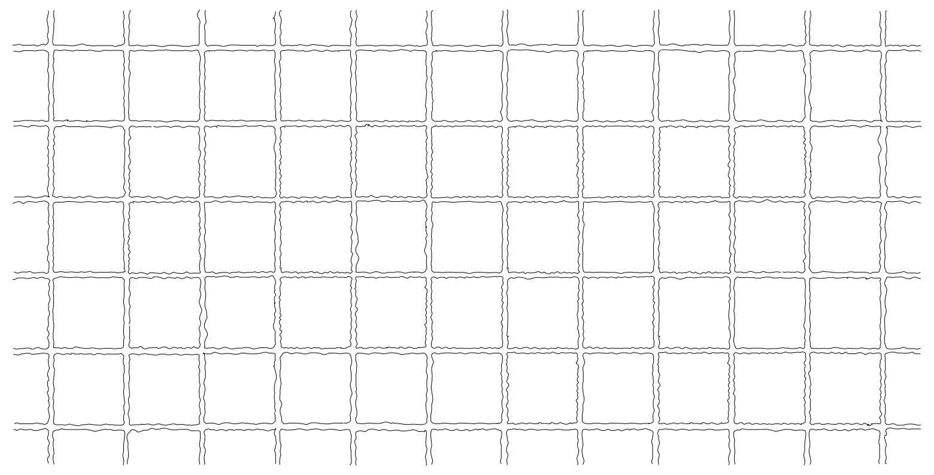
工事名称				年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士 建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	駐車場平面詳細図	1:100	L25parkingshousai	L-25

1 小舗石舗装−1 S=1:10

断面図


中国産花崗岩（グレーG654） 100×100×t60（材寸90×90×t60）
上面:J&P、側面:小割肌仕上げ
張り付けモルタル 1:2 t5（練）
レベル調整モルタル 1:2 t25（練）
コンクリート
溶接金網φ6 150×150
基礎砕石 RC40
化粧目地モルタル1:2 目地幅10mm
伸縮目地
貧配合モルタル1:5 目地幅10mm
杉板 一等材 t9
340
3060
100
150

平面図

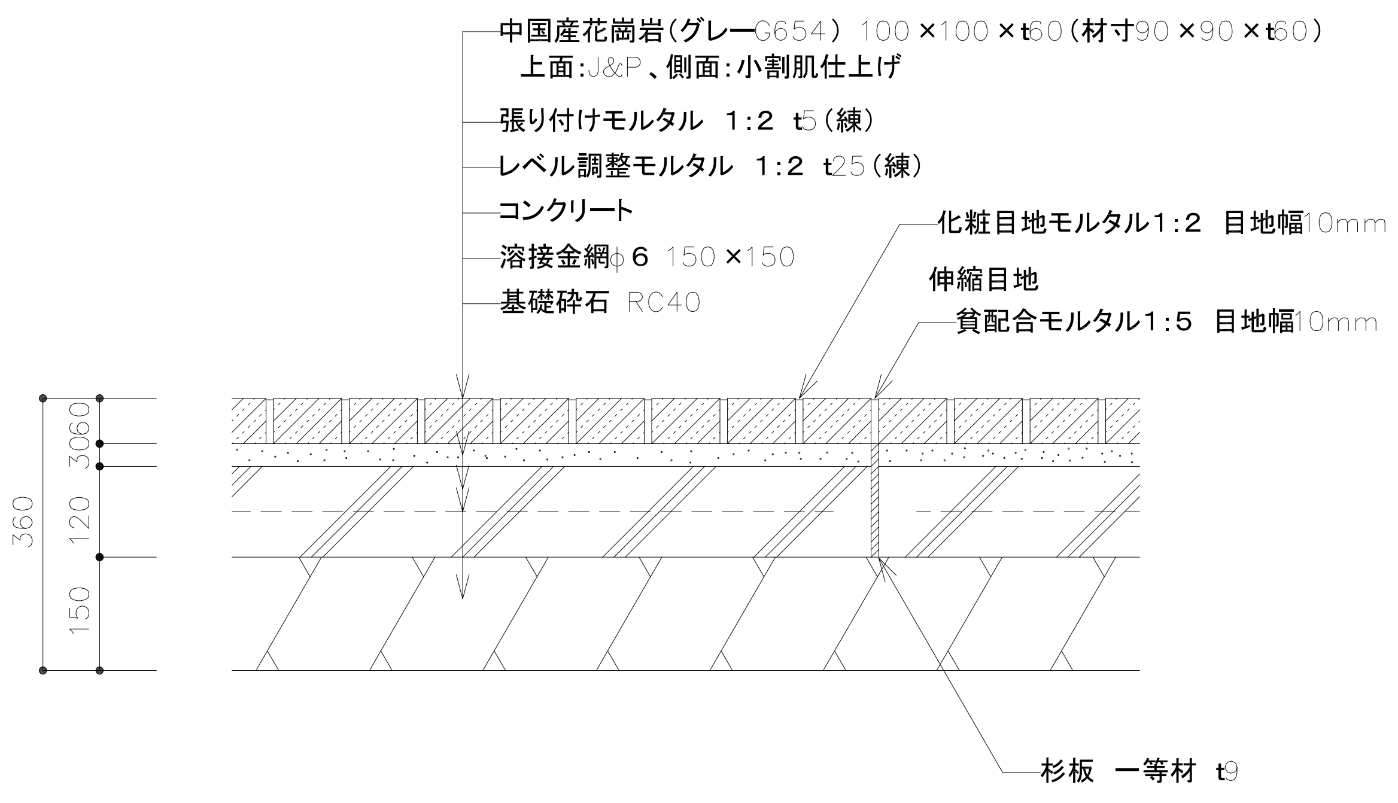


目地はイモ目地とする。

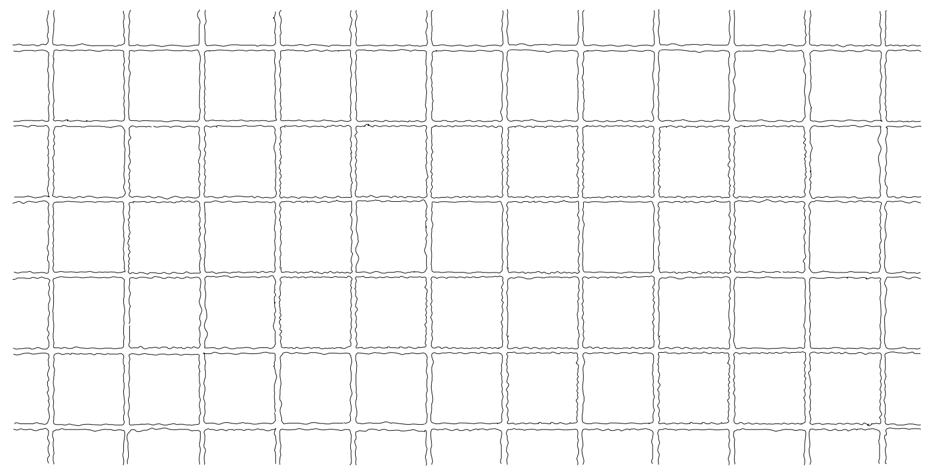
1）石種、表面仕上げ等についてサンプルを提出のうえ現場監督員の承認を得ること
※2）コンクリート路盤と表層の伸縮目地位置を一致させること
※3） 目地はイモ目地とする。

2 小舗石舗装−2 S=1:10

断面図


中国産花崗岩（グレーG654） 100×100×t60（材寸90×90×t60）
上面:J&P、側面:小割肌仕上げ
張り付けモルタル 1:2 t5（練）
レベル調整モルタル 1:2 t25（練）
コンクリート
溶接金網φ6 150×150
基礎砕石 RC40
化粧目地モルタル1:2 目地幅10mm
伸縮目地
貧配合モルタル1:5 目地幅10mm
杉板 一等材 t9
360
3060
120
150

平面図

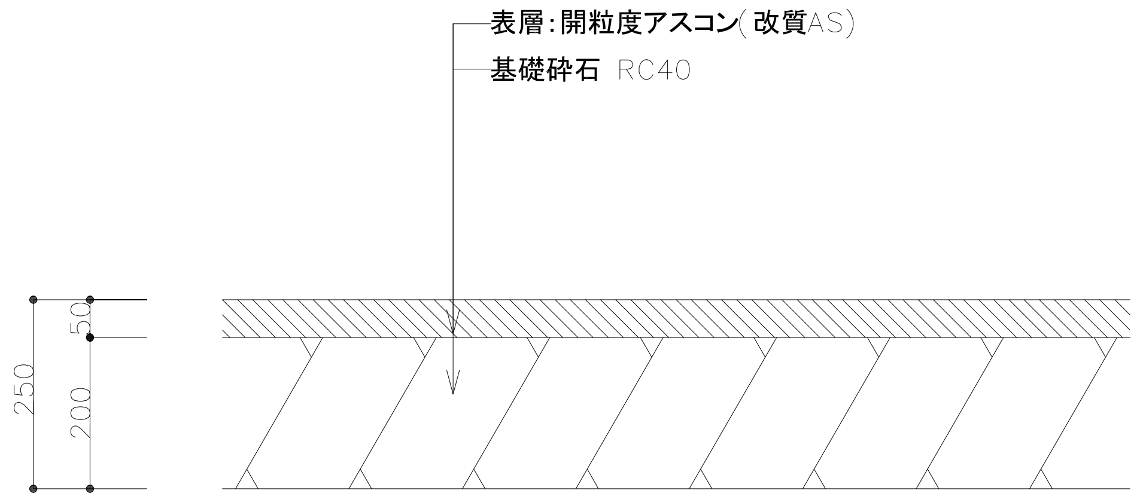


目地はイモ目地とする。

1）石種、表面仕上げ等についてサンプルを提出のうえ現場監督員の承認を得ること
※2）コンクリート路盤と表層の伸縮目地位置を一致させること
※3）目地はイモ目地とする

3 アスファルト舗装−1（駐車場対応） S=1:10

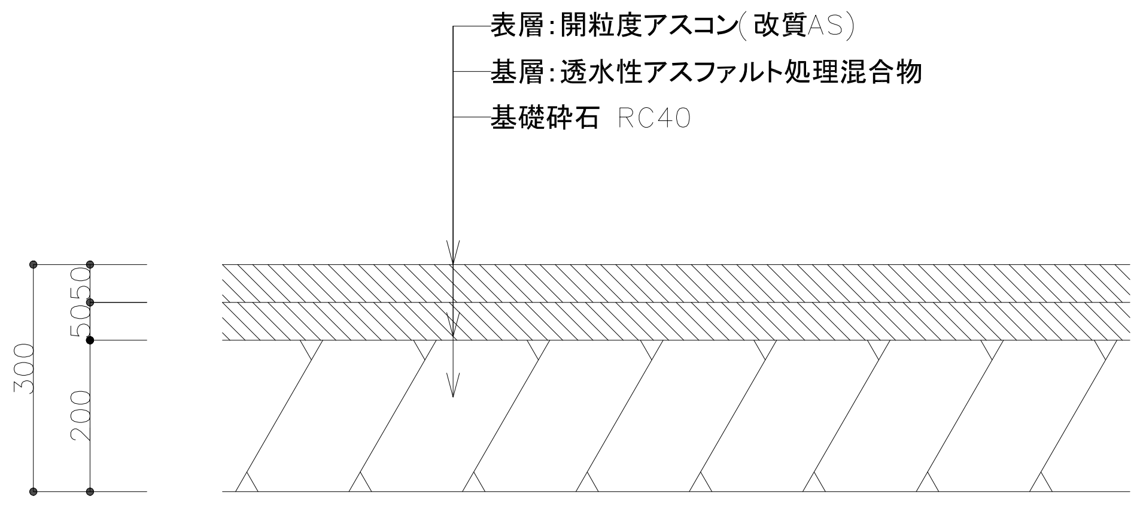
断面図



2×2m 程度の試験施工を行い現場監督員の承認を得ること

4 アスファルト舗装−2（大型車対応） S=1:10

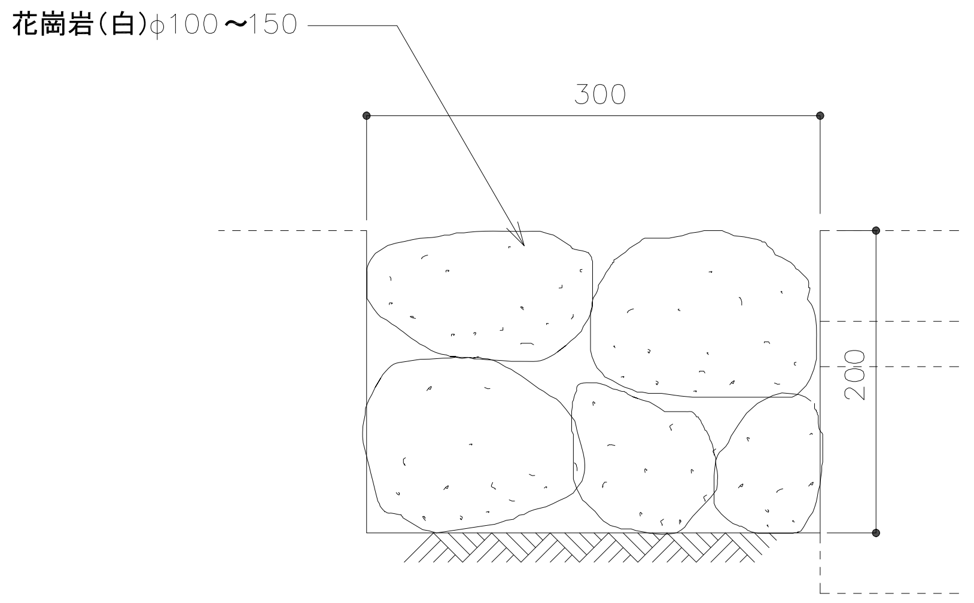
断面図


表層:開粒度アスコン（改質AS）
基層:透水性アスファルト処理混合物
基礎砕石 RC40
300
5050
200

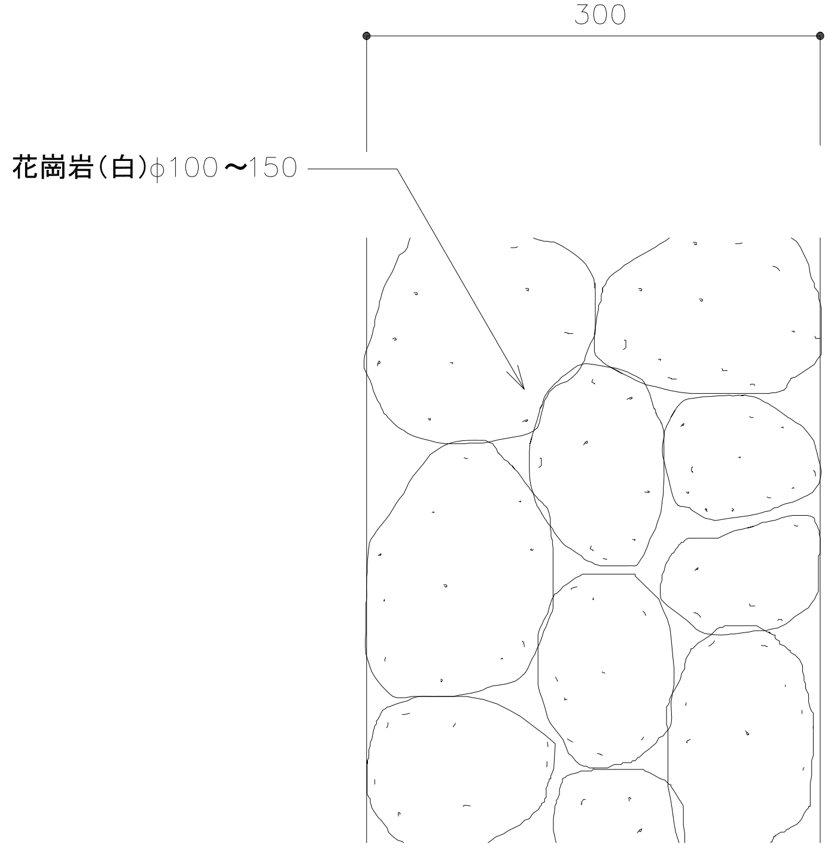
2×2m 程度の試験施工を行い現場監督員の承認を得ること

4 砕石犬走り S=1:5

断面図



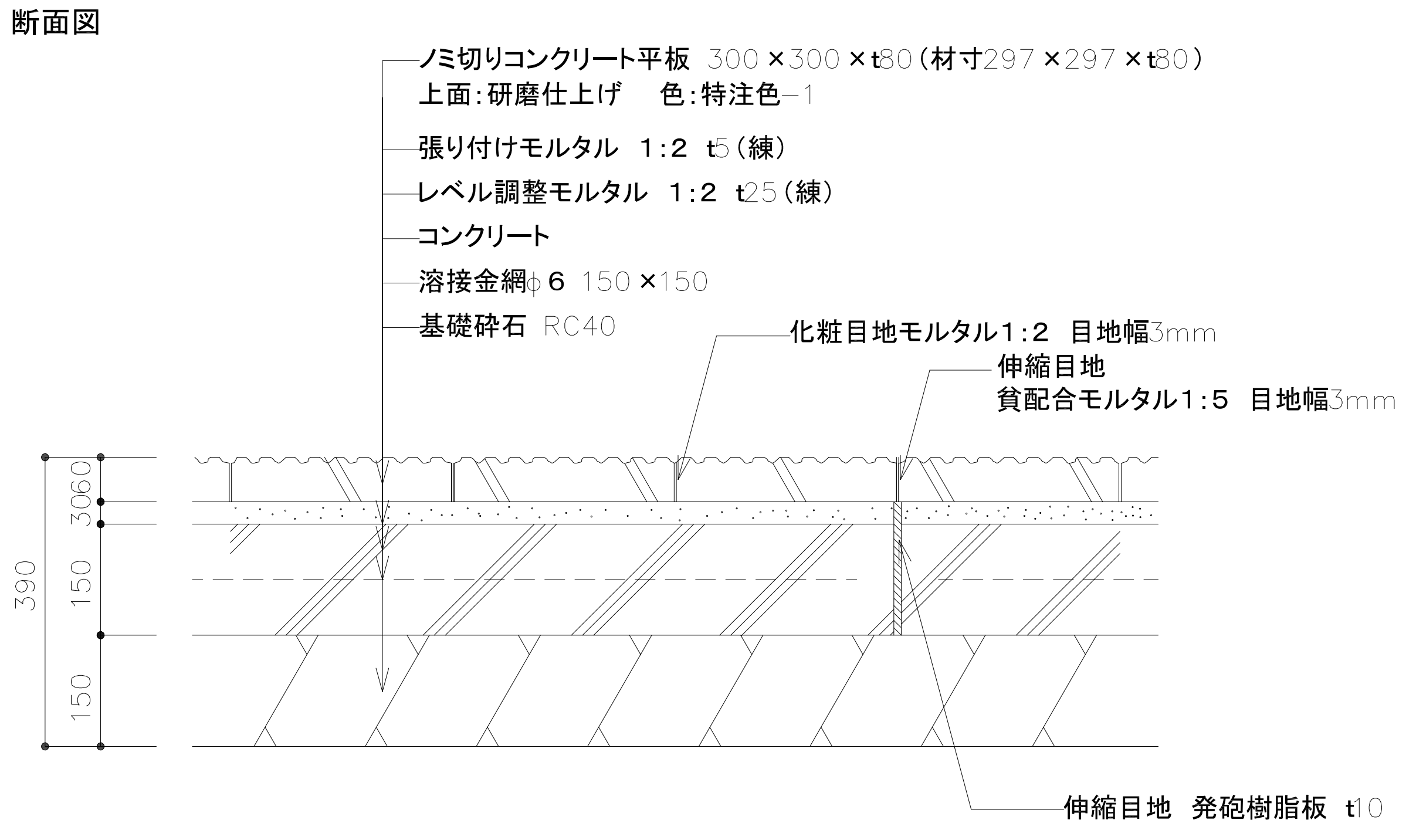
平面図



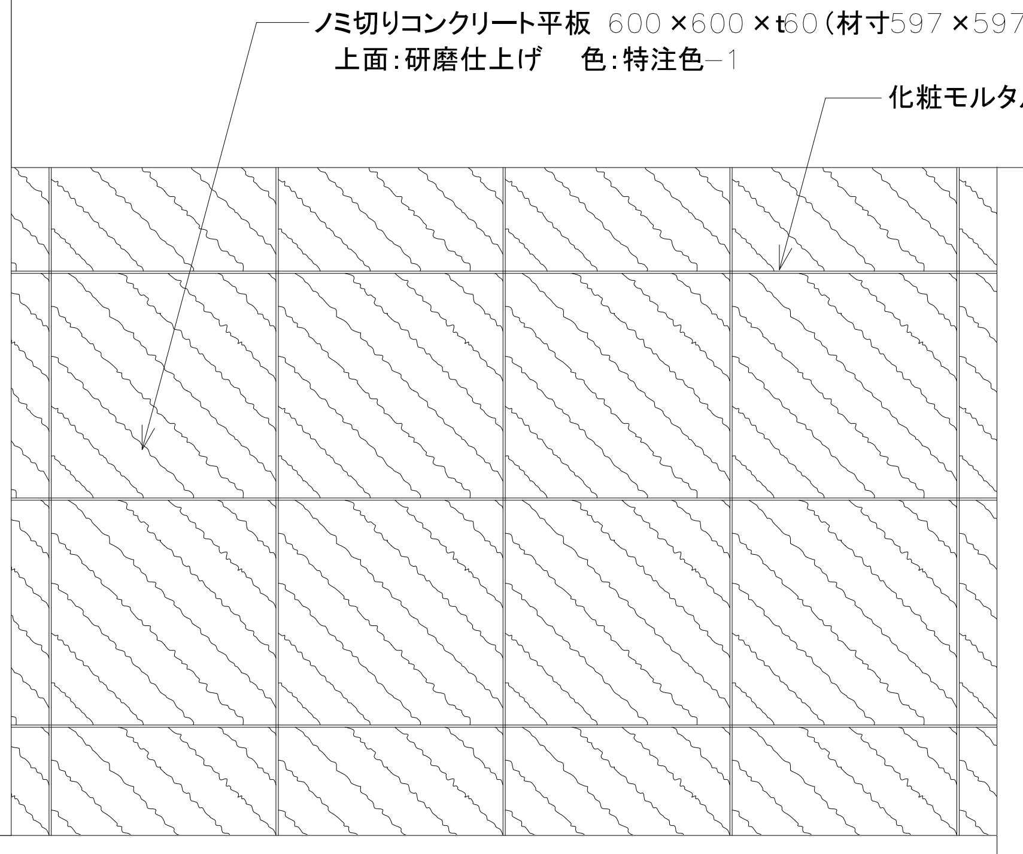
サンプルを提出のうえ現場監督員の承認を得ること。

5 擬石ブロック舗装−2 S=1:10

断面図


ノミ切りコンクリート平板 300×300×t80（材寸297×297×t80）
上面:研磨仕上げ 色:特注色−1
張り付けモルタル 1:2 t5（練）
レベル調整モルタル 1:2 t25（練）
コンクリート
溶接金網φ6 150×150
基礎砕石 RC40
化粧目地モルタル1:2 目地幅3mm
伸縮目地
貧配合モルタル1:5 目地幅3mm
伸縮目地 発砲樹脂板 t10
390
3060
150
150

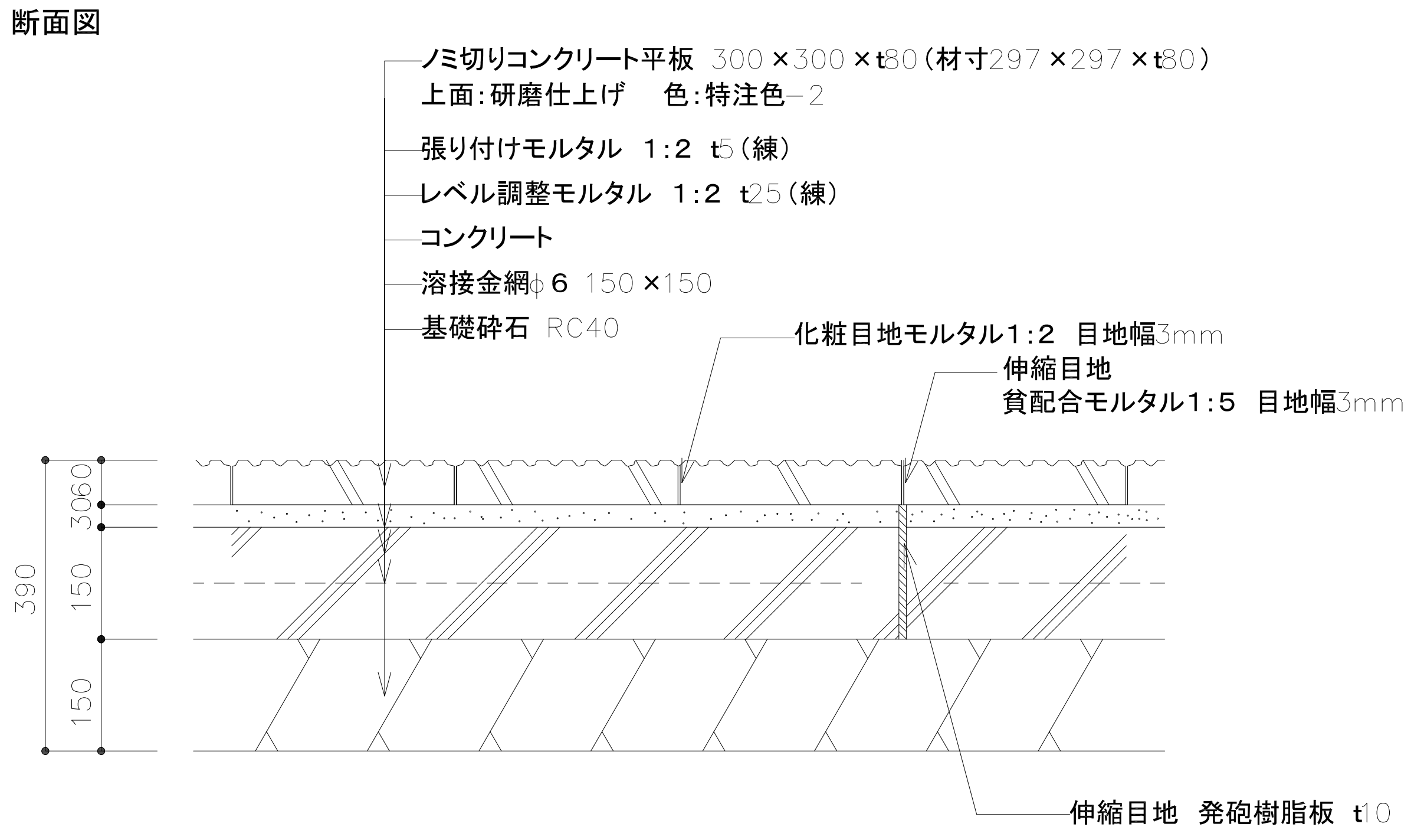
平面図


ノミ切りコンクリート平板 600×600×t60（材寸597×597×t60）
上面:研磨仕上げ 色:特注色−1
化粧モルタル 目地幅3mm

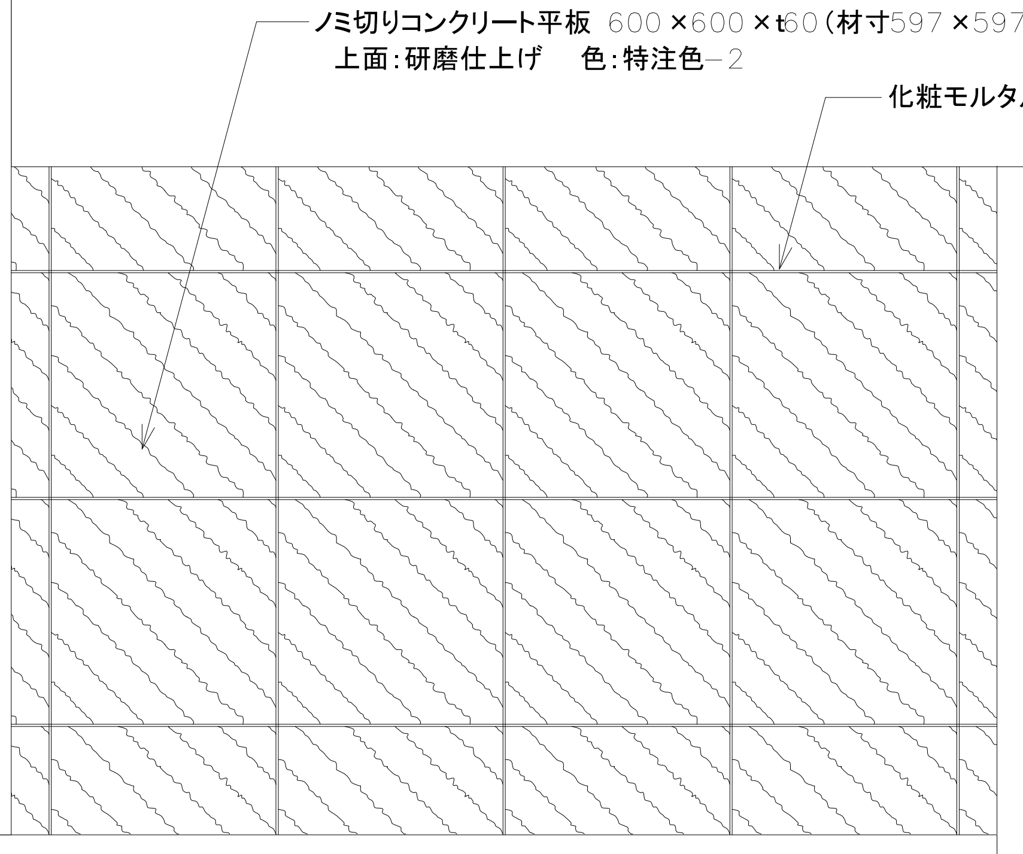
1）色彩、表面仕上げ等についてサンプルを提出のうえ現場監督員の承認を得ること。
※2）コンクリート路盤と表層の伸縮目地位置を一致させること。

6 擬石ブロック舗装−3 S=1:10

断面図


ノミ切りコンクリート平板 300×300×t80（材寸297×297×t80）
上面:研磨仕上げ 色:特注色−2
張り付けモルタル 1:2 t5（練）
レベル調整モルタル 1:2 t25（練）
コンクリート
溶接金網φ6 150×150
基礎砕石 RC40
化粧目地モルタル1:2 目地幅3mm
伸縮目地
貧配合モルタル1:5 目地幅3mm
伸縮目地 発砲樹脂板 t10
390
3060
150
150

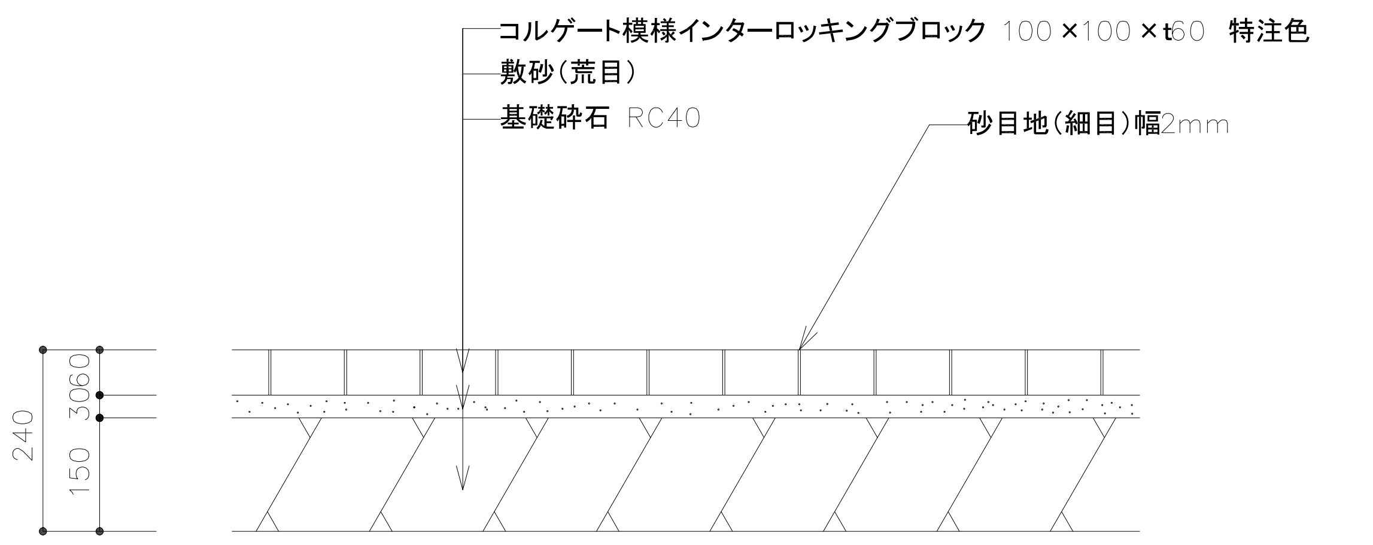
平面図


ノミ切りコンクリート平板 600×600×t60（材寸597×597×t60）
上面:研磨仕上げ 色:特注色−2
化粧モルタル 目地幅3mm

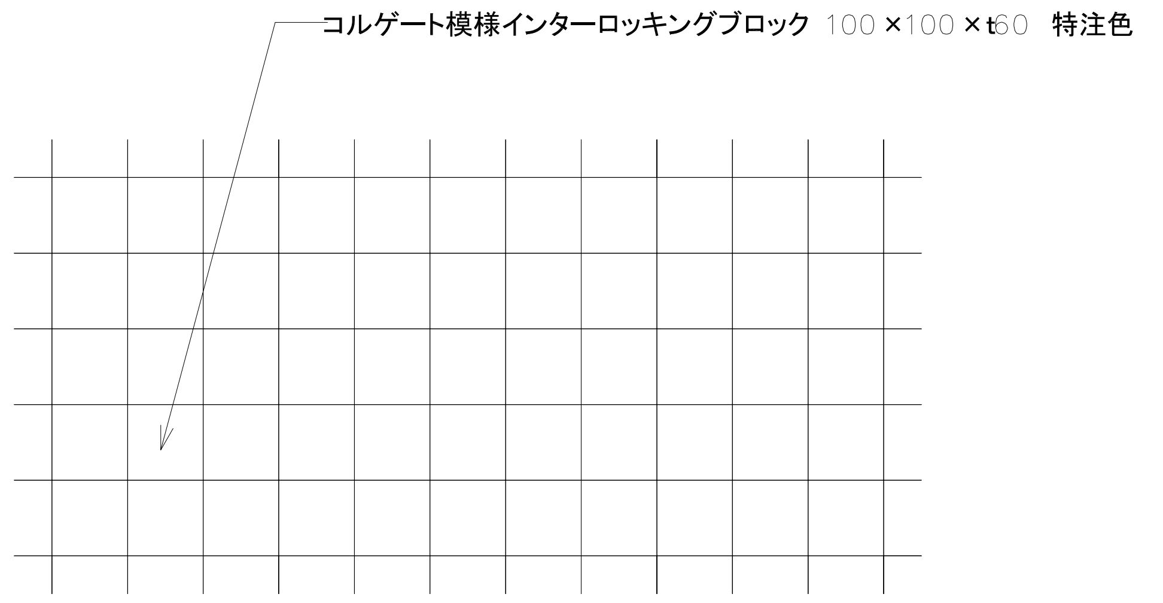
1）色彩、表面仕上げ等についてサンプルを提出のうえ現場監督員の承認を得ること。
※2）コンクリート路盤と表層の伸縮目地位置を一致させること。

7 インターロッキング舗装−1 S=1:10

断面図



平面図

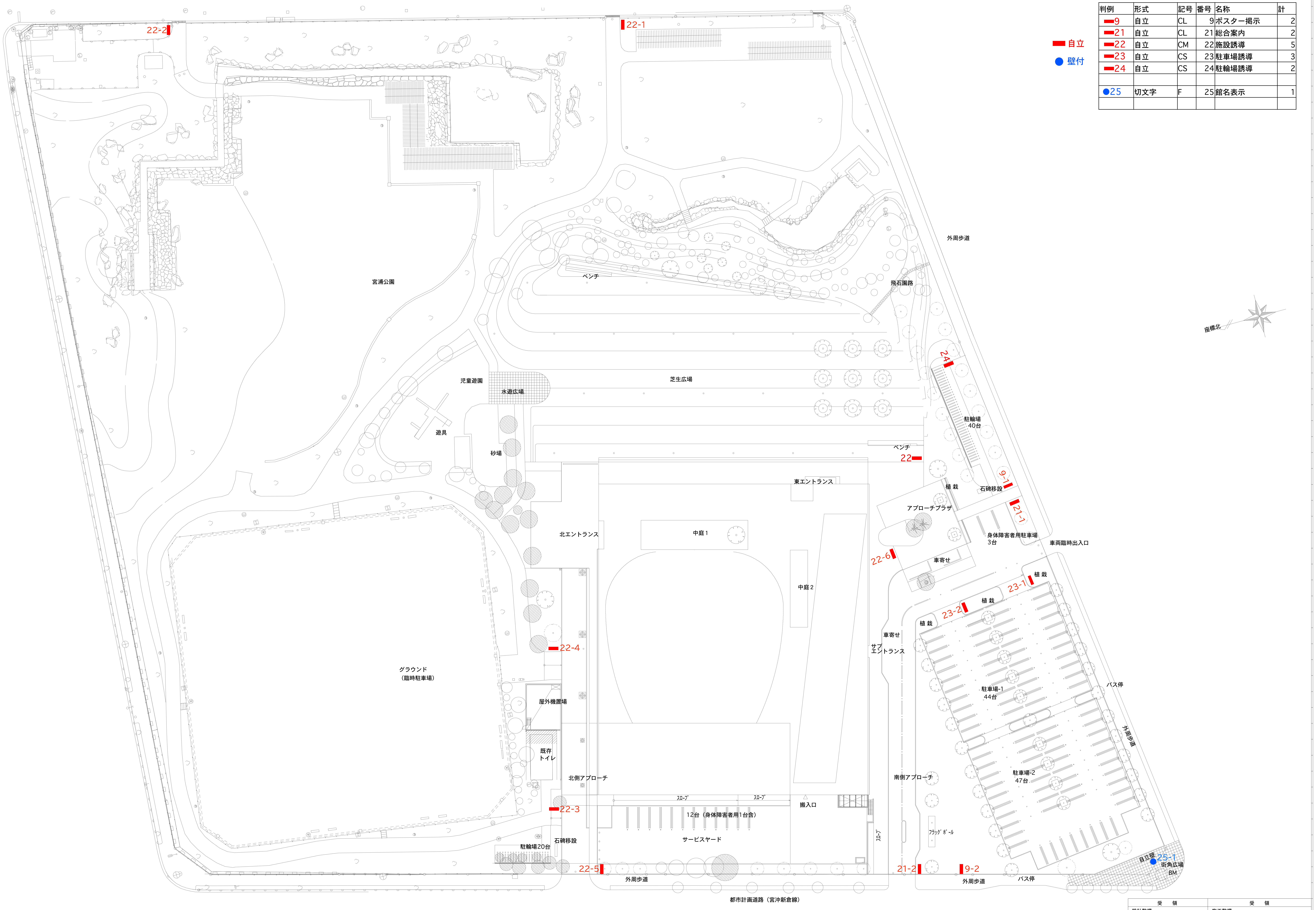


1）色彩、表面仕上げ等についてサンプルを提出のうえ現場監督員の承認を得ること
※2）目地はイモ目地とする

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）	株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	舗装詳細図2	1:10 1:5	L32hosou_detail02	L−32

サイン

図面番号	図面名称	縮尺
SN-00	中表紙【サイン】	-
SN-12	P-L1サインプロット図	1/800
SN-13	CL-9_1南駐輪場西出入口（東側）	1/10
SN-14	CL-9_2公園南西出入口	1/10
SN-15	CL-21_1西駐輪場西出入口（西側）	1/10
SN-16	CL-21_2公園南西出入口（北側）	1/10
SN-17	CM-22_1（南側）,22_2（北側）公園東出入口	1/10
SN-18	CM-22_3北駐輪場出入口	1/10
SN-19	CM-22_4グラウンド出入口	1/10
SN-20	CM-22_5公園北西出入口	1/10
SN-21	CM-22_6アプローチプラザ（北側）	1/10
SN-22	CM-22_7アプローチプラザ（東側）	1/10
SN-23	CS-23_1(南側),23__2（北側）駐車場出入口	1/10
SN-24	CS-24_1南駐輪場東出入口	1/10
SN-30	F-25_1 街角広場	1/10
SN-41	外構平面図グラフィック	-



判例	形式	記号	番号	名称	計
▬9	自立	CL	9	ポスター掲示	2
▬21	自立	CL	21	総合案内	2
▬22	自立	CM	22	施設誘導	5
▬23	自立	CS	23	駐車場誘導	3
▬24	自立	CS	24	駐輪場誘導	2
●25	切文字	F	25	館名表示	1

※グラフィックのレイアウト、色は別添グラフィック施工図による
※各種略号は次に示す

PVDF:フッ素樹脂焼付塗装
A-BE:アクリル樹脂焼付塗装
PHL:パーマネントヘアライン仕上
BB:ビーズブラスト仕上
CS:カッティングシート
GWS:特殊透過濃灰色シート

Notes　20060831 竣工図訂正

Introductory notes

The description in this parenthesis ( ) shows a size or standard of the object and in this parenthesis [ ] shows the kind of paint or surface finish.

ST =Steel SS400-JIS, STK400-JIS
AL =Aluminum A6N01S-T5 -JIS
SUS =Stainless steel SUS304
H.T.B =High tensile strength bolt F-10T-JIS
A.B =Anchor bolt connection
D.N =Using double nuts connection
TG =Tempered clear glass
FG =Float clear glass
PG =Profilit glass-channel shaped
CR =Chloroprene rubber
H =Wide flange shapes
L =Angle shapes
C =Channel shapes
FB =Flat bar
PL =plate
DB =Deformed bar SD295A-JIS
FBE =Fluoropolymer baking finished
PVDF =Polyvinylidene fluoride painting
GZ =Galvanizing
SBF =Sand brasting finish
HL =Hairlined finish
AAP =Anodized aluminum processing
SPP =Sylk screen processed printing
CS =Cutting sheet putting up
FL =Fluorescent lamp
LED =Light emitting diode
NB =Neon bulb lightning

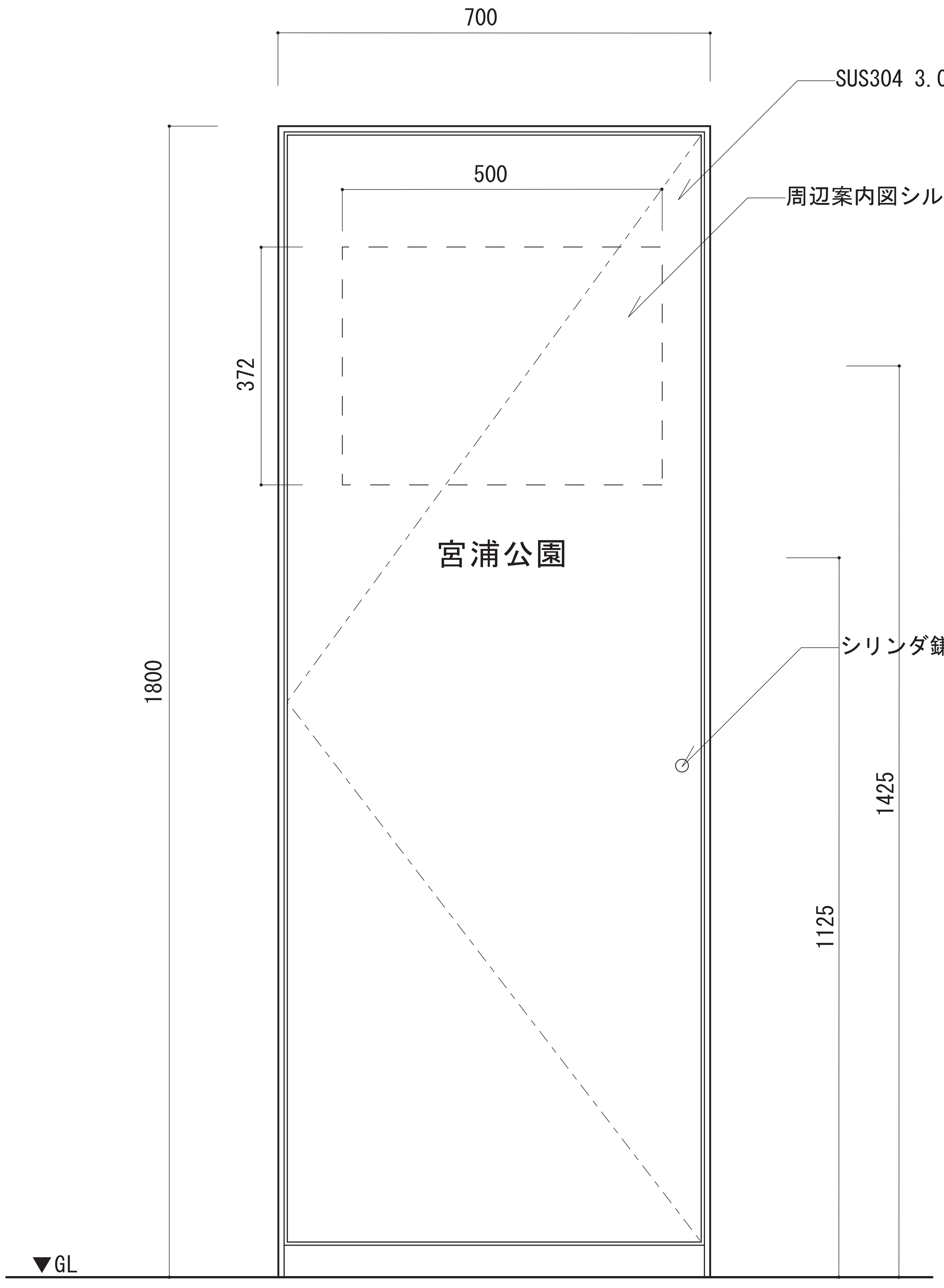
受　領		受　領	
設計監理 株式会社 槇総合計画事務所 殿	日付	施工監理 熊谷組・セイム・山陽建設共同企業体 殿	日付

SORITSU
株式会社ソーリツ
東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス5F
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

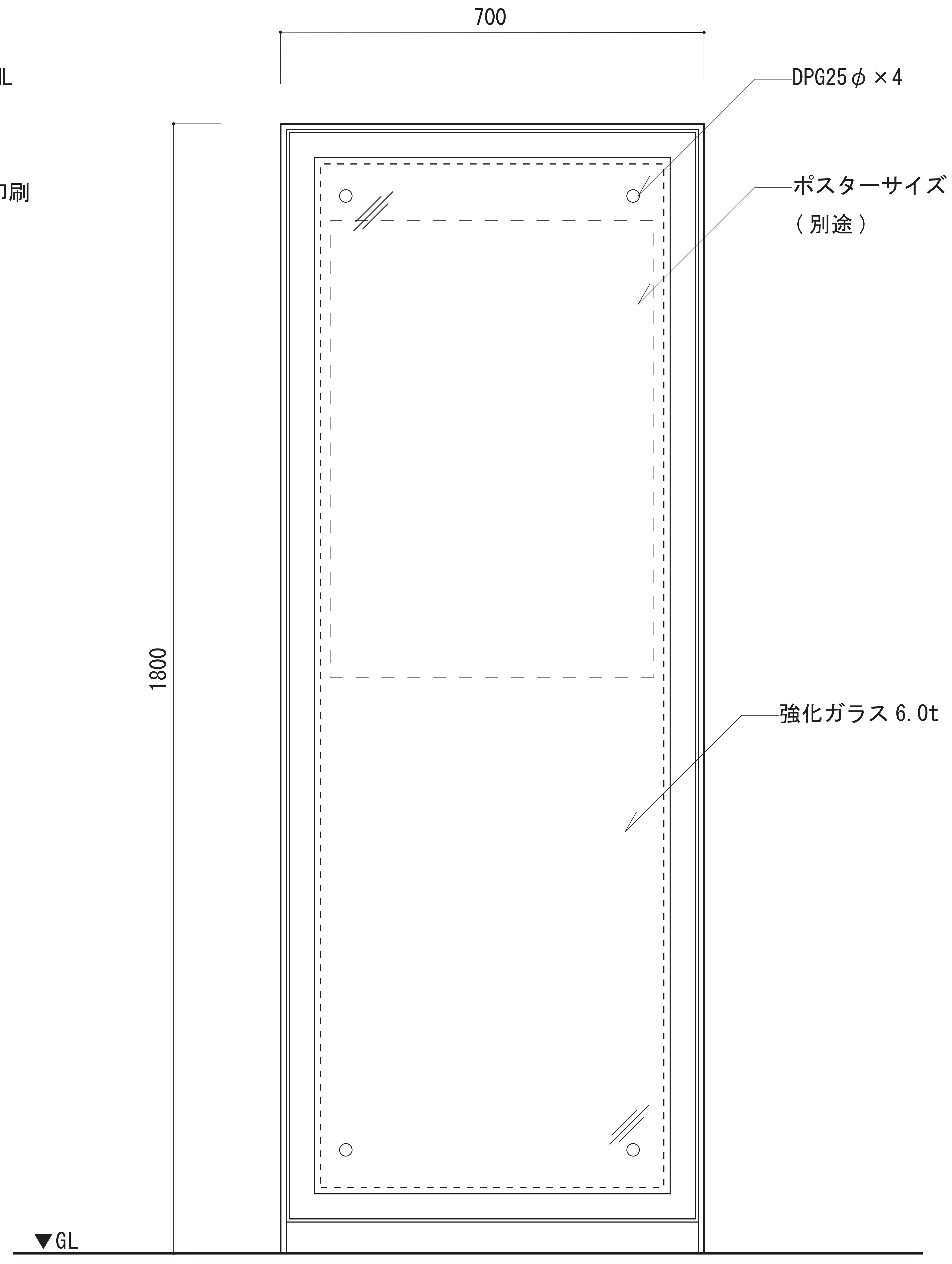
Title
三原市新文化施設（仮称）建設工事

Subjects
P-L1サインプロット図

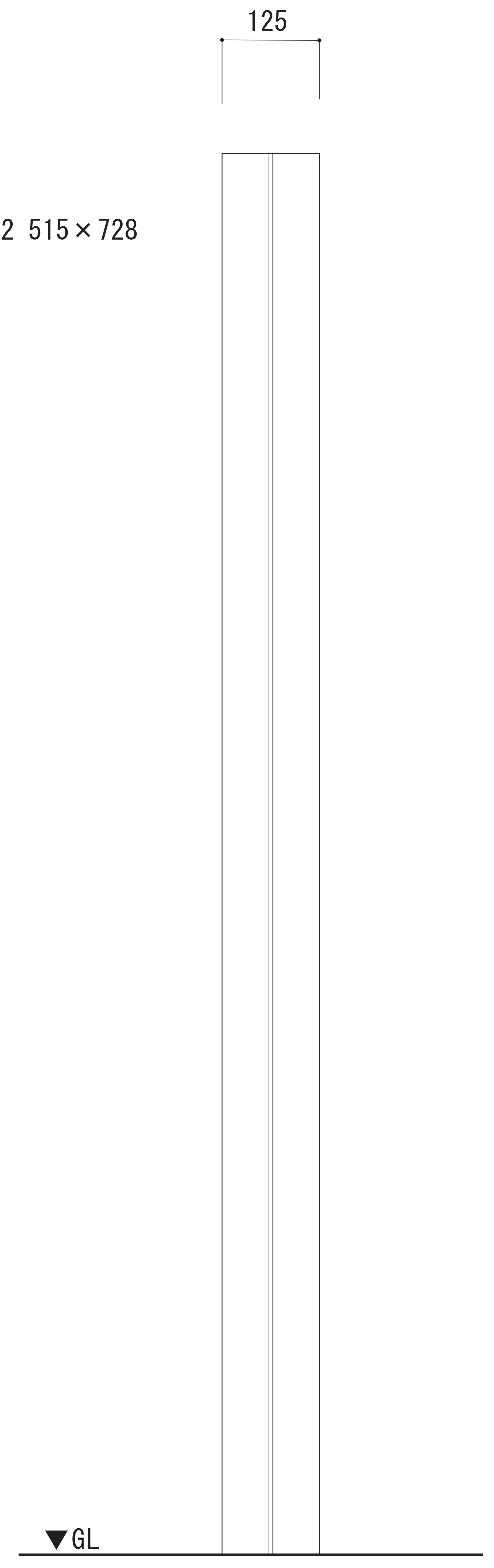
Scale	1:800	Project	MNC 001
Date	20070713	No.	SN-12
Drawn	YO$	Checked	YO$



西面



東面



Scale1/10

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色

Notes

株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title
三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体

Subjects
CL-9_1南駐輪場西出入口（東側）

Scale

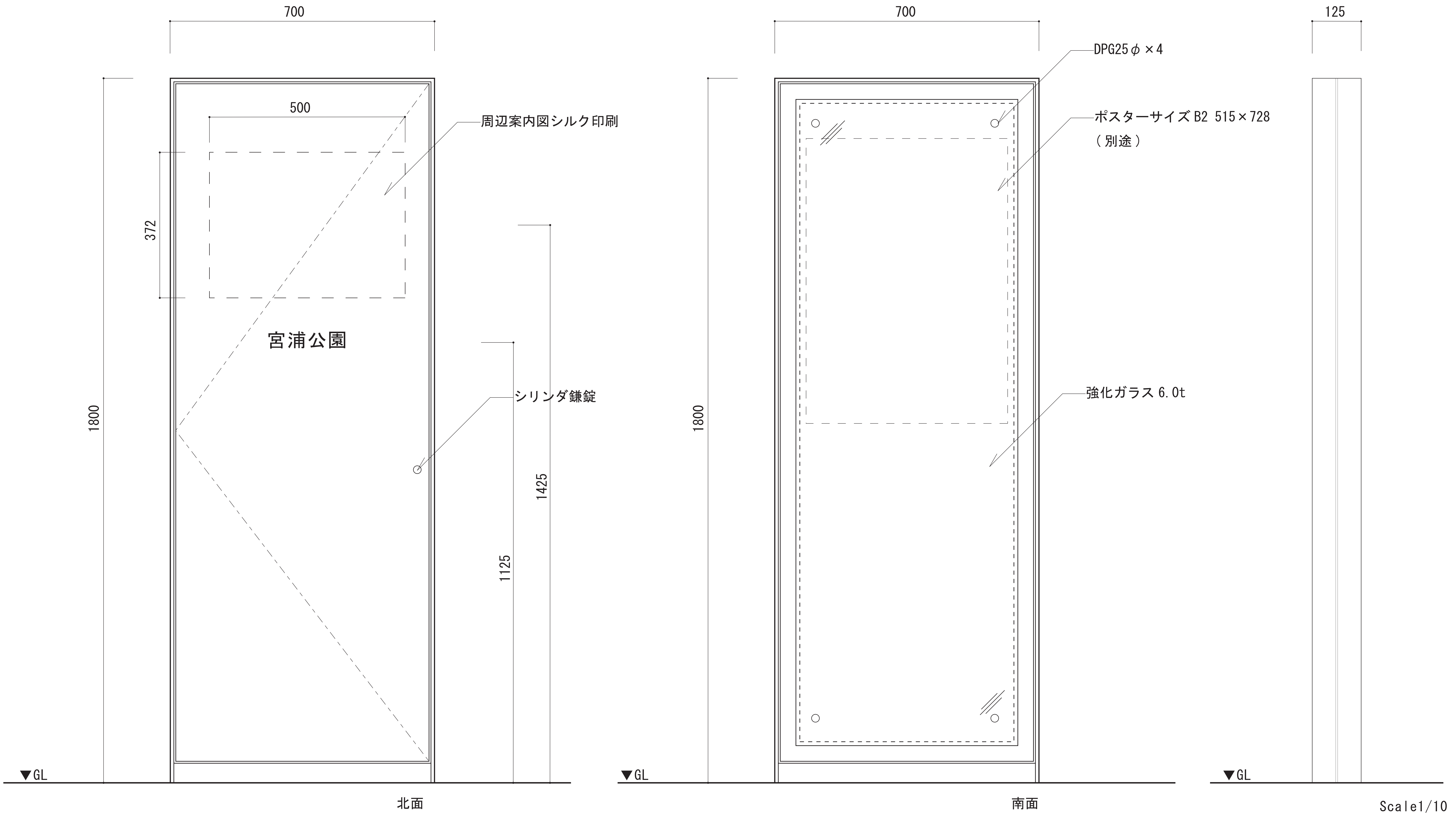
Project

Date 20070831

No. SN-13

Drawn shimo

Checked shimo



シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色

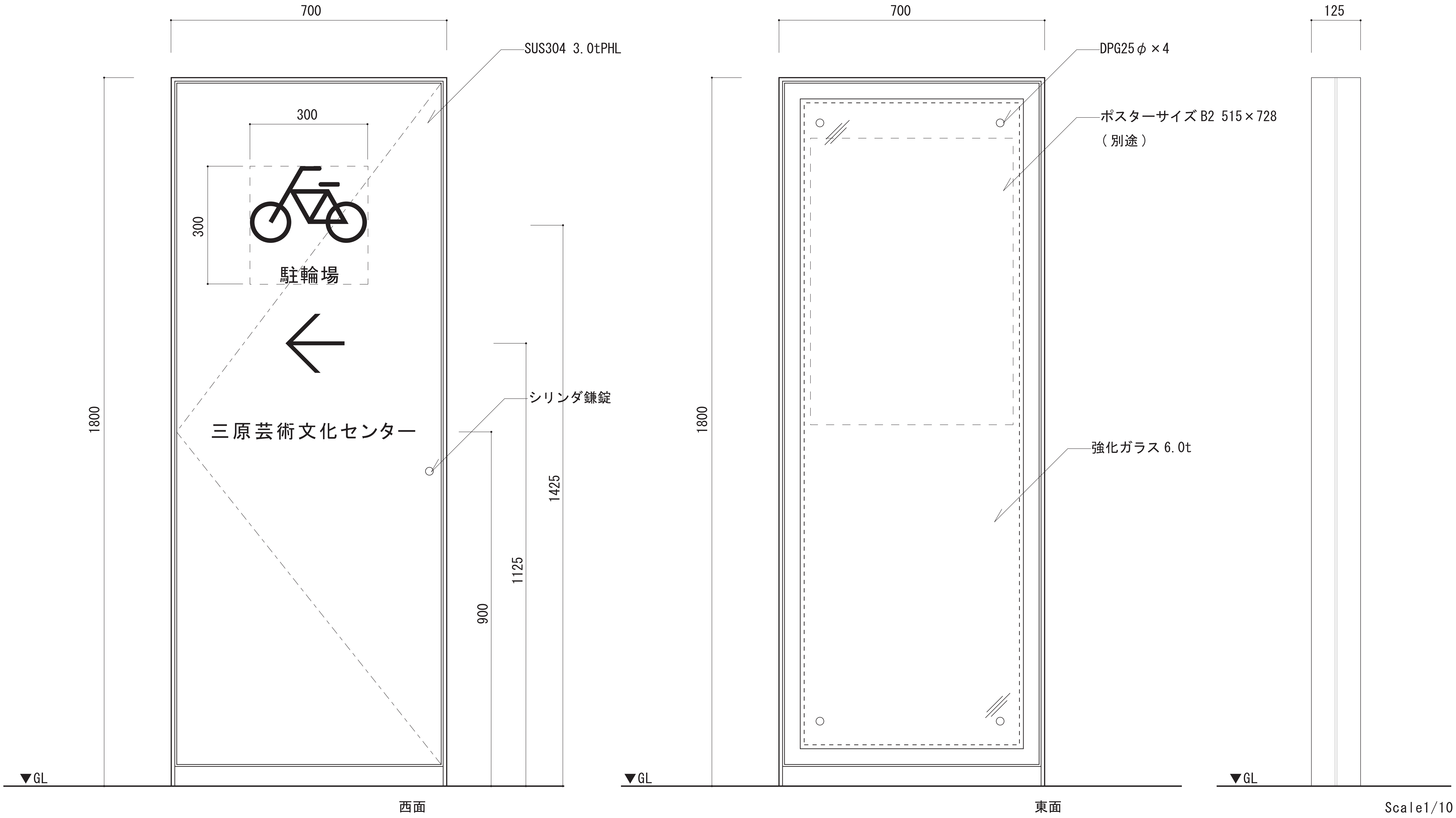
Notes

SORITSU
株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title
三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体

Subjects
CL-9_2公園南西出入口

Scale
Project
Date 20070831
No. SN-14
Drawn shimo
Checked shimo



西面

東面

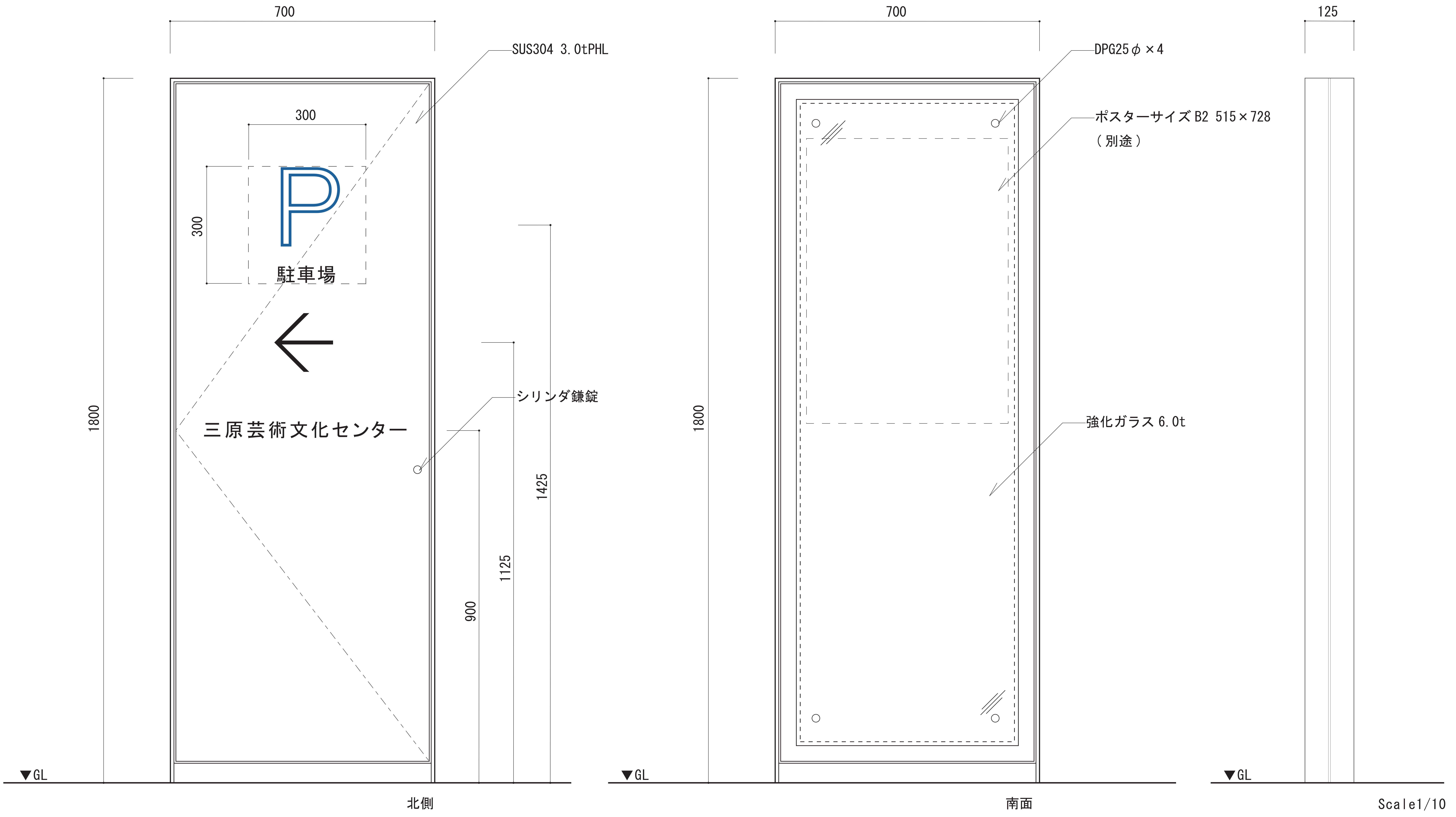
Scale1/10

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色

Notes

株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体		Scale	Project
		Date 20070831	No. SN-15
Subjects CL-21_1西駐輪場西出入口（西側）		Drawn shimo	Checked shimo

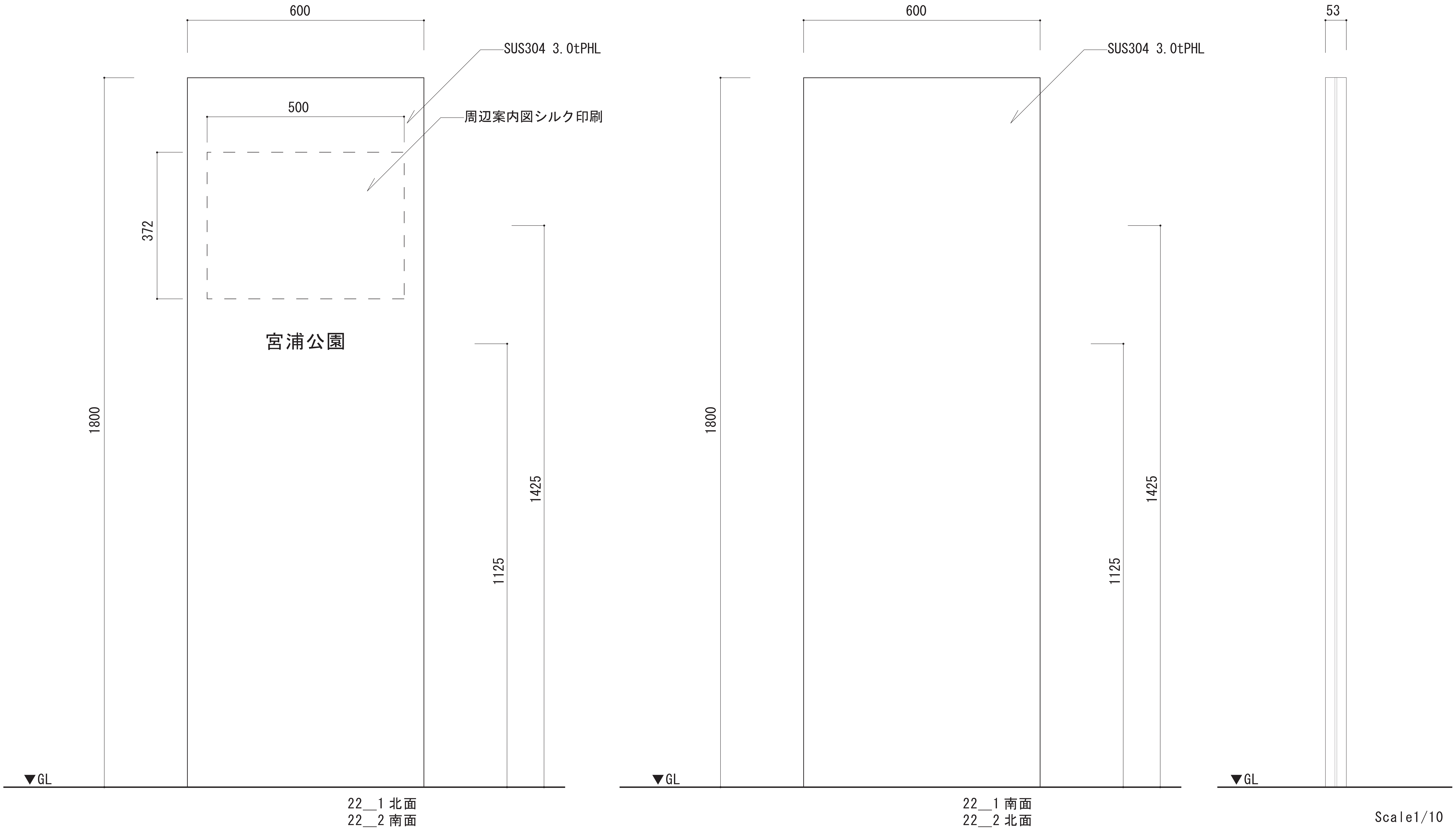


シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色

Notes

株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体		Scale	Project
		Date 20070831	No. SN-16
Subjects CL-21__2公園南西出入口（北側）		Drawn shimo	Checked shimo

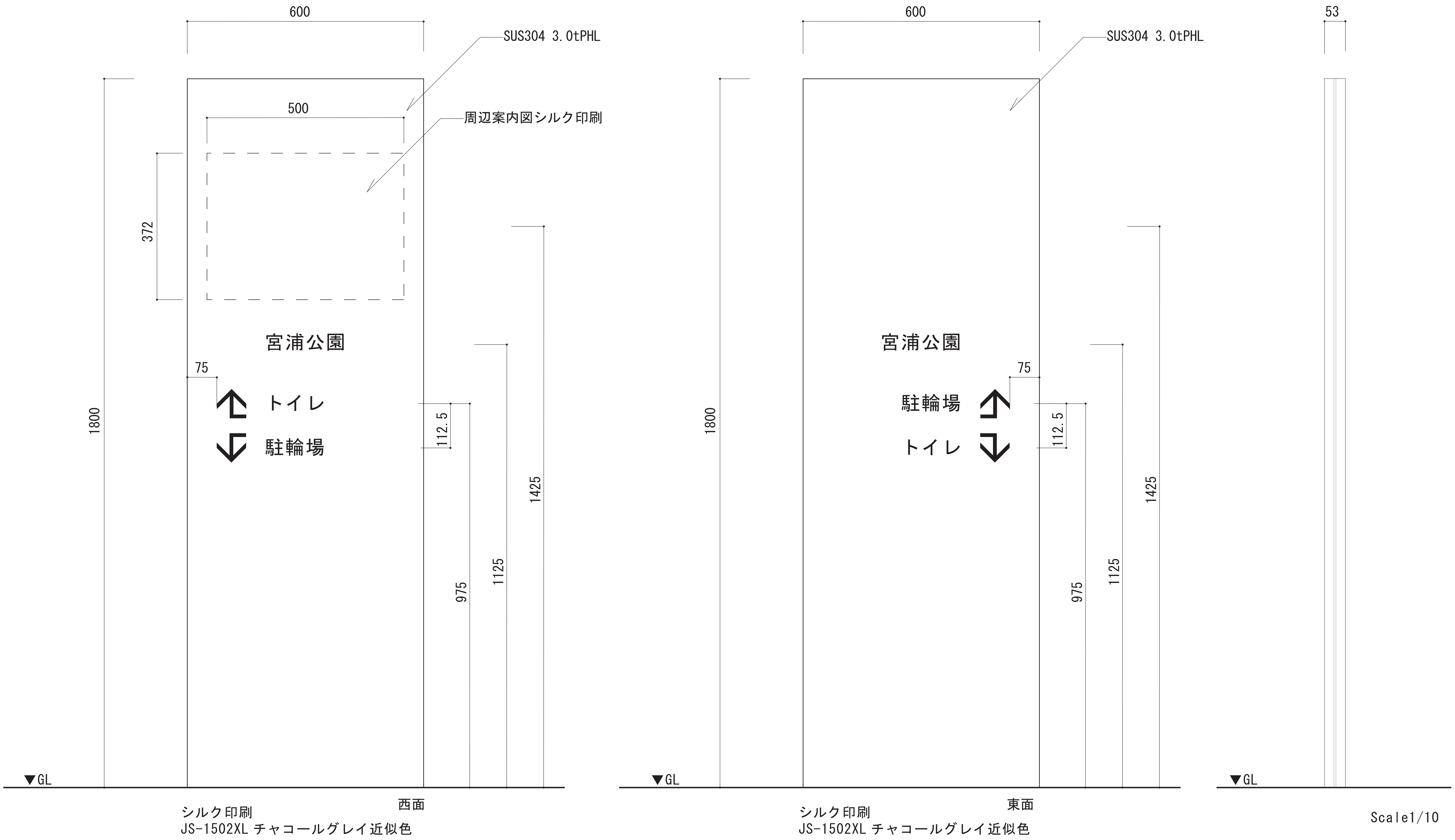


シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色

Notes

株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

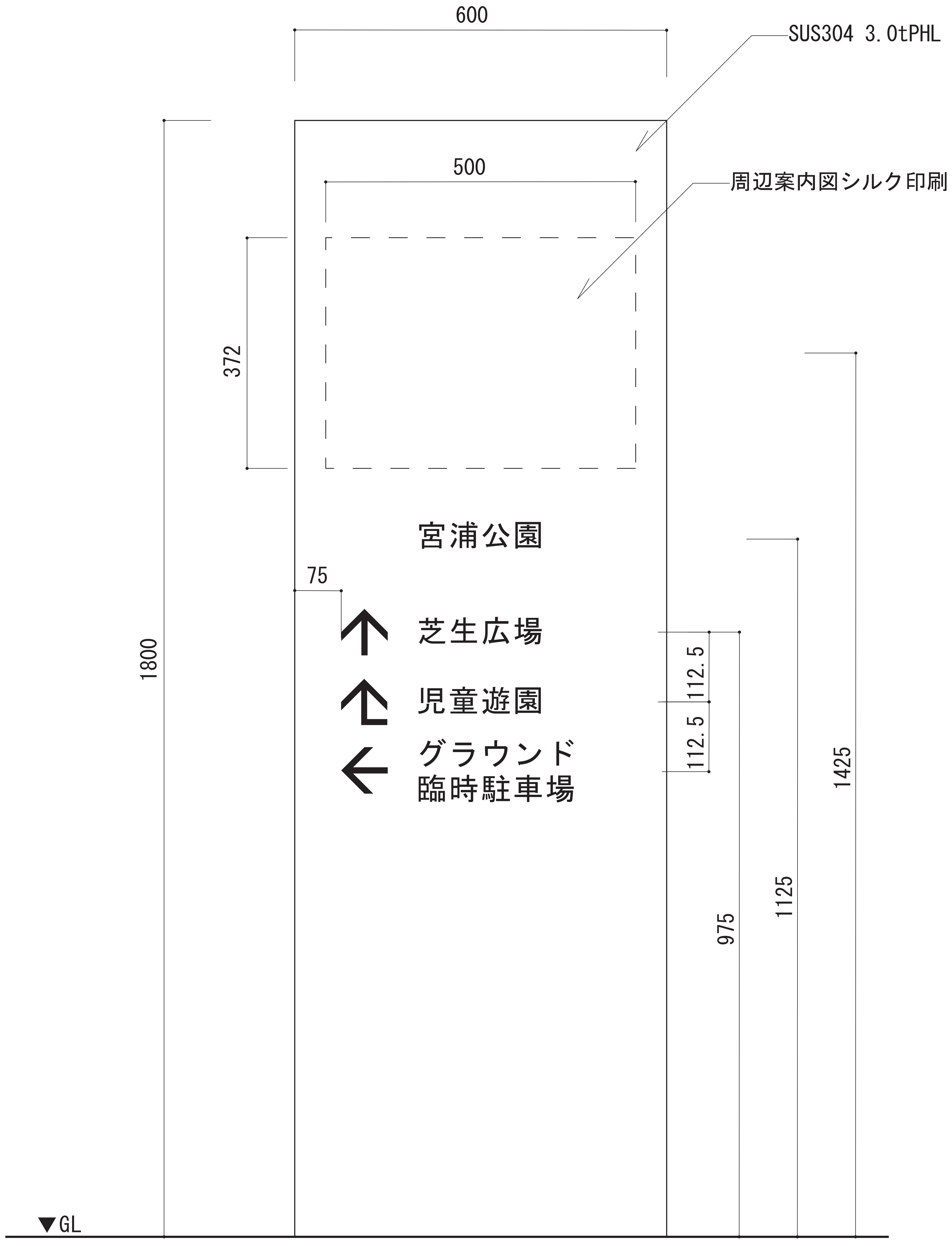
Title 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体		Scale	Project
		Date 20070831	No. SN-17
Subjects CM-22_1（南側）, 22_2（北側）公園東出入口		Drawn shimo	Checked shimo



Notes

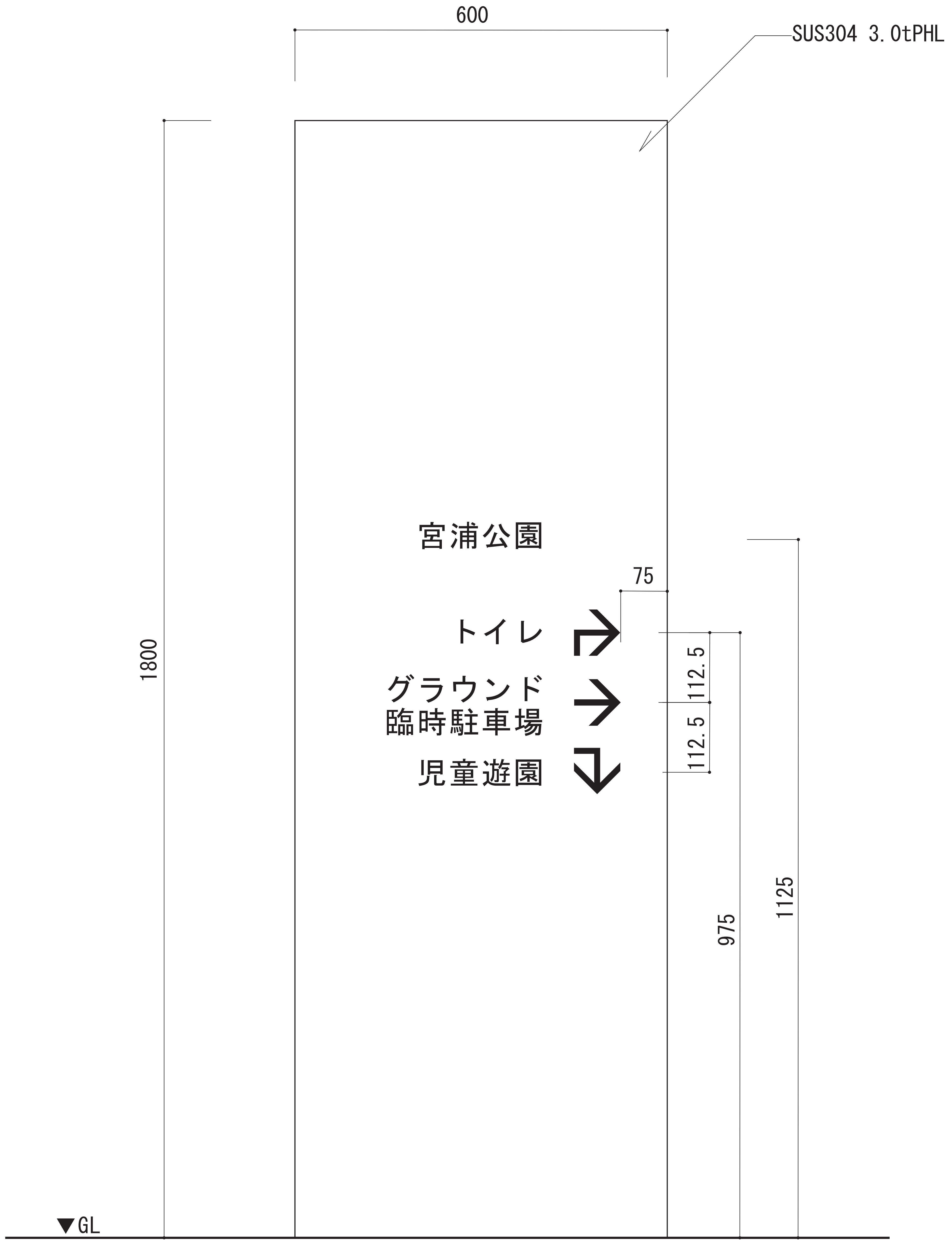
SORITSU
株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title: 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体
Subjects: CM-22_3北駐輪場出入口
Scale:
Project:
Date: 20070831
No.: SN-18
Drawn: shimo
Checked: shimo



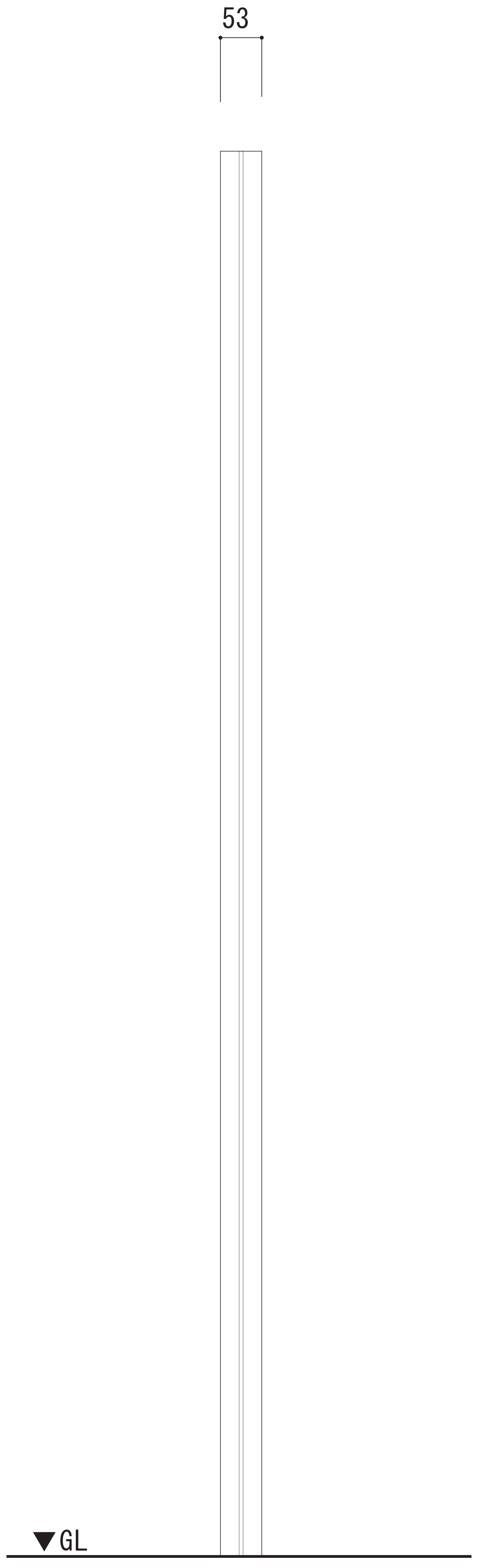
西面

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



東面

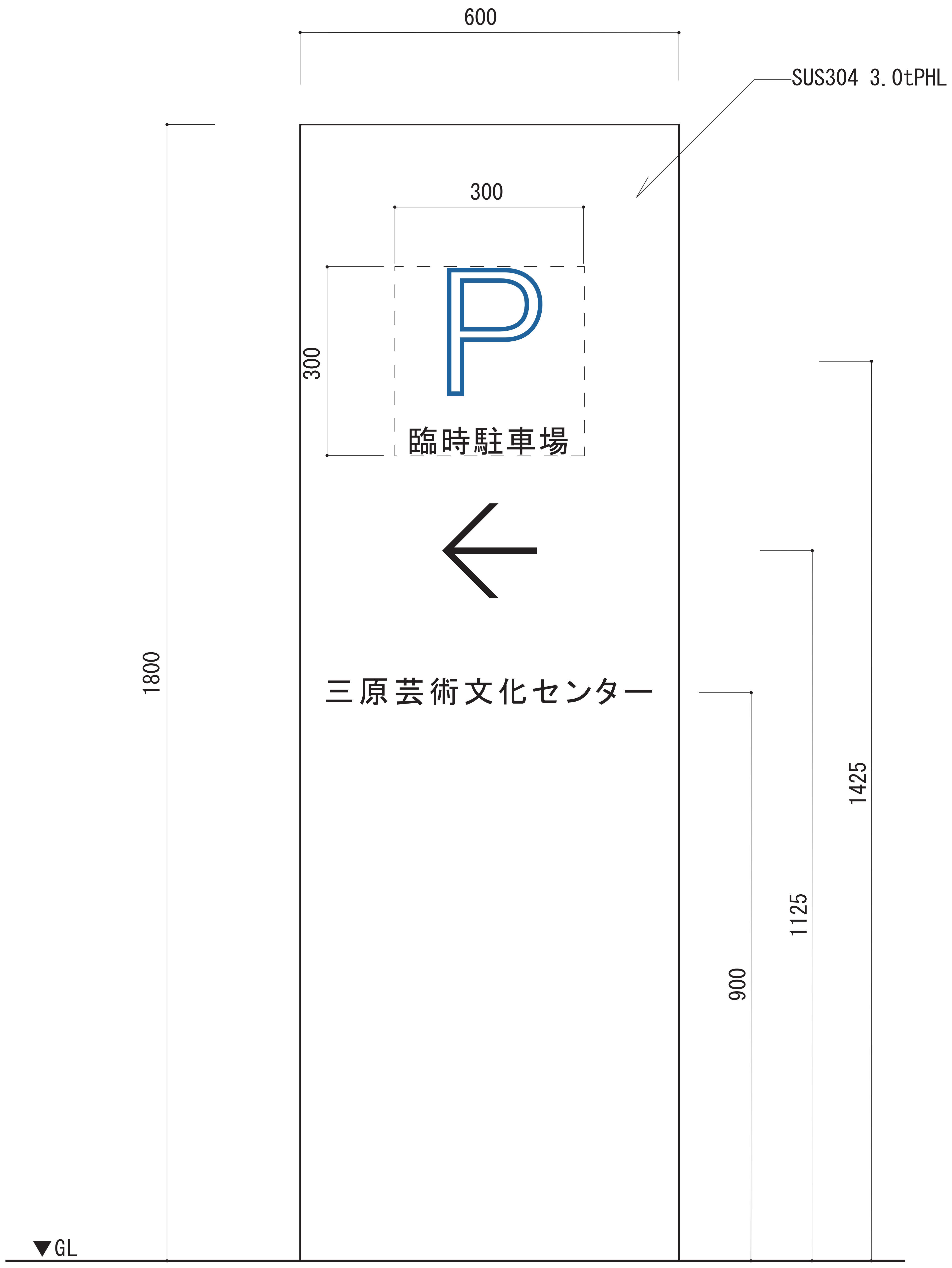
シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



Scale1/10

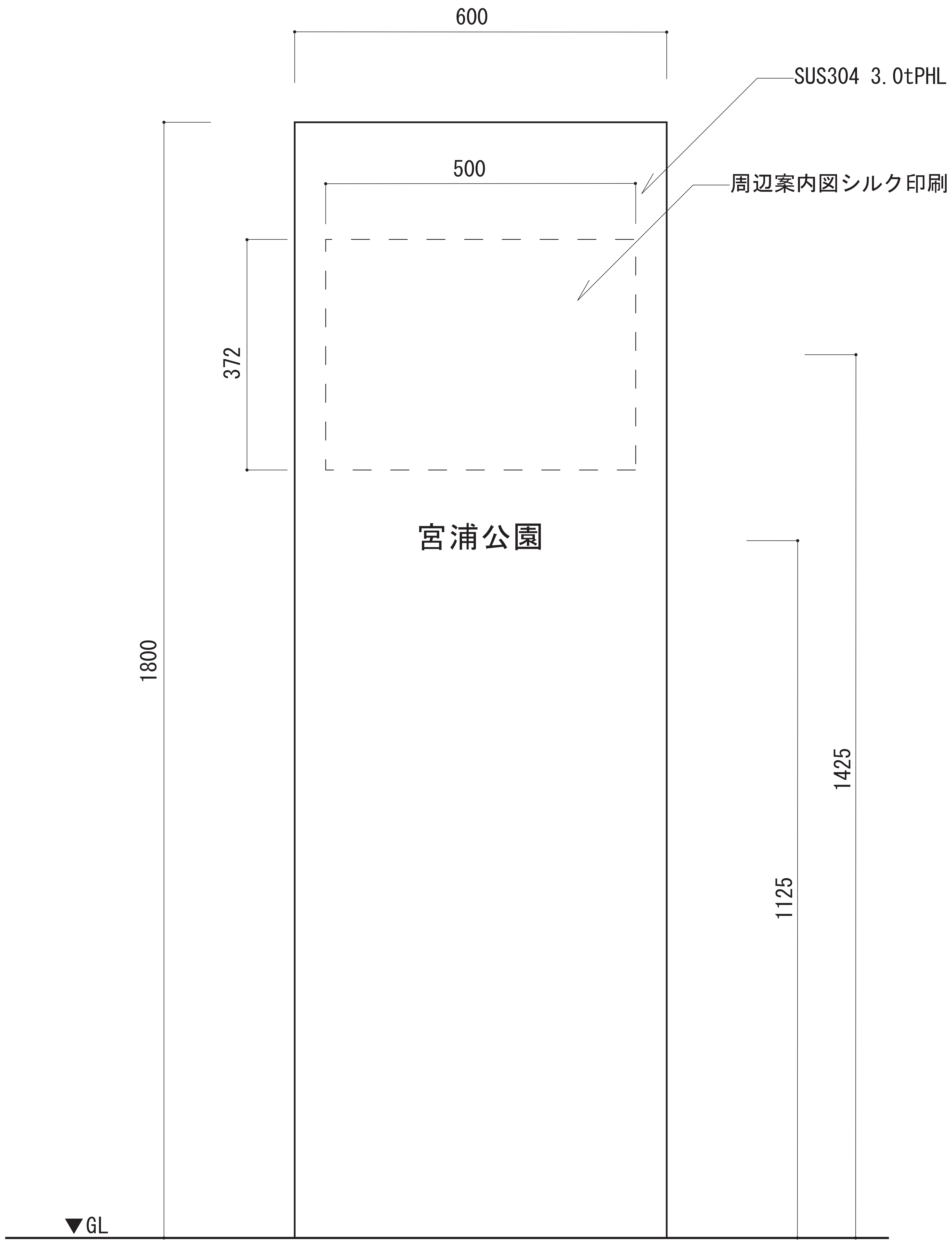
Notes		株式会社　ソーリツ 164-0012 東京都中野区本町2-46-4 サンブライトアネックス501 Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959	Title 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体	Scale	Project
				Date 20070831	No. SN-19
			Subjects CM-22_4グラウンド出入口	Drawn shimo	Checked shimo

・表示面は北、南面でよろしいでしょうか



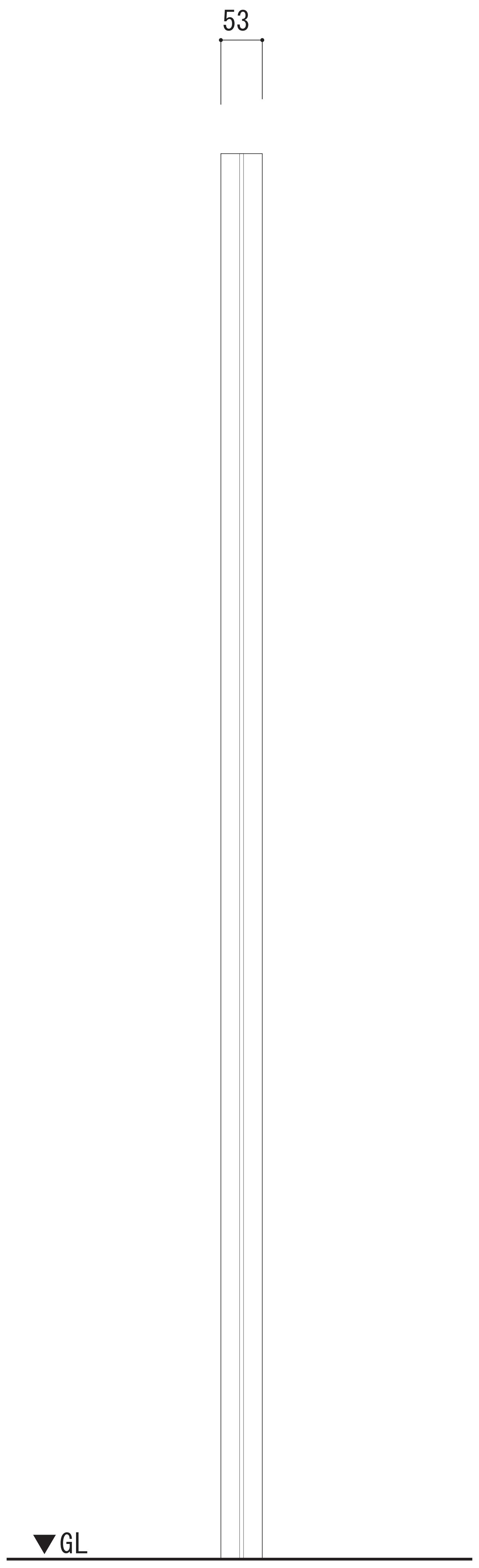
シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色

北面



シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色

南面

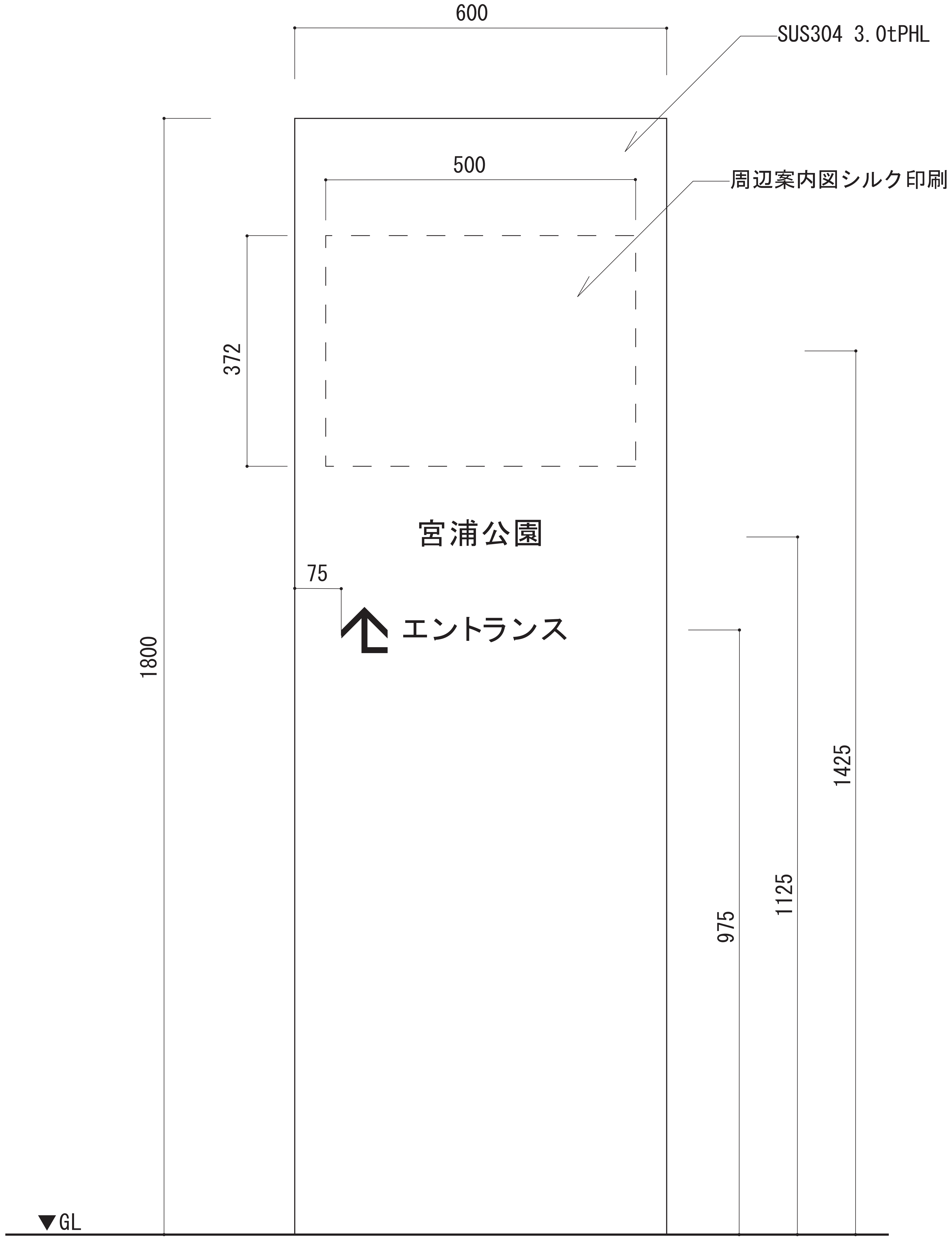


Scale1/10

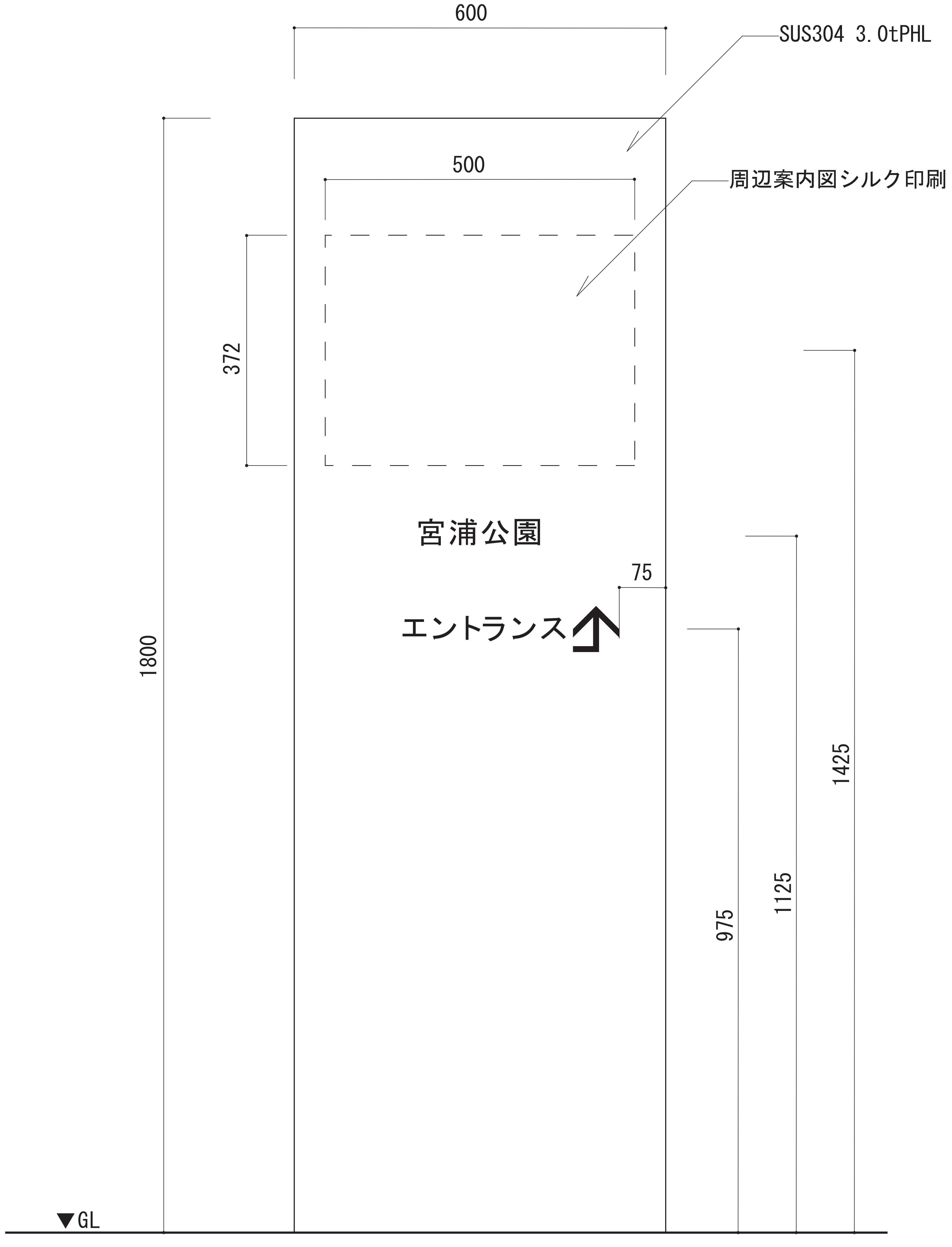
Notes

SORITSU
株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

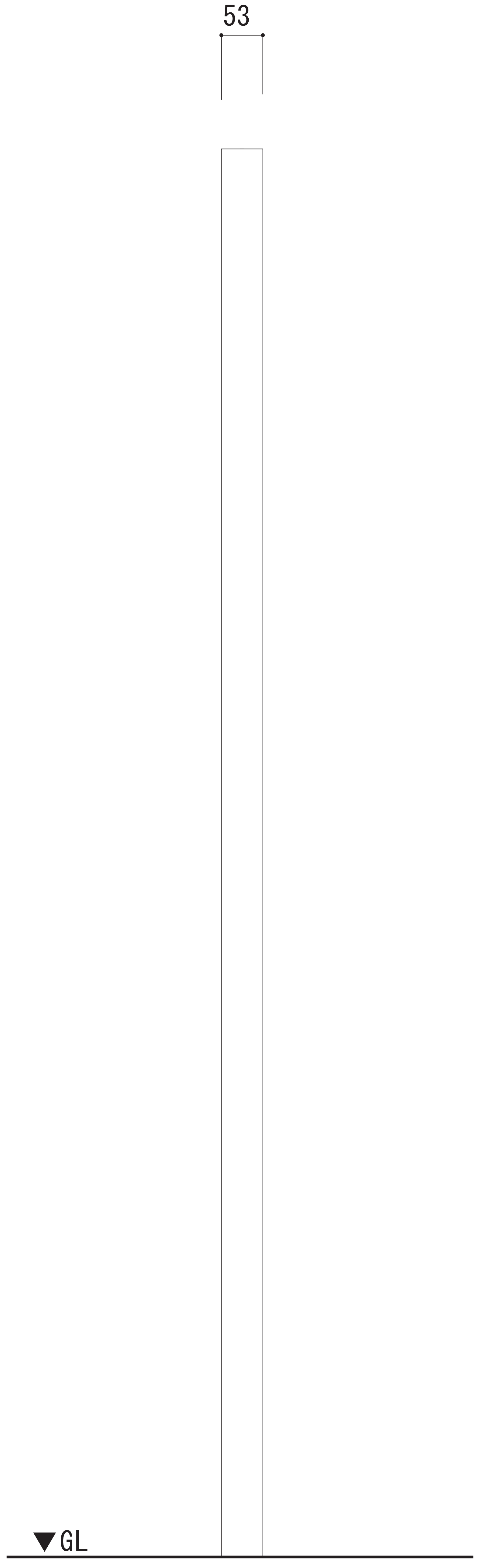
Title 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体
Subjects CM-22_5公園北西出入口
Scale
Project
Date 20070831
No. SN-20
Drawn shimo
Checked shimo



シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



Scale1/10

Notes

株式会社 ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title
三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体

Subjects
CM-22_6アプローチプラザ（北側）

Scale

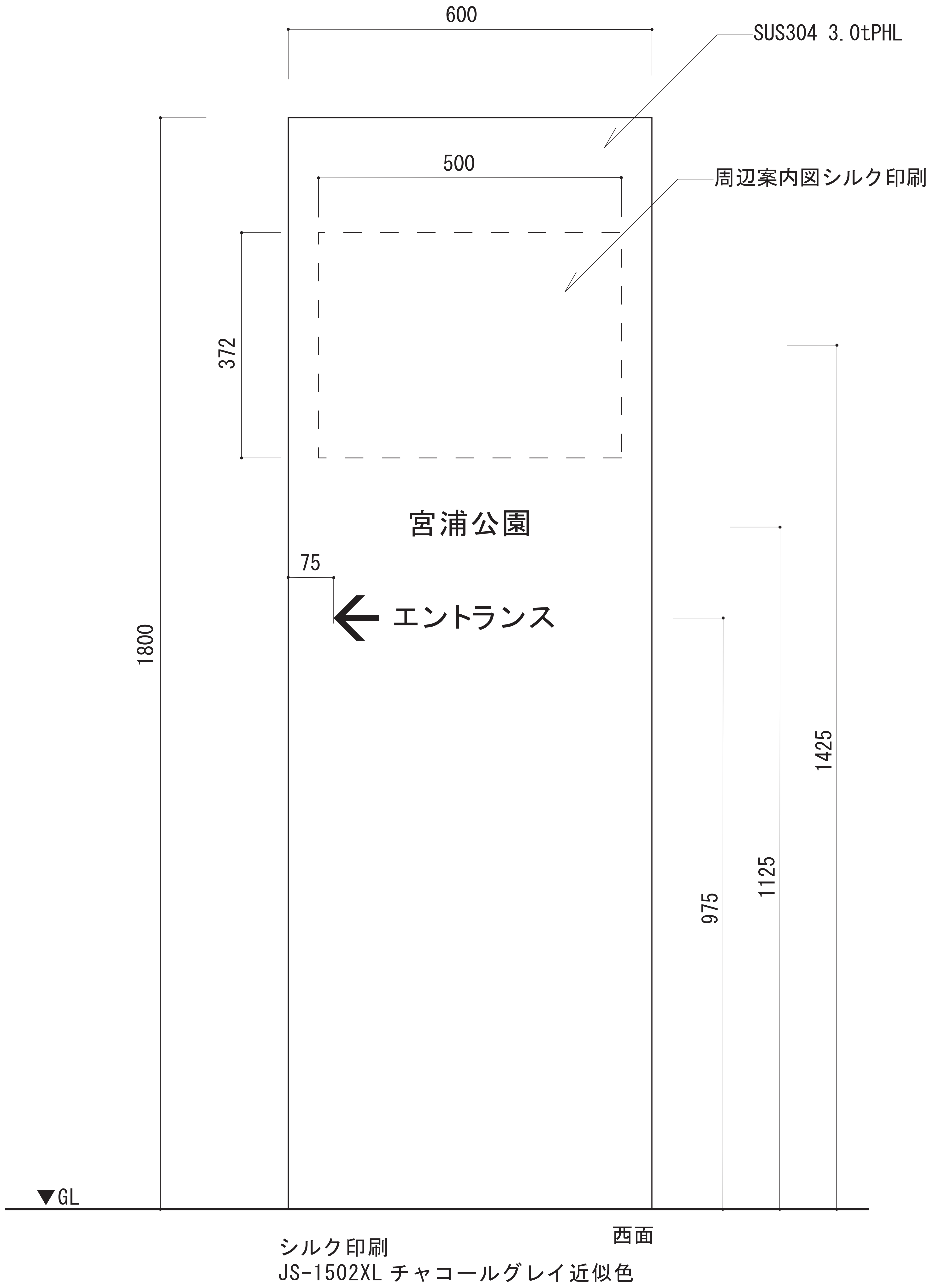
Date
20070831

Drawn
shimo

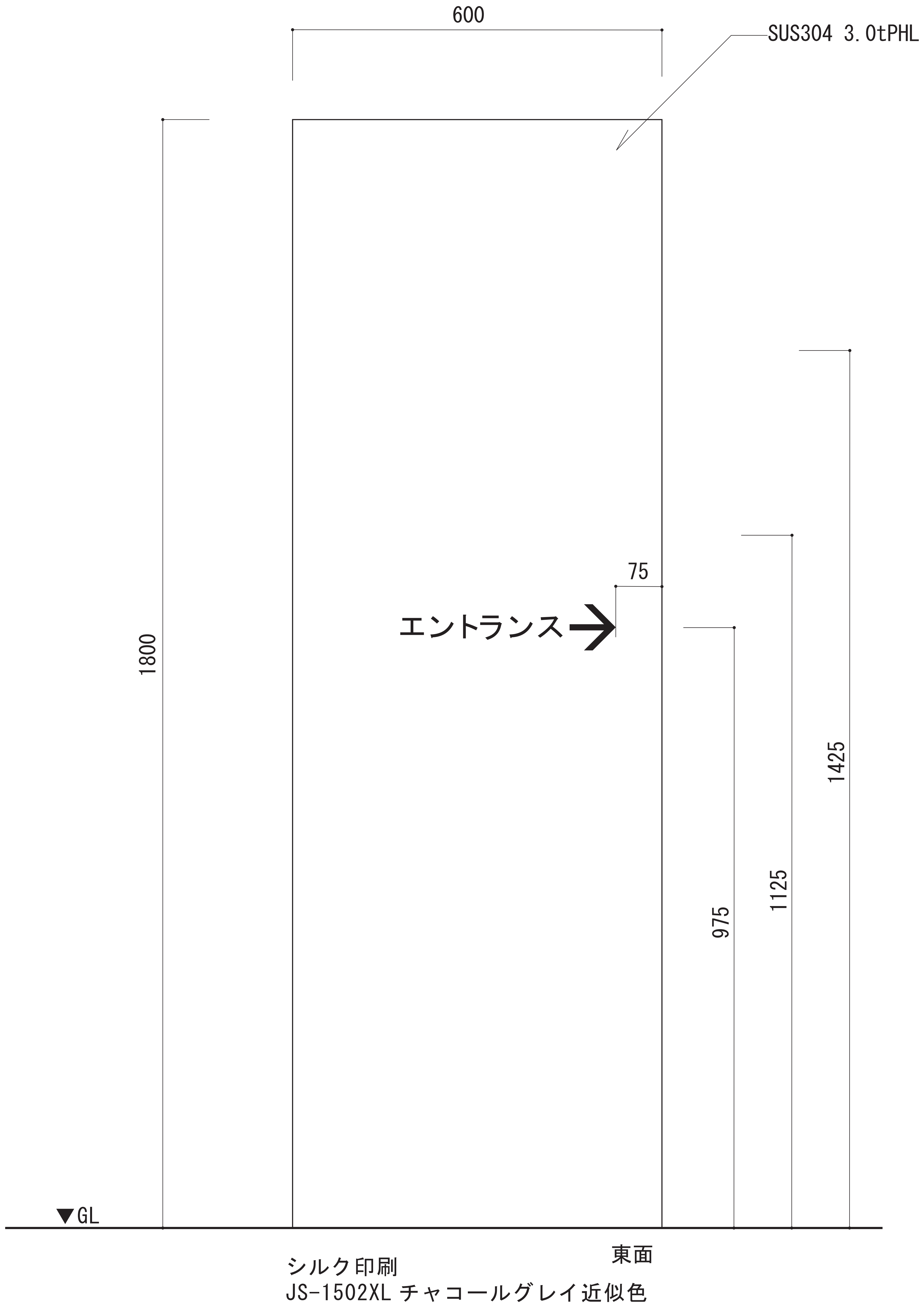
Project

No.
SN-21

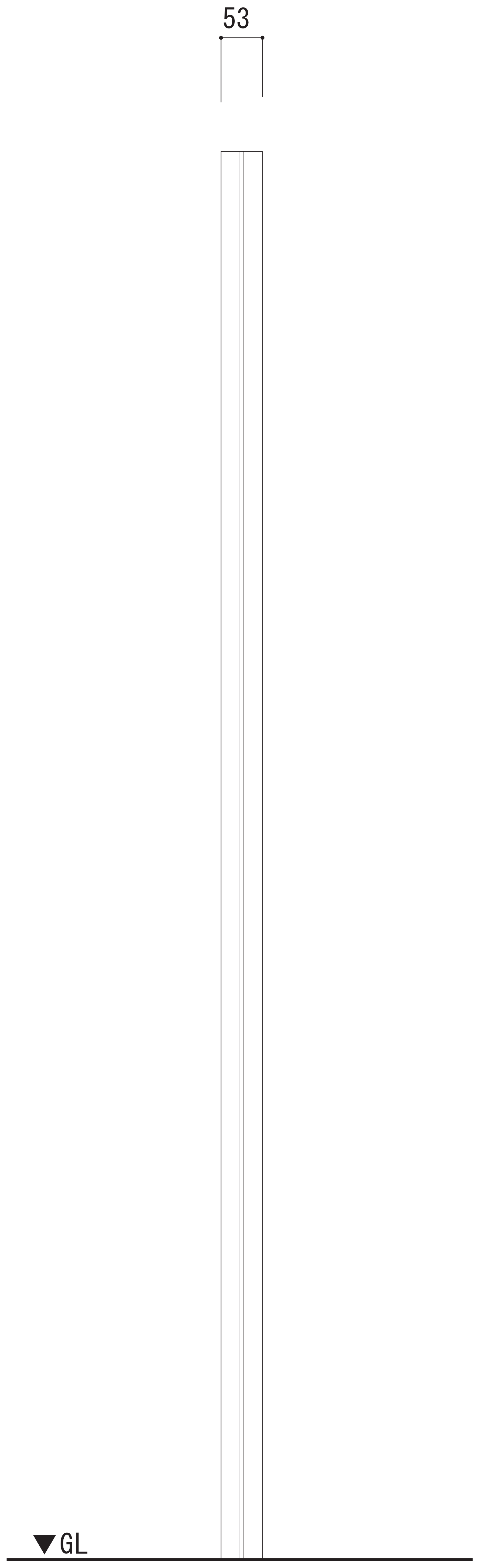
Checked
shimo



シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色

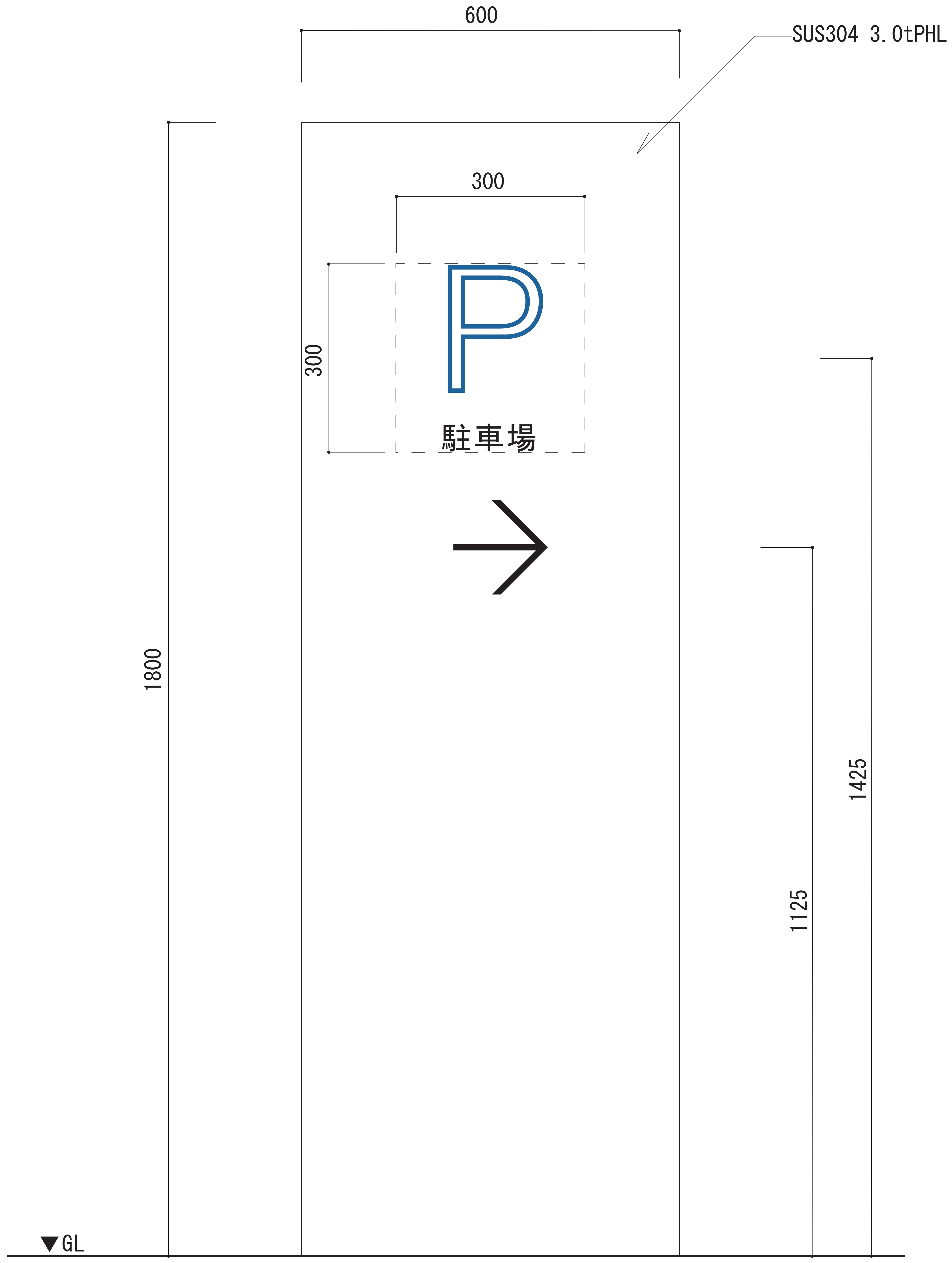


Scale1/10

Notes

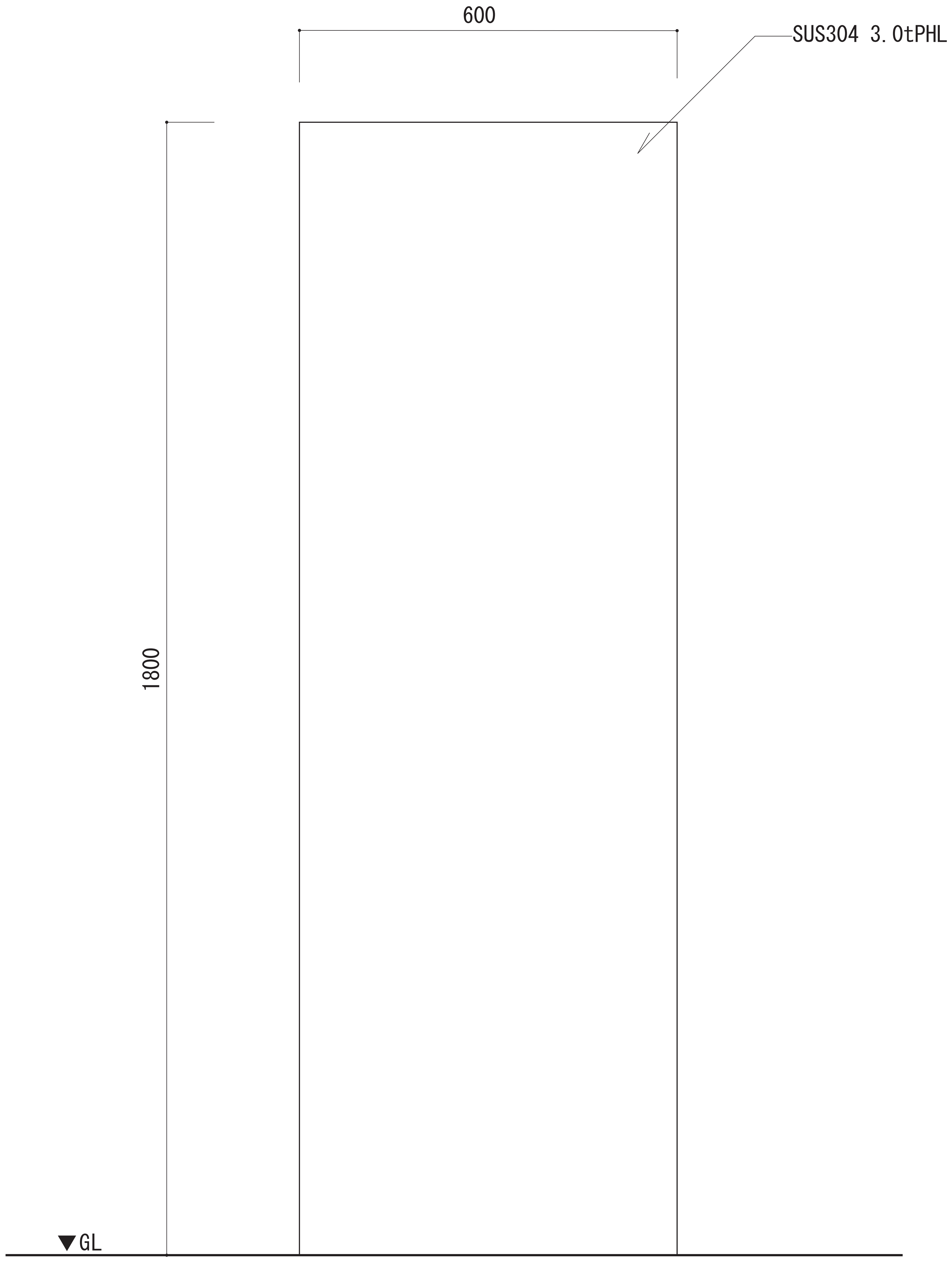
株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体		Scale	Project
		Date 20070831	No. SN-22
Subjects CM-22_7アプローチプラザ（東側）		Drawn shimo	Checked shimo



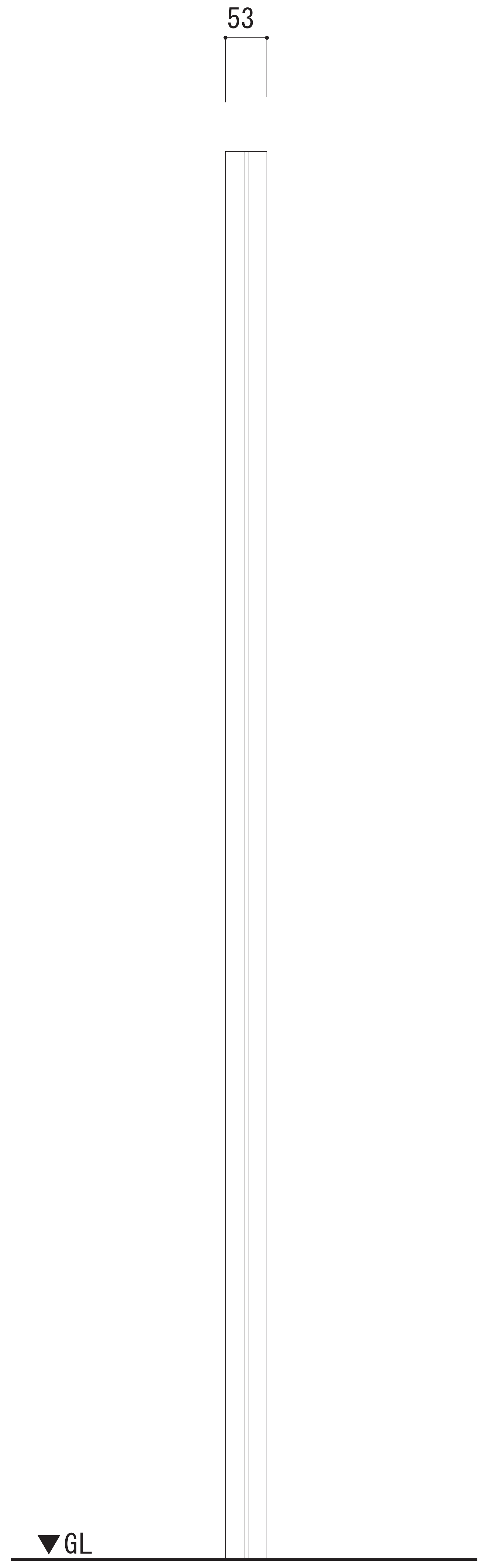
23__1 北面
23__2 北面

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



23__1 南面
23__2 南面

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



Scale1/10

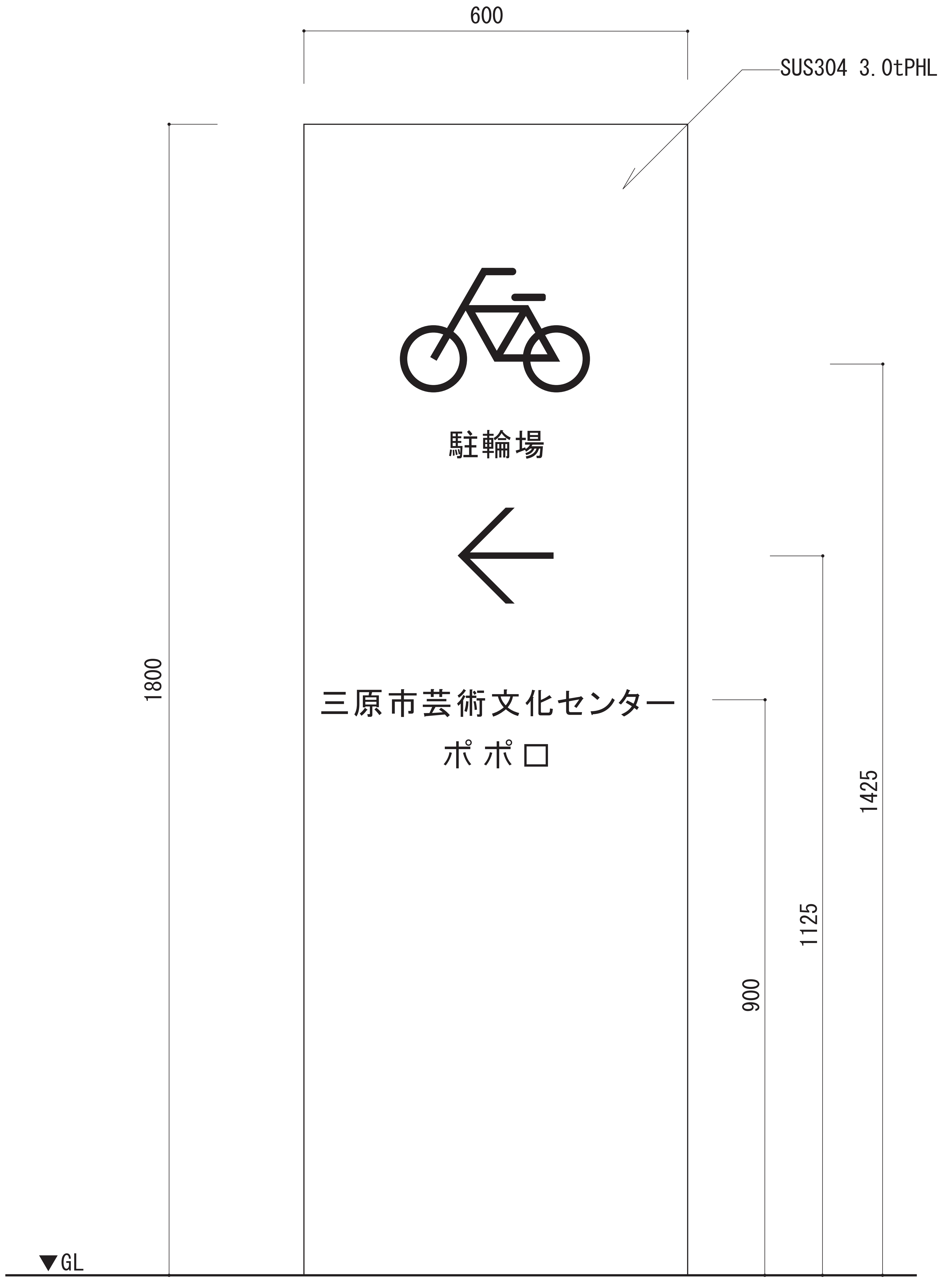
Notes

株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

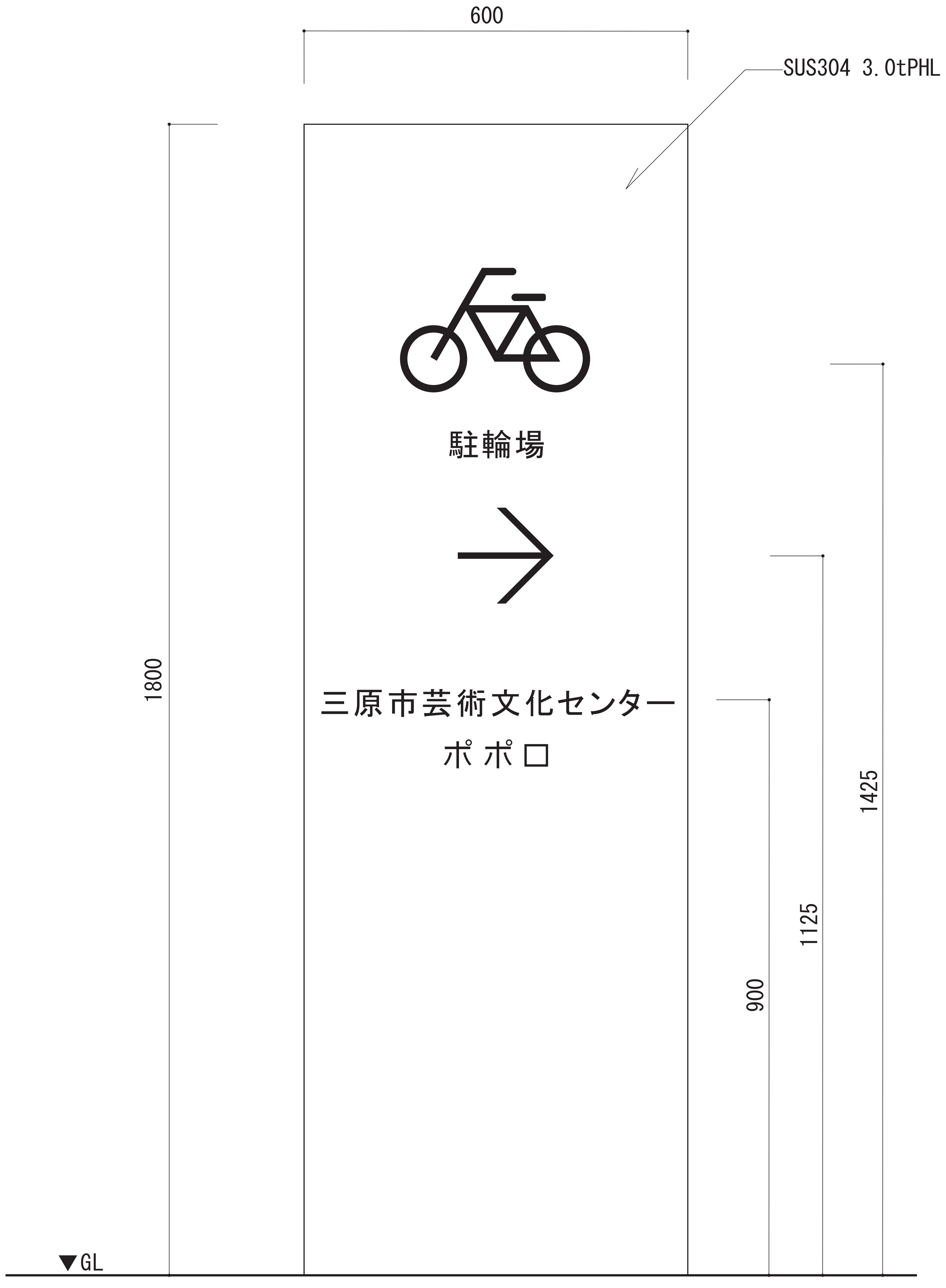
Title
三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体

Subjects
CS-23_1(南側), 23__2（北側）駐車場出入口

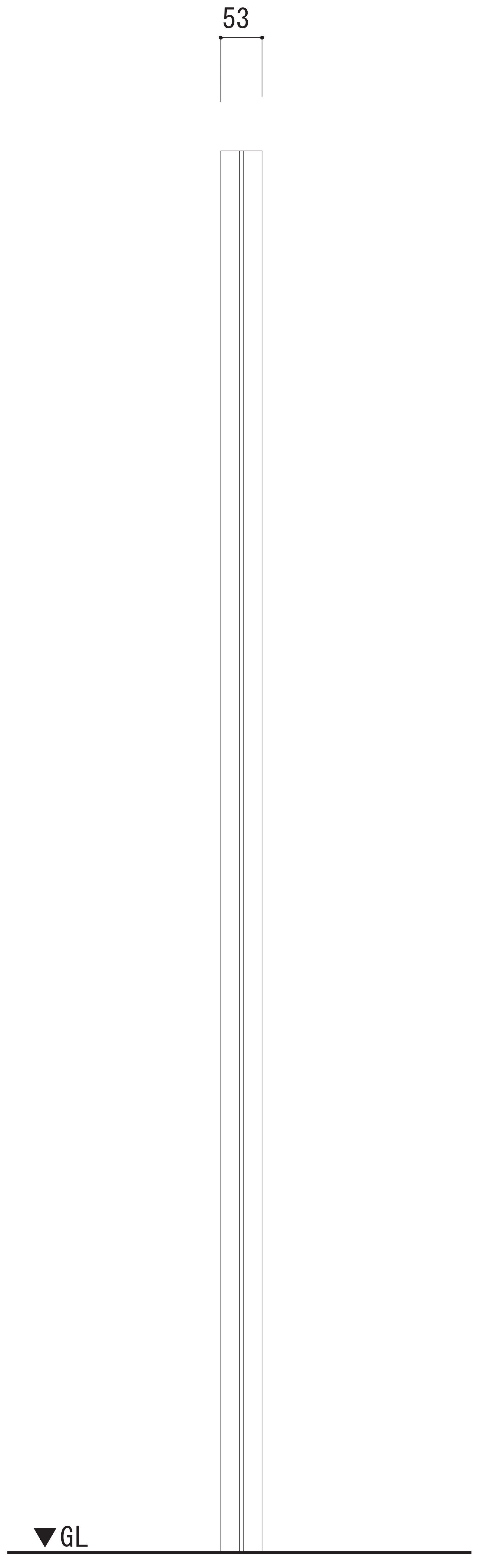
Scale	Project
Date 20070831	No. SN-23
Drawn shimo	Checked shimo



シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



Scale1/10

Notes

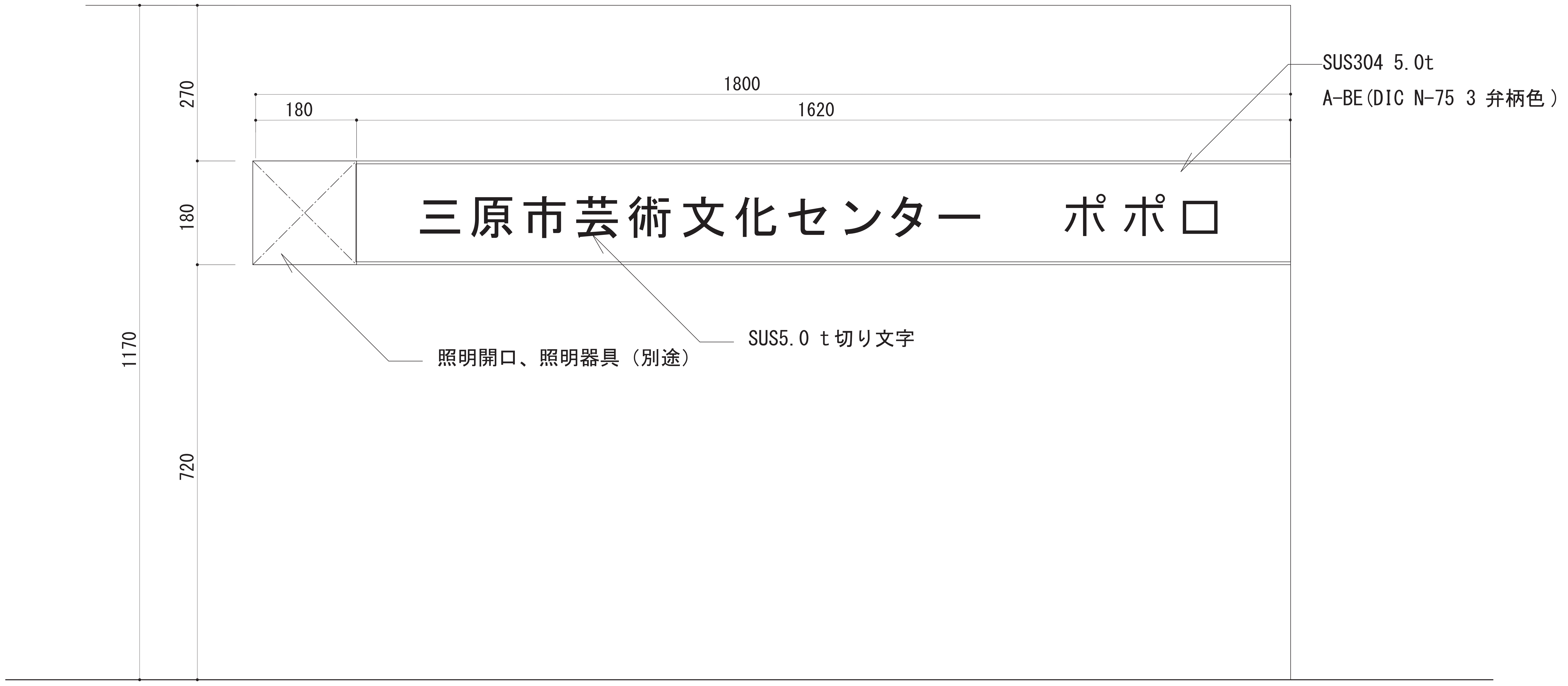
SORITSU
株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体	Scale	Project
	Date 20070831	No. SN-24
Subjects CS-24_1南駐輪場東出入口	Drawn shimo	Checked shimo

A：和　ヒラギノ角ゴ W3

75

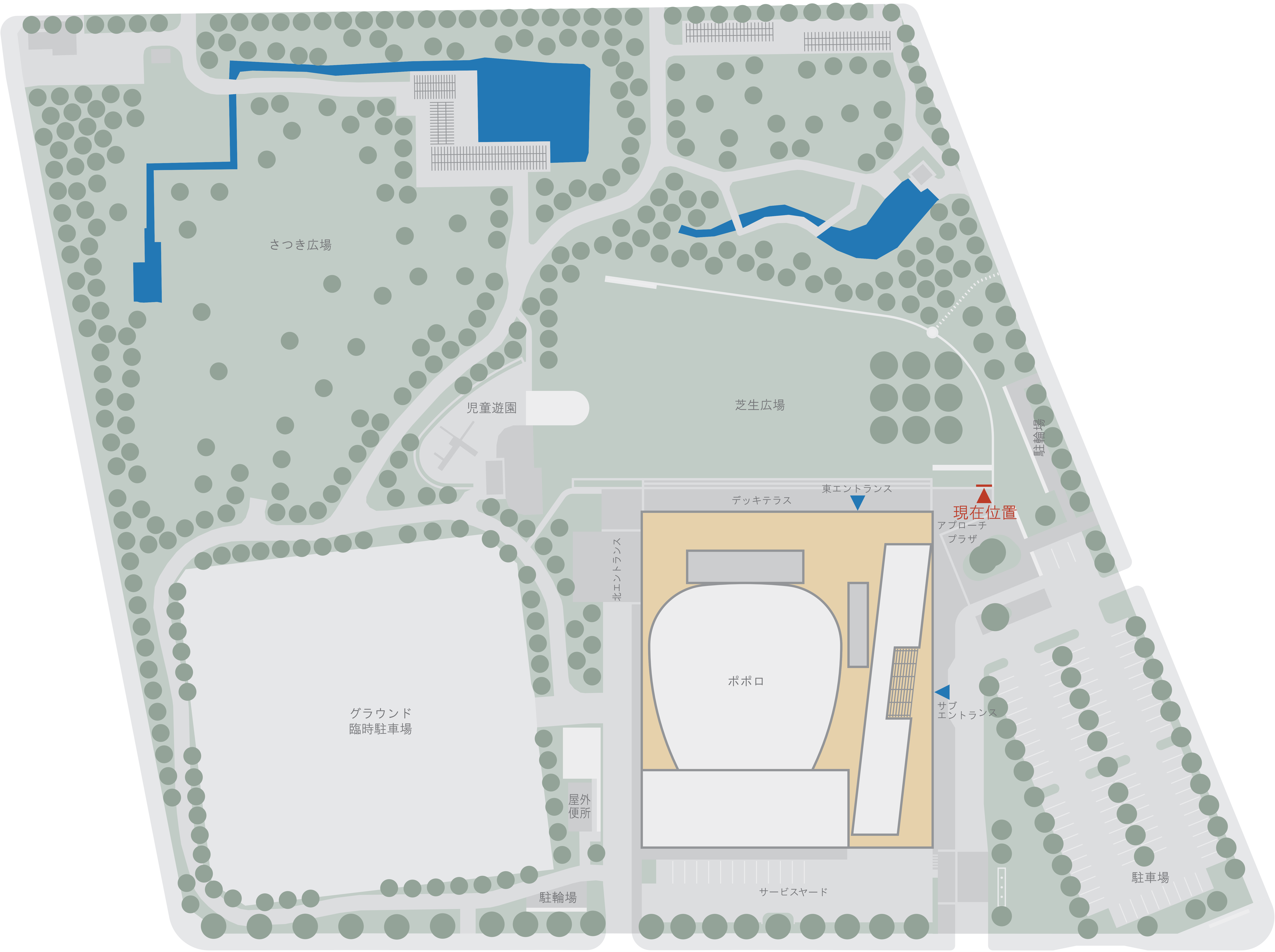
三原市芸術文化センター　ポポロ



※詳細は別図参照

Scale1/10

Notes	**SORITSU** 株式会社　ソーリツ 164-0012 東京　都中野区本町2-46-4 サンブライトアネックス501 Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959	Title 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体	Scale	Project
		Subjects F-25_1 街角広場	Date 20070831	No. SN-30
			Drawn shimo	Checked shimo



■ シルク印刷

● C-37-60D（近似色）

● C-45-60B（近似色）

● CN-85（近似色）

● JS-6611XL ラプソディ（近似色）

● JS-1216XL リーズブルレッド（近似色）

● JS-1502XL チャコールグレイ（近似色）

※ 現在地により方向を変える

Notes

SORITSU

株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title
三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体

Subjects
外構平面図グラフィック

Scale

Project

Date 20070831

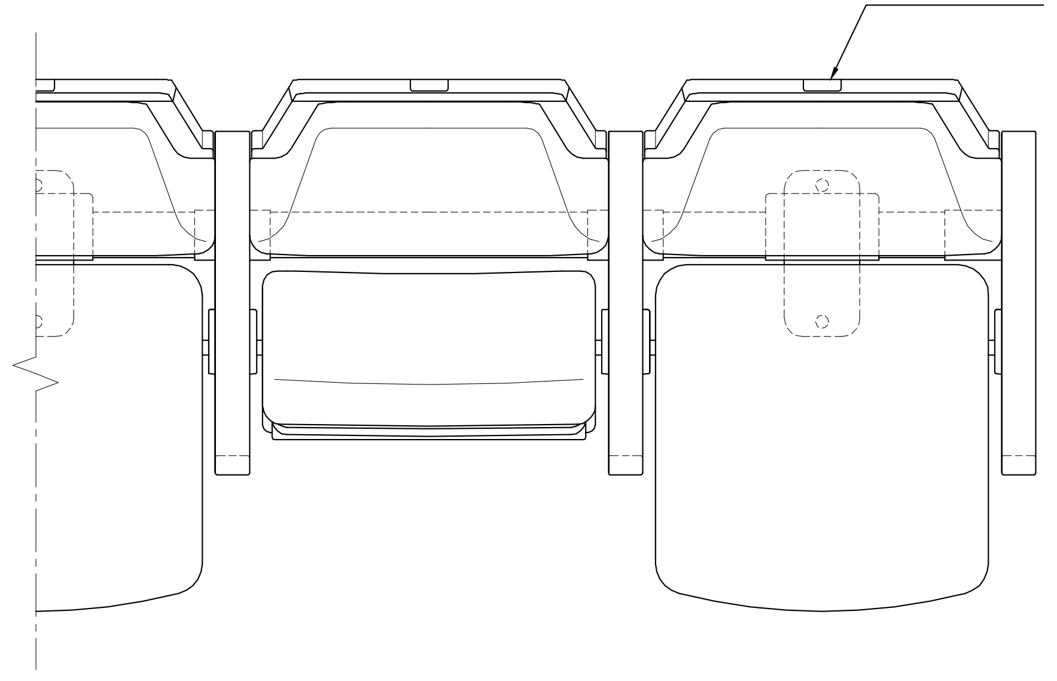
No. SN-41

Drawn shimo

Checked shimo

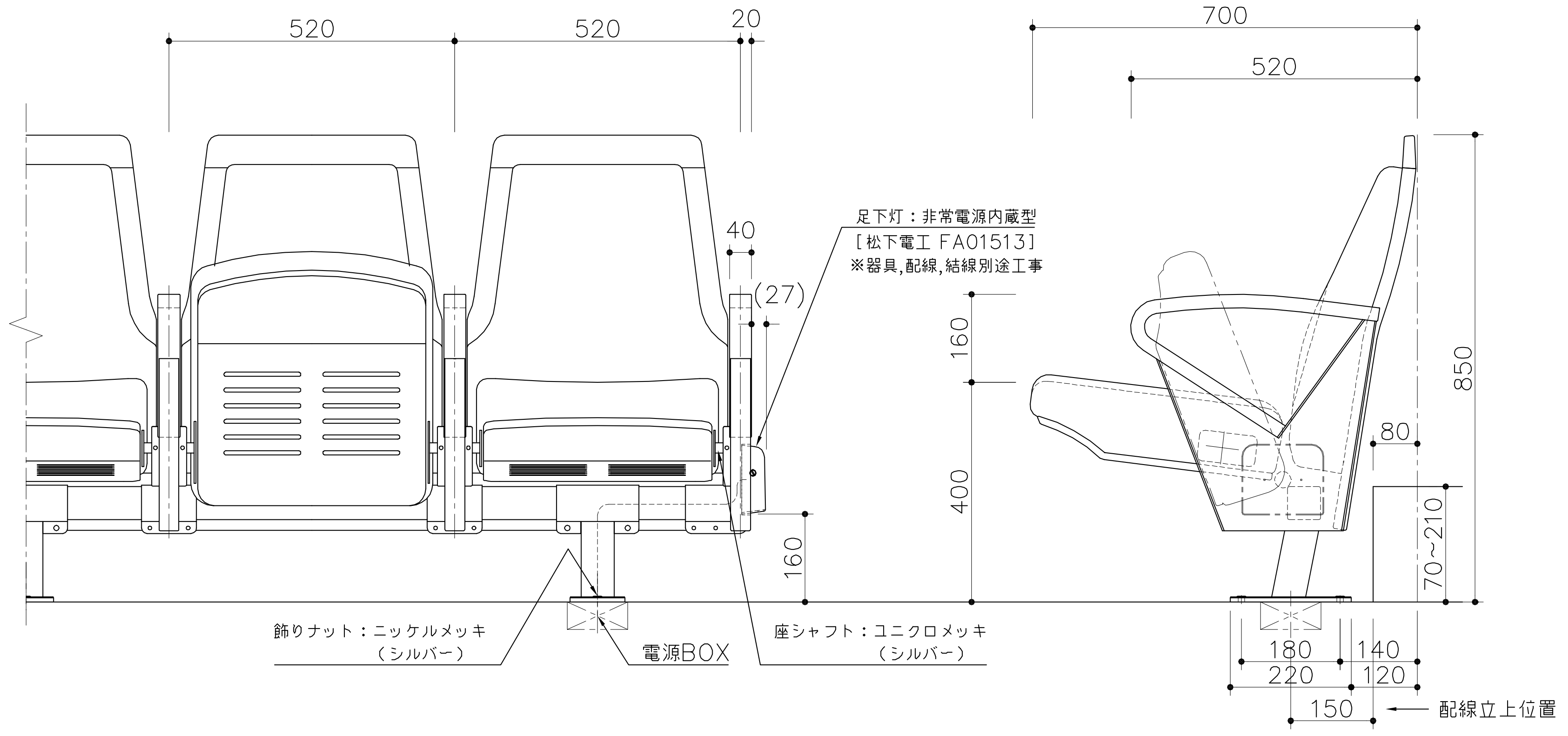
ホール椅子

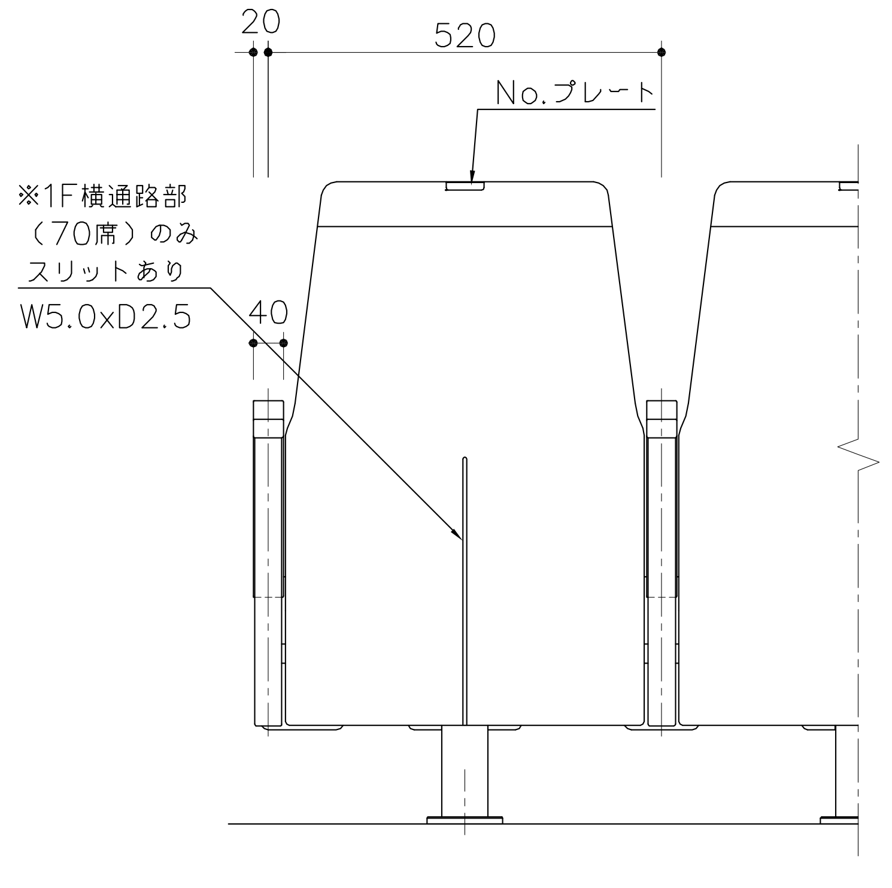
図面番号	図面名称	縮尺
CH-00	中表紙【ホール椅子】	-
CH-01	TS特注品_姿-1	1/10
CH-02	TS特注品_姿-2	1/10
CH-03	TS特注品_配1F	1/60
CH-04	TS特注品_配2F	1/60



1F 固定席：ローバックタイプ

上張り	FABRIKO ミックスチューン
背	背裏化粧板：t25ブナ成形合板　表面カバ突板練付　ポリウレタン塗装
	上部：カバ無垢材　ポリウレタン塗装
	パッド芯材：t5.5成形合板　ウレタン入り張包み
座	座裏化粧板：t13ブナ成形合板　表面カバ突板練付　ポリウレタン塗装
	吸音用穴加工付（（10x140）x12ヶ）
	パッド部：座枠／t5.5成形合板＋木枠組
	□19xt1.6角鋼管フレーム　プルマフレックス張り　ウレタン入り張包み
	座自動緩起立機構付
肘	肘掛：t25ブナ成形合板　表面カバ突板練付（両面貼り）　ポリウレタン塗装
	肘枠：木枠組　表面カバ突板練付　ポリウレタン塗装
脚	連結管：□60xt2.3角鋼管　合成樹脂焼付塗装
	支柱：φ60.5xt3.2鋼管　合成樹脂焼付塗装
	ブラケット，クランプ：t4.5、3.2鋼板プレス　合成樹脂焼付塗装
	ベース：t9鋼板　合成樹脂焼付塗装
	床に固定
	※木部塗装色：指定色
	※金物塗装色：KC−900（シャフト受け等金物全て）
	床固定用飾りナット：ニッケルメッキ（シルバー）
	座シャフト：ユニクロメッキ（シルバー）



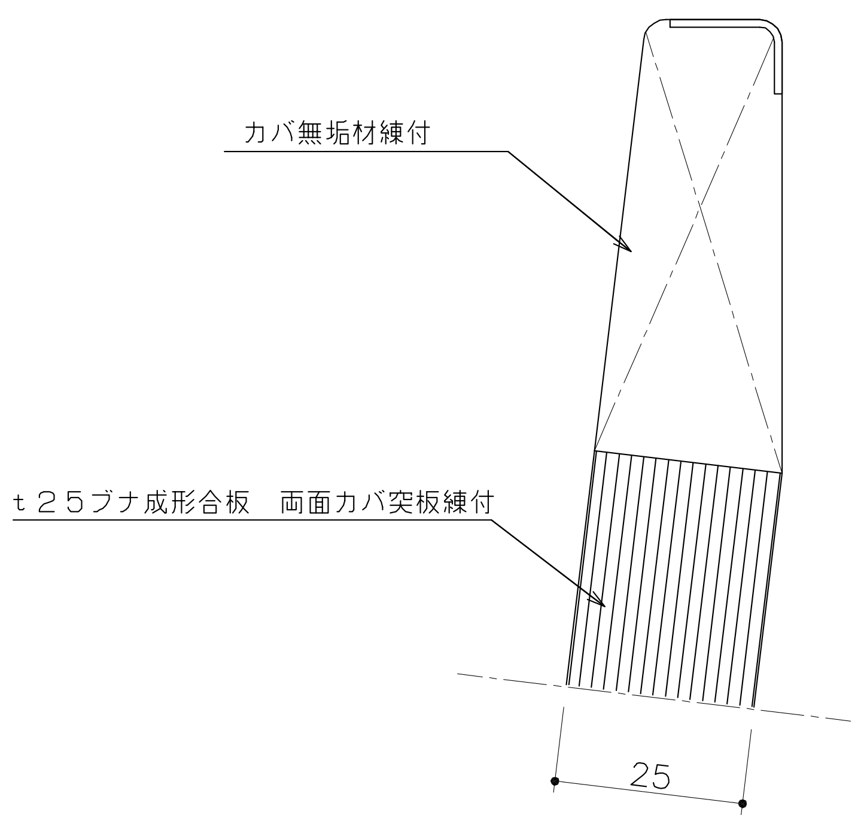


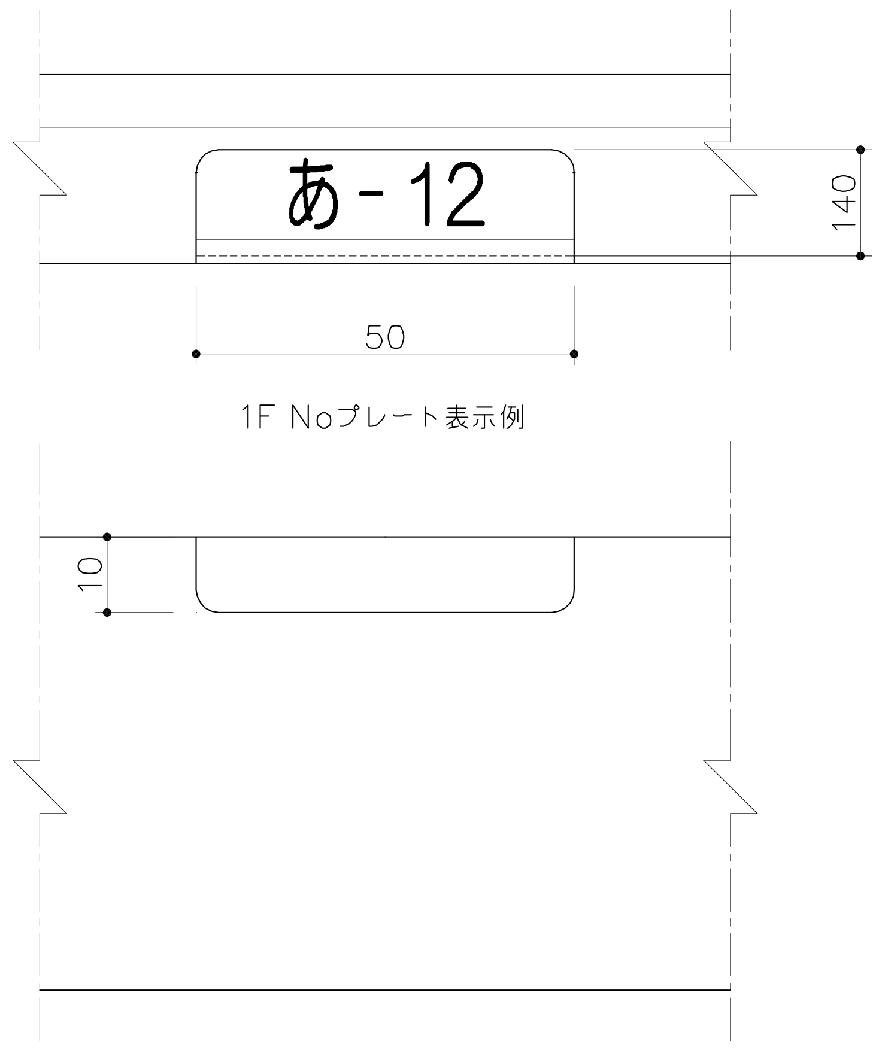
〖背裏面〗

【ナンバープレート詳細図　S=1/1】

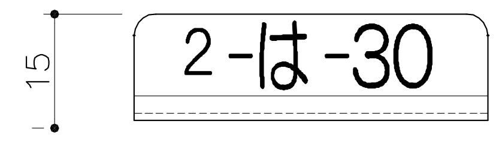
材質：ｔ１。０ステンレス板加工品（ヘアライン仕上げ）
文字：エッチング処理　色差し
書体：丸ゴシック（黒色）
取付：掘り込み部に両面テープにて接着

センター断面図





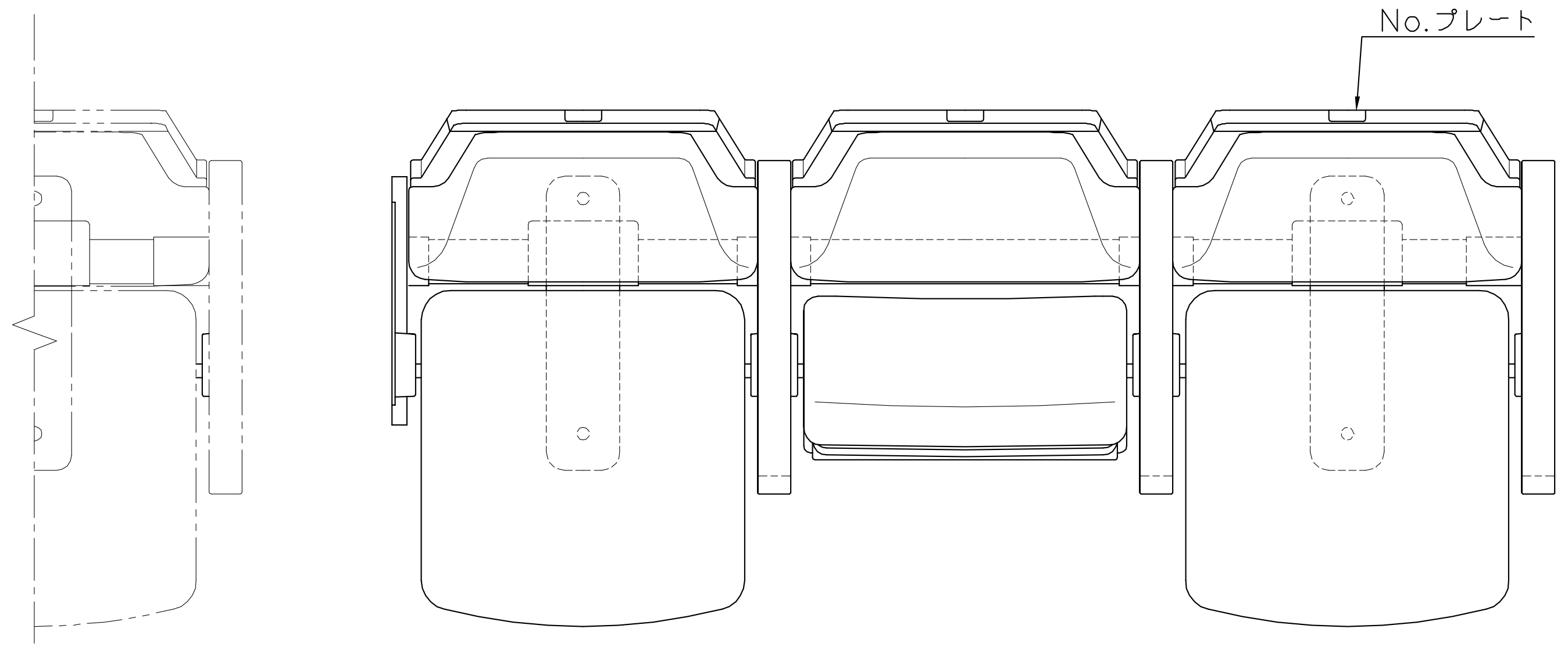
1F Noプレート表示例

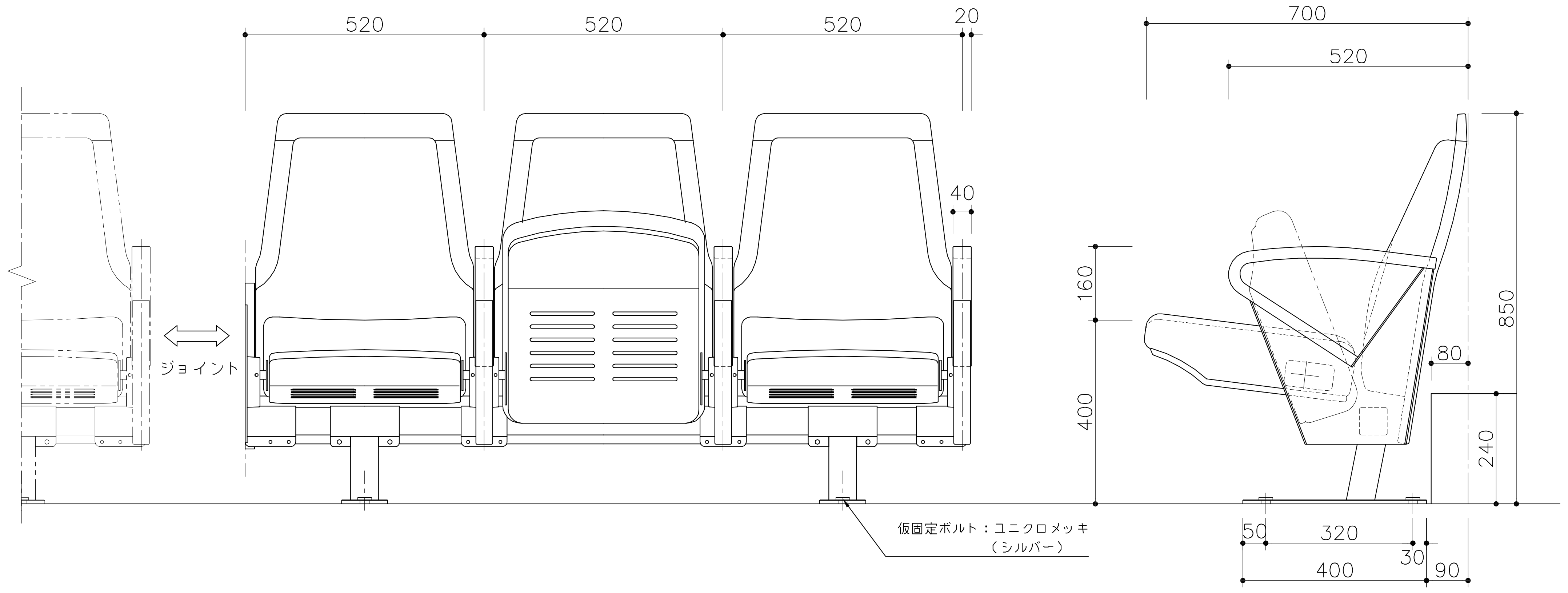


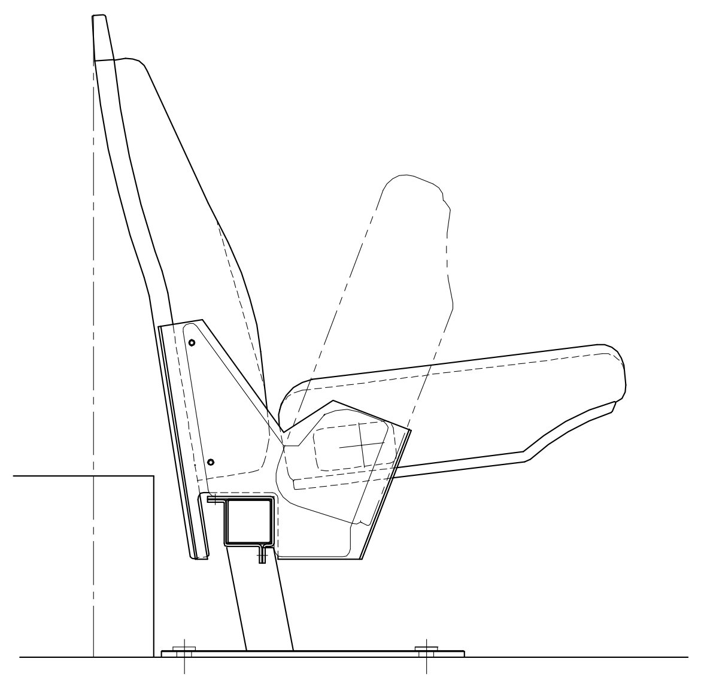
2F Noプレート表示例

移動席

※仕様は固定席に準ずる。



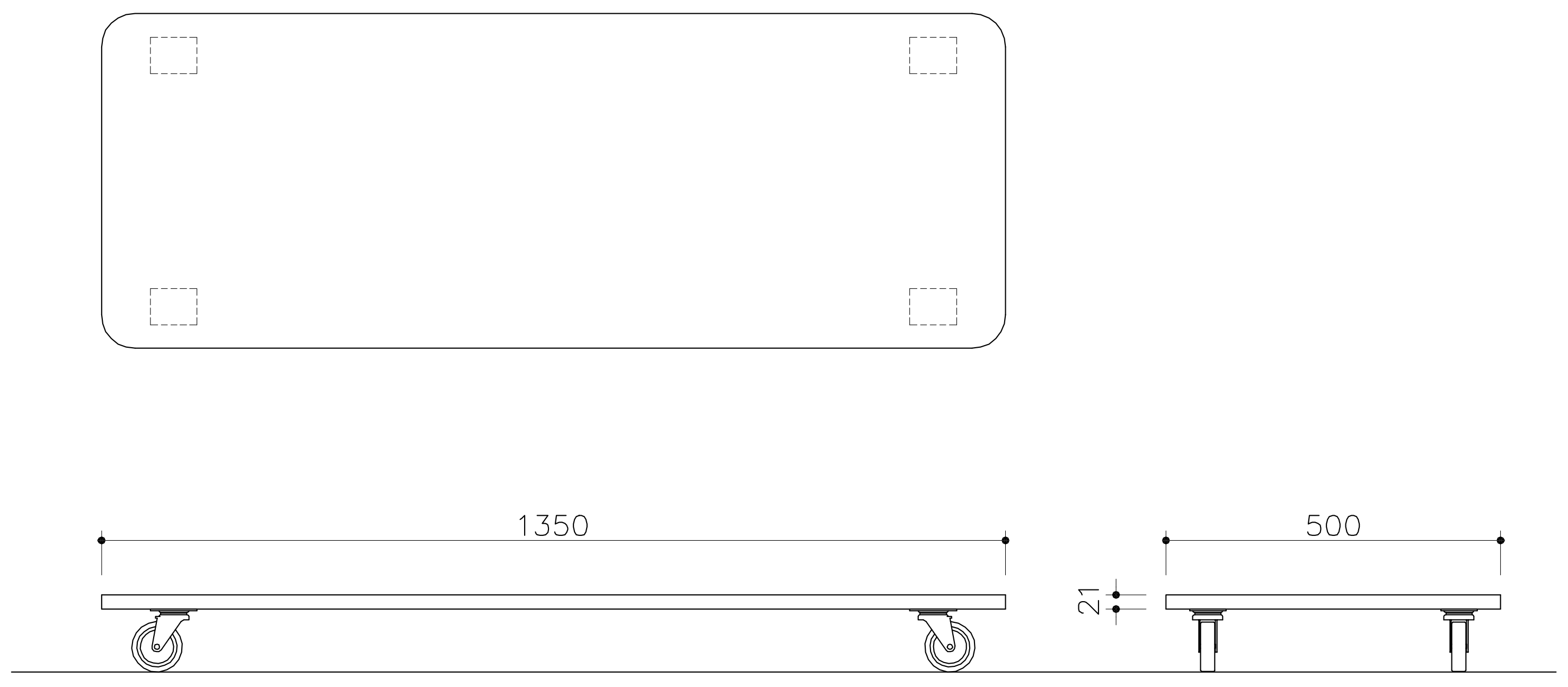




〖ジョイント肘無肘〗

移動席用台車

t21ラワン合板　φ75自在キャスター



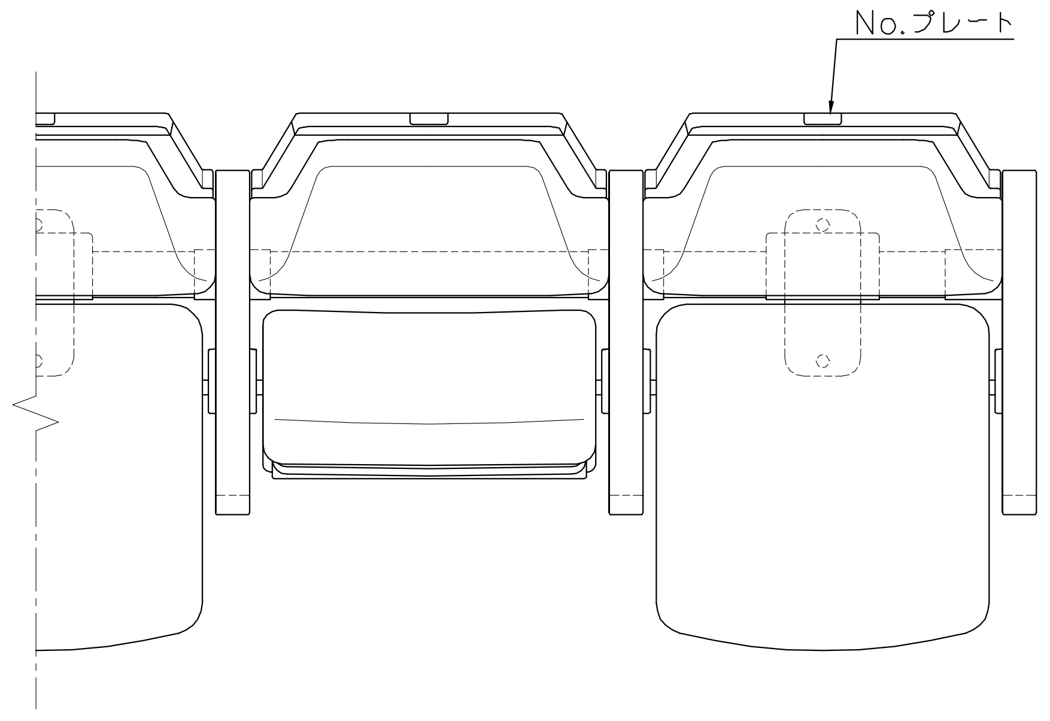
△ 決定仕様追記　足下灯追記	07.04.09	斉藤．古田．			．．
△ 見本品に合わせて再作図	07.02.15	斉藤．古田．			．．
△		．．			．．
△ 1人掛移動席削除,移動席用台車追記,移動席３人掛に変更	05.10.07	武中．斉藤．	Noプレート表示内容訂正	07.06.18	古田．．
△ 移動席ベース補強削除　NO.プレート真ちゅう	05.09.30	斉藤．古田．	背上部無垢材形状変更	07.05.21	日比野．古田．

特注品：霧島（H09385）
名取（H10001）参照

Q:\設計部\A申請\案件申請\H10001−H10500\H10097\H10097−0004G_督_TS特注品_姿−1.dwg

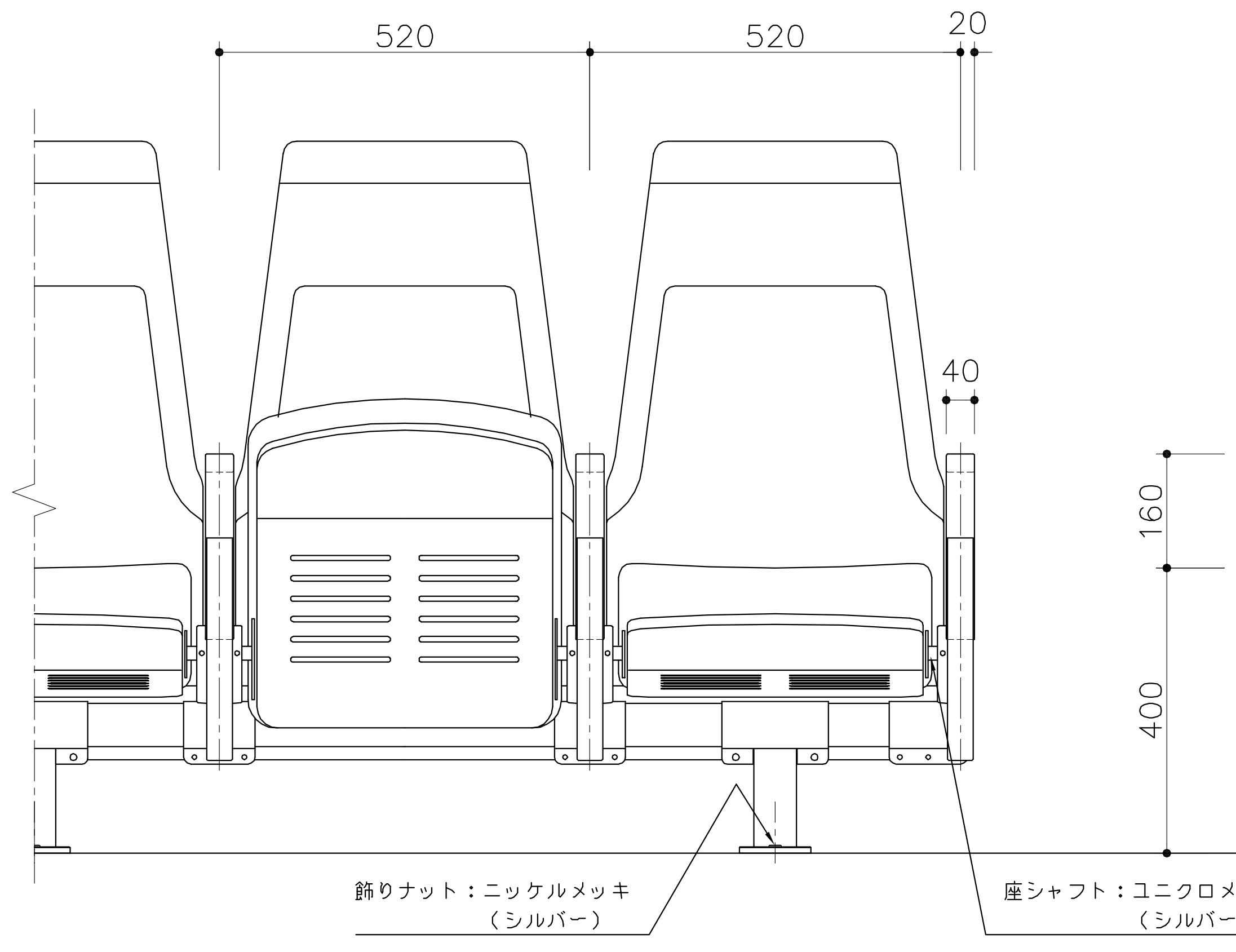
K•O•T•O•B•U•K•I
KOTOBUKI CORPORATION

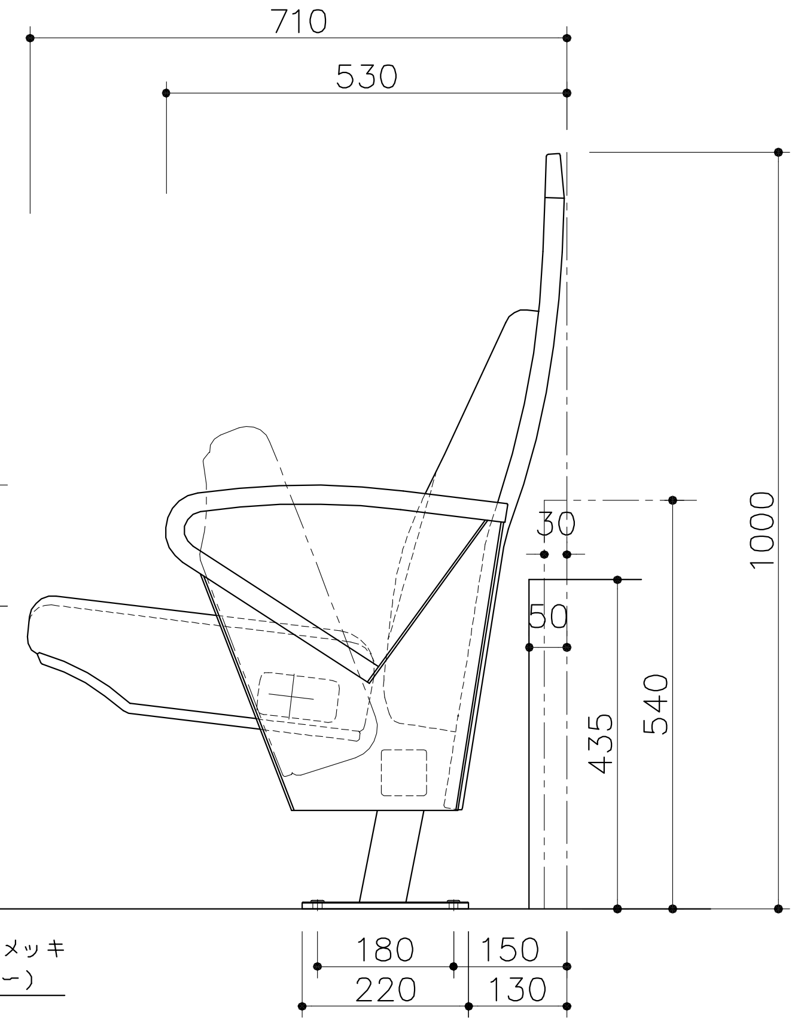
PROJECT	三原市新文化施設	DATE 2007/02/15	SCALE 1/10	FILE.NO. CH-01 .
	TS−特注品	DRAWN 斉藤 / CHECKED 古田	APPROVED .	
	製品姿図−1	DWG.NO. H10097−0004G	1	070819

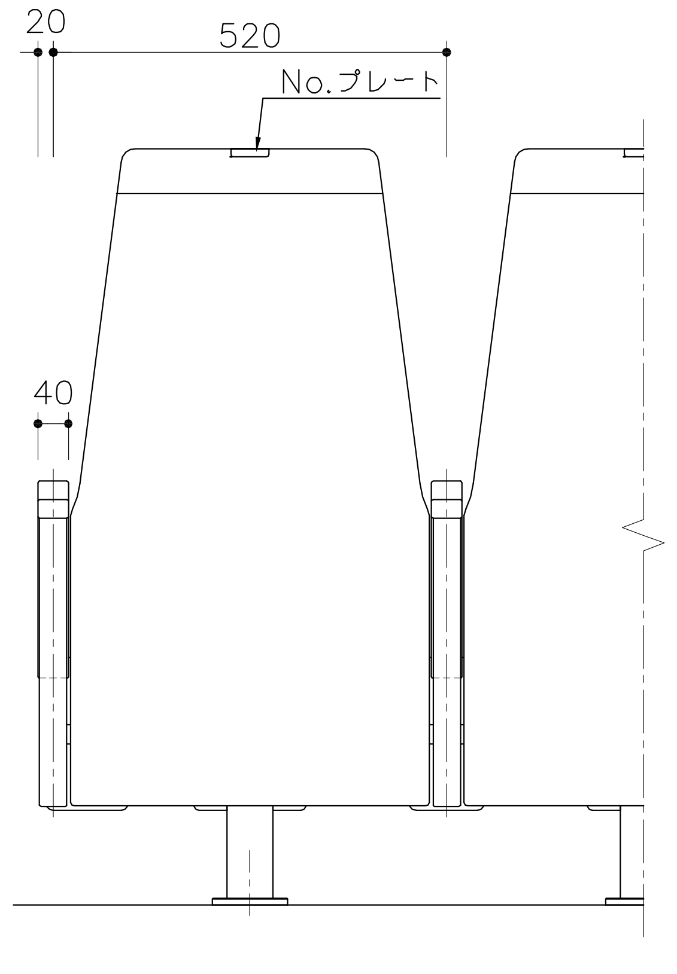


2F 固定席：ハイバックタイプ

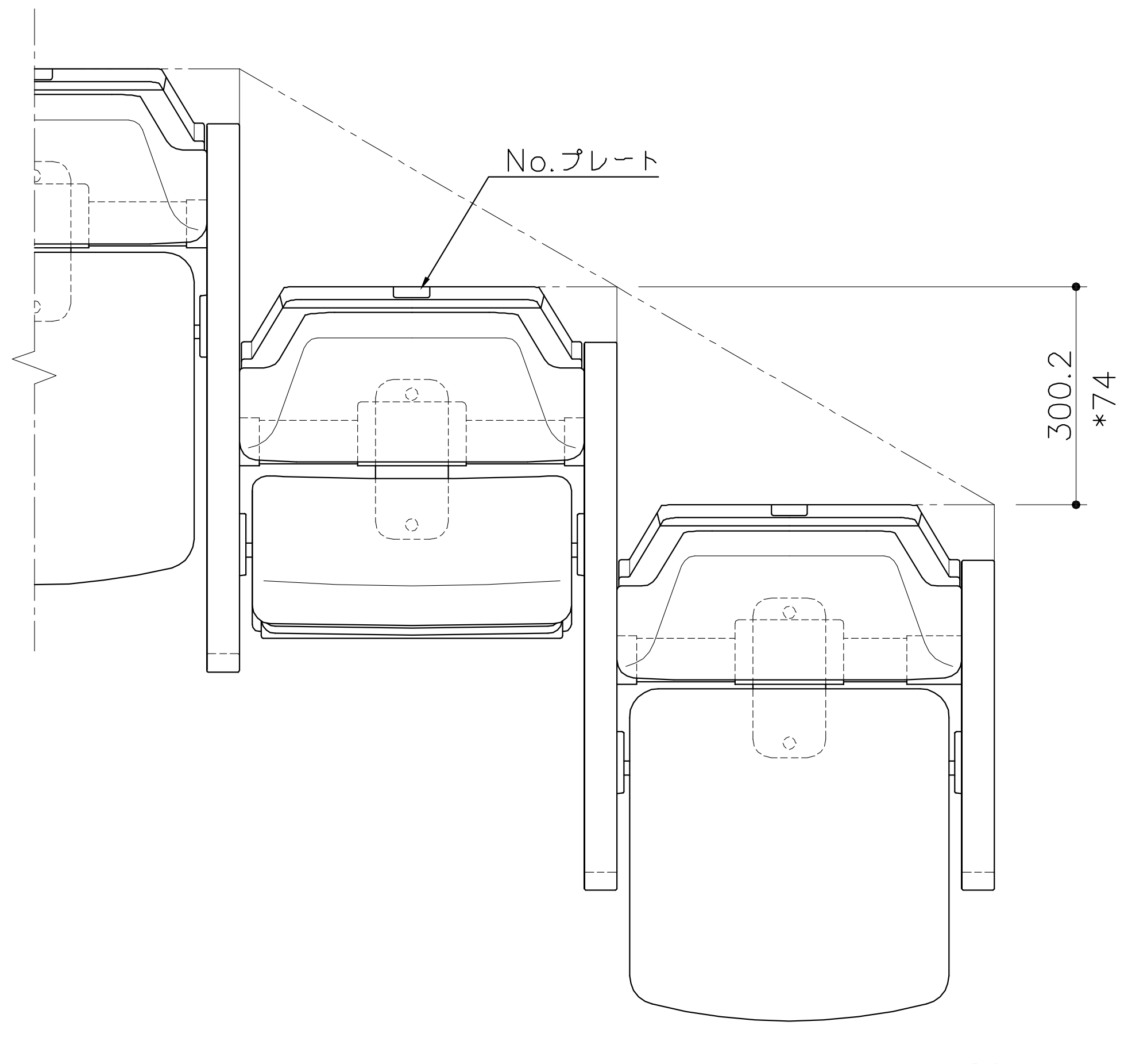
※仕様は1Fローバックタイプに準ずる。





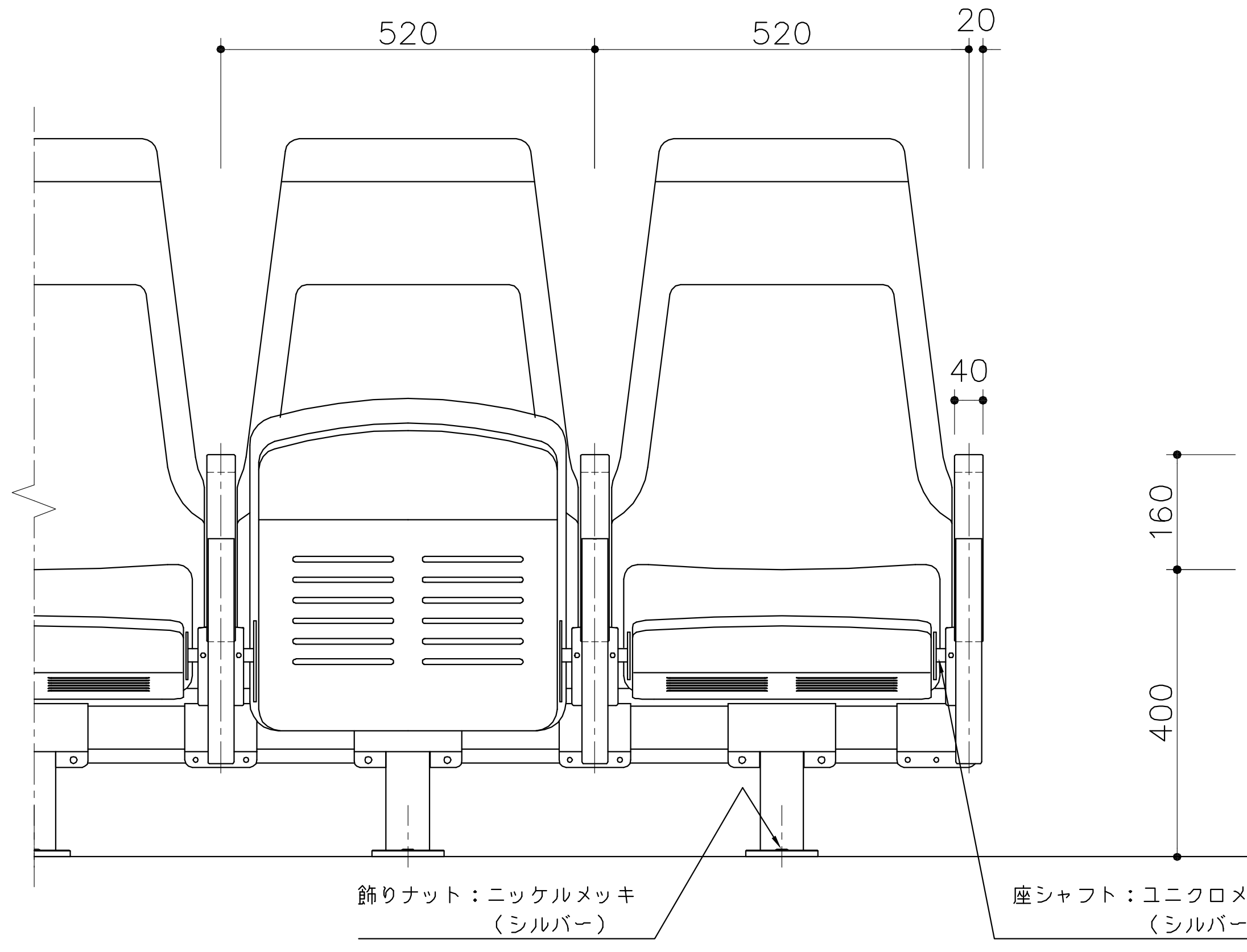


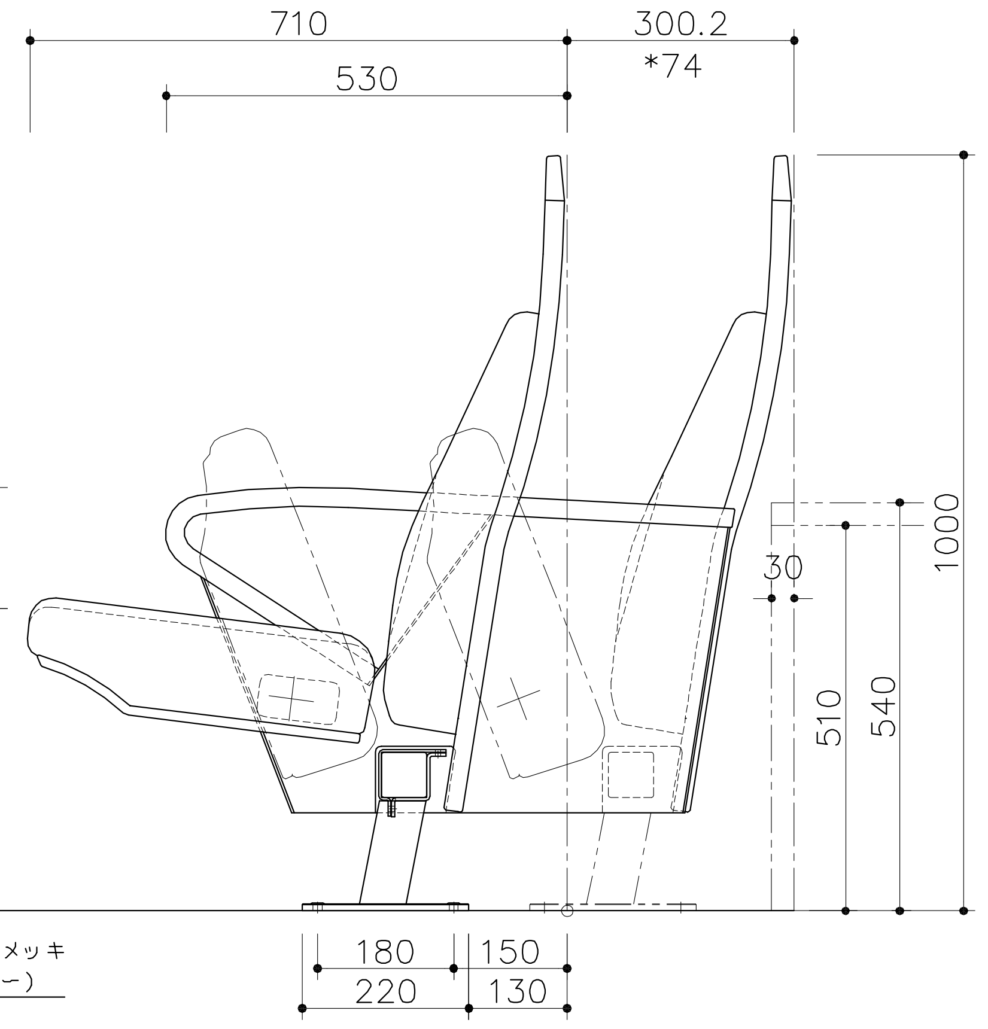
〖背裏面〗

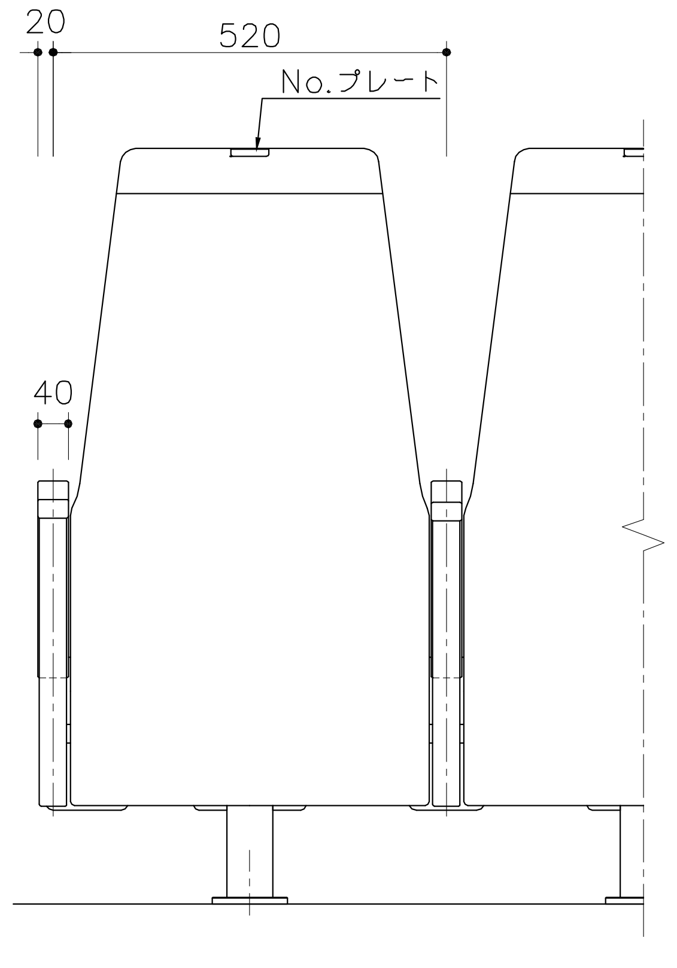


雁行席

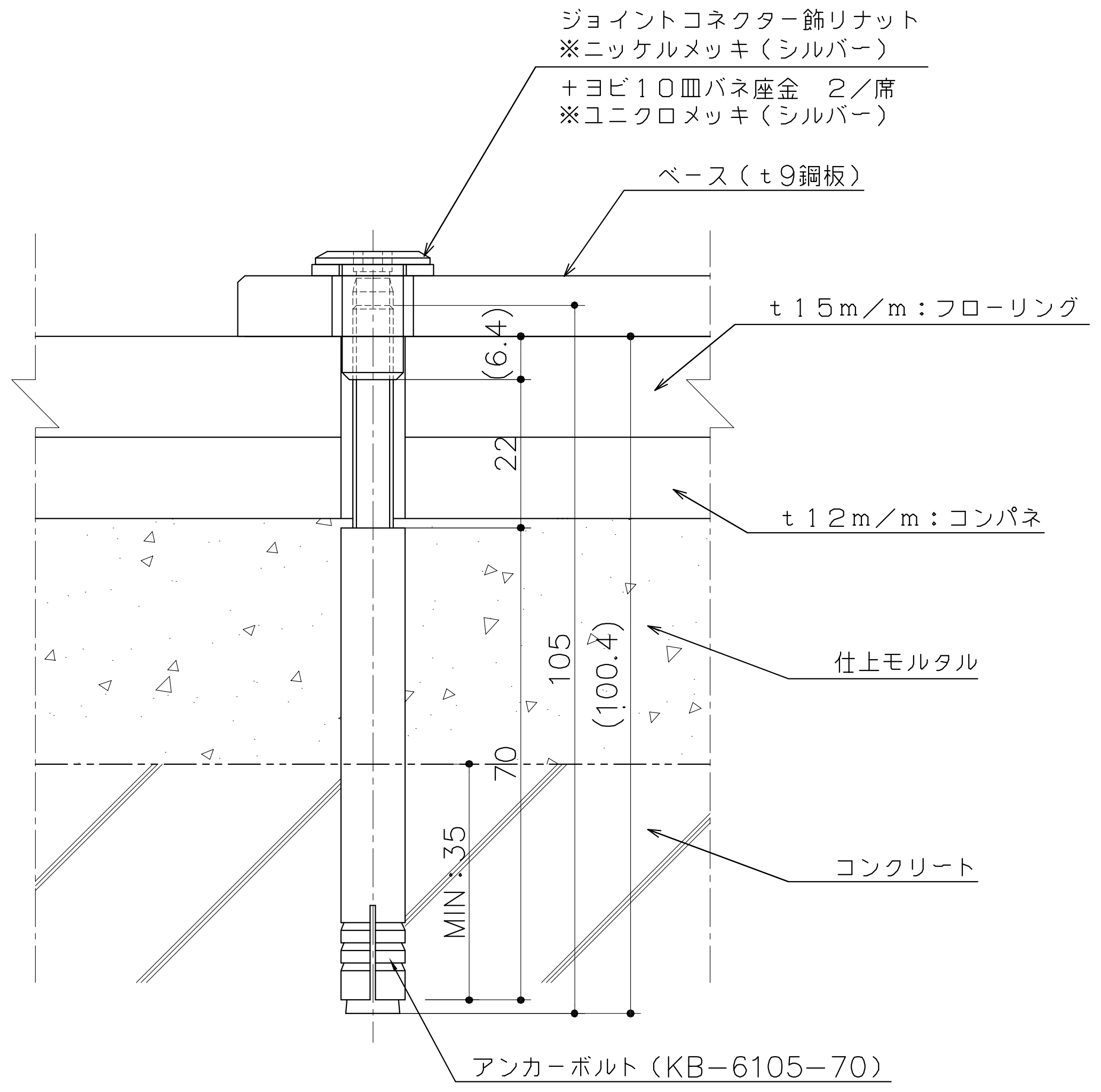
※仕様は1Fローバックタイプに準ずる。



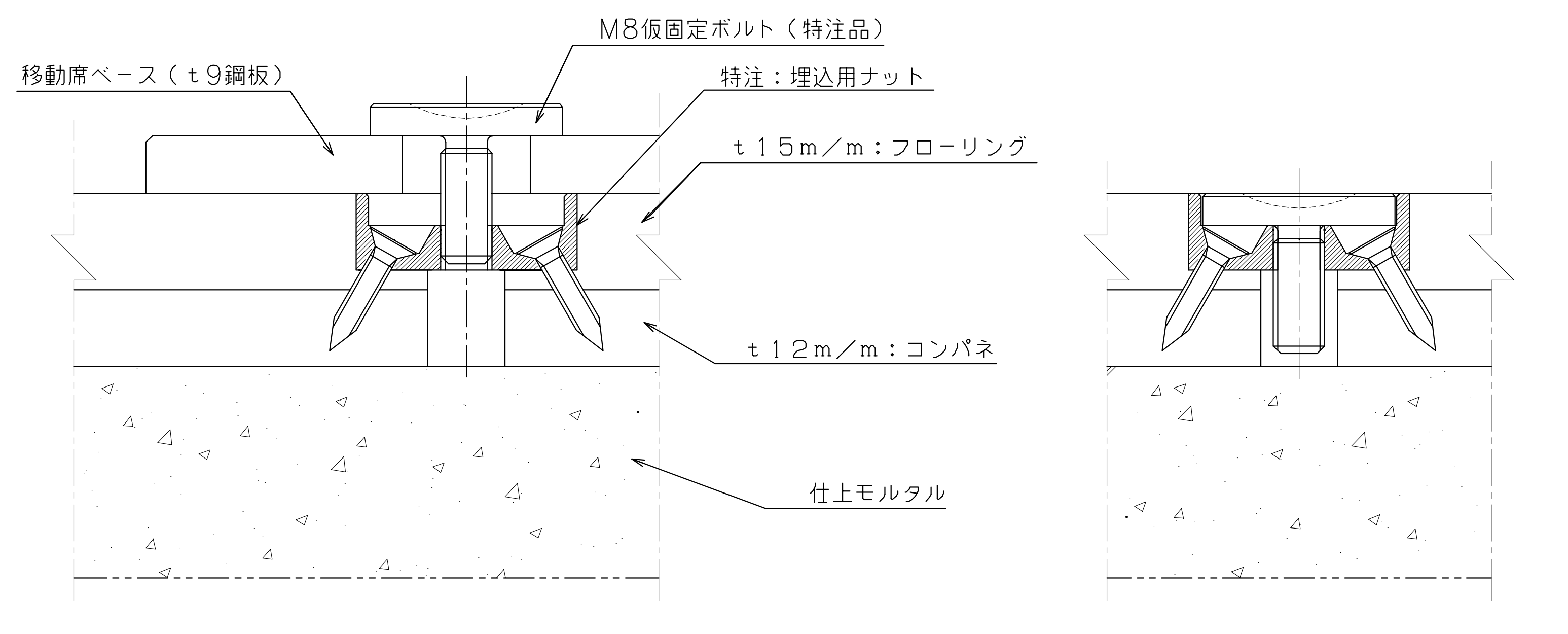




〖背裏面〗



【固定席取付詳細図　S=1/1】



（移動席設置時）

（移動席撤去時）

【移動席取付詳細図　S=1/1】

※床の構成、仕様の最終確認をお願い致します。
現状と異なる場合は取付方法の再設定が必要です。

E			
D			
C 背上部無垢材形状変更	07.05.21	日比野． 古田．	
B 見本品に合わせて再作図	07.02.15	斉藤 ． 古田．	
A 雁行ずれ27.3タイプ削除	05.09.30	斉藤 ． 古田．	

特注品：霧島（H09385）
名取（H10001）参照

Q:\設計部\A申請\物件申請\H10001~H10500\H10097\H10097-0005C_姿_TS特注品_姿-2.dwg

K•O▲T■O•B▲U■K•I
KOTOBUKI CORPORATION

PROJECT 三原市新文化施設
TS－特注品
製品姿図－2

DATE 2007/02/15
SCALE 1/10
DRAWN 斉藤
CHECKED 古田
APPROVED .
DWG.NO. H10097－0005C
FILE.NO. CH-02 .
1 070819

SA/RA床グリル	開口サイズ	数量
A	W180,L370	8
B	W205,L370	8
C	W223,L370	2
D	W225,L370	6
E	W260,L370	2
F	W135,L620	2
G	W180,L620	6
H	W205,L620	12
I	W216.5,L620	84
J	W223,L620	4
K	W225,L620	82
L	W260,L620	4

⊗ 足下灯位置を示す　24ヶ所

▲ 背裏スリットあり席を示す　70席

固定席（ローバック）	683席
移動席	170席
1F　席数	853席
2F　席数	356席
総席数	1209席

E	新データにて床グリル再配置	07.05.28	佐藤 . 斉藤 .
D	先方指示補助段削除	07.04.27	斉藤 . 古田 .
C	足下灯位置追記	07.04.09	斉藤 . 古田 .
B	新データにて再配置	07.03.23	斉藤 . 古田 .
A	移動席を2・3人掛のみとする。移動席配置センター対称とする。	05.10.07	武中 . 斉藤 .
F	背裏スリット席位置指示	07.07.27	斉藤 . 古田 .

K•O•T•O•B•U•K•I
KOTOBUKI CORPORATION

PROJECT	三原市新文化施設
	TS－特注品
	ホール客席椅子配置図－1F
DATE	2005/09/30
SCALE	1/60
DRAWN	斉藤
CHECKED	古田
APPROVED	.
DWG.NO.	H10097－0006F
FILE.NO.	CH-03 .

1 070819

SA/RA床グリル	開口サイズ	数量
▦ A	W180,L370	16
▦ G	W180,L620	10
▦ H	W205,L620	59
▦ K	W225,L620	13
▦ N	W230,L620	4
▦ M	W250,L620	6

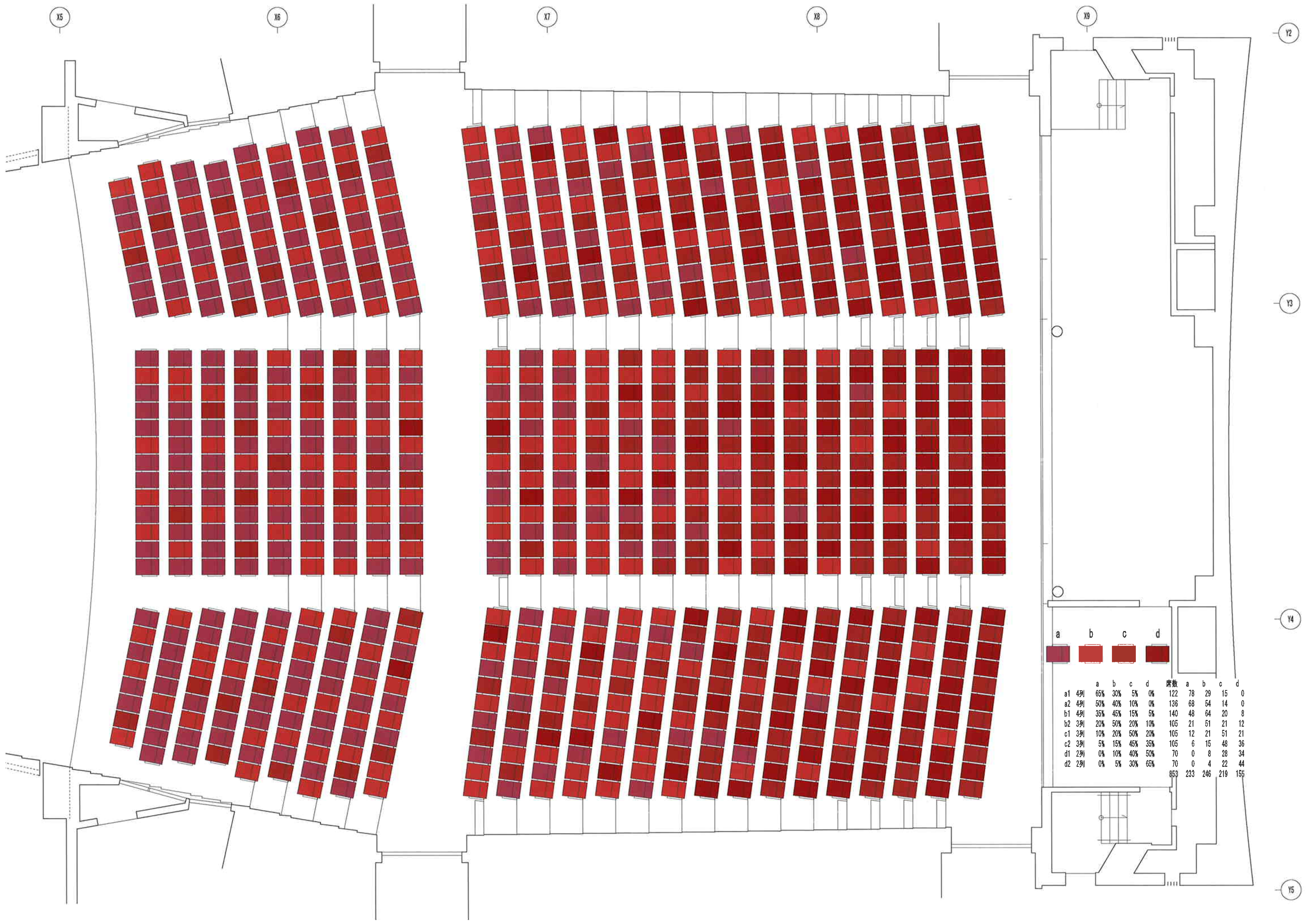
	固定席（ハイバック）	324席
	雁行席（ズレ幅74）	18席
	（ズレ幅300.2）	14席
	2F席数	356席

E			.	.
D	新データにて床グリル再配置、脚位置再配置	07.05.28	佐藤 .	斉藤 .
C	新データに差替え	07.04.04	斉藤 .	古田 .
B	新データにて再配置	07.03.23	斉藤 .	古田 .
A	雁行ずれ27.3タイプ削除 300.2タイプ部法規順守軀体に修正	05.09.30	斉藤 .	古田 .

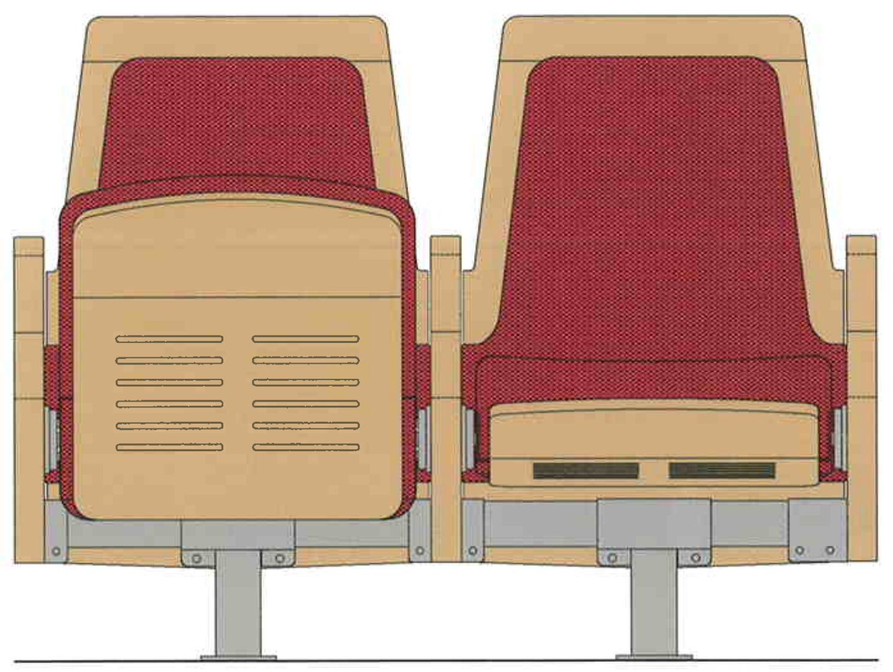
K•O▲T■O•B▲U■K•I
KOTOBUKI CORPORATION

PROJECT 三原市新文化施設
TS－特注品
ホール客席椅子配置図－2F

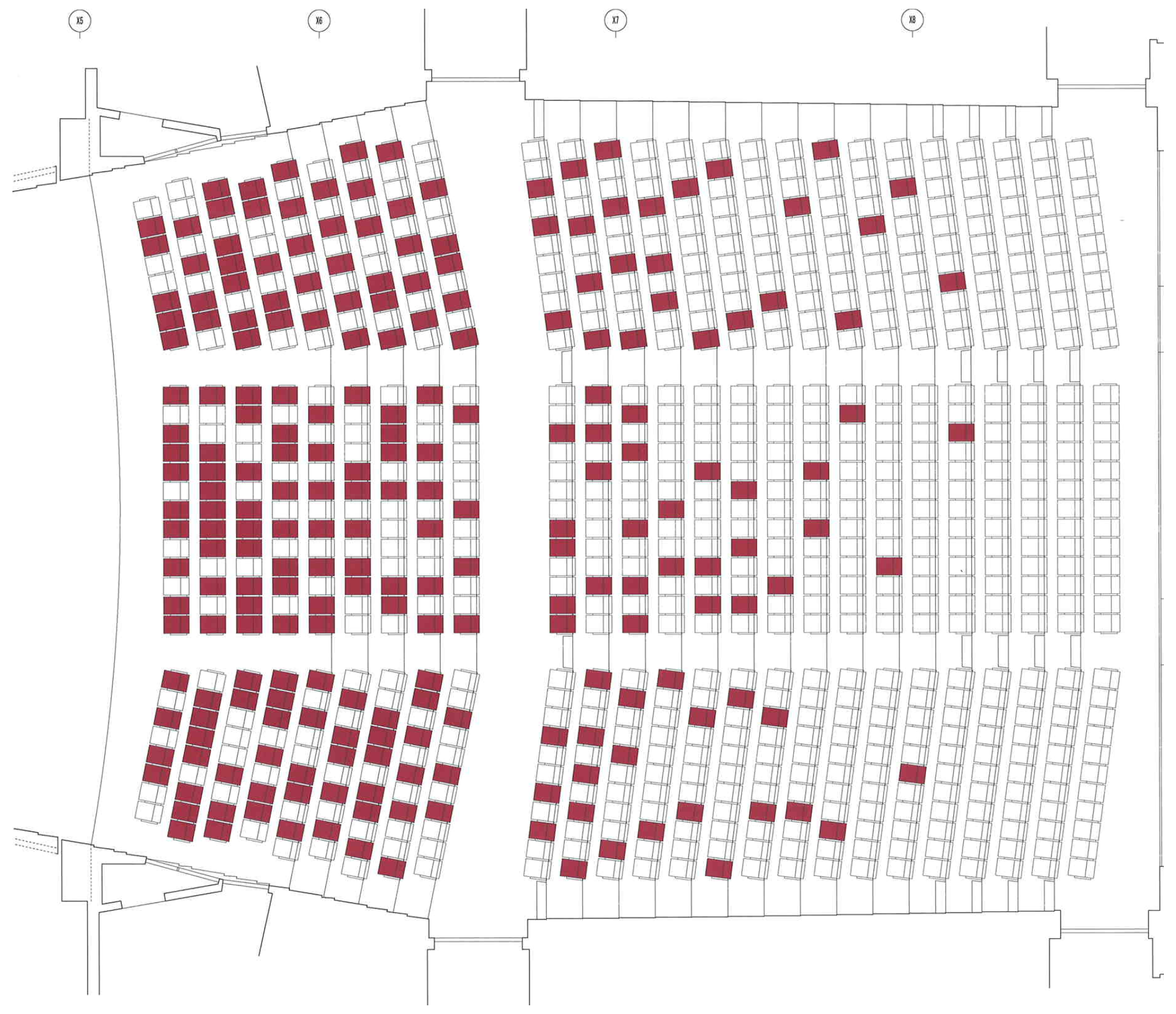
DATE		SCALE	FILE.NO.
2005/09/21		1/60	CH-04 .
DRAWN 斉藤	CHECKED 古田	APPROVED .	
DWG.NO. H10097－0007D		1	070819

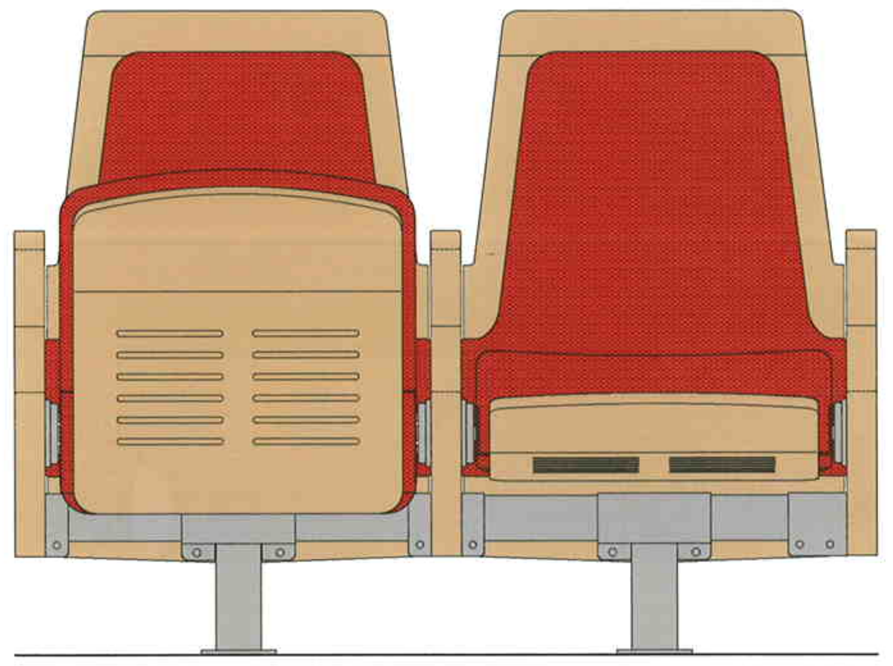


		a	b	c	d	席数	a	b	c	d
a1	4列	65%	30%	5%	0%	122	78	29	15	0
a2	4列	50%	40%	10%	0%	136	68	54	14	0
b1	4列	35%	45%	15%	5%	140	48	64	20	8
b2	3列	20%	50%	20%	10%	105	21	51	21	12
c1	3列	10%	20%	50%	20%	105	12	21	51	21
c2	3列	5%	15%	45%	35%	105	6	15	48	36
d1	2列	0%	10%	40%	50%	70	0	8	28	34
d2	2列	0%	5%	30%	65%	70	0	4	22	44
						853	233	246	219	155

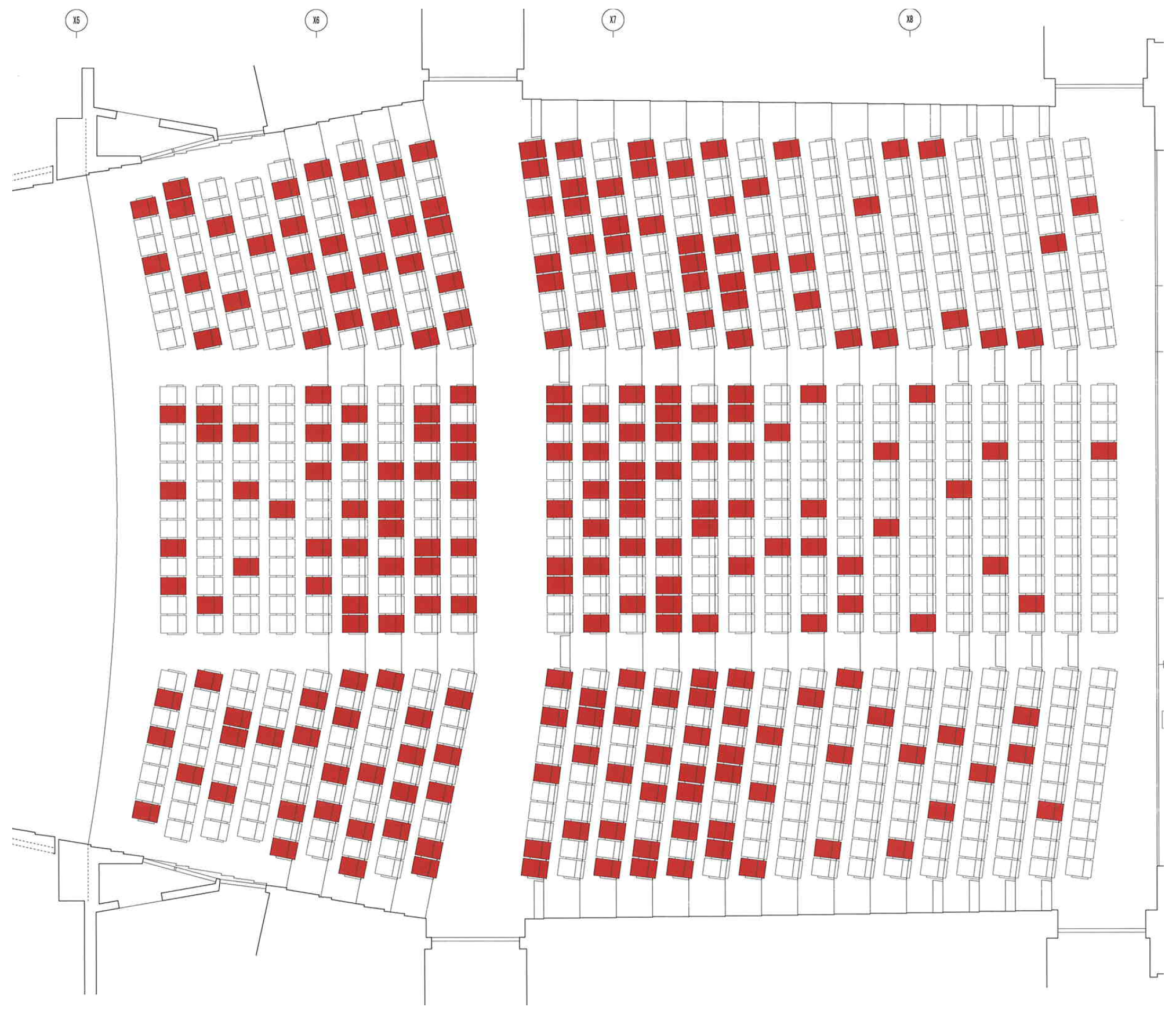


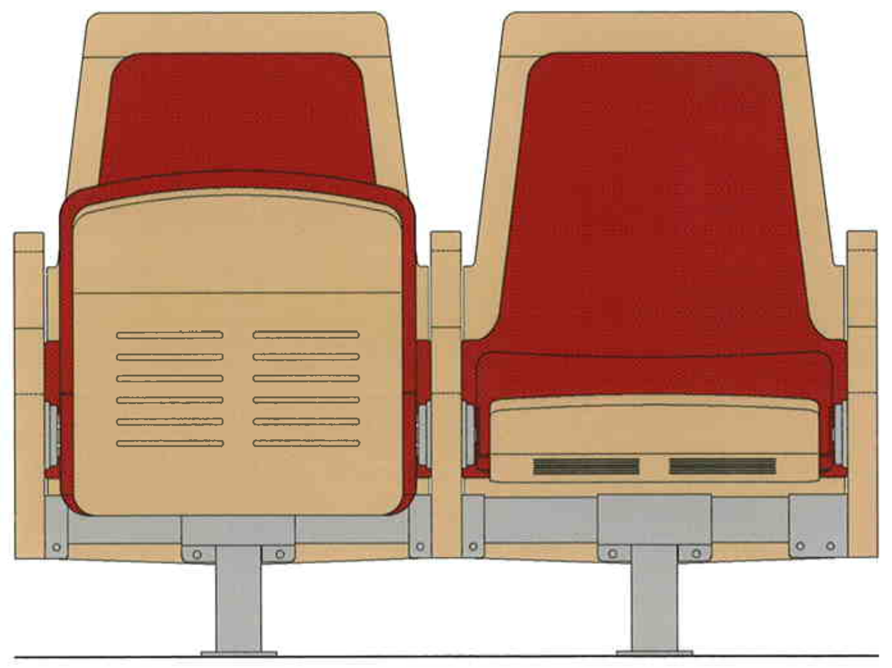
Fiore (フィオーレ) : a 277席



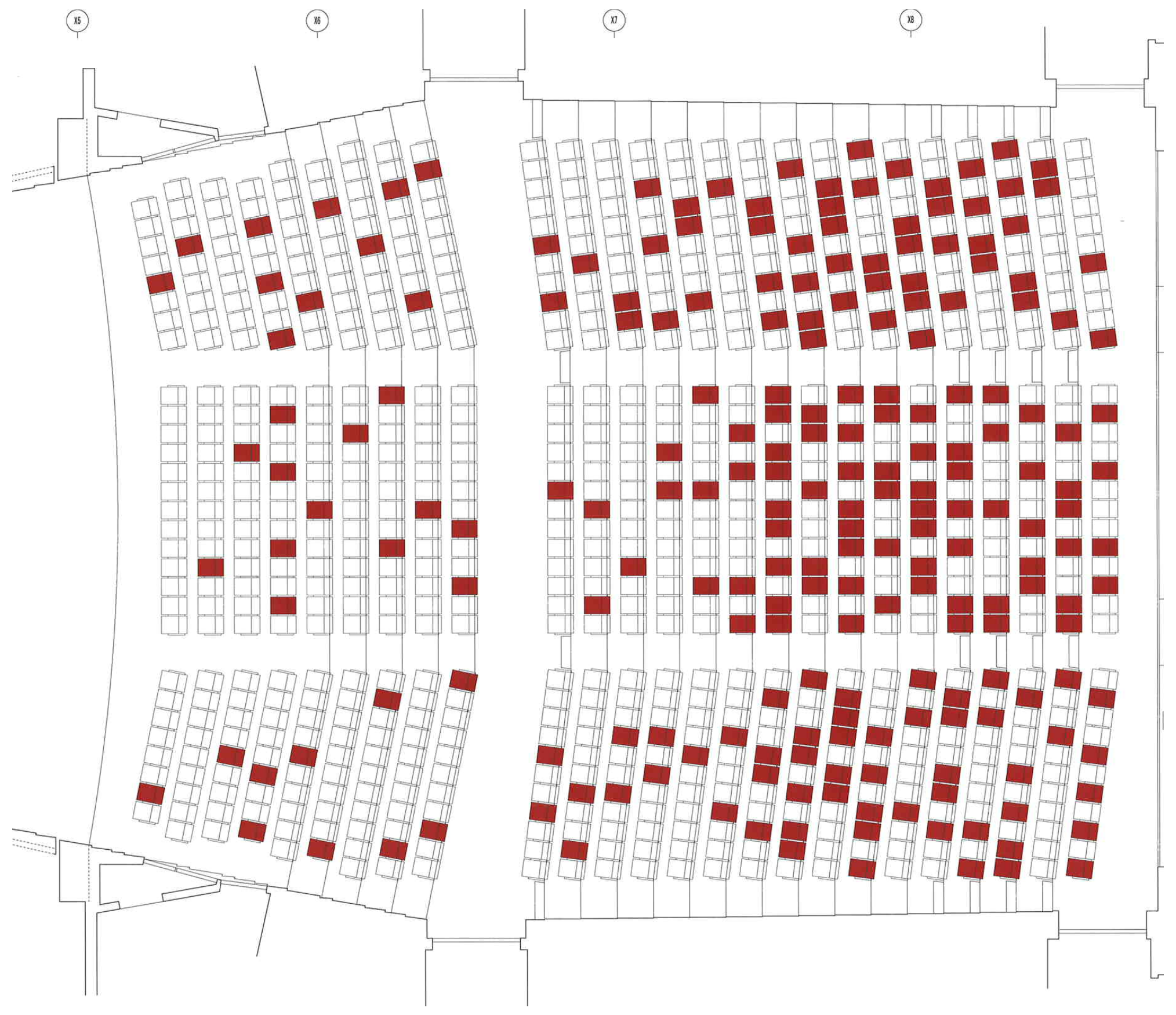


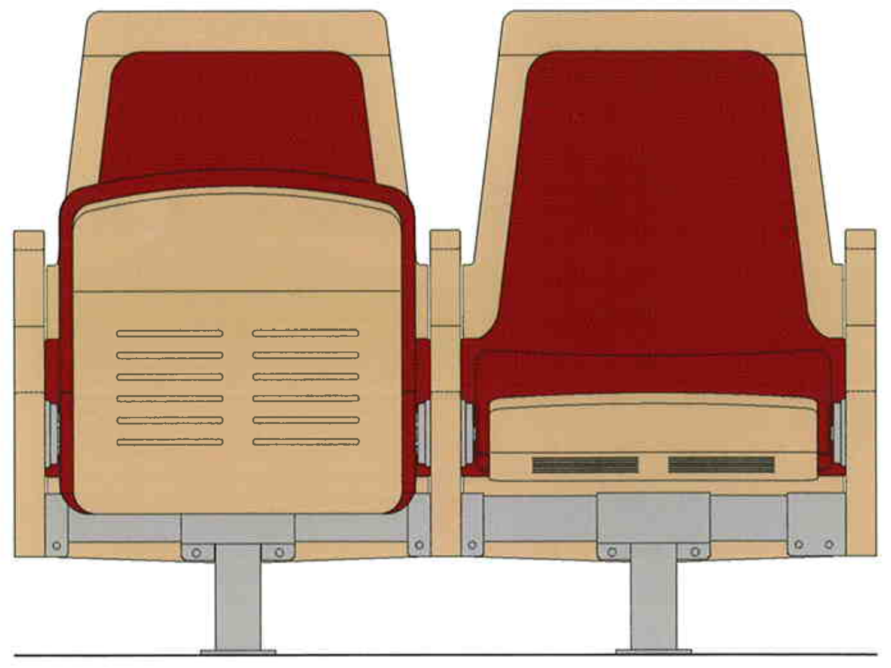
Maple Red (メープル レッド) : b 334席



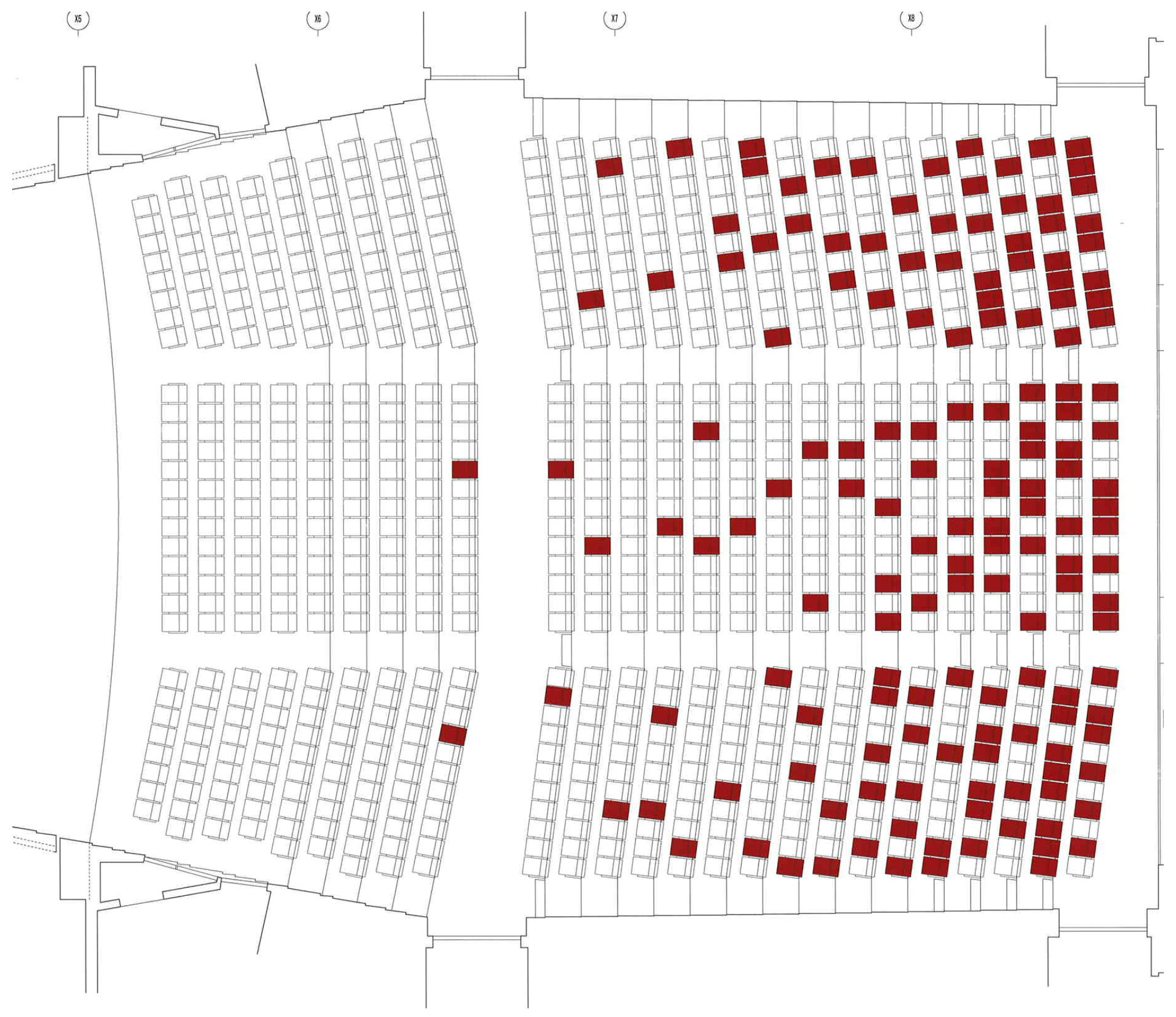


Rosette (ロゼッタ) : c 344席





Calm Red (カーム レッド) : d 254席



工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（ホール椅子工事）

株式会社　槇総合計画事務所

一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦

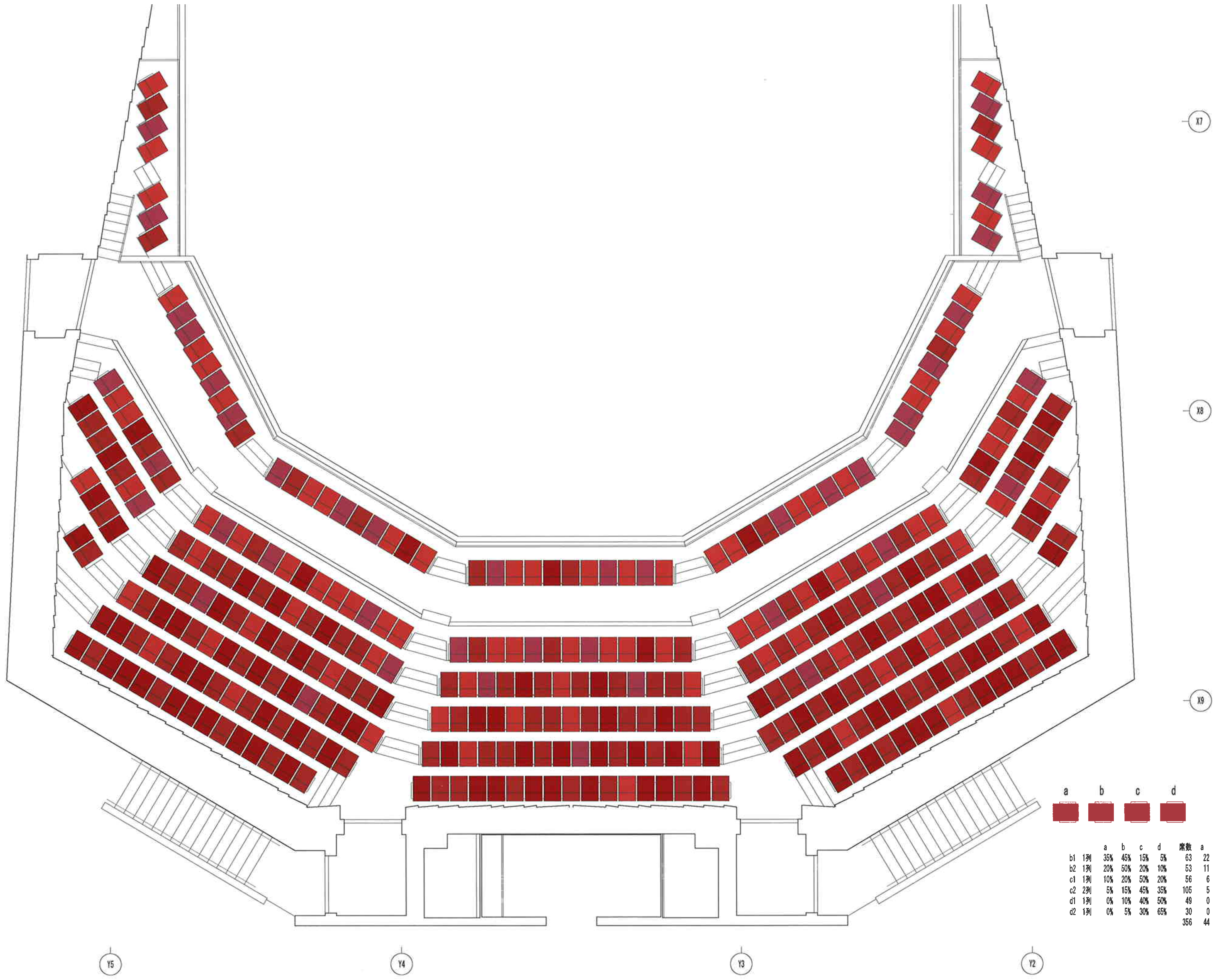
年月日
2007年 3月

図面名称
張地指示図1

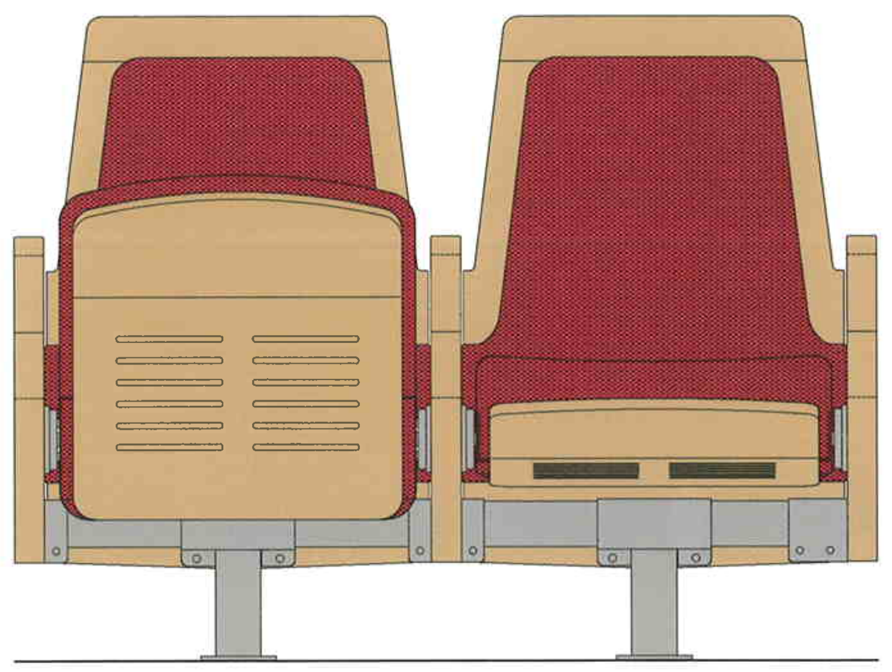
縮尺
1:20
1:120,1:240

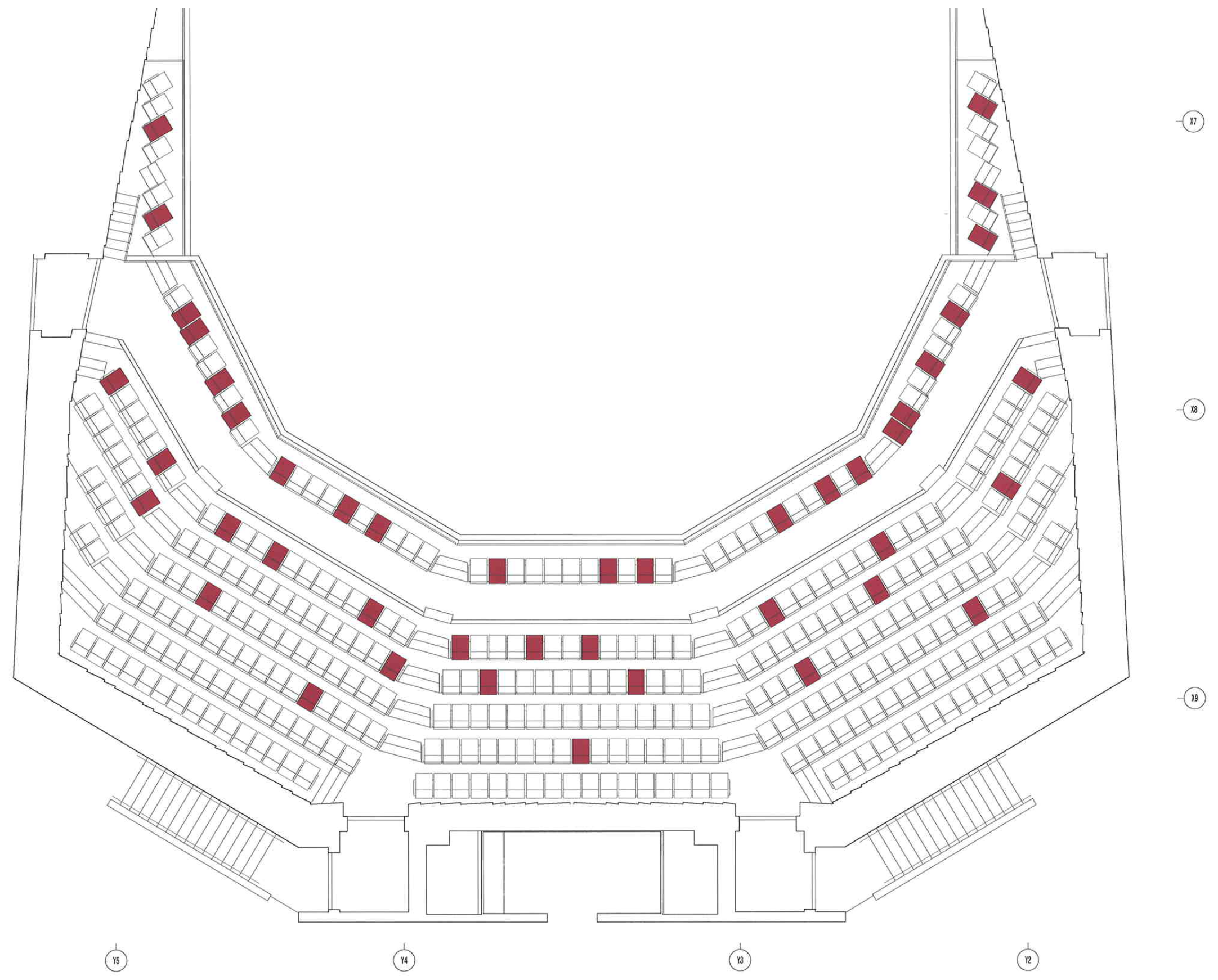
ファイル名称
CH05張地指示図1

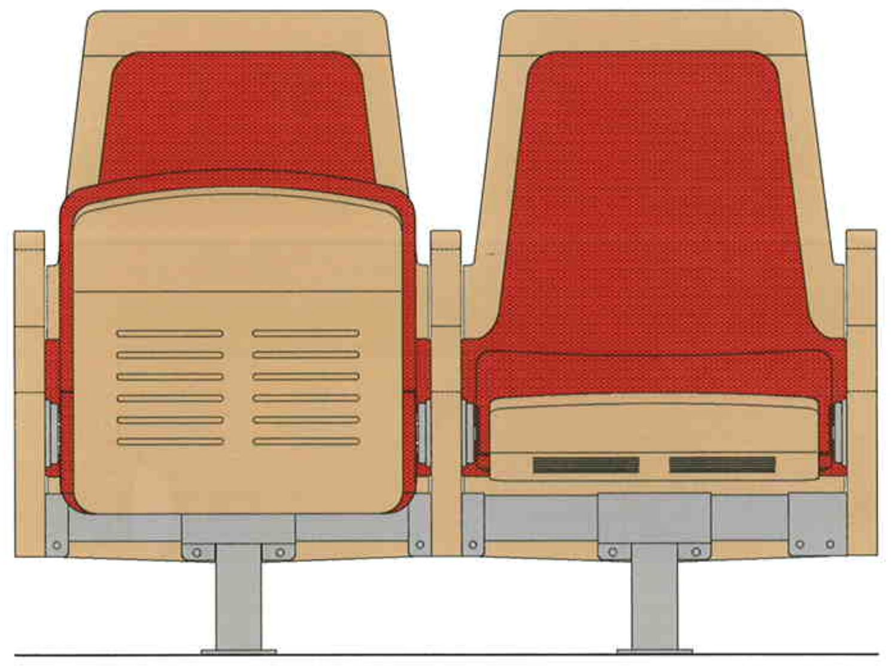
図面番号
CH−05

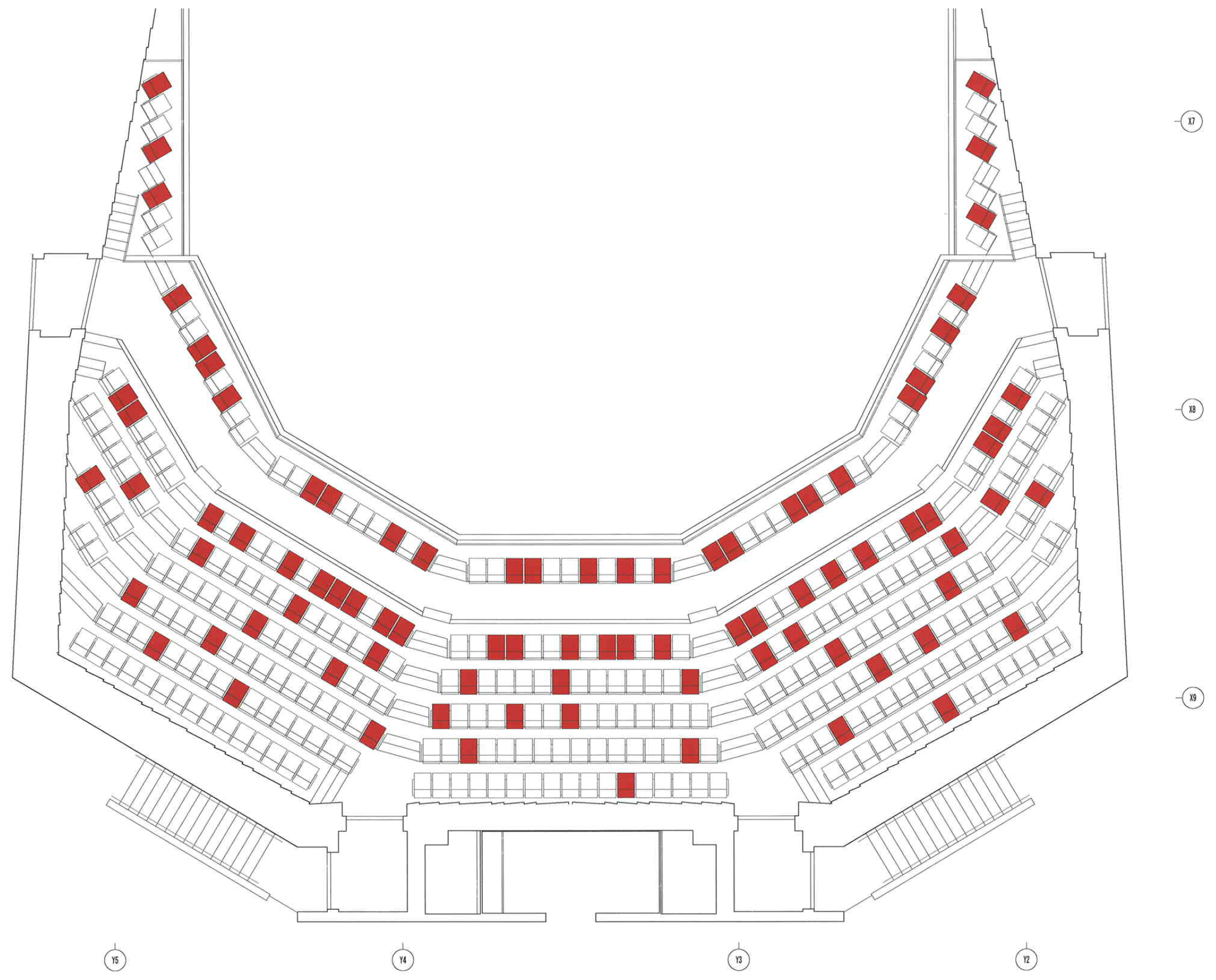


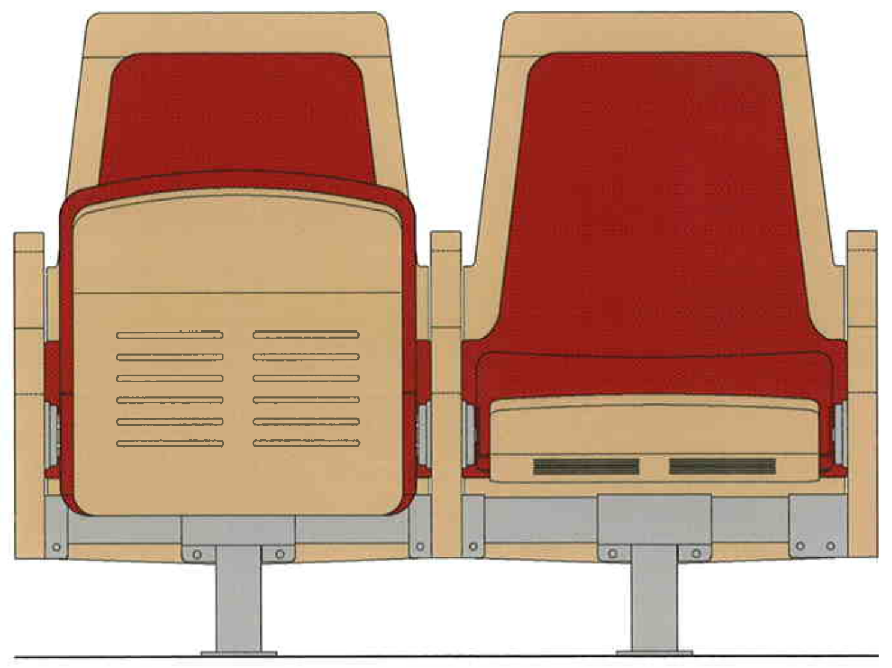
		a	b	c	d	席数	a	b	c	d
b1	1列	35%	45%	15%	5%	63	22	28	10	3
b2	1列	20%	50%	20%	10%	53	11	26	11	5
c1	1列	10%	20%	50%	20%	56	6	11	28	11
c2	2列	5%	15%	45%	35%	105	5	16	47	37
d1	1列	0%	10%	40%	50%	49	0	5	20	24
d2	1列	0%	5%	30%	65%	30	0	2	9	19
						356	44	88	125	99

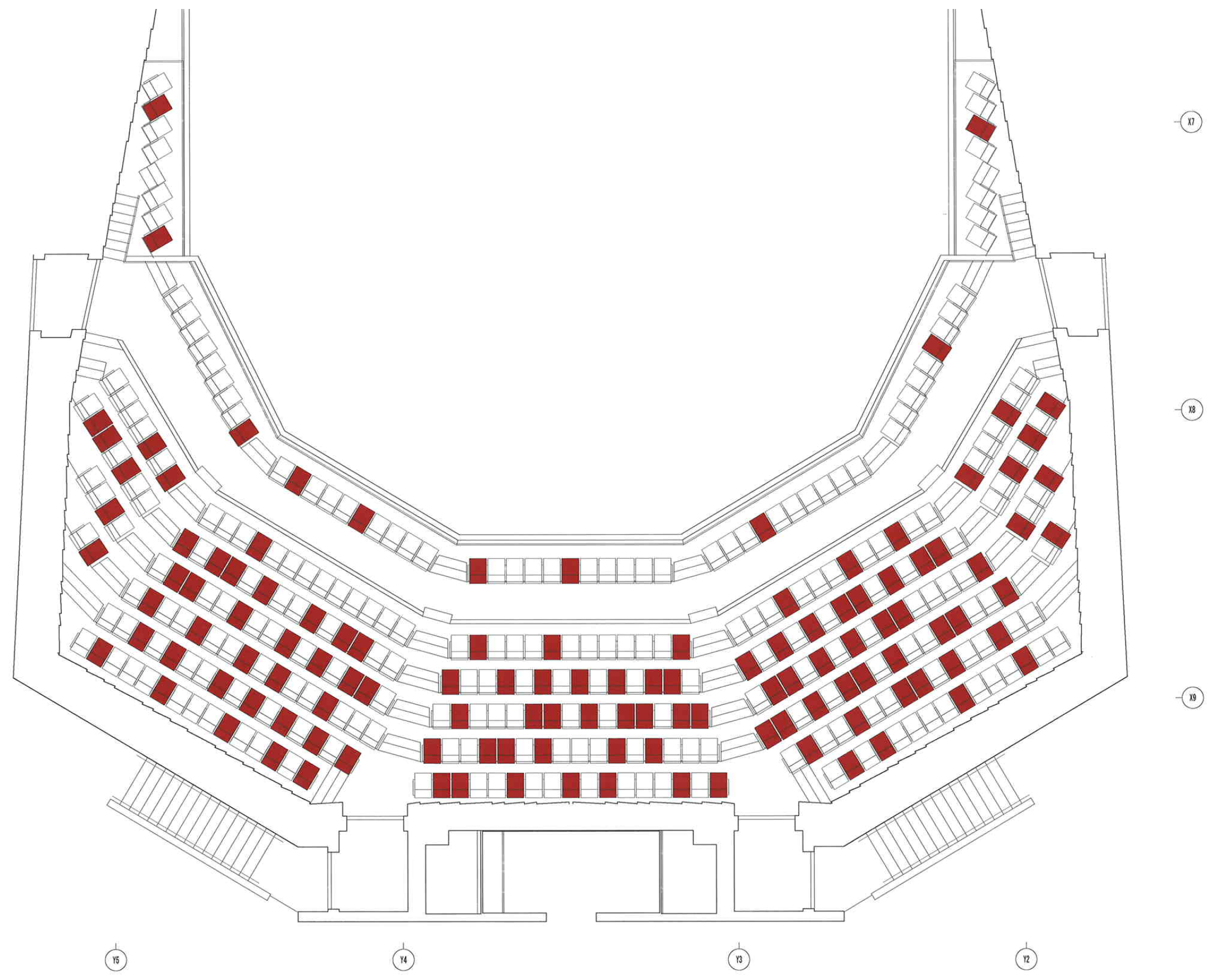

Fiore (フィオーレ) : a 277席

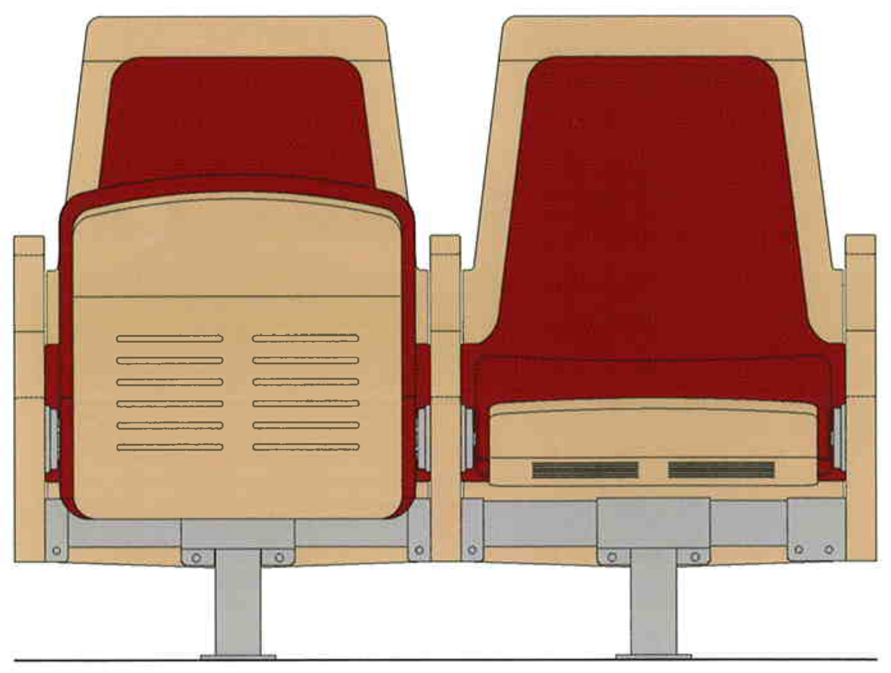


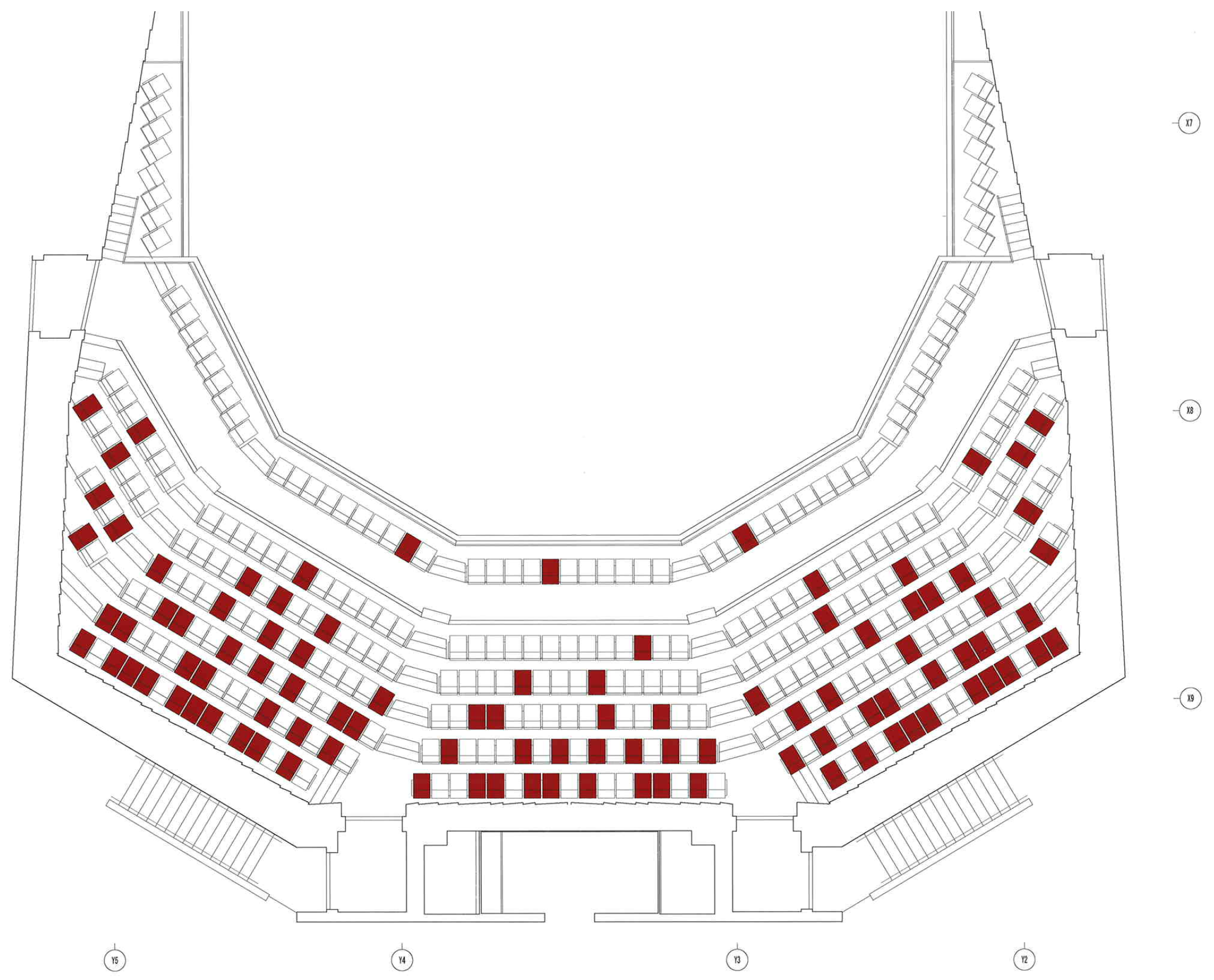

Maple Red (メープル レッド) : b 334席




Rosette (ロゼッタ) : c 344席




Calm Red (カーム レッド) : d 254席



工事名称
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（ホール椅子工事）

株式会社　槇総合計画事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号
一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦

年月日
2007年 3月

図面名称
張地指示図2

縮尺
1:20
1:120,1:240

ファイル名称
CH05張地指示図2

図面番号
CH-06

参考数量書

工事名称　　三原市芸術文化センター長寿命化改修工事（建築主体工事）

［工事概要］　　三原市宮浦二丁目

用途，構造，面積	劇場，鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造，床面積7,421.58㎡
工事範囲	建築工事一式
別途工事	電気設備工事，機械設備工事，舞台機構設備工事，舞台音響設備工事，舞台照明設備工事，監視カメラ外
工期	契約締結日の翌日から　令和 5年12月28日までを工期とする．
一般事項	

《工事予算内訳》　　設計金額　￥　　（税込み）

〈内　訳〉

区分		摘要
工事価格		
消費税額		
設計金額		

工事費内訳

名称	数量	単位	金額	備考
直接工事費				
直接工事費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 ％
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		

工事種別内訳

名　　　　　称	数　　量	単 位	金　　　　額	備　　　　考
直接工事費	1	式		
計				

直接工事費　種目別内訳

名　　称	数　量	単 位	金　　額	備　　考
【A.外部床】				
A1 R階陸屋根	1	式		
A2 塔屋陸屋根、2階休憩ﾛﾋﾞｰ直上部 屋根、北ﾃﾗｽ	1	式		
A3 屋上ﾃﾗｽ、屋根	1	式		
小計				
【B.外壁】				
B1 1階南・北外壁、2階北壁、ﾌﾗｲﾀﾜｰ 東・西外壁、塔屋階立上り	1	式		
B2 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ・ｱﾙﾐ建具	1	式		
小計				
【C.外構】				
C1 駐車場、ｻｰﾋﾞｽﾔｰﾄﾞ	1	式		
小計				
【D.内部】				
D1 壁	1	式		
D2 天井	1	式		

直接工事費　種目別内訳

名　　　　称	数　　量	単 位	金　　　額	備　　　考
D3 床	1	式		
D4 楽屋	1	式		
小計				
【E.建具】				
E 建具	1	式		
小計				
【F.その他】				
F その他	1	式		
小計				
計				

直接工事費　科目別内訳

A1 R階陸屋根

名　　　称	数　　量	単 位	金　　　額	備　　　考
A1-1 硬化砕石､ｱｽﾌｧﾙﾄ防水	1	式		
計				

直接工事費　科目別内訳

A2 塔屋陸屋根､2階休憩ﾛﾋﾞｰ直上部屋根､北ﾃﾗｽ

名　　　称	数　　量	単 位	金　　　額	備　　　考
A2-1 改質ｱｽﾌｧﾙﾄ防水	1	式		
A2-2 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水､押えｺﾝ仕上	1	式		
計				

直接工事費　科目別内訳

A3 屋上ﾃﾗｽ､屋根

名　称	数　量	単 位	金　額	備　考
A3-1 伸縮目地	1	式		
計				

直接工事費　科目別内訳

B1 1階南・北外壁、2階北壁、ﾌﾗｲﾀﾜｰ東・西外壁、塔屋階立上り

名　　称	数　量	単 位	金　額	備　考
B1-1 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	1	式		
計				

直接工事費　科目別内訳

B2 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ･ｱﾙﾐ建具

名　称	数　量	単 位	金　額	備　考
B2-1 ｻｯｼ廻り、笠木廻等ｼｰﾘﾝｸﾞ打替え	1	式		
B2-2 各種取合い	1	式		
計				

直接工事費　科目別内訳

C1 駐車場、ｻｰﾋﾞｽﾔｰﾄﾞ

名　　称	数　量	単 位	金　　額	備　　考
C1-1 擬石ﾌﾞﾛｯｸ舗装	1	式		
C1-2 ﾗｲﾝ	1	式		
計				

直接工事費　科目別内訳

D1 壁

名称	数量	単位	金額	備考
D1-1 有孔ｹｲｶﾙ板EP	1	式		
D1-2 木練付有孔合板UC	1	式		
D1-3 木練付繊維石膏ﾎﾞｰﾄﾞUC	1	式		
D1-3’ 木練付珪酸ｶﾙｼｳﾑ板UC	1	式		
D1-4 S柱(耐火塗料)FE	1	式		
D1-5 ｺﾝｸﾘｰﾄ杉板打放SC (八画柱含む) 本改修の対象外				
D1-6 ｽﾀｯｺ	1	式		
D1-7 石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP-U (D1-8石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP-Uを含む)	1	式		
D1-8 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ多彩塗装 石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP-Uに変更				
D1-9 鉄部SOP	1	式		
D1-10 木部SOP	1	式		
D1-10’ 木部UC	1	式		
D1-11 ｻﾗﾝﾈｯﾄﾊﾟﾈﾙ	1	式		
D1-12 鏡	1	式		
計				

直接工事費　科目別内訳

D2 天井

名　　　称	数　量	単 位	金　　額	備　　考
D2-1 岩綿吸音板平型 対象箇所に本仕様の部分ﾅｼ				
D2-2 石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP	1	式		
D2-3 ｱﾙﾐｼｰﾑﾚｽﾙｰﾊﾞｰ	1	式		
計				

直接工事費　科目別内訳

D3 床

名　　　　　称	数　　量	単 位	金　　　額	備　　　考
D3-1 P系ｼｰﾄ	1	式		
D3-2 ｴﾝﾄﾗﾝｽﾏｯﾄ 対象箇所に本仕様の部分ﾅｼ				
D3-3 織じゅうたん 対象箇所に本仕様の部分ﾅｼ				
D3-4 ｺﾙｸﾀｲﾙ 対象箇所に本仕様の部分ﾅｼ				
D3-5 ｺﾝｸﾘｰﾄ防塵塗装 対象箇所に本仕様の部分ﾅｼ				
D3-6 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA	1	式		
D3-7 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	1	式		
D3-8 ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	1	式		
計				

直接工事費　科目別内訳

D4 楽屋

名　　　　　　　　称	数　　量	単 位	金　　　　額	備　　　　考
D4 楽屋	1	式		
計				

直接工事費　科目別内訳

E 建具				
名　　称	数　量	単 位	金　　額	備　　考
E1-1 鋼製建具SOP	1	式		
E1-1’ 鋼製建具木練付珪酸ｶﾙｼｳﾑ板UC張付け	1	式		
E1-1’’ 鋼製窓SOP	1	式		
E1-2 木製建具SOP	1	式		
E1-3 ｼｬｯﾀｰ 駆動部は本改修の対象外とする				
E1-4 ｼｬｯﾀｰSOP	1	式		
E1-5 自動ﾄﾞｱ 開閉装置は本改修の対象外とする				
計				

直接工事費　科目別内訳

F その他

名　　　称	数　　量	単 位	金　　　額	備　　　考
F1 ﾎｰﾙ椅子	1	式		
F2 ｻｲﾝ(外構)	1	式		
計				

A1 R階陸屋根　　A1-1 硬化砕石、ｱｽﾌｧﾙﾄ防水

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
（直接仮設）						
養生 （屋上防水改修）	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水（防水保護層共）	234.	㎡			
整理清掃後片付け （屋上防水改修）	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水（防水保護層共）	234.	㎡			
（撤去）						
屋根 硬化砕石押え撤去	厚30 保護ｸﾛｽ・断熱材厚25共 集積共	4.	㎡			
（改修）						
屋根 硬化砕石押え部 再硬化	6号砕石 厚5+ｱｸﾘﾙ系散布材 [A-11・16・99]	230.	㎡			
屋根 硬化砕石押え	6号砕石 厚30+ｱｸﾘﾙ系散布材 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ製ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ 硬質ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ系断熱材 厚25	4.	㎡			
	[A-11・16・99]					
屋根 硬化砕石押え部 ｹﾚﾝ・清掃	既存ｱｽﾌｧﾙﾄ防水面	4.	㎡			
屋根 硬化砕石押え部 砕石飛散防止材	ｽﾃﾝﾚｽ 厚1.0 L2000×H100 ﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞ加工 孔径5mm 中心距離 @8mm	8.	か所			
	[A-11・16・99]					
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2工法 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ程度 平場 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整共 [A-27n～30n]	26.3	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端 ｹﾚﾝ・清掃	ﾃﾞｯｷﾌﾞﾗｼがけ 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面	26.3	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立下 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2工法 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ程度 立上り 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整共 [A-27n～30n]	22.4	㎡			

直接工事費　細目別内訳

A1 R階陸屋根　　A1-1 硬化砕石、ｱｽﾌｧﾙﾄ防水

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立下 ｹﾚﾝ・清掃	ﾃﾞｯｷﾌﾞﾗｼがけ 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面	22.4	㎡			
(発生材)						
発生材積込	混合廃棄物	0.2	m3			
発生材運搬	混合廃棄物	0.2	m3			
発生材処分	混合廃棄物	0.2	m3			
計						

A2 塔屋陸屋根、2階休憩ﾛﾋﾞｰ直上部屋根、北ﾃﾗｽ A2-1 改質ｱｽﾌｧﾙﾄ防水

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・ｼｰﾄ)	159.	㎡			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・ｼｰﾄ)	159.	㎡			
(改修)						
屋根 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2工法 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ程度 平場 既存改質ｱｽﾌｧﾙﾄ露出防水面 下地調整共	159.	㎡			
	[A-16・27n～30n・99]					
屋根 高圧洗浄	既存改質ｱｽﾌｧﾙﾄ露出防水面 [A-16・99]	159.	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2工法 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ程度 平場 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整共 [A-27n～30n]	17.7	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端 ｹﾚﾝ・清掃	ﾃﾞｯｷﾌﾞﾗｼがけ 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面	17.7	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立下 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2工法 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ程度 立上り 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整共 [A-27n～30n]	13.9	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立下 ｹﾚﾝ・清掃	ﾃﾞｯｷﾌﾞﾗｼがけ 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面	13.9	㎡			
計						

直接工事費　細目別内訳

A2 塔屋陸屋根、2階休憩ﾛﾋﾞｰ直上部屋根、北ﾃﾗｽ　A2-2 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水、押えｺﾝ仕上

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
(直接仮設)						
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・ｼｰﾄ)	582.	㎡			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・ｼｰﾄ)	582.	㎡			
(改修)						
屋根 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-1工法 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ程度 平場 既存防水押えｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整共 [A-16・27n～30n・99]	582.	㎡			
屋根 高圧洗浄	既存防水押えｺﾝｸﾘｰﾄ面 [A-16・99]	582.	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2工法 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ程度 平場 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整共 [A-27n～30n]	23.2	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端 ｹﾚﾝ・清掃	ﾃﾞｯｷﾌﾞﾗｼがけ 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面	23.2	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立下 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2工法 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ程度 立上り 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整共 [A-27n～30n]	26.7	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立下 ｹﾚﾝ・清掃	ﾃﾞｯｷﾌﾞﾗｼがけ 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面	26.7	㎡			
計						

直接工事費　細目別内訳

A3 屋上ﾃﾗｽ､屋根　　A3-1 伸縮目地

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)	A-1・A-2工事に含む					
(撤去)						
屋根 伸縮目地撤去	W10×H45 成形伸縮目地材+発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ系心材 集積共	914.	m			
屋根 伸縮目地撤去	W25×H69 成形伸縮目地材+発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ系心材 集積共	506.	m			
屋根 伸縮目地撤去	W25×H100 成形伸縮目地材+発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ系心材 集積共	330.	m			
(改修)						
屋根 伸縮目地	W10×H45 成形伸縮目地材+ 発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ系心材	914.	m			
屋根 伸縮目地	W25×H69 成形伸縮目地材+ 発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ系心材	506.	m			
屋根 伸縮目地	W25×H100 成形伸縮目地材+ 発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ系心材	330.	m			
(発生材)						
発生材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	2.5	m3			
発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	2.5	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	2.5	m3			
計						

直接工事費　細目別内訳

B1 1階南・北外壁、2階北壁、ﾌﾗｲﾀﾜｰ東・西外壁、塔屋階立上り B1-1 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(外壁改修)		636.	㎡			
整理清掃後片付け (外壁改修)		636.	㎡			
枠組本足場 (手すり先行方式)	900枠 H=12m未満 工期4ヶ月	1,028.	㎡			
枠組本足場 (手すり先行方式)	1200枠 H=22m未満 工期4ヶ月	355.	㎡			
枠組本足場 (手すり先行方式)	1200枠 H=22m未満 (東面金属屋根上部) 工期4ヶ月	504.	㎡			
枠組本足場 (手すり先行方式)	1200枠 H=22m以上 工期4ヶ月	1,444.	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 工期4ヶ月	305.	m			
養生ｼｰﾄ	工期4ヶ月	3,331.	㎡			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	1,028.	㎡			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅1200	1,799.	㎡			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅1200	504.	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	305.	m			
仮設材運搬 (ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ類)		3,331.	㎡			
(撤去)						

直接工事費　細目別内訳

B1 1階南・北外壁、2階北壁、ﾌﾗｲﾀﾜｰ東・西外壁、塔屋階立上り B1-1 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
伸縮目地 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2) 15×10 集積共	315.	m			
(改修)						
外壁 含浸撥水剤塗布	ｼﾗﾝ・ｼﾛｷｻﾝ系ｺﾝｸﾘｰﾄ含浸防水材 (Sｸﾘｰﾄｶﾞｰﾄﾞ) 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整共	3,099.	㎡			
	[A-17・18]					
外壁 高圧洗浄	既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 [A-17・18]	3,099.	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2) 15×10	315.	m			
(発生材)						
発生材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
計						

B2 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ･ｱﾙﾐ建具　　B2-1 ｻｯｼ廻り、笠木廻等ｼｰﾘﾝｸﾞ打替え

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
外部足場	ｺﾞﾝﾄﾞﾗ 工期4ヶ月	1.	台			
(撤去)						
笠木取合 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10 集積共	468.	m			
(改修)						
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10	468.	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10	1,076.	m			
(発生材)						
発生材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
計						

直接工事費　細目別内訳

B2 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ･ｱﾙﾐ建具　　B2-2 各種取合い

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)	B2-1工事に含む					
(撤去)						
各種取合 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10 集積共	269.	m			
水切取合 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×10 集積共	88.5	m			
外壁取合水切取合 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 30×10 集積共	1.	m			
屋根端部 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 30×30 集積共	144.	m			
ﾀｲﾙ伸縮目地 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系(PS-2) 10×10 集積共	914.	m			
石取合 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系(PS-2) 15×10 集積共	50.7	m			
打継目地 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2) 15×10 集積共	389.	m			
(改修)						
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10	77.3	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10	6.8	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10	46.	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10	4.8	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10	134.	m			

B2 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ･ｱﾙﾐ建具　　　　B2-2 各種取合い

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×10	88.5	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 30×10	1.	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 30×30	144.	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系(PS-2) 10×10	914.	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系(PS-2) 15×10	50.7	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2) 15×10	389.	m			
(発生材)						
発生材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.4	m3			
発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.4	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.4	m3			
計						

直接工事費　細目別内訳

C1 駐車場、ｻｰﾋﾞｽﾔｰﾄﾞ　C1-1 擬石ﾌﾞﾛｯｸ舗装

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(直接仮設)						
直接仮設 (構内舗装)		37.3	m²			
(撤去)						
擬石ﾌﾞﾛｯｸ舗装撤去	総厚410 ﾉﾐ切りｺﾝｸﾘｰﾄ平板: 300×300×厚80 研磨仕上	37.3	m²			
	ﾓﾙﾀﾙ:厚30 ｺﾝｸﾘｰﾄ:厚150 基礎砕石:厚150					
	[L-32]					
(改修)						
擬石ﾌﾞﾛｯｸ舗装	総厚410 ﾉﾐ切りｺﾝｸﾘｰﾄ平板: 300×300×厚80 研磨仕上	37.3	m²			
	化粧目地ﾓﾙﾀﾙ:W3×H80 伸縮目地貧配合ﾓﾙﾀﾙ: W3×H80					
	張り付けﾓﾙﾀﾙ:厚5 ﾚﾍﾞﾙ調整ﾓﾙﾀﾙ:厚25 ｺﾝｸﾘｰﾄ:厚150					
	溶融金網 6φ×150×150 伸縮目地: 発泡樹脂板 W10×H180					
	基礎砕石:厚150 [L-32]					
(発生材)						
発生材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	6.7	m3			
発生材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	3.	m3			

直接工事費　細目別内訳

C1 駐車場、ｻｰﾋﾞｽﾔｰﾄﾞ　　C1-1 擬石ﾌﾞﾛｯｸ舗装

名　　称	摘　　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
発生材積込	砂利･砕石類	5.6	m3			
発生材運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	6.7	m3			
発生材運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	3.	m3			
発生材運搬	砂利･砕石類	5.6	m3			
発生材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	6.7	m3			
発生材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	3.	m3			
発生材処分	砂利･砕石類	5.6	m3			
計						

直接工事費　細目別内訳

C1 駐車場、ｻｰﾋﾞｽﾔｰﾄﾞ		C1-2 ﾗｲﾝ				
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
(改修)						
白線引き	W=150 3種1号 溶融式	777.	m			
計						

D1 壁　　D1-1 有孔ｹｲｶﾙ板EP

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	63.6	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	63.6	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　平家用	63.6	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場脚立足場)	平家建	63.6	㎡			
(撤去)						
練習室1壁 有孔珪酸ｶﾙｼｳﾑ板撤去	厚6 目透し 集積共	5.	㎡			
(改修)						
練習室1壁 有孔珪酸ｶﾙｼｳﾑ板	厚6 目透し	5.	㎡			
練習室1･2壁 防汚型ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	EP-U 既存有孔珪酸ｶﾙｼｳﾑ板面 下地調整RB種	151.	㎡			
練習室1壁 防汚型ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ	EP-U 新設有孔珪酸ｶﾙｼｳﾑ板面	5.	㎡			
(発生材)						
発生材積込	ﾎﾞｰﾄﾞ類	0.1	m3			
発生材運搬	ﾎﾞｰﾄﾞ類	0.1	m3			
発生材処分	ﾎﾞｰﾄﾞ類	0.1	m3			

直接工事費　細目別内訳

D1 壁		D1-1 有孔ｹｲｶﾙ板EP				
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
計						

直接工事費　細目別内訳

D1 壁　　D1-2 木練付有孔合板UC

名　　称	摘　　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	4.9	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	4.9	㎡			
内部仕上足場(手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 枠組棚足場 階高5.0m以上5.7m未満　平家用	4.9	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場 棚足場)(手すり先行方式)	5.0m以上5.7m未満	4.9	㎡			
(改修)						
ﾘﾊｰｻﾙ室壁ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗替え	UC 既存有孔珪酸ｶﾙｼｳﾑ板面 下地調整RB種	25.7	㎡			
計						

直接工事費　細目別内訳

D1 壁　　D1-3 木練付繊維石膏ﾎﾞｰﾄﾞUC

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	34.2	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	34.2	㎡			
内部仕上足場(手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 枠組棚足場 階高5.0m以上5.7m未満　平家用	6.6	㎡			
内部仕上足場(手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 枠組棚足場 階高5.7m以上7.4m未満　平家用	27.6	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場 棚足場)(手すり先行方式)	5.0m以上5.7m未満	6.6	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場 棚足場)(手すり先行方式)	5.7m以上7.4m未満	27.6	㎡			
(改修)						
ﾘﾊｰｻﾙ室壁 ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗替え	UC 既存木ﾊﾟﾈﾙ面 下地調整RB種	149.	㎡			
計						

D1 壁　　　D1-3’木練付珪酸ｶﾙｼｳﾑ板UC

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	141.	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	141.	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　平家用	90.9	㎡			
内部階段仕上足場	RC造標準日数 修理費含む	26.2	㎡			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	90.9	㎡			
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)		26.2	㎡			
(改修)						
壁 ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗替え	UC 既存木練付珪酸ｶﾙｼｳﾑ板面 下地調整RB種	270.	㎡			
計						

D1 壁　　D1-4 S柱(耐火塗料)FE

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	93.8	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	93.8	㎡			
内部仕上足場	簡易型移動式足場(2段) 4.0m＜H＜5.0m 1ヶ月 運搬共	1.	台			
(改修)						
鉄骨柱部 ﾌﾀﾙ酸樹脂ｴﾅﾒﾙ塗替え	FE 既存耐火塗料面 下地調整RB種	107.	㎡			
計						

直接工事費　細目別内訳

D1 壁　　　　D1-6 ｽﾀｯｺ

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	39.8	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	39.8	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　平家用	34.8	㎡			
内部階段仕上足場	RC造標準日数 修理費含む	5.	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場脚立足場)	平家建	34.8	㎡			
仮設材運搬(内部階段仕上足場)		5.	㎡			
(改修)						
壁 破損部分ﾀｯﾁｱｯﾌﾟ補修	ｱｸﾘﾙ系塗料 2cm×1cm/1か所 既存ｽﾀｯｺ面	40.	か所			
壁 汚損部分研磨補修	水掛けによる白濁化を研磨補修 5cm×4.0m/1か所 既存ｽﾀｯｺ面	4.	か所			
計						

直接工事費　細目別内訳

D1 壁　　D1-7 石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP-U　(D1-8石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP-Uを含む)

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	772.	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	772.	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　平家用	592.	㎡			
内部仕上足場(手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満　平家用	110.	㎡			
内部仕上足場(手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 枠組棚足場 階高5.0m以上5.7m未満　平家用	33.6	㎡			
内部階段仕上足場	RC造標準日数 修理費含む	36.6	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場脚立足場)	平家建	592.	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場 棚足場)(手すり先行方式)	4.0m超5.0m未満	110.	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場 棚足場)(手すり先行方式)	5.0m以上5.7m未満	33.6	㎡			
仮設材運搬(内部階段仕上足場)		36.6	㎡			
(改修)						
壁 ﾊｯﾄ目地		13.9	m			
壁 防汚型ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	EP-U 既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整RB種	310.	㎡			
壁 防汚型ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	EP-U 既存ﾎﾞｰﾄﾞ面 下地調整RB種	1,793.	㎡			

直接工事費　細目別内訳

D1 壁　　D1-7 石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP-U　(D1-8石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP-Uを含む)

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
計						

直接工事費　細目別内訳

D1 壁　　D1-9 鉄部SOP

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	500.	m²			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	500.	m²			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　平家用	17.7	m²			
内部仕上足場	簡易型移動式足場(2段) 4.0m＜H＜5.0m 1ヶ月 運搬共	1.	台			
	※SOP塗替(D1-9)の項目まとめて ﾛｰﾘﾝｸﾞﾀﾜｰ1台で施工と考える。					
内部仕上足場	簡易型移動式足場(3段) 5.0m≦H＜5.7m 1ヶ月 運搬共	1.	台			
	※SOP塗替(D1-9)の項目まとめて ﾛｰﾘﾝｸﾞﾀﾜｰ1台で施工と考える。					
仮設材運搬(内部仕上足場脚立足場)	平家建	17.7	m²			
(改修)						
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	SOP 既存鉄骨面 下地調整RB種	11.4	m²			
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	SOP 既存鉄部面 下地調整RB種	414.	m²			
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	SOP 細巾物 既存鉄部面 下地調整RB種	36.9	m			
計						

D1 壁　　D1-10 木部SOP

名　　称	摘　　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	603.	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	603.	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　平家用	44.	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場脚立足場)	平家建	44.	㎡			
(改修)						
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	SOP 細巾物 既存木部面 下地調整RB種	647.	m			
ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗替え	UC 既存木部面 下地調整RB種	14.1	㎡			
計						

直接工事費　細目別内訳

D1 壁　　D1-10’木部UC

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	15.9	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	15.9	㎡			
内部仕上足場	枠組本足場	92.6	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 RC造標準日数 修理費含む 建築面積　300㎡	15.9	m			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	92.6	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	15.9	m			
(撤去)						
ﾘﾊｰｻﾙ室 木ﾘﾌﾞ吸音壁撤去	ﾘﾌﾞ:ｽﾌﾟﾙｽ無垢40×60 着色UC GW厚50 32kg/m3	92.6	㎡			
	ｸﾛｽ裏打 集積共 (既存軽量鉄骨壁下地は残置)					
(改修)						
ﾘﾊｰｻﾙ室 木ﾘﾌﾞ吸音壁	ﾘﾌﾞ:ｽﾌﾟﾙｽ無垢40×60 着色UC GW厚50 32kg/m3	92.6	㎡			
	ｸﾛｽ裏打 既存軽量鉄骨壁下地面					
(発生材)						
発生材積込	建設発生木材	2.4	m3			

直接工事費　細目別内訳

D1 壁　　D1-10’木部UC

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材積込	繊維屑	0.1	m3			
発生材積込	混合廃棄物	4.6	m3			
発生材運搬	建設発生木材	2.4	m3			
発生材運搬	繊維屑	0.1	m3			
発生材運搬	混合廃棄物	4.6	m3			
発生材処分	建設発生木材	2.4	m3			
発生材処分	繊維屑	0.1	m3			
発生材処分	混合廃棄物	4.6	m3			
計						

D1 壁　　D1-11 ｻﾗﾝﾈｯﾄﾊﾟﾈﾙ

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	4.1	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	4.1	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　平家用	4.1	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場脚立足場)	平家建	4.1	㎡			
(撤去)						
客席ｻｲﾄﾞｽﾋﾟｰｶｰ部ｻﾗﾝﾈｯﾄ撤去	W2053×H3000 集積共 (ｱﾙﾐ型材・ｽﾁｰﾙ枠は残置)	2.	か所			
(改修)						
客席ｻｲﾄﾞｽﾋﾟｰｶｰ部ｻﾗﾝﾈｯﾄ	W2053×H3000 既存ｱﾙﾐ型材面	2.	か所			
(発生材)						
発生材積込	混合廃棄物	0.1	m3			
発生材運搬	混合廃棄物	0.1	m3			
発生材処分	混合廃棄物	0.1	m3			
計						

直接工事費　細目別内訳

D1 壁　　D1-12 鏡

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	2.	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	2.	㎡			
(撤去)						
練習室2 姿見鏡撤去	厚6 W2000×H2000 下地合板共 集積共	1.	か所			
(改修)						
練習室2 姿見鏡	厚6 W2000×H2000 下地合板共	1.	か所			
(発生材)						
発生材積込	建設発生木材	0.1	m3			
発生材積込	ｶﾞﾗｽ屑	0.1	m3			
発生材運搬	建設発生木材	0.1	m3			
発生材運搬	ｶﾞﾗｽ屑	0.1	m3			
発生材処分	建設発生木材	0.1	m3			
発生材処分	ｶﾞﾗｽ屑	0.1	m3			
計						

直接工事費　細目別内訳

D2 天井　　D2-2 石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	50.	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	50.	㎡			
内部仕上足場	簡易型移動式足場(4段) 5.7m≦H<7.4m 1ヶ月 運搬共	1.	台			
(改修)						
合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	EP 既存ﾎﾞｰﾄﾞ面 下地調整RB種	16.8	㎡			
天井ｸﾗｯｸ部 ｸﾗｯｸ補修	寒冷紗張り ﾊﾟﾃしごき 既存ﾎﾞｰﾄﾞ面	10.	m			
天井ｸﾗｯｸ部 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	EP 細巾物 既存ﾎﾞｰﾄﾞ面	10.	m			
下り壁ｸﾗｯｸ部 ｸﾗｯｸ補修	寒冷紗張り ﾊﾟﾃしごき 既存ﾎﾞｰﾄﾞ面	1.	m			
下り壁ｸﾗｯｸ部 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	EP 細巾物 既存ﾎﾞｰﾄﾞ面	1.	m			
計						

D2 天井　　D2-3 ｱﾙﾐｼｰﾑﾚｽﾙｰﾊﾞｰ

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	8.9	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	8.9	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　平家用	8.9	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場脚立足場)	平家建	8.9	㎡			
(撤去)						
風除室3天井ｱﾙﾐｼｰﾑﾚｽﾙｰﾊﾞｰ撤去	厚0.8 既製品 格子:25×25×25 ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ系樹脂焼付塗装	8.9	㎡			
	吊金物共 集積共 [A-36 A15]					
(改修)						
風除室3天井ｱﾙﾐｼｰﾑﾚｽﾙｰﾊﾞｰ	厚0.8 既製品 格子:25×25×25 ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ系樹脂焼付塗装	8.9	㎡			
	吊金物共 [A-36 A15]					
(有価物)						
有価物売却費	ｱﾙﾐ屑	39.1	kg			
計						

直接工事費　細目別内訳

D3 床　　D3-1 P系ｼｰﾄ

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	22.9	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	22.9	㎡			
(撤去)						
床 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ撤去	厚2.5 集積共	10.4	㎡			
守衛室床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB撤去	厚6.5 500×500 集積共	12.5	㎡			
(改修)						
床 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	厚2.5 既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整共	22.9	㎡			
(発生材)						
発生材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
発生材積込	混合廃棄物	0.1	m3			
発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
発生材運搬	混合廃棄物	0.1	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
発生材処分	混合廃棄物	0.1	m3			

D3 床　　D3-1 P系ｼｰﾄ

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
計						

D3 床　　D3-6 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA

名　　称	摘　　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	100.	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	100.	㎡			
(撤去)						
床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA撤去	厚7.5 500×500 集積共	100.	㎡			
(改修)						
床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA	厚7.5 500×500 既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整共	25.8	㎡			
床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA	厚7.5 500×500 既存ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ面 下地調整共	74.2	㎡			
床 注意喚起用点字鋲 取外し･再取付	ｽﾃﾝﾚｽ 22φ 1か所/25個	8.	か所			
(発生材)						
発生材積込	混合廃棄物	0.8	m3			
発生材運搬	混合廃棄物	0.8	m3			
発生材処分	混合廃棄物	0.8	m3			
計						

直接工事費　細目別内訳

D3 床　　D3-7 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	51.4	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	51.4	㎡			
(撤去)						
床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB撤去	厚6.5 500×500 集積共	51.4	㎡			
(改修)						
床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	厚6.5 500×500 既存合板面 下地調整共	4.3	㎡			
床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	厚6.5 500×500 既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整共	47.1	㎡			
床 誘導用点字鋲取外し・再取付	ｽﾃﾝﾚｽ 27×280 1か所/4本	1.	か所			
床 注意喚起用点字鋲取外し・再取付	ｽﾃﾝﾚｽ 22φ 1か所/25個	11.	か所			
(発生材)						
発生材積込	混合廃棄物	0.4	m3			
発生材運搬	混合廃棄物	0.4	m3			
発生材処分	混合廃棄物	0.4	m3			
計						

直接工事費　細目別内訳

D3 床　　D3-8 ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	1,547.	m²			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	1,547.	m²			
(撤去)						
ﾎﾜｲｴ1床 床ﾎﾞｰﾀﾞｰ撤去	130×15 集積共 ﾊﾞｰﾁ無垢材	8.1	m			
(改修)						
ﾎﾜｲｴ1床 床ﾎﾞｰﾀﾞｰ	130×15 ﾊﾞｰﾁ無垢材 (1.35m×6本) [A-34]	8.1	m			
床 ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗替え	UC 既存ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ面 研磨の上再塗装	1,547.	m²			
(発生材)						
発生材積込	建設発生木材	0.1	m3			
発生材運搬	建設発生木材	0.1	m3			
発生材処分	建設発生木材	0.1	m3			
計						

直接工事費　細目別内訳

D4 楽屋　　D4 楽屋

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	13.3	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	13.3	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　平家用	13.3	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場脚立足場)	平家建	13.3	㎡			
(改修)						
大･中楽屋ｸﾛｰｾﾞｯﾄ小口塞ぎ	50×30 ﾊﾞｰﾁ無垢材 既存ｸﾛｰｾﾞｯﾄ小口面	46.2	m			
大楽屋化粧ｶｳﾝﾀｰ照明ﾎﾞｯｸｽ部ﾌﾞﾗｹｯﾄ	ｽﾁｰﾙ W425×H20～80 厚8 ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ:150×80 厚8 ｱﾝｶｰ共	3.	か所			
	[A-64]					
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り	SOP 細巾物 新設鉄部	1.3	m			
ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り	UC 細巾物 新設木部	46.2	m			
計						

E 建具　　　E1-1 鋼製建具SOP

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	27.8	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	27.8	㎡			
(改修)						
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	SOP 既存鋼製建具面 下地調整RB種	482.	㎡			
計						

直接工事費　細目別内訳

E 建具　　E1-1’鋼製建具木練付珪酸ｶﾙｼｳﾑ板U　C張付け

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)	D1～D4工事に含む					
(改修)						
SD-113 木練付珪酸ｶﾙｼｳﾑ板	厚6.0(北欧産) UC工場塗装共	2.6	㎡			
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	SOP 既存鋼製建具面 下地調整RB種	19.6	㎡			
計						

直接工事費　細目別内訳

E 建具		E1-1’’ 鋼製窓SOP				
名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	0.6	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	0.6	㎡			
(改修)						
SW-202B FIX窓	W708.6×H2500 方立右側下枠取外し､ｶﾞﾗｽ取外し･ 下枠再取付･ｶﾞﾗｽ再取付	1.	か所			
防汚型ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	EP-U 既存ﾎﾞｰﾄﾞ面 下地調整RB種	0.2	㎡			
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り	SOP 既存ｻｯｼ面 下枠固定用ﾋﾞｽ廻り	3.	か所			
計						

E 建具　　E1-2 木製建具SOP

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	17.4	m2			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	17.4	m2			
(改修)						
合成樹脂調合ペイント塗替え	SOP 既存木製建具面 下地調整RB種	88.1	m2			
計						

E 建具　　E1-4 ｼｬｯﾀｰSOP

名　　称	摘　　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)	D1～D4工事に含む					
(改修)						
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	SOP 既存鋼製建具面 下地調整RB種	16.8	㎡			
計						

F その他		F1 ﾎｰﾙ椅子				
名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	18.2	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	18.2	㎡			
(改修)						
ﾎｰﾙ椅子 張地の調整	全1209席の約2% [CH-01～04]	25.	か所			
ﾎｰﾙ椅子 座自動緩起立機構の調整	全1209席の約2% [CH-01～04]	25.	か所			
計						

F その他　　F2 ｻｲﾝ(外構)

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(改修)						
CL-9 ﾎﾟｽﾀｰ掲示 再印刷	W700×H1800×D125 ｼﾝｸ印刷等々以上の 耐候性を有する印刷、	2.	か所			
	若しくはｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ (20％程度の補修) [SN-13・14]					
CL-21 総合案内 再印刷	W700×H1800×D125 ｼﾝｸ印刷等々以上の 耐候性を有する印刷、	2.	か所			
	若しくはｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ (20％程度の補修) [SN-15・16]					
CM-22 施設誘導 再印刷	W600×H1800×D53 ｼﾝｸ印刷等々以上の 耐候性を有する印刷、	7.	か所			
	若しくはｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ (20％程度の補修) [SN-17～22]					
CS-23 駐車場誘導 再印刷	W600×H1800×D53 ｼﾝｸ印刷等々以上の 耐候性を有する印刷、	2.	か所			
	若しくはｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ (20％程度の補修) [SN-23]					
CS-24 駐輪場誘導 再印刷	W600×H1800×D53 ｼﾝｸ印刷等々以上の 耐候性を有する印刷、	1.	か所			
	若しくはｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ (20％程度の補修) [SN-24]					
F-25 館名表示 再印刷	W1620×H180 洗浄 [SN-30]	1.	か所			
周辺案内図 再印刷	ｼﾝｸ印刷等々以上の 耐候性を有する印刷、 若しくはﾗｯﾋﾟﾝｸﾞｼｰﾄ	8.	か所			
	[SN-00～41]					
計						

共通仮設費（積上分） 明細

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導員	B	88.	人			
計						

現場管理費（積上分）　明細

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
広島県工事中情報共有システム		1	式			
計						